

第10期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業 計画策定のためのアンケート調査報告書

令和8年3月

上 尾 市

目次

I	調査の概要	3
1	調査の目的	3
2	調査対象者	3
3	実施方法	3
4	回収状況	3
5	報告書を見る際の留意点	3
II	調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	7
1	調査結果の概要	7
	（1）相談・情報提供について	7
	（2）生活支援について	7
	（3）住まいについて	7
	（4）移動、外出について	7
	（5）生きがいについて	8
	（6）地域活動・ボランティア活動について	8
	（7）就労について	8
	（8）介護予防について	8
	（9）認知症対策について	8
	（10）健康づくりについて	9
	（11）生活習慣病の予防について	9
	（12）機能別リスク該当者割合の状況について	9
	（13）高齢者福祉サービスについて	9
2	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（国が示した調査項目）	10
	（1）あなたのご家族や生活状況についておうかがいします	11
	（2）からだを動かすことについておうかがいします	17
	（3）食べることについておうかがいします	27
	（4）毎日の生活についておうかがいします	39
	（5）地域での活動についておうかがいします	57
	（6）就労についておうかがいします	67
	（7）たすけあいについておうかがいします	69
	（8）健康についておうかがいします	77
	（9）認知症にかかる相談窓口の把握についておうかがいします	84
3	一般高齢者個別調査（市の独自調査項目）	86
	（1）お住まいについて	86
	（2）生きがいについて	94
	（3）主な福祉サービス・介護サービスについて	102
	（4）移動手段について	130
	（5）その他	132

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析	152
1 機能別リスク該当者割合の分析	152
(1) 運動器の機能低下	152
(2) 閉じこもり傾向	154
(3) 転倒リスク	156
(4) 低栄養の傾向	158
(5) 口腔機能の低下	160
(6) 認知機能	162
(7) うつ傾向	164
(8) IADL（手段的自立度）	166
(9) 知的能動性	168
(10) 社会的役割	170
Ⅳ 調査結果（在宅介護実態調査）	174
1 調査結果の概要	174
(1) 在宅介護について	174
(2) 認知症対策について	174
(3) 介護サービスの利用状況について	174
(4) 災害時の行動について	175
2 A票 調査対象者様ご本人について（国が示した調査項目）	176
3 B票 主な介護者について（国が示した調査項目）	207
4 要介護認定者個別調査票（市の独自調査項目）	219
(1) あなた（要介護認定者ご本人）ご自身のことについて	219
(2) サービスの満足度について	225
(3) サービス全般について	236
(4) 災害時の行動について	247
Ⅴ 調査結果（事業所調査）	252
1 調査結果の概要	252
(1) 事業所について	252
(2) 利用者について	252
(3) 入所・入居者について	252
(4) 現在の介護人材の状況について	252
(5) 認知症施策について	252
(6) 成年後見制度について	253
(7) その他	253
2 在宅生活改善調査（国が示した調査項目）	254
(1) 事業所について	254
(2) 利用者について（利用者票）	257

3	居所変更実態調査（国が示した調査項目）	266
	（1）事業所について	266
	（2）入所・入居者について	267
	（3）退去者について	270
4	介護人材実態調査（国が示した調査項目）	273
	（1）事業所について	273
	（2）職員について（職員票（訪問介護員向け））	285
5	各調査共通項目（市の独自調査項目）	293
	（1）現在の介護人材の状況について	293
	（2）認知症施策について	307
	（3）成年後見制度について	310
	（4）その他	316
	（5）職員について（職員票（ケアマネジャー向け））	319
	（6）上尾市の施策について	321
VI	資料編（使用した調査票）	325

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査の目的

令和9年度から令和11年度までを計画期間とする「第10期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定にあたり、基礎資料として、高齢者の生活状況や支援サービスの必要性等を把握するとともに、市内の介護事業所の現状や人材確保の取組状況を把握するため、本調査を実施しました。

2 調査対象者

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：令和7年12月1日現在、市内在住の要支援認定者、事業対象者、65歳以上の要介護認定を受けていない人（無作為抽出）

在宅介護実態調査：令和7年12月1日現在、市内在住の在宅で生活している要支援・要介護認定者（無作為抽出）

介護事業所等調査：給付実績のある市内のすべての介護保険サービス提供事業所

3 実施方法

調査地域：上尾市全域

調査形式：アンケート調査

調査方法：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：郵送、在宅介護実態調査：郵送、介護事業所等調査：WEB

調査期間：令和7年12月9日～12月26日

4 回収状況

調査票の種類	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	6,000件	3,979件	66.3%
在宅介護実態調査	1,100件	585件	53.2%
介護事業所等調査	300件	128件	42.7%

5 報告書を見る際の留意点

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

Ⅱ 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

II 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

【属性の詳細について】

- 一般高齢者…65歳以上の要介護認定を受けていない人
- 要支援認定者等…要支援1・2、事業対象者

1 調査結果の概要

（1）相談・情報提供について

- 健康や福祉・介護のことで困ったときの相談相手は、一般高齢者では「家族・親族」が64.2%と最も高くなっていますが、要支援認定者等では「地域包括支援センター」が61.9%で最も高く、「家族・親族」の56.5%を上回っています。（個別調査問16）
- 地域包括支援センターの認知度は、要支援認定者等で「知っている」が65.2%に達する一方、一般高齢者では「知らない」が39.4%となっており、属性による認知の差が顕著です。（個別調査問17）
- 介護が必要になった際に知りたい情報として、一般高齢者では「福祉・介護サービスなどの利用方法」が74.4%、「どのような介護サービスを利用したらよいかのアドバイス」が72.8%と高くなっています。（個別調査問18）

（2）生活支援について

- 要支援認定者等では、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が23.8%となっており、支援が必要ながらサービス未利用の層が一定数存在します。（ニーズ調査問2）
- 現在の暮らしの状況を経済的にみて、「苦しい」と回答した人の割合は、一般高齢者で32.5%、要支援認定者等で35.5%となっています。（ニーズ調査問3）

（3）住まいについて

- 介護や医療が必要になった場合の希望は、一般高齢者の44.7%、要支援認定者等の43.7%が「介護サービスなどを利用しながら、自宅に住み続けたい」としており、在宅継続の意向が強い状況です。（個別調査問1）
- 今後の住まいに“不安”を感じている割合は、要支援認定者等で47.6%にのぼり、一般高齢者の38.7%よりも高くなっています。不安の理由としては「バリアフリー性能が十分でない」ことや「庭の手入れや日常の軽作業」が上位に挙がっています。（個別調査問4）

（4）移動、外出について

- 外出を控えている理由は、一般高齢者（49.5%）、要支援認定者等（64.3%）ともに身体的な理由である「足腰などの痛み」が最も高くなっています。（ニーズ調査問12-1）
- 外出時の移動手段として、一般高齢者は「徒歩」（70.7%）、「自動車（自分で運転）」（48.9%）、「自転車」（48.5%）の順に高い一方、要支援認定者等では「自動車（人に乗せてもらう）」（36.1%）や「路線バス」（32.8%）の利用も多く、自力移動の困難さがうかがえます。（ニーズ調査問13）
- 高齢化に対応した取組として必要なことでは、一般高齢者・要支援認定者等ともに「通院や外出時の移動手段の確保」を求める割合が半数を超え、最も高くなっています。（個別調査問21）

（５）生きがいについて

- 趣味が「思いつかない」と回答した割合は、一般高齢者で 23.2%、要支援認定者等で 34.0%となっています。（ニーズ調査問 38）
- 生きがいが「思いつかない」と回答した割合は、一般高齢者で 37.4%、要支援認定者等で 45.9%となっており、要支援認定者等においてより高くなっています。（ニーズ調査問 39）

（６）地域活動・ボランティア活動について

- 地域住民有志によるいきいきした地域づくりの活動への参加意向は、一般高齢者の 48.9%、要支援認定者等の 39.4%が「参加してもよい」と回答しています。（ニーズ調査問 41）
- 一方で、同活動の「企画・運営（お世話役）」としての参加については、一般高齢者で 31.9%、要支援認定者等で 24.1%に留まっており、担い手の確保に課題がある状況です。（ニーズ調査問 42）

（７）就労について

- 一般高齢者の今後の就労意向をみると、「生活のために働きたい」と「生きがいのために働きたい」を合わせた割合は 29.2%（生活：13.4%、生きがい：15.8%）となっています。（個別調査問 7）
- 就労支援として自治体が行うべき施策では、「元気高齢者（アクティブシニア）が活躍している事例の紹介」や「雇用主との仲介支援」を求める声が多くなっています。（個別調査問 7-4）

（８）介護予防について

- 高齢化に対応した取組として、「要介護状態にならないための『介護予防事業』の普及啓発」が必要と回答した割合は、一般高齢者で 40.6%、要支援認定者等で 36.0%となっています。（個別調査問 21）
- 自主的に介護予防を実施している人の割合は、一般高齢者で 25.9%に対し、要支援認定者等では 45.6%と高くなっており、支援が必要な層ほど予防意識が高い傾向にあります。（個別調査問 13）
- 介護予防の実施内容は、一般高齢者は「スポーツジム等の民間施設での運動・講座」（41.0%）が、要支援認定者等は「デイサービス等の介護事業所での運動・講座」（57.8%）が多くなっています。（個別調査問 13-1）

（９）認知症対策について

- 認知症高齢者等にやさしい地域づくりのために必要なこととして、「認知症の早期診断・早期対応のための体制整備」が一般高齢者（55.1%）、要支援認定者等（52.3%）ともに最も高くなっています。（個別調査問 22）
- 認知症サポーターや成年後見制度の認知度は依然として低く、サポーターを「知らない」割合は一般高齢者で 76.0%、要支援認定者等で 66.8%にのびります。（個別調査問 23）

（10）健康づくりについて

- 自身の健康状態を“よい”とする割合は一般高齢者で 80.2%ですが、要支援認定者等では 52.7%まで低下します。（ニーズ調査問 52）
- 精神面では、この1か月間に「気分が沈んだり、ゆううつになった」割合が、一般高齢者で 37.7%に対し、要支援認定者等では 48.4%となっています。（ニーズ調査問 54）

（11）生活習慣病の予防について

- 介護・介助が必要になった主な原因は、一般高齢者・要支援認定者等ともに「高齢による衰弱」が最も高く、次いで「骨折・転倒」「心臓病」が続いています。（ニーズ調査問 2-1）

（12）機能別リスク該当者割合の状況について

- 機能別リスク該当者の全体平均は、うつ傾向が 42.7%、認知機能が 39.3%、転倒リスクが 30.1%と高くなっています。（Ⅲ 生活機能評価等に関する分析）
- いずれのリスクも概ね加齢とともに増加傾向にありますが、要支援認定者等では一般高齢者に比べ、すべての年代でリスク該当者の割合が高くなっています。（個別調査問 10）

（13）高齢者福祉サービスについて

- 介護保険以外のサービスの認知状況では、日常生活用具の給付や徘徊高齢者等探索サービス、わたしノートなどで「知らない」の割合が高くなっており、周知に課題があります。（個別調査問 10）

2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（国が示した調査項目）

①. 調査票を記入されたのはどなたですか（回答は1つ）

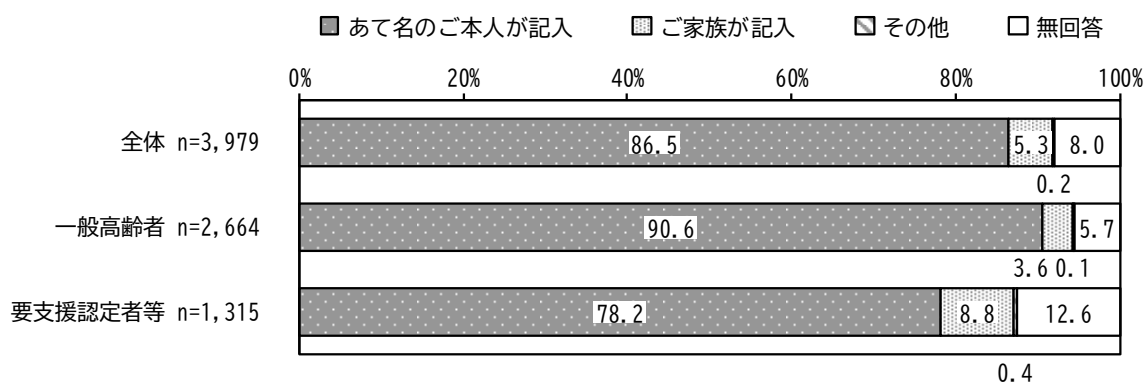
一般高齢者では「あて名のご本人が記入」の割合が90.6%、「ご家族が記入」の割合が3.6%となっています。

要支援認定者等では「あて名のご本人が記入」の割合が78.2%、「ご家族が記入」の割合が8.8%となっています。

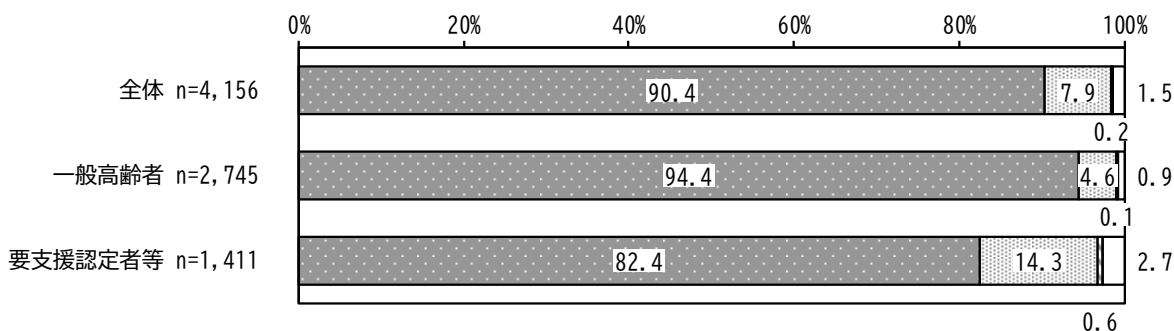
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「あて名のご本人が記入」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「ご家族が記入」の割合が5.5ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



（1）あなたのご家族や生活状況についておうかがいします

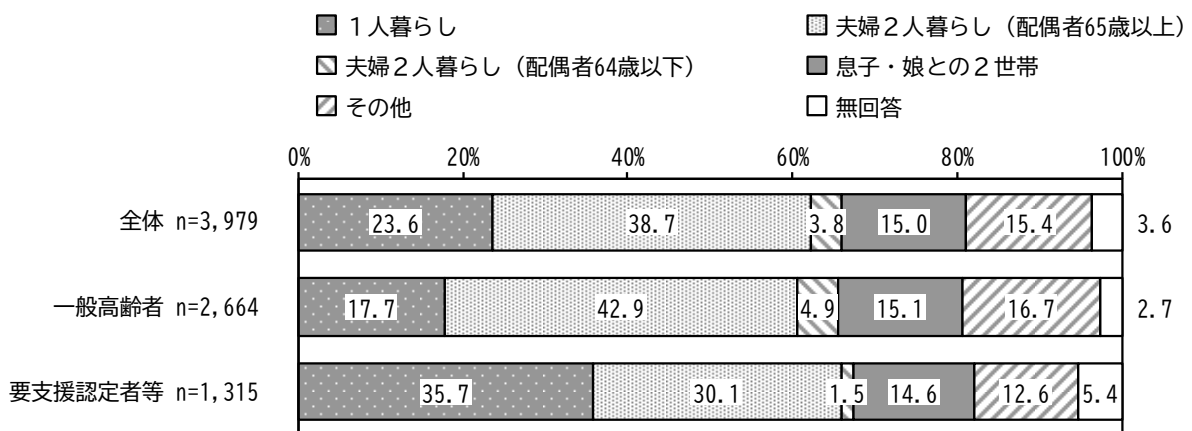
問1 家族構成をお教えてください（回答は1つ）

一般高齢者では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が42.9%と最も高く、次いで「1人暮らし」の割合が17.7%、「息子・娘との2世帯」の割合が15.1%となっています。

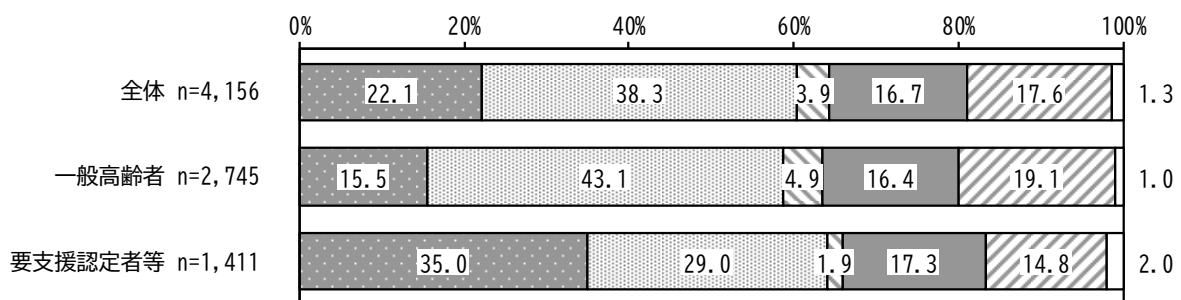
要支援認定者等では「1人暮らし」の割合が35.7%と最も高く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が30.1%、「息子・娘との2世帯」の割合が14.6%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「1人暮らし」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



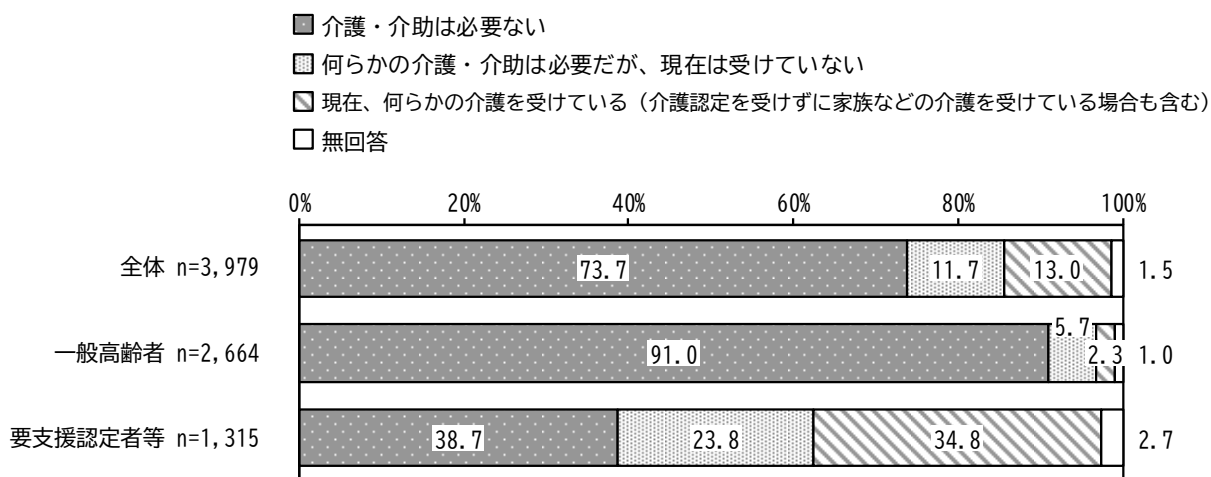
問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（回答は1つ）

一般高齢者では「介護・介助は必要ない」の割合が91.0%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が5.7%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が2.3%となっています。

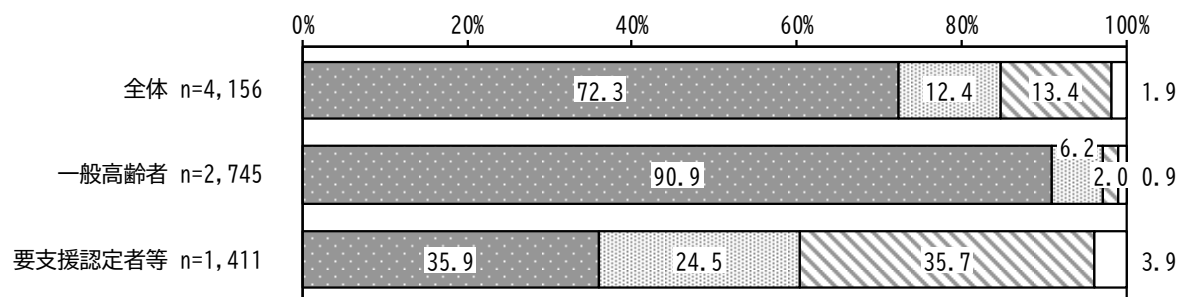
要支援認定者等では「介護・介助は必要ない」の割合が38.7%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」の割合が23.8%、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が34.8%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「介護・介助は必要ない」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問2において「介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

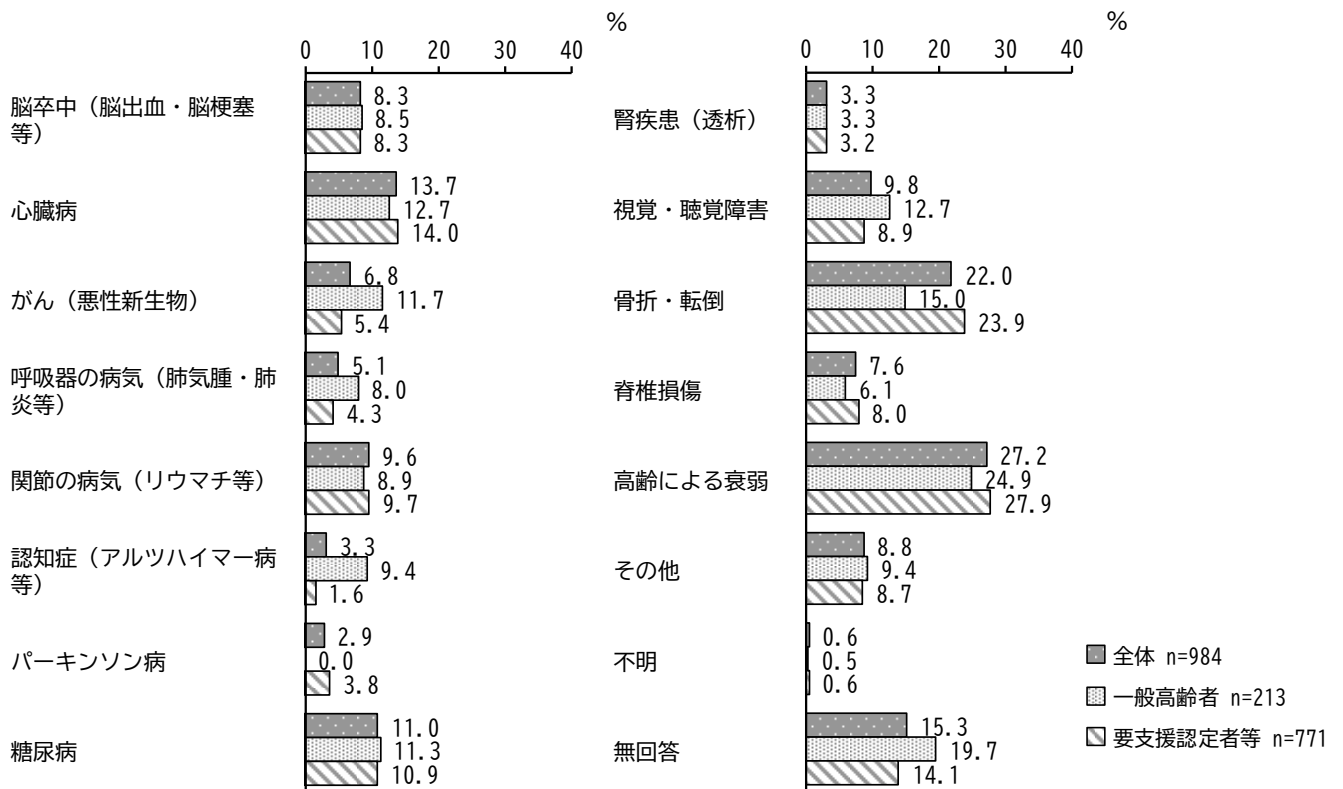
問2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「高齢による衰弱」の割合が24.9%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が15.0%、「心臓病」、「視覚・聴覚障害」の割合が12.7%となっています。

要支援認定者等では「高齢による衰弱」の割合が27.9%と最も高く、次いで「骨折・転倒」の割合が23.9%、「心臓病」の割合が14.0%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「認知症（アルツハイマー病等）」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【問2において「現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

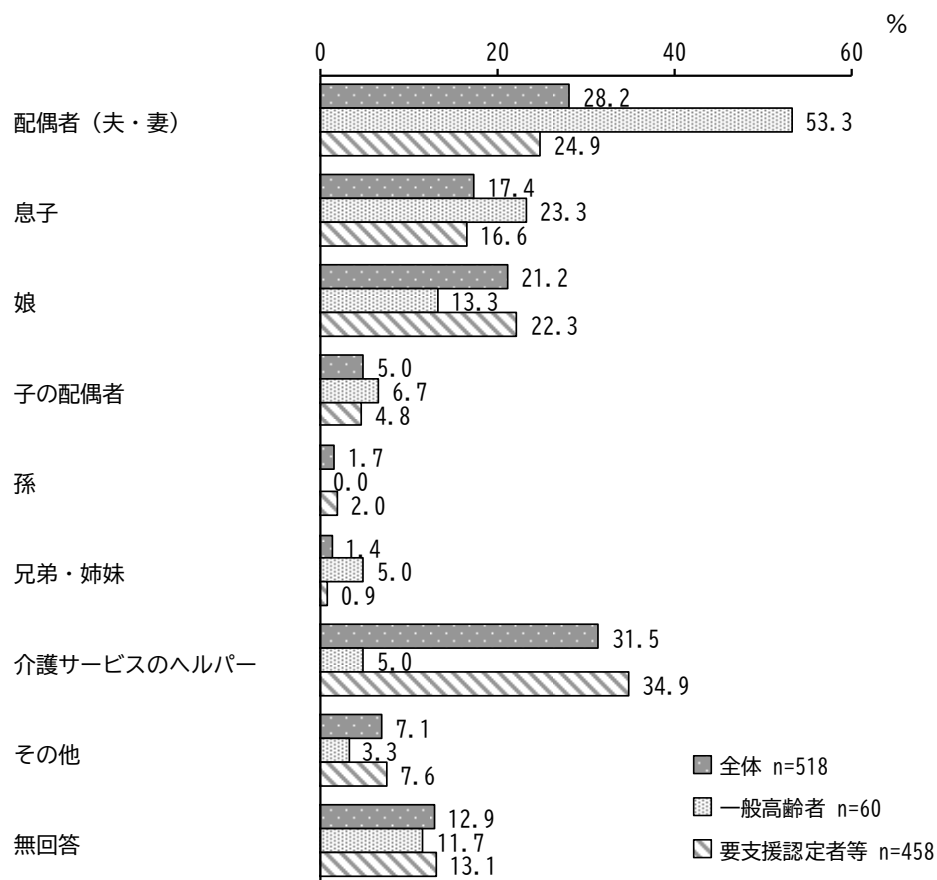
問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「配偶者（夫・妻）」の割合が53.3%と最も高く、次いで「息子」の割合が23.3%、「娘」の割合が13.3%となっています。

要支援認定者等では「介護サービスのヘルパー」の割合が34.9%と最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」の割合が24.9%、「娘」の割合が22.3%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「配偶者（夫・妻）」「息子」の割合が低くなっています。

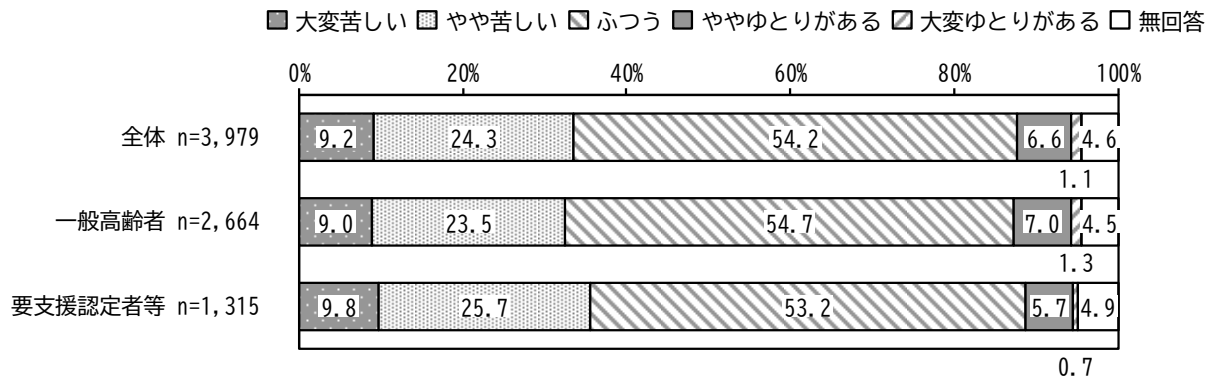
【令和7年度調査】



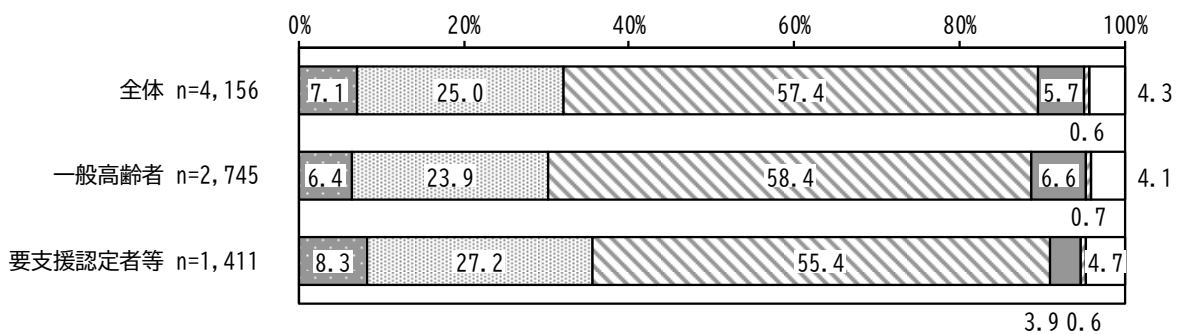
問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（回答は1つ）

一般高齢者では“苦しい”の割合が32.5%、“ゆとりがある”の割合が8.3%となっています。
 要支援認定者等では“苦しい”の割合が35.5%、“ゆとりがある”の割合が6.4%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



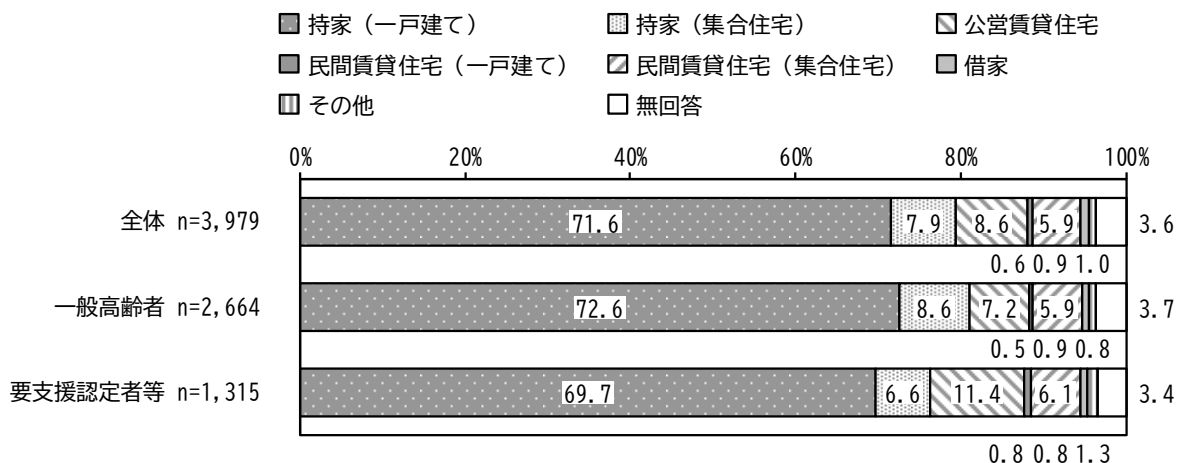
※ “苦しい” は「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた割合
 “ゆとりがある” は「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた割合

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（回答は1つ）

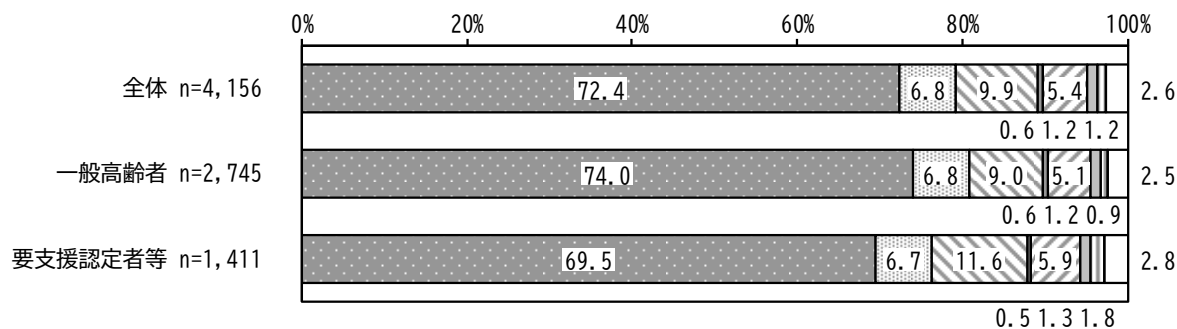
一般高齢者では「持家（一戸建て）」の割合が72.6%と最も高くなっています。

要支援認定者等では「持家（一戸建て）」の割合が69.7%と最も高く、次いで「公営賃貸住宅」の割合が11.4%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



（２）からだを動かすことについておうかがいします

問５ 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（回答は１つ）

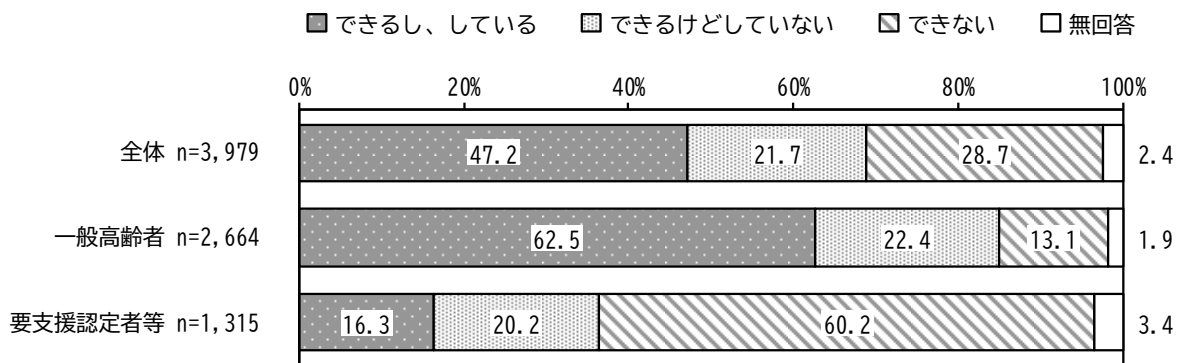
一般高齢者では「できるし、している」の割合が 62.5%、「できるけどしていない」の割合が 22.4%、「できない」の割合が 13.1%となっています。

要支援認定者等では「できるし、している」の割合が 16.3%、「できるけどしていない」の割合が 20.2%、「できない」の割合が 60.2%となっています。

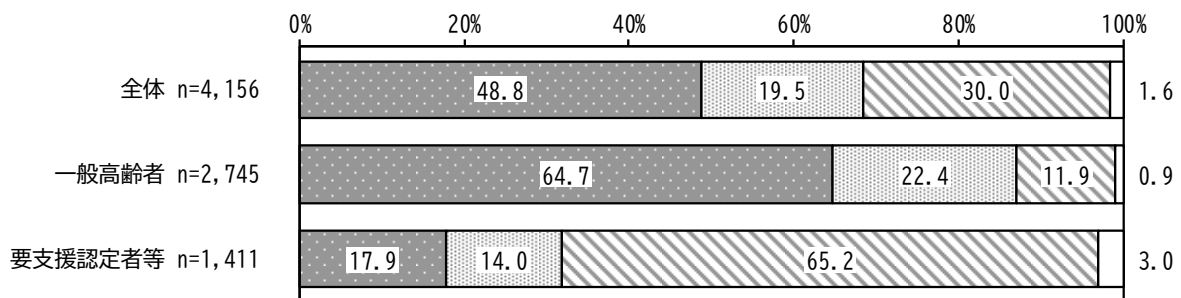
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。

令和４年度調査と比較すると、要支援認定者等で「できるけどしていない」の割合が 6.2 ポイント増加しています。

【令和７年度調査】



【令和４年度調査】



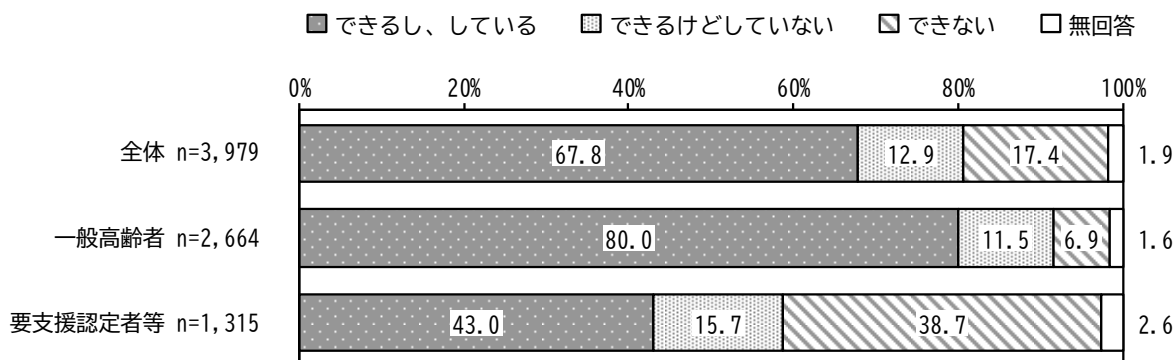
問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「できるし、している」の割合が 80.0%、「できるけどしていない」の割合が 11.5%、「できない」の割合が 6.9%となっています。

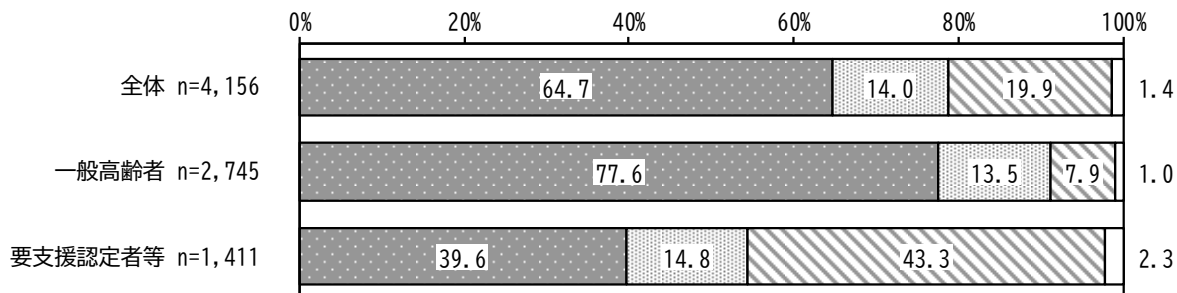
要支援認定者等では「できるし、している」の割合が 43.0%、「できるけどしていない」の割合が 15.7%、「できない」の割合が 38.7%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



問7 15分位続けて歩いていますか（回答は1つ）

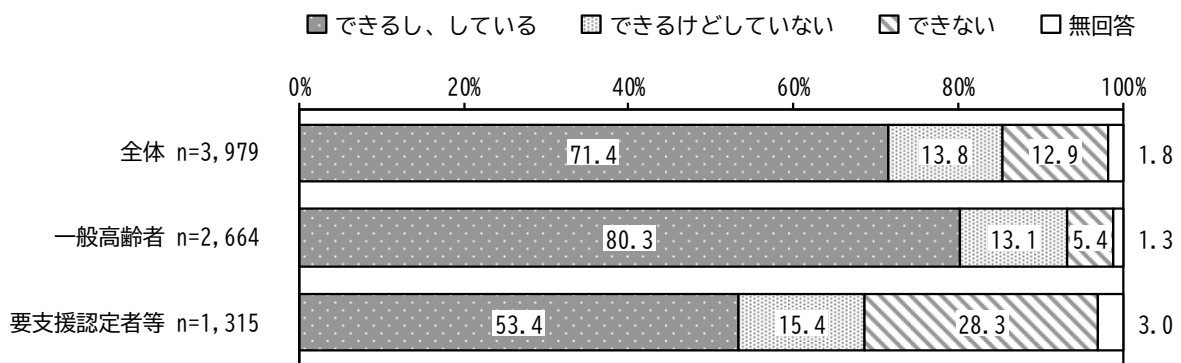
一般高齢者では「できるし、している」の割合が80.3%、「できるけどしていない」の割合が13.1%、「できない」の割合が5.4%となっています。

要支援認定者等では「できるし、している」の割合が53.4%、「できるけどしていない」の割合が15.4%、「できない」の割合が28.3%となっています。

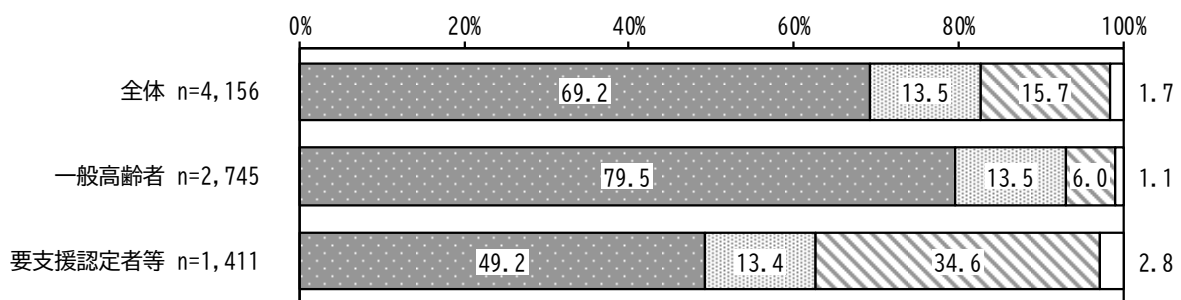
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」の割合が高く、「できるし、している」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「できない」の割合が6.3ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



問8 過去1年間に転んだ経験がありますか（回答は1つ）

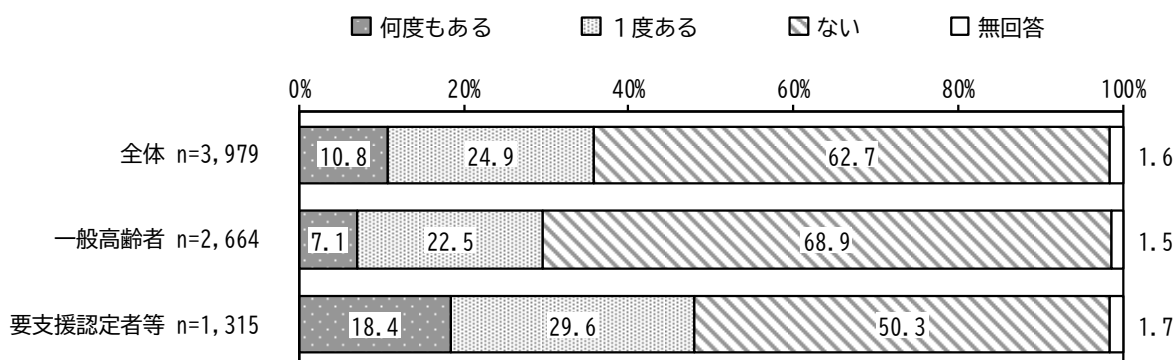
一般高齢者では「何でもある」の割合が7.1%、「1度ある」の割合が22.5%、「ない」の割合が68.9%となっています。

要支援認定者等では「何でもある」の割合が18.4%、「1度ある」の割合が29.6%、「ない」の割合が50.3%となっています。

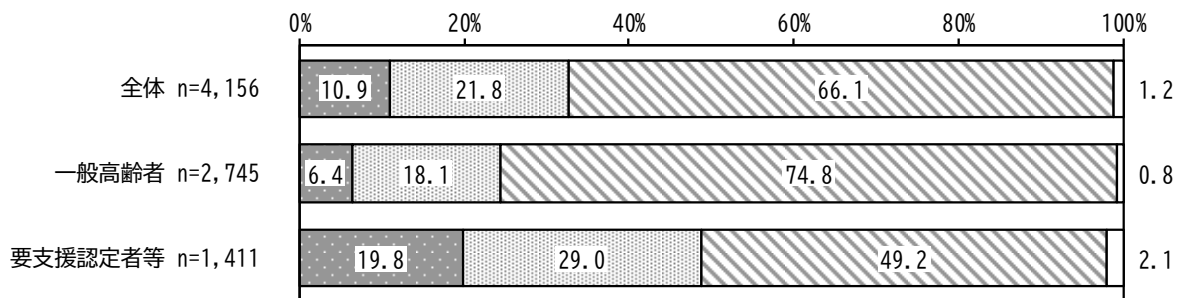
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「何でもある」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「ない」の割合が高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者で「ない」の割合が5.9ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



問9 転倒に対する不安は大きいですか（回答は1つ）

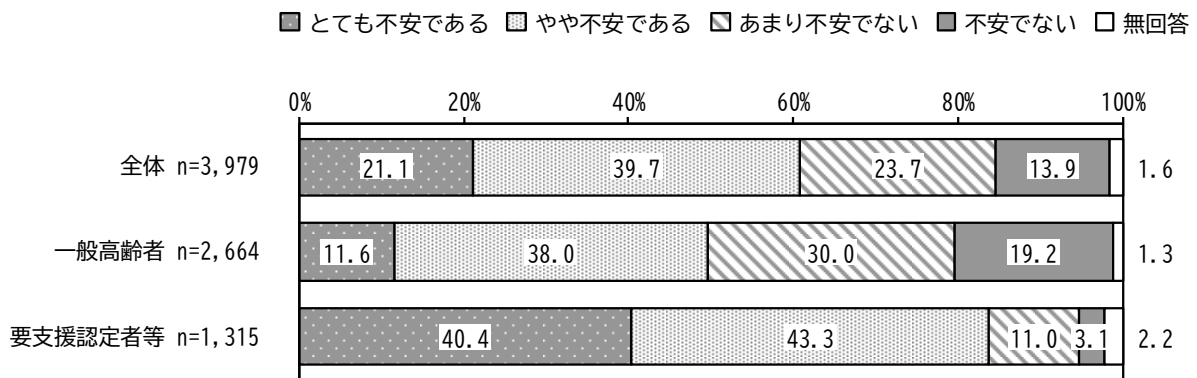
一般高齢者では「やや不安である」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「あまり不安でない」の割合が 30.0%、「不安でない」の割合が 19.2%となっています。

要支援認定者等では「やや不安である」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「とても不安である」の割合が 40.4%、「あまり不安でない」の割合が 11.0%となっています。

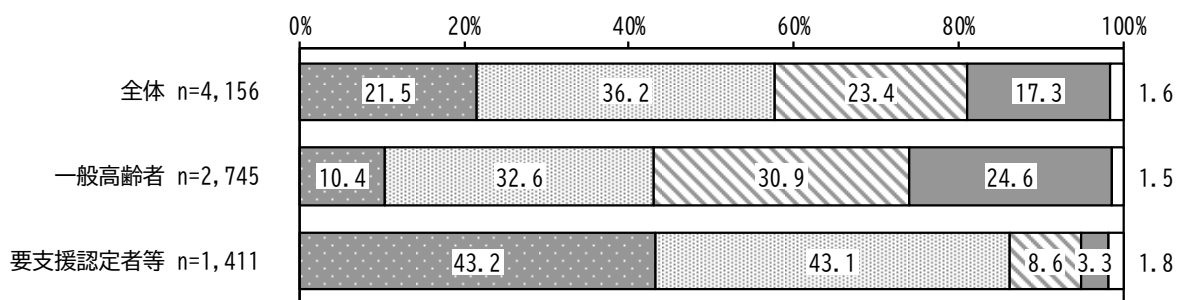
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「とても不安である」の割合が高く、「あまり不安でない」「不安でない」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者で「やや不安である」の割合が 5.4ポイント増加しています。一方、「不安でない」の割合が 5.4ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



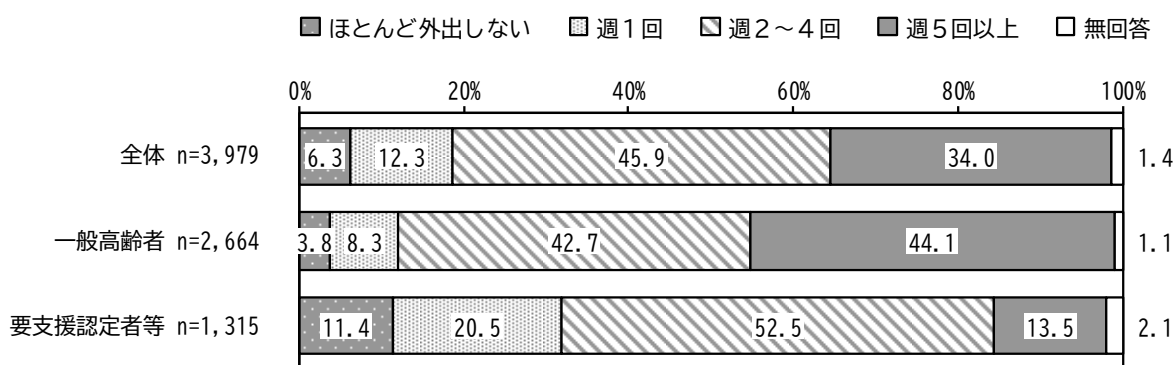
問10 週に1回以上は外出していますか（回答は1つ）

一般高齢者では「週5回以上」の割合が44.1%と最も高く、次いで「週2～4回」の割合が42.7%となっています。

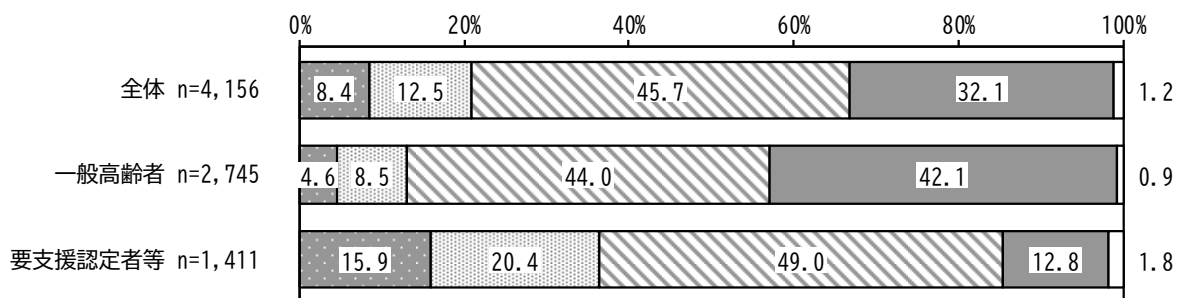
要支援認定者等では「週2～4回」の割合が52.5%と最も高く、次いで「週1回」の割合が20.5%、「週5回以上」の割合が13.5%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「ほとんど外出しない」「週1回」「週2～4回」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「週5回以上」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



問 11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか（回答は1つ）

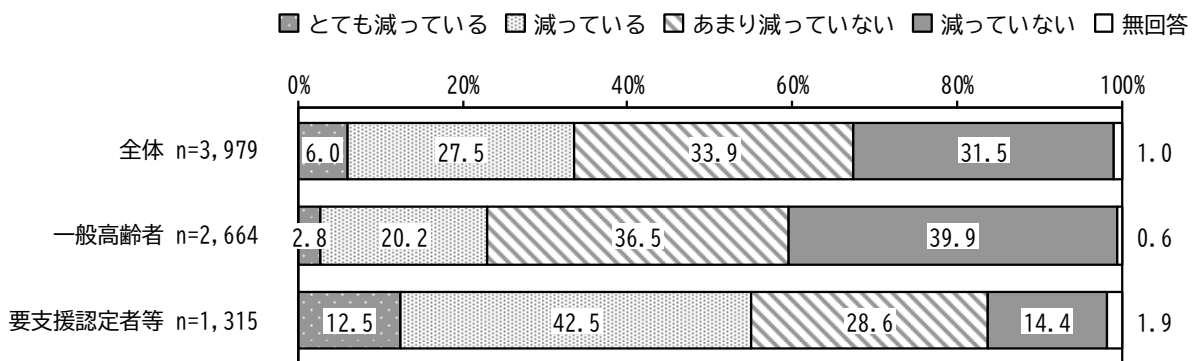
一般高齢者では“減っている”の割合が23.0%、“減っていない”の割合が76.4%となっています。

要支援認定者等では“減っている”の割合が55.0%、“減っていない”の割合が43.0%となっています。

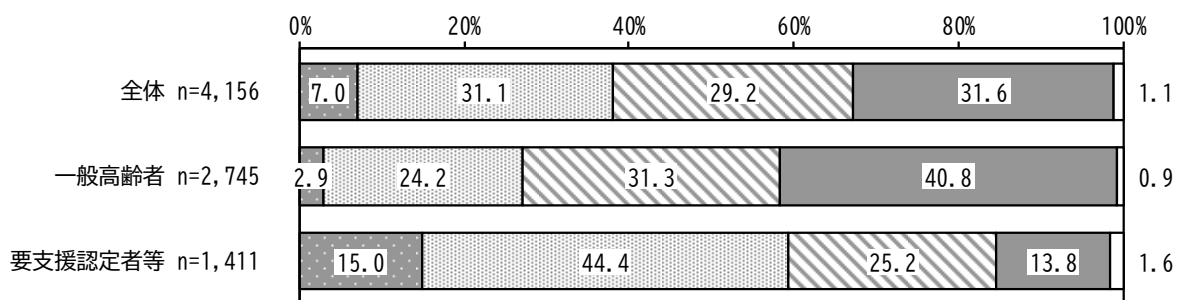
要介護状態区別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で“減っている”の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で“減っていない”の割合が高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者で「あまり減っていない」の割合が5.2ポイント増加しています。また、“減っている”の割合は一般高齢者で4.1ポイント、要支援認定者等で4.4ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



※ “減っている” は「とても減っている」と「減っている」を合わせた割合
 “減っていない” は「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた割合

問12 外出を控えていますか（回答は1つ）

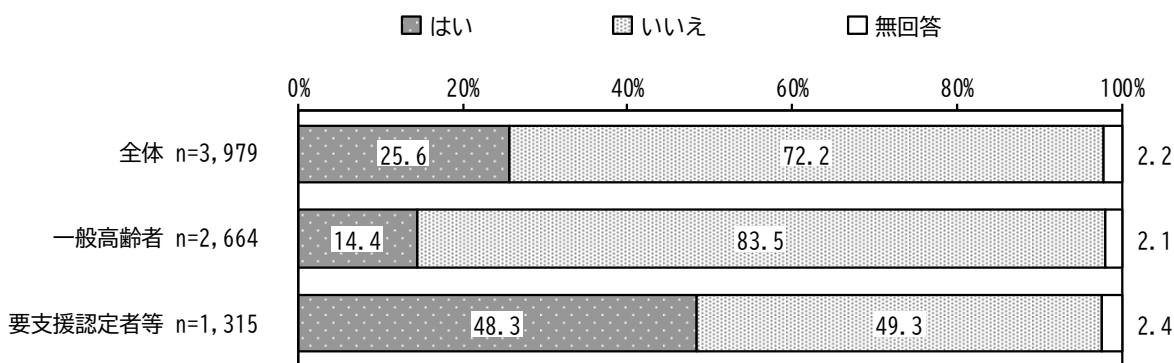
一般高齢者では「はい」の割合が14.4%、「いいえ」の割合が83.5%となっています。

要支援認定者等では「はい」の割合が48.3%、「いいえ」の割合が49.3%となっています。

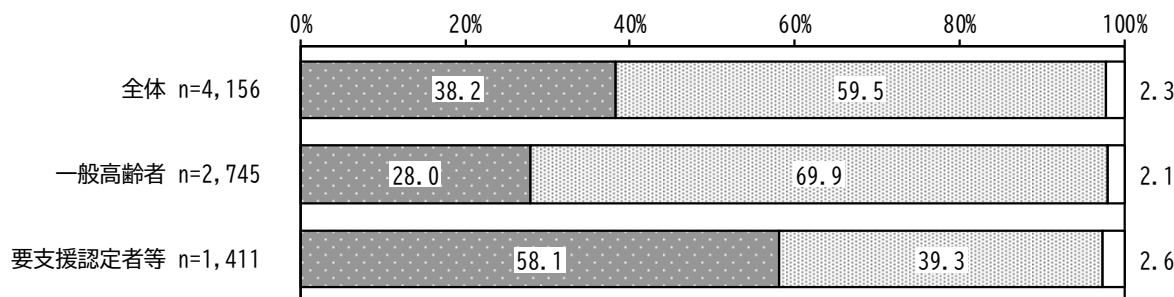
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「いいえ」の割合が高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が一般高齢者で13.6ポイント、要支援認定者で10ポイント増加しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問12で「はい」（外出を控えている）の方のみ】

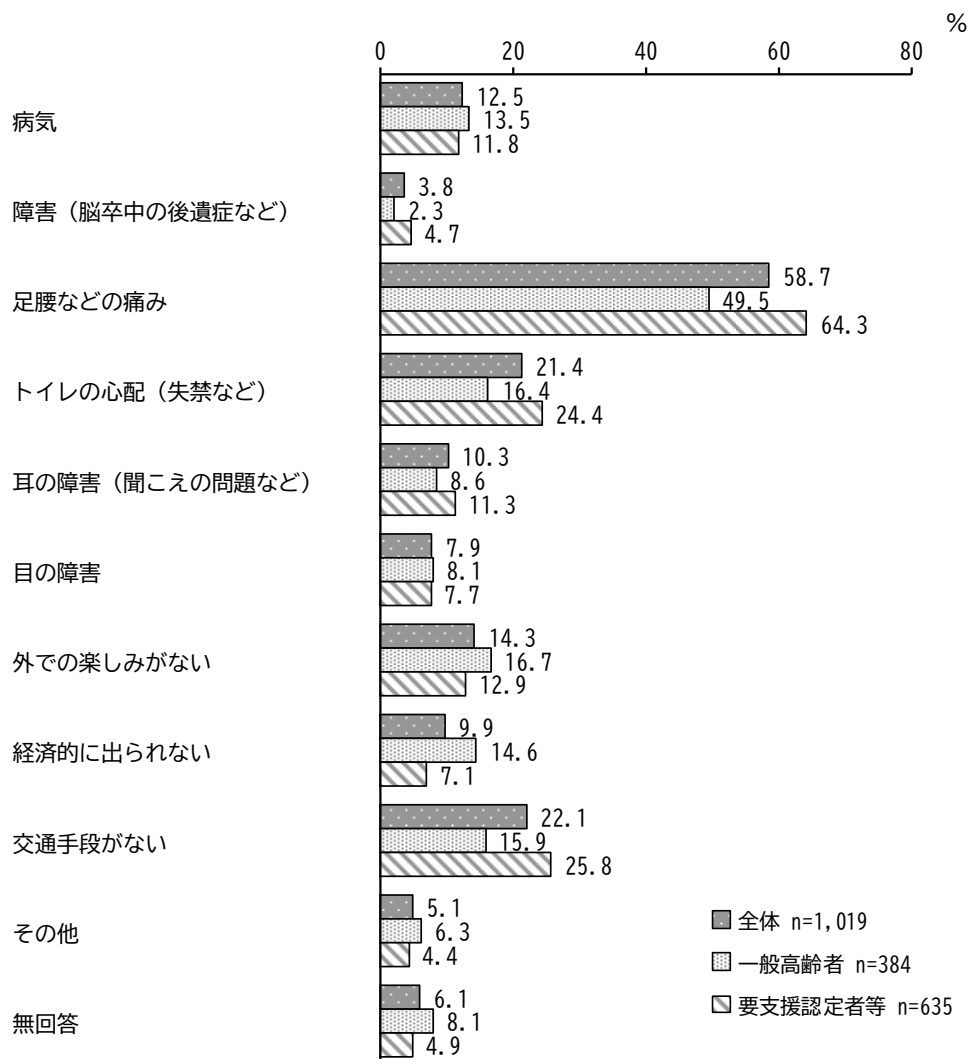
問12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「足腰などの痛み」の割合が49.5%と最も高く、次いで「外での楽しみがない」の割合が16.7%、「トイレの心配（失禁など）」の割合が16.4%となっています。

要支援認定者等では「足腰などの痛み」の割合が64.3%と最も高く、次いで「交通手段がない」の割合が25.8%、「トイレの心配（失禁など）」の割合が24.4%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「足腰などの痛み」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



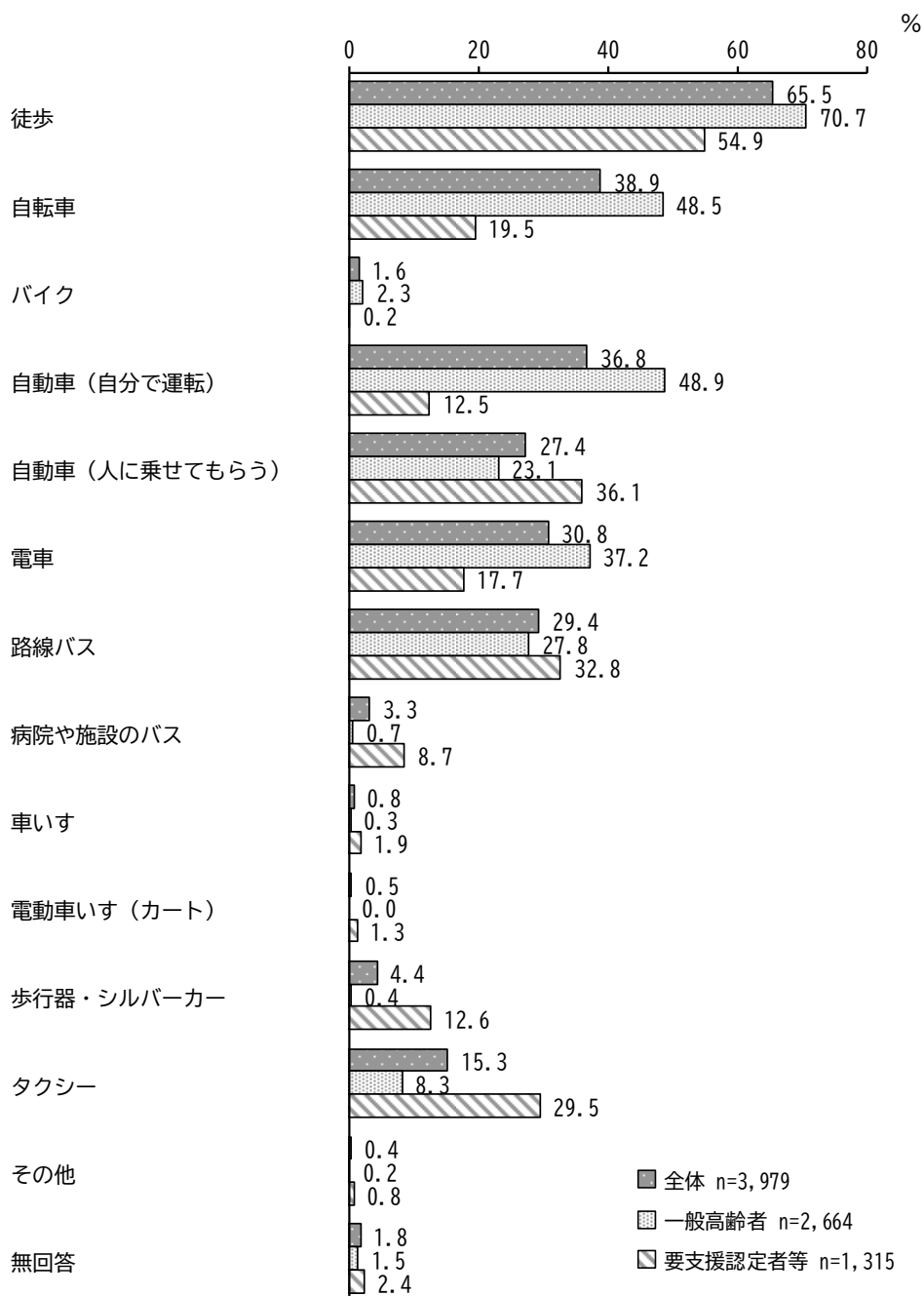
問13 外出する際の移動手段は何ですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「徒歩」の割合が70.7%と最も高く、次いで「自動車(自分で運転)」の割合が48.9%、「自転車」の割合が48.5%となっています。

要支援認定者等では「徒歩」の割合が54.9%と最も高く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」の割合が36.1%、「路線バス」の割合が32.8%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「自動車(人に乗せてもらう)」「病院や施設のバス」「歩行器・シルバーカー」「タクシー」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「徒歩」「自転車」「自動車(自分で運転)」「電車」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



（3）食べることについておうかがいします

問 14 身長・体重をご記入ください

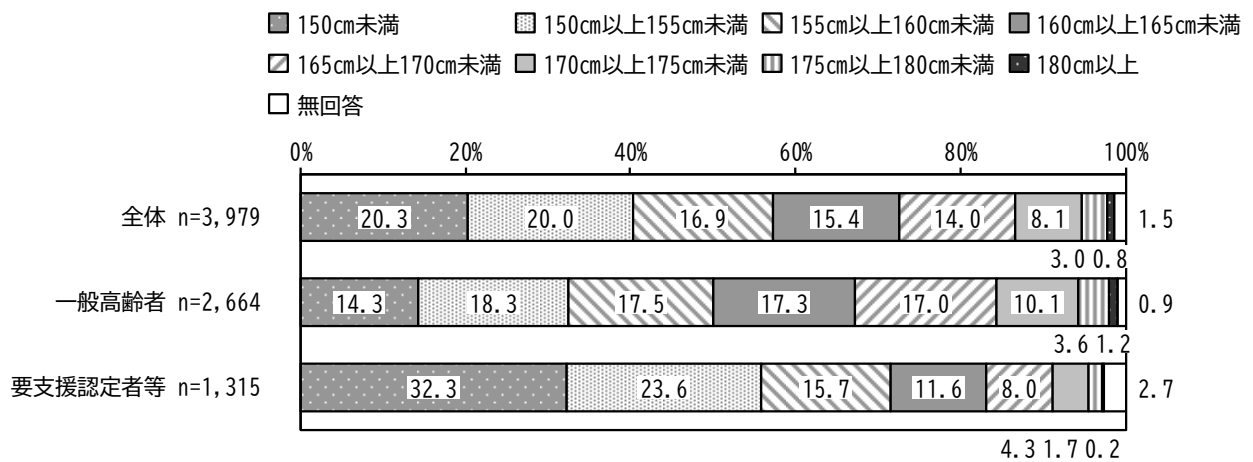
身長（cm）

一般高齢者では「150cm 以上 155cm 未満」の割合が 18.3%と最も高く、次いで「155cm 以上 160cm 未満」の割合が 17.5%、「160cm 以上 165cm 未満」の割合が 17.3%となっています。

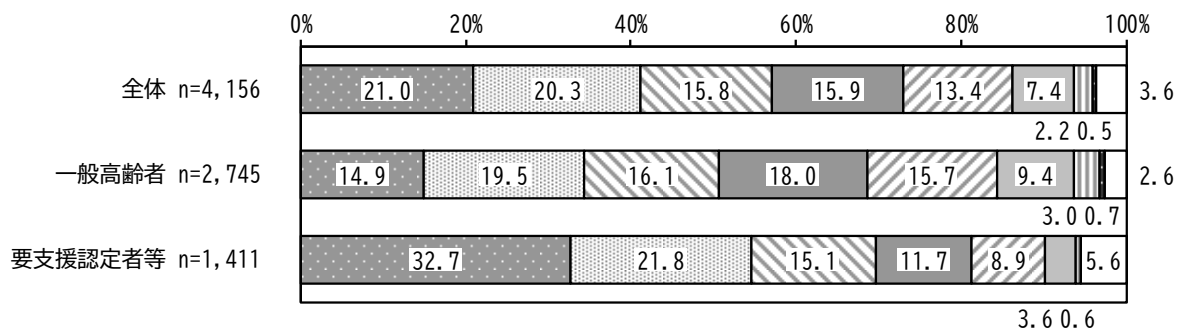
要支援認定者等では「150cm 未満」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「150cm 以上 155cm 未満」の割合が 23.6%、「155cm 以上 160cm 未満」の割合が 15.7%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「150cm 未満」の割合が高く、「165cm 以上 170cm 未満」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



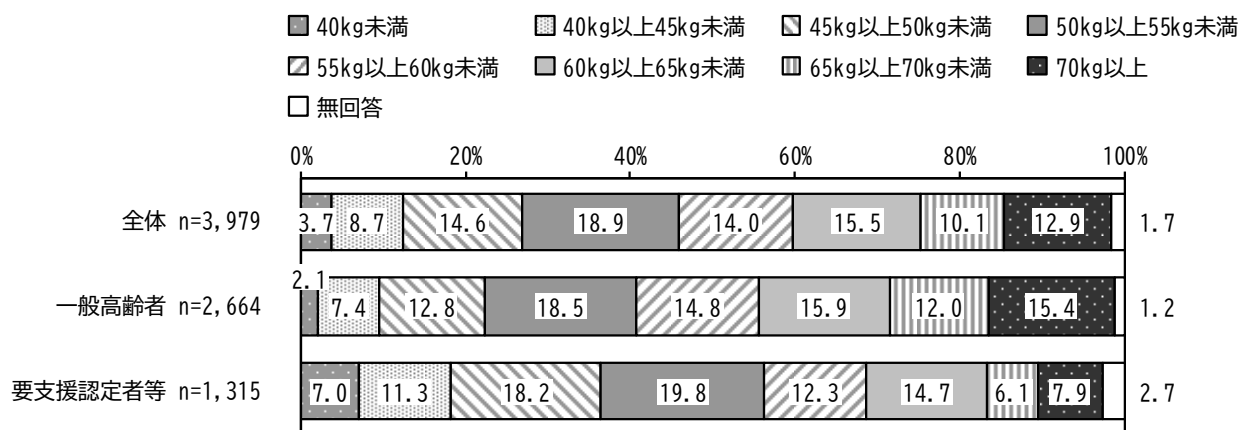
体重

一般高齢者では「50kg 以上 55kg 未満」の割合が 18.5%と最も高く、次いで「60kg 以上 65kg 未満」の割合が 15.9%、「70kg 以上」の割合が 15.4%となっています。

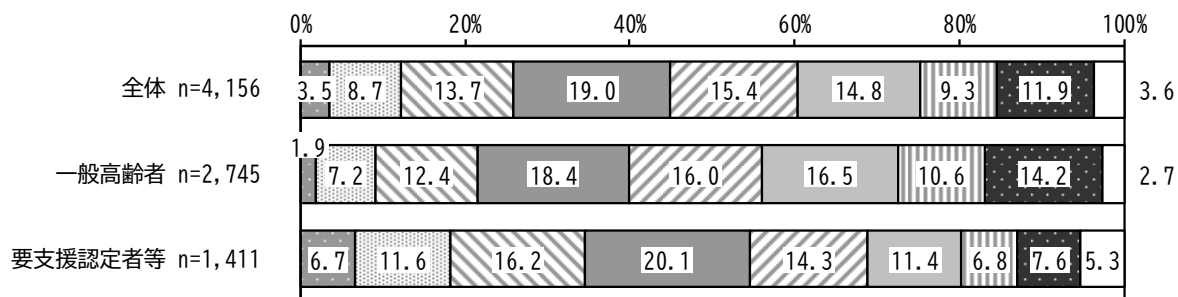
要支援認定者等では「50kg 以上 55kg 未満」の割合が 19.8%と最も高く、次いで「45kg 以上 50kg 未満」の割合が 18.2%、「60kg 以上 65kg 未満」の割合が 14.7%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「70kg 以上」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

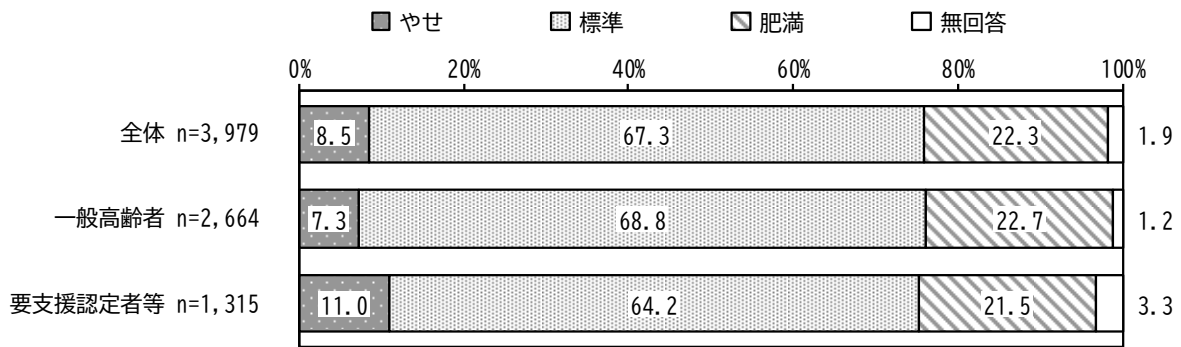


BMI

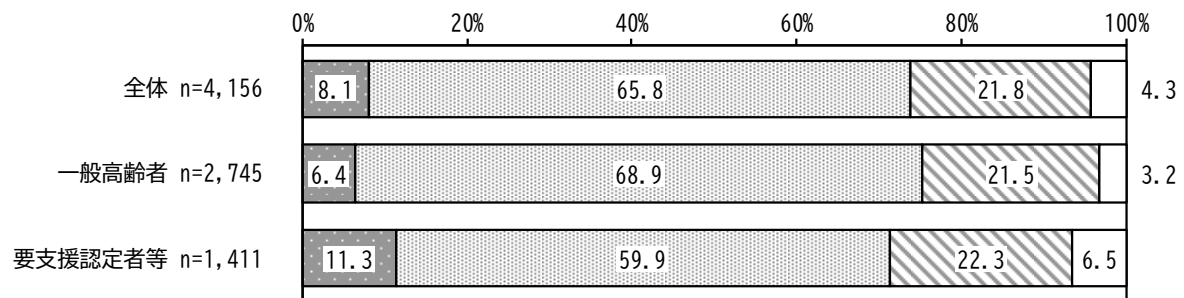
一般高齢者では「やせ」の割合が 7.3%、「標準」の割合が 68.8%、「肥満」の割合が 22.7%となっています。

要支援認定者等では「やせ」の割合が 11.0%、「標準」の割合が 64.2%、「肥満」の割合が 21.5%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



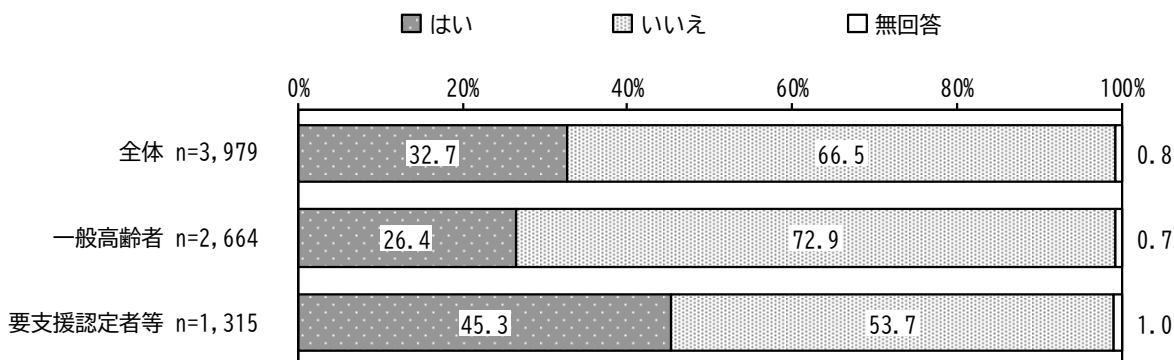
問 15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が26.4%、「いいえ」の割合が72.9%となっています。

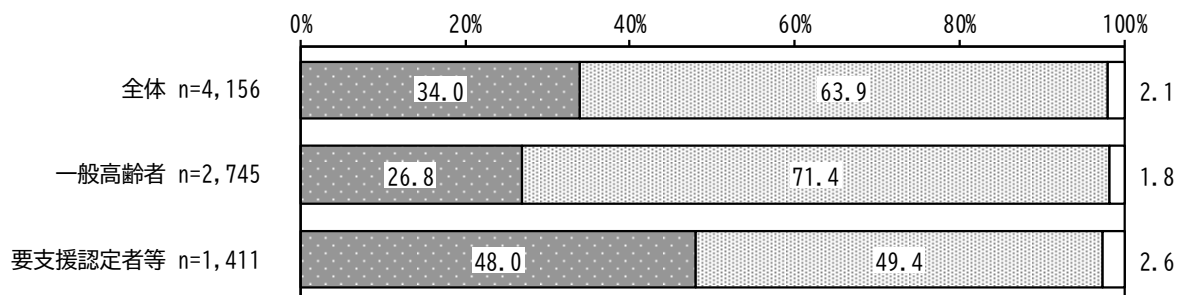
要支援認定者等では「はい」の割合が45.3%、「いいえ」の割合が53.7%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



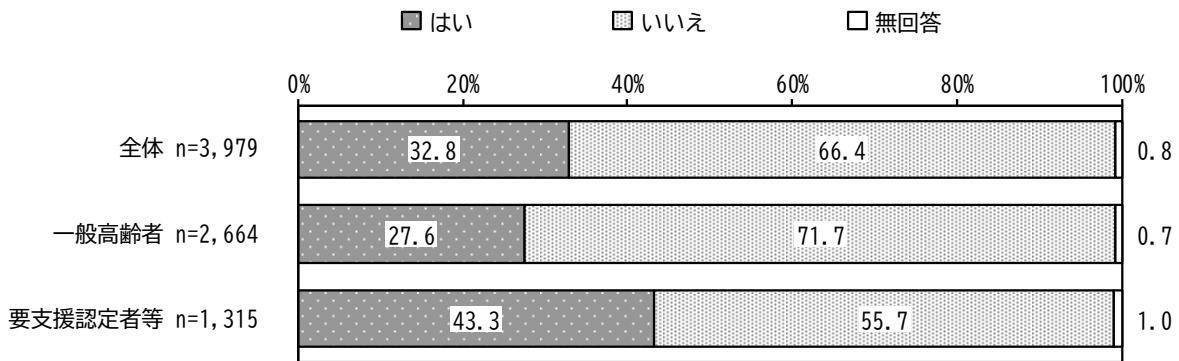
問16 お茶や汁物等でむせることがありますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が27.6%、「いいえ」の割合が71.7%となっています。

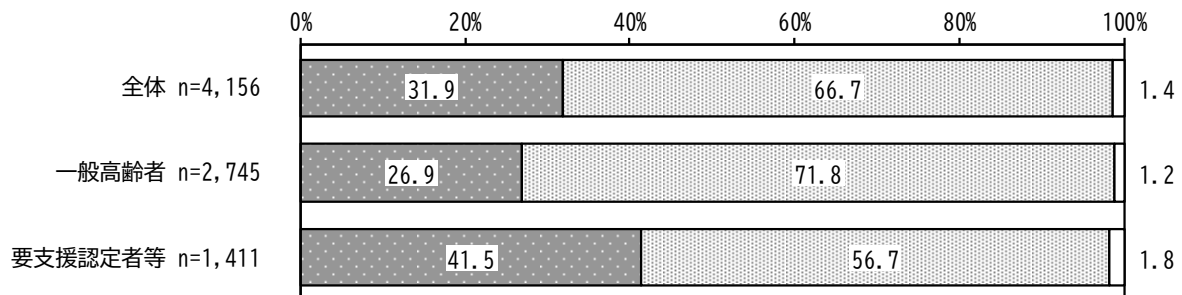
要支援認定者等では「はい」の割合が43.3%、「いいえ」の割合が55.7%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



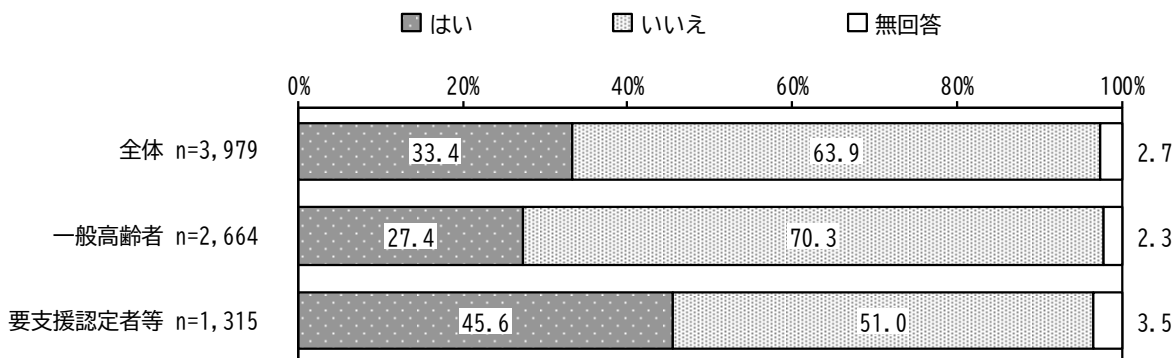
問 17 口の渇きが気になりますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が27.4%、「いいえ」の割合が70.3%となっています。

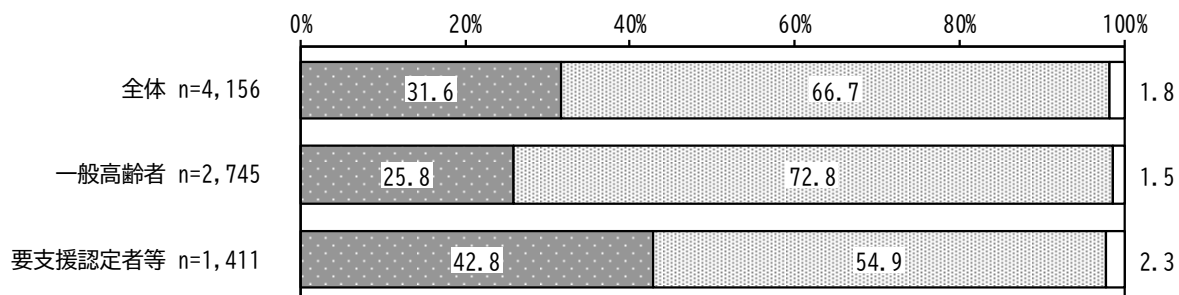
要支援認定者等では「はい」の割合が45.6%、「いいえ」の割合が51.0%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

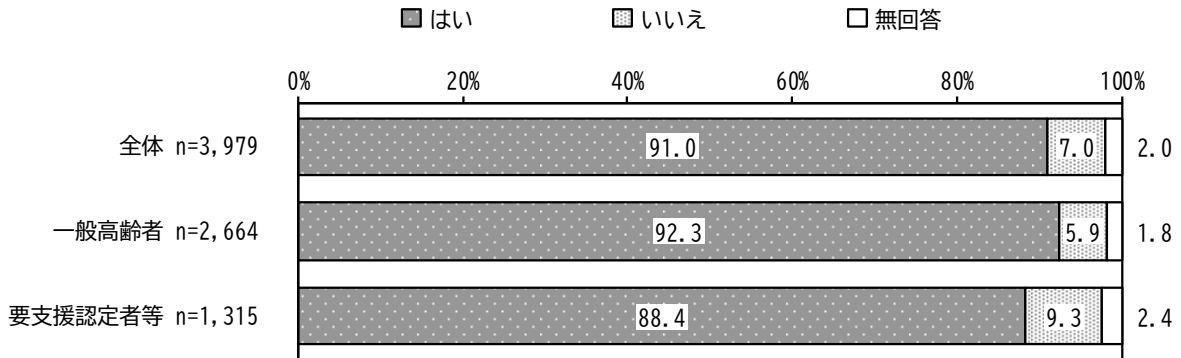


問18 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（回答は1つ）

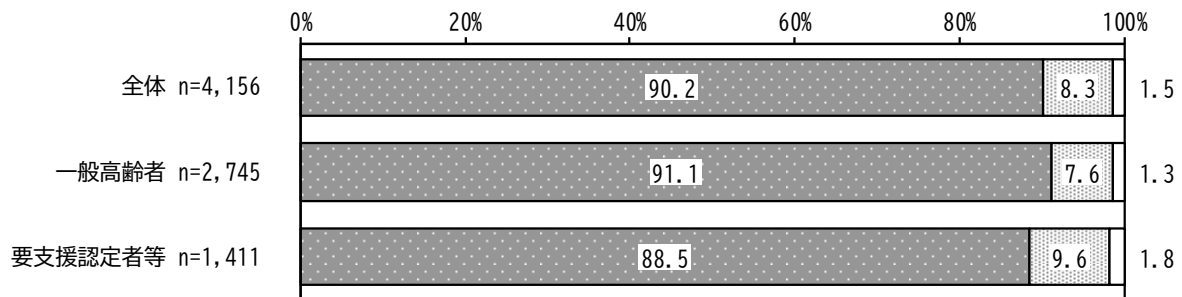
一般高齢者では「はい」の割合が92.3%、「いいえ」の割合が5.9%となっています。

要支援認定者等では「はい」の割合が88.4%、「いいえ」の割合が9.3%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



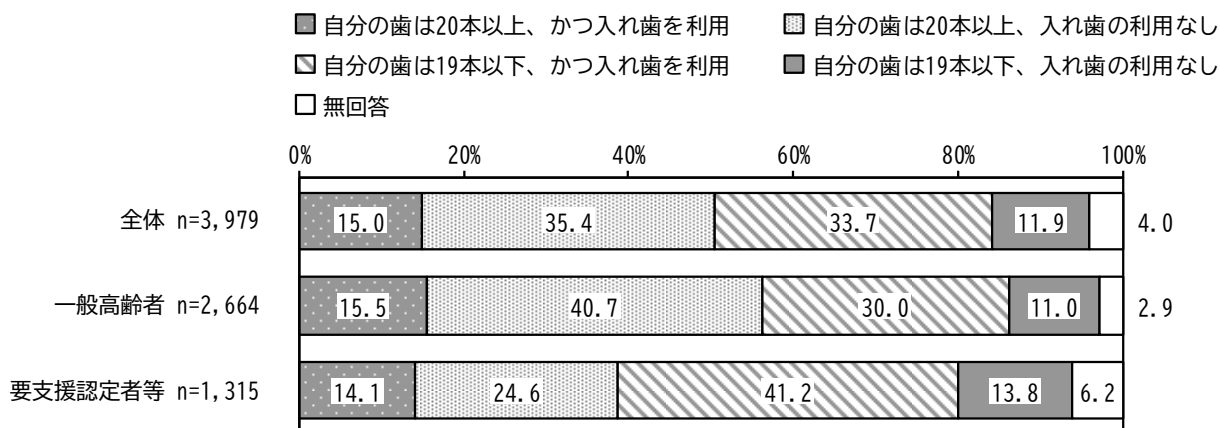
問 19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。
 （成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です）（回答は 1 つ）

一般高齢者では「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 30.0%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 15.5%となっています。

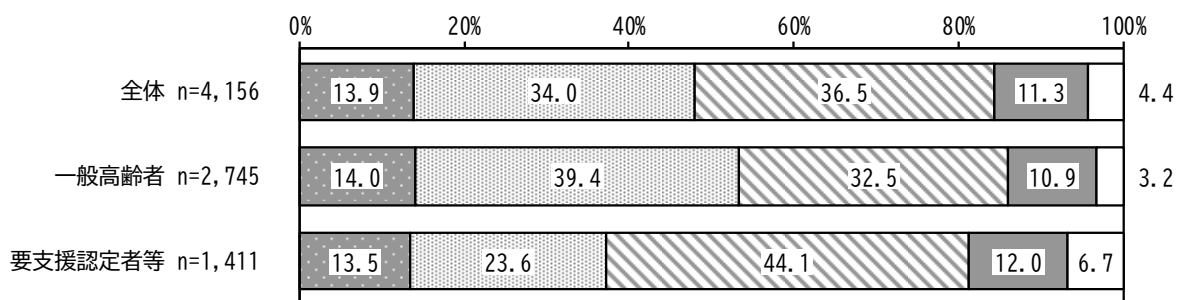
要支援認定者等では「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が 24.6%、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」の割合が 14.1%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」の割合が高くなっています。

【令和 7 年度調査】



【令和 4 年度調査】



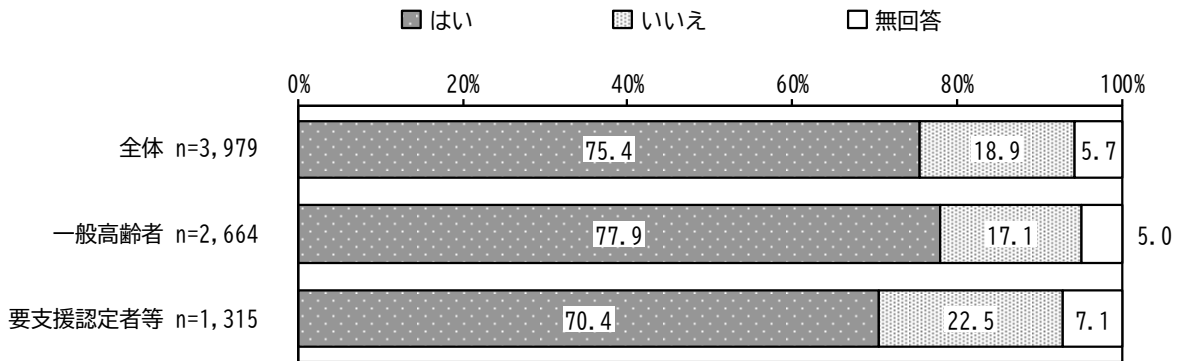
問19-1 噛み合わせは良いですか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が77.9%、「いいえ」の割合が17.1%となっています。

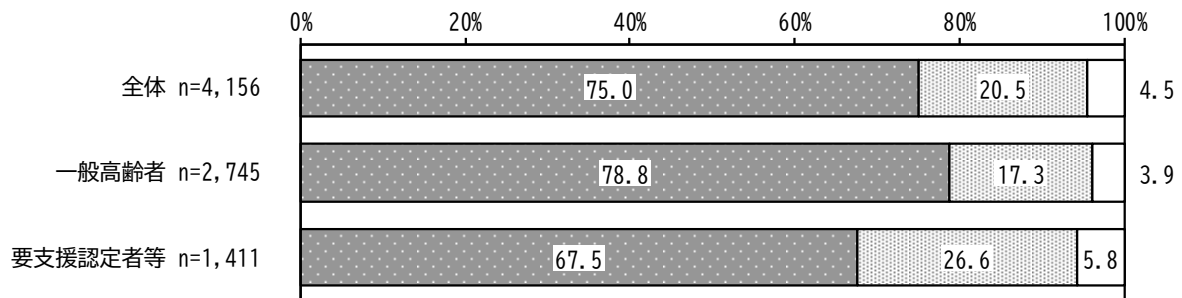
要支援認定者等では「はい」の割合が70.4%、「いいえ」の割合が22.5%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

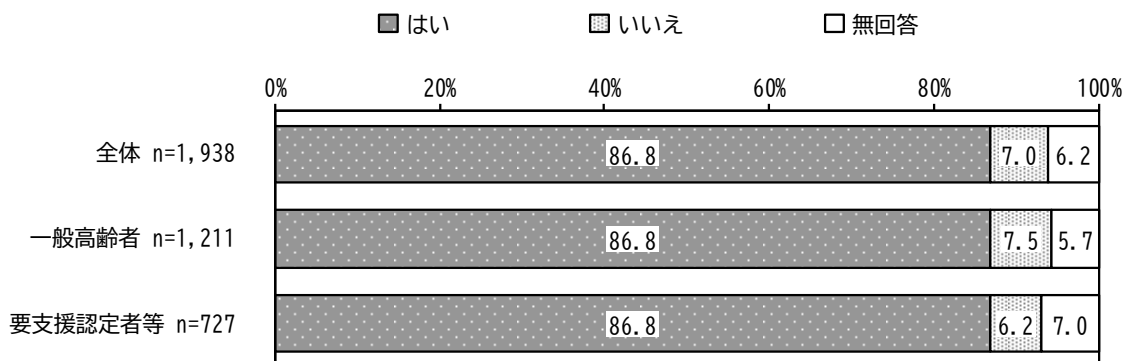


【問 19 で「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】

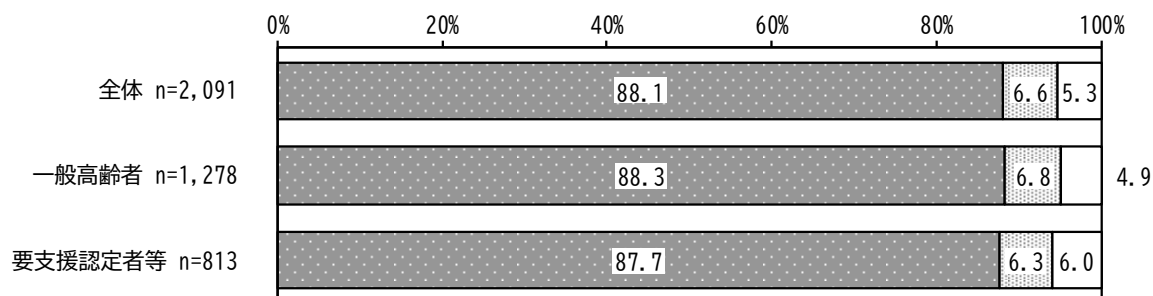
問 19-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか（回答は 1 つ）

一般高齢者では「はい」の割合が 86.8%、「いいえ」の割合が 7.5%となっています。
 要支援認定者等では「はい」の割合が 86.8%、「いいえ」の割合が 6.2%となっています。

【令和 7 年度調査】



【令和 4 年度調査】



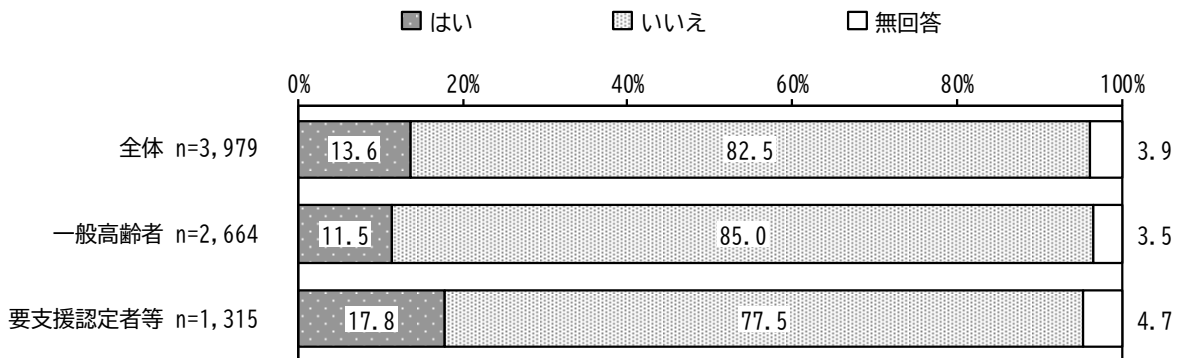
問 20 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が11.5%、「いいえ」の割合が85.0%となっています。

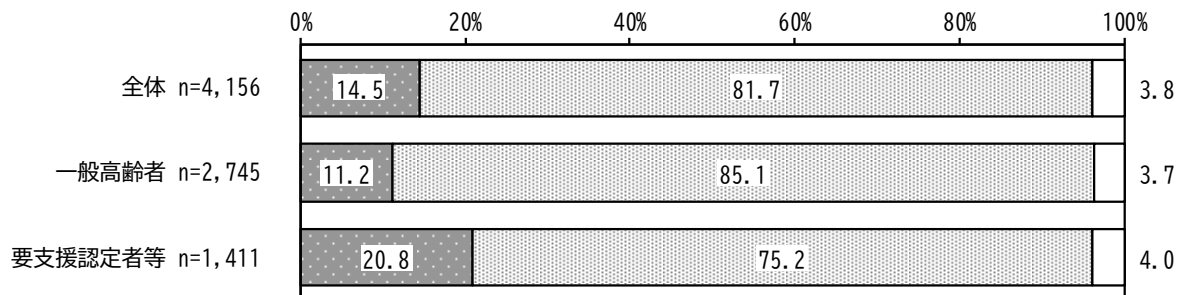
要支援認定者等では「はい」の割合が17.8%、「いいえ」の割合が77.5%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



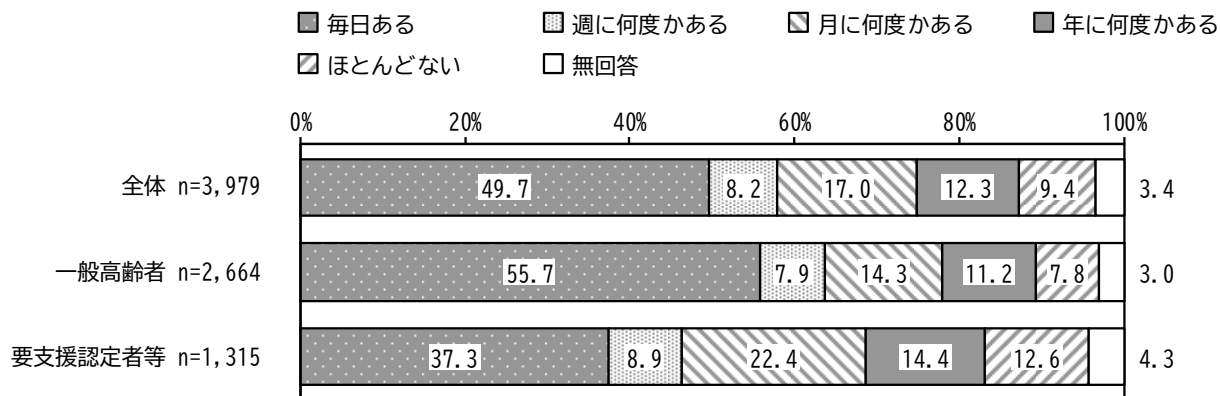
問 21 どなたかと食事をとにもする機会がありますか（回答は1つ）

一般高齢者では「毎日ある」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 14.3%、「年に何度かある」の割合が 11.2%となっています。

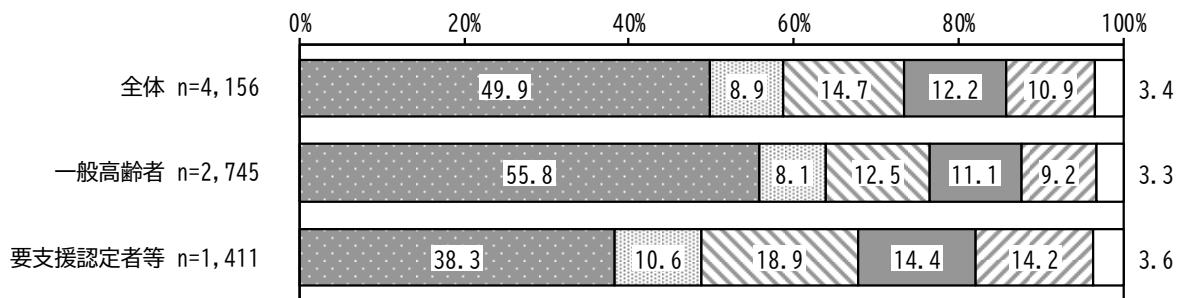
要支援認定者等では「毎日ある」の割合が 37.3%と最も高く、次いで「月に何度かある」の割合が 22.4%、「年に何度かある」の割合が 14.4%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「月に何度かある」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「毎日ある」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



（４）毎日の生活についておうかがいします

問 22 物忘れが多いと感じますか（回答は1つ）

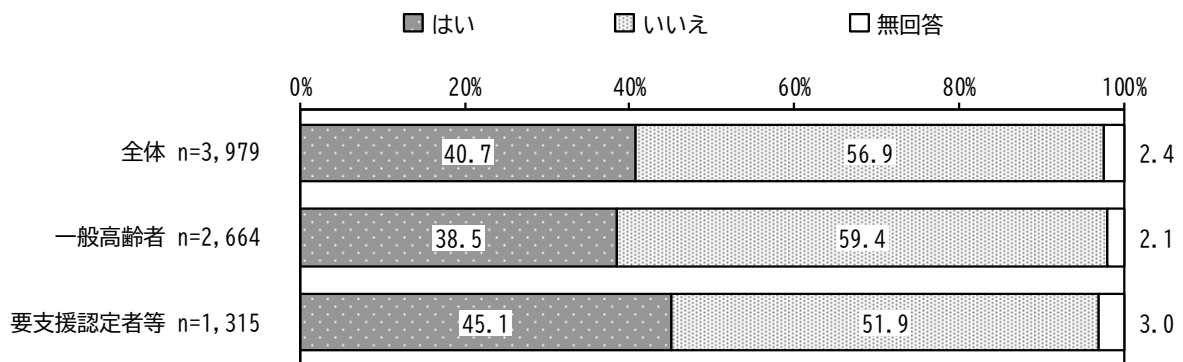
一般高齢者では「はい」の割合が38.5%、「いいえ」の割合が59.4%となっています。

要支援認定者等では「はい」の割合が45.1%、「いいえ」の割合が51.9%となっています。

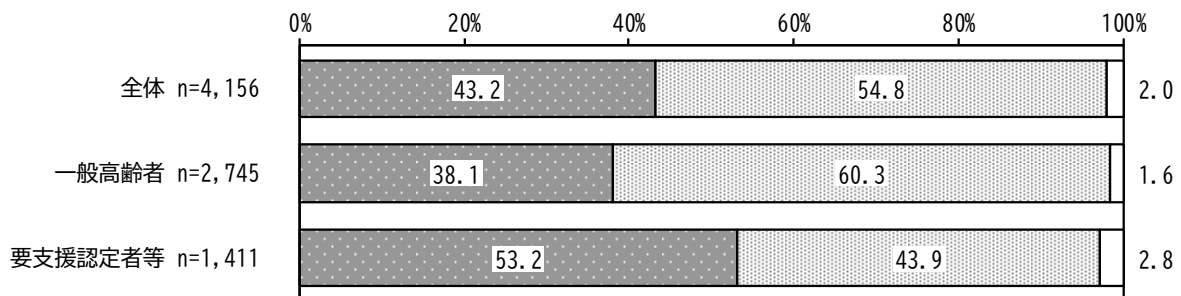
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「はい」の割合が8.1ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



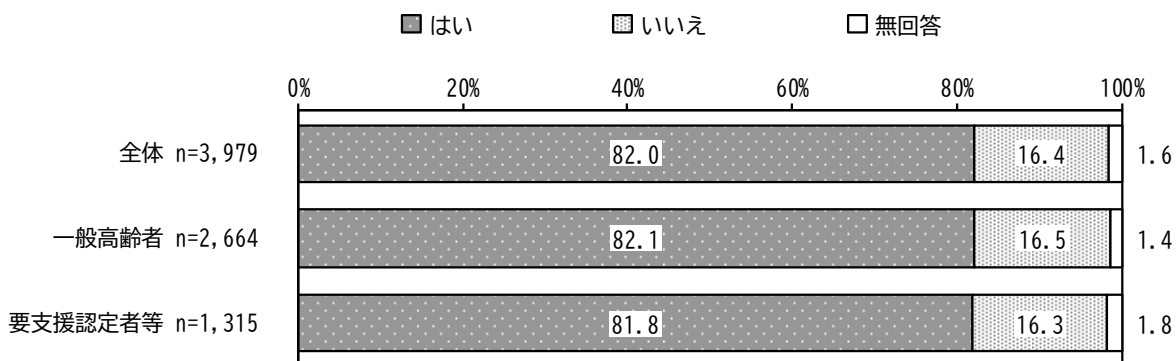
【令和4年度調査】



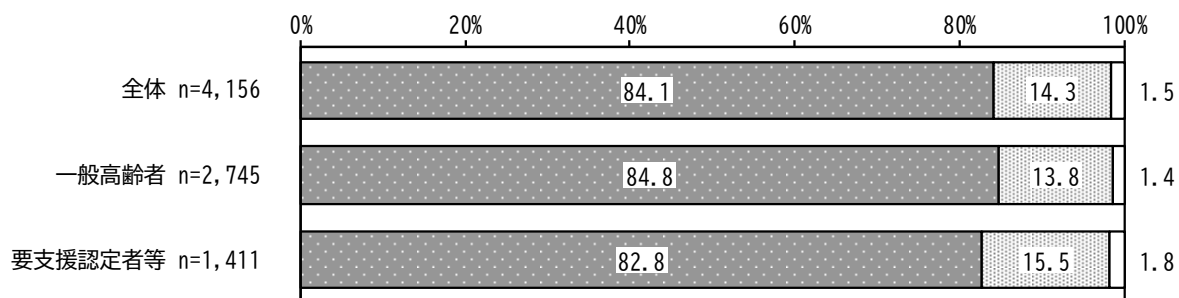
問 23 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が 82.1%、「いいえ」の割合が 16.5%となっています。
 要支援認定者等では「はい」の割合が 81.8%、「いいえ」の割合が 16.3%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



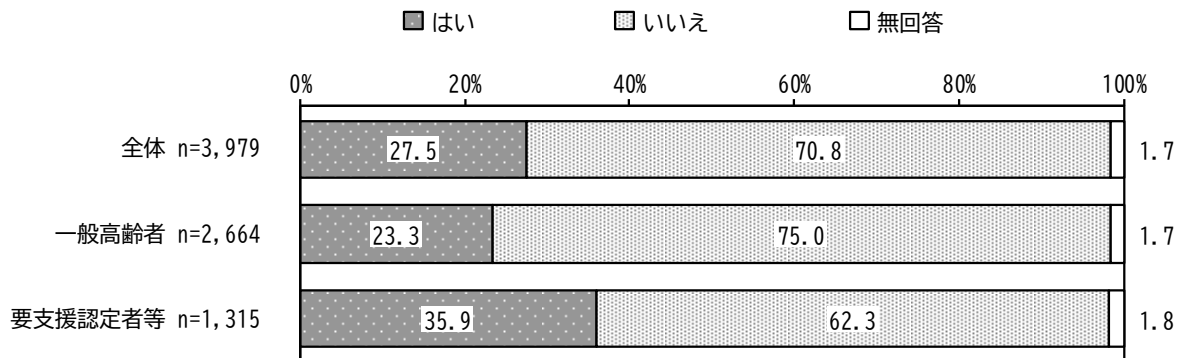
問 24 今日が何月何日かわからないときがありますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が23.3%、「いいえ」の割合が75.0%となっています。

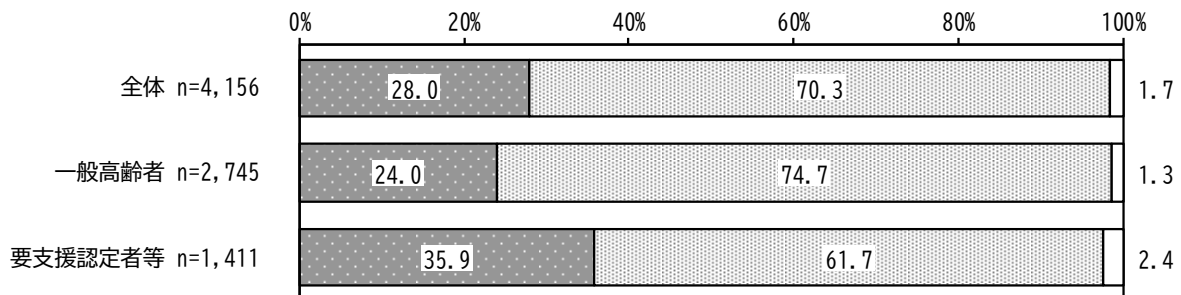
要支援認定者等では「はい」の割合が35.9%、「いいえ」の割合が62.3%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



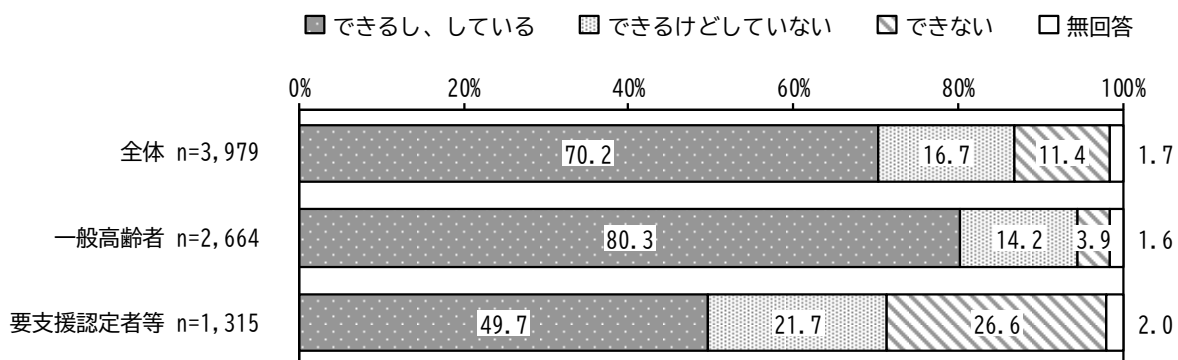
問 25 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（回答は1つ）

一般高齢者では「できるし、している」の割合が 80.3%、「できるけどしていない」の割合が 14.2%、「できない」の割合が 3.9%となっています。

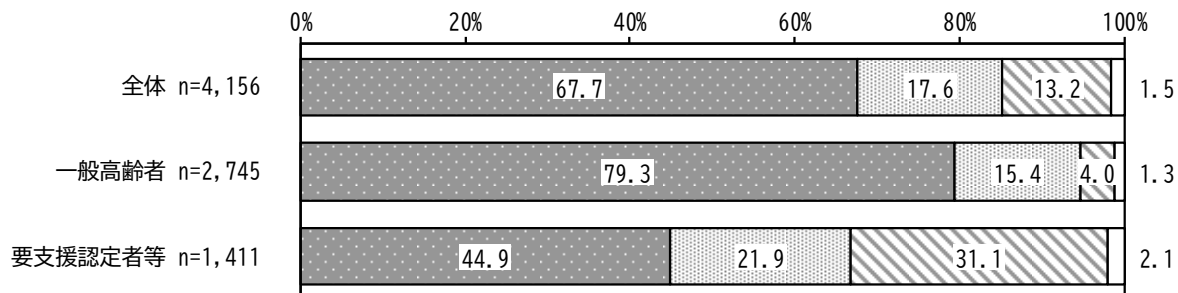
要支援認定者等では「できるし、している」の割合が 49.7%、「できるけどしていない」の割合が 21.7%、「できない」の割合が 26.6%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



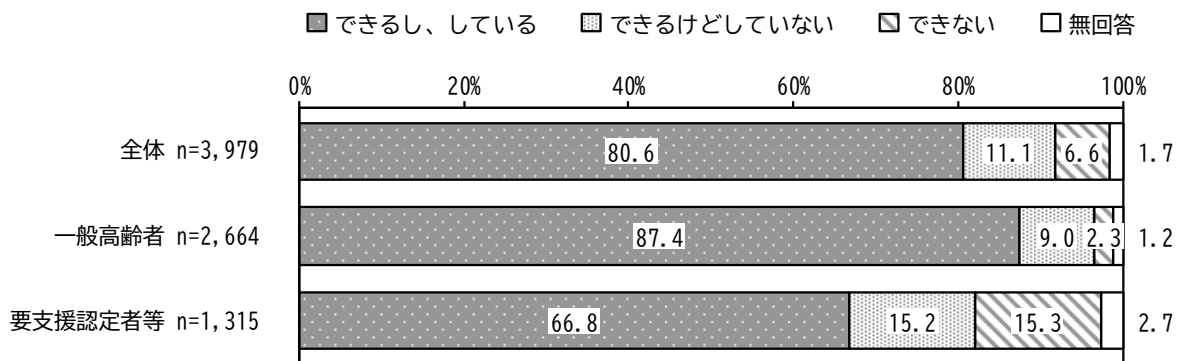
問 26 自分で食品・日用品の買物をしていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「できるし、している」の割合が 87.4%、「できるけどしていない」の割合が 9.0%、「できない」の割合が 2.3%となっています。

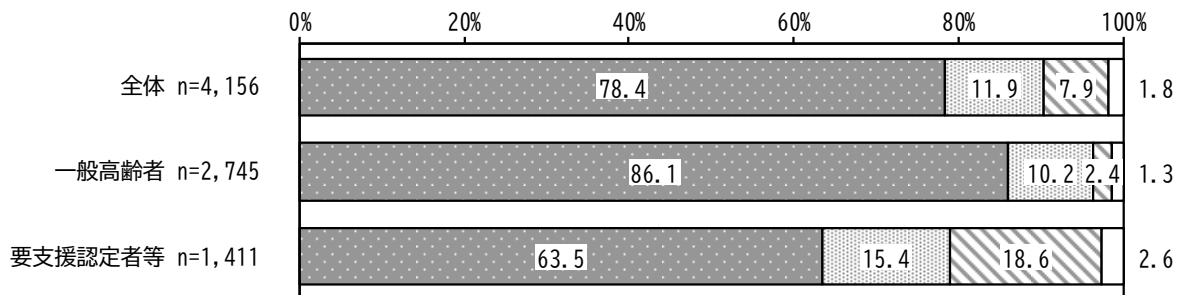
要支援認定者等では「できるし、している」の割合が 66.8%、「できるけどしていない」の割合が 15.2%、「できない」の割合が 15.3%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できない」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「できるし、している」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

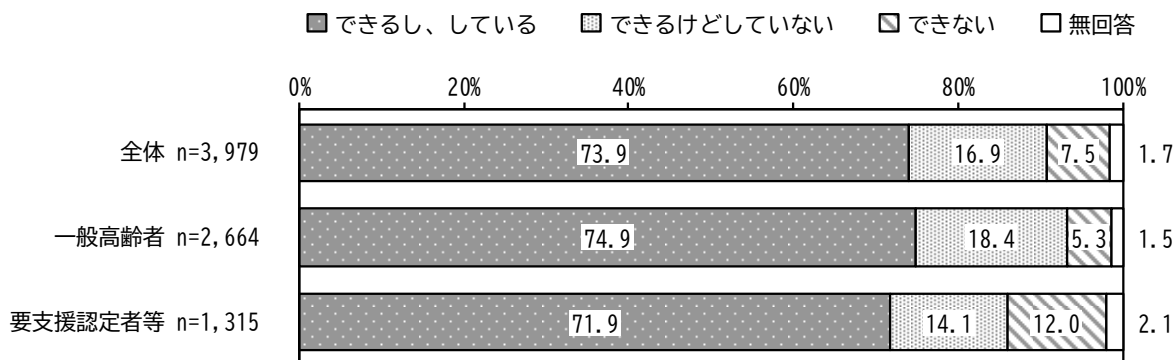


問 27 自分で食事の用意をしていますか（回答は1つ）

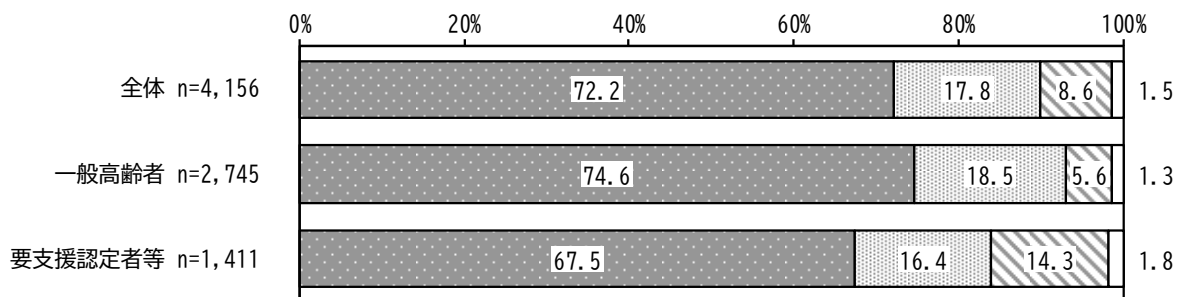
一般高齢者では「できるし、している」の割合が 74.9%、「できるけどしていない」の割合が 18.4%、「できない」の割合が 5.3%となっています。

要支援認定者等では「できるし、している」の割合が 71.9%、「できるけどしていない」の割合が 14.1%、「できない」の割合が 12.0%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



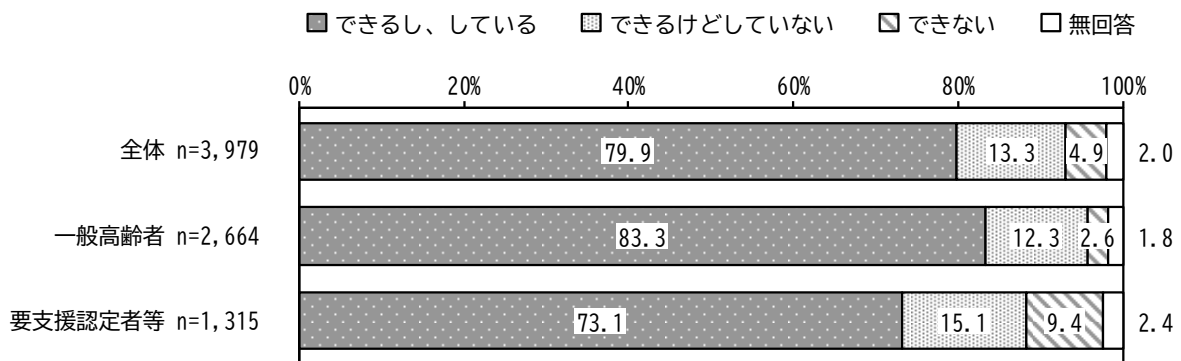
問 28 自分で請求書の支払いをしていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「できるし、している」の割合が 83.3%、「できるけどしていない」の割合が 12.3%、「できない」の割合が 2.6%となっています。

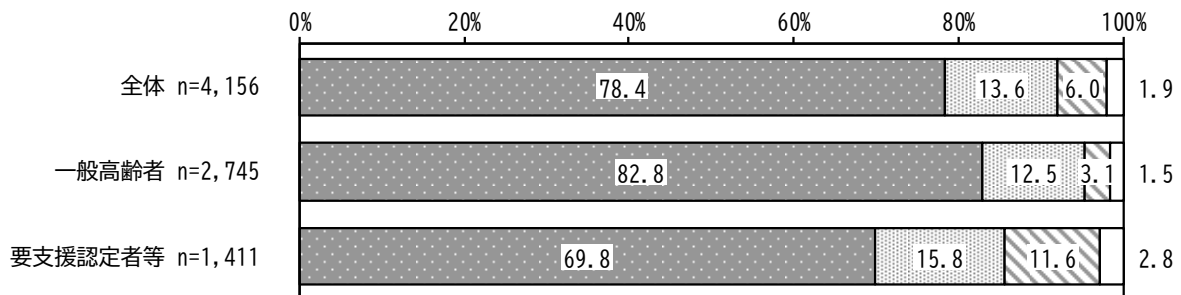
要支援認定者等では「できるし、している」の割合が 73.1%、「できるけどしていない」の割合が 15.1%、「できない」の割合が 9.4%となっています。

要介護状態区別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できるし、している」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



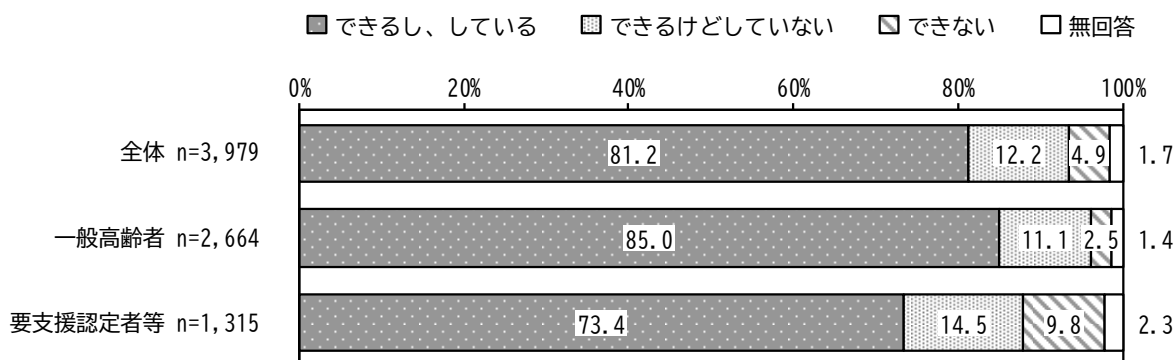
問 29 自分で預貯金の出し入れをしていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「できるし、している」の割合が 85.0%、「できるけどしていない」の割合が 11.1%、「できない」の割合が 2.5%となっています。

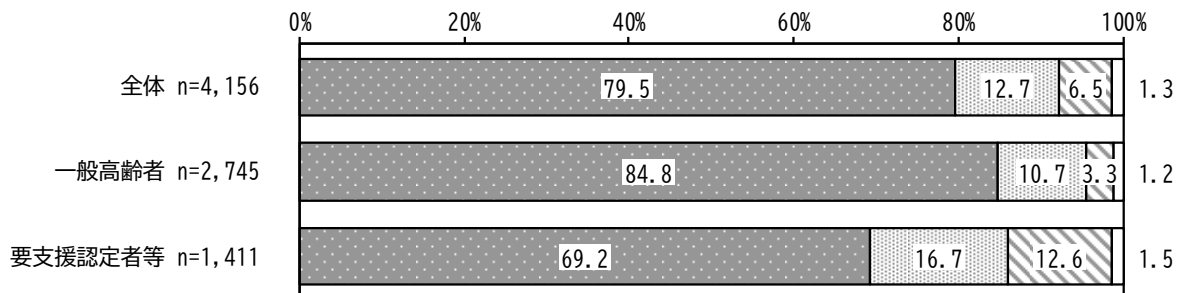
要支援認定者等では「できるし、している」の割合が 73.4%、「できるけどしていない」の割合が 14.5%、「できない」の割合が 9.8%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「できるし、している」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



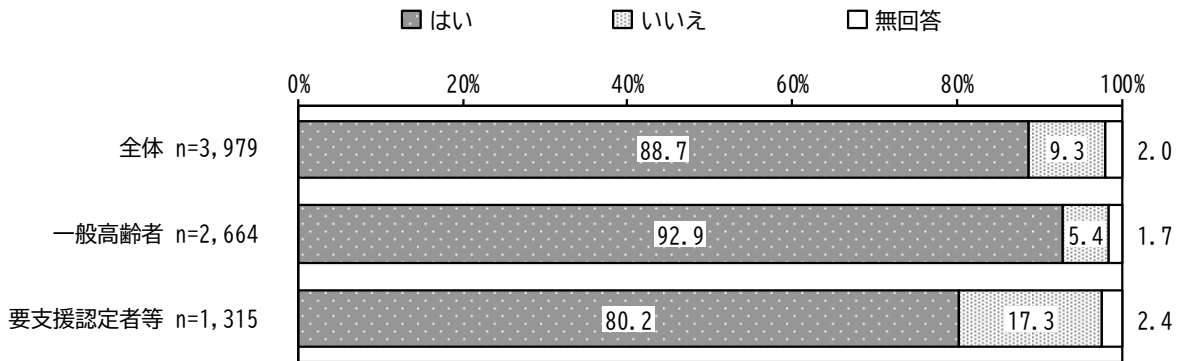
問 30 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が92.9%、「いいえ」の割合が5.4%となっています。

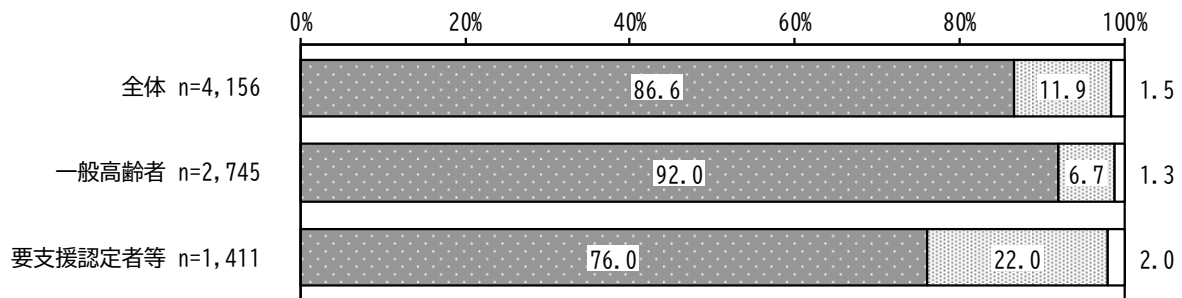
要支援認定者等では「はい」の割合が80.2%、「いいえ」の割合が17.3%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



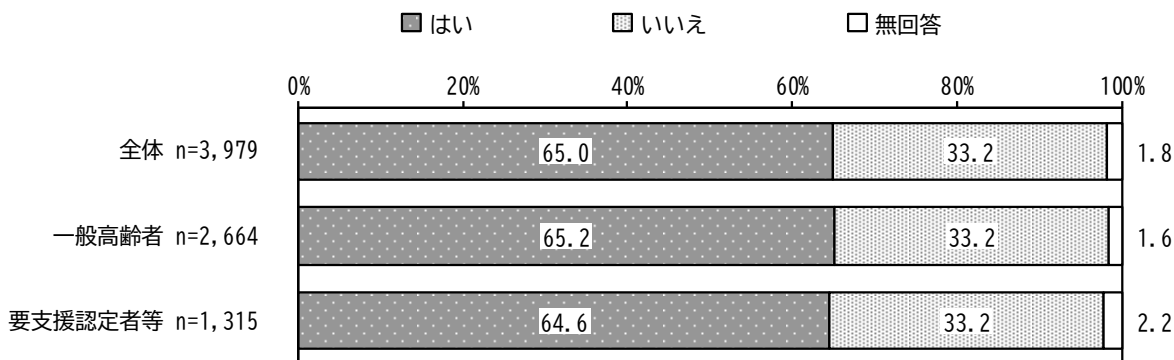
問31 新聞を読んでいますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が65.2%、「いいえ」の割合が33.2%となっています。

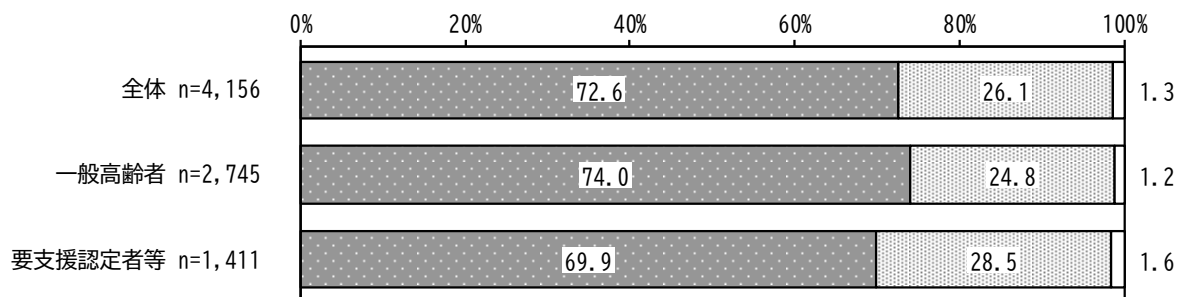
要支援認定者等では「はい」の割合が64.6%、「いいえ」の割合が33.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「はい」の割合が一般高齢者で8.8ポイント、要支援認定者等で5.3ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



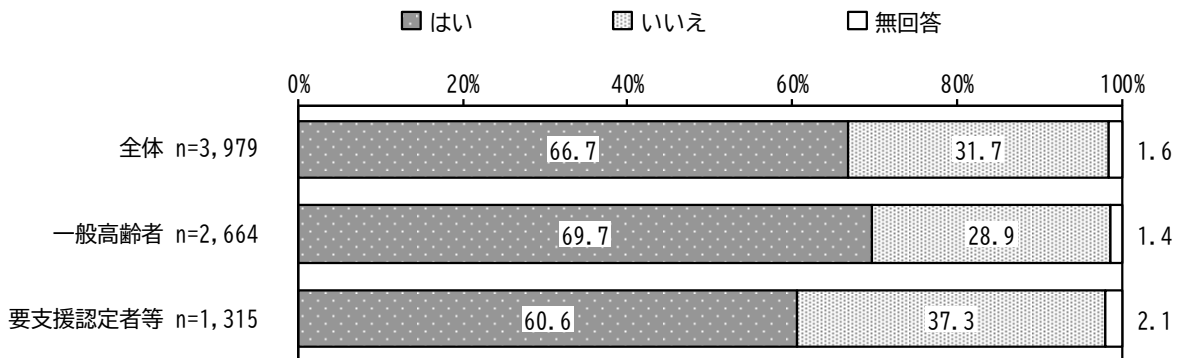
問 32 本や雑誌を読んでいますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が 69.7%、「いいえ」の割合が 28.9%となっています。

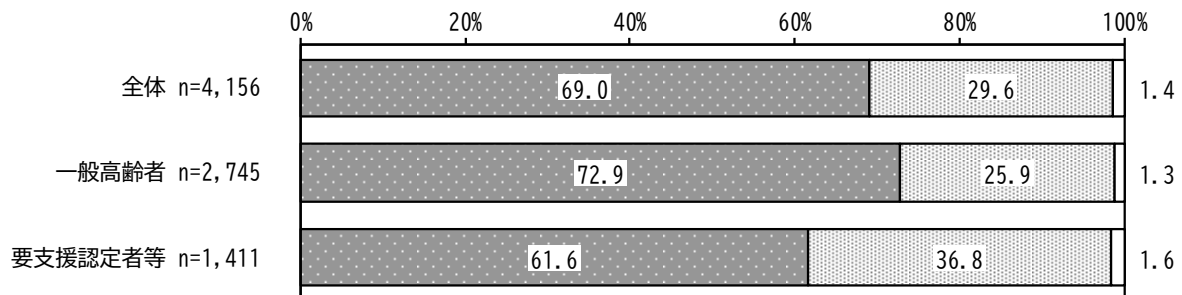
要支援認定者等では「はい」の割合が 60.6%、「いいえ」の割合が 37.3%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



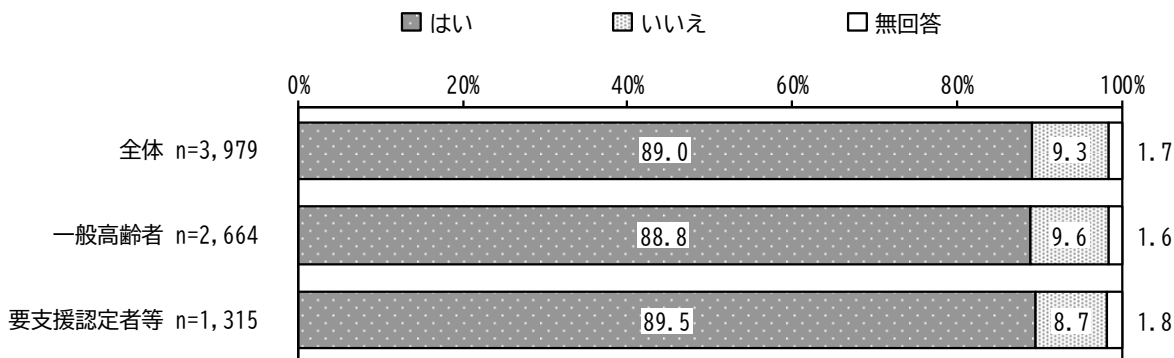
【令和4年度調査】



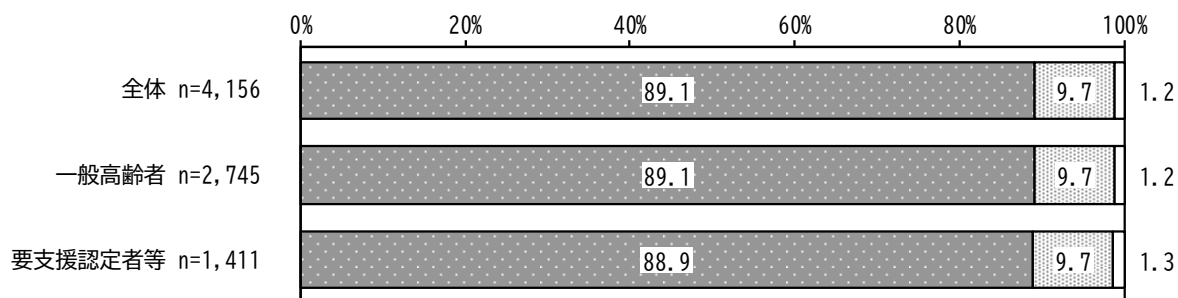
問 33 健康についての記事や番組に関心がありますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が88.8%、「いいえ」の割合が9.6%となっています。
 要支援認定者等では「はい」の割合が89.5%、「いいえ」の割合が8.7%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



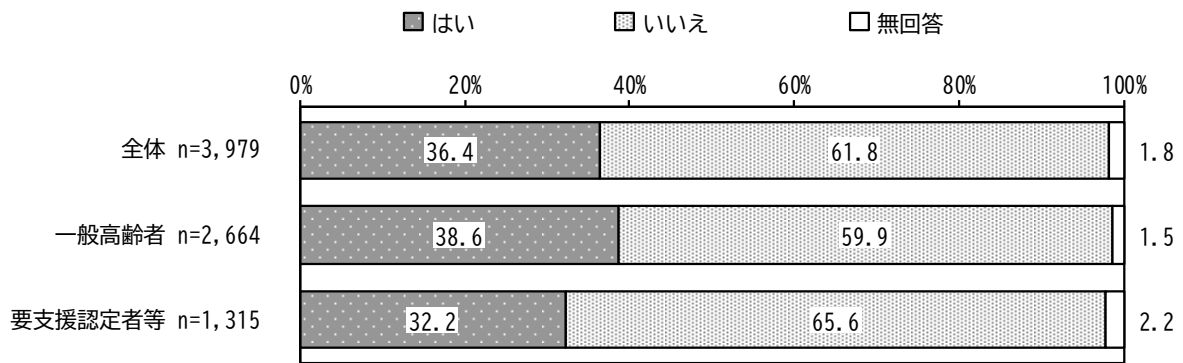
問 34 友人の家を訪ねていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が38.6%、「いいえ」の割合が59.9%となっています。

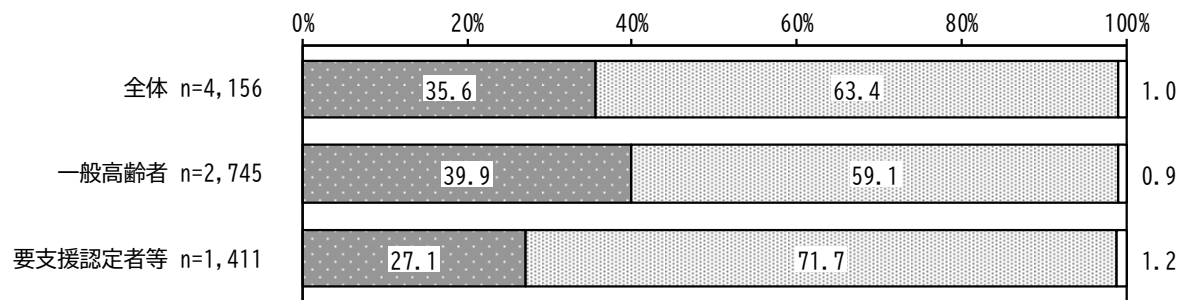
要支援認定者等では「はい」の割合が32.2%、「いいえ」の割合が65.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「いいえ」の割合が6.1ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



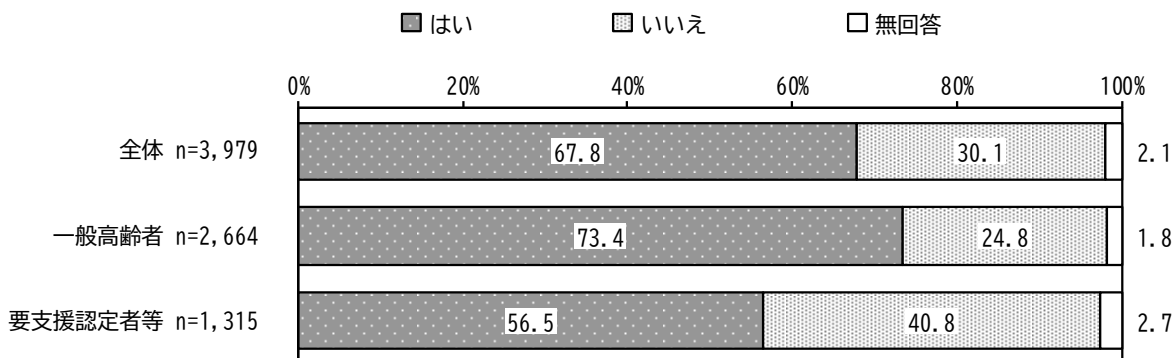
問 35 家族や友人の相談にのっていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が73.4%、「いいえ」の割合が24.8%となっています。

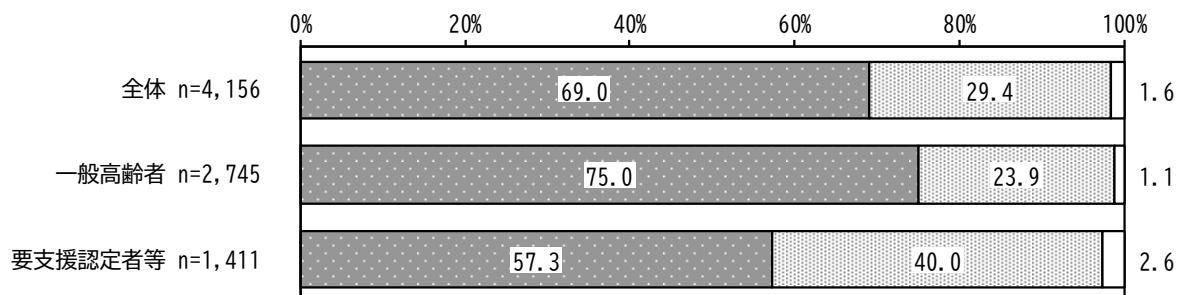
要支援認定者等では「はい」の割合が56.5%、「いいえ」の割合が40.8%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



問 36 病人を見舞うことができますか（回答は1つ）

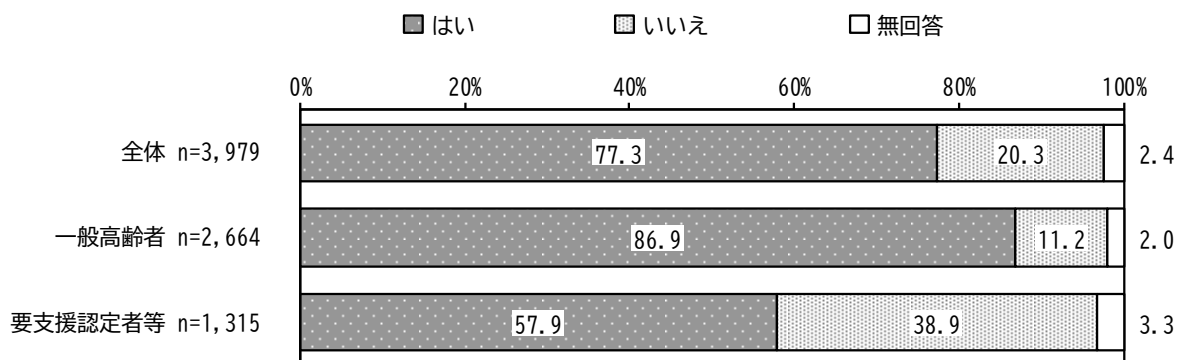
一般高齢者では「はい」の割合が86.9%、「いいえ」の割合が11.2%となっています。

要支援認定者等では「はい」の割合が57.9%、「いいえ」の割合が38.9%となっています。

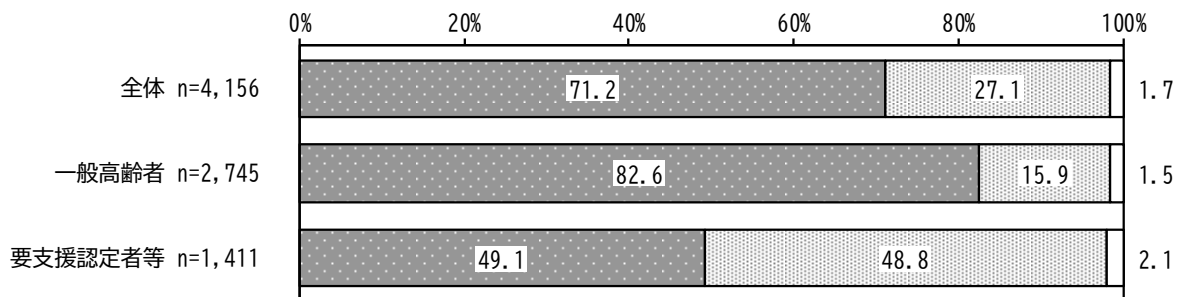
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」の割合が高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「いいえ」の割合が9.9ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



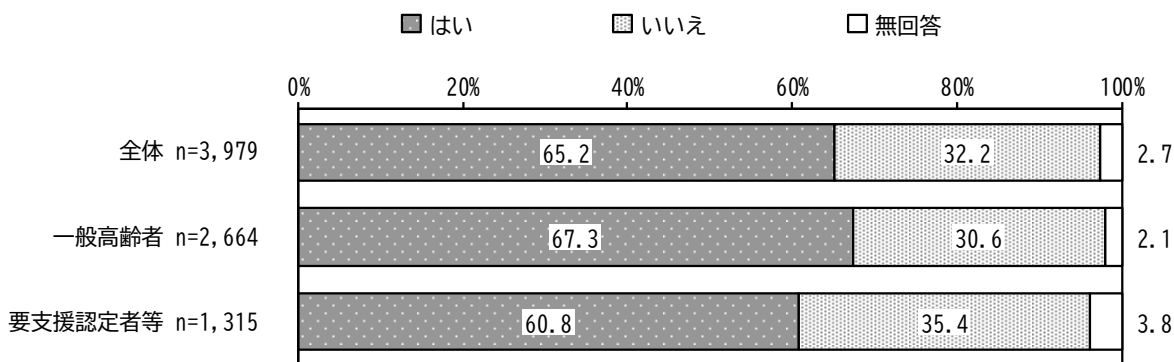
【令和4年度調査】



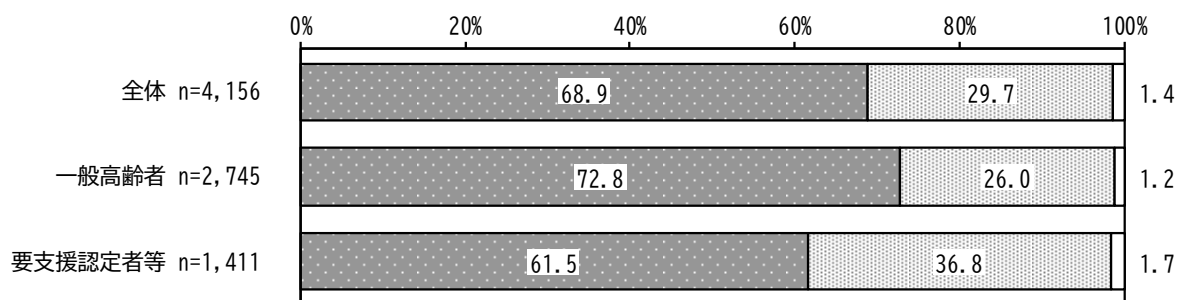
問 37 若い人に自分から話しかけることがありますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が 67.3%、「いいえ」の割合が 30.6%となっています。
 要支援認定者等では「はい」の割合が 60.8%、「いいえ」の割合が 35.4%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、一般高齢者で「はい」の割合が 5.5 ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



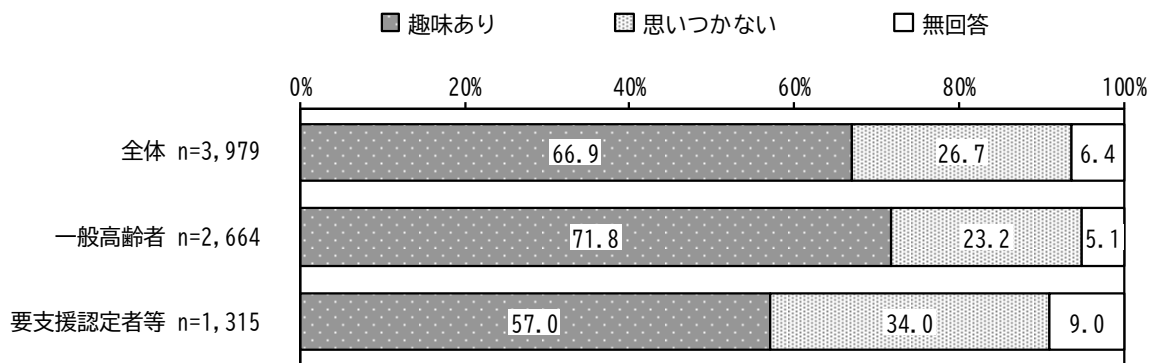
問 38 趣味はありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（回答は1つ）

一般高齢者では「趣味あり」の割合が71.8%、「思いつかない」の割合が23.2%となっています。

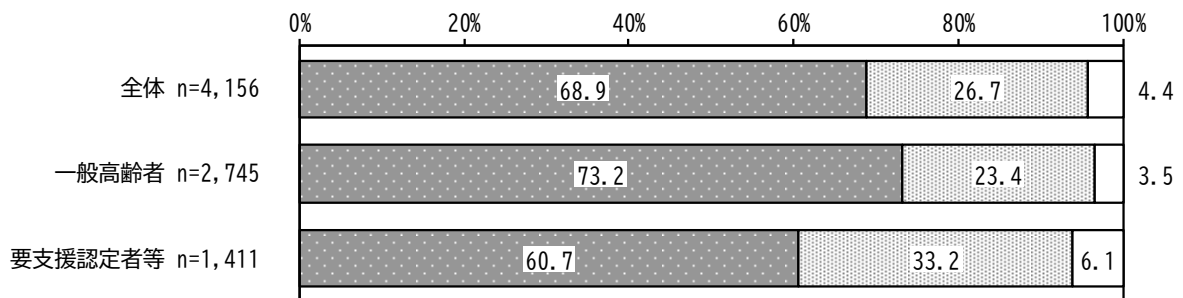
要支援認定者等では「趣味あり」の割合が57.0%、「思いつかない」の割合が34.0%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「思いつかない」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



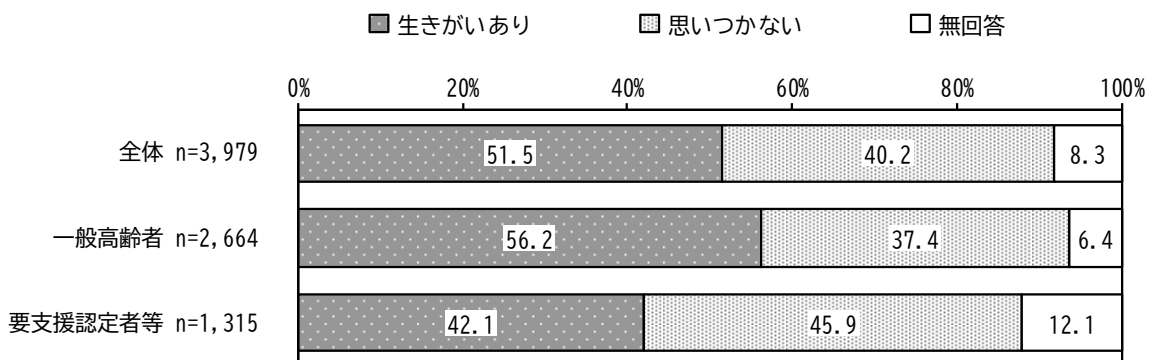
問 39 生きがいがありますか。ある場合は（ ）内にご記入ください（回答は1つ）

一般高齢者では「生きがいあり」の割合が 56.2%、「思いつかない」の割合が 37.4%となっています。

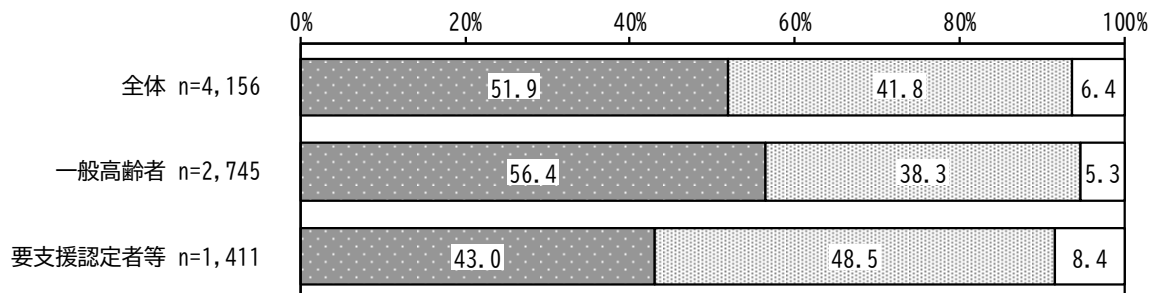
要支援認定者等では「生きがいあり」の割合が 42.1%、「思いつかない」の割合が 45.9%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「思いつかない」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



（５）地域での活動についておうかがいします

問 40 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
 ※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ回答は1つ）

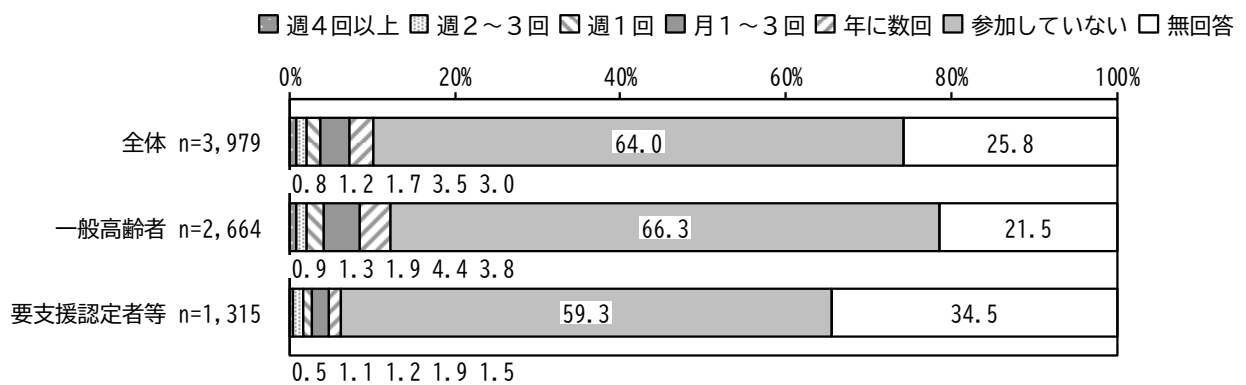
① ボランティアのグループ

一般高齢者では「参加していない」の割合が 66.3%と最も高くなっています。

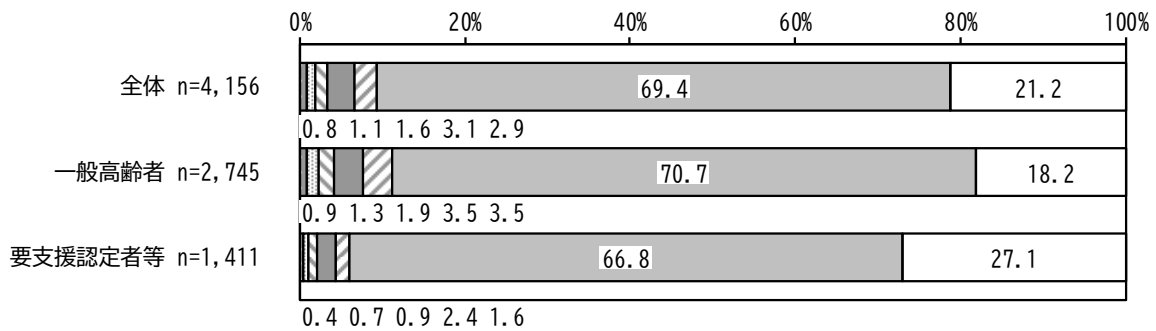
要支援認定者等では「参加していない」の割合が 59.3%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「参加していない」の割合が 7.5ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



② スポーツ関係のグループやクラブ

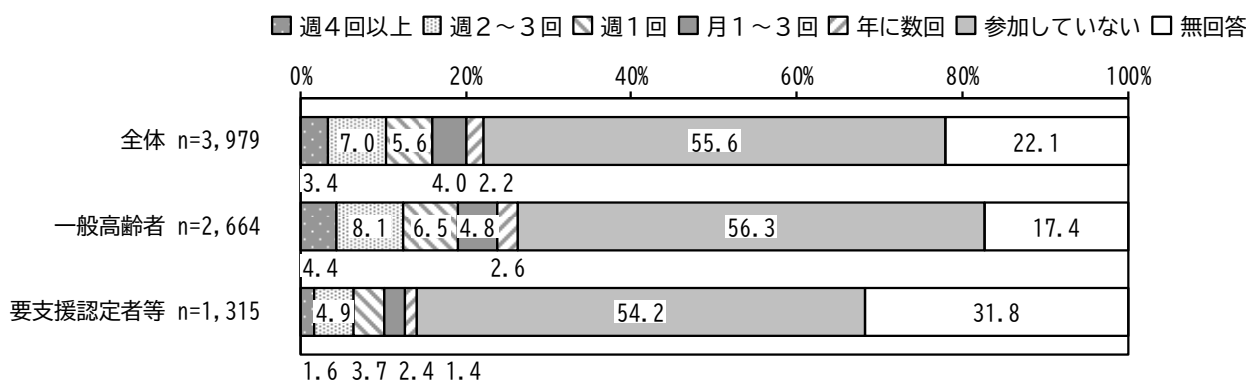
一般高齢者では「参加していない」の割合が56.3%と最も高くなっています。

要支援認定者等では「参加していない」の割合が54.2%と最も高くなっています。

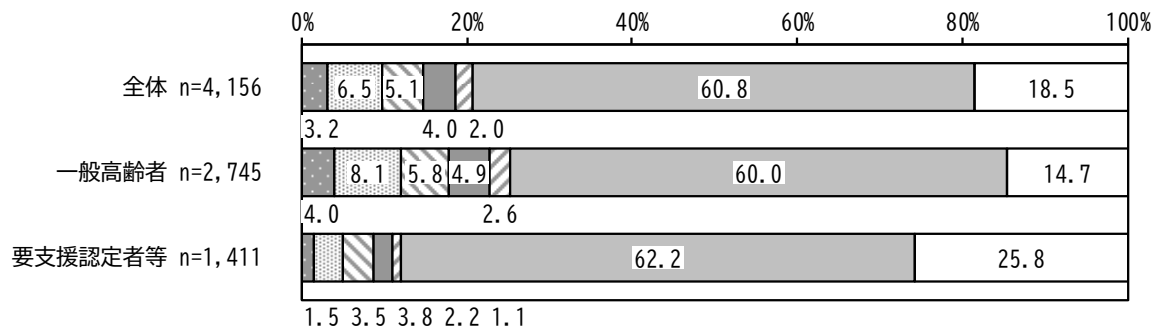
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で“週1回以上”の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「参加していない」の割合が8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



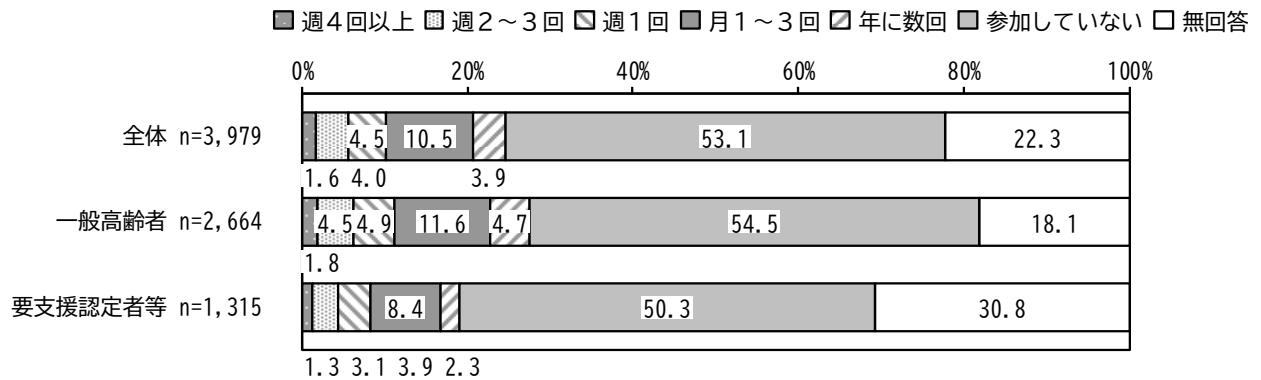
③ 趣味関係のグループ

一般高齢者では「参加していない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「月1～3回」の割合が11.6%となっています。

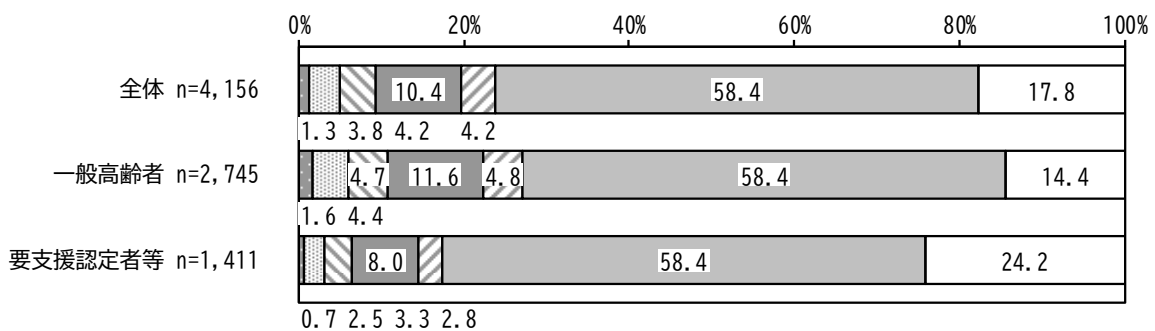
要支援認定者等では「参加していない」の割合が50.3%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「参加していない」の割合が8.1ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



④ 学習・教養サークル

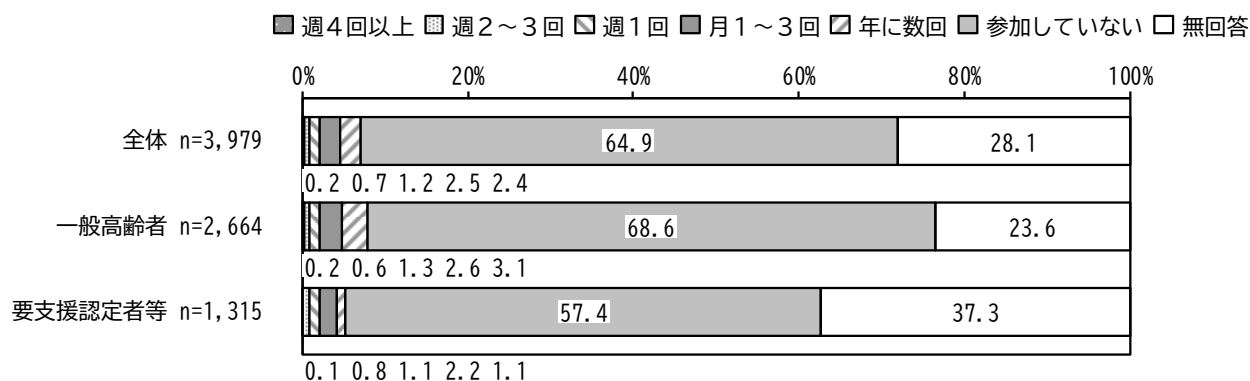
一般高齢者では「参加していない」の割合が68.6%と最も高くなっています。

要支援認定者等では「参加していない」の割合が57.4%と最も高くなっています。

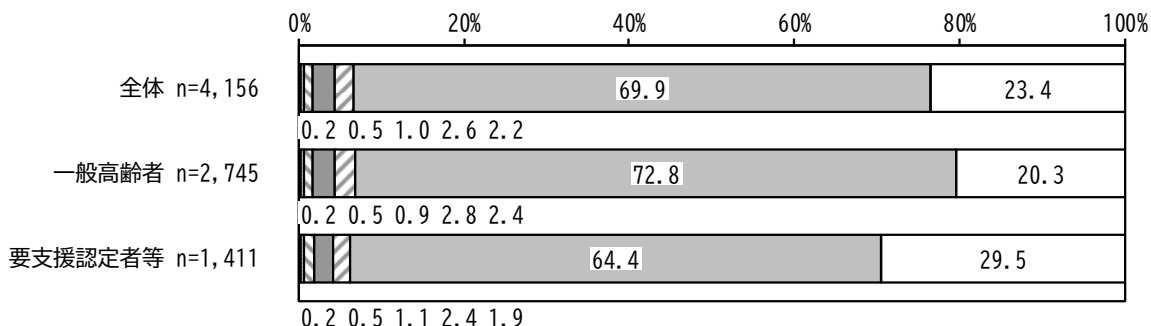
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「参加していない」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「参加していない」の割合が7ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



⑤ 介護予防のための通いの場

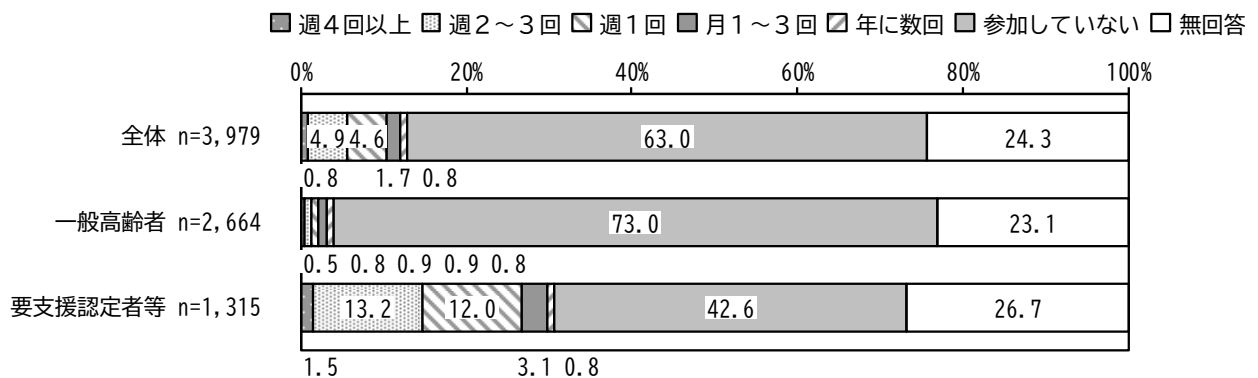
一般高齢者では「参加していない」の割合が73.0%と最も高くなっています。

要支援認定者等では「参加していない」の割合が42.6%と最も高く、次いで「週2～3回」の割合が13.2%、「週1回」の割合が12.0%となっています。

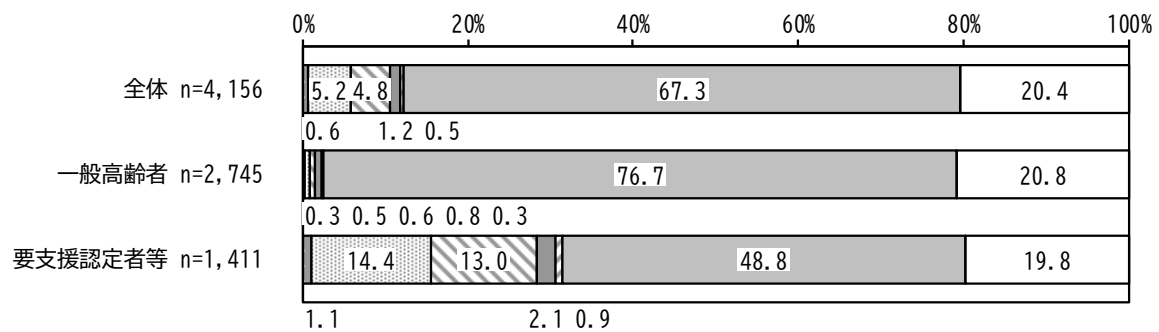
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で“週1回以上”の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「参加していない」の割合が高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「参加していない」の割合が6.2ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



⑥ 老人クラブ

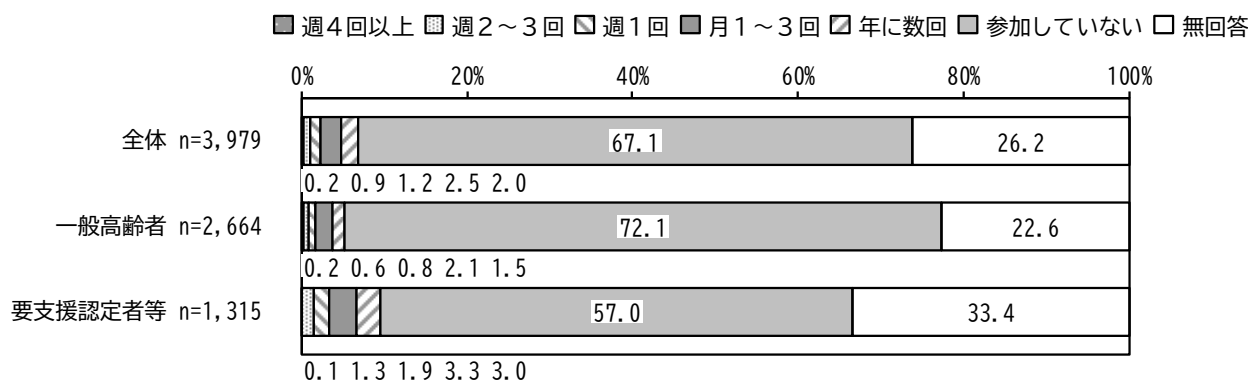
一般高齢者では「参加していない」の割合が72.1%と最も高くなっています。

要支援認定者等では「参加していない」の割合が57.0%と最も高くなっています。

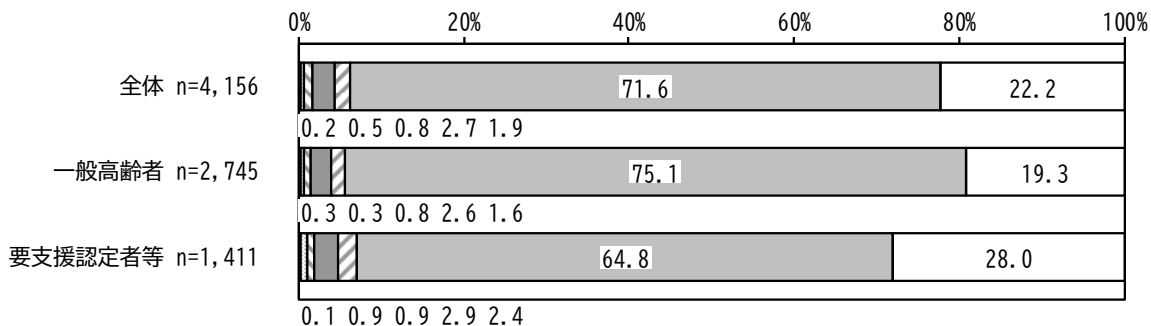
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「参加していない」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「参加していない」の割合が7.8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



⑦ 町内会・自治会

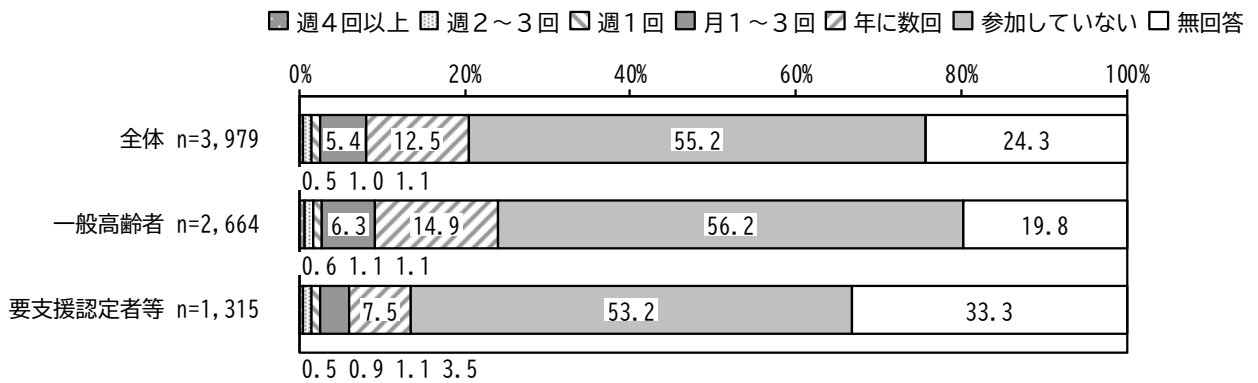
一般高齢者では「参加していない」の割合が56.2%と最も高く、次いで「年に数回」の割合が14.9%となっています。

要支援認定者等では「参加していない」の割合が53.2%と最も高くなっています。

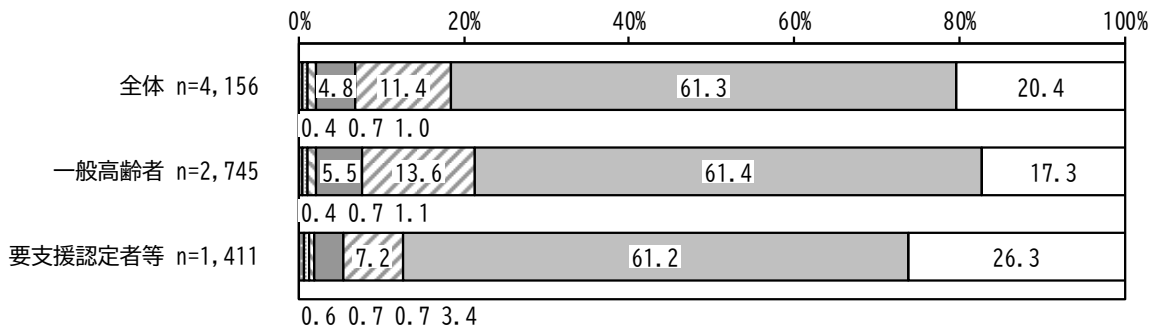
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「年に数回」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「参加していない」の割合が一般高齢者で5.2ポイント、要支援認定者等で8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



⑧ 収入のある仕事

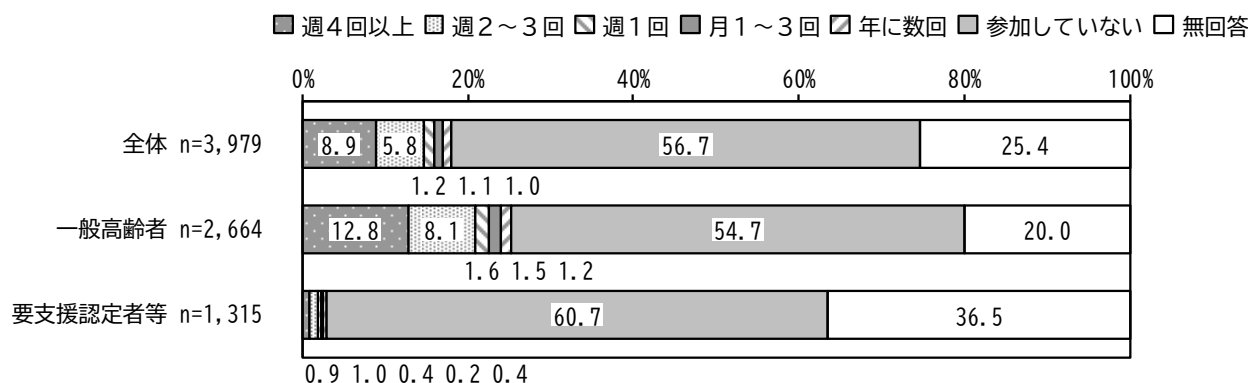
一般高齢者では「参加していない」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「週4回以上」の割合が 12.8%となっています。

要支援認定者等では「参加していない」の割合が 60.7%と最も高くなっています。

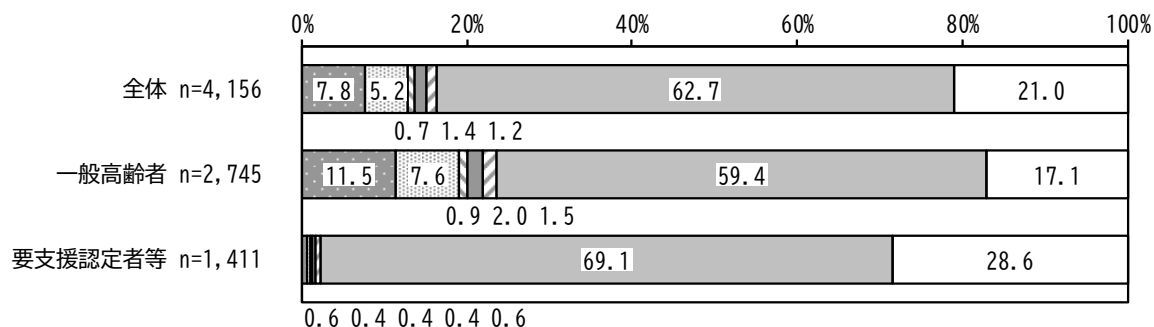
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で“週1回以上”の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「参加していない」の割合が 8.4ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



問 41 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（回答は1つ）

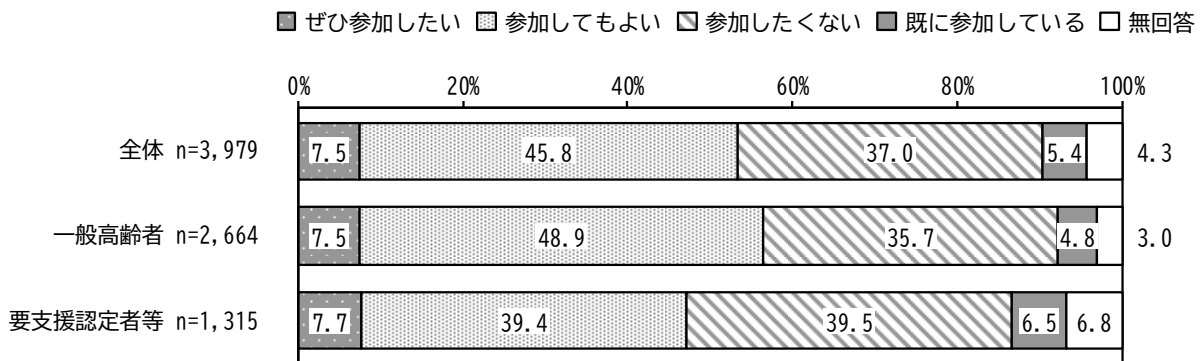
一般高齢者では「参加してもよい」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 35.7%となっています。

要支援認定者等では「参加したくない」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 39.4%となっています。

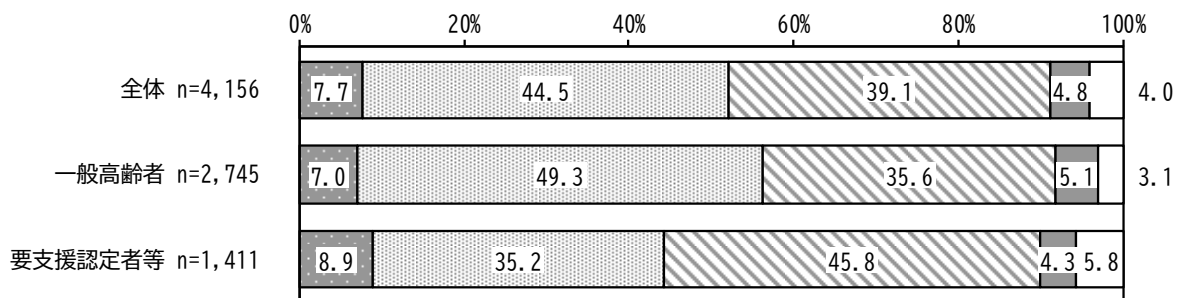
要介護状態区別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「参加してもよい」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「参加したくない」の割合が 6.3ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



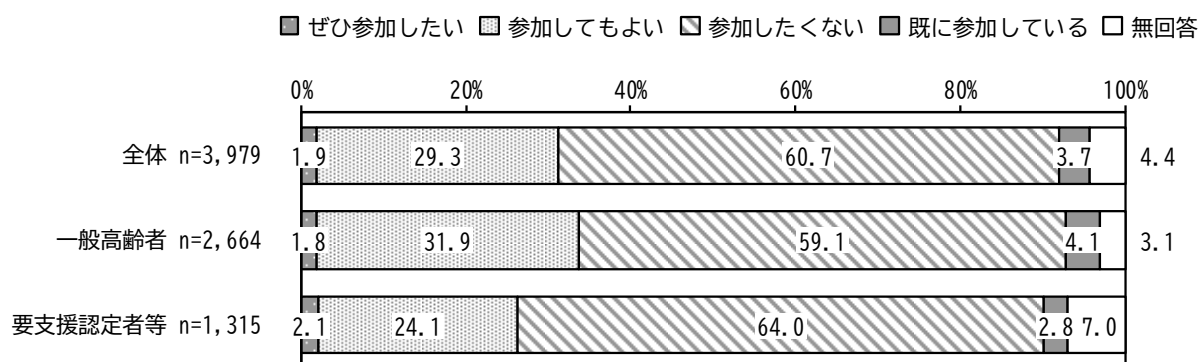
問 42 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（回答は1つ）

一般高齢者では「参加したくない」の割合が 59.1%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 31.9%となっています。

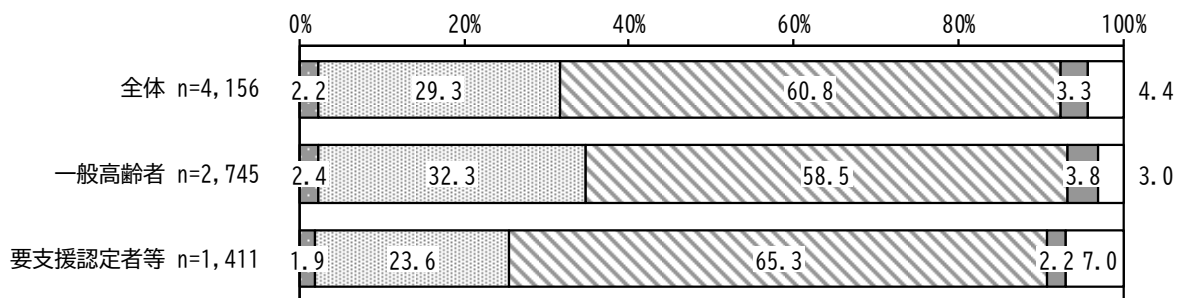
要支援認定者等では「参加したくない」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」の割合が 24.1%となっています。

要介護状態区別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「参加してもよい」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



（6）就労についておうかがいします

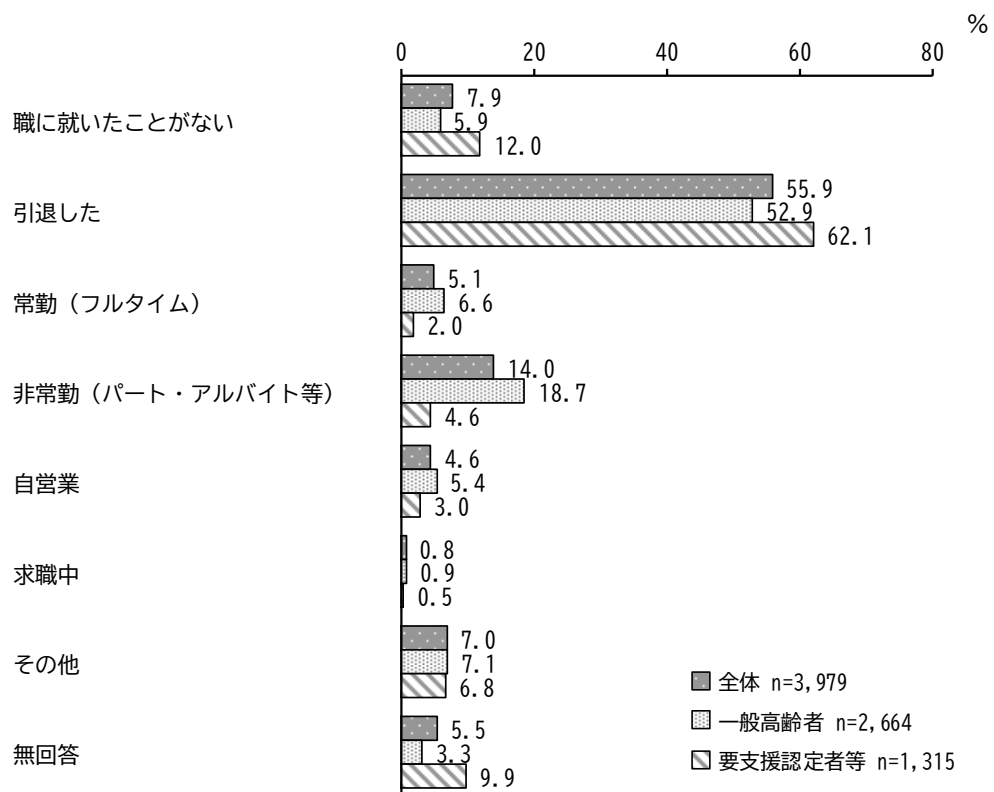
問 43 現在のあなたの就労状態はどれですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「引退した」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「非常勤（パート・アルバイト等）」の割合が 18.7%となっています。

要支援認定者等では「引退した」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「職に就いたことがない」の割合が 12.0%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「引退した」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



（問 43 で「引退した」の方のみ）

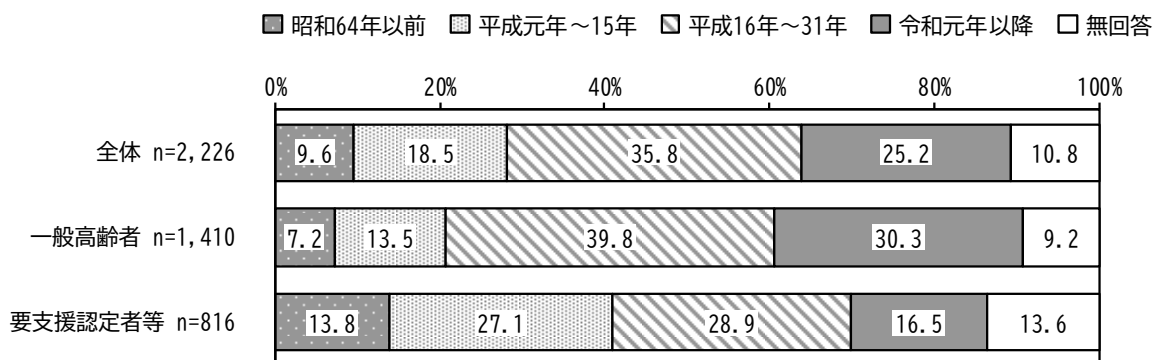
問 43-1 あなたはいつ引退しましたか（回答は1つ）（年をご記入ください）

一般高齢者では「平成 16 年～31 年」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「令和元年以降」の割合が 30.3%、「平成元年～15 年」の割合が 13.5%となっています。

要支援認定者等では「平成 16 年～31 年」の割合が 28.9%と最も高く、次いで「平成元年～15 年」の割合が 27.1%、「令和元年以降」の割合が 16.5%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「平成元年～15 年」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「令和元年以降」の割合が高くなっています。

【令和 7 年度調査】



（7）たすけあいについておうかがいします

あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします

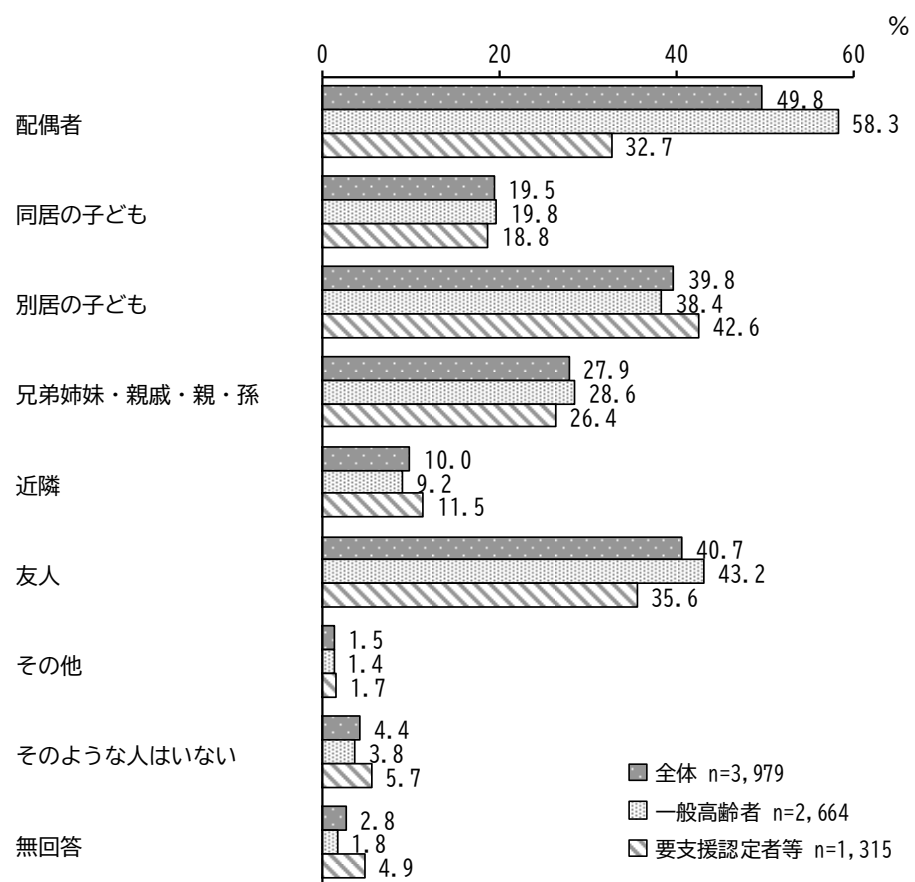
問 44 あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「配偶者」の割合が 58.3%と最も高く、次いで「友人」の割合が 43.2%、「別居の子ども」の割合が 38.4%となっています。

要支援認定者等では「別居の子ども」の割合が 42.6%と最も高く、次いで「友人」の割合が 35.6%、「配偶者」の割合が 32.7%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「配偶者」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



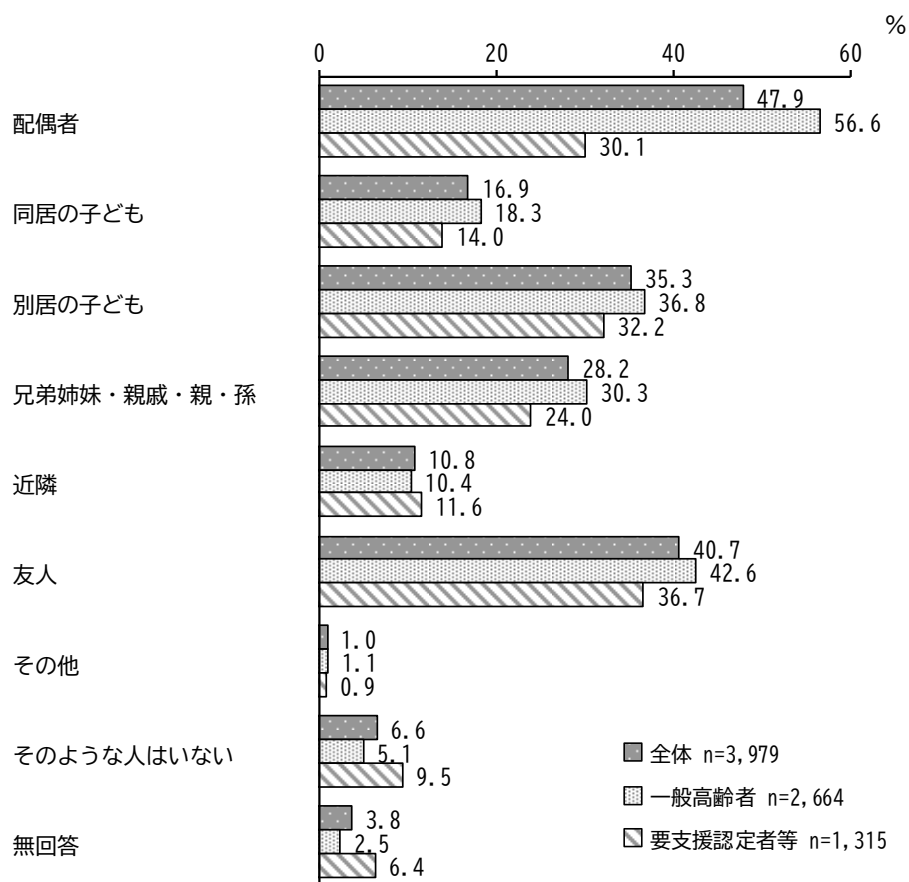
問 45 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「配偶者」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「友人」の割合が 42.6%、「別居の子ども」の割合が 36.8%となっています。

要支援認定者等では「友人」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 32.2%、「配偶者」の割合が 30.1%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「配偶者」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



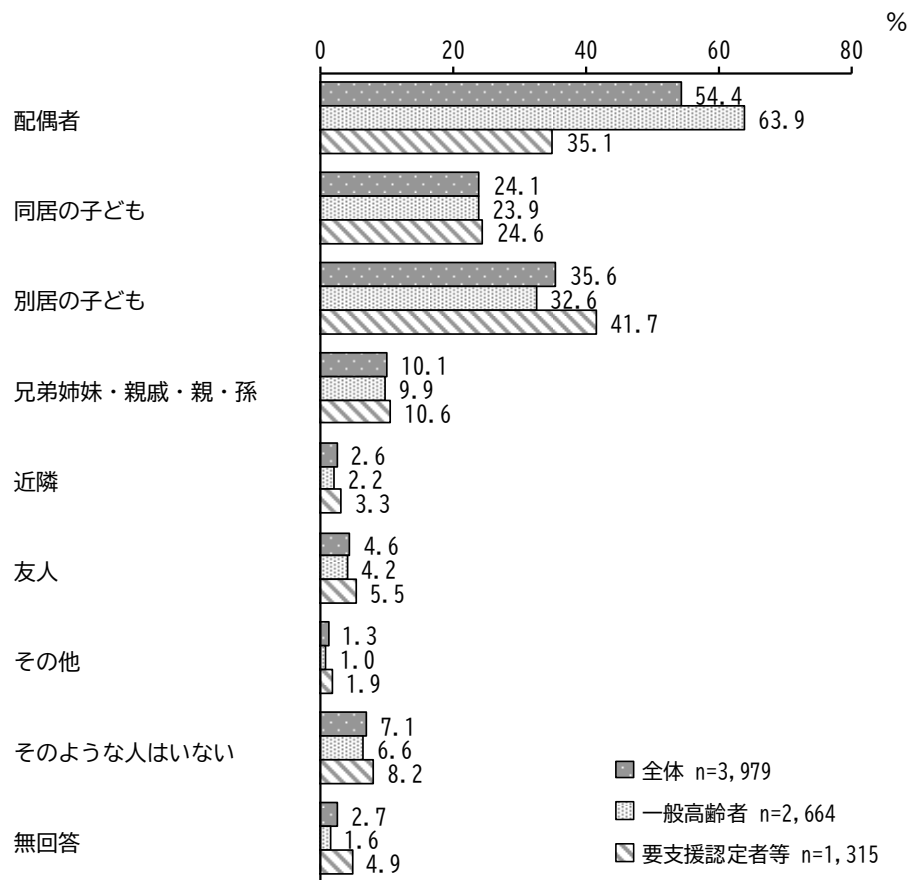
問 46 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「配偶者」の割合が 63.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 32.6%、「同居の子ども」の割合が 23.9%となっています。

要支援認定者等では「別居の子ども」の割合が 41.7%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が 35.1%、「同居の子ども」の割合が 24.6%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「別居の子ども」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「配偶者」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



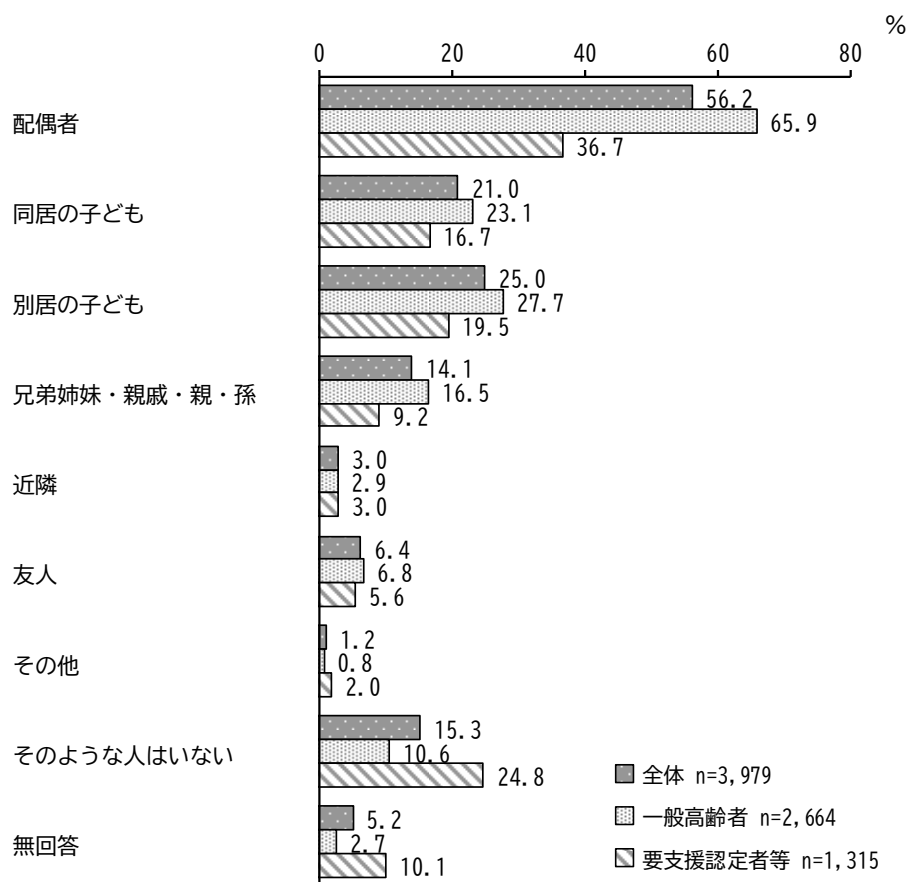
問 47 反対に、看病や世話をしあける人（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「配偶者」の割合が 65.9%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 27.7%、「同居の子ども」の割合が 23.1%となっています。

要支援認定者等では「配偶者」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「別居の子ども」の割合が 19.5%、「同居の子ども」の割合が 16.7%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「配偶者」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



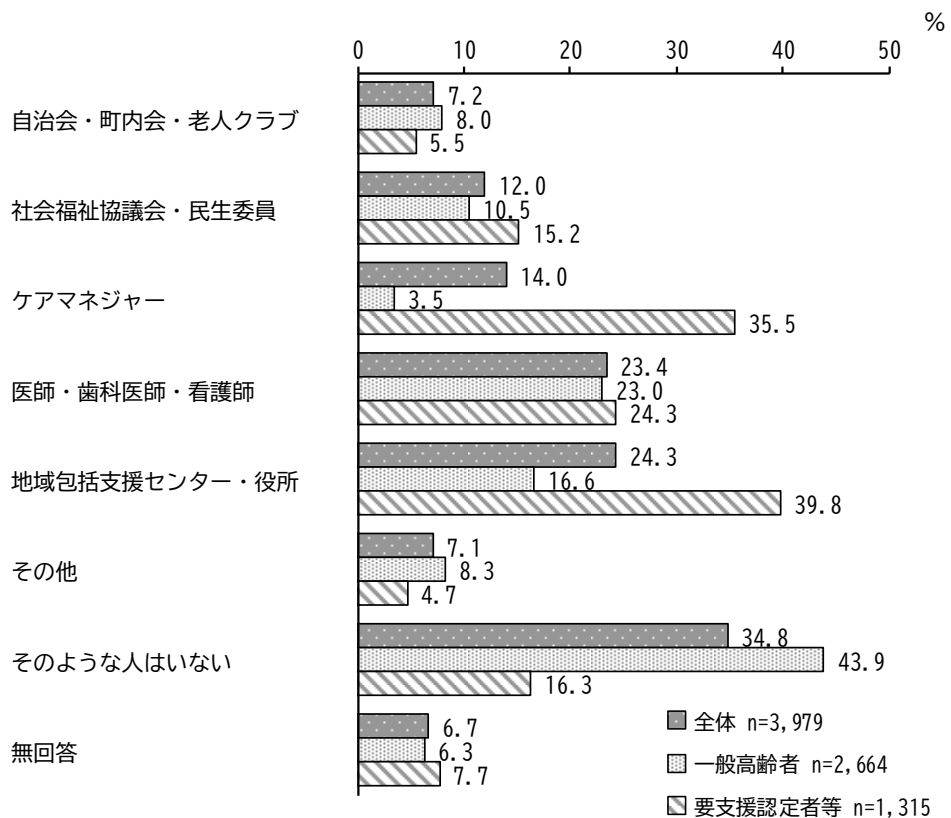
問 48 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「医師・歯科医師・看護師」の割合が 23.0%と最も高く、次いで「地域包括支援センター・役所」の割合が 16.6%、「社会福祉協議会・民生委員」の割合が 10.5%となっています。

要支援認定者等では「地域包括支援センター・役所」の割合が 39.8%と最も高く、次いで「ケアマネジャー」の割合が 35.5%、「医師・歯科医師・看護師」の割合が 24.3%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「ケアマネジャー」「地域包括支援センター・役所」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



問 49 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（回答は1つ）

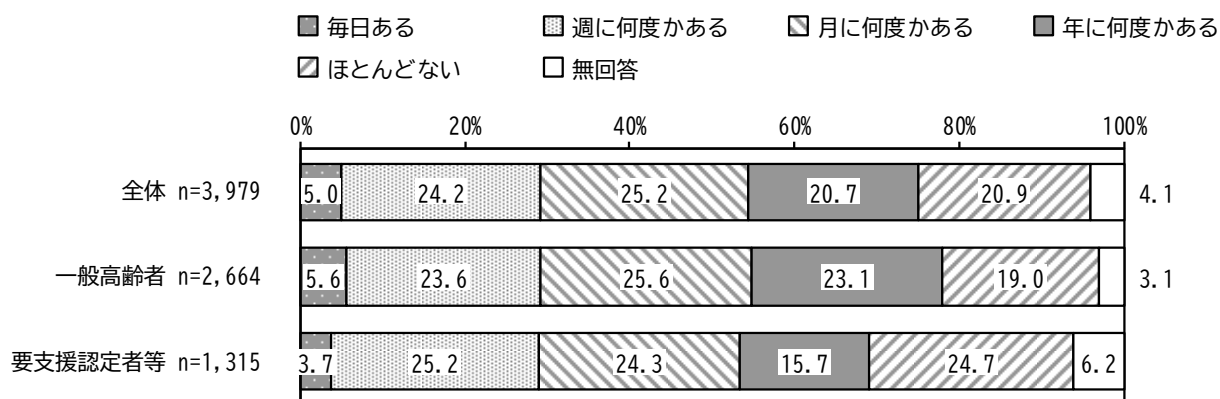
一般高齢者では「月に何度かある」の割合が 25.6%と最も高く、次いで「週に何度かある」の割合が 23.6%、「年に何度かある」の割合が 23.1%となっています。

要支援認定者等では「週に何度かある」の割合が 25.2%と最も高く、次いで「ほとんどない」の割合が 24.7%、「月に何度かある」の割合が 24.3%となっています。

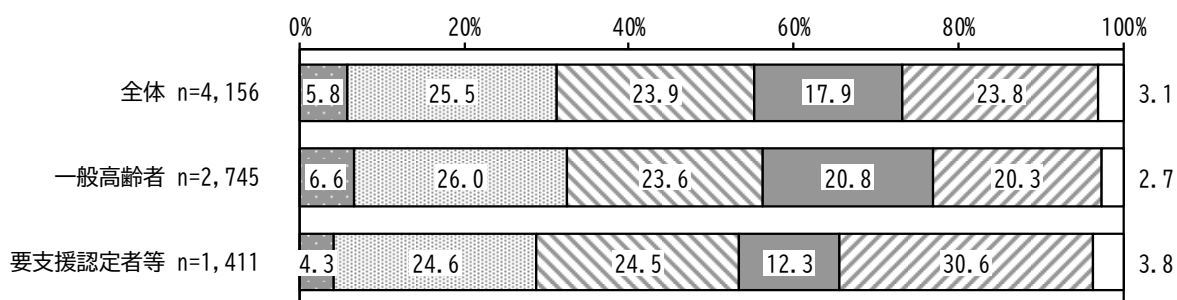
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「年に何度かある」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「ほとんどない」の割合が 5.9 ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

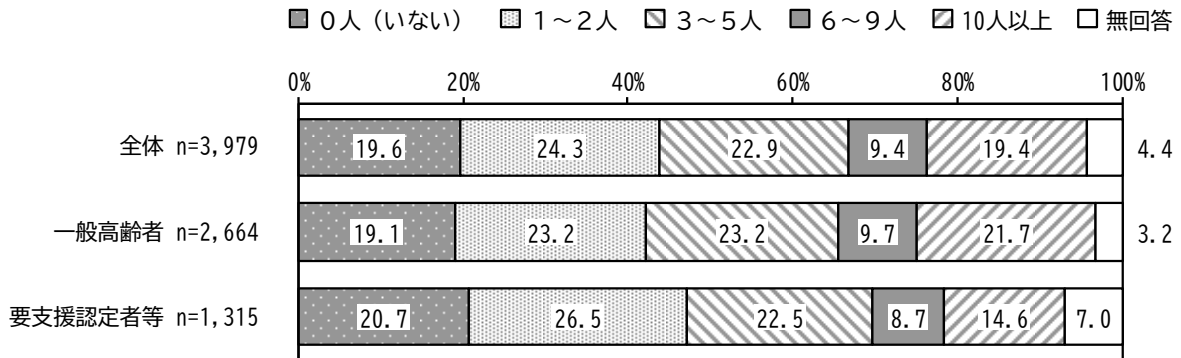


問 50 この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか 同じ人には何度会っても1人と数えることとします（回答は1つ）

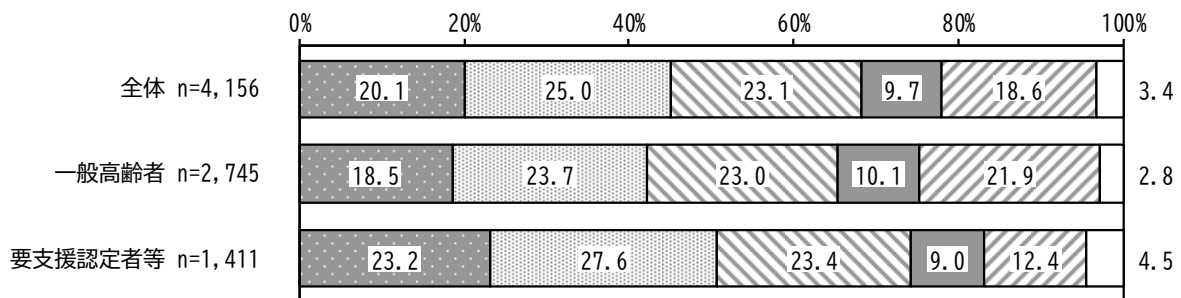
一般高齢者では「1～2人」、「3～5人」の割合が23.2%と最も高く、次いで「10人以上」の割合が21.7%となっています。

要支援認定者等では「1～2人」の割合が26.5%と最も高く、次いで「3～5人」の割合が22.5%、「0人（いない）」の割合が20.7%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



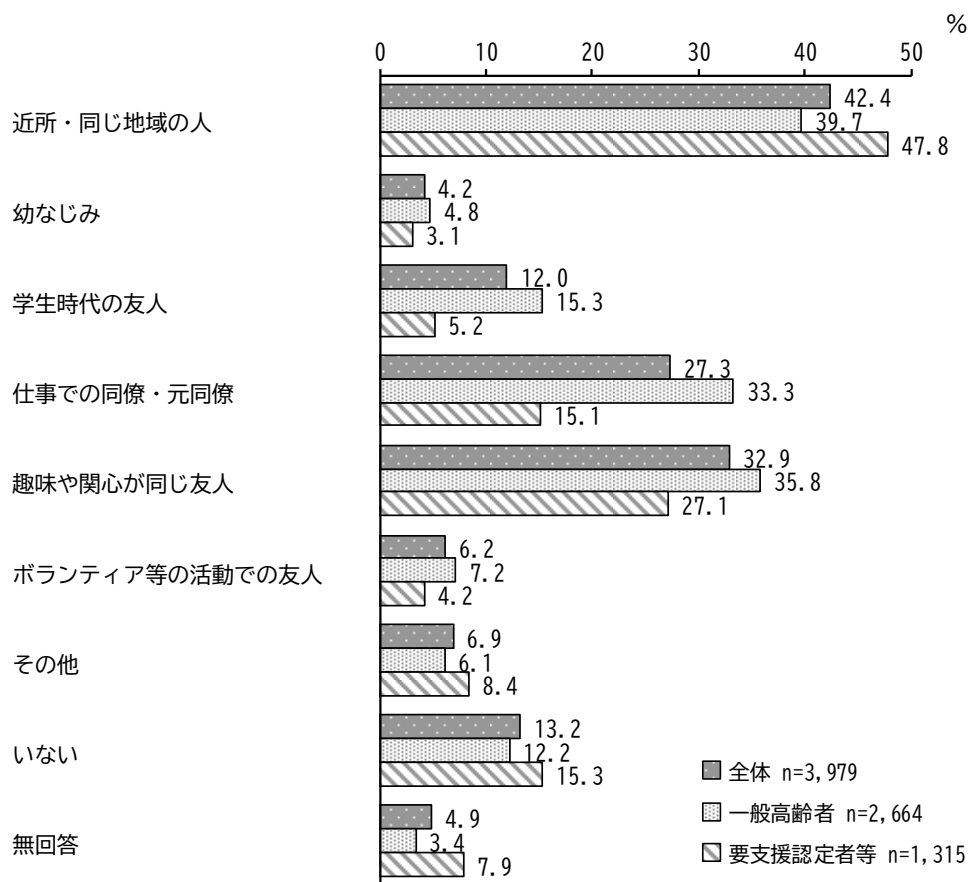
問 51 よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「近所・同じ地域の人」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が 35.8%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が 33.3%となっています。

要支援認定者等では「近所・同じ地域の人」の割合が 47.8%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」の割合が 27.1%、「仕事での同僚・元同僚」の割合が 15.1%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「近所・同じ地域の人」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「仕事での同僚・元同僚」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



（8）健康についておうかがいします

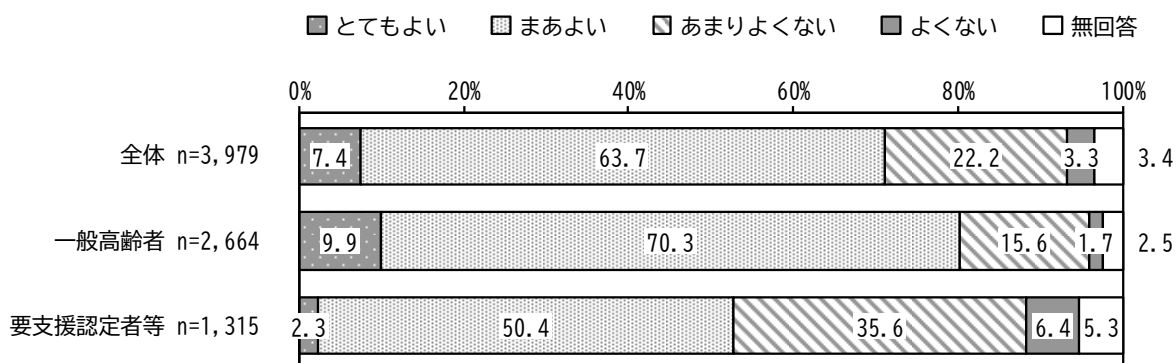
問 52 現在のあなたの健康状態はいかがですか（回答は1つ）

一般高齢者では“よい”の割合が80.2%、“よくない”の割合が17.3%となっています。

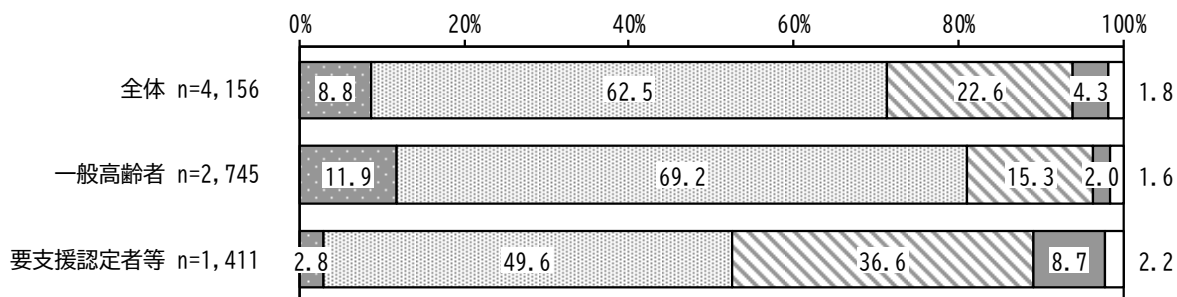
要支援認定者等では“よい”の割合が52.7%、“よくない”の割合が42.0%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で“よくない”の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



※ “よい” は「とてもよい」と「まあよい」を合わせた割合
 “よくない” は「あまりよくない」と「よくない」を合わせた割合

問 53 あなたは、現在どの程度幸せですか
 （「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

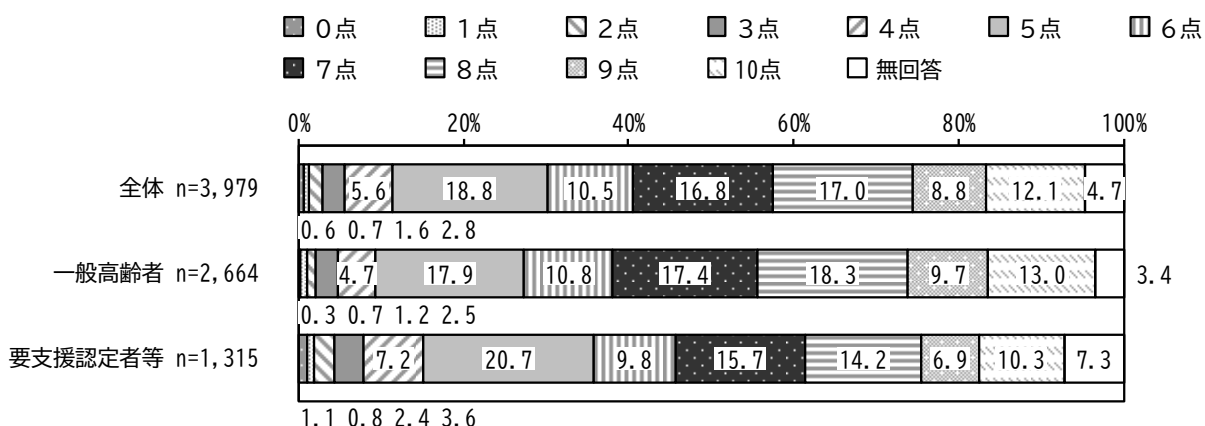
一般高齢者では「8点」の割合が18.3%と最も高く、次いで「5点」の割合が17.9%、「7点」の割合が17.4%となっています。

要支援認定者等では「5点」の割合が20.7%と最も高く、次いで「7点」の割合が15.7%、「8点」の割合が14.2%となっています。

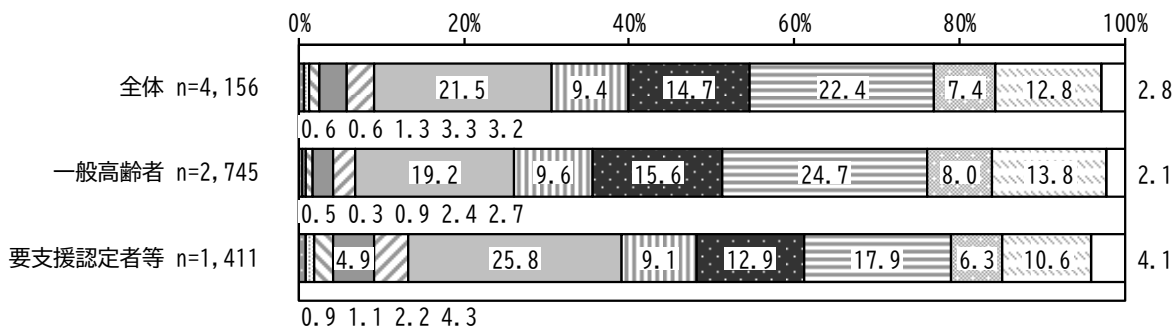
令和4年度調査と比較すると、一般高齢者で「8点」の割合が6.4ポイント減少しています。

要支援認定者等では「5点」の割合が5.1ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



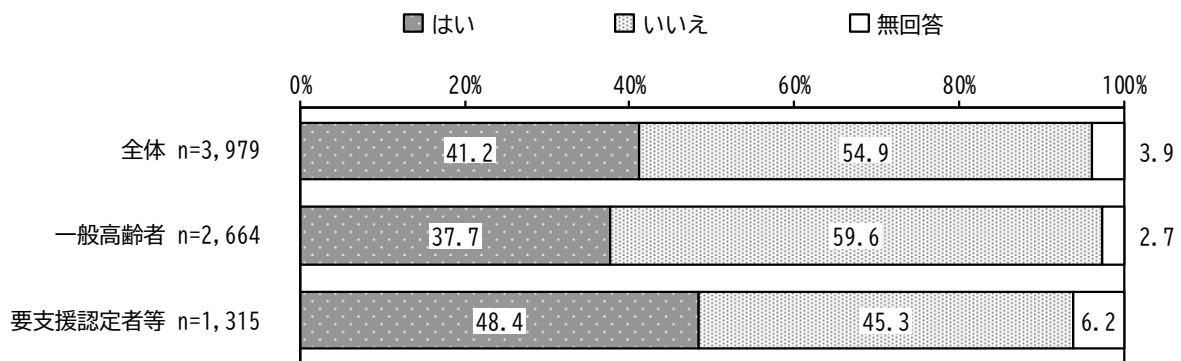
問 54 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が37.7%、「いいえ」の割合が59.6%となっています。

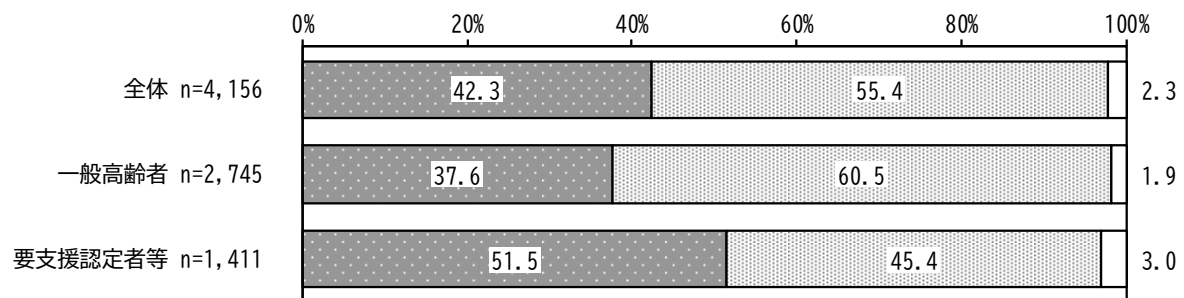
要支援認定者等では「はい」の割合が48.4%、「いいえ」の割合が45.3%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



問 55 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（回答は1つ）

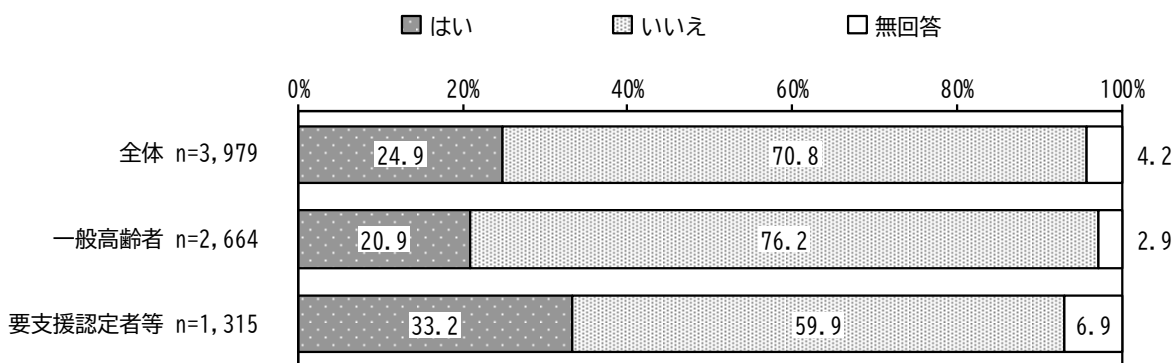
一般高齢者では「はい」の割合が20.9%、「いいえ」の割合が76.2%となっています。

要支援認定者等では「はい」の割合が33.2%、「いいえ」の割合が59.9%となっています。

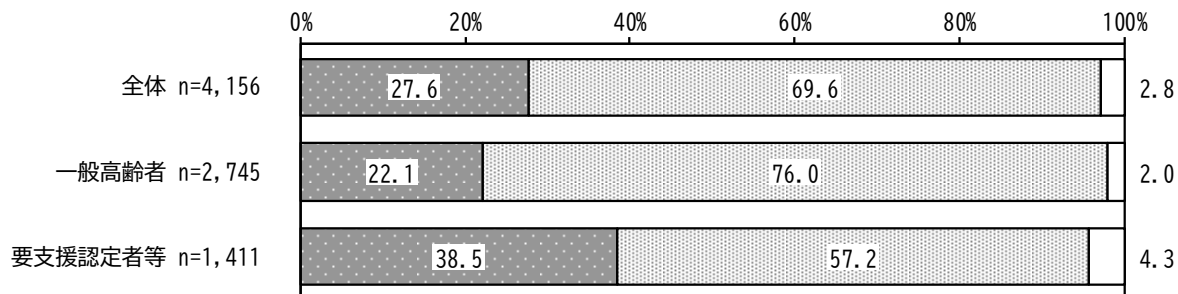
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「はい」の割合が5.3ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



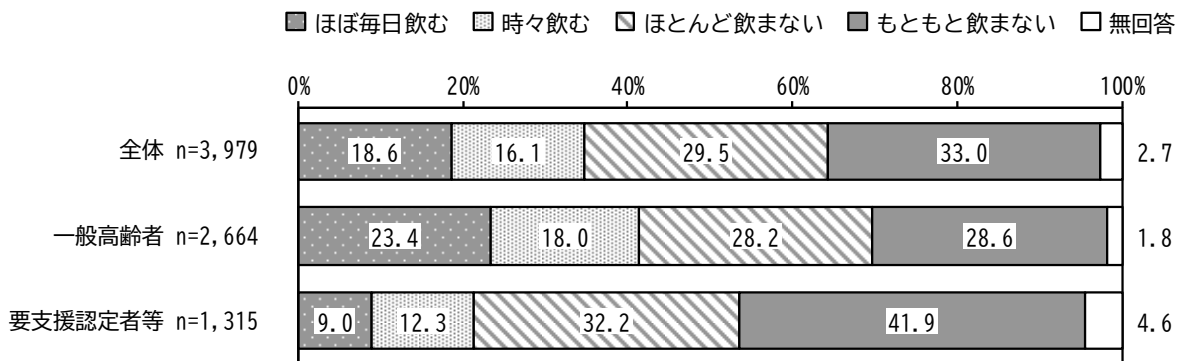
問 56 お酒は飲みますか（回答は1つ）

一般高齢者では「もともと飲まない」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が 28.2%、「ほぼ毎日飲む」の割合が 23.4%となっています。

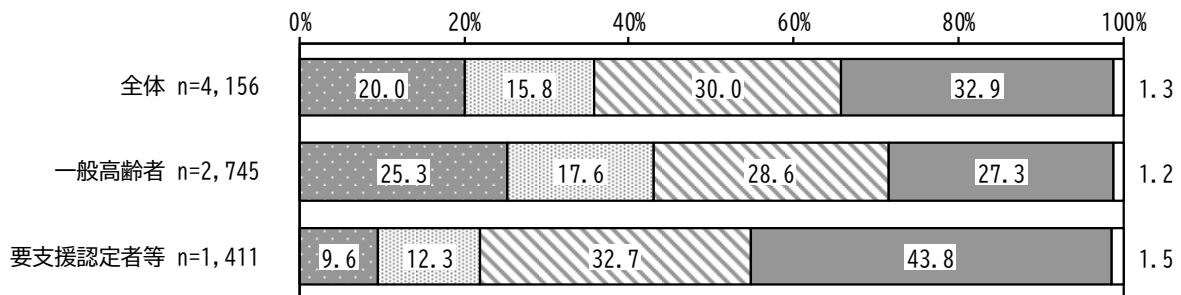
要支援認定者等では「もともと飲まない」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「ほとんど飲まない」の割合が 32.2%、「時々飲む」の割合が 12.3%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「もともと飲まない」の割合が高く、「ほぼ毎日飲む」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



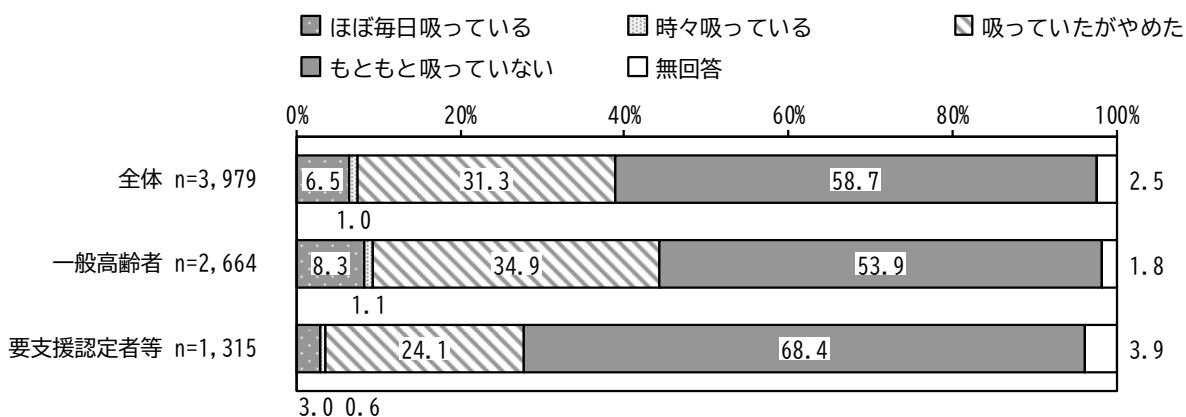
問 57 タバコは吸っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「もともと吸っていない」の割合が 53.9%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 34.9%となっています。

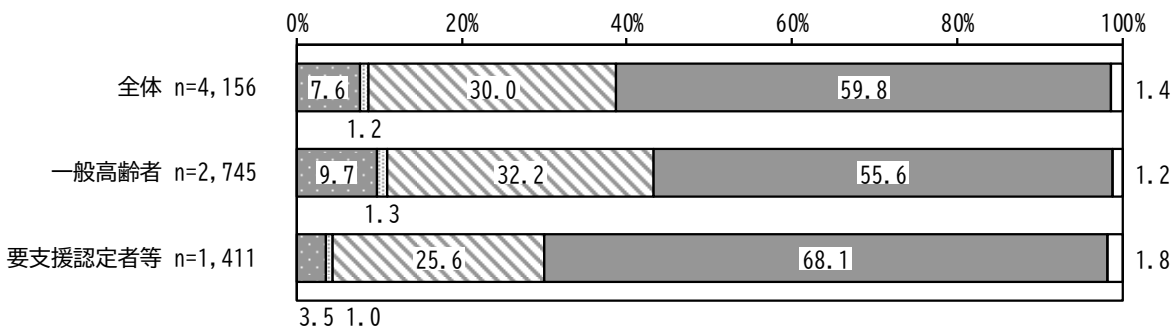
要支援認定者等では「もともと吸っていない」の割合が 68.4%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」の割合が 24.1%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「もともと吸っていない」の割合が高く、「吸っていたがやめた」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



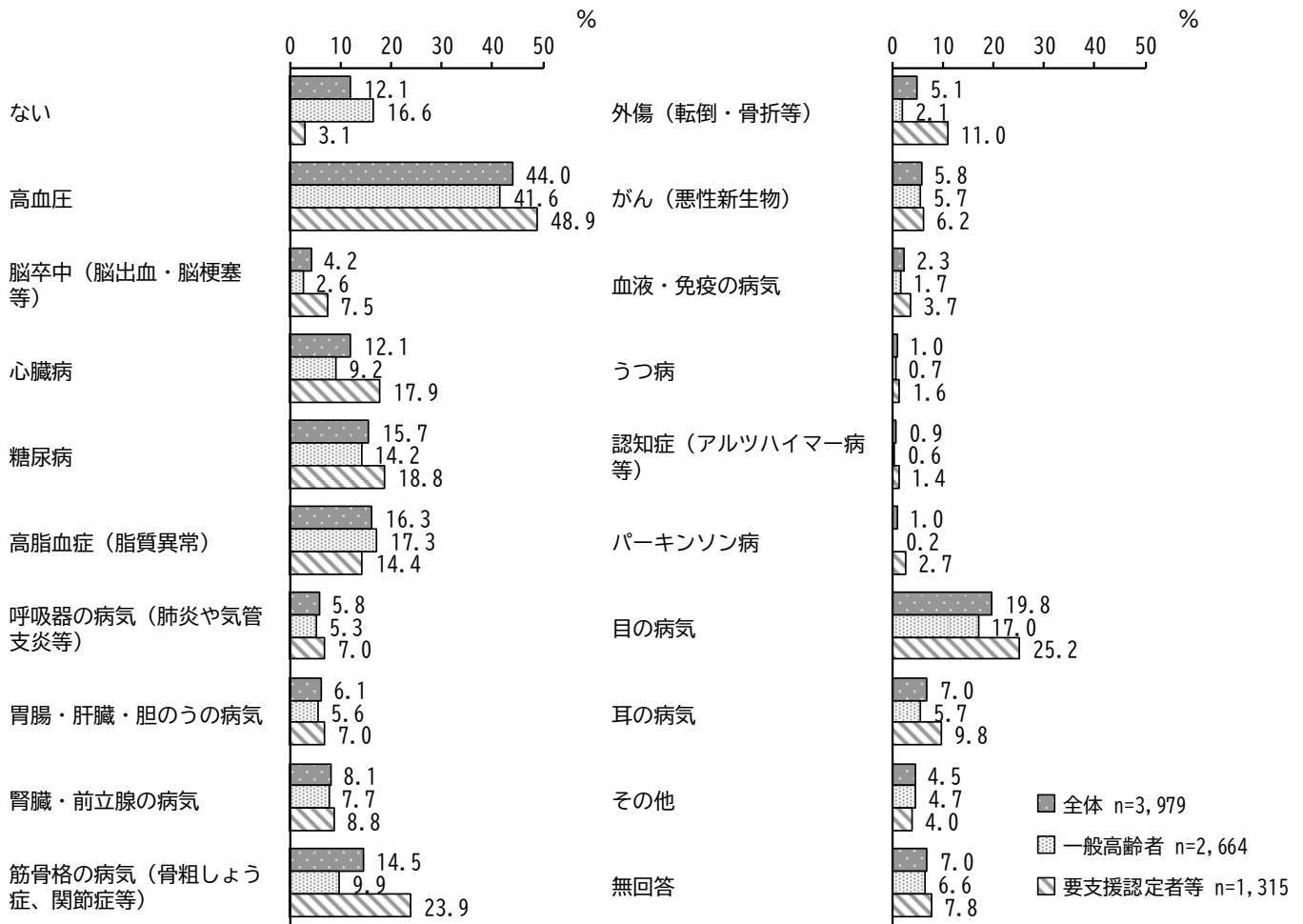
問 58 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「高血圧」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「高脂血症（脂質異常）」の割合が 17.3%、「目の病気」の割合が 17.0%となっています。

要支援認定者等では「高血圧」の割合が 48.9%と最も高く、次いで「目の病気」の割合が 25.2%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」の割合が 23.9%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「心臓病」「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」「外傷（転倒・骨折等）」「目の病気」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



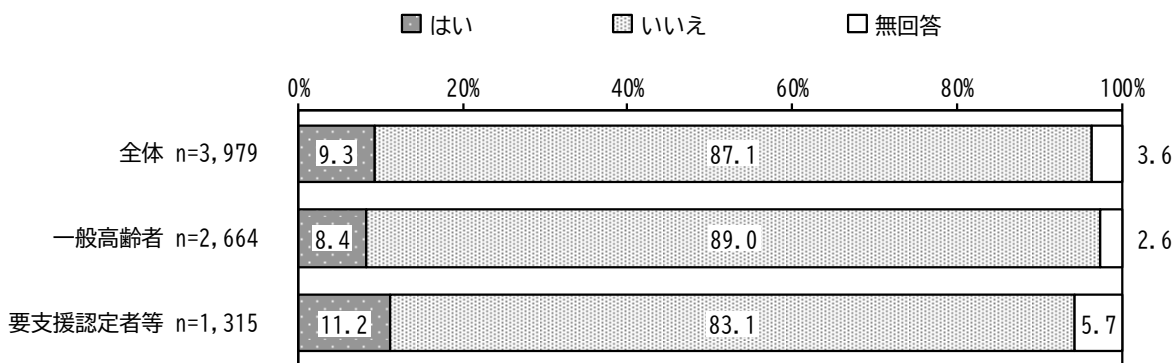
（9）認知症にかかる相談窓口の把握についておうかがいします

問 59 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか（回答は1つ）

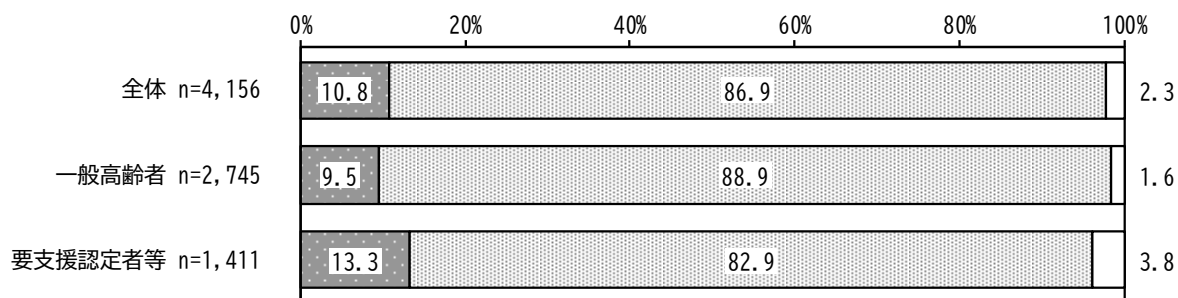
一般高齢者では「はい」の割合が8.4%、「いいえ」の割合が89.0%となっています。

要支援認定者等では「はい」の割合が11.2%、「いいえ」の割合が83.1%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

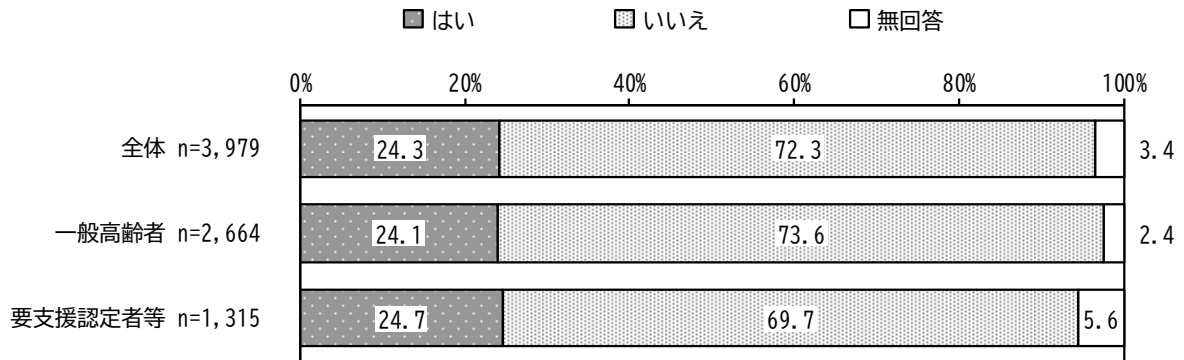


問 60 認知症に関する相談窓口を知っていますか（回答は1つ）

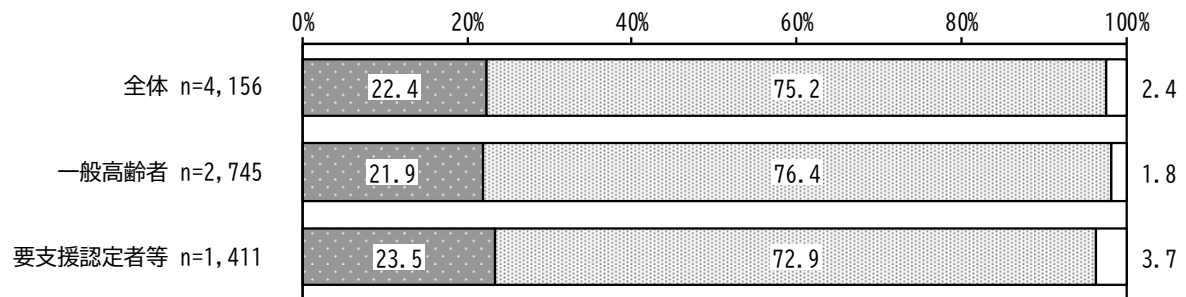
一般高齢者では「はい」の割合が24.1%、「いいえ」の割合が73.6%となっています。

要支援認定者等では「はい」の割合が24.7%、「いいえ」の割合が69.7%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



3 一般高齢者個別調査（市の独自調査項目）

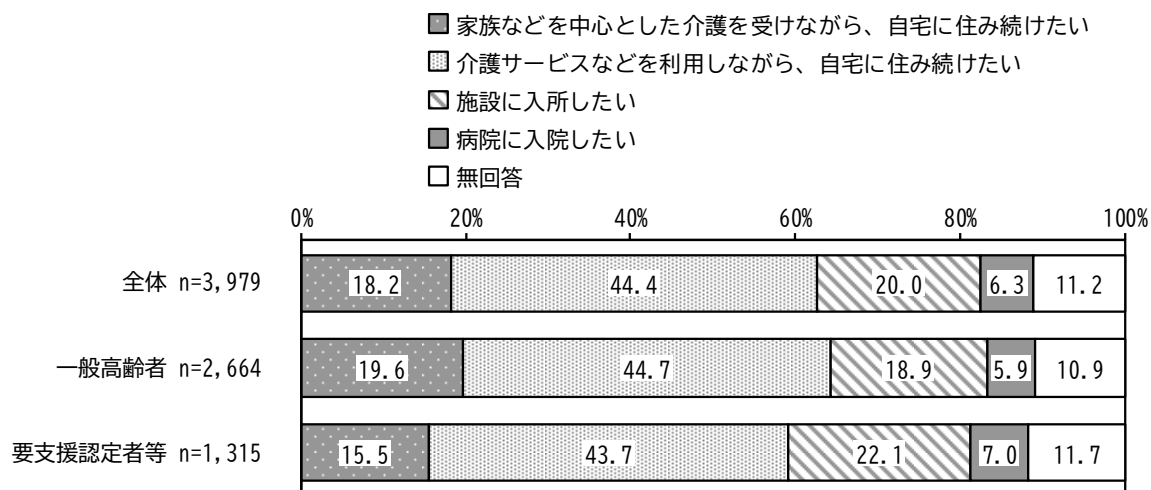
（1）お住まいについて

問1 あなたは、介護や医療が必要になった場合、どこで過ごしたいですか（回答は1つ）

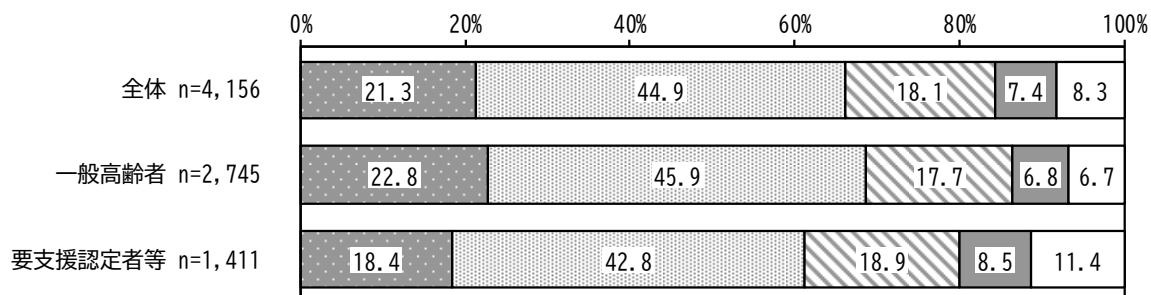
一般高齢者では「介護サービスなどを利用しながら、自宅に住み続けたい」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「家族などを中心とした介護を受けながら、自宅に住み続けたい」の割合が 19.6%、「施設に入所したい」の割合が 18.9%となっています。

要支援認定者等では「介護サービスなどを利用しながら、自宅に住み続けたい」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「施設に入所したい」の割合が 22.1%、「家族などを中心とした介護を受けながら、自宅に住み続けたい」の割合が 15.5%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



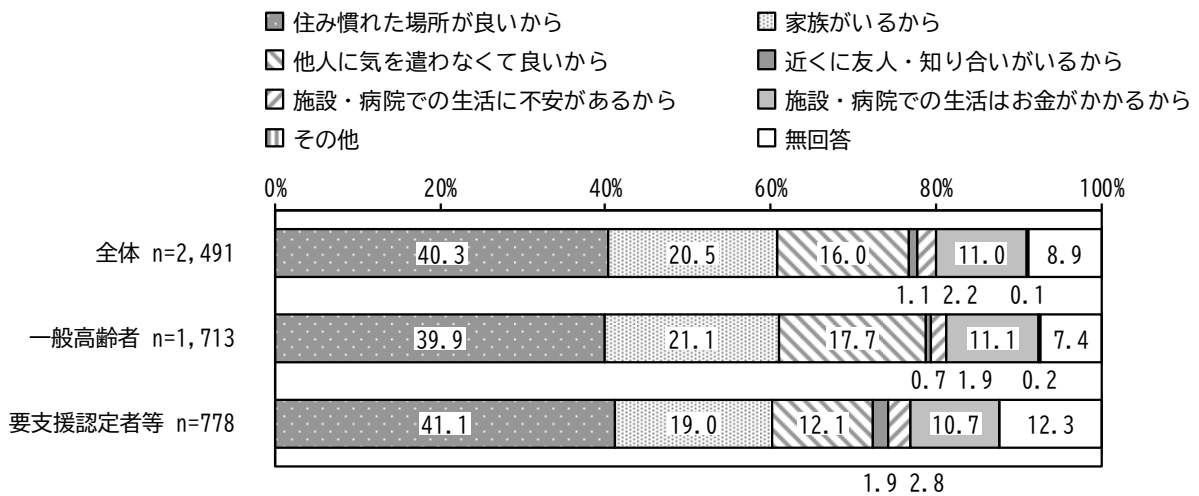
【問1で「家族などを中心とした介護を受けながら、自宅に住み続けたい」「介護サービスなどを利用しながら、自宅に住み続けたい」の方のみ】

問1-1 自宅に住み続けたい理由は何ですか（回答は1つ）

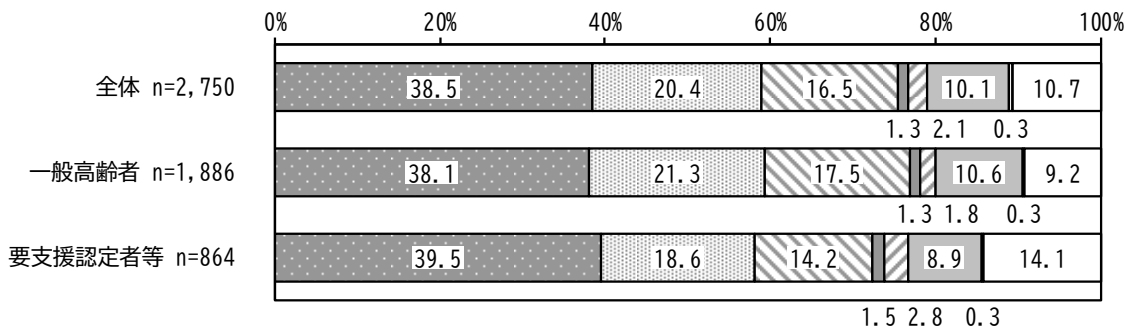
一般高齢者では「住み慣れた場所が良いから」の割合が39.9%と最も高く、次いで「家族がいるから」の割合が21.1%、「他人に気を遣わなくて良いから」の割合が17.7%となっています。

要支援認定者等では「住み慣れた場所が良いから」の割合が41.1%と最も高く、次いで「家族がいるから」の割合が19.0%、「他人に気を遣わなくて良いから」の割合が12.1%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問1で「施設に入所したい」「病院に入院したい」の方のみ】

問1-2 施設・病院に入所・入院したい理由は何ですか（回答は1つ）

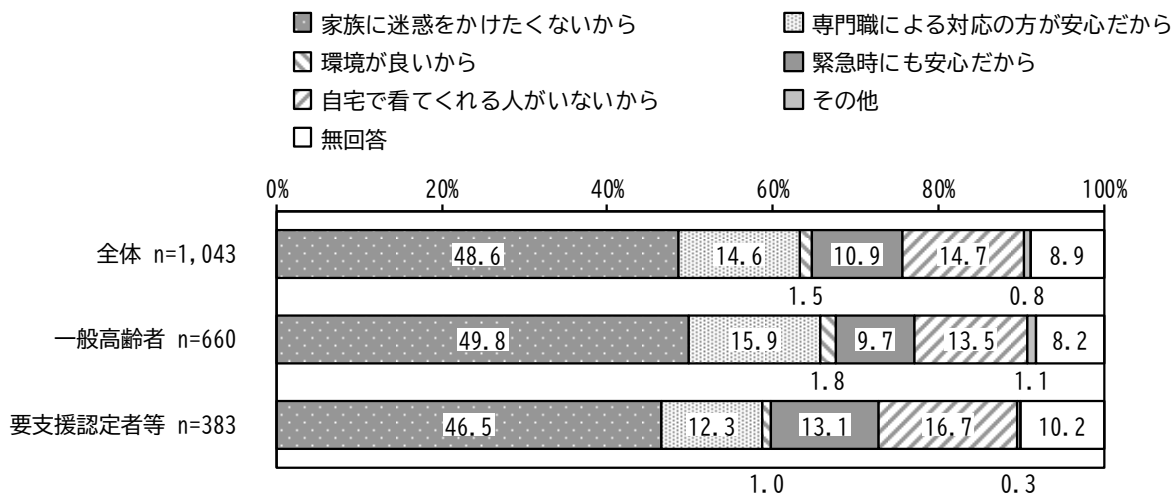
一般高齢者では「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が49.8%と最も高く、次いで「専門職による対応の方が安心だから」の割合が15.9%、「自宅で見てくれる人がいないから」の割合が13.5%となっています。

要支援認定者等では「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が46.5%と最も高く、次いで「自宅で見てくれる人がいないから」の割合が16.7%、「緊急時にも安心だから」の割合が13.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、一般高齢者で「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が5.7ポイント減少しています。

要支援認定者等では「家族に迷惑をかけたくないから」の割合が6.1ポイント増加しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

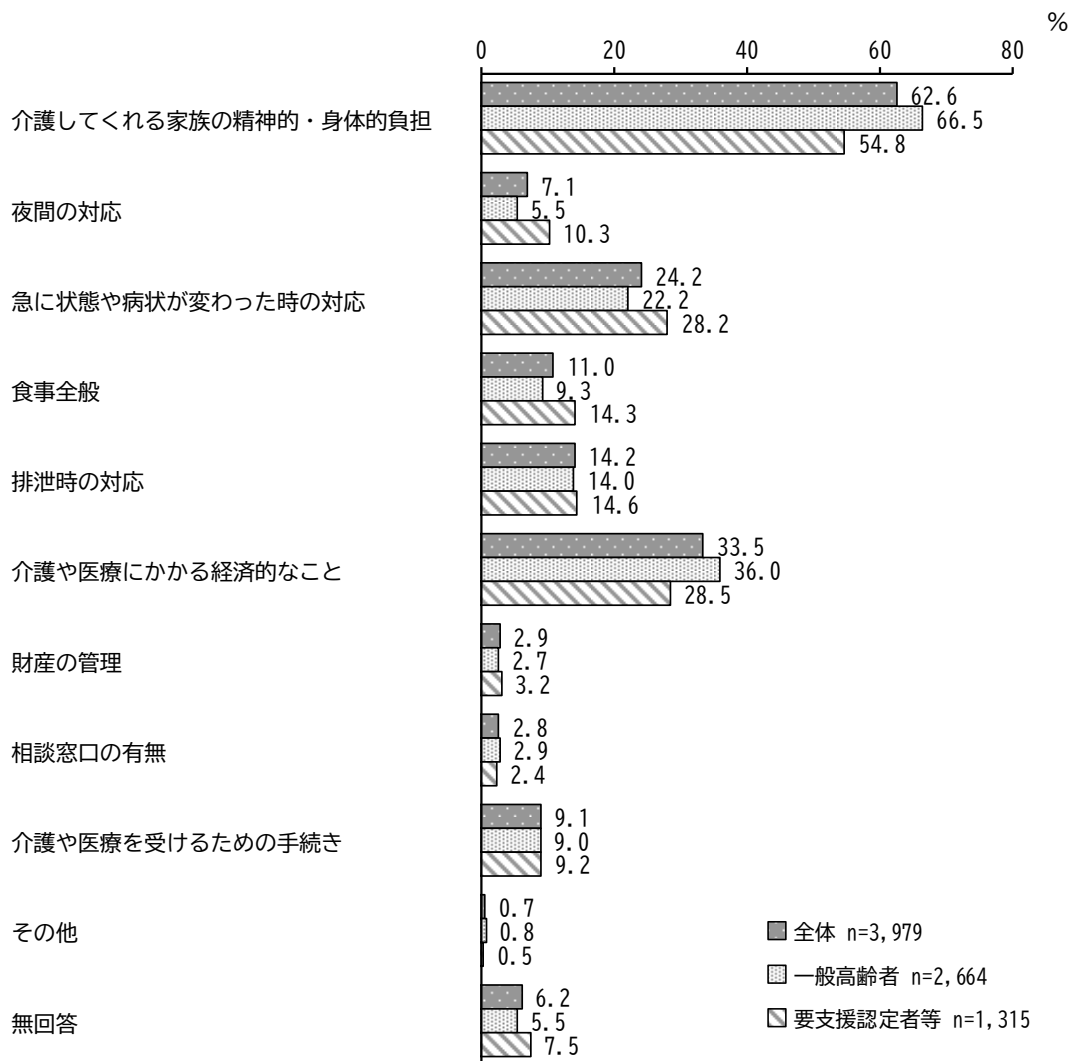


問2 あなたが、介護や医療が必要になった場合、特に心配に思うことは何ですか
（主なもの2つまでに回答）

一般高齢者では「介護してくれる家族の精神的・身体的負担」の割合が66.5%と最も高く、次いで「介護や医療にかかる経済的なこと」の割合が36.0%、「急に状態や病状が変わった時の対応」の割合が22.2%となっています。

要支援認定者等では「介護してくれる家族の精神的・身体的負担」の割合が54.8%と最も高く、次いで「介護や医療にかかる経済的なこと」の割合が28.5%、「急に状態や病状が変わった時の対応」の割合が28.2%となっています。

【令和7年度調査】



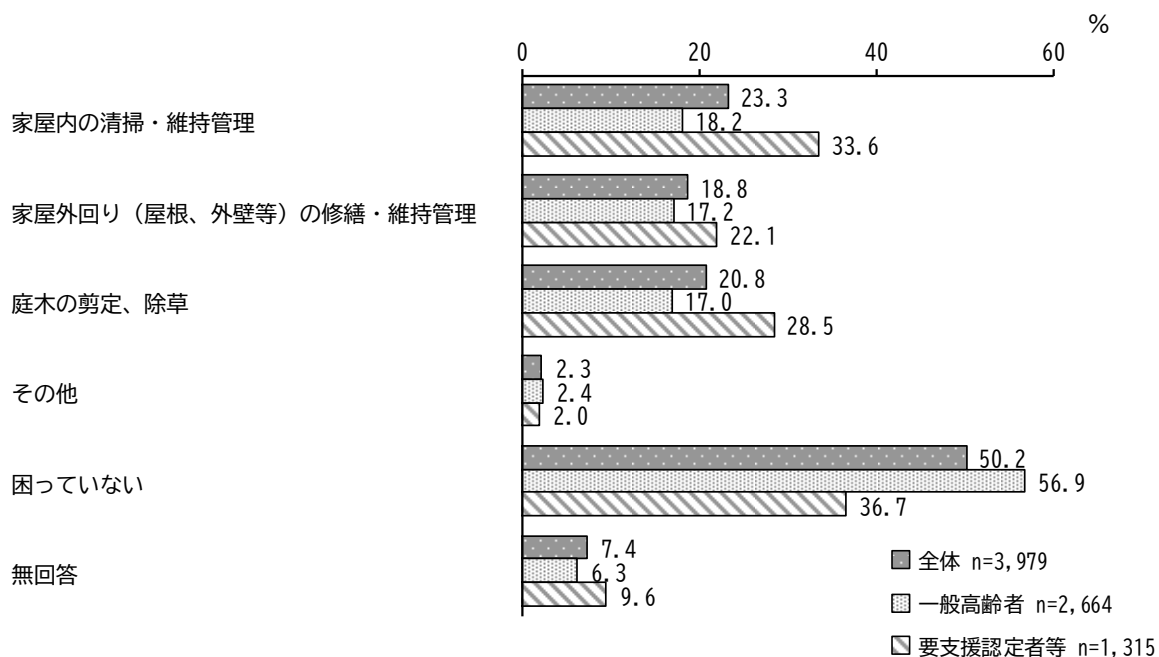
問3 お住まいについて困っていることはありますか。（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「困っていない」の割合が 56.9%と最も高く、次いで「家屋内の清掃・維持管理」の割合が 18.2%、「家屋外回り（屋根、外壁等）の修繕・維持管理」の割合が 17.2%となっています。

要支援認定者等では「困っていない」の割合が 36.7%と最も高く、次いで「家屋内の清掃・維持管理」の割合が 33.6%、「庭木の剪定、除草」の割合が 28.5%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「家屋内の清掃・維持管理」「庭木の剪定、除草」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「困っていない」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



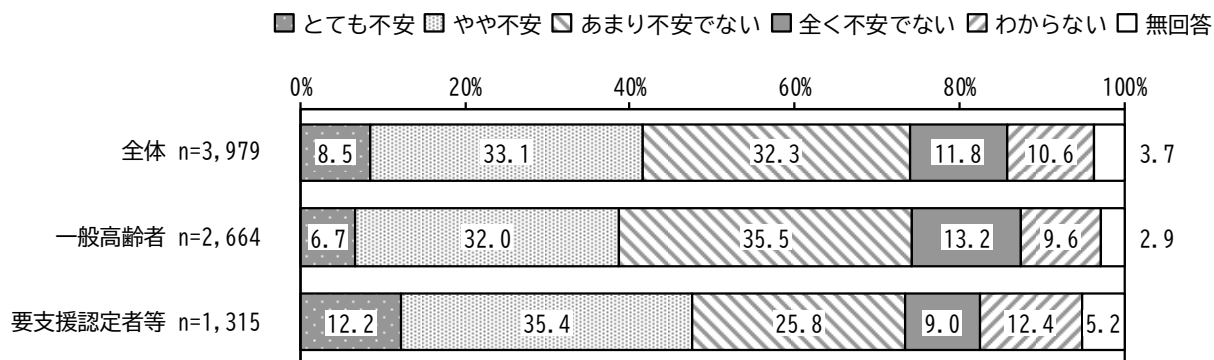
問4 今後の住まいに不安を感じていますか。（回答は1つ）

一般高齢者では“不安”の割合が38.7%、“不安でない”の割合が48.7%となっています。

要支援認定者等では“不安”の割合が47.6%、“不安でない”の割合が34.8%となっています。

要介護状態区別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で“不安”の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



※ “不安” は「とても不安」と「やや不安」を合わせた割合

“不安でない” は「あまり不安でない」と「全く不安でない」を合わせた割合

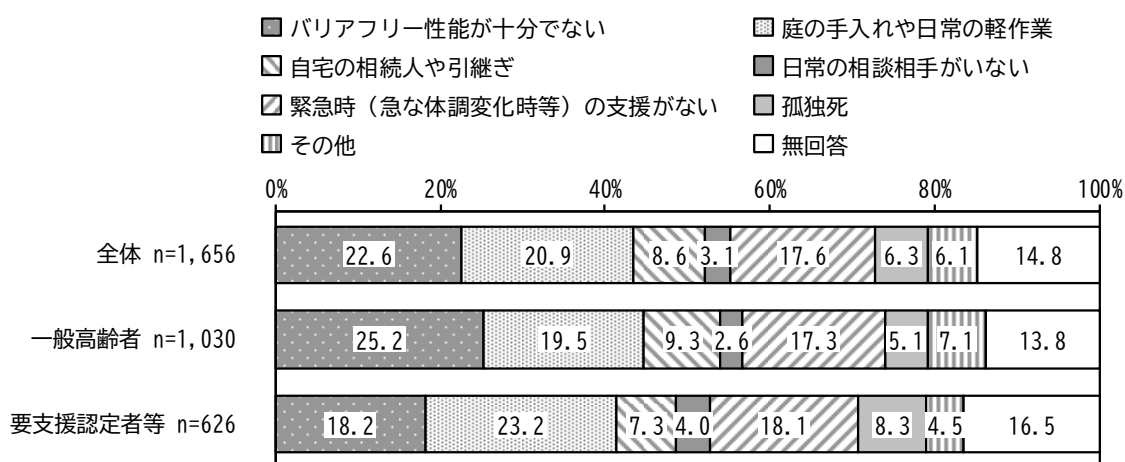
【問4で「とても不安」「やや不安」の方のみ】

問4-1 不安を感じている理由は何ですか。（回答は1つ）

一般高齢者では「バリアフリー性能が十分でない」の割合が 25.2%と最も高く、次いで「庭の手入れや日常の軽作業」の割合が 19.5%、「緊急時（急な体調変化時等）の支援がない」の割合が 17.3%となっています。

要支援認定者等では「庭の手入れや日常の軽作業」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「バリアフリー性能が十分でない」の割合が 18.2%、「緊急時（急な体調変化時等）の支援がない」の割合が 18.1%となっています。

【令和7年度調査】

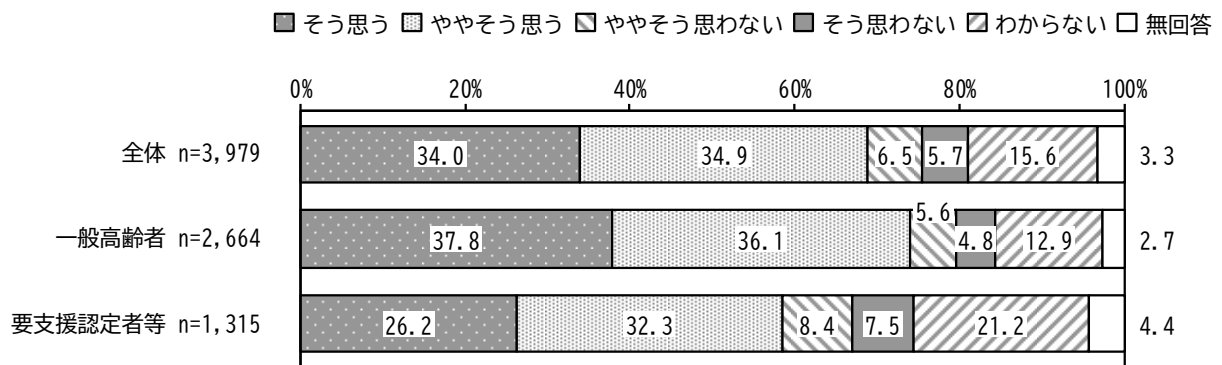


問5 これからも安心して自宅での生活を送れそうですか。（回答は1つ）

一般高齢者では“そう思う”の割合が73.9%、“そう思わない”の割合が10.4%となっています。
 要支援認定者等では“そう思う”の割合が58.5%、“そう思わない”の割合が15.9%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で“そう思う”の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



※ “そう思う”は「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合
 “そう思わない”は「ややそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合

（２）生きがいについて

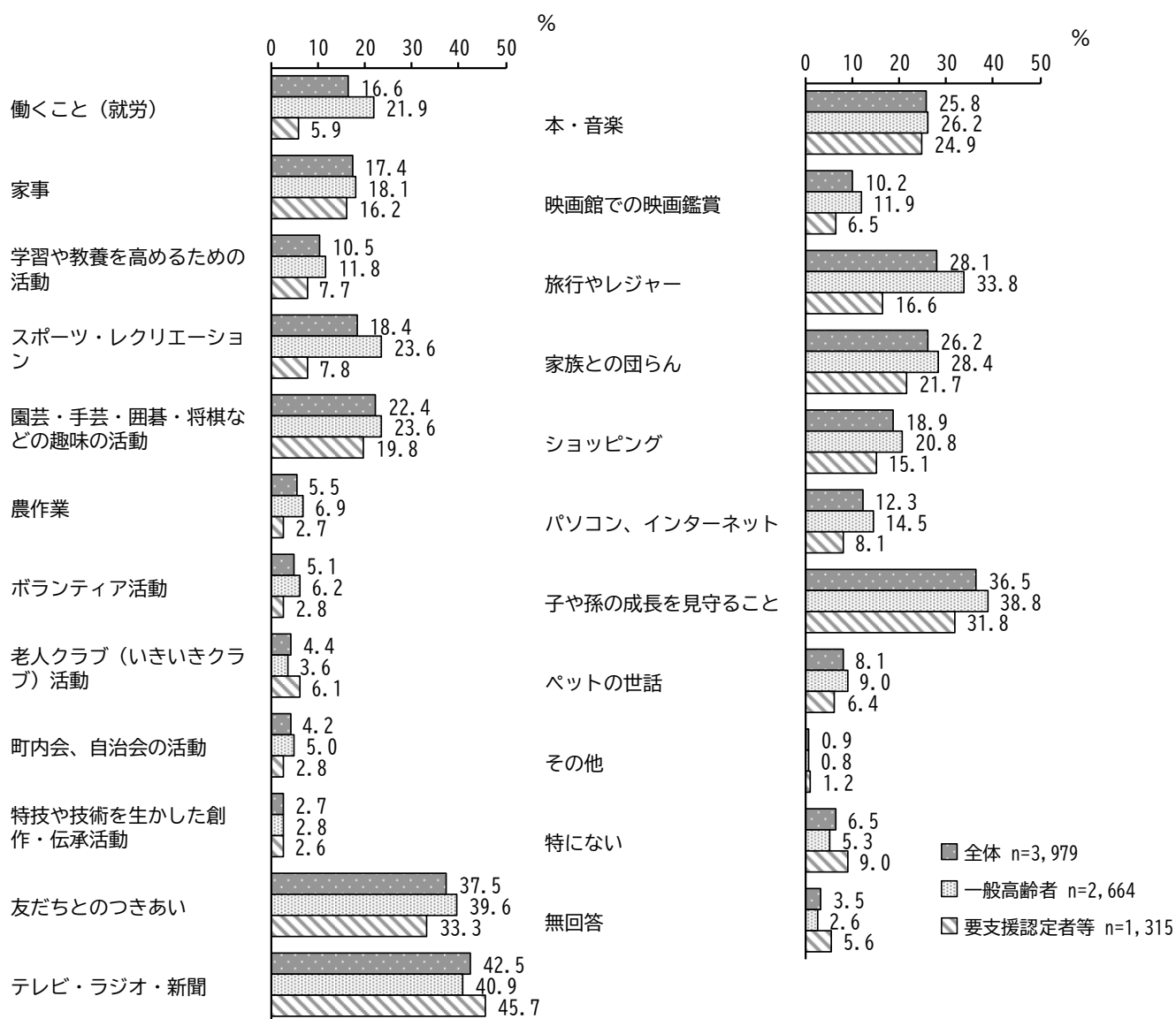
問6 あなたは、どのようなことに充実感や生きがいを感じますか
（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「テレビ・ラジオ・新聞」の割合が40.9%と最も高く、次いで「友だちとのつきあい」の割合が39.6%、「子や孫の成長を見守ること」の割合が38.8%となっています。

要支援認定者等では「テレビ・ラジオ・新聞」の割合が45.7%と最も高く、次いで「友だちとのつきあい」の割合が33.3%、「子や孫の成長を見守ること」の割合が31.8%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「働くこと（就労）」「スポーツ・レクリエーション」「旅行やレジャー」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



問7 今後の就労意向についておうかがいします。あなたは、今後も働きたいと思いますか（回答は1つ）

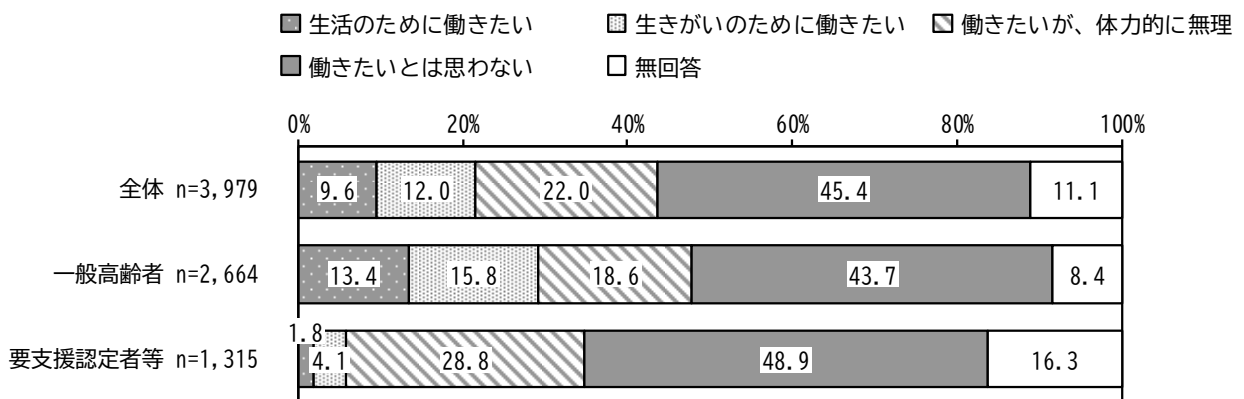
一般高齢者では「働きたいとは思わない」の割合が43.7%と最も高く、次いで「働きたいが、体力的に無理」の割合が18.6%、「生きがいのために働きたい」の割合が15.8%となっています。

要支援認定者等では「働きたいとは思わない」の割合が48.9%と最も高く、次いで「働きたいが、体力的に無理」の割合が28.8%となっています。

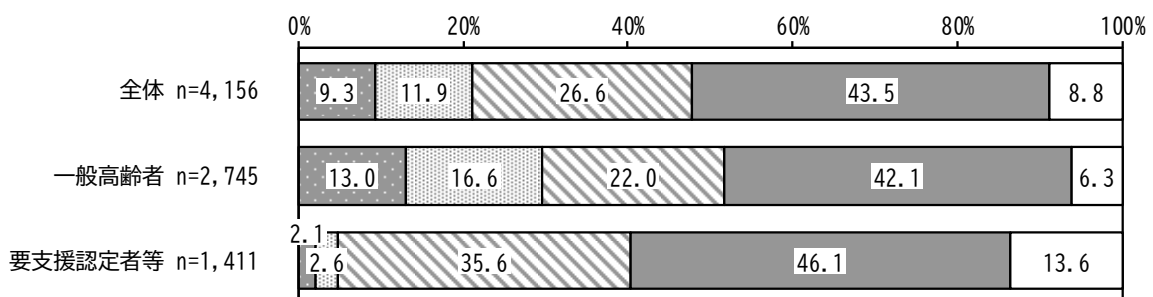
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「働きたいが、体力的に無理」の割合が高く、「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「働きたいが、体力的に無理」の割合が6.8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問7で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の方のみ】

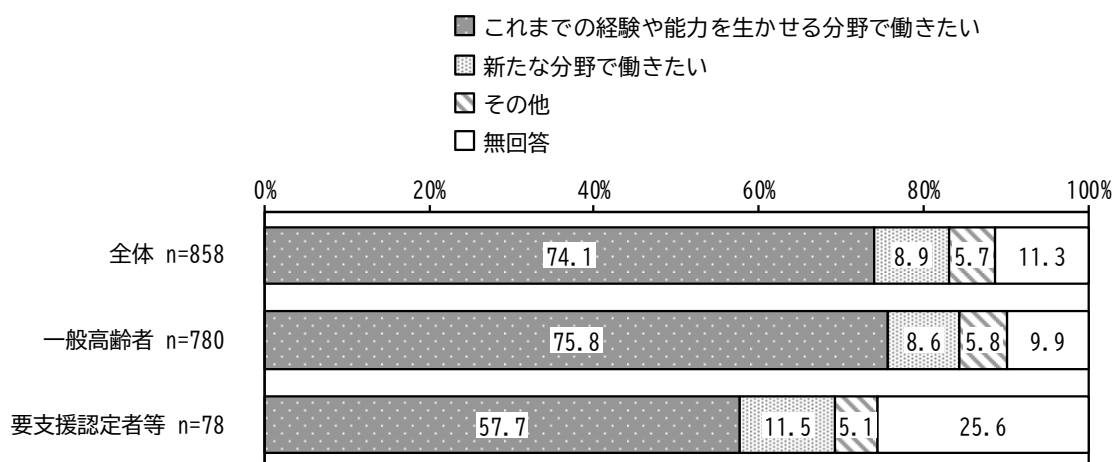
問7-1 どのような分野で働きたいと思いますか（回答は1つ）

一般高齢者では「これまでの経験や能力を生かせる分野で働きたい」の割合が75.8%、「新たな分野で働きたい」の割合が8.6%となっています。

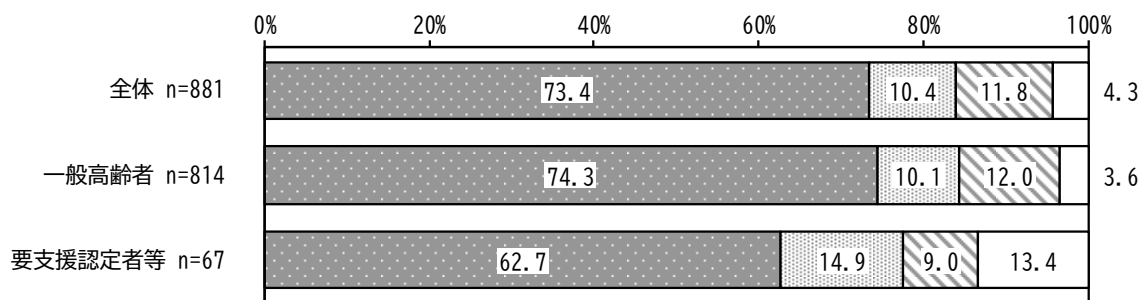
要支援認定者等では「これまでの経験や能力を生かせる分野で働きたい」の割合が57.7%、「新たな分野で働きたい」の割合が11.5%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「これまでの経験や能力を生かせる分野で働きたい」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問7で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の方のみ】

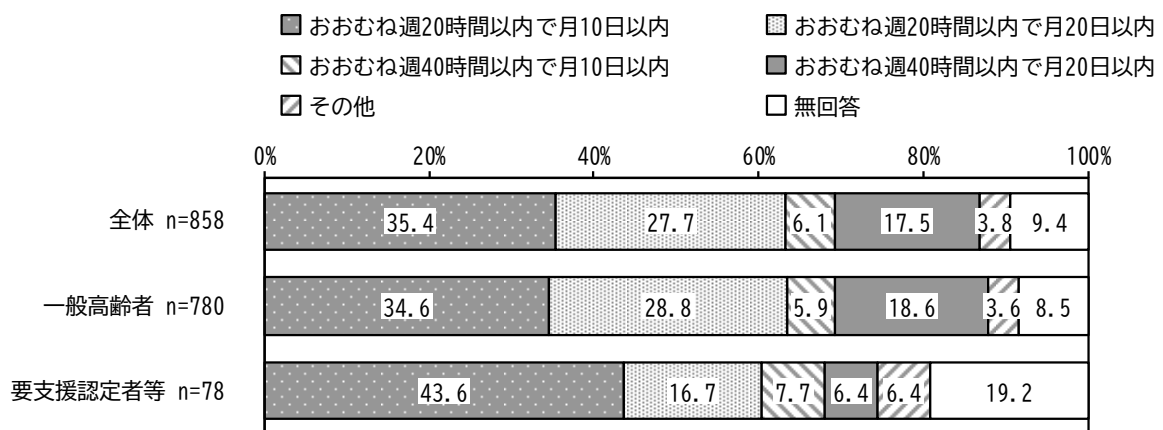
問7-2 どのような働き方を希望しますか（回答は1つ）

一般高齢者では「おおむね週20時間以内で月10日以内」の割合が34.6%と最も高く、次いで「おおむね週20時間以内で月20日以内」の割合が28.8%、「おおむね週40時間以内で月20日以内」の割合が18.6%となっています。

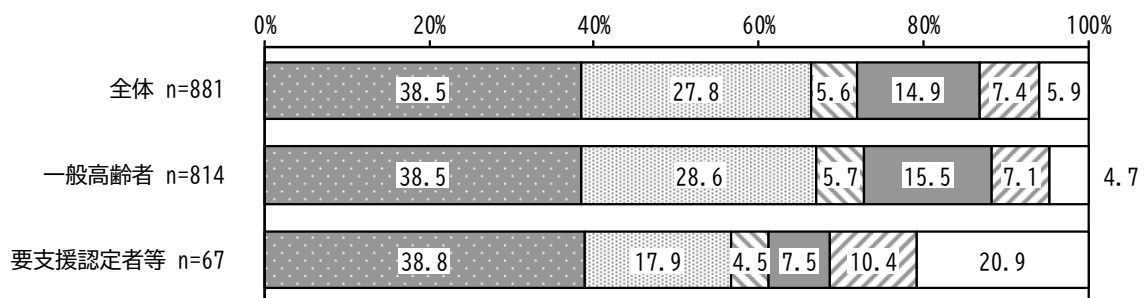
要支援認定者等では「おおむね週20時間以内で月10日以内」の割合が43.6%と最も高く、次いで「おおむね週20時間以内で月20日以内」の割合が16.7%となっています。

要介護状態区別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「おおむね週20時間以内で月20日以内」「おおむね週40時間以内で月20日以内」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問7で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の方のみ】

問7-3 あなたは何歳まで働きたいと思いますか（回答は1つ）

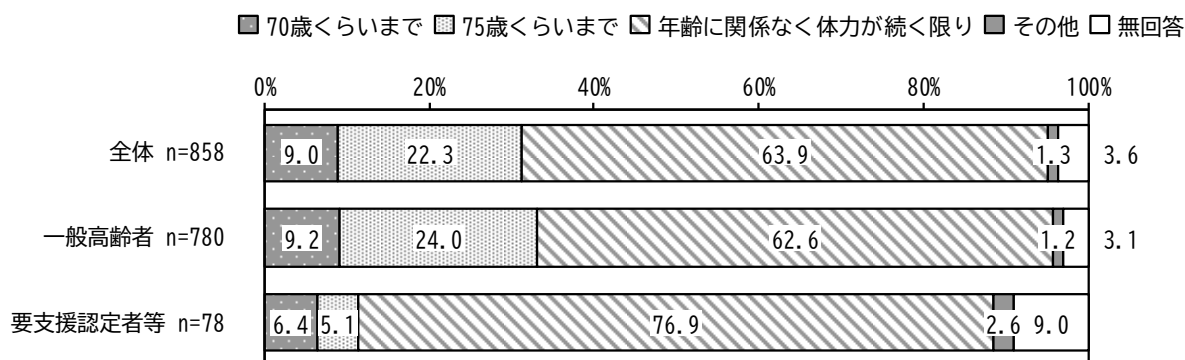
一般高齢者では「70歳くらいまで」の割合が9.2%、「75歳くらいまで」の割合が24.0%、「年齢に関係なく体力が続く限り」の割合が62.6%となっています。

要支援認定者等では「70歳くらいまで」の割合が6.4%、「75歳くらいまで」の割合が5.1%、「年齢に関係なく体力が続く限り」の割合が76.9%となっています。

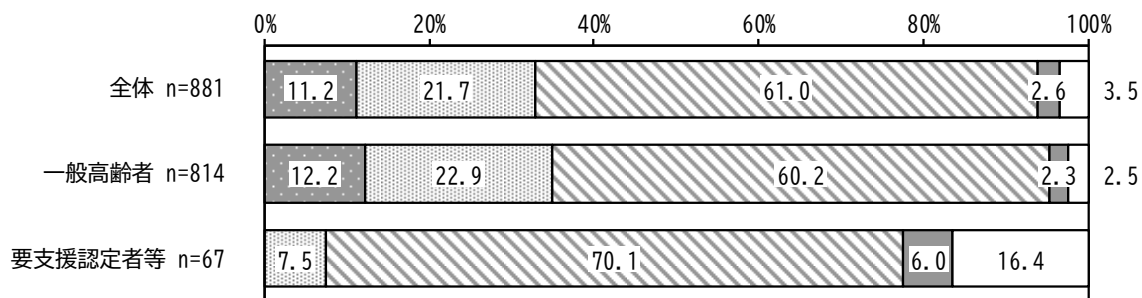
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「年齢に関係なく体力が続く限り」の割合が高く、「75歳くらいまで」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「70歳くらいまで」の割合が6.4ポイント、「年齢に関係なく体力が続く限り」の割合が6.8ポイント増加しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



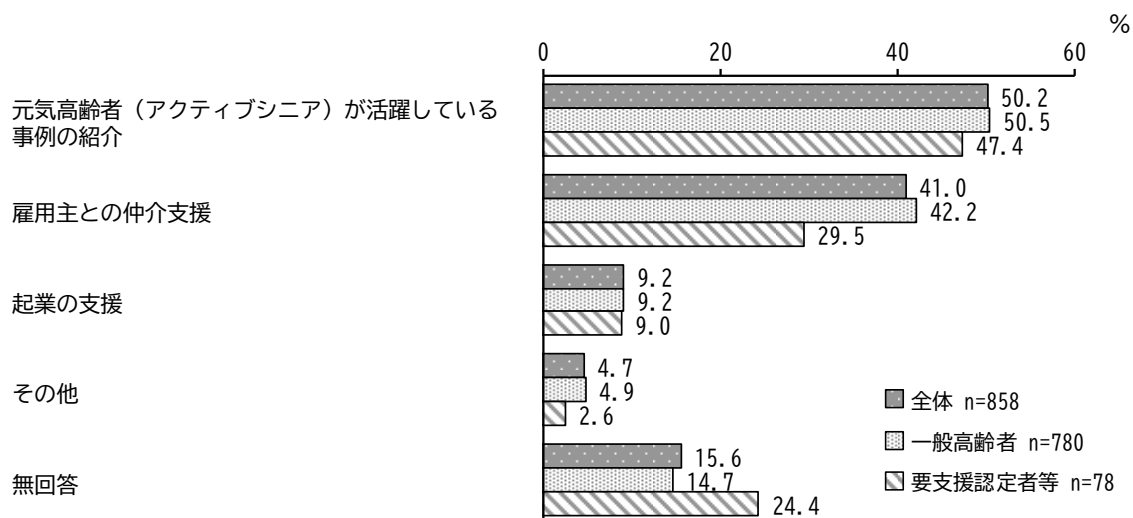
【問7で「生活のために働きたい」「生きがいのために働きたい」の方のみ】

問7-4 働く上で自治体が行うべき施策は何だと思えますか
（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「元気高齢者（アクティブシニア）が活躍している事例の紹介」の割合が 50.5%、「雇用主との仲介支援」の割合が 42.2%、「起業の支援」の割合が 9.2%となっています。

要支援認定者等では「元気高齢者（アクティブシニア）が活躍している事例の紹介」の割合が 47.4%、「雇用主との仲介支援」の割合が 29.5%、「起業の支援」の割合が 9.0%となっています。

【令和7年度調査】



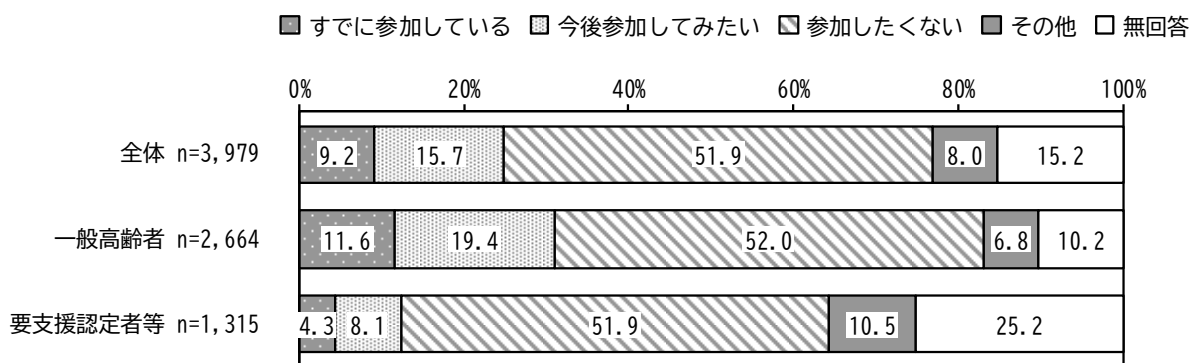
問8 あなたは、ボランティア活動に参加してみたいですか（回答は1つ）

一般高齢者では「すでに参加している」の割合が11.6%、「今後参加してみたい」の割合が19.4%、「参加したくない」の割合が52.0%となっています。

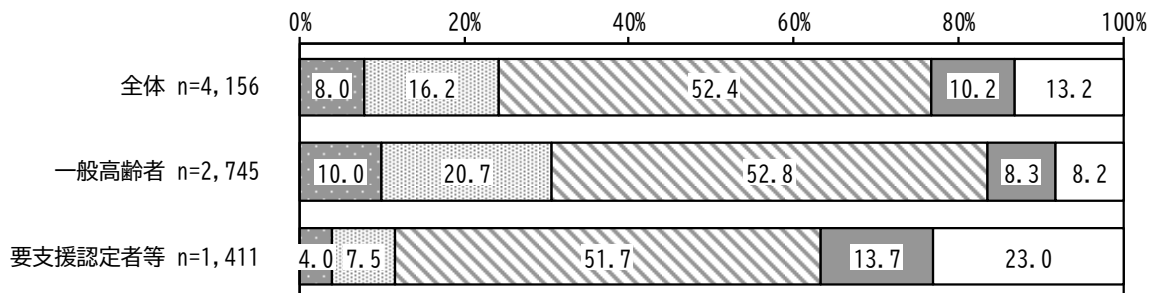
要支援認定者等では「すでに参加している」の割合が4.3%、「今後参加してみたい」の割合が8.1%、「参加したくない」の割合が51.9%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「今後参加してみたい」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



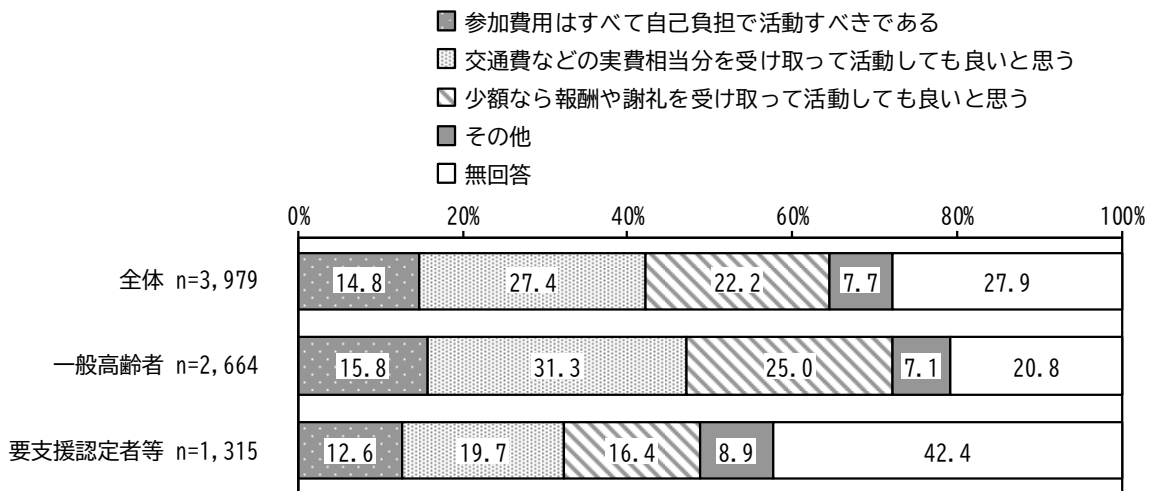
問9 あなたは、ボランティア活動について、どのような方法が良いと思いますか
（回答は1つ）

一般高齢者では「参加費用はすべて自己負担で活動すべきである」の割合が15.8%、「交通費などの実費相当分を受け取って活動しても良いと思う」の割合が31.3%、「少額なら報酬や謝礼を受け取って活動しても良いと思う」の割合が25.0%となっています。

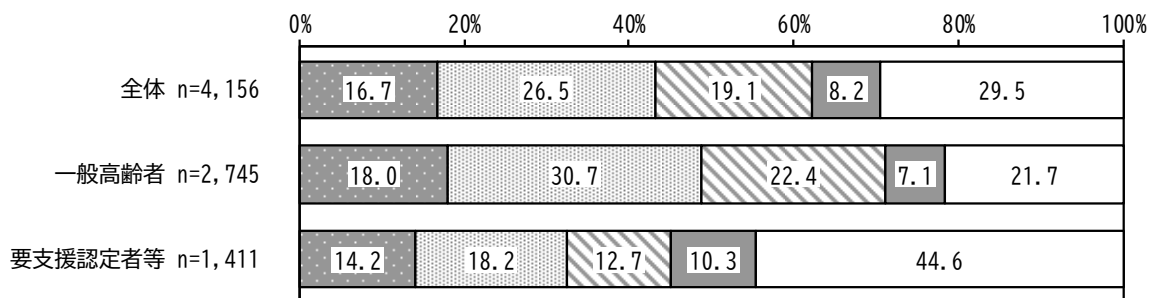
要支援認定者等では「参加費用はすべて自己負担で活動すべきである」の割合が12.6%、「交通費などの実費相当分を受け取って活動しても良いと思う」の割合が19.7%、「少額なら報酬や謝礼を受け取って活動しても良いと思う」の割合が16.4%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「交通費などの実費相当分を受け取って活動しても良いと思う」「少額なら報酬や謝礼を受け取って活動しても良いと思う」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



（3）主な福祉サービス・介護サービスについて

問10 あなたは、次の介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスを利用したことがありますか（それぞれ回答は1つ）

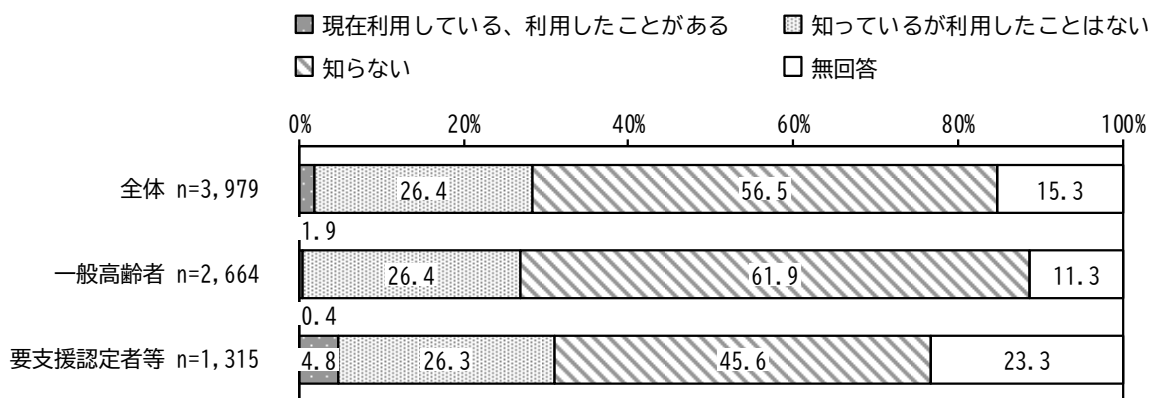
①緊急通報システム

一般高齢者では「現在利用している、利用したことがある」の割合が0.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が26.4%、「知らない」の割合が61.9%となっています。

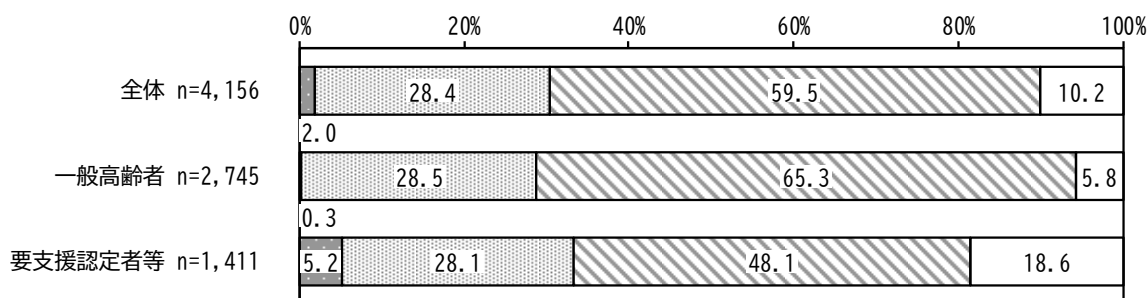
要支援認定者等では「現在利用している、利用したことがある」の割合が4.8%、「知っているが利用したことはない」の割合が26.3%、「知らない」の割合が45.6%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



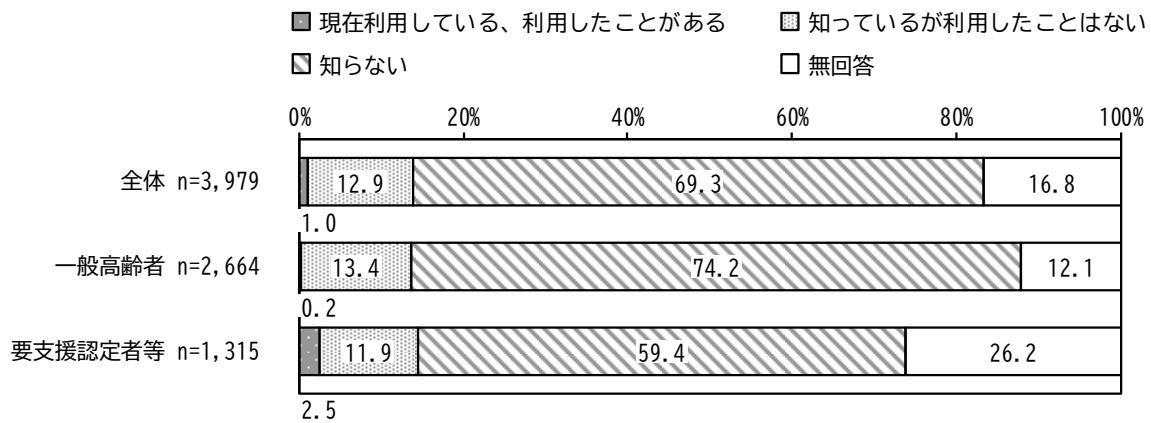
②日常生活用具の給付

一般高齢者では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 0.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が 13.4%、「知らない」の割合が 74.2%となっています。

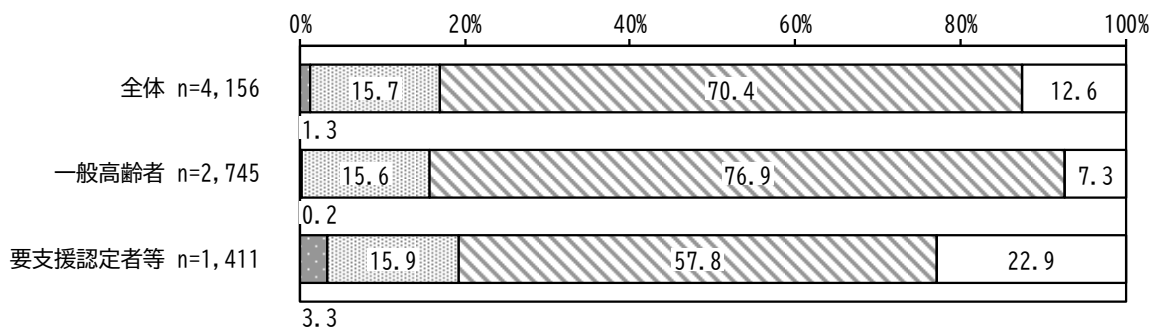
要支援認定者等では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 2.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が 11.9%、「知らない」の割合が 59.4%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



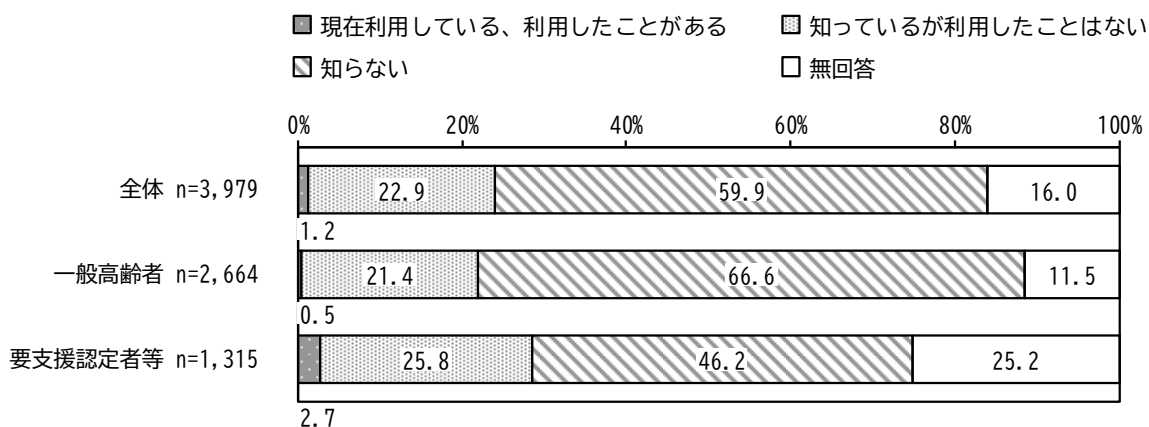
③配食サービス

一般高齢者では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 0.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が 21.4%、「知らない」の割合が 66.6%となっています。

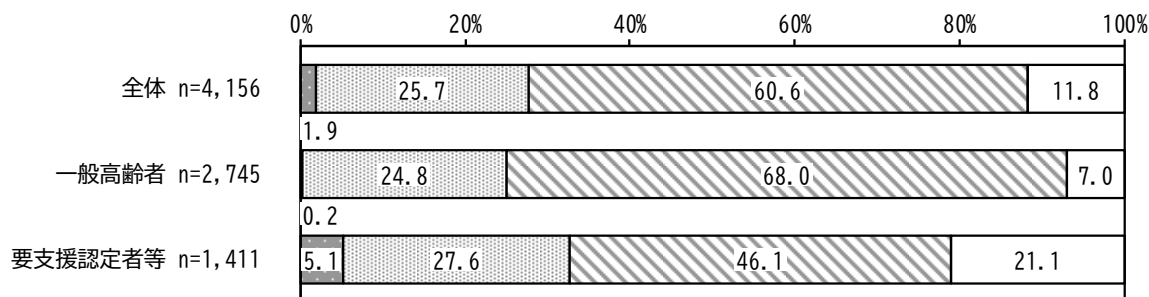
要支援認定者等では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 2.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が 25.8%、「知らない」の割合が 46.2%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



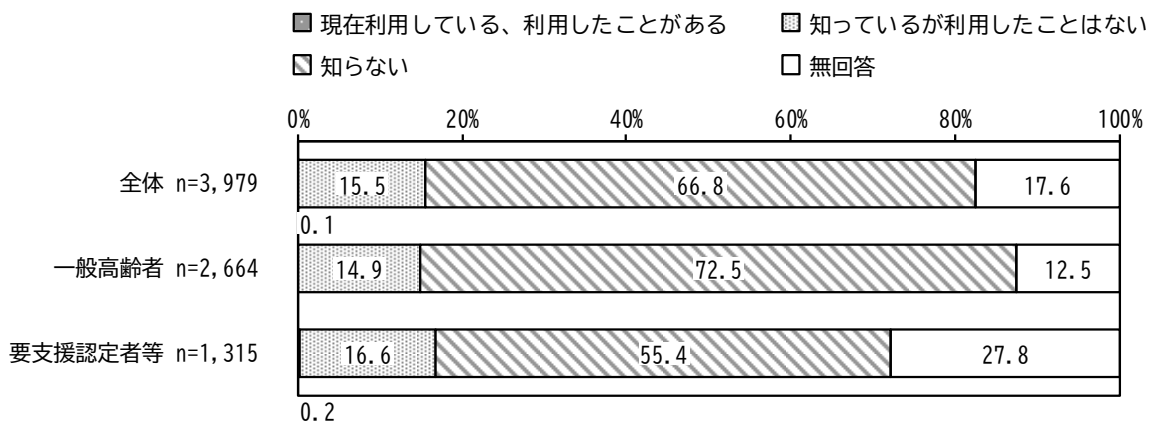
④ 徘徊高齢者等探索サービス

一般高齢者では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 0.0%、「知っているが利用したことはない」の割合が 14.9%、「知らない」の割合が 72.5%となっています。

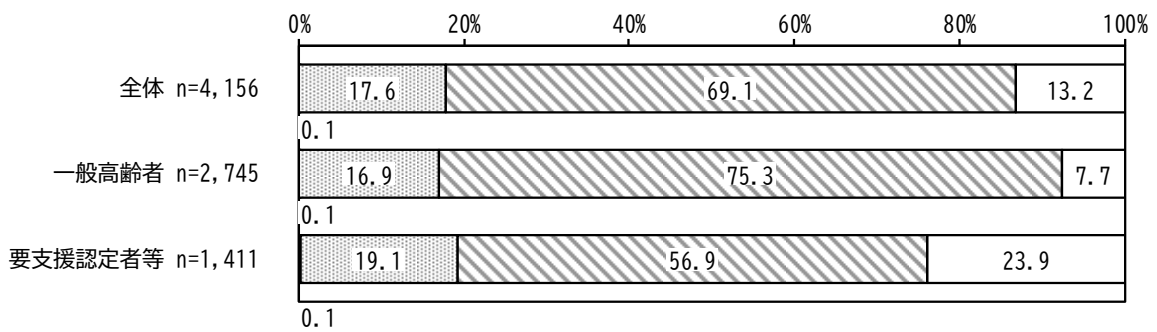
要支援認定者等では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 0.2%、「知っているが利用したことはない」の割合が 16.6%、「知らない」の割合が 55.4%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



⑤見守り訪問サービス

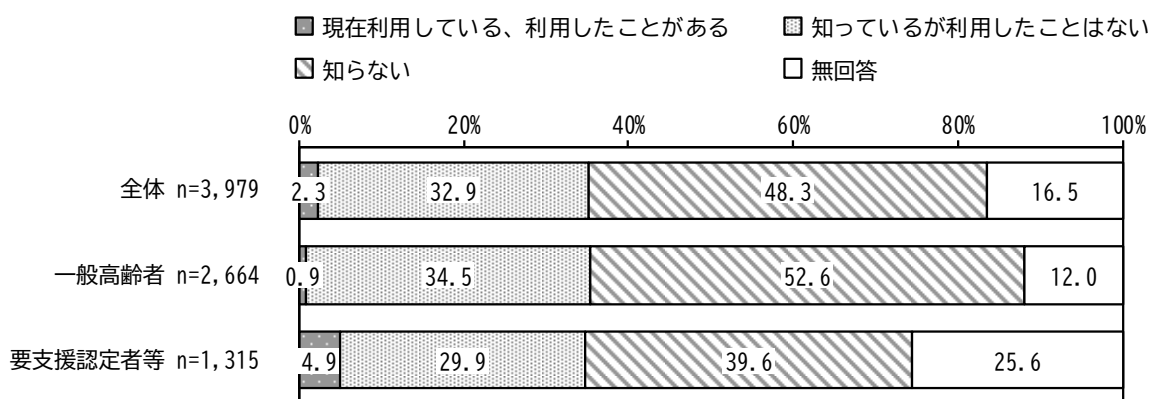
一般高齢者では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 0.9%、「知っているが利用したことはない」の割合が 34.5%、「知らない」の割合が 52.6%となっています。

要支援認定者等では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 4.9%、「知っているが利用したことはない」の割合が 29.9%、「知らない」の割合が 39.6%となっています。

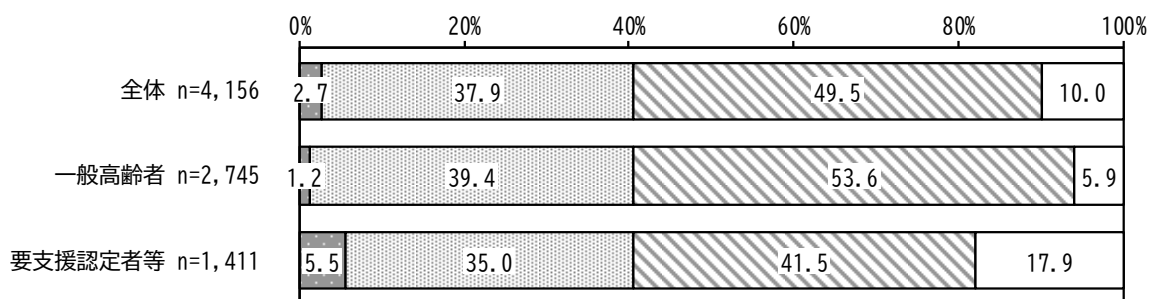
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「知らない」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「知っているが利用したことはない」の割合が 5.1ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



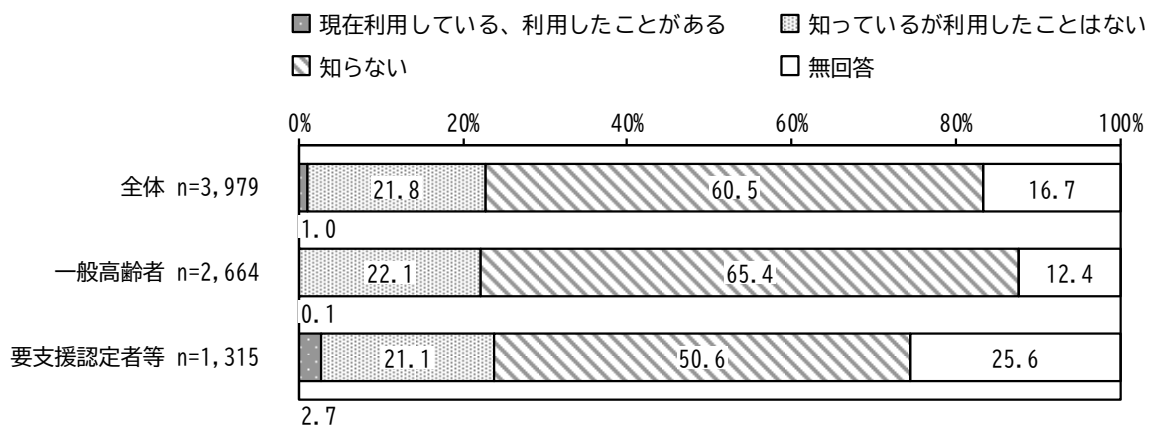
⑥ふれあい収集

一般高齢者では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 0.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が 22.1%、「知らない」の割合が 65.4%となっています。

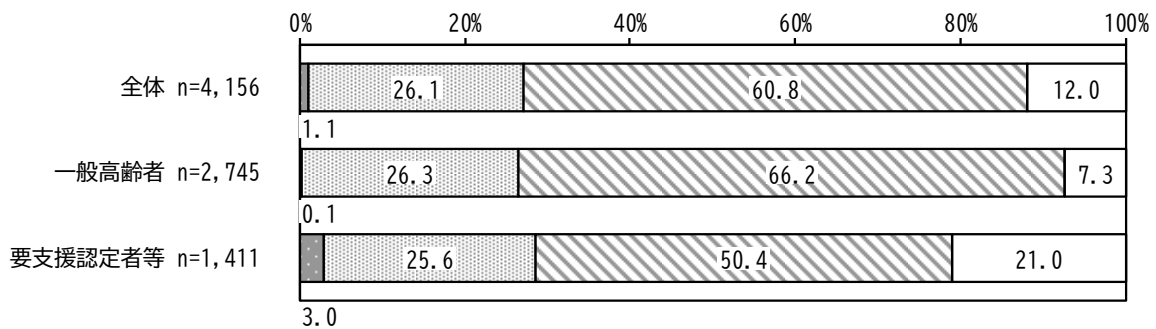
要支援認定者等では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 2.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が 21.1%、「知らない」の割合が 50.6%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



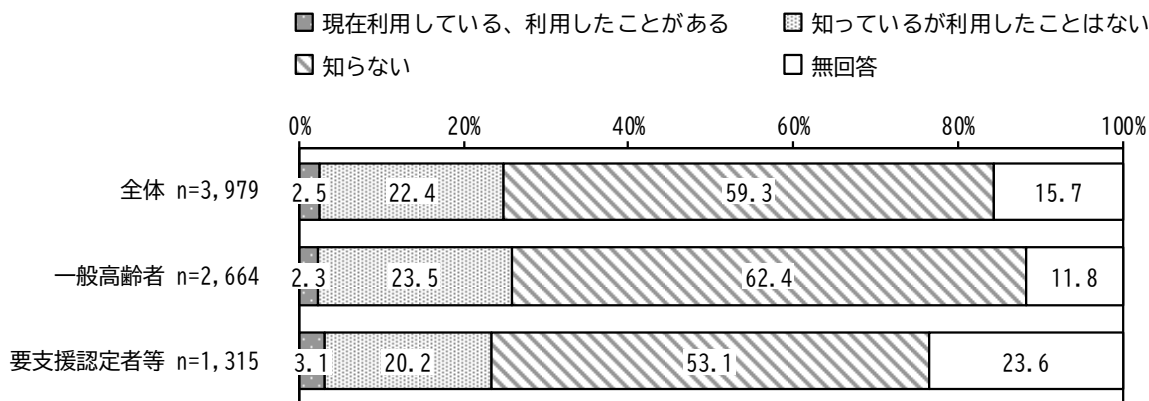
⑦アッピー元気カード

一般高齢者では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 2.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が 23.5%、「知らない」の割合が 62.4%となっています。

要支援認定者等では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 3.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が 20.2%、「知らない」の割合が 53.1%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



⑧わたしノート

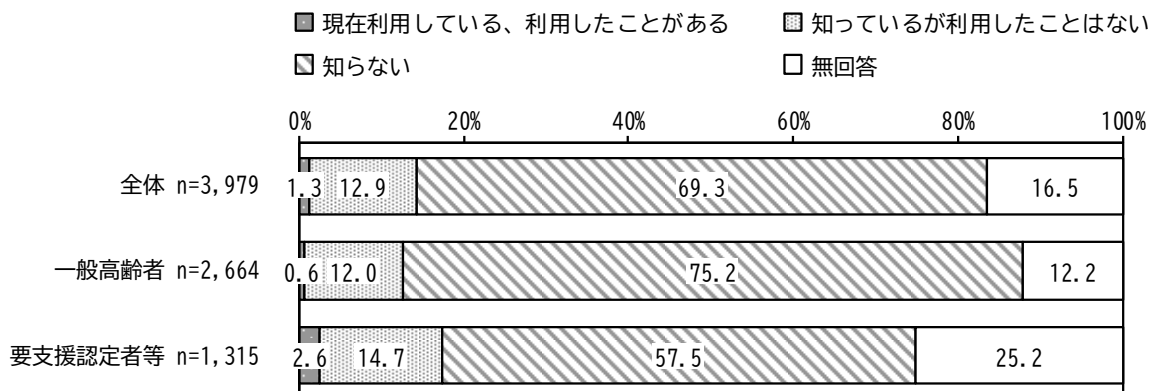
自分の病歴や治療歴等について必要なときに、ご家族や支援者と共有できるノートです

一般高齢者では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 0.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が 12.0%、「知らない」の割合が 75.2%となっています。

要支援認定者等では「現在利用している、利用したことがある」の割合が 2.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が 14.7%、「知らない」の割合が 57.5%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【問10で一つでも「現在利用している、利用したことがある」とご回答された方のみ】

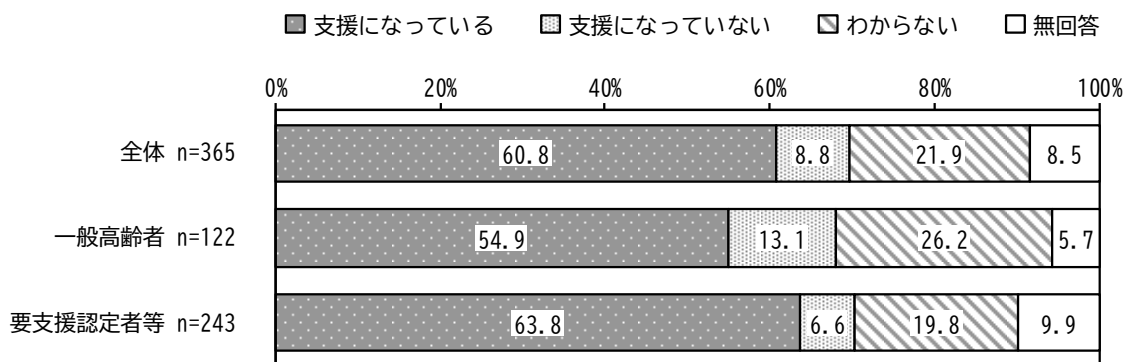
問11 上記サービスは、自宅での生活を続けるための支援になっていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「支援になっている」の割合が54.9%、「支援になっていない」の割合が13.1%となっています。

要支援認定者等では「支援になっている」の割合が63.8%、「支援になっていない」の割合が6.6%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「支援になっている」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



問12 あなたは、次の介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスを今後利用したいと思いませんか（それぞれ回答は1つ）

①緊急通報システム

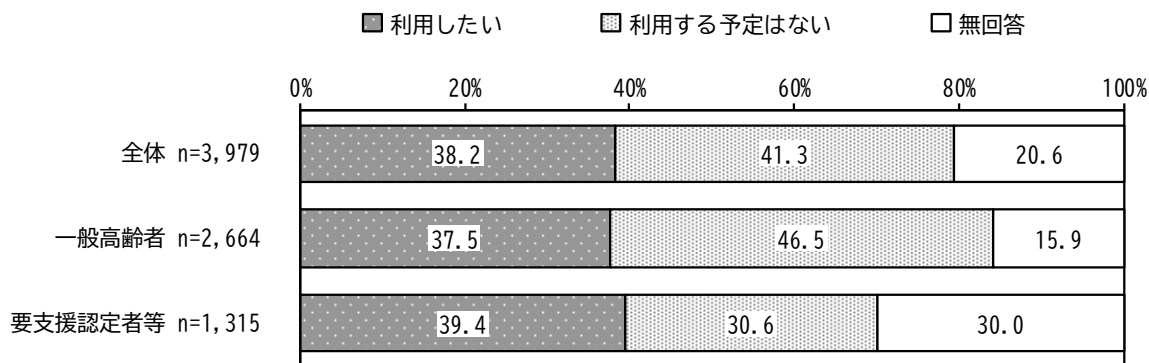
一般高齢者では「利用したい」の割合が37.5%、「利用する予定はない」の割合が46.5%となっています。

要支援認定者等では「利用したい」の割合が39.4%、「利用する予定はない」の割合が30.6%となっています。

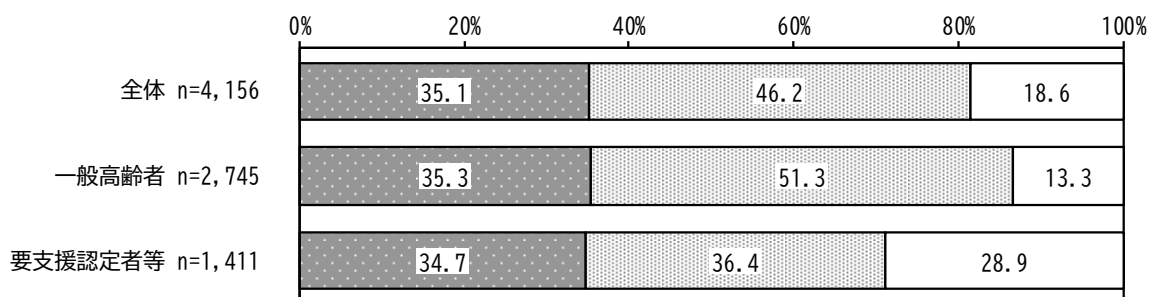
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「利用する予定はない」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「利用する予定はない」の割合が5.8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



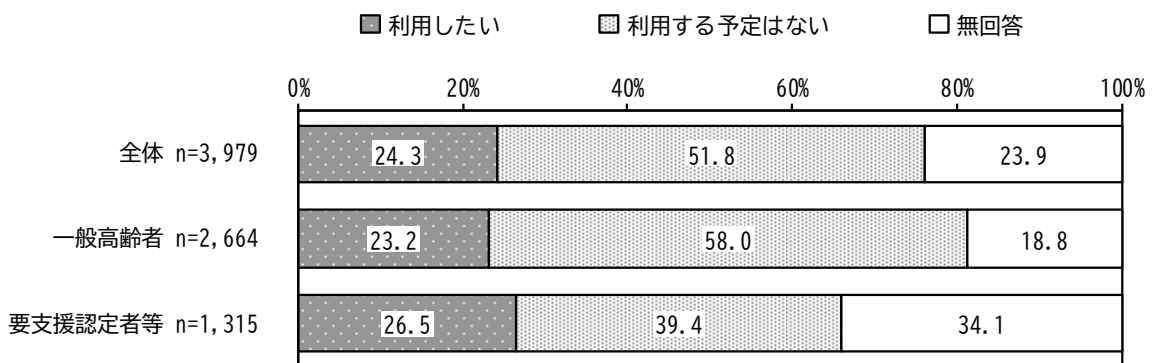
②日常生活用具の給付

一般高齢者では「利用したい」の割合が23.2%、「利用する予定はない」の割合が58.0%となっています。

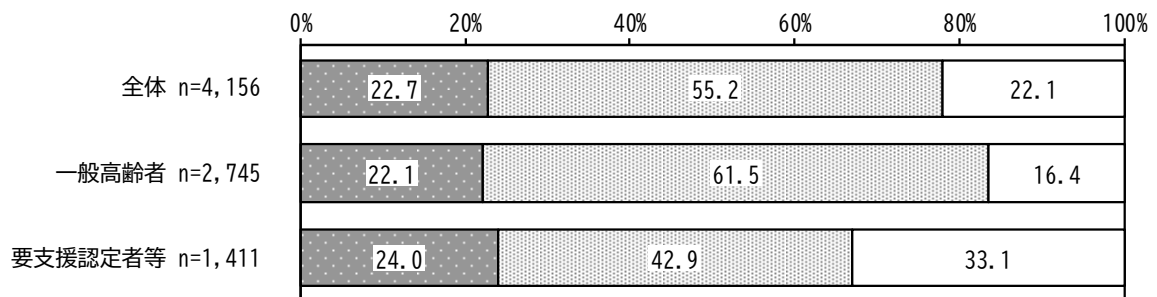
要支援認定者等では「利用したい」の割合が26.5%、「利用する予定はない」の割合が39.4%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「利用する予定はない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



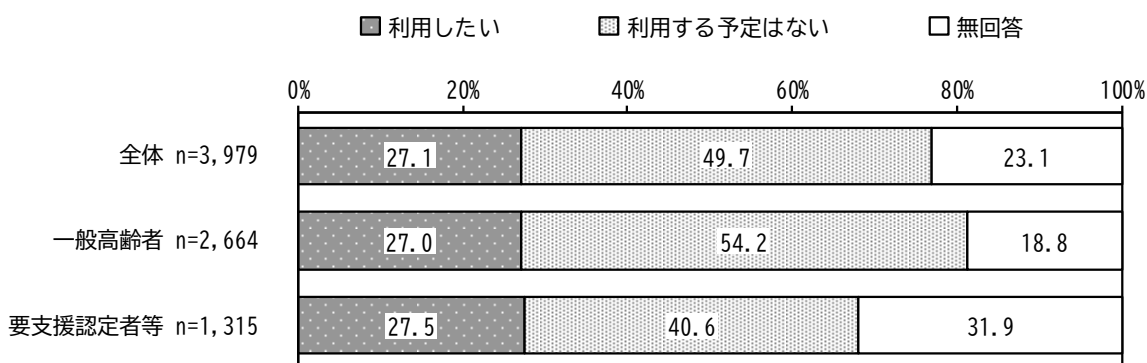
③配食サービス

一般高齢者では「利用したい」の割合が 27.0%、「利用する予定はない」の割合が 54.2%となっています。

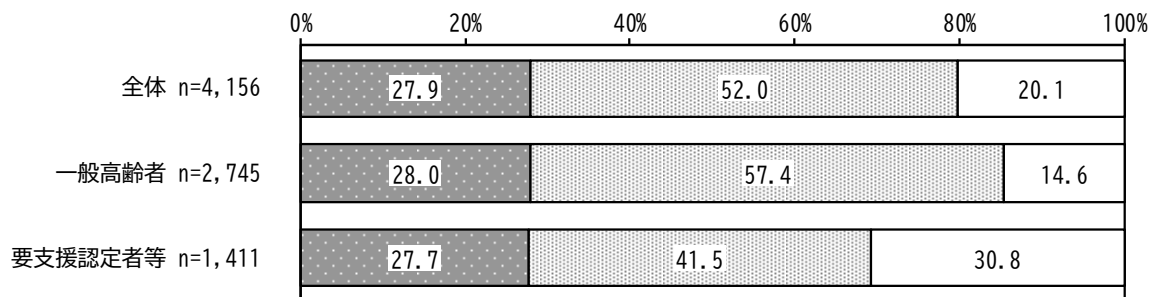
要支援認定者等では「利用したい」の割合が 27.5%、「利用する予定はない」の割合が 40.6%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「利用する予定はない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



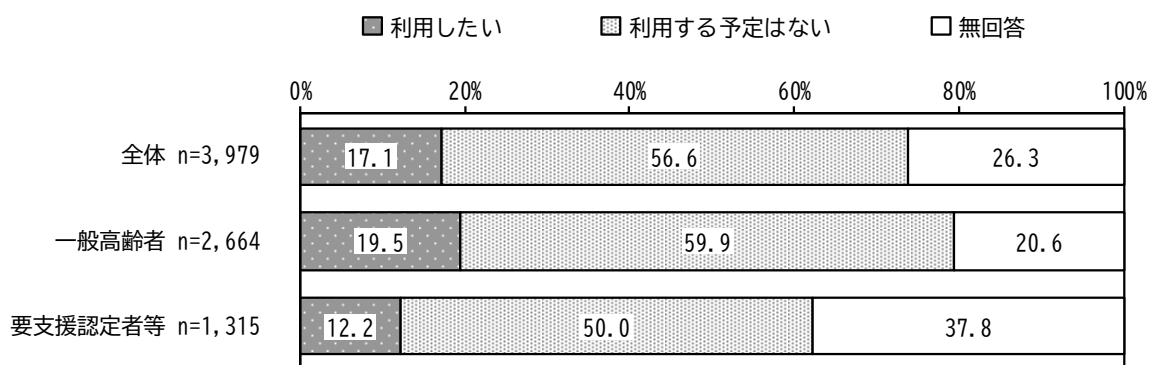
④徘徊高齢者等探索サービス

一般高齢者では「利用したい」の割合が19.5%、「利用する予定はない」の割合が59.9%となっています。

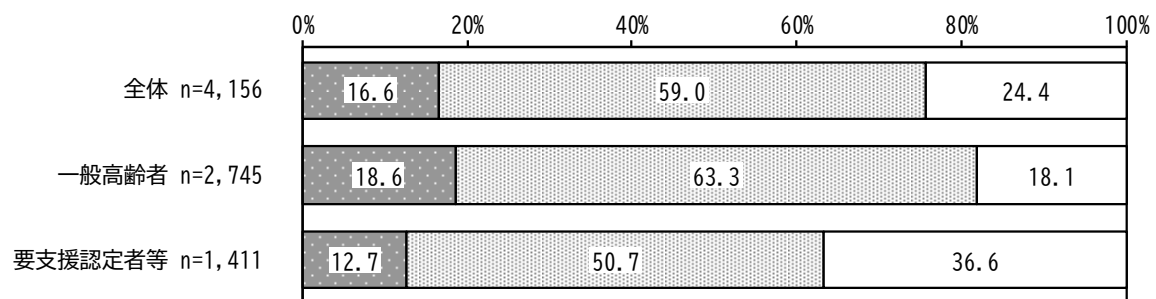
要支援認定者等では「利用したい」の割合が12.2%、「利用する予定はない」の割合が50.0%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「利用する予定はない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



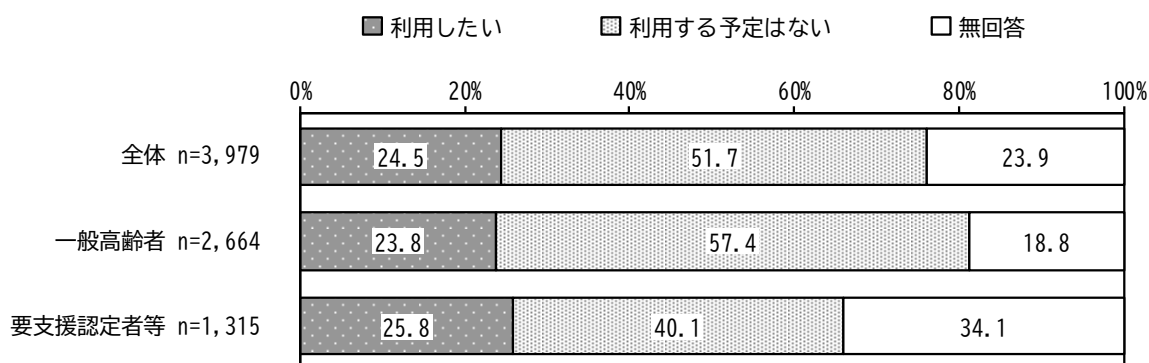
⑤見守り訪問サービス

一般高齢者では「利用したい」の割合が23.8%、「利用する予定はない」の割合が57.4%となっています。

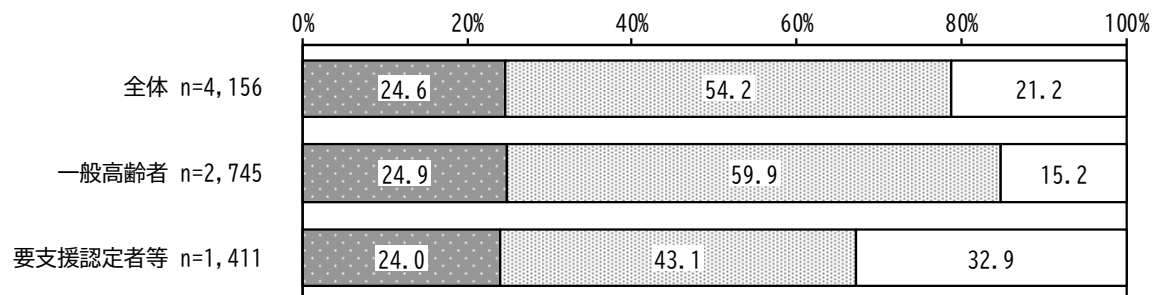
要支援認定者等では「利用したい」の割合が25.8%、「利用する予定はない」の割合が40.1%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「利用する予定はない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



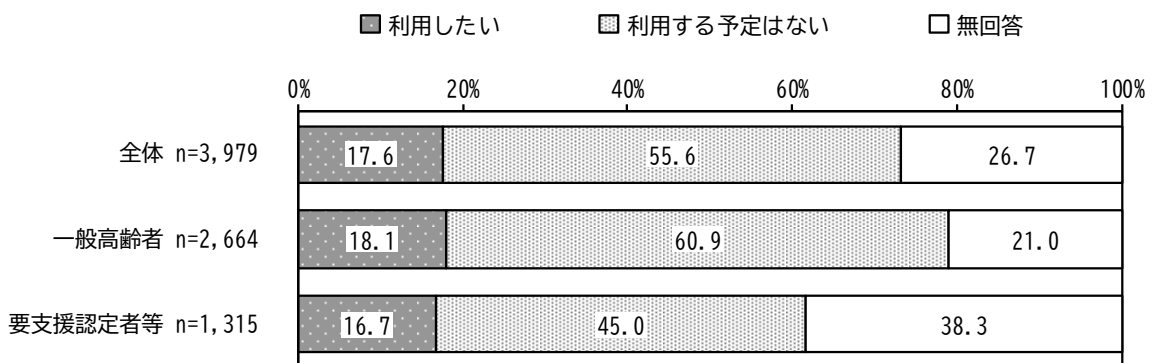
⑥ふれあい収集

一般高齢者では「利用したい」の割合が18.1%、「利用する予定はない」の割合が60.9%となっています。

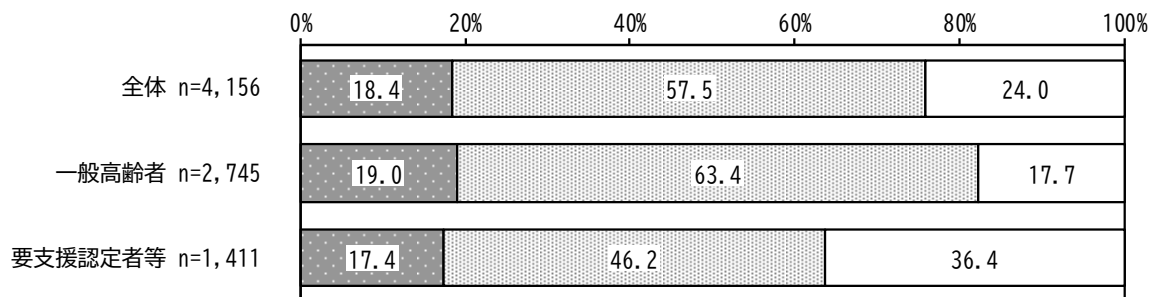
要支援認定者等では「利用したい」の割合が16.7%、「利用する予定はない」の割合が45.0%となっています。

要介護状態区別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「利用する予定はない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



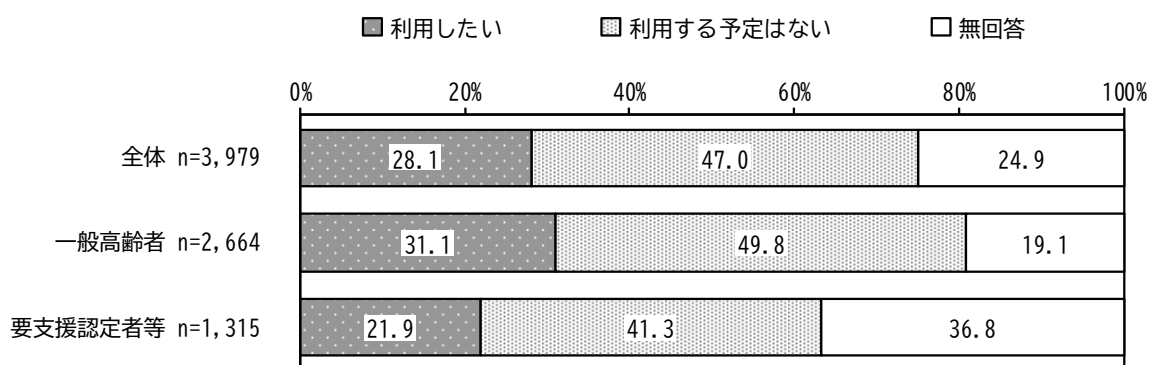
⑦アッピー元気カード

一般高齢者では「利用したい」の割合が31.1%、「利用する予定はない」の割合が49.8%となっています。

要支援認定者等では「利用したい」の割合が21.9%、「利用する予定はない」の割合が41.3%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「利用したい」「利用する予定はない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



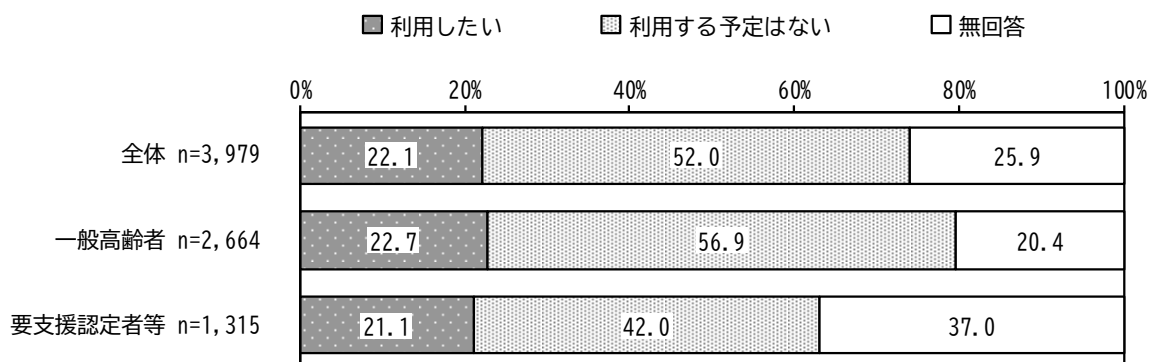
⑧わたしノート

一般高齢者では「利用したい」の割合が22.7%、「利用する予定はない」の割合が56.9%となっています。

要支援認定者等では「利用したい」の割合が21.1%、「利用する予定はない」の割合が42.0%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「利用する予定はない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



問13 あなたは、自主的に介護予防（運動や講座の受講等）をしていますか（回答は1つ）

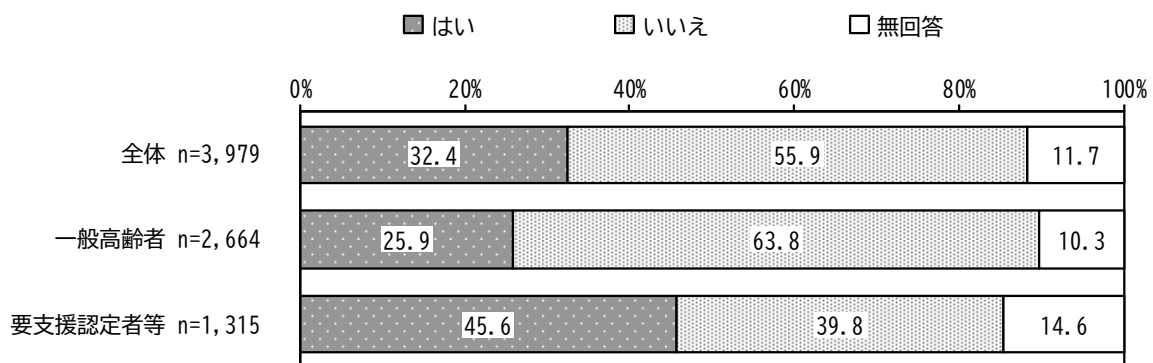
一般高齢者では「はい」の割合が25.9%、「いいえ」の割合が63.8%となっています。

要支援認定者等では「はい」の割合が45.6%、「いいえ」の割合が39.8%となっています。

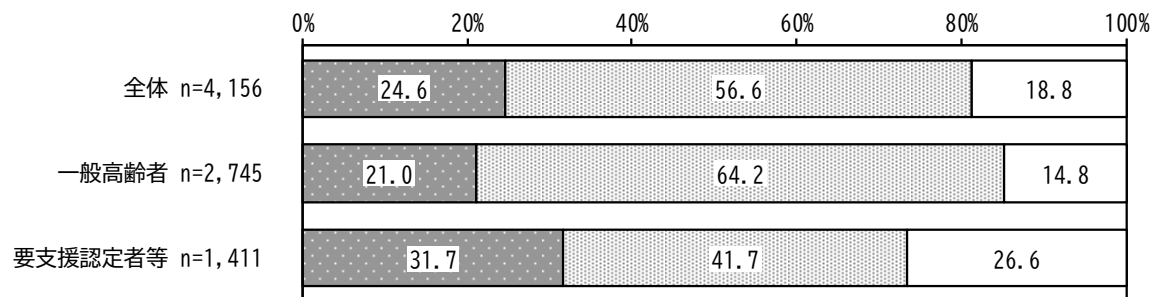
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」の割合が高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「はい」の割合が13.9ポイント増加しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問13で「はい」の方のみ】

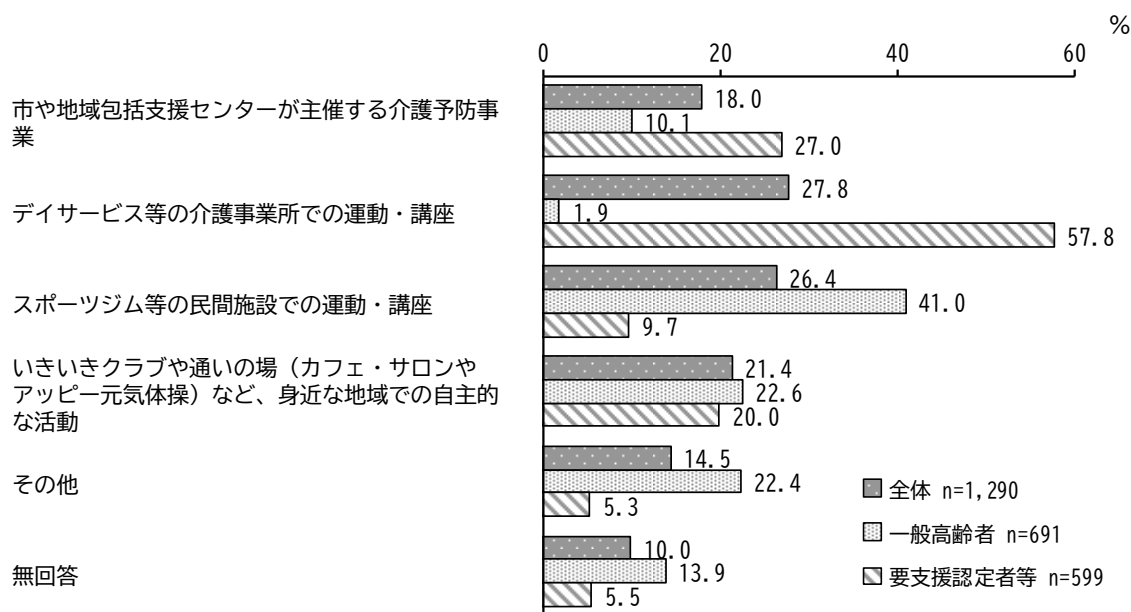
問13-1 あなたは、どのような介護予防をしていますか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「スポーツジム等の民間施設での運動・講座」の割合が41.0%と最も高く、次いで「いきいきクラブや通いの場（カフェ・サロンやアッピー元気体操）など、身近な地域での自主的な活動」の割合が22.6%、「市や地域包括支援センターが主催する介護予防事業」の割合が10.1%となっています。

要支援認定者等では「デイサービス等の介護事業所での運動・講座」の割合が57.8%と最も高く、次いで「市や地域包括支援センターが主催する介護予防事業」の割合が27.0%、「いきいきクラブや通いの場（カフェ・サロンやアッピー元気体操）など、身近な地域での自主的な活動」の割合が20.0%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「デイサービス等の介護事業所での運動・講座」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「スポーツジム等の民間施設での運動・講座」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



問 14 あなたは、次の活動に参加したことがありますか（それぞれ回答は1つ）

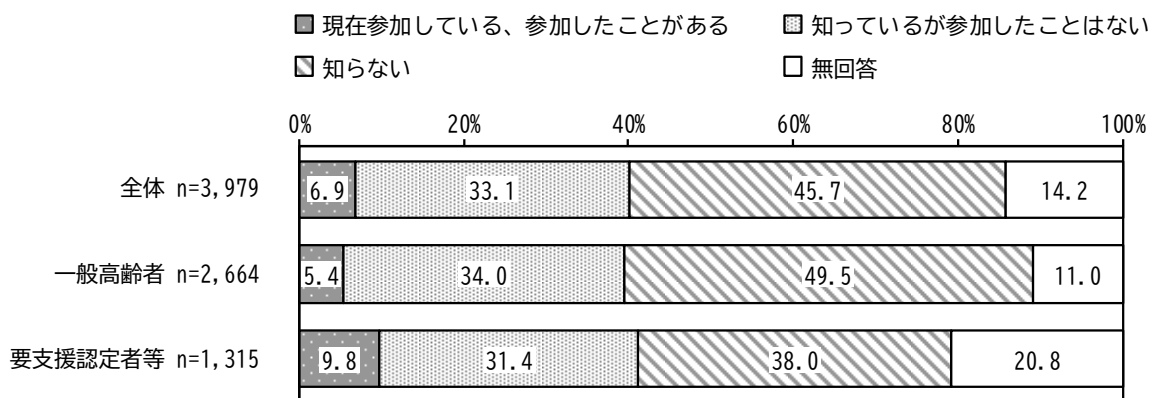
①だんらの家

一般高齢者では「現在参加している、参加したことがある」の割合が 5.4%、「知っているが参加したことはない」の割合が 34.0%、「知らない」の割合が 49.5%となっています。

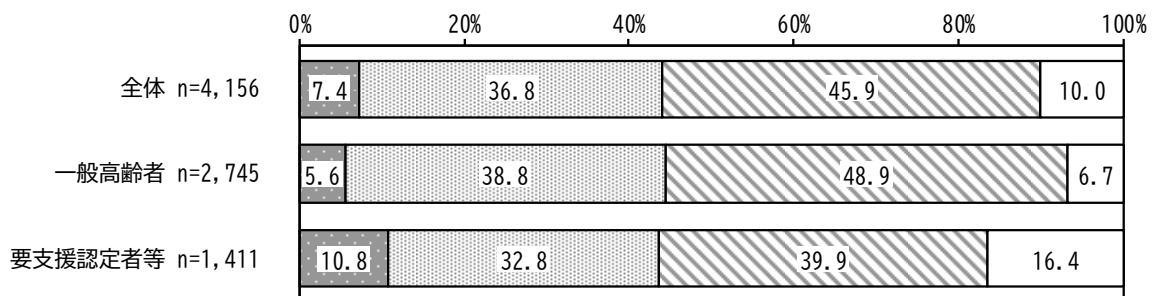
要支援認定者等では「現在参加している、参加したことがある」の割合が 9.8%、「知っているが参加したことはない」の割合が 31.4%、「知らない」の割合が 38.0%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



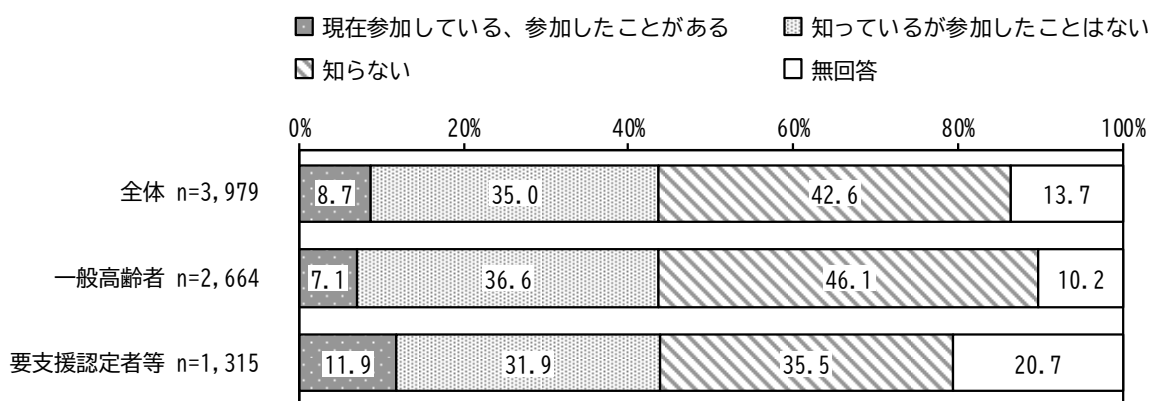
②いきいきクラブ

一般高齢者では「現在参加している、参加したことがある」の割合が 7.1%、「知っているが参加したことはない」の割合が 36.6%、「知らない」の割合が 46.1%となっています。

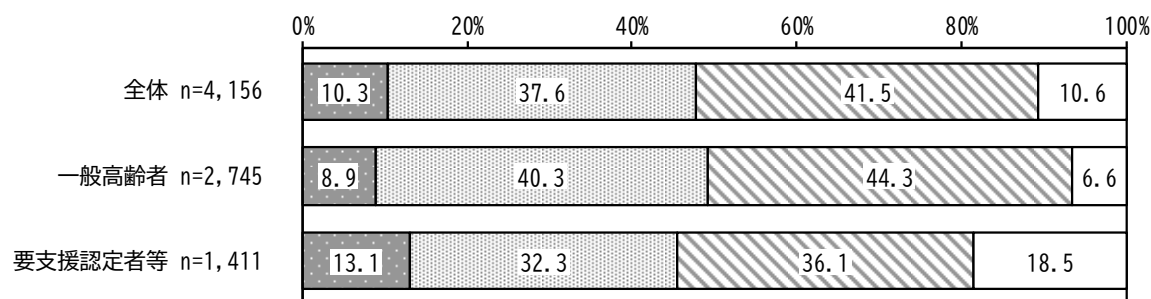
要支援認定者等では「現在参加している、参加したことがある」の割合が 11.9%、「知っているが参加したことはない」の割合が 31.9%、「知らない」の割合が 35.5%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



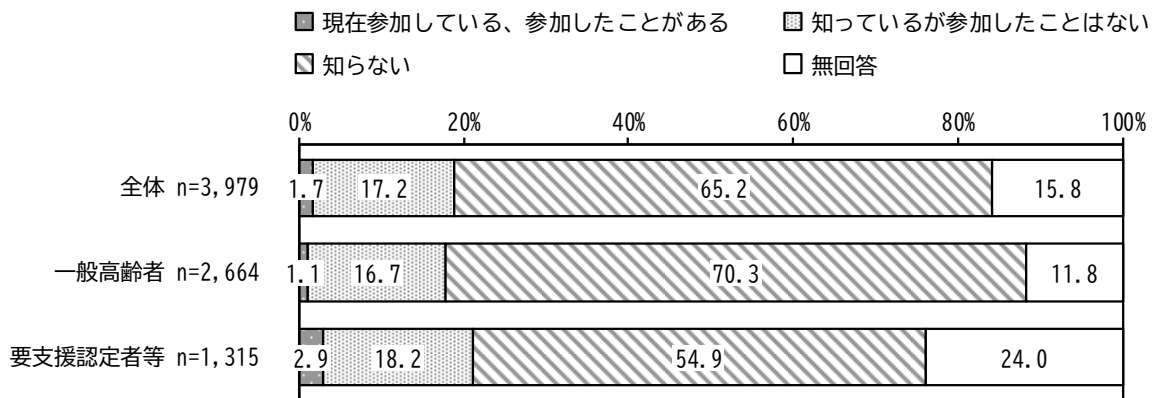
③オレンジカフェ（認知症カフェ）

一般高齢者では「現在参加している、参加したことがある」の割合が1.1%、「知っているが参加したことはない」の割合が16.7%、「知らない」の割合が70.3%となっています。

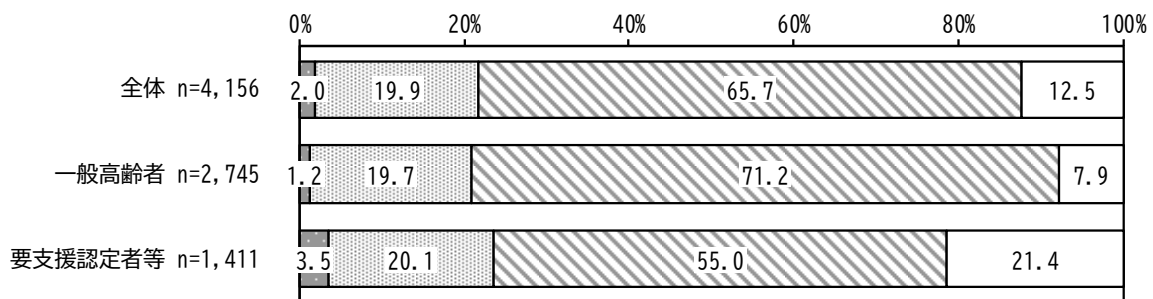
要支援認定者等では「現在参加している、参加したことがある」の割合が2.9%、「知っているが参加したことはない」の割合が18.2%、「知らない」の割合が54.9%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



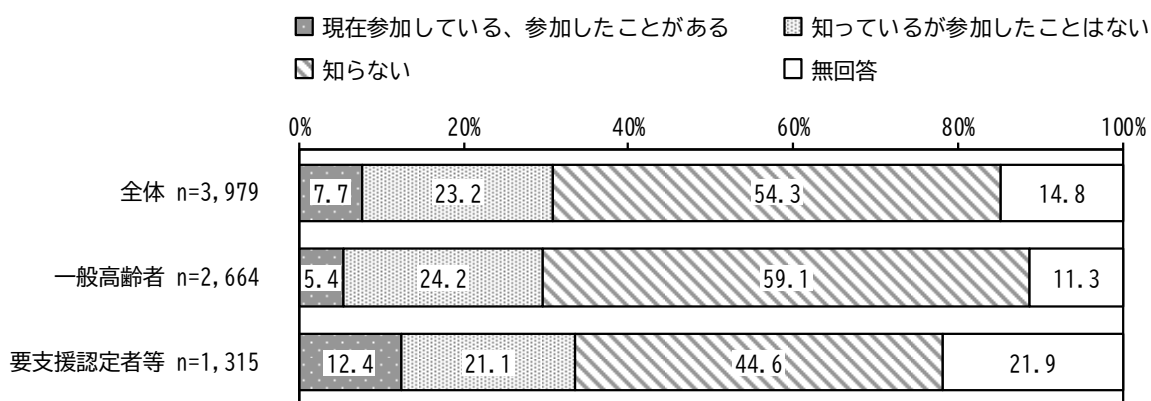
④通いの場（カフェ・サロンやアツピー元気体操など）

一般高齢者では「現在参加している、参加したことがある」の割合が 5.4%、「知っているが参加したことはない」の割合が 24.2%、「知らない」の割合が 59.1%となっています。

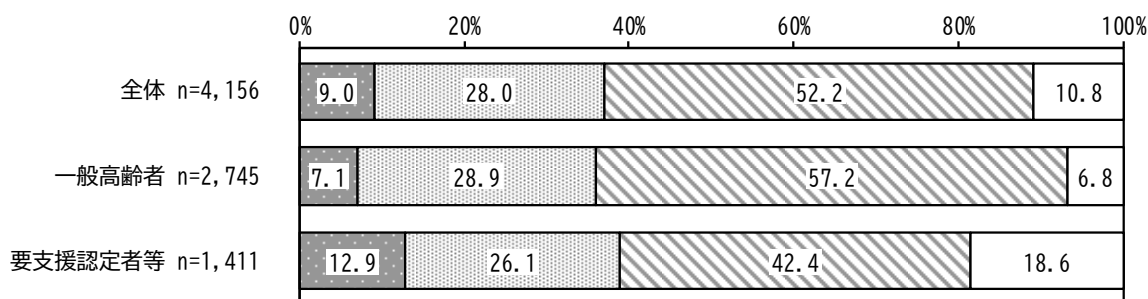
要支援認定者等では「現在参加している、参加したことがある」の割合が 12.4%、「知っているが参加したことはない」の割合が 21.1%、「知らない」の割合が 44.6%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



問 15 あなたは、次の活動に今後参加したいと思いますか（それぞれ回答は1つ）

①だんらの家

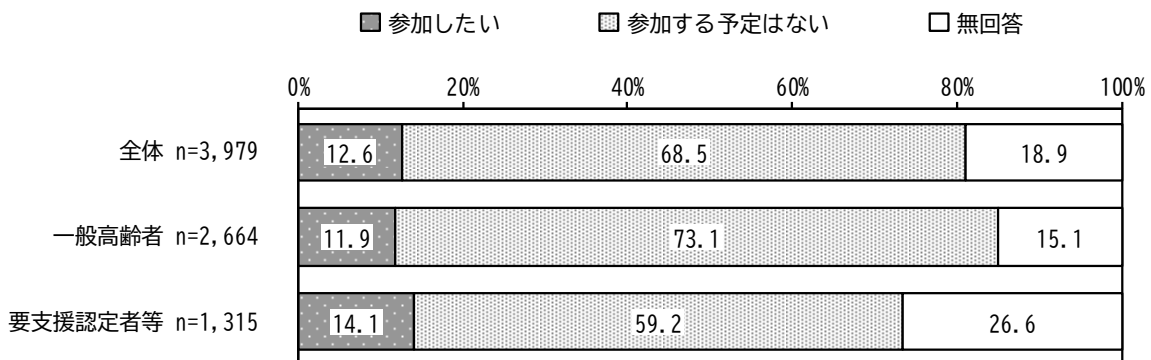
一般高齢者では「参加したい」の割合が11.9%、「参加する予定はない」の割合が73.1%となっています。

要支援認定者等では「参加したい」の割合が14.1%、「参加する予定はない」の割合が59.2%となっています。

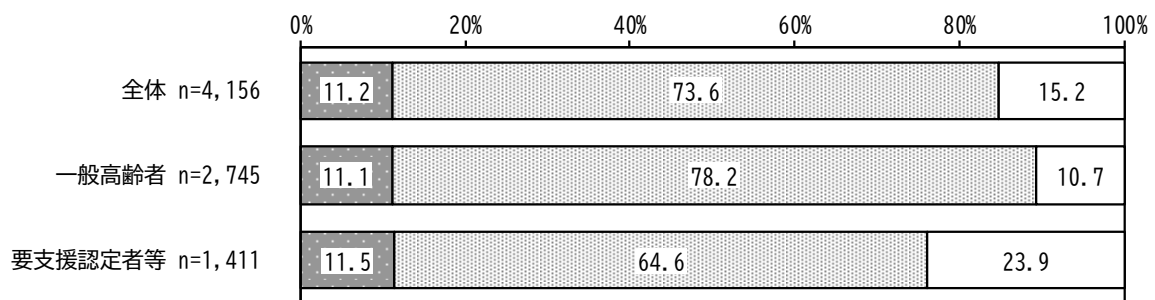
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「参加する予定はない」の割合が低くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「参加する予定はない」の割合が一般高齢者で5.1ポイント、要支援認定者等で5.4ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



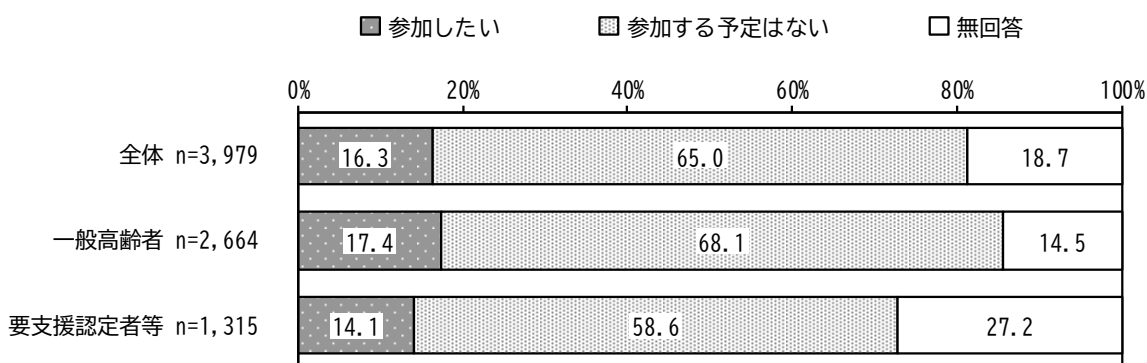
②いきいきクラブ

一般高齢者では「参加したい」の割合が17.4%、「参加する予定はない」の割合が68.1%となっています。

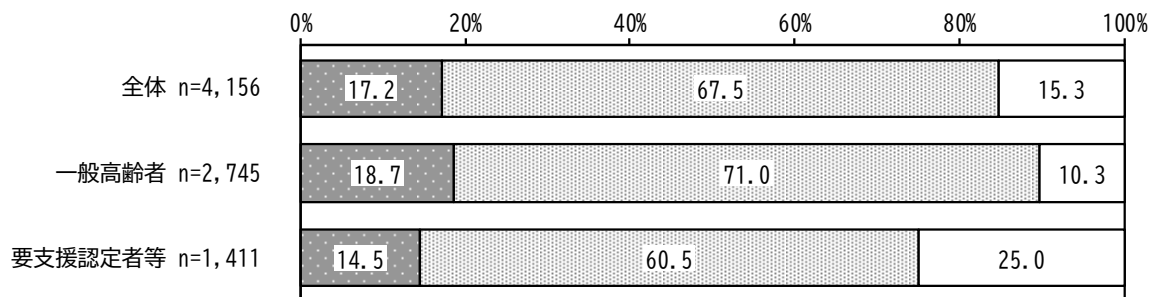
要支援認定者等では「参加したい」の割合が14.1%、「参加する予定はない」の割合が58.6%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「参加する予定はない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



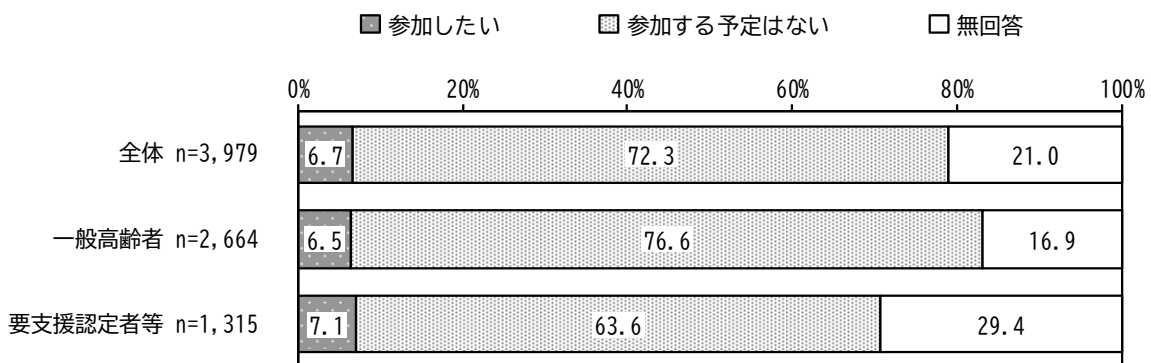
③オレンジカフェ（認知症カフェ）

一般高齢者では「参加したい」の割合が6.5%、「参加する予定はない」の割合が76.6%となっています。

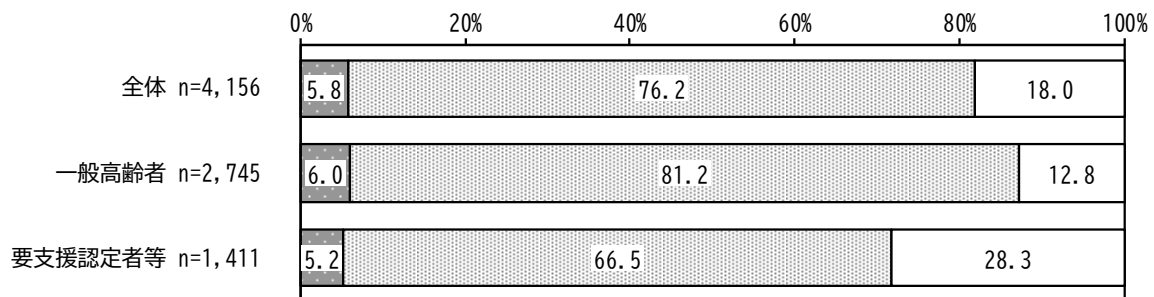
要支援認定者等では「参加したい」の割合が7.1%、「参加する予定はない」の割合が63.6%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「参加する予定はない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



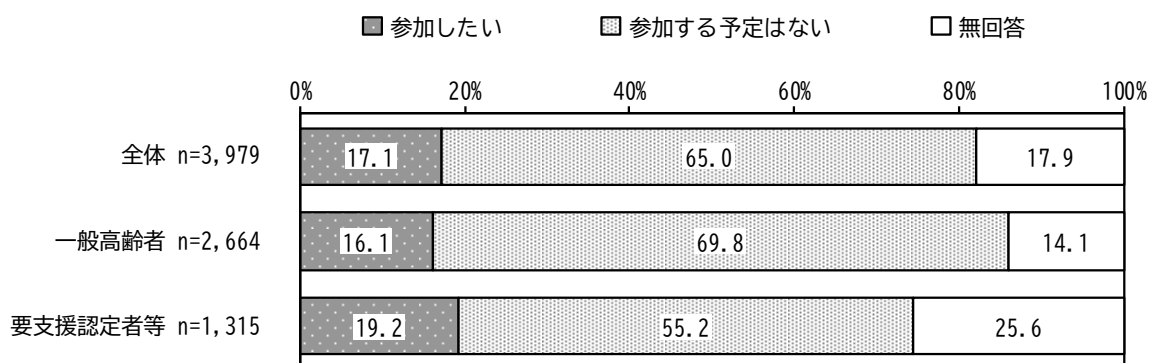
④通いの場（カフェ・サロンやアツピー元気体操など）

一般高齢者では「参加したい」の割合が16.1%、「参加する予定はない」の割合が69.8%となっています。

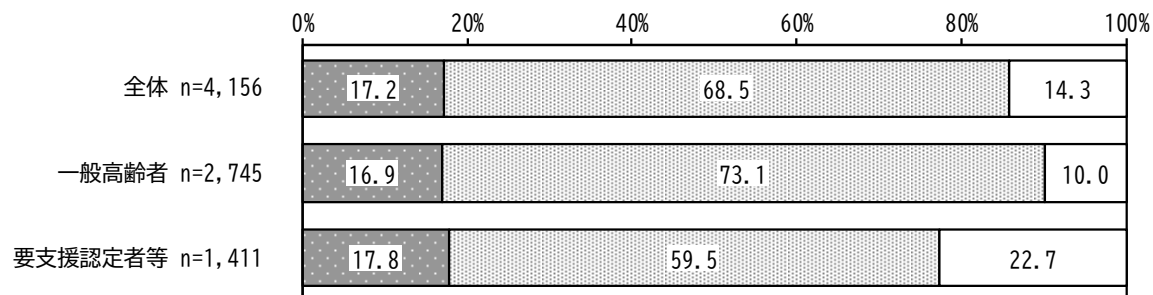
要支援認定者等では「参加したい」の割合が19.2%、「参加する予定はない」の割合が55.2%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「参加する予定はない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



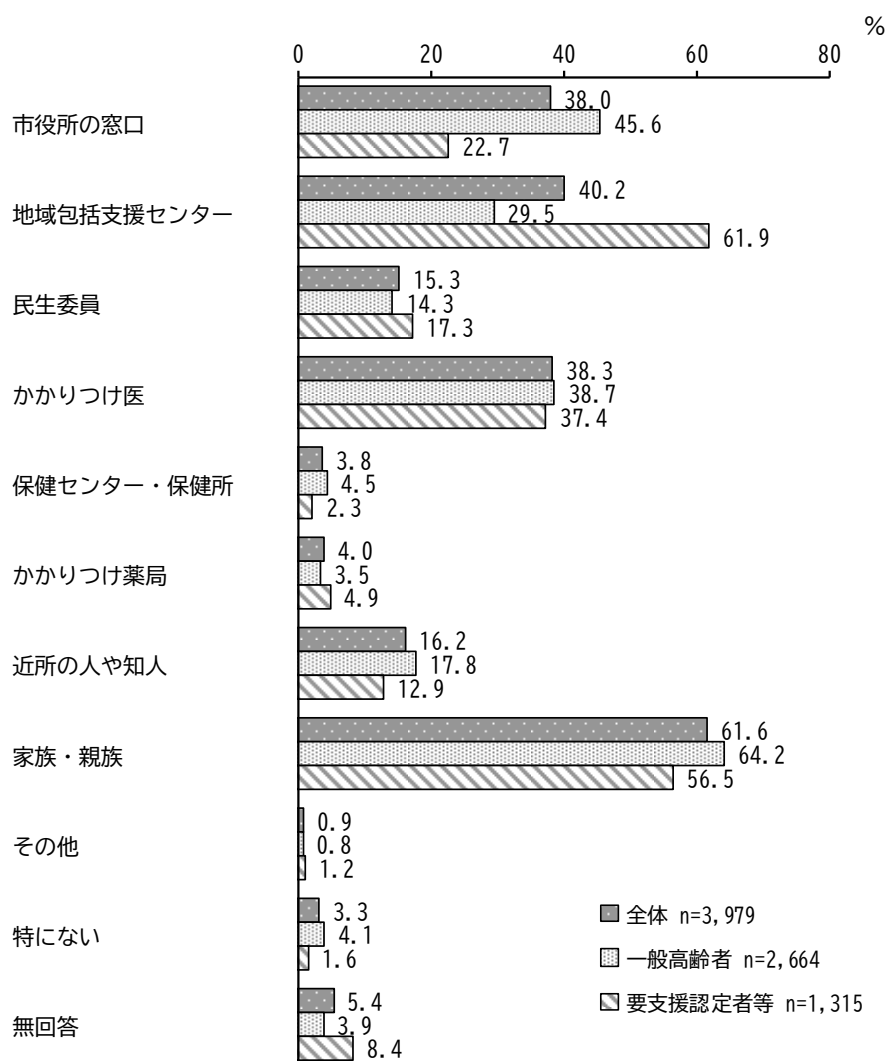
問16 あなたは、健康や福祉・介護のことで困ったとき、誰に相談しますか
（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「家族・親族」の割合が64.2%と最も高く、次いで「市役所の窓口」の割合が45.6%、「かかりつけ医」の割合が38.7%となっています。

要支援認定者等では「地域包括支援センター」の割合が61.9%と最も高く、次いで「家族・親族」の割合が56.5%、「かかりつけ医」の割合が37.4%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「地域包括支援センター」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「市役所の窓口」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



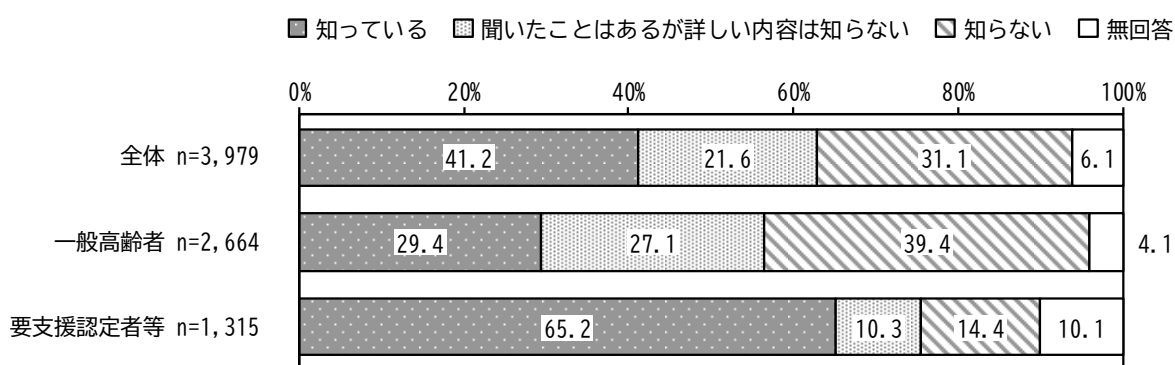
問 17 市内 10 カ所に設置されている、高齢者の総合的な相談窓口である地域包括支援センターを知っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「知っている」の割合が 29.4%、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 27.1%、「知らない」の割合が 39.4%となっています。

要支援認定者等では「知っている」の割合が 65.2%、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 10.3%、「知らない」の割合が 14.4%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「知っている」の割合が高く、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】

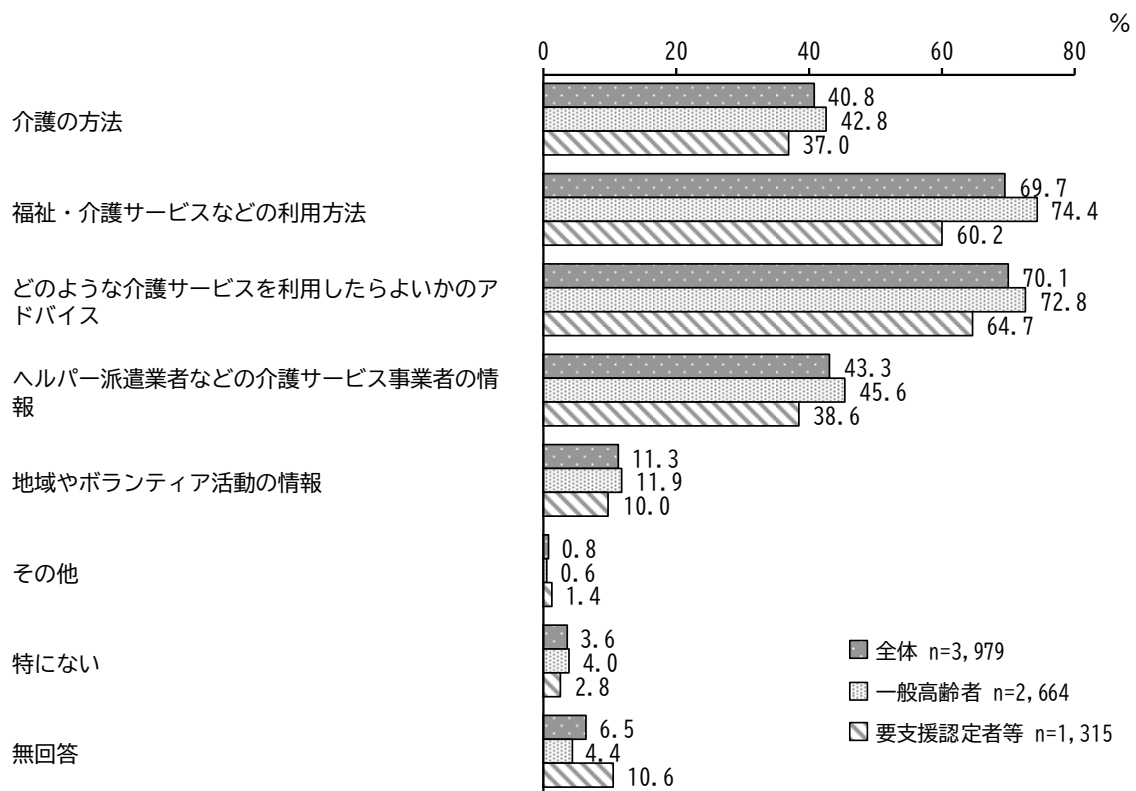


問18 あなたは、介護が必要になったとき、どのような情報を知りたいですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「福祉・介護サービスなどの利用方法」の割合が74.4%と最も高く、次いで「どのような介護サービスを利用したらよいかのアドバイス」の割合が72.8%、「ヘルパー派遣業者などの介護サービス事業者の情報」の割合が45.6%となっています。

要支援認定者等では「どのような介護サービスを利用したらよいかのアドバイス」の割合が64.7%と最も高く、次いで「福祉・介護サービスなどの利用方法」の割合が60.2%、「ヘルパー派遣業者などの介護サービス事業者の情報」の割合が38.6%となっています。

【令和7年度調査】



（4）移動手段について

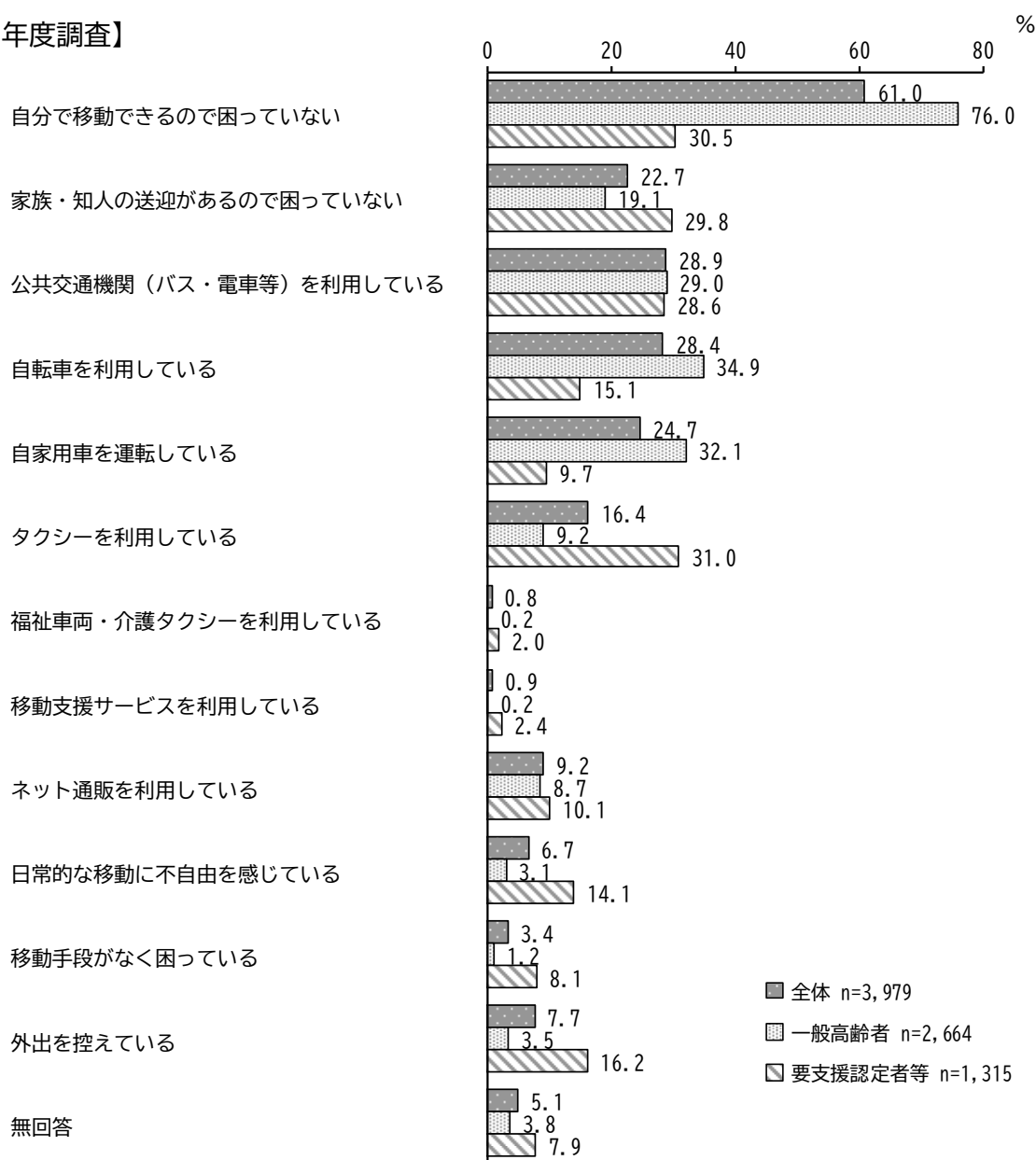
問 19 日常的な通院・買い物等の移動手段で困っていますか
 （あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「自分で移動できるので困っていない」の割合が 76.0%と最も高く、次いで「自転車を利用している」の割合が 34.9%、「自家用車を運転している」の割合が 32.1%となっています。

要支援認定者等では「タクシーを利用している」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「自分で移動できるので困っていない」の割合が 30.5%、「家族・知人の送迎があるので困っていない」の割合が 29.8%となっています。

要介護状態区別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「家族・知人の送迎があるので困っていない」「タクシーを利用している」「日常的な移動に不自由を感じている」「外出を控えている」の割合が高くなっています。また、要支援認定者に比べ、一般高齢者で「自分で移動できるので困っていない」「自転車を利用している」「自家用車を運転している」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】

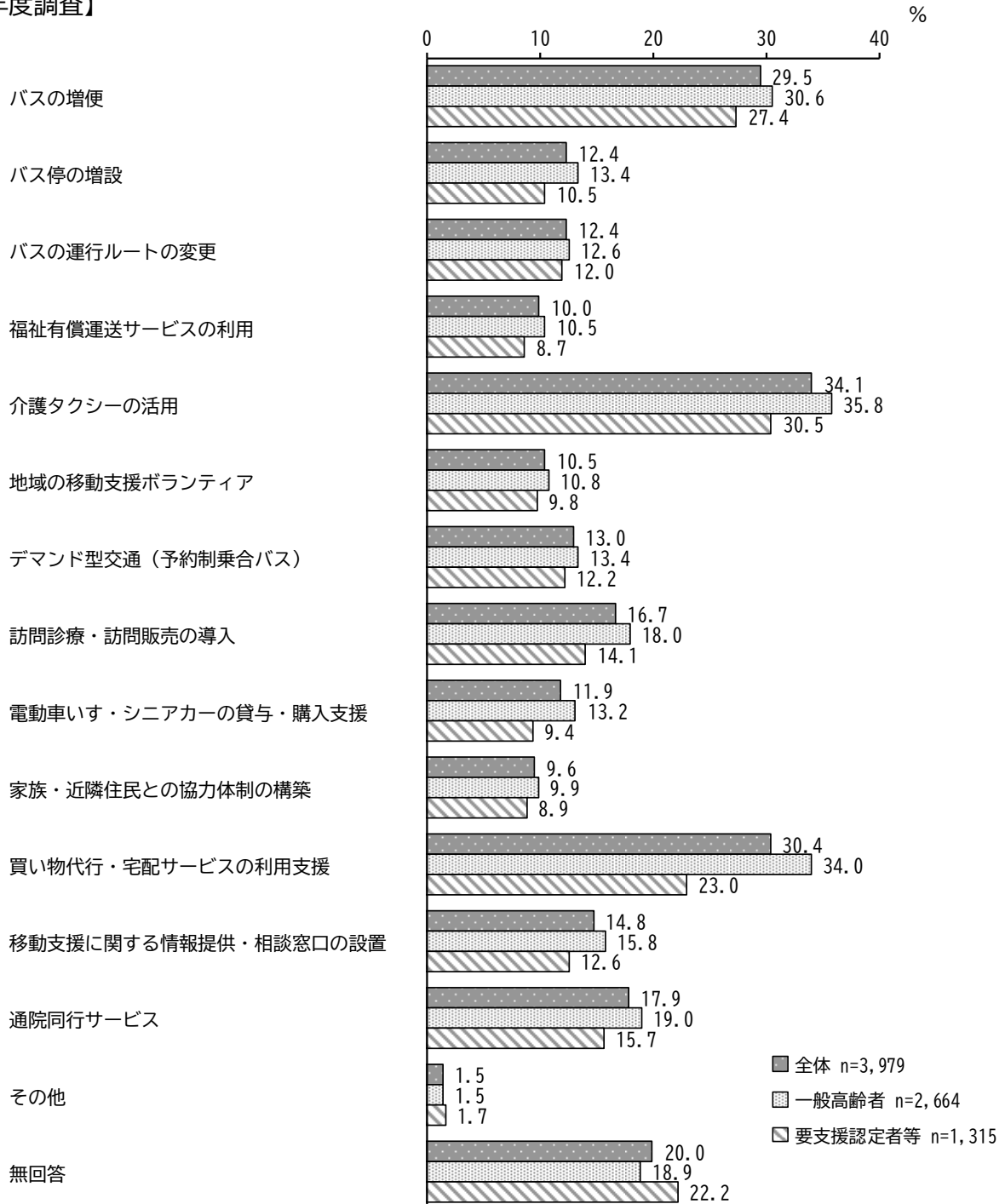


問 20 日常的な通院・買い物等の移動手段で困っている方の解決方法として、何が効果的だと思いますか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「介護タクシーの活用」の割合が 35.8%と最も高く、次いで「買い物代行・宅配サービスの利用支援」の割合が 34.0%、「バスの増便」の割合が 30.6%となっています。

要支援認定者等では「介護タクシーの活用」の割合が 30.5%と最も高く、次いで「バスの増便」の割合が 27.4%、「買い物代行・宅配サービスの利用支援」の割合が 23.0%となっています。

【令和7年度調査】



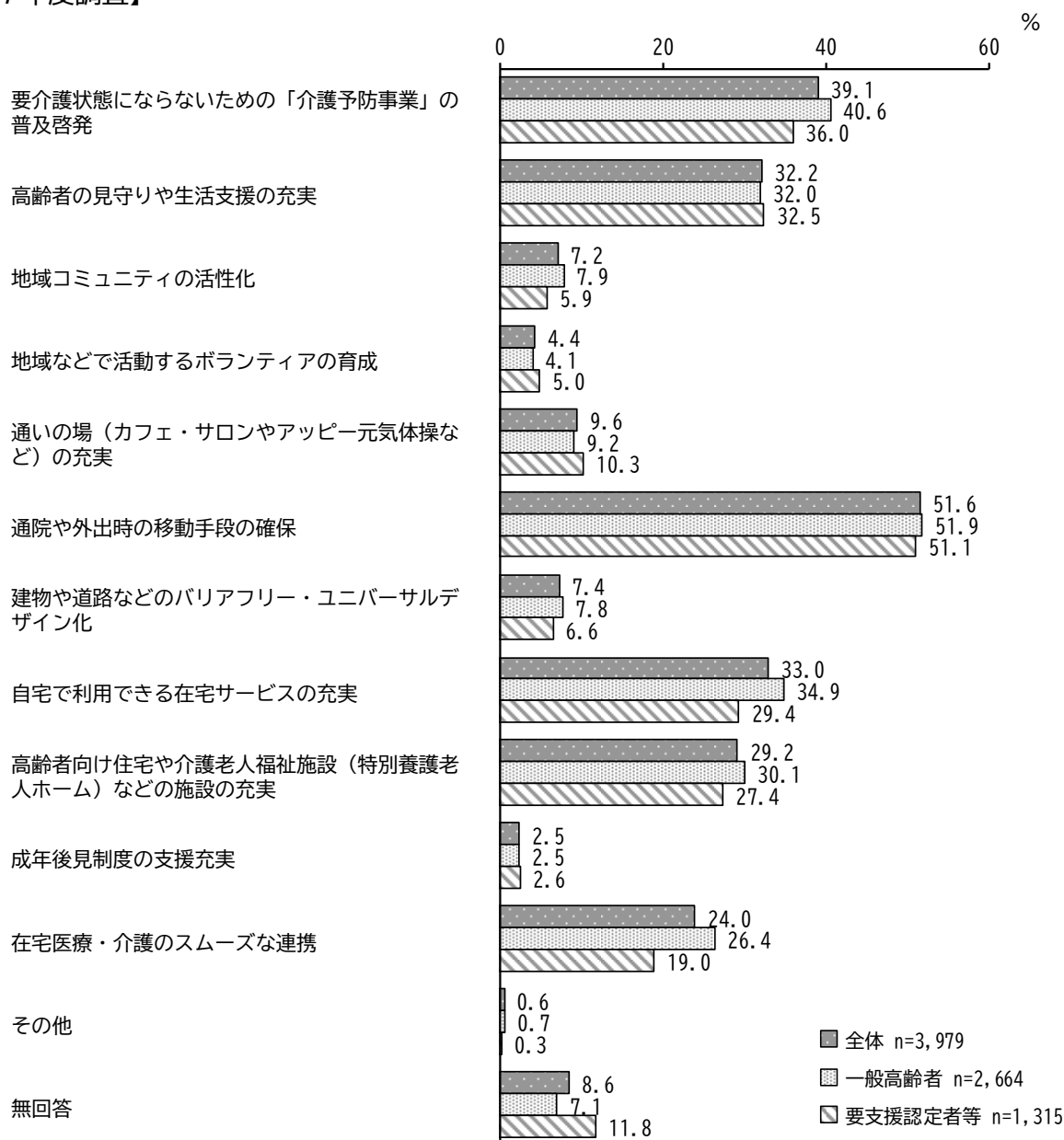
（5）その他

問 21 65 歳以上の高齢者人口は、2042 年にピークを迎えると予想されます。高齢化に対応した取り組みとして何が重要だと思いますか（主なもの3つまでに回答）

一般高齢者では「通院や外出時の移動手段の確保」の割合が 51.9%と最も高く、次いで「要介護状態にならないための「介護予防事業」の普及啓発」の割合が 40.6%、「自宅で利用できる在宅サービスの充実」の割合が 34.9%となっています。

要支援認定者等では「通院や外出時の移動手段の確保」の割合が 51.1%と最も高く、次いで「要介護状態にならないための「介護予防事業」の普及啓発」の割合が 36.0%、「高齢者の見守りや生活支援の充実」の割合が 32.5%となっています。

【令和7年度調査】

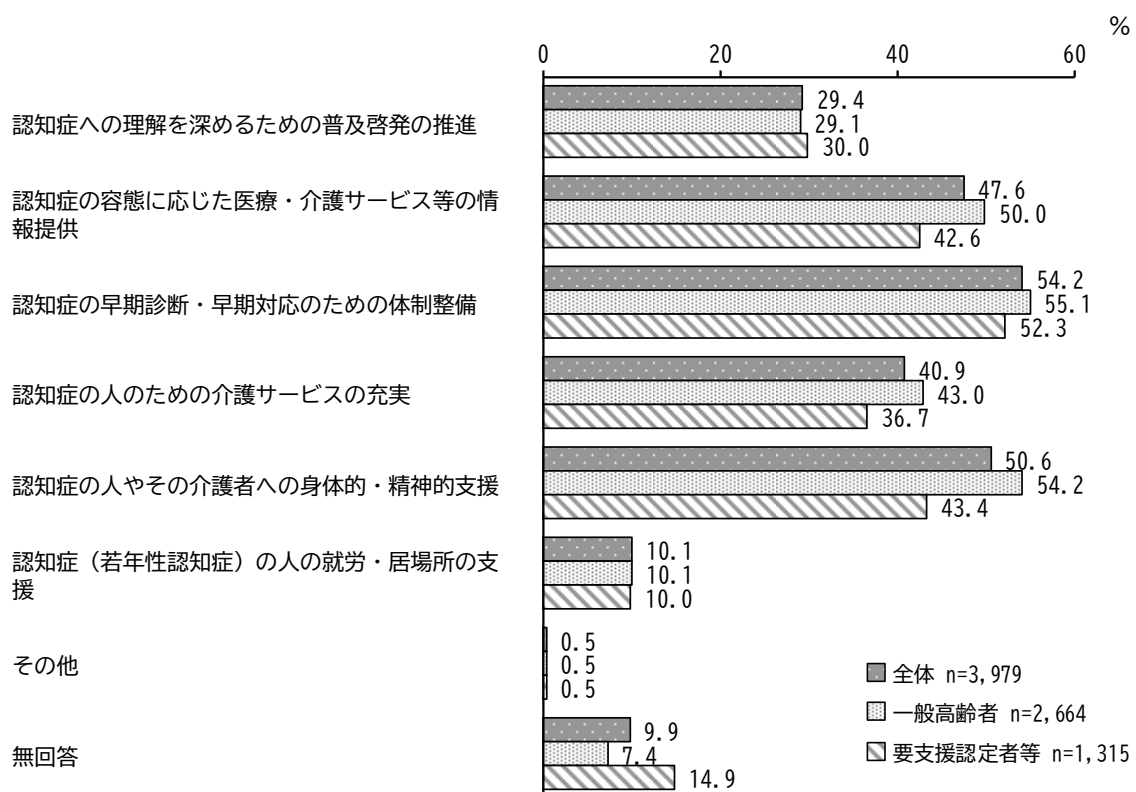


問 22 高齢化の進行とともに、認知症高齢者も増加することが予測されます。認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進のために、何が重要だと思いますか
（主なものを3つまでに回答）

一般高齢者では「認知症の早期診断・早期対応のための体制整備」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「認知症の人やその介護者への身体的・精神的支援」の割合が 54.2%、「認知症の容態に応じた医療・介護サービス等の情報提供」の割合が 50.0%となっています。

要支援認定者等では「認知症の早期診断・早期対応のための体制整備」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「認知症の人やその介護者への身体的・精神的支援」の割合が 43.4%、「認知症の容態に応じた医療・介護サービス等の情報提供」の割合が 42.6%となっています。

【令和7年度調査】



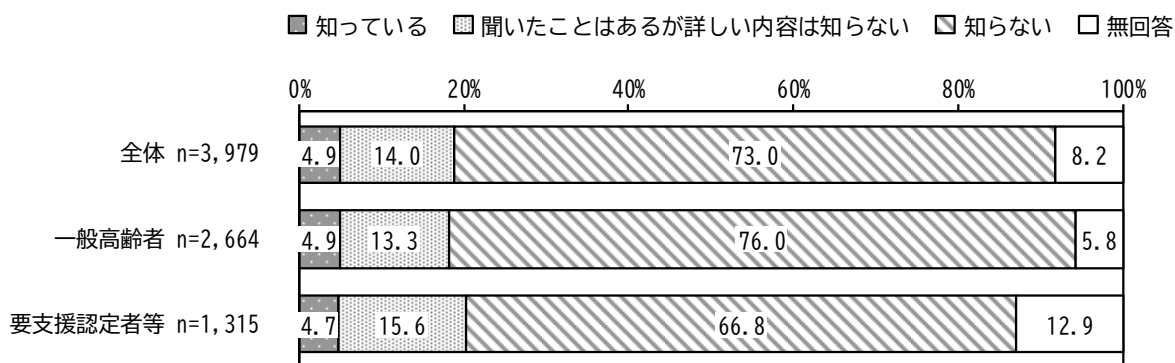
問 23 認知症の人を地域で支える「認知症サポーター」を知っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「知っている」の割合が 4.9%、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 13.3%、「知らない」の割合が 76.0%となっています。

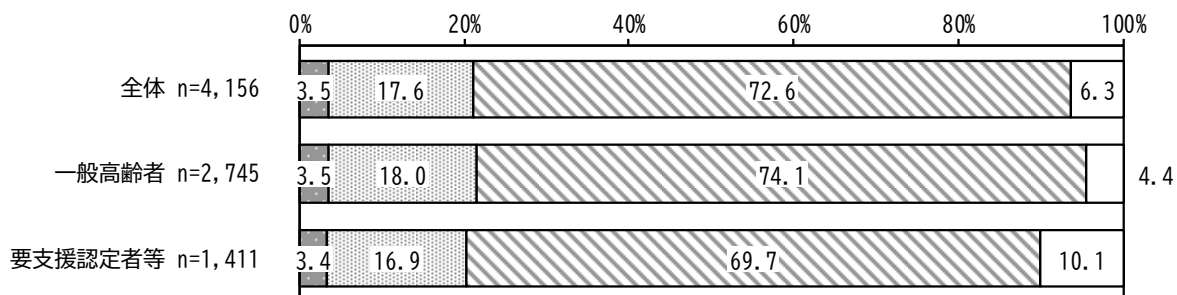
要支援認定者等では「知っている」の割合が 4.7%、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 15.6%、「知らない」の割合が 66.8%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問 23 で「知っている」の方のみ】

問 23-1 「認知症サポーター」をどこで知りましたか（回答は1つ）

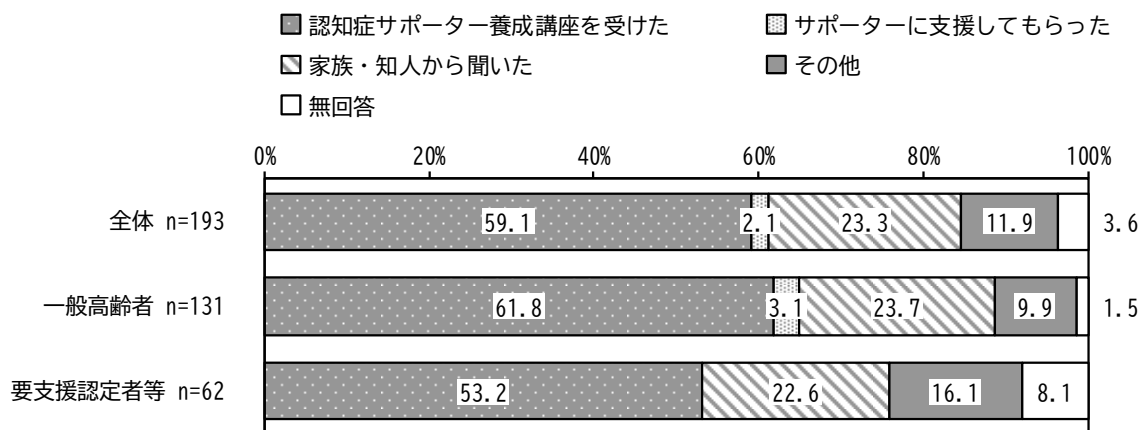
一般高齢者では「認知症サポーター養成講座を受けた」の割合が 61.8%、「サポーターに支援してもらった」の割合が 3.1%、「家族・知人から聞いた」の割合が 23.7%となっています。

要支援認定者等では「認知症サポーター養成講座を受けた」の割合が 53.2%、「家族・知人から聞いた」の割合が 22.6%となっています。

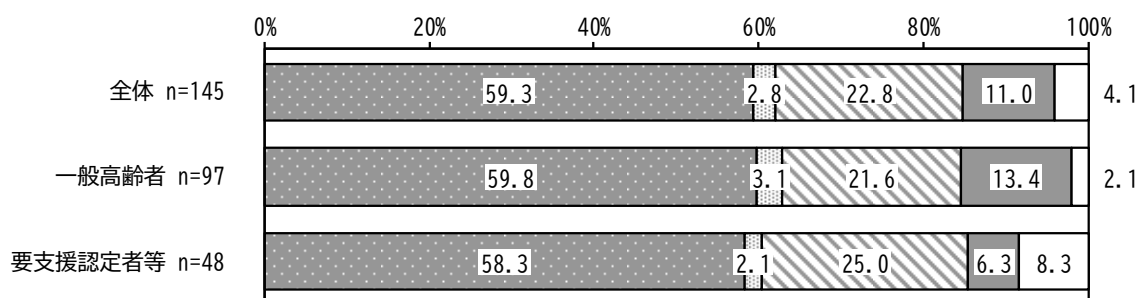
要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「認知症サポーター養成講座を受けた」の割合が低くなっています。

令和 4 年度調査と比較すると、要支援認定者等で「認知症サポーター養成講座を受けた」の割合が 5.1 ポイント減少しています。

【令和 7 年度調査】



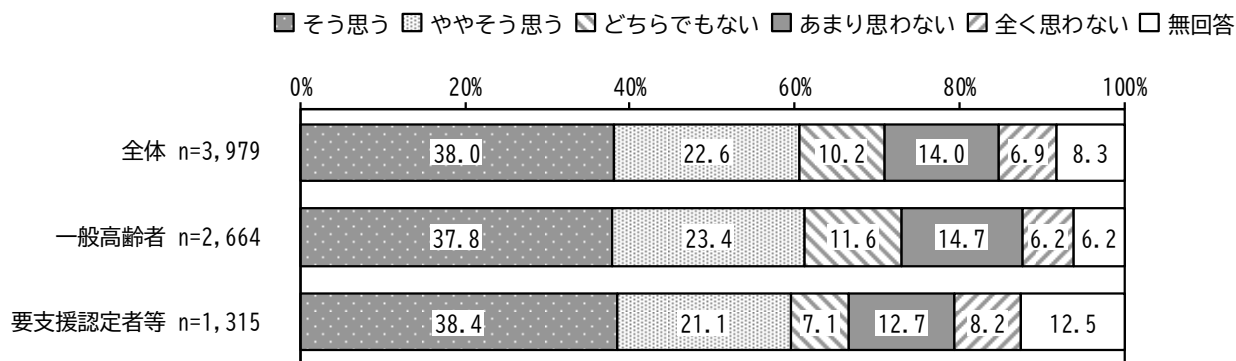
【令和 4 年度調査】



問 24 自分が認知症になったら、周りの人に助けてもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか（回答は1つ）

一般高齢者では“そう思う”の割合が 61.2%、“そう思わない”の割合が 20.9%となっています。
 要支援認定者等では“そう思う”の割合が 59.5%、“そう思わない”の割合が 20.9%となっています。

【令和7年度調査】



※ “そう思う” は「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合
 “そう思わない” は「あまり思わない」と「全く思わない」を合わせた割合

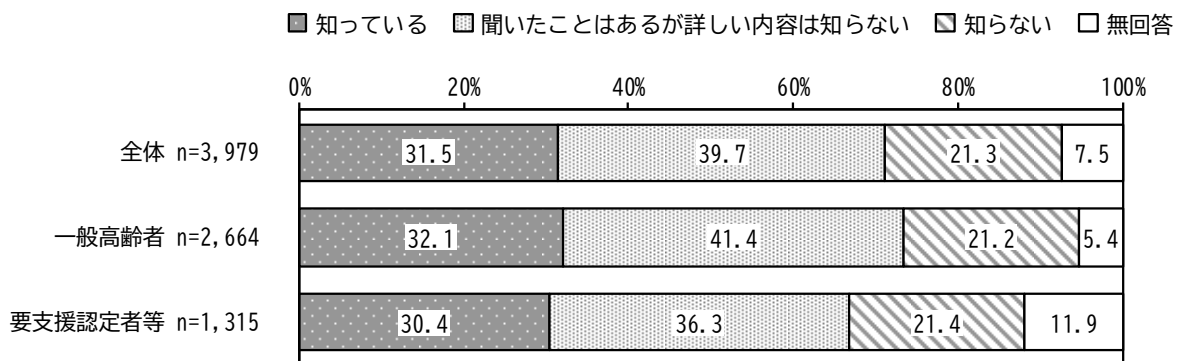
問 25 認知症などにより、判断能力が不十分になった場合、本人に代わって財産の管理や契約などを行う人を選任してもらう制度である「成年後見制度」について知っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「知っている」の割合が 32.1%、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 41.4%、「知らない」の割合が 21.2%となっています。

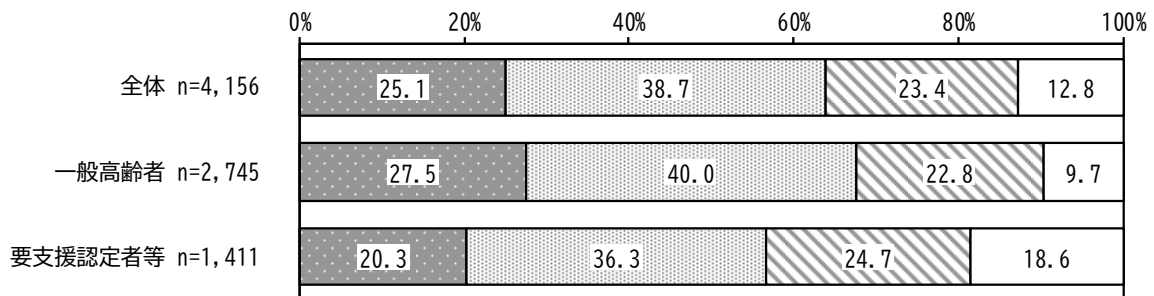
要支援認定者等では「知っている」の割合が 30.4%、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 36.3%、「知らない」の割合が 21.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、要支援認定者等で「知っている」の割合が 10.1ポイント増加しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問 25 で「知っている」の方のみ】

問 25-1 あなたは「成年後見制度」を利用したいと思うことはありますか（回答は1つ）

一般高齢者では「利用したいと思う」の割合が 5.6%、「将来的には利用したいと思う」の割合が 36.7%、「利用したいとは思わない」の割合が 54.6%となっています。

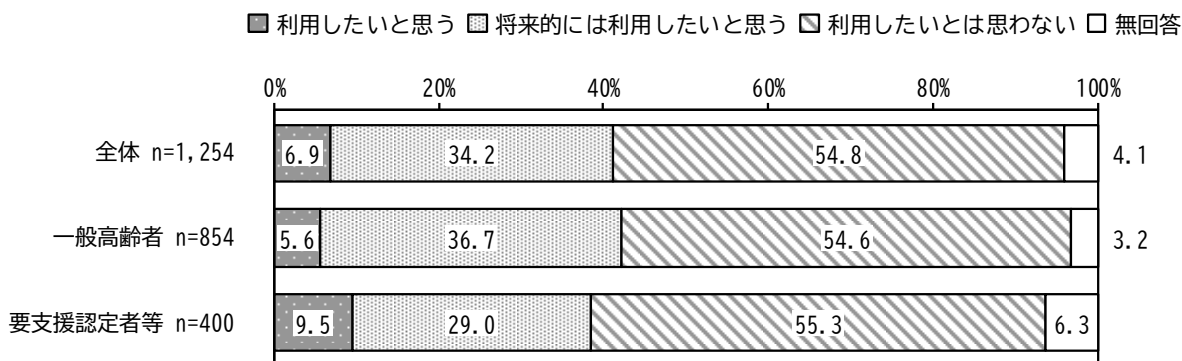
要支援認定者等では「利用したいと思う」の割合が 9.5%、「将来的には利用したいと思う」の割合が 29.0%、「利用したいとは思わない」の割合が 55.3%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「将来的には利用したいと思う」の割合が低くなっています。

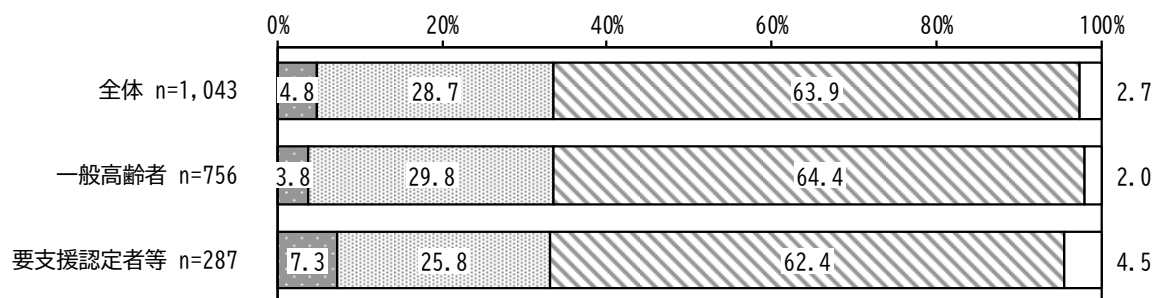
令和4年度調査と比較すると、一般高齢者で「将来的には利用したいと思う」の割合が 6.9ポイント増加しています。一方、「利用したいとは思わない」の割合が 9.8ポイント減少しています。

要支援認定者等では「利用したいとは思わない」の割合が 7.1ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



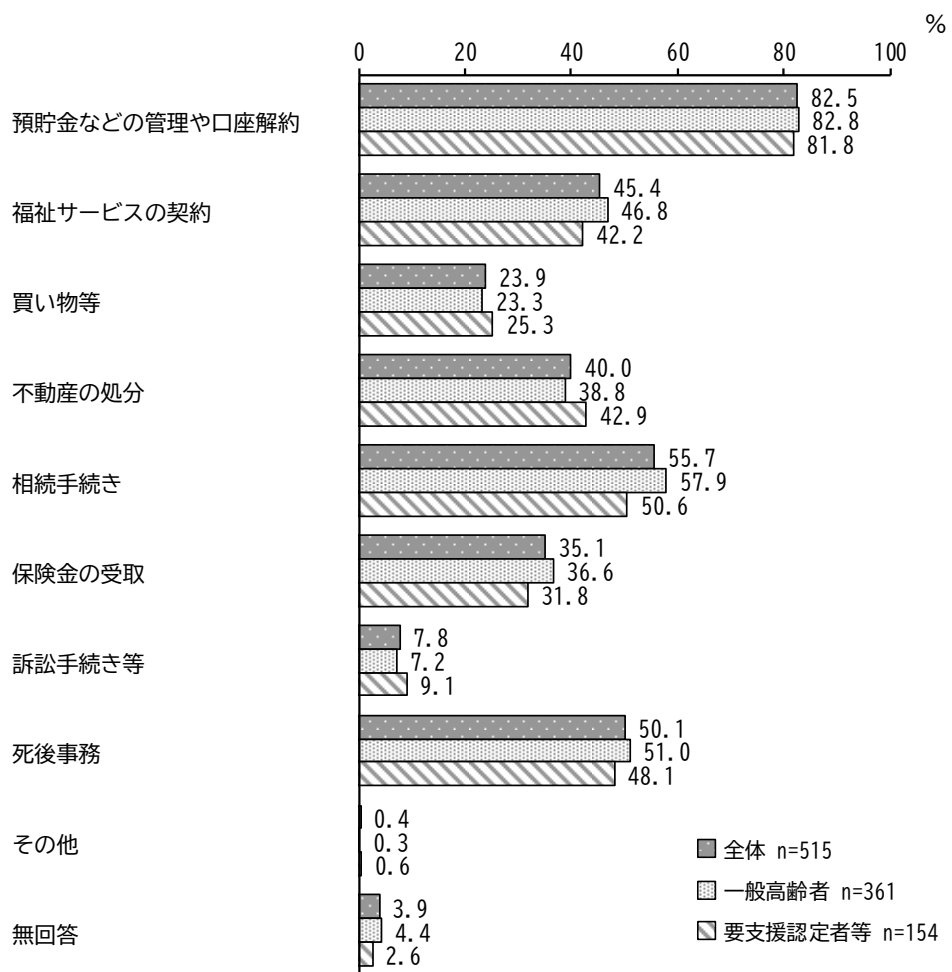
【問 25－1 で「利用したいと思う」「将来的には利用したいと思う」の方のみ】

問 25－2 成年後見制度はどのようなことで必要だと思えますか
（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「預貯金などの管理や口座解約」の割合が 82.8%と最も高く、次いで「相続手続き」の割合が 57.9%、「死後事務」の割合が 51.0%となっています。

要支援認定者等では「預貯金などの管理や口座解約」の割合が 81.8%と最も高く、次いで「相続手続き」の割合が 50.6%、「死後事務」の割合が 48.1%となっています。

【令和7年度調査】



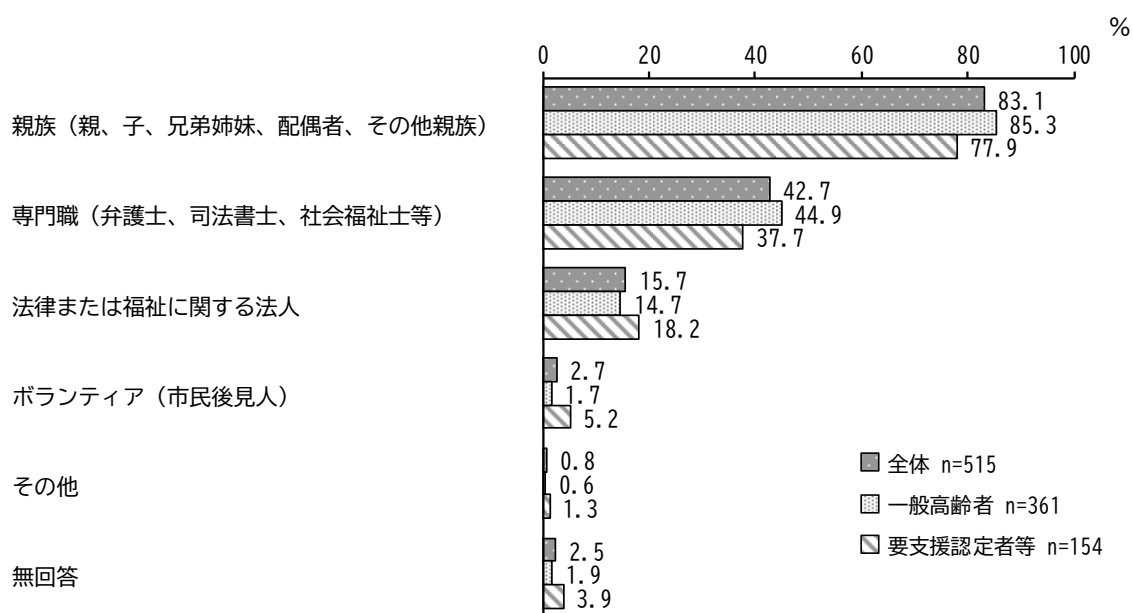
【問 25-1 で「利用したいと思う」「将来的には利用したいと思う」の方のみ】

問 25-3 成年後見人にはどのような人になってもらいたいですか
（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「親族（親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族）」の割合が 85.3%と最も高く、次いで「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）」の割合が 44.9%、「法律または福祉に関する法人」の割合が 14.7%となっています。

要支援認定者等では「親族（親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族）」の割合が 77.9%と最も高く、次いで「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等）」の割合が 37.7%、「法律または福祉に関する法人」の割合が 18.2%となっています。

【令和7年度調査】



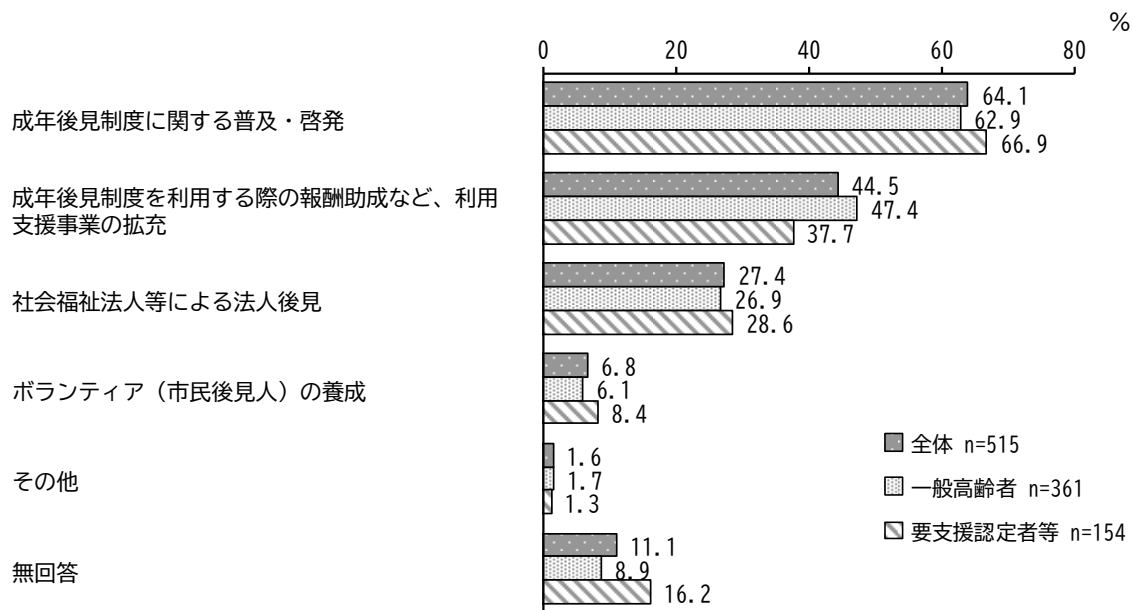
【問 25－1 で「利用したいと思う」「将来的には利用したいと思う」の方のみ】

問 25－4 市の成年後見制度施策に望むものは何ですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「成年後見制度に関する普及・啓発」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充」の割合が 47.4%、「社会福祉法人等による法人後見」の割合が 26.9%となっています。

要支援認定者等では「成年後見制度に関する普及・啓発」の割合が 66.9%と最も高く、次いで「成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充」の割合が 37.7%、「社会福祉法人等による法人後見」の割合が 28.6%となっています。

【令和7年度調査】



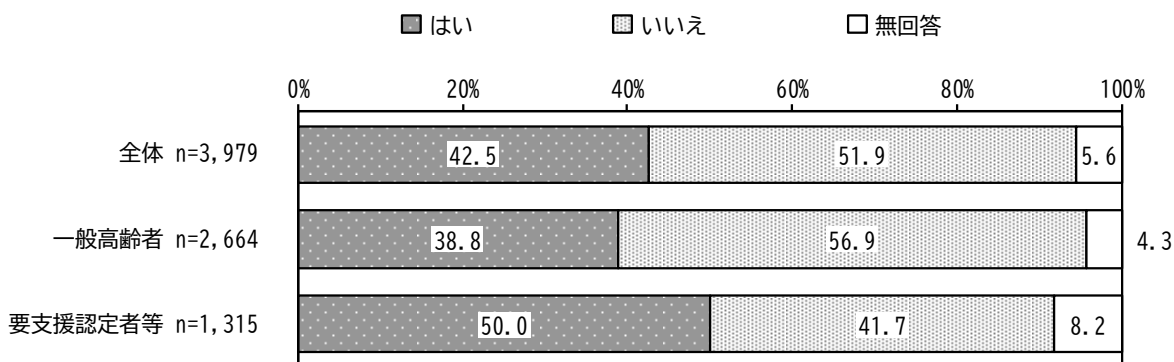
問 26 耳が聞こえづらくなったと感じますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が 38.8%、「いいえ」の割合が 56.9%となっています。

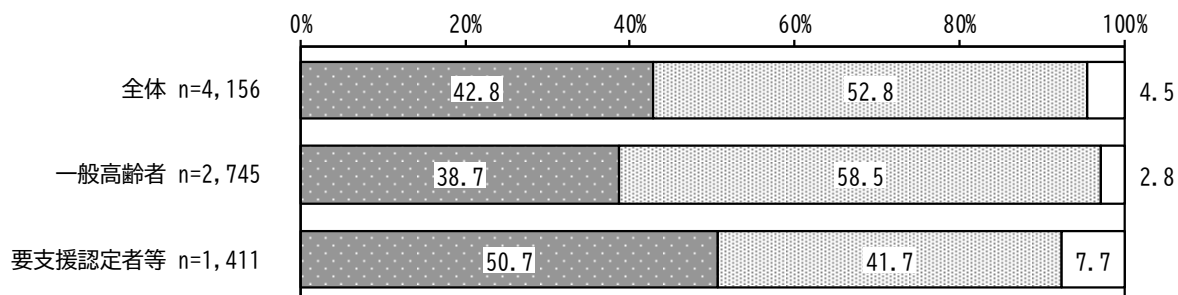
要支援認定者等では「はい」の割合が 50.0%、「いいえ」の割合が 41.7%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「いいえ」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問 26 で「はい」の方のみ】

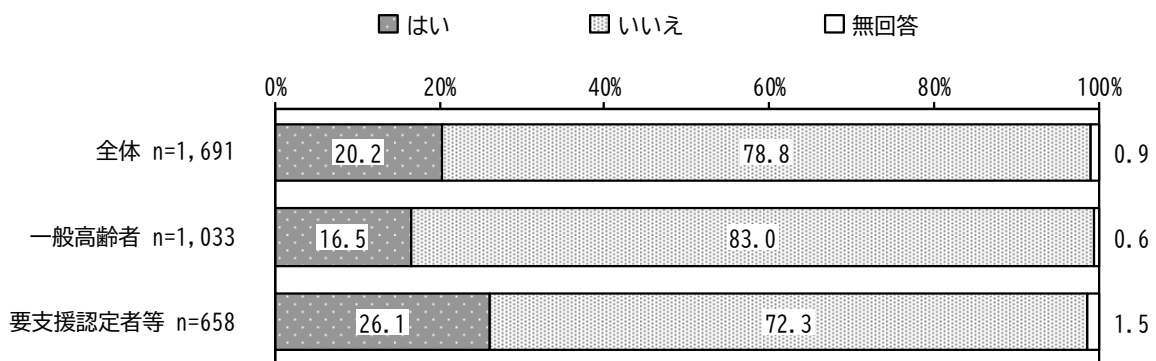
問 26-1 現在、補聴器を利用していますか（回答は1つ）

一般高齢者では「はい」の割合が 16.5%、「いいえ」の割合が 83.0%となっています。

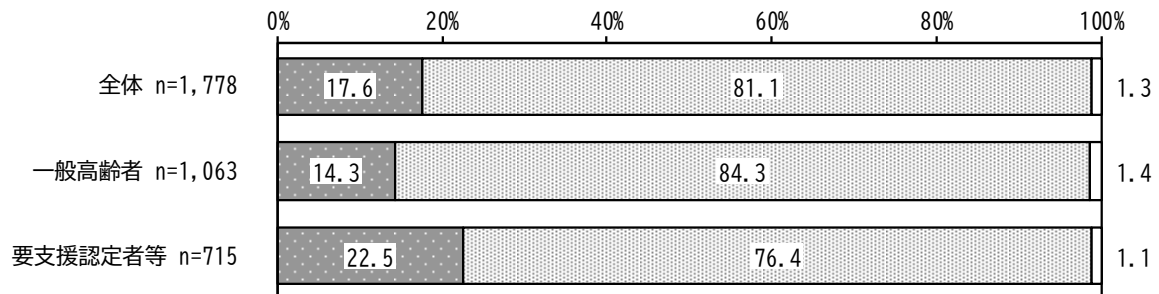
要支援認定者等では「はい」の割合が 26.1%、「いいえ」の割合が 72.3%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「はい」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問 26-1 で「いいえ」の方のみ】

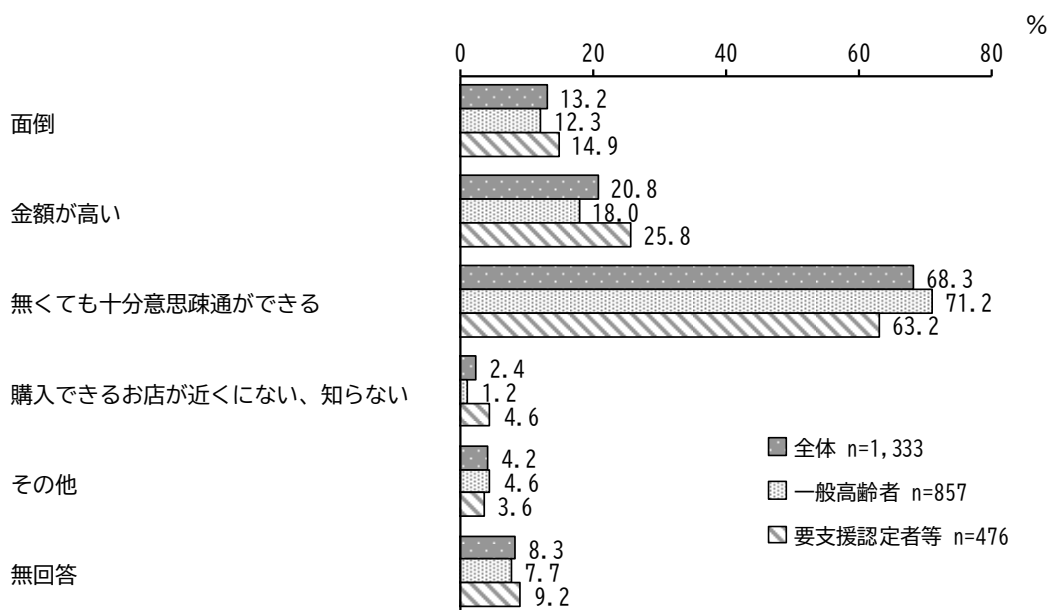
問 26-2 利用しない理由は何ですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「無くて也十分意思疎通ができる」の割合が 71.2%と最も高く、次いで「金額が高い」の割合が 18.0%、「面倒」の割合が 12.3%となっています。

要支援認定者等では「無くて也十分意思疎通ができる」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「金額が高い」の割合が 25.8%、「面倒」の割合が 14.9%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「金額が高い」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】

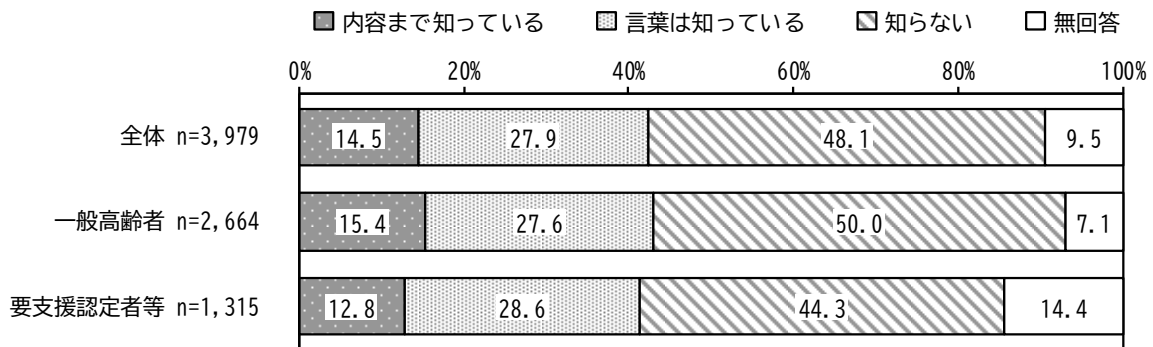


問 27 フレイルについて知っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「内容まで知っている」の割合が 15.4%、「言葉は知っている」の割合が 27.6%、「知らない」の割合が 50.0%となっています。

要支援認定者等では「内容まで知っている」の割合が 12.8%、「言葉は知っている」の割合が 28.6%、「知らない」の割合が 44.3%となっています。

【令和7年度調査】



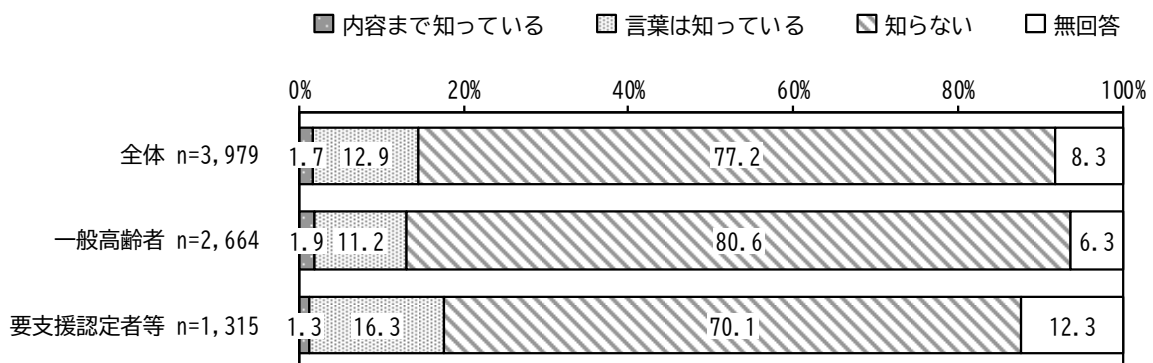
問 28 ACP（人生会議：人生の最終段階において自分が希望する医療やケアを受けるために、大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかということ信頼する人とふだんから話す）という取り組みを知っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「内容まで知っている」の割合が 1.9%、「言葉は知っている」の割合が 11.2%、「知らない」の割合が 80.6%となっています。

要支援認定者等では「内容まで知っている」の割合が 1.3%、「言葉は知っている」の割合が 16.3%、「知らない」の割合が 70.1%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「知らない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】



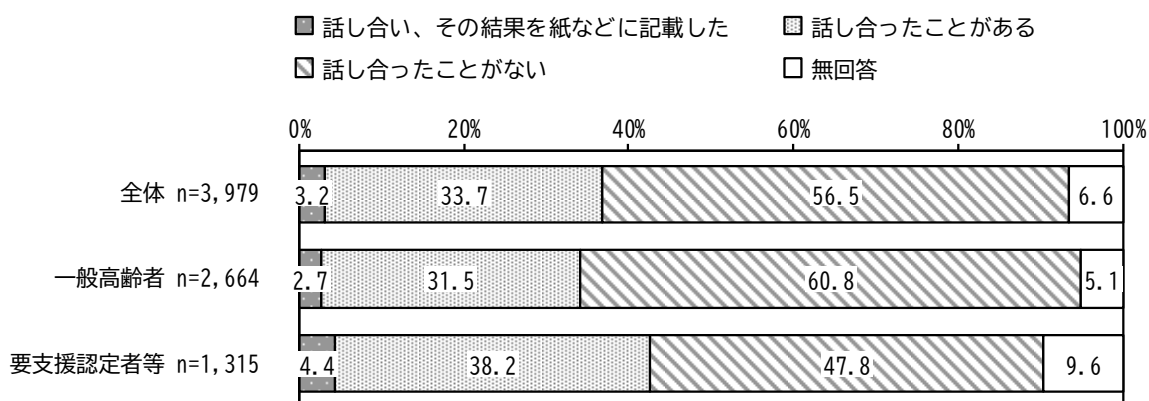
問 29 急な入院等の際の対応について、家族や支援者と事前に話し合っていますか（回答は1つ）

一般高齢者では「話し合い、その結果を紙などに記載した」の割合が 2.7%、「話し合ったことがある」の割合が 31.5%、「話し合ったことがない」の割合が 60.8%となっています。

要支援認定者等では「話し合い、その結果を紙などに記載した」の割合が 4.4%、「話し合ったことがある」の割合が 38.2%、「話し合ったことがない」の割合が 47.8%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「話し合ったことがない」の割合が低くなっています。

【令和7年度調査】

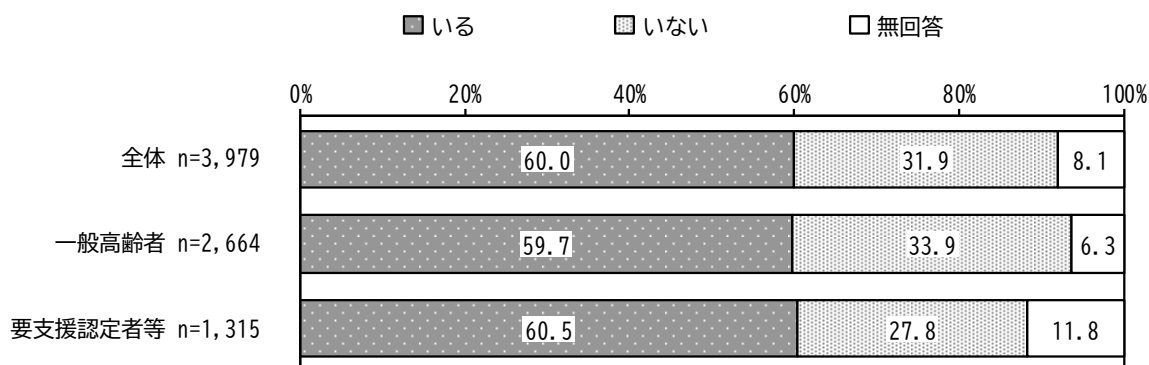


問 30 虐待や消費者被害を受けた場合、相談できる人はいますか（回答は1つ）

一般高齢者では「いる」の割合が 59.7%、「いない」の割合が 33.9%となっています。

要支援認定者等では「いる」の割合が 60.5%、「いない」の割合が 27.8%となっています。

【令和7年度調査】



【問30で「いる」の方のみ】

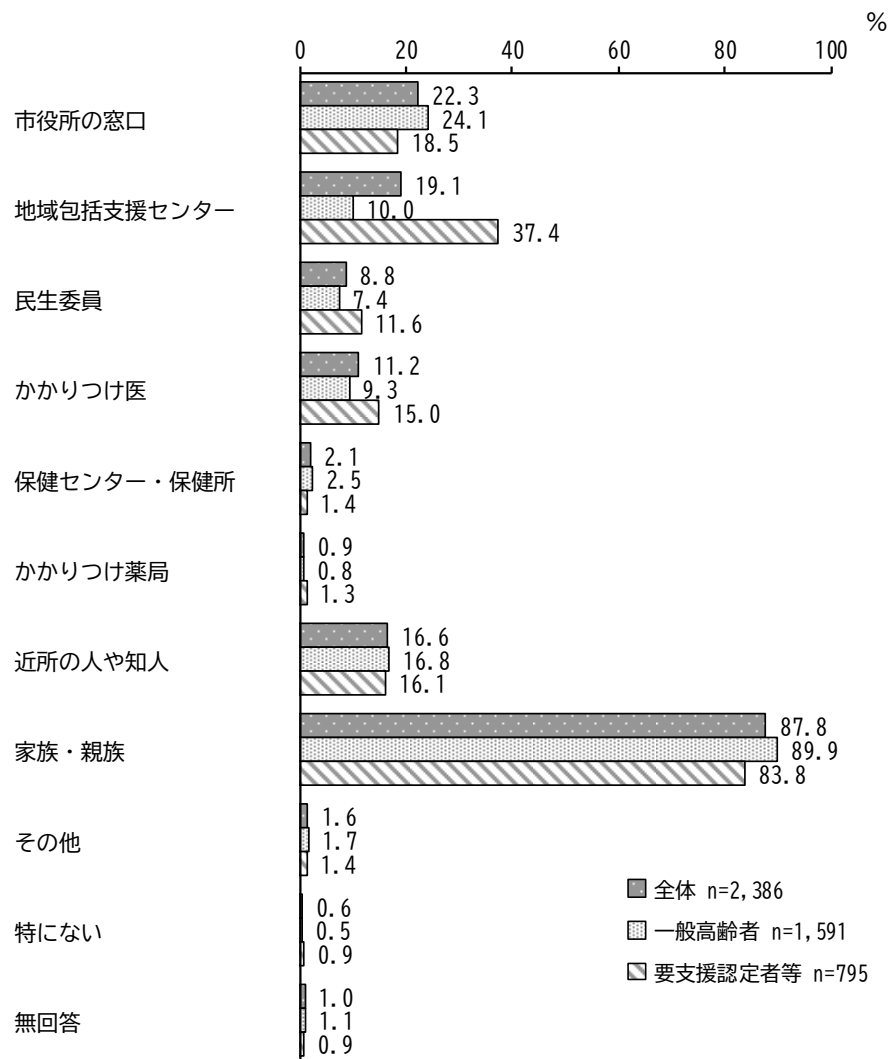
問30-1 相談先はどなたですか（あてはまるものすべてに回答）

一般高齢者では「家族・親族」の割合が89.9%と最も高く、次いで「市役所の窓口」の割合が24.1%、「近所の人や知人」の割合が16.8%となっています。

要支援認定者等では「家族・親族」の割合が83.8%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が37.4%、「市役所の窓口」の割合が18.5%となっています。

要介護状態区分別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等で「地域包括支援センター」の割合が高くなっています。

【令和7年度調査】



問 31 市の高齢者福祉サービスや介護保険サービスについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください

【主なご意見】

●高齢者福祉に関する情報提供について

- ・どんな時にどんなサービスが受けられるか、誰にでもわかる資料を提供してほしい。
- ・”上尾広報（広報あげお）”等で記載・通知等をしていると思うが、福祉や介護に関する情報・ニュース等を”高齢者専用ページ”としてまとめて、広報等でPRしてほしい。
- ・今回のアンケートにあるような困った時に連絡する先を簡潔な一覧表にしてほしい。

●移動手段等について

- ・バス便がどんどん減っているのが問題である。高齢者は自動車の免許返納をせまられるが、駅までの足がない。ぐるっとくんをせめて1時間に2本ぐらいに増便してほしい。
- ・高齢者は、病院に通院するにも、緊急の用事で出掛けるにもタクシーを利用する。現在、電話で呼ぶだけで加算され、いつも呼ぶ訳にはいかない。他の市町村では、何らかの形で、補助があると聞いている。

●相談窓口等の相談場所について

- ・高齢者向けサービスを総合的に受けつける窓口（福祉・介護、就労、生きがいなど）があると利用しやすい。
- ・これまであまり感心がなかったが、高齢者福祉に関するサービスの内容を知りたいと思う。高齢者向けに現在行われているサービス内容を記したパンフレットを送付していただけるとありがたい。また、公民館で説明会を開催してもらい不明な点など対面で相談にのってもらえる機会があればよい。

●介護保険料や介護サービス等について

- ・介護保険料が高いと思う。毎月の介護保険料が高く、負担を少しでも軽くしてほしい。
- ・特に老人ホーム等の施設の入居条件や種類、内容そして費用について心配している。元より介護は医療行為と考えているので、家族や親族ができるものではない。ついては無理をして介護を経験している方もいると思うので、啓発を積極的にできればよいと思う。
- ・介護認定を申請しても認定がなかなかおらず、サービスがすぐにも必要な時でも間に合わない。すべて早くお願いしたい。

●日常の生活や高齢者の居場所等について

- ・高齢になるとヘルパーを利用するほどではないが、手伝ってほしいことがある。ちょっとした困り事を助けてもらえるとよい。元気な間は地域活動をしたいと思うが、就労していることもあり情報が少ない。地域の様々な活動の情報があるとよい。
- ・元気な高齢者の働く場所を増やしてほしい。福祉サービスが必要になった時、具体的な方法や速やかな対応がなされることを強く望む。元気なうちは、可能か限り働こうと考えているが、動けなくなった時は、はじめてのことがおしよせてくるのだらうと思えば不安である。介護の費用も心配である。
- ・老人が安く気軽に集って話す場があると良い。
- ・家の中のバリアフリー、浴室の手すり等の補助金の充実をお願いします。

●これからの生活・サービスについて

- ・家族が認知症である。当初どう対応してよいか、理解ができなかった。市のホームページ等の文字だけでなく、図解も含めて解りやすい表記をしてもらいたい。
- ・高齢者の孤立死予防のための支援が必要である。ひとり暮らし高齢者が死亡した時の死後事務サービスの提供を望む。
- ・おひとり様支援・孤独対策を市区町村の窓口で、充実してもらいたい。安心して老後を暮らせるように、特に死後事務委任契約（葬儀、役所手続き）等の将来に備える制度を拡充してもらいたい。

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析

1 機能別リスク該当者割合の分析

(1) 運動器の機能低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問7	15分位続けて歩いていますか	3. できない
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問9	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

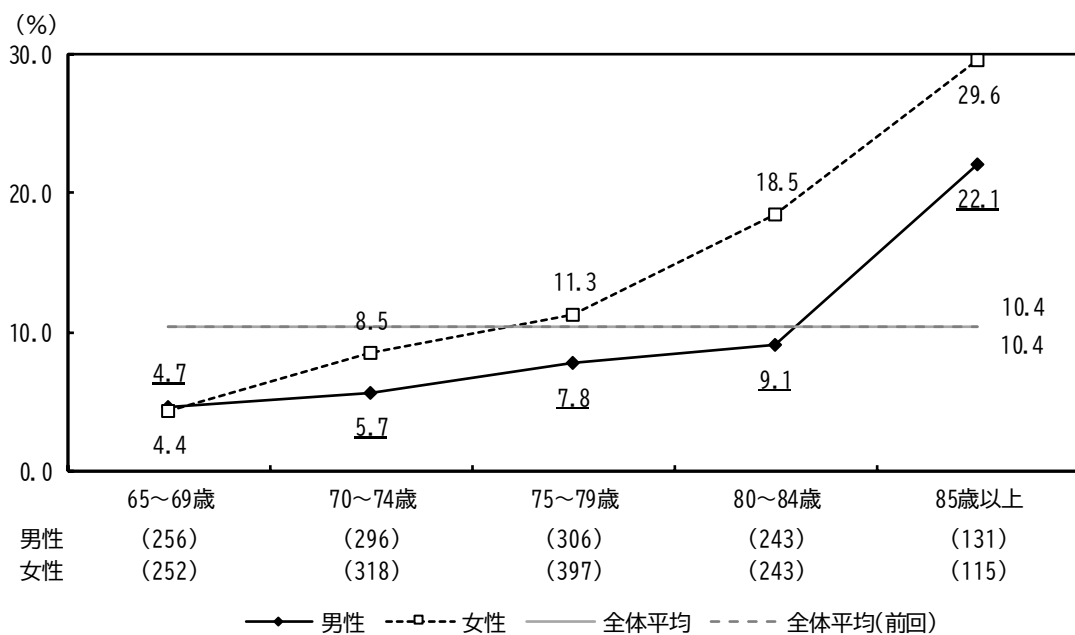
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく運動器の評価結果をみると、全体平均で 10.4%が運動器の機能低下該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、65～69 歳以外の年代で男性に比べ該当者割合が高く、85 歳以上で 29.6%と 80～84 歳に比べ 11.1 ポイント上昇しています。一方、男性では、85 歳以上で 22.1%と 80～84 歳に比べ 13.0 ポイント上昇しています。

前回結果と比較すると、変化はみられません。

【性別・年齢階級別】

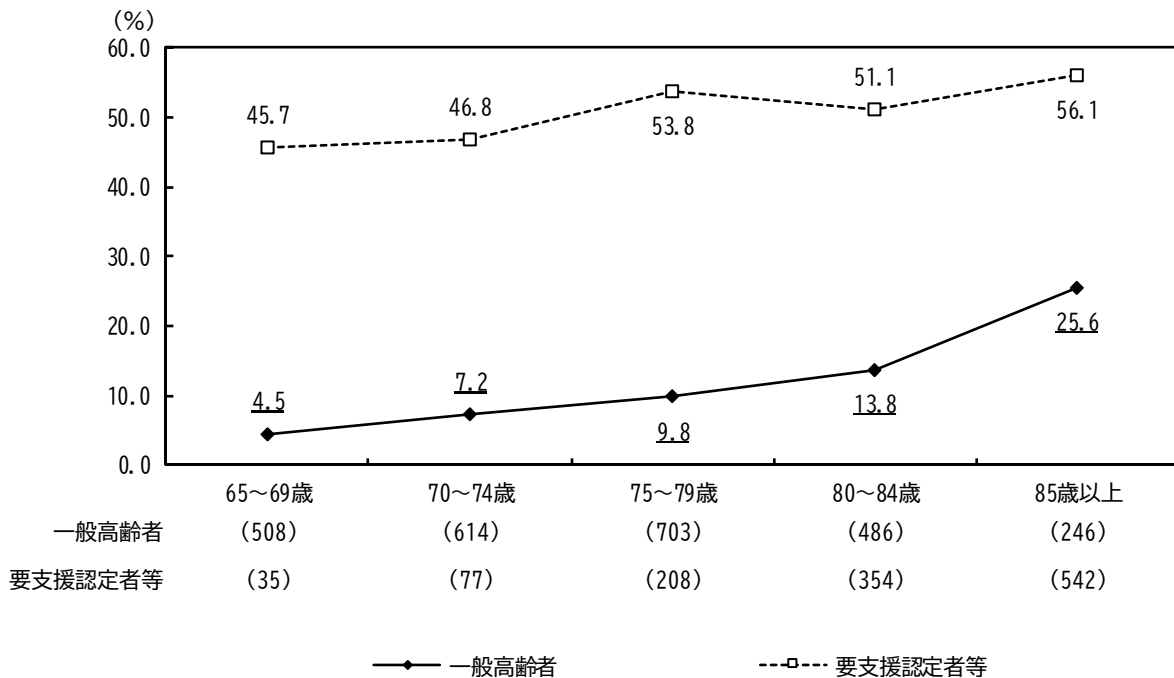


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

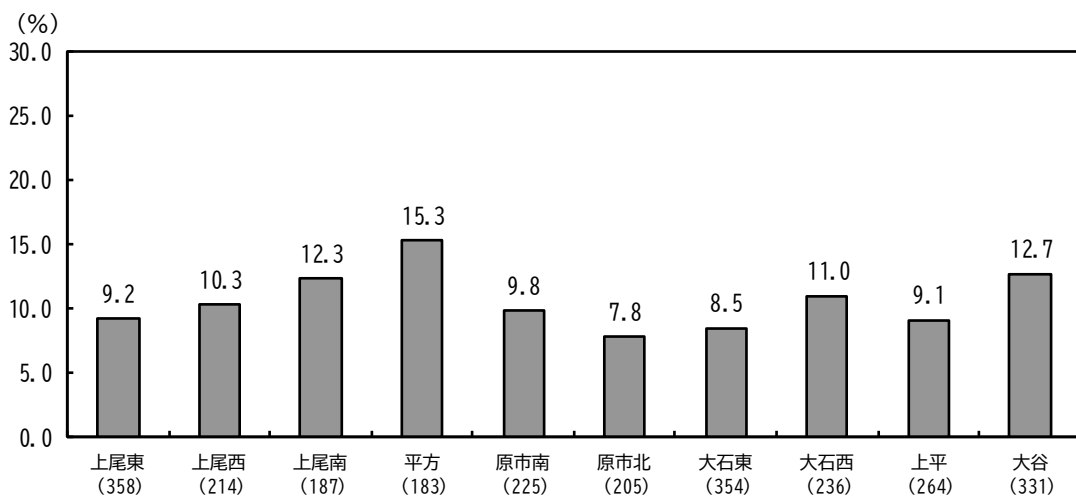
認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者では75～79歳に比べ80～84歳で4ポイント、85歳以上では15.8ポイント上昇し、80歳以上になるとリスクが高くなるのがうかがえます。要支援認定者等では、65～69歳では、一般高齢者と比べ41.2ポイントの差がありますが、85歳以上では30.5ポイントまで差が縮まります。

【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾南、平方、大石西、大谷で該当者割合が全体平均の10.4%を超えています。また、最も高い圏域は平方で15.3%、最も低い圏域は原市北で7.8%となっており、7.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(2) 閉じこもり傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問10	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

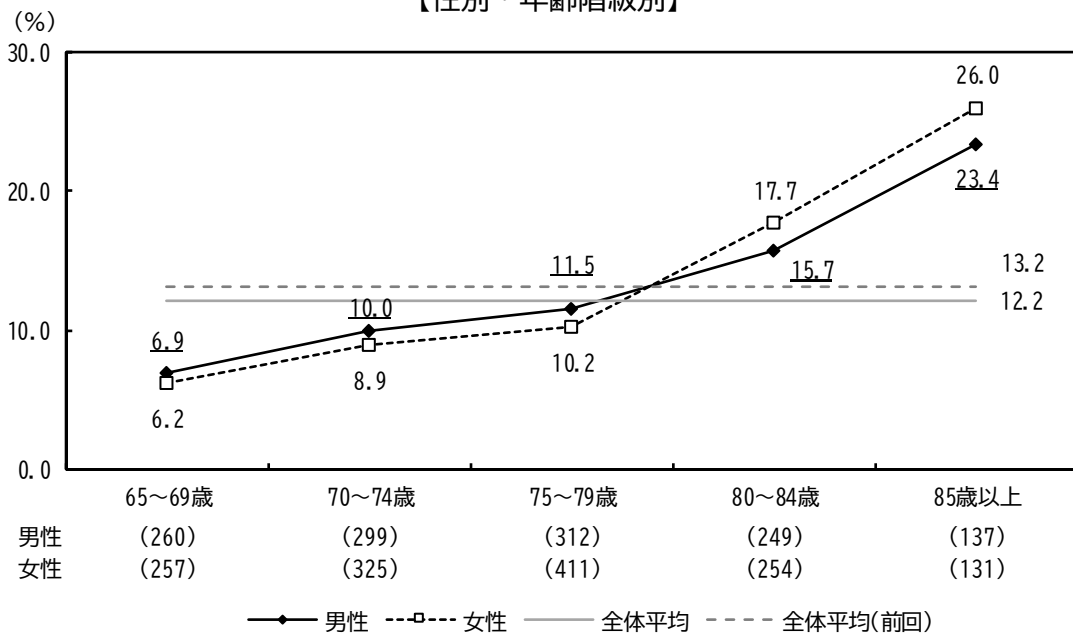
国の手引きに基づく閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で 12.2%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で 26.0%と 80~84歳に比べ 8.3ポイント上昇しています。また、80~84歳以上では、男性に比べて女性の割合が高く、80~84歳で2ポイント、85歳以上で 2.6ポイントの差になっています。男性、女性ともに年齢階級が上がるにつれて外出の頻度が徐々に減少し、特に 80歳~84歳以降の減少が目立ちます。80歳前後で、加齢に伴う身体状態の悪化などにより外出頻度が減少していると考えられます。

前回結果と比較すると、1ポイント減少しています。

運動器リスク該当者別でみると、運動器リスク該当者では、34.2%が閉じこもりリスク該当者となっており、一方、運動器リスク非該当者では、1割未満となっています。

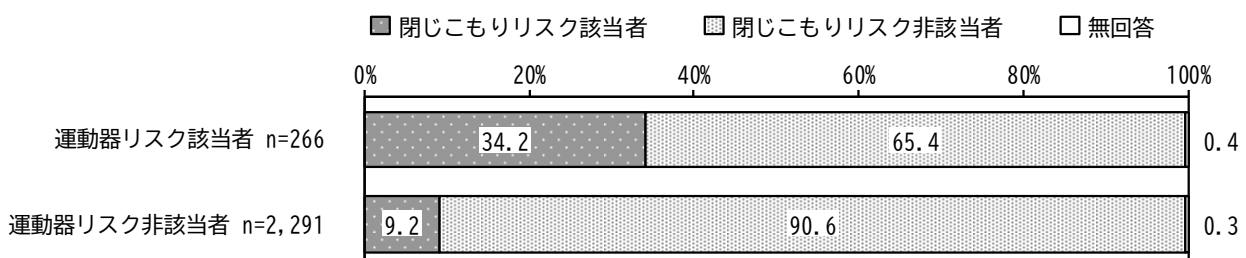
【性別・年齢階級別】



※要支援認定者を除く

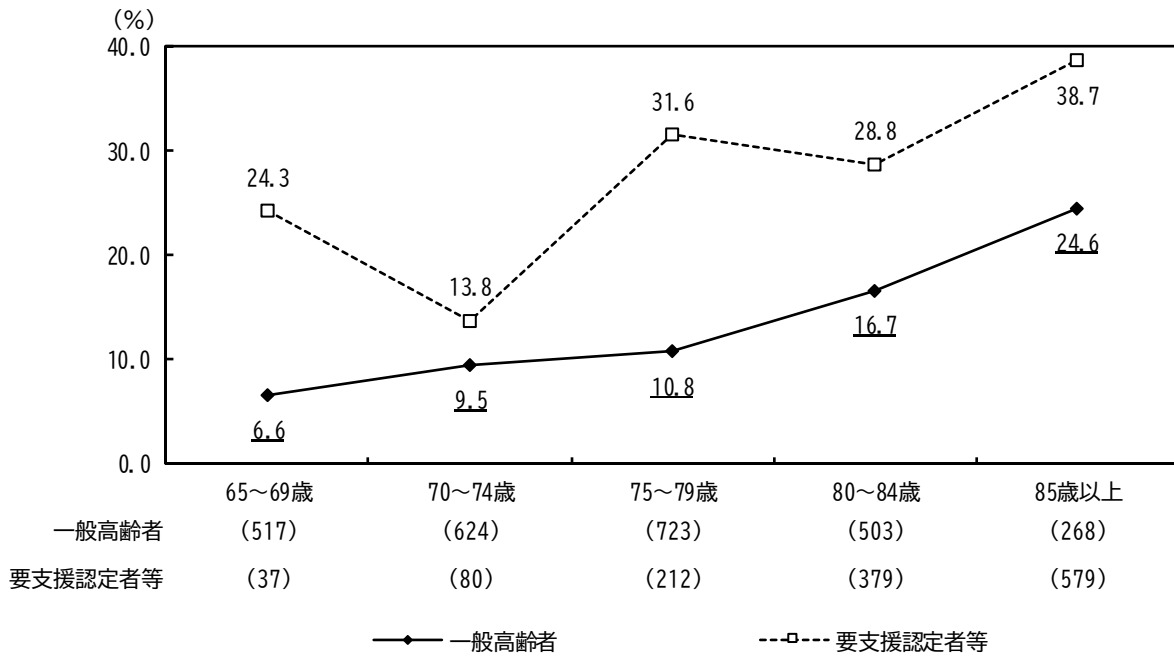
() 内は有効回答数

【運動器リスク該当者別】



認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、85歳以上で38.7%と最も高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

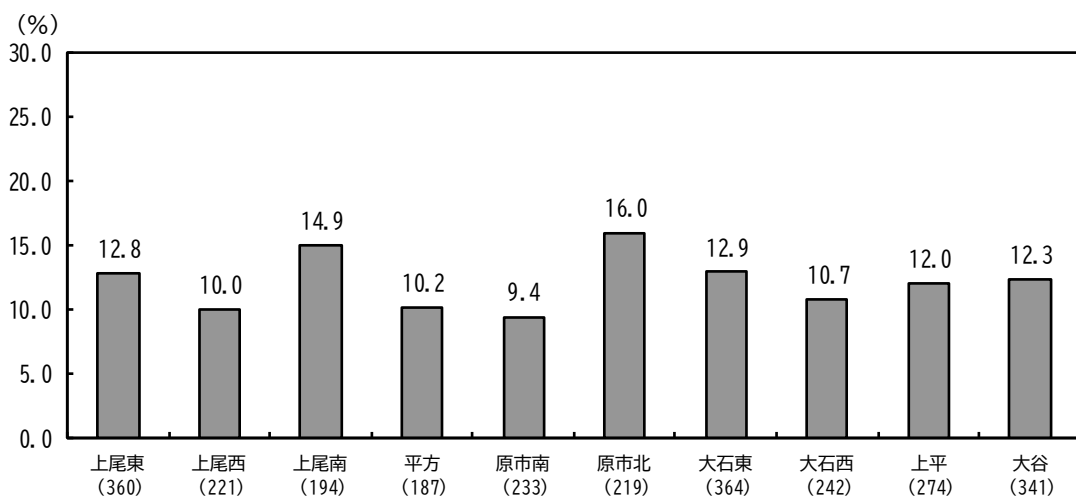
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾東、上尾南、原市北、大石東、大谷で該当者割合が全体平均の12.2%を超えています。

また、最も高い圏域は原市北で16.0%、最も低い圏域は原市南で9.4%となっており、6.6ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(3) 転倒リスク

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある

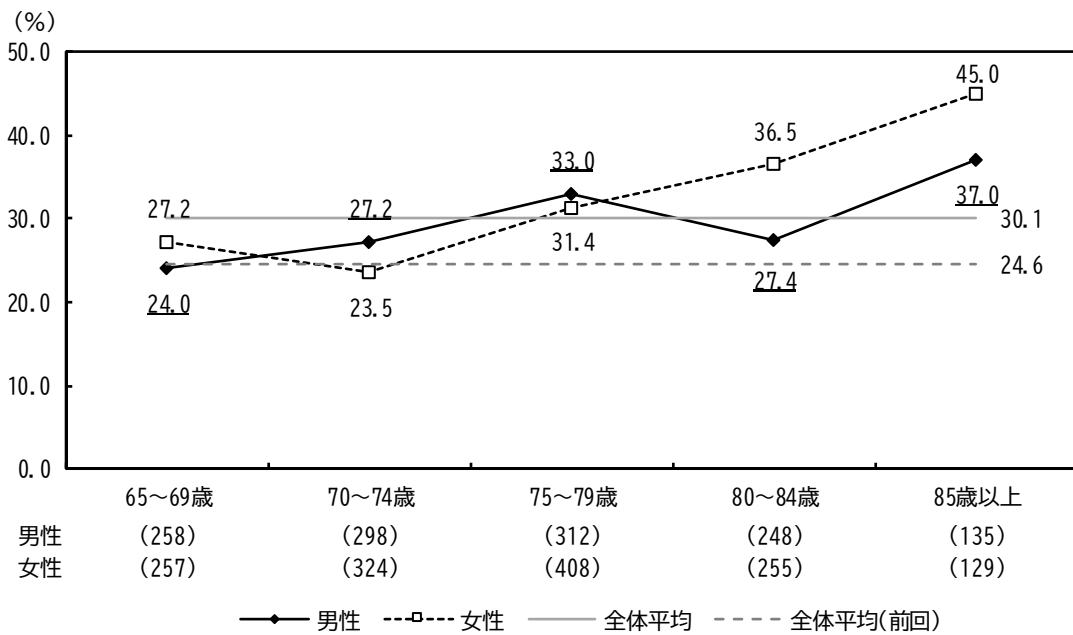
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく転倒の評価結果をみると、全体平均で 30.1%が転倒リスクの該当者となっています。

前回結果と比較すると、5.5 ポイント増加しています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、65～69 歳、80～84 歳、85 歳以上で男性に比べ該当者割合が高く、85 歳以上で 45.0%と 80～84 歳に比べ 8.5 ポイント上昇しています。一方、男性では、85 歳以上で 37.0%と 80～84 歳に比べ 9.6 ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

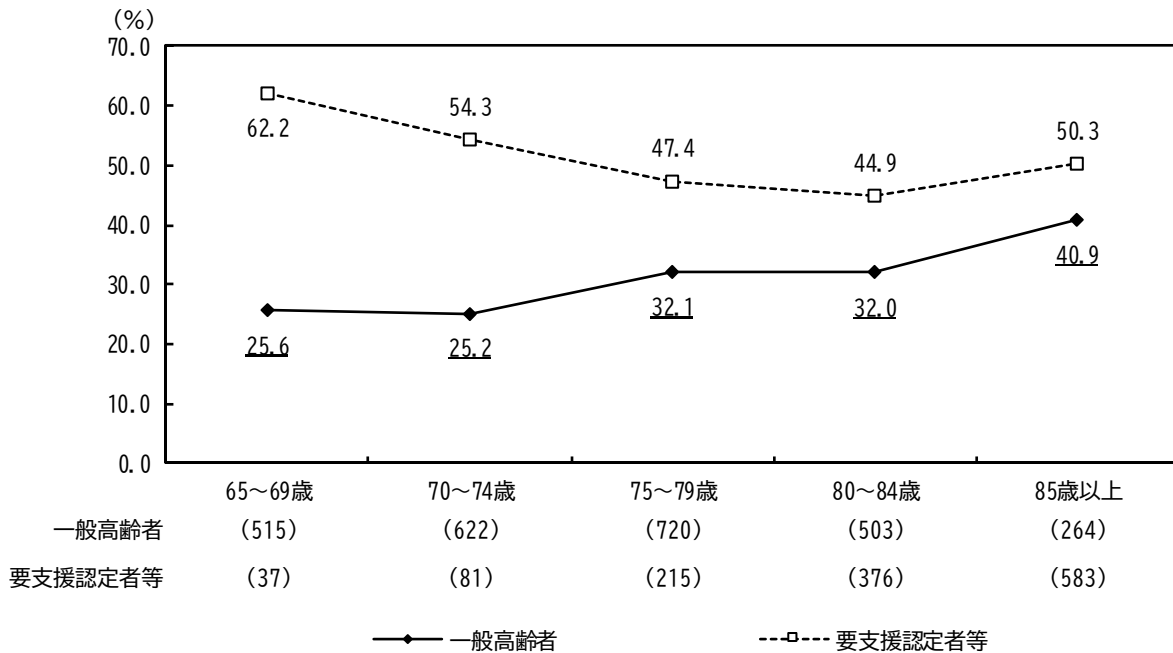


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、要支援認定者等では、65～69歳で転倒リスクの該当者が62.2%と最も高くなっており、80～84歳までは年齢階級が上がるにつれて該当者の割合が減少する傾向があります。一般高齢者でも、75～79歳にかけて該当者の割合が増加するものの、80～84歳にかけて一度横ばいになっていることから、外出の機会などが減少し、転倒リスクが減少している可能性がうかがえます。

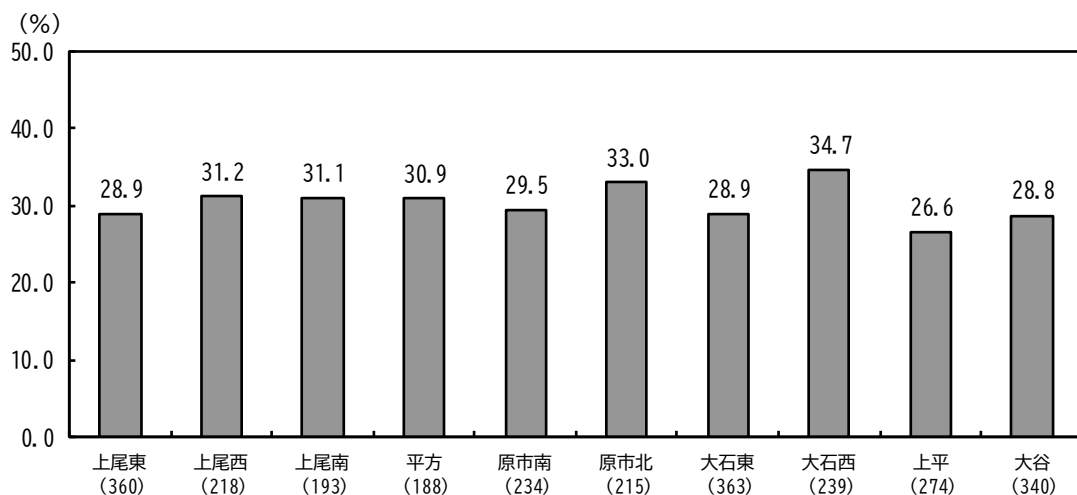
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾西、上尾南、平方、原市北、大石西で該当者割合が全体平均の30.1%を超えています。

また、最も高い圏域は大石西で34.7%、最も低い圏域は上平で26.6%となっており、8.1ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(4) 低栄養の傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問14	身長・体重をご記入ください	BMI 18.5未満
問20	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

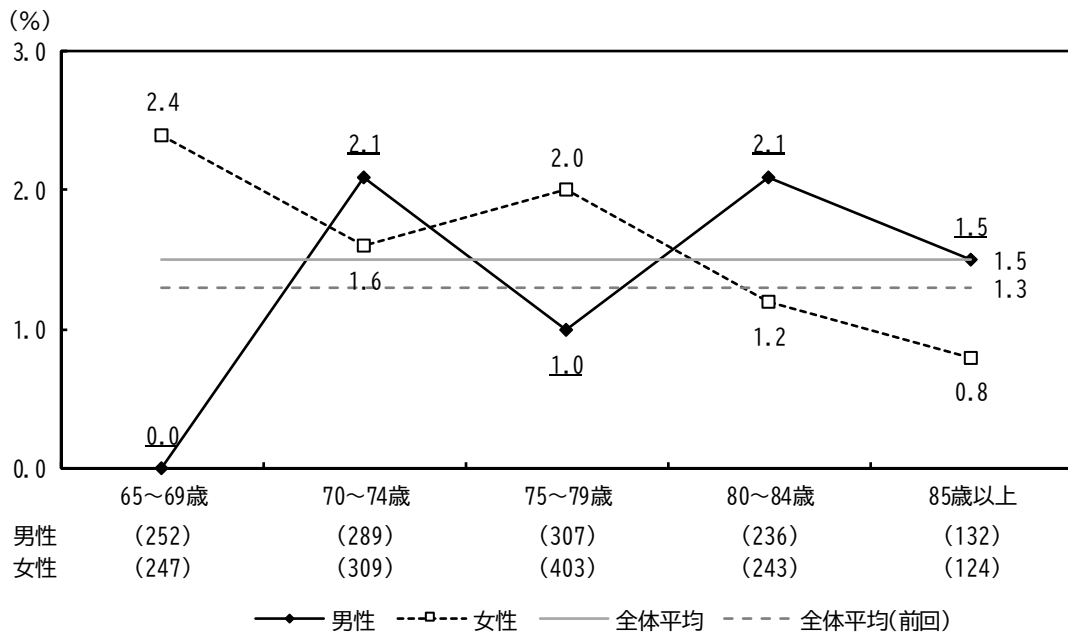
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく栄養の評価結果をみると、全体平均で1.5%が低栄養リスクの該当者となっています。

前回結果と比較すると、0.2ポイント増加しています。

性別・年齢階級別にみると、男女ともに5.0%以下となっており、大きな差はありません。

【性別・年齢階級別】

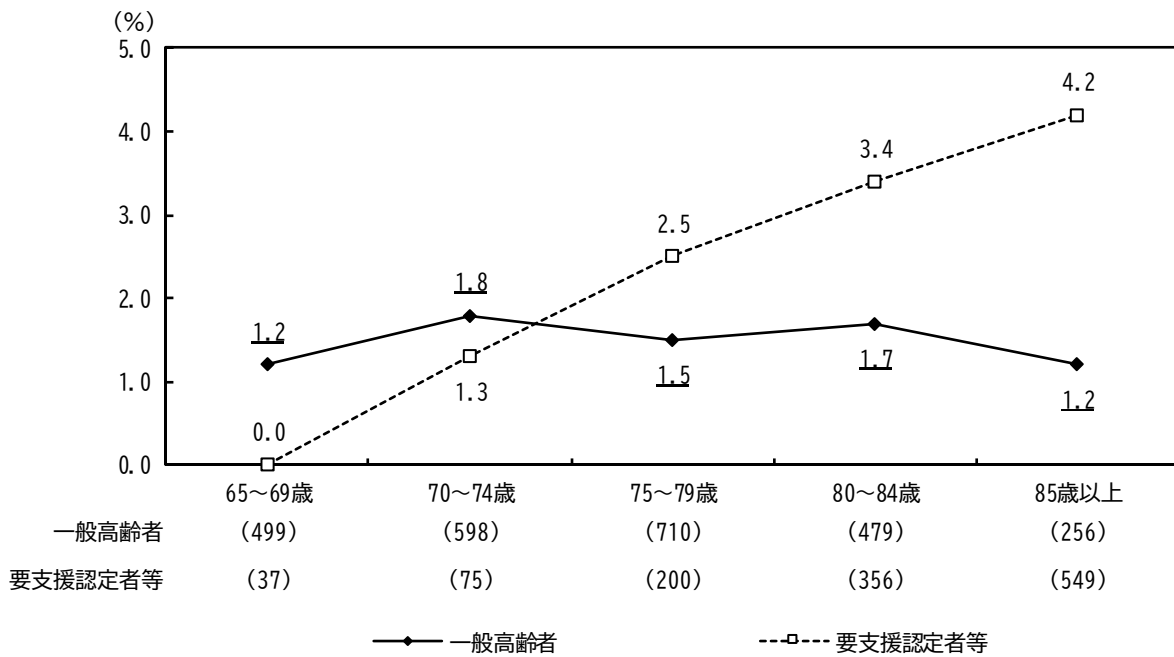


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

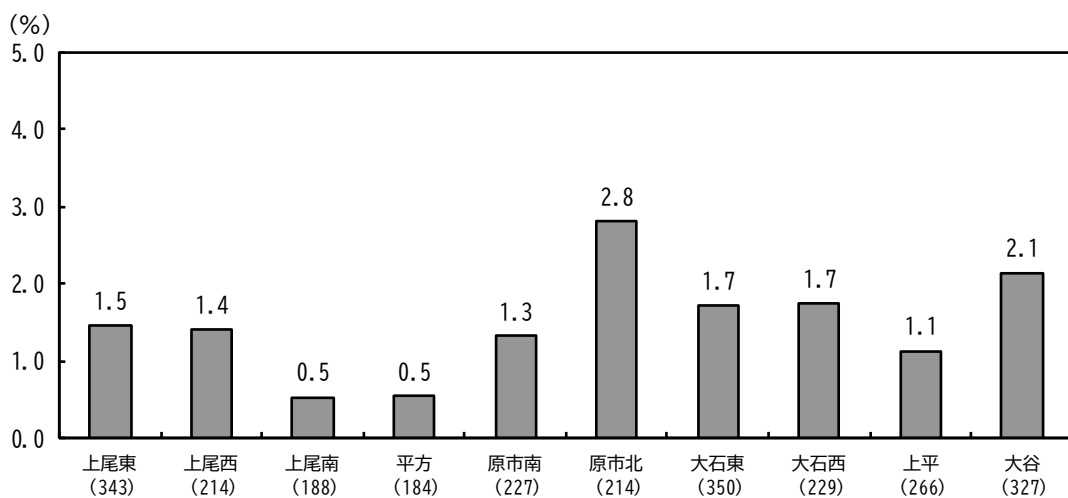
認定・該当状況別・年齢階級別にみると、要支援認定者等では、年齢階級が上がるにつれて割合が高く、85歳以上で4.2%となっています。

【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、原市北、大石東、大石西、大谷で該当者割合が全体平均の1.5%を超えています。また、最も高い圏域は原市北で2.8%、最も低い圏域は上尾南、平方で0.5%となっており、2.3ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(5) 口腔機能の低下

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問15	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問16	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問17	口の渇きが気になりますか	1. はい

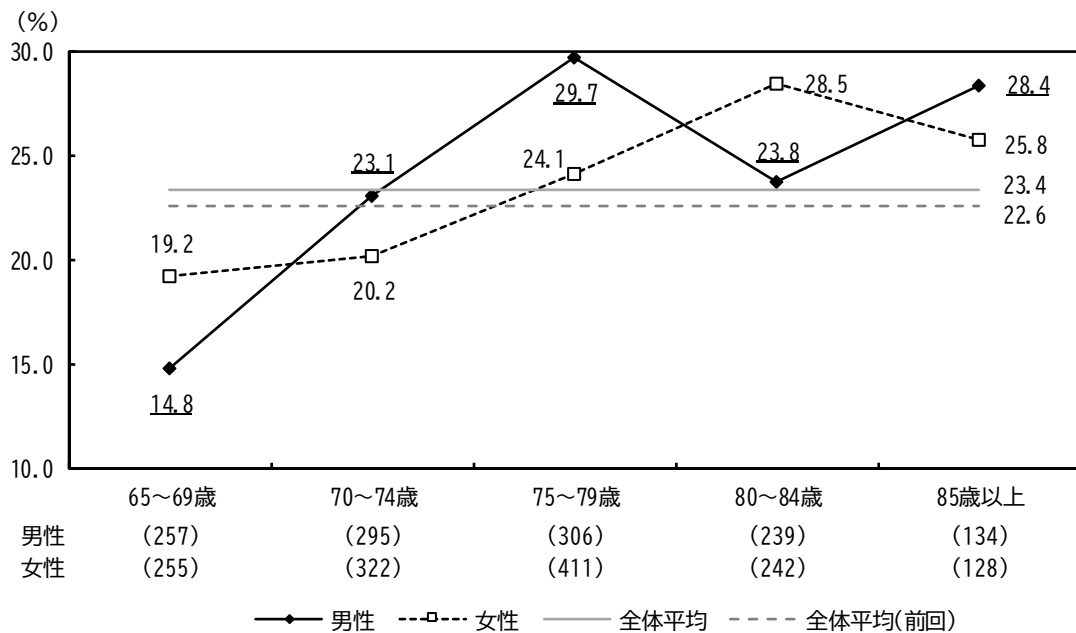
【リスク該当状況】

国の手引きに基づく口腔の評価結果をみると、全体平均で 23.4%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

前回結果と比較すると、0.8 ポイント増加しています。

性別・年齢階級別にみると、女性では 80～84 歳まで年齢階級が上がるにつれて該当者の割合が増加しています。男性では 75～79 歳にかけて該当者の割合が増加しており、特に 65～69 歳から 70～74 歳にかけて 8.3 ポイント上昇しています。75 歳以上では割合の差が小さくなる傾向がみられることから、加齢に伴い歯の本数が少なくなり、口腔機能の低下が顕著に現れにくいと考えられます。

【性別・年齢階級別】

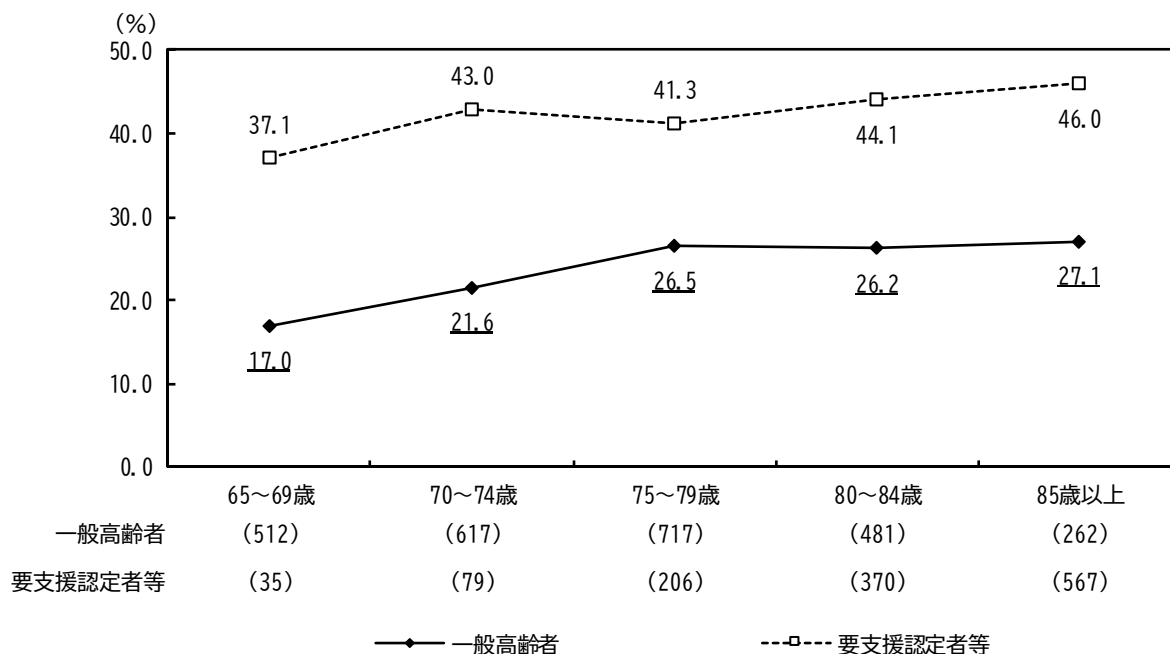


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、85歳以上で46.0%と最も高くなっています。

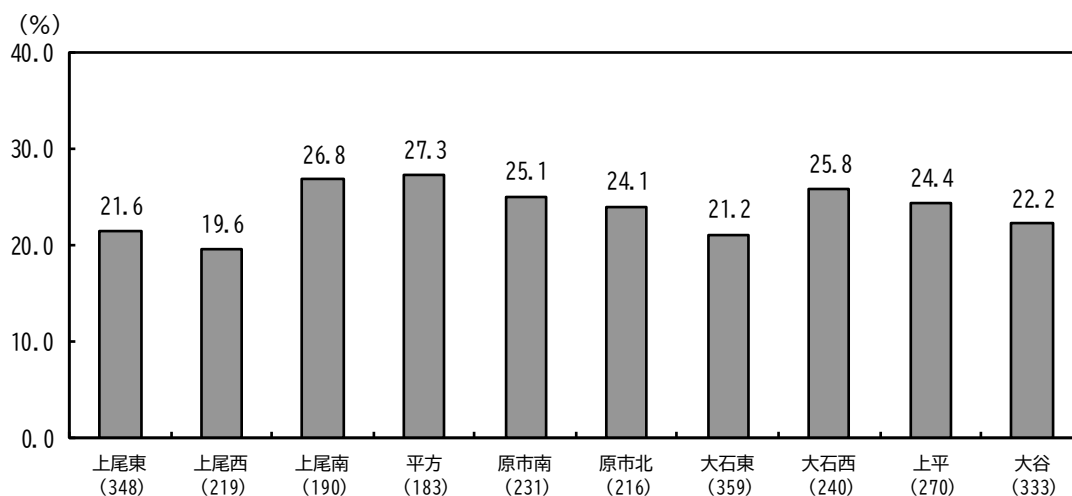
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾南、平方、原市南、原市北、大石西、上平で該当者割合が全体平均の23.4%を超えています。

また、最も高い圏域は平方で27.3%、最も低い圏域は上尾西で19.6%となっており、7.7ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(6) 認知機能

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

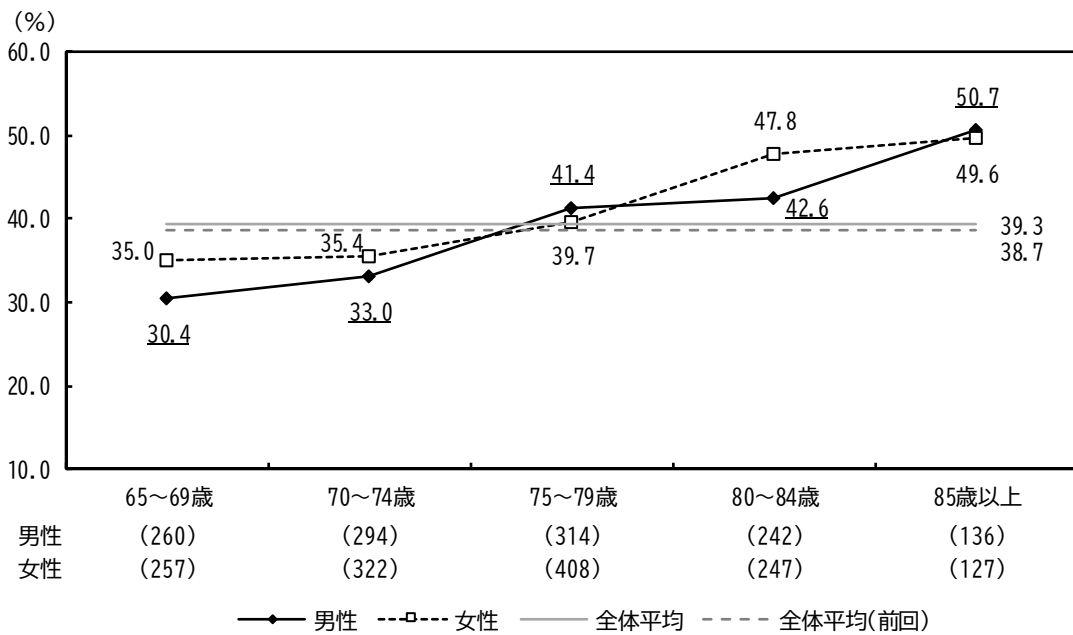
問番号	設問	該当する選択肢
問22	物忘れが多いと感じますか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づく認知の評価結果をみると、全体平均で 39.3%が該当者となっています。前回結果と比較すると、0.6 ポイント増加しています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、65～69 歳、70～74 歳、80～84 歳で男性に比べ該当者割合が高く、80～84 歳で 47.8%と 75～79 歳に比べ 8.1 ポイント上昇しています。一方、男性では、75～79 歳で 41.4%と 70～74 歳に比べ 8.4 ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

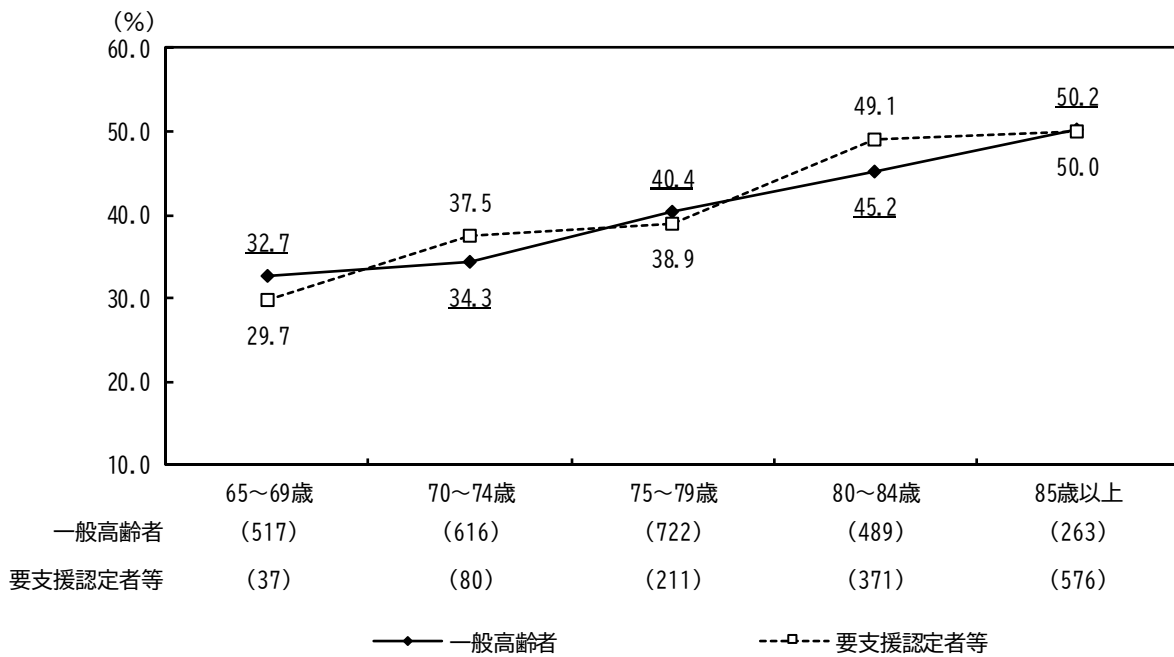


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

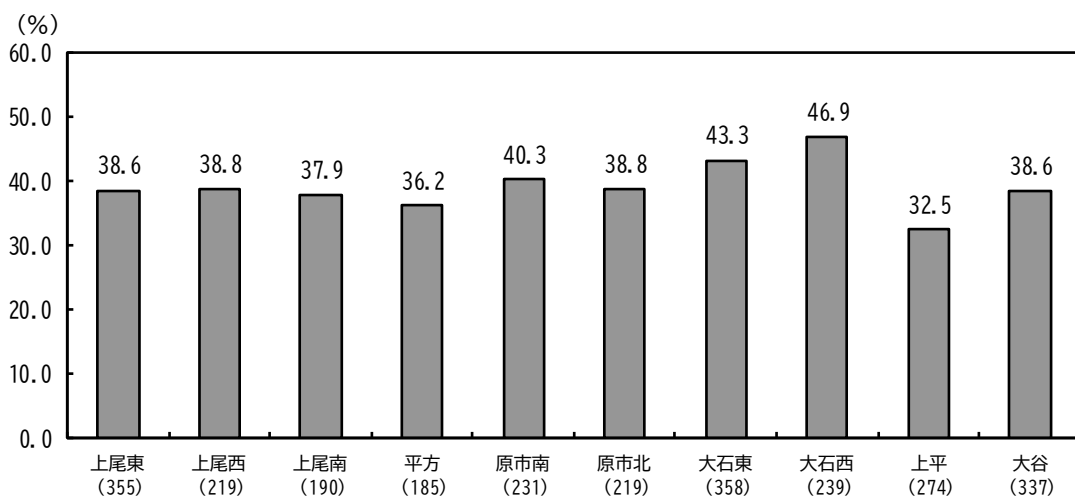
認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者、要支援認定者等ともに年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、原市南、大石東、大石西で該当者割合が全体平均の 39.3%を超えています。また、最も高い圏域は大石西で 46.9%、最も低い圏域は上平で 32.5%となっており、14.4 ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(7) うつ傾向

国の手引きをもとに、調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

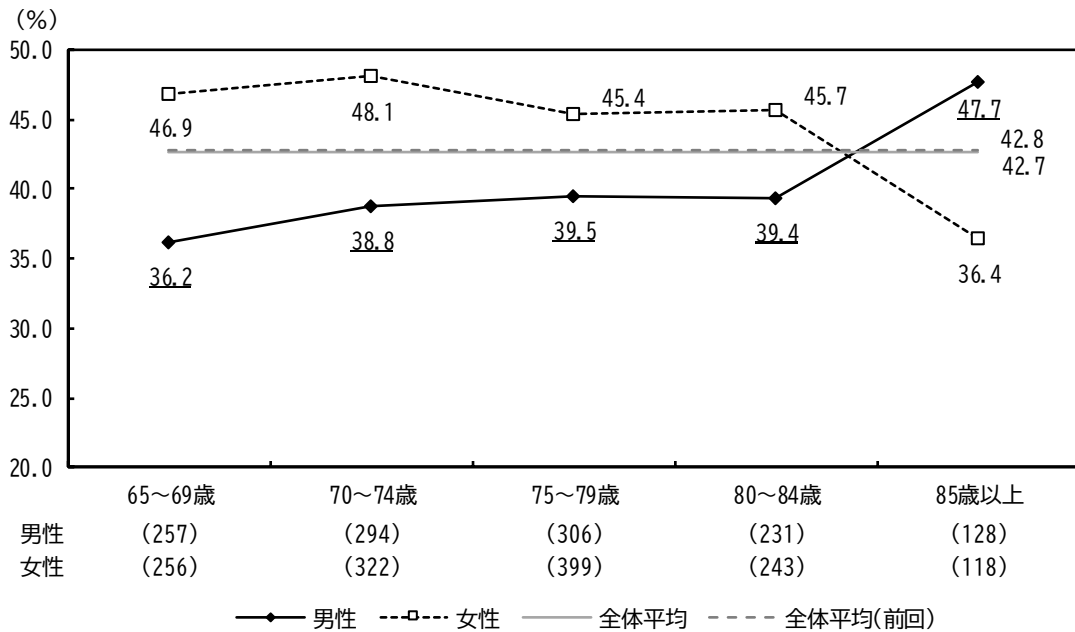
問番号	設問	該当する選択肢
問54	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問55	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

【リスク該当状況】

国の手引きに基づきうつの評価結果をみると、全体平均で42.7%が該当者となっています。前回結果と比較すると、0.1ポイント減少しています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上以外の年代で男性に比べ該当者割合が高く、70～74歳で48.1%と65～69歳に比べ1.2ポイント上昇しています。一方、男性では、85歳以上で47.7%と80～84歳に比べ8.3ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

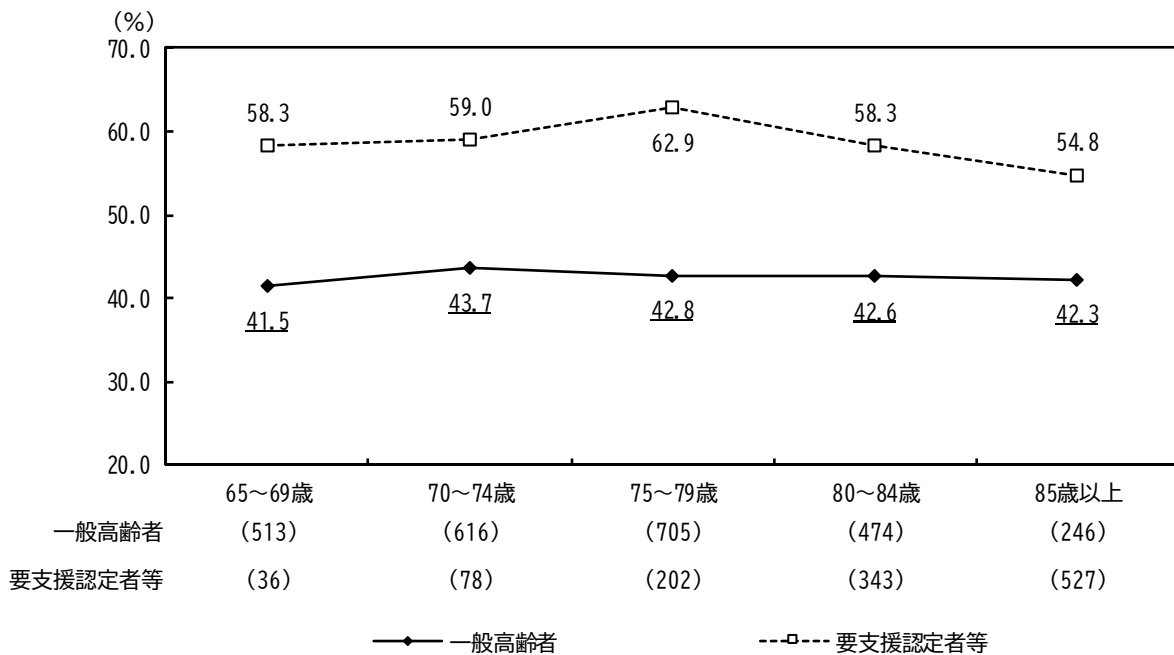


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、75～79歳で62.9%と最も高くなっています。

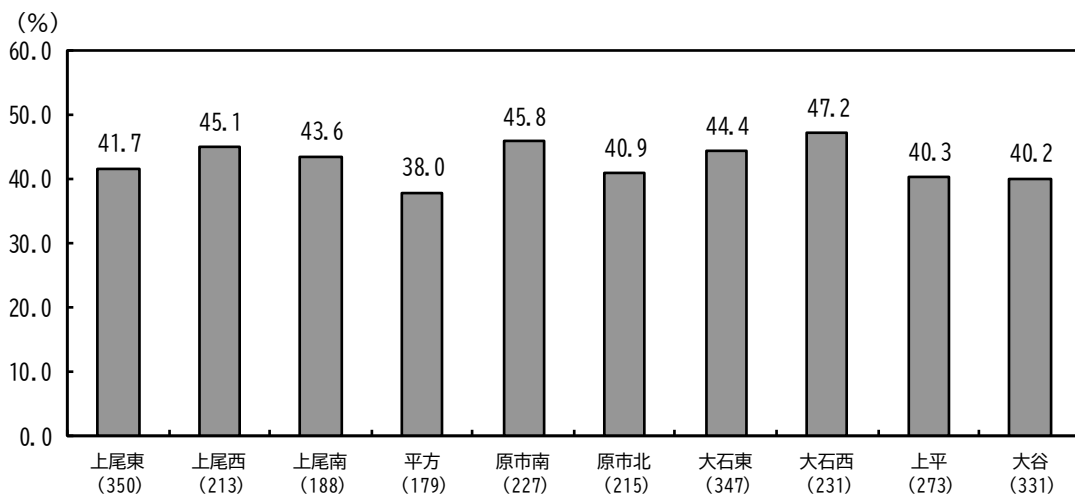
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾西、上尾南、原市南、大石東、大石西で該当者割合が全体平均の42.7%を超えています。

また、最も高い圏域は大石西で47.2%、最も低い圏域は平方で38.0%となっており、9.2ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(8) IADL (手段的自立度)

高齢者の比較的高次の生活機能进行评估することができる老研式活動能力指標には、高齢者の手段的自立度 (IADL) に関する設問が5問あり、「手段的自立度 (IADL)」として尺度化されています。

評価は、各設問に「できるし、している」または「できるけどしていない」と回答した場合を1点として、5点満点で評価し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価しています。

また、4点以下を手段的自立度の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問25	バスや電車を使って1人で外出していますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問26	自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問27	自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問28	自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点
問29	自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している：1点 2. できるけどしていない：1点

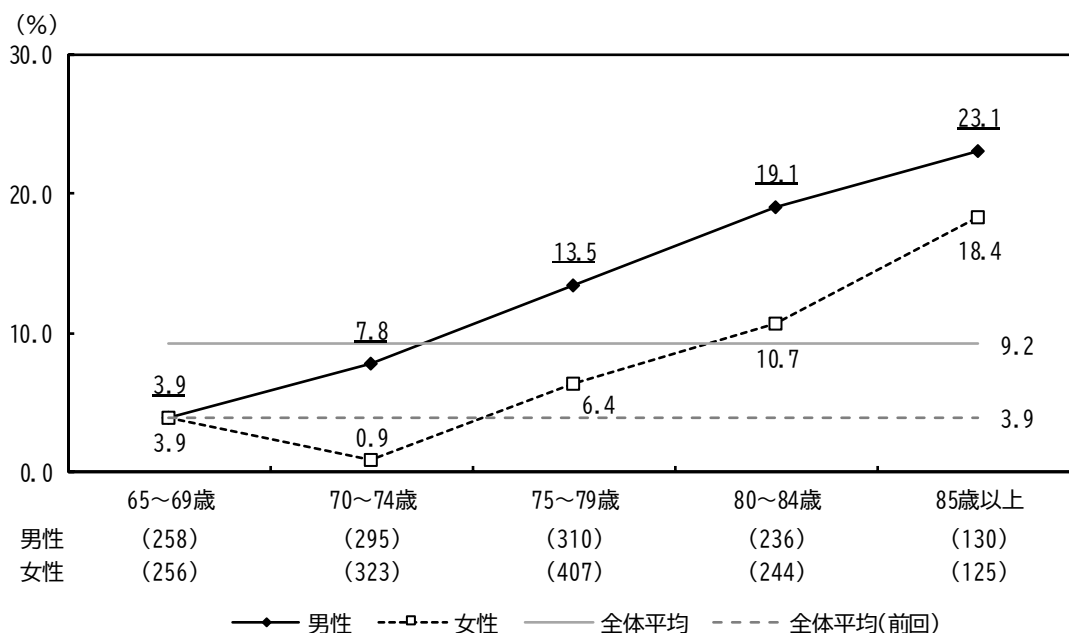
【リスク該当状況】

全体平均では9.2%が手段的自立度の低下者となっています。

前回結果と比較すると、5.3ポイント増加しています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で18.4%と80~84歳に比べ7.7ポイント上昇しています。一方、男性では、65~69歳以外の年代で女性に比べ該当者割合が高く、75~79歳で13.5%と70~74歳に比べ5.7ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

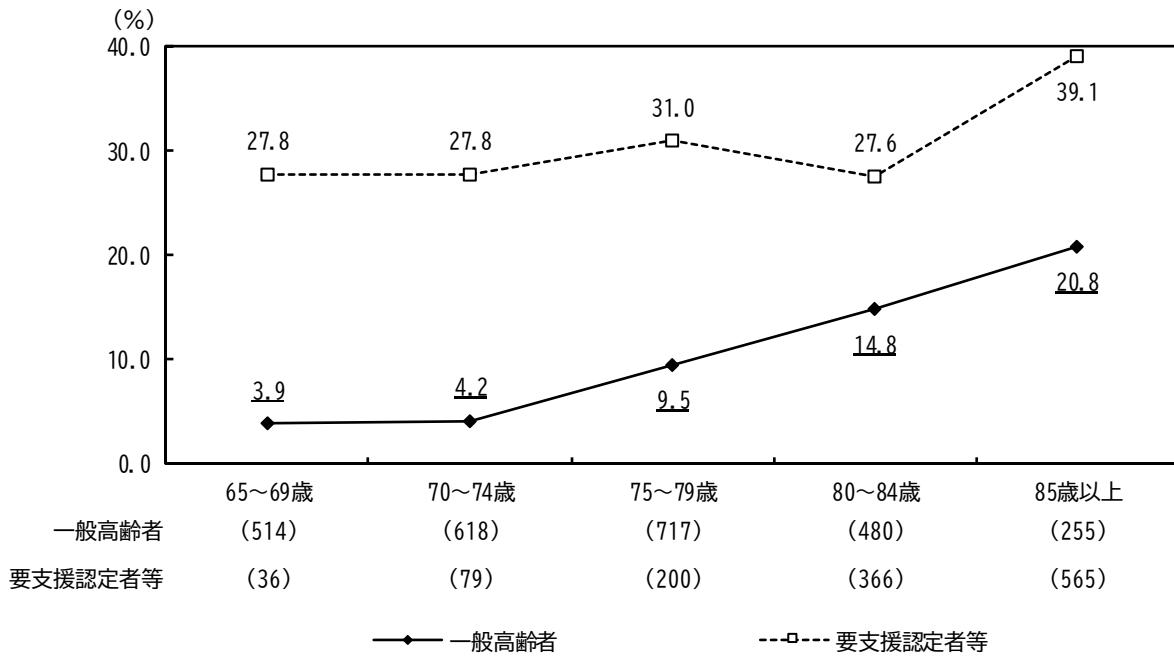


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、85歳以上で39.1%と最も高くなっています。また、一般高齢者では、年齢階級が上がるにつれて割合が高くなっています。

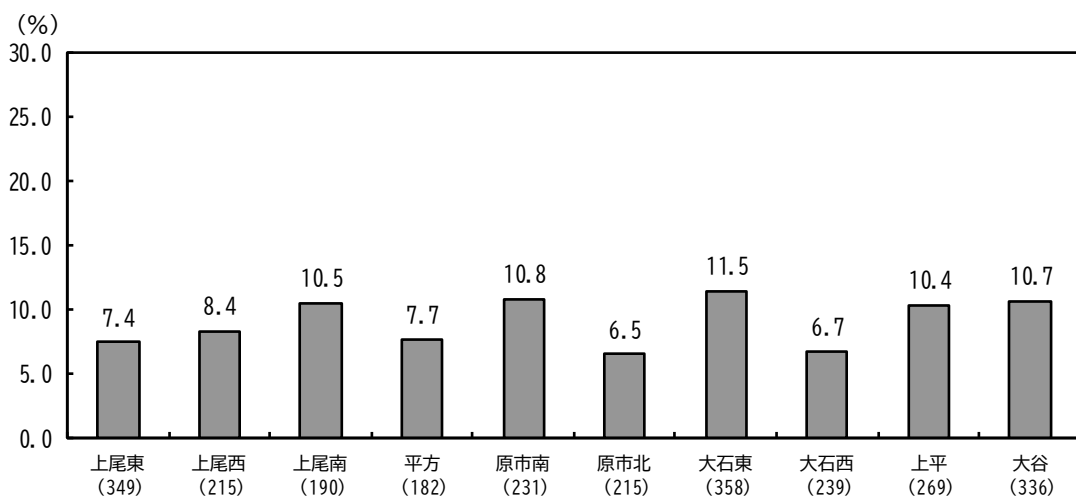
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾南、原市南、大石東、上平、大谷で該当者割合が全体平均の9.2%を超えています。

また、最も高い圏域は大石東で11.5%、最も低い圏域は原市北で6.5%となっており、5.0ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(9) 知的能動性

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問あり、「知的能動性」として尺度化されています。

評価は、各設問に「はい」と回答した場合を1点として、4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を知的能動性の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問30	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか	1. はい：1点
問31	新聞を読んでいますか	1. はい：1点
問32	本や雑誌を読んでいますか	1. はい：1点
問33	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい：1点

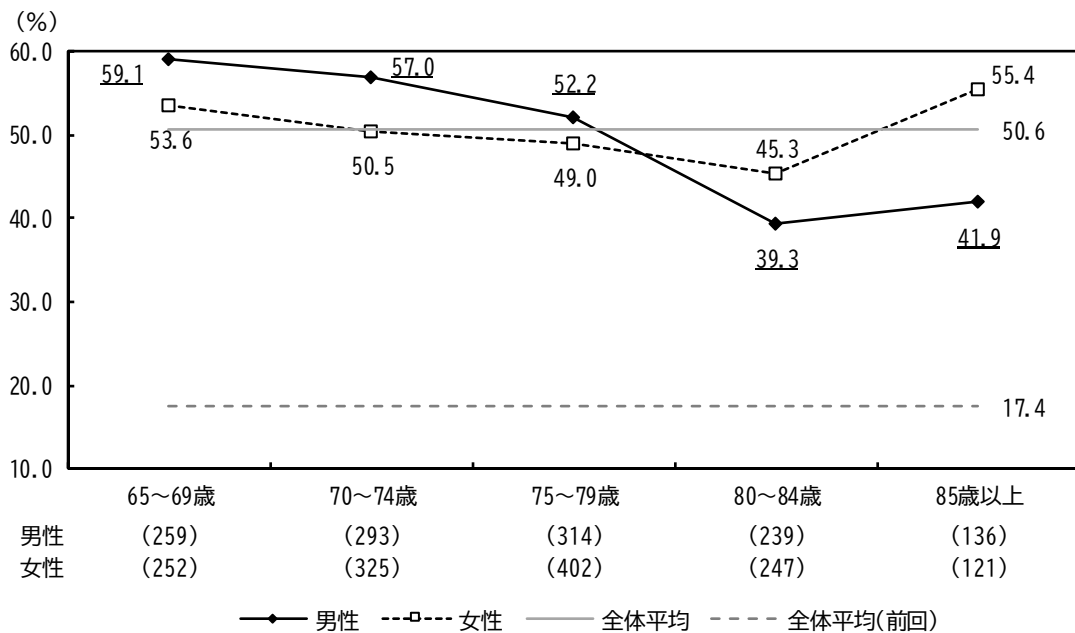
【リスク該当状況】

知的能動性の低下者は、全体平均では50.6%となっています。

前回結果と比較すると、33.2ポイント増加しています。

性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で55.4%と80~84歳に比べ10.1ポイント上昇しています。一方、男性では、65~69歳、70~74歳、75~79歳で女性に比べ該当者割合が高く、85歳以上で41.9%と80~84歳に比べ2.6ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】

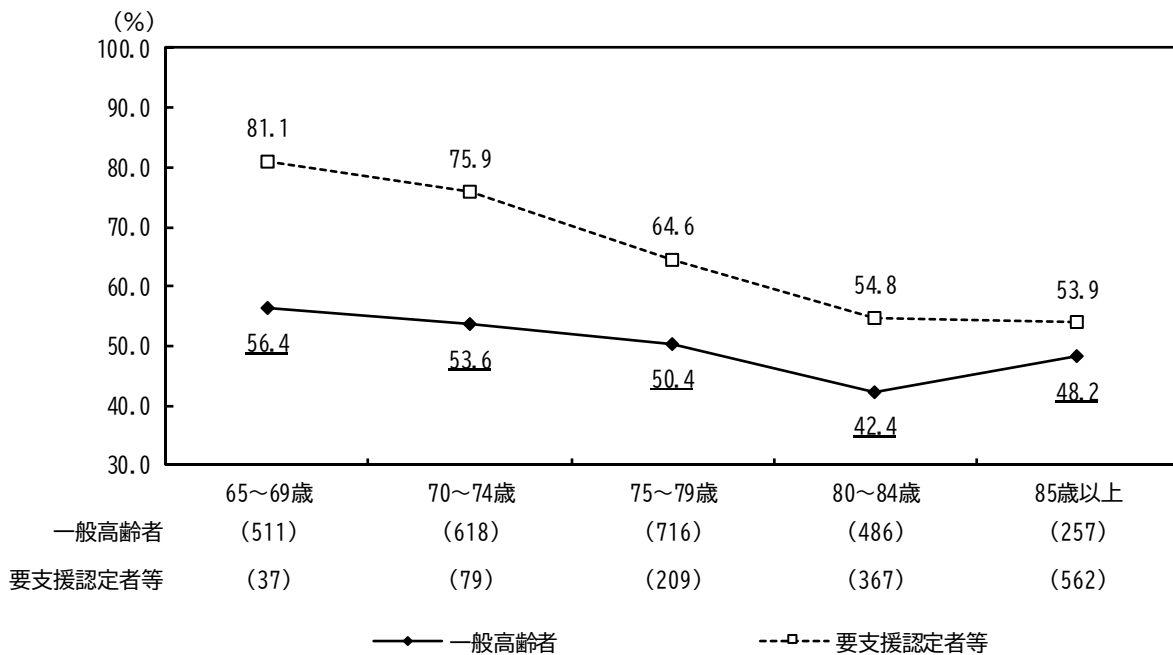


※要支援認定者を除く

() 内は有効回答数

認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、65～69歳で81.1%と最も高くなっています。

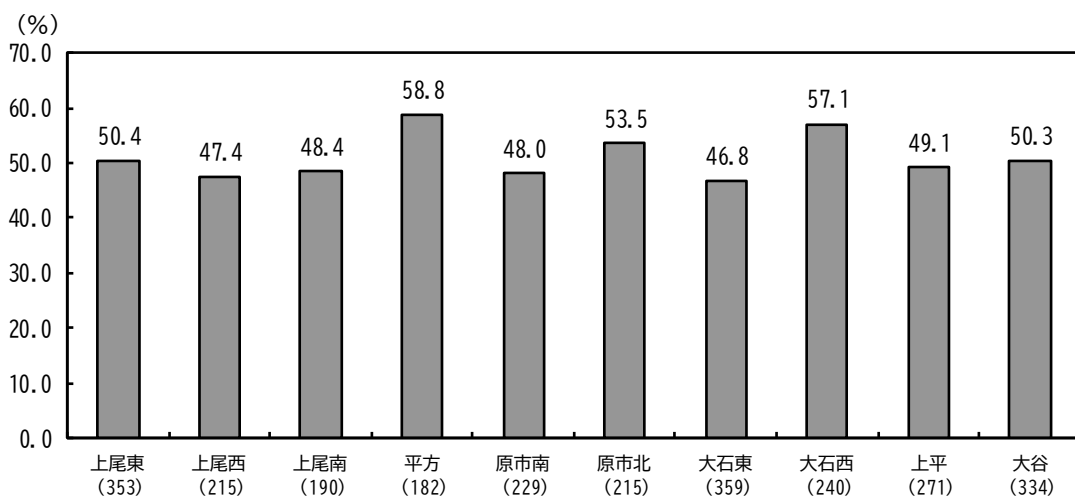
【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、平方、原市北、大石西で該当者割合が全体平均の50.6%を超えています。

また、最も高い圏域は平方で58.8%、最も低い圏域は大石東で46.8%となっており、12.0ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

(10) 社会的役割

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問あり、「社会的役割」として尺度化されています。

評価は、知的能動性と同様に4点満点で評価し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価しています。

また、3点以下を社会的役割の低下者とし、低下者の割合を示しています。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問34	友人の家を訪ねていますか	1. はい：1点
問35	家族や友人の相談にのっていますか	1. はい：1点
問36	病人を見舞うことができますか	1. はい：1点
問37	若い人に自分から話しかけることがありますか	1. はい：1点

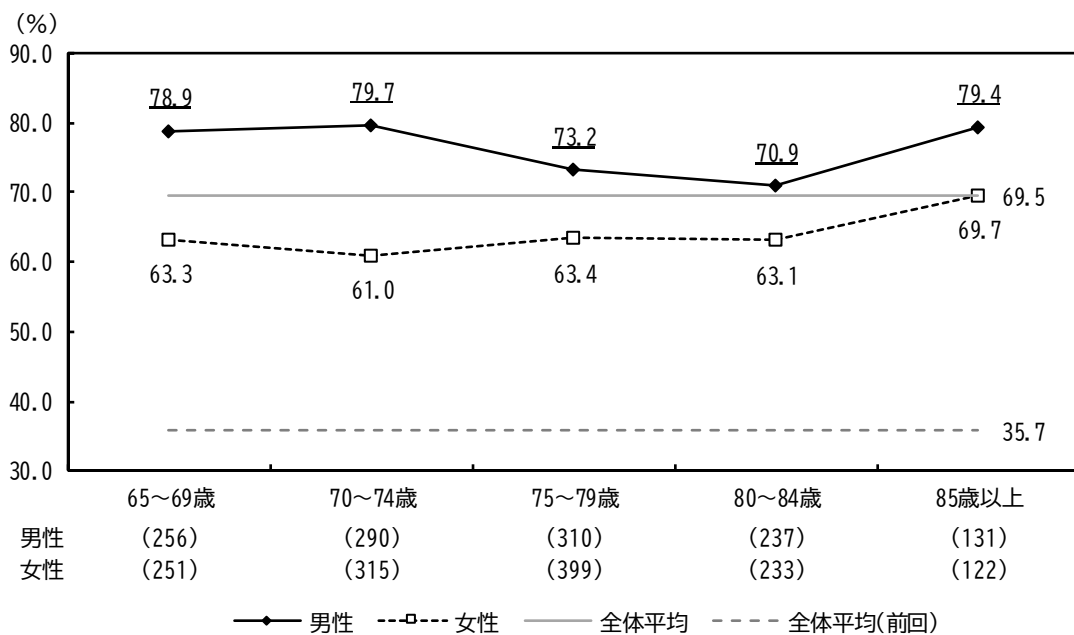
【リスク該当状況】

社会的役割の低下者は、全体平均では69.5%となっています。

前回結果と比較すると、33.8ポイント増加しています。

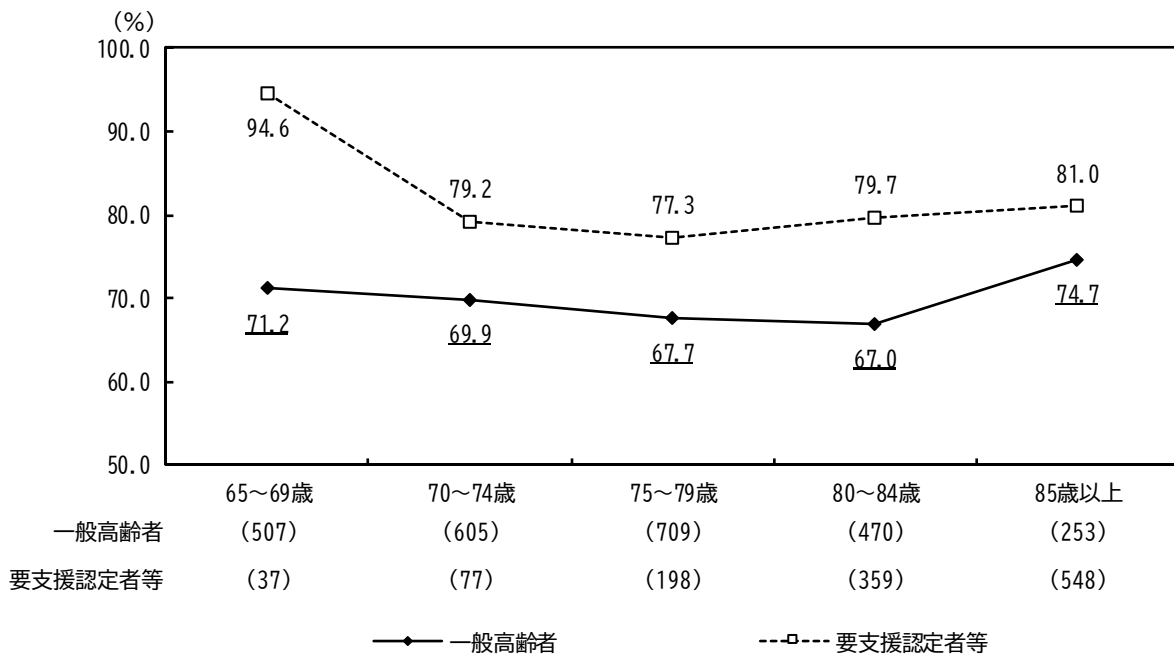
性別・年齢階級別にみると、女性では、85歳以上で69.7%と80～84歳に比べ6.6ポイント上昇しています。一方、男性では、すべての年代で女性に比べ該当者割合が高く、85歳以上で79.4%と80～84歳に比べ8.5ポイント上昇しています。

【性別・年齢階級別】



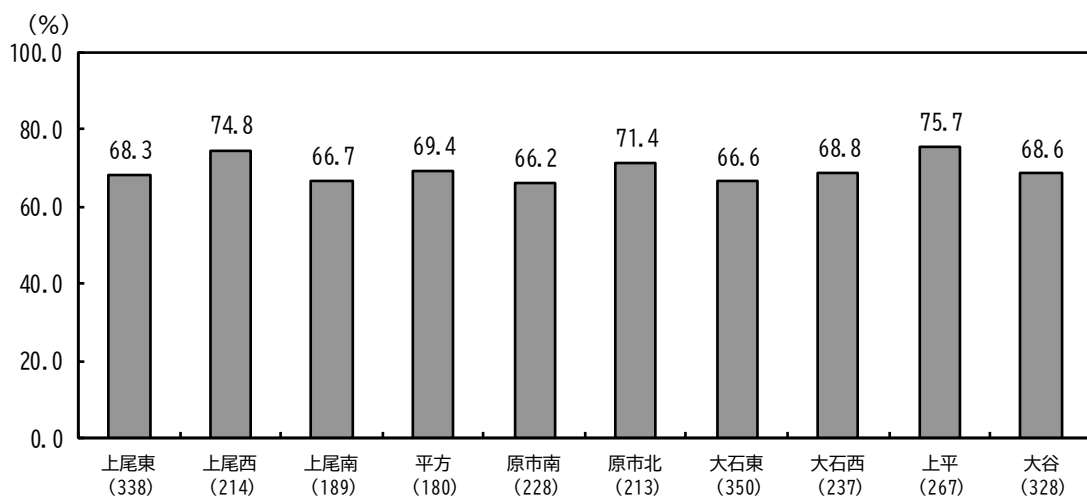
認定・該当状況別・年齢階級別にみると、一般高齢者に比べ、要支援認定者等ではすべての年代の割合が高くなっています。要支援認定者等でみると、65～69歳で94.6%と最も高くなっています。

【認定別・年齢階級別】



圏域別にみると、上尾西、原市北、上平で該当者割合が全体平均の69.5%を超えています。また、最も高い圏域は上平で75.7%、最も低い圏域は原市南で66.2%となっており、9.5ポイントの差となっています。

【圏域別】



※要支援認定者を除く

IV 調査結果（在宅介護実態調査）

IV 調査結果（在宅介護実態調査）

1 調査結果の概要

（1）在宅介護について

- 主な介護者の年齢をみると、「60代」以上が60.2%を占めており（「60代」24.0%、「70代」16.8%、「80歳以上」19.4%の合計）、そのうち「70代」以上は36.2%となっています。（B票問4）
- 過去1年間の間に家族等の介護を主な理由として介護のために仕事を辞めた家族・親族が「いる」と回答した割合は、合計で13.6%となっています（B票問1）
- 主な介護者の今後の就労の継続について、「問題なく、続けていける」（26.0%）と「問題はあがるが、何とか続けていける」（47.2%）を合わせた割合は73.2%となっています。（B票問10）
- 一方で、「続けていくのは、やや難しい」（7.3%）、「続けていくのは、かなり難しい」（5.7%）と回答した人も合計で13.0%存在しており、仕事と介護の両立に課題を抱える層が一定数うかがえます。（B票問10）

（2）認知症対策について

- 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等として、「認知症状への対応」の割合が20.4%となっています。（B票問6）

（3）介護サービスの利用状況について

- 令和7年11月の1か月間に、介護保険サービス（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外）を「利用していない」と回答した割合は34.4%となっています。（A票問5）
- 利用していない理由としては、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が49.8%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」（20.4%）、「家族が介護をするため必要ない」（10.4%）の順になっています。（A票問7）
- 介護保険制度をはじめとする各種制度やサービスについて、相談しやすいところは「ケアマネジャー」が62.1%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」（31.5%）、「かかりつけ医」（20.5%）、「市役所の窓口」（15.2%）となっています。（個別調査問15）
- 介護サービス計画（ケアプラン）については、65.1%が「満足している」と回答しています。（個別調査問7）
- 不満に思われる点については、「全体的にサービス量が少なすぎる」や「希望したサービスが含まれなかった」といった意見が挙げられています。（個別調査問7-1）
- 希望どおりには利用できていないサービスとしては、「通所介護（デイサービス）」と「短期入所生活介護（ショートステイ）」がそれぞれ18.8%と最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」（12.5%）となっています。（個別調査問12-1）
- 提供を受けているサービスに「満足していない」人が不満に思われる点としては、「サービス内容に比べ料金が安い」が36.4%と最も高く、次いで「職員の対応が悪い」、「希望どおりのサービスを受けられない」が共に18.2%となっています。（個別調査問14-2）

（４）災害時の行動について

- 災害が発生したときに、どんな避難行動をすればよいかについて、「よくわかる」と回答した割合は7.9%に留まっており、「ある程度わかる」（43.1%）を合わせても約半数となっています。（個別調査問19）
- 一方で「あまりわからない」（19.5%）や「全くわからない」（3.8%）といった回答もあり、有事の際の行動把握に不安が残る状況がうかがえます。（個別調査問19）

2 A票 調査対象者様ご本人について（国が示した調査項目）

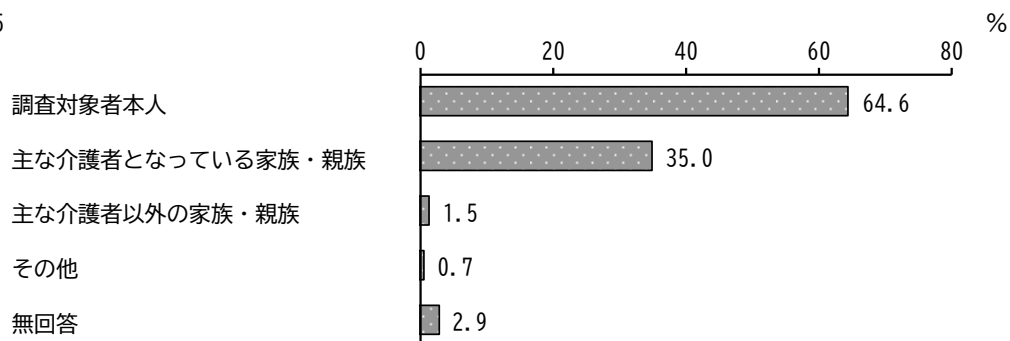
問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか
（あてはまるものすべてに回答）

「調査対象者本人」の割合が64.6%、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が35.0%、「主な介護者以外の家族・親族」の割合が1.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「主な介護者となっている家族・親族」の割合が5.7ポイント減少しています。

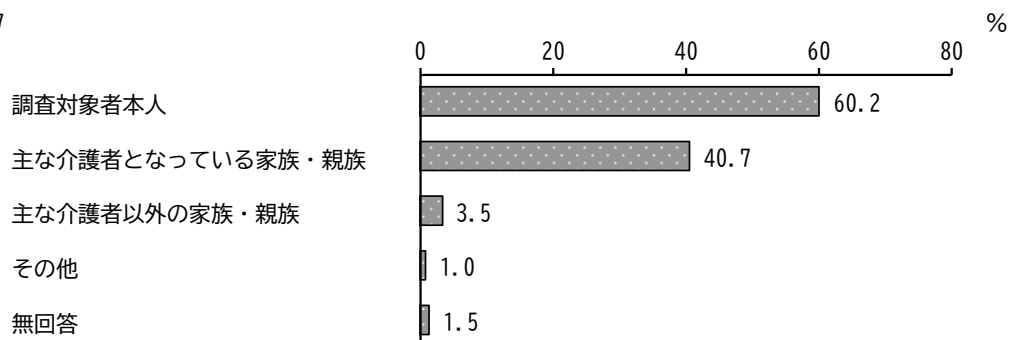
【令和7年度調査】

全体 n=585



【令和4年度調査】

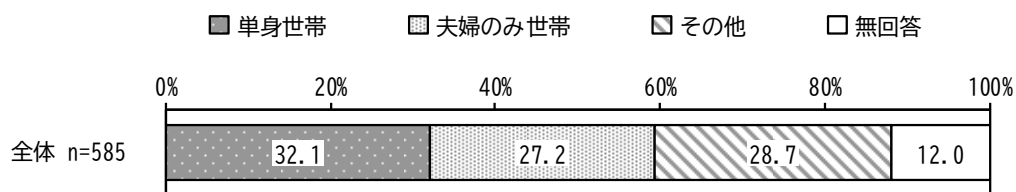
全体 n=927



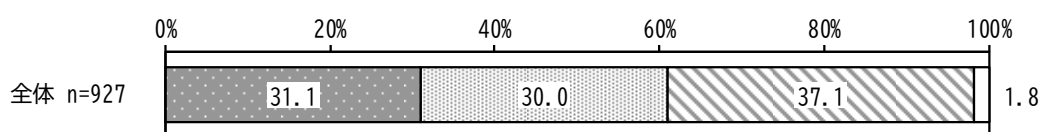
問2 世帯類型（家族構成）について、ご回答ください（回答は1つ）

「単身世帯」の割合が32.1%、「夫婦のみ世帯」の割合が27.2%となっています。

【令和7年度調査】



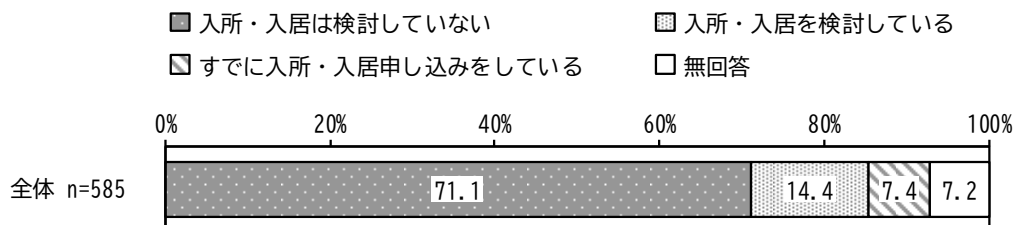
【令和4年度調査】



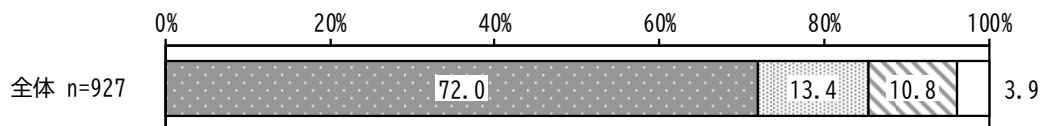
問3 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（回答は1つ）

「入所・入居は検討していない」の割合が71.1%、「入所・入居を検討している」の割合が14.4%、「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が7.4%となっています。

【令和7年度調査】



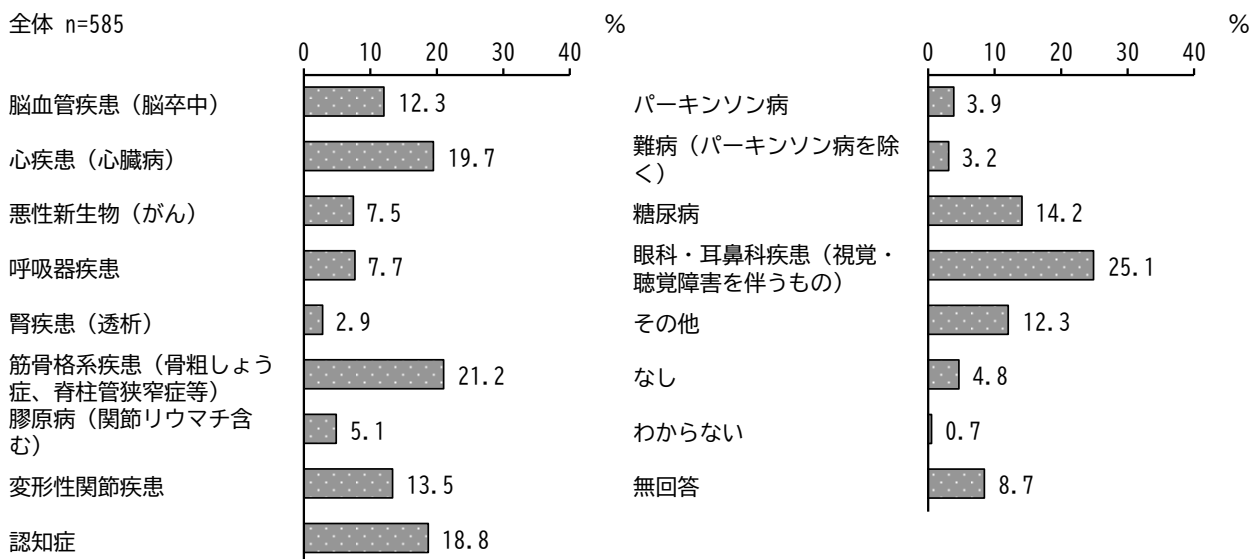
【令和4年度調査】



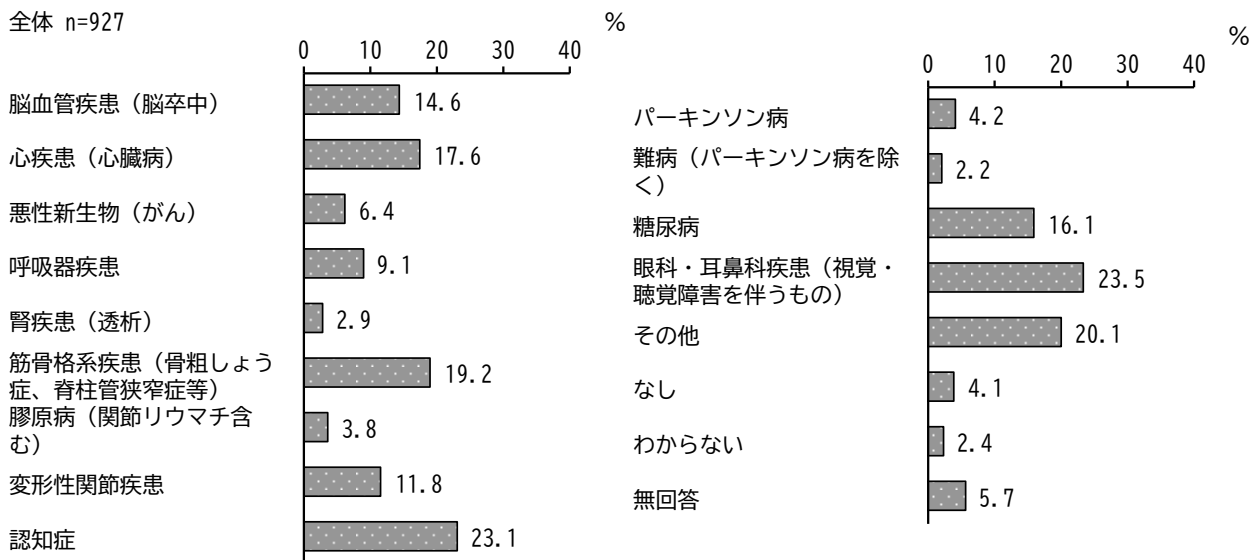
問4 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください
（あてはまるものすべてに回答）

「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が25.1%と最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」の割合が21.2%、「心疾患（心臓病）」の割合が19.7%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【要介護度別】

要介護度別にみると、要支援1から要介護3まで要介護度が上がるほど「心疾患（心臓病）」の割合が高い傾向にあります。また、要介護5で「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」の割合が高くなっています。

単位：％

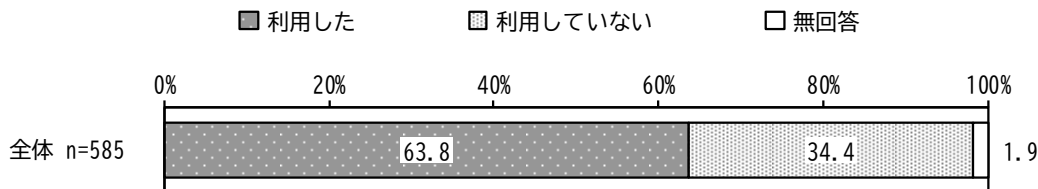
区分	回答者数 (件)	脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患
全体	585	12.3	19.7	7.5	7.7	2.9	21.2	5.1	13.5
要支援1	83	16.9	12.0	6.0	1.2	4.8	24.1	0.0	7.2
要支援2	85	7.1	21.2	10.6	7.1	3.5	27.1	9.4	12.9
要介護1	170	11.8	21.8	8.2	12.4	0.0	20.6	5.3	17.6
要介護2	111	10.8	21.6	9.9	6.3	3.6	18.0	6.3	13.5
要介護3	59	13.6	28.8	8.5	3.4	1.7	10.2	6.8	10.2
要介護4	44	13.6	13.6	0.0	15.9	6.8	25.0	4.5	11.4
要介護5	33	18.2	9.1	0.0	3.0	6.1	27.3	0.0	18.2

区分	認知症	パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答
全体	18.8	3.9	3.2	14.2	25.1	12.3	4.8	0.7	8.7
要支援1	16.9	4.8	2.4	13.3	24.1	14.5	3.6	1.2	10.8
要支援2	12.9	5.9	8.2	12.9	25.9	7.1	4.7	2.4	8.2
要介護1	21.2	2.9	0.6	14.1	25.3	10.6	4.1	0.6	10.0
要介護2	17.1	5.4	3.6	16.2	24.3	16.2	6.3	0.0	5.4
要介護3	25.4	1.7	1.7	18.6	15.3	11.9	3.4	0.0	6.8
要介護4	20.5	2.3	6.8	9.1	29.5	18.2	2.3	0.0	9.1
要介護5	18.2	3.0	3.0	12.1	39.4	9.1	12.1	0.0	12.1

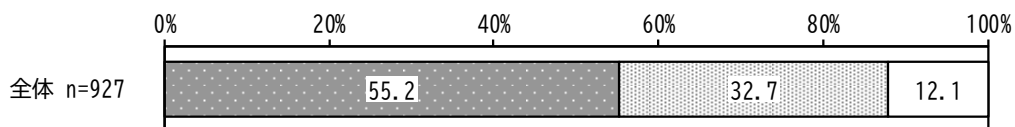
問5 令和7年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（回答は1つ）

「利用した」の割合が63.8%、「利用していない」の割合が34.4%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「利用した」の割合が8.6ポイント増加しています。

【令和7年度調査】

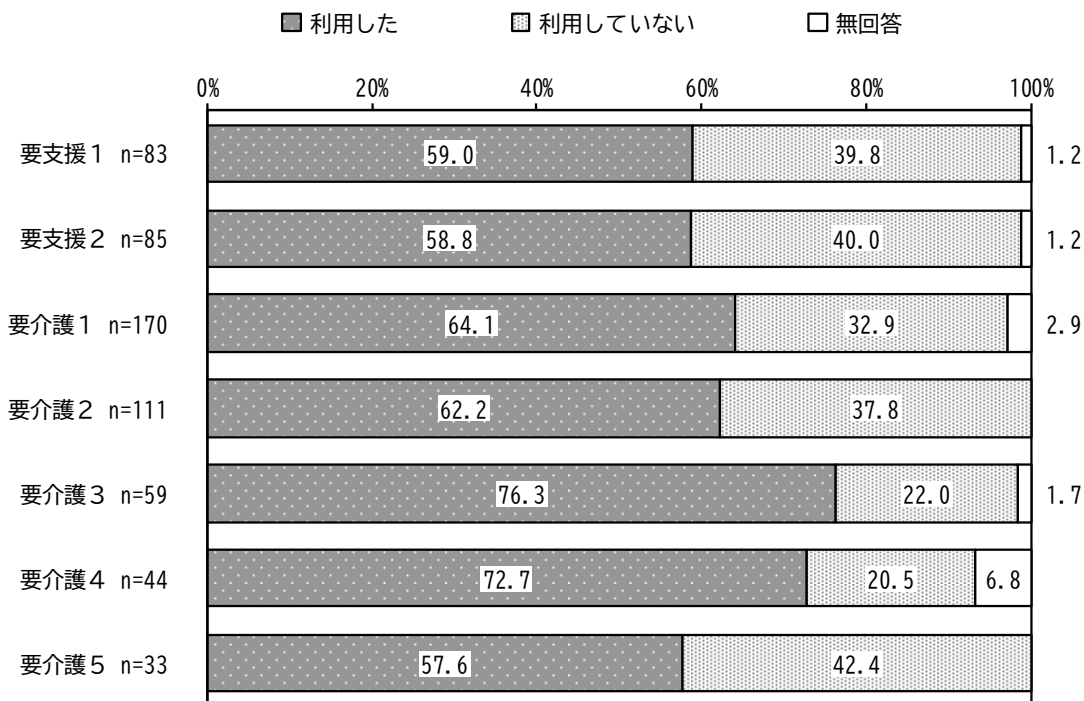


【令和4年度調査】



【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護3で「利用した」の割合が高くなっています。



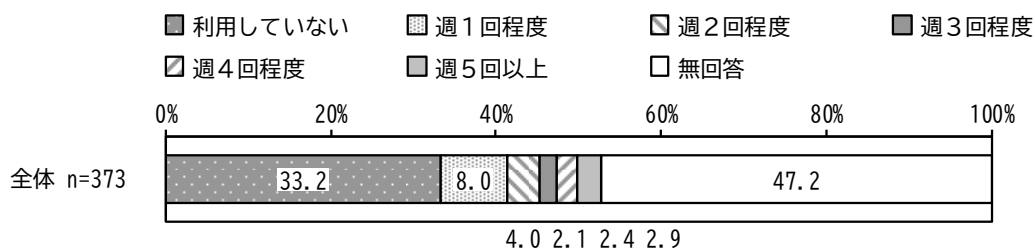
【問5で「利用した」の方のみ】

問6 以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない」を選択してください（それぞれ回答は1つ）

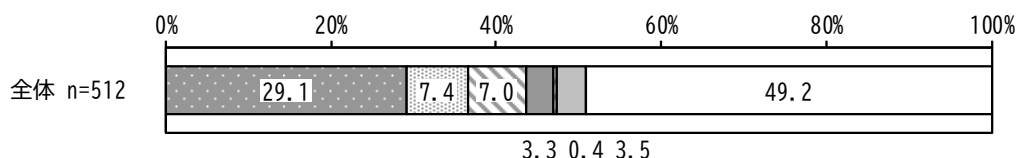
A. 訪問介護（ホームヘルプ）1週間あたりの利用回数（それぞれ回答は1つ）

「利用していない」の割合が33.2%と最も高くなっています。

【令和7年度調査】

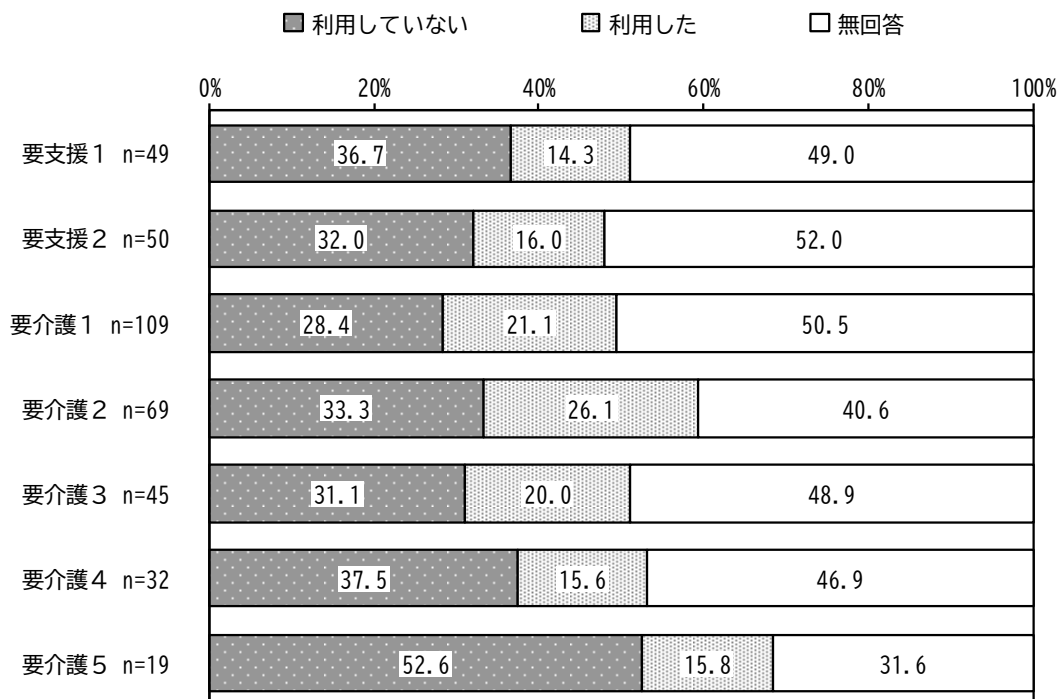


【令和4年度調査】



【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護1から要介護5まで要介護度が上がるほど「利用していない」の割合が高い傾向にあります。

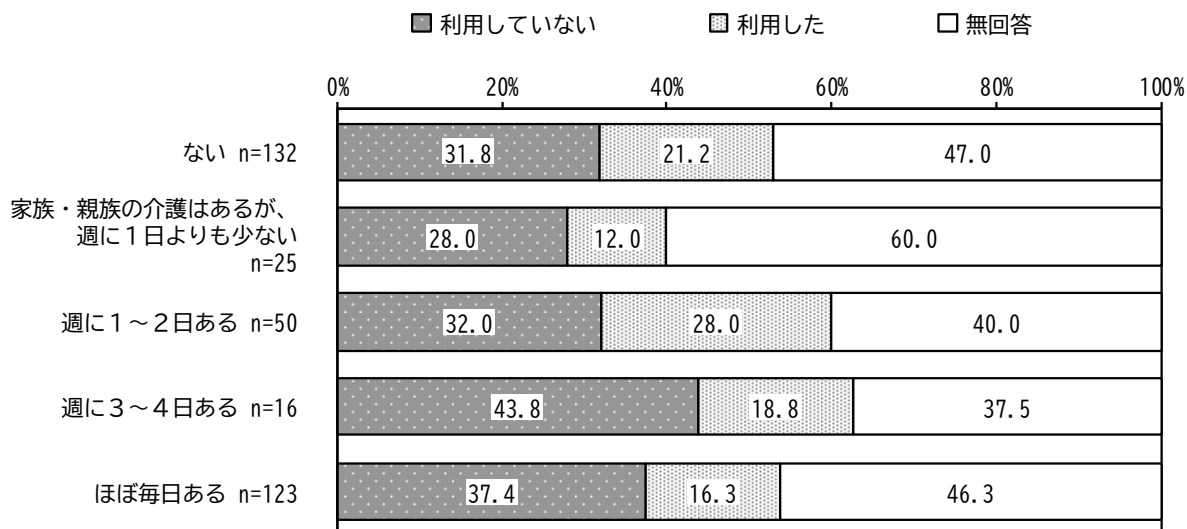


※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

IV 調査結果（在宅介護実態調査）

【家族・親族による介護の日数別】

家族・親族による介護の日数別にみると、週に3～4日あるで「利用していない」の割合が高くなっています。

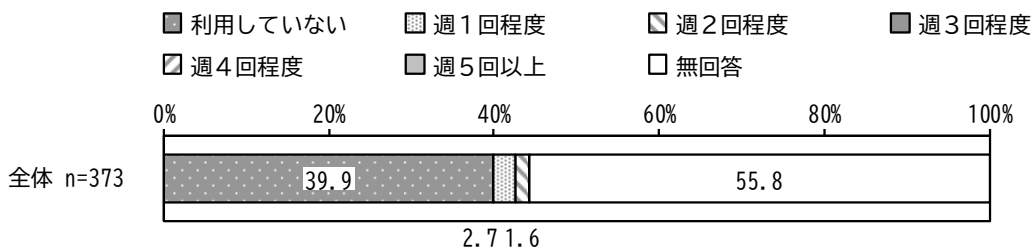


※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

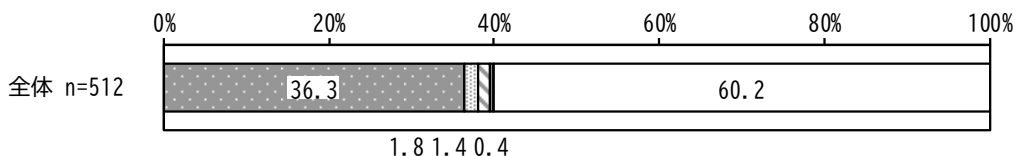
B. 訪問入浴 1週間あたりの利用回数（それぞれ回答は1つ）

「利用していない」の割合が39.9%と最も高くなっています。

【令和7年度調査】

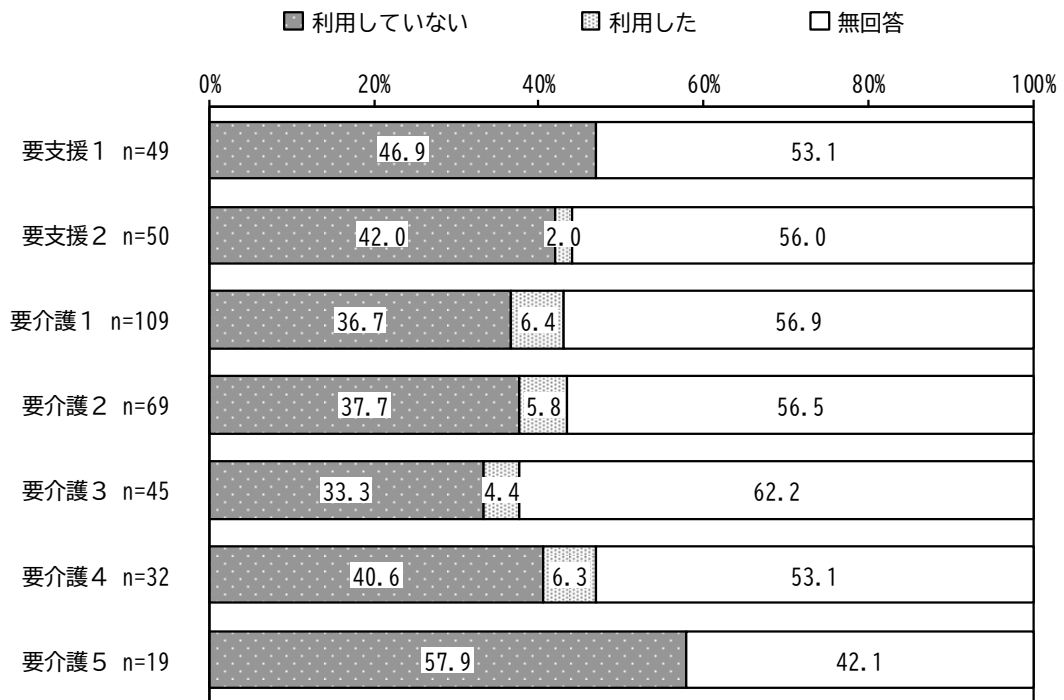


【令和4年度調査】



【要介護度別】

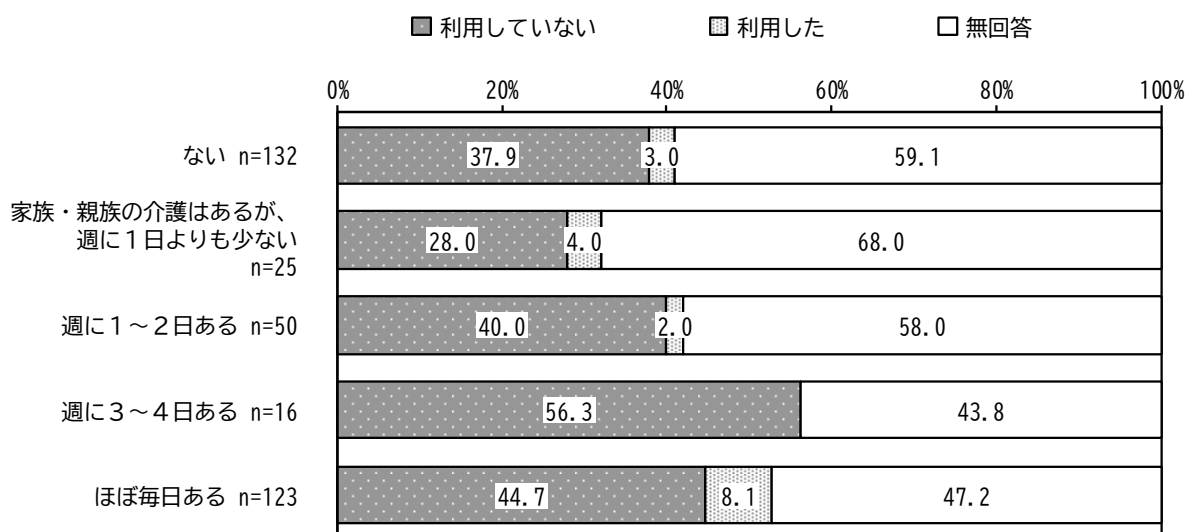
要介護度別にみると、要介護3から要支援1まで要介護度が下がるほど「利用していない」の割合が高い傾向にあります。



※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

【家族・親族による介護の日数別】

家族・親族による介護の日数別にみると、週に3～4日あるで「利用していない」の割合が高くなっています。

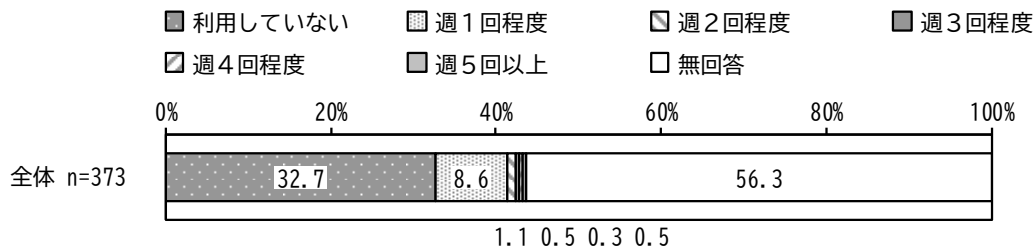


※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

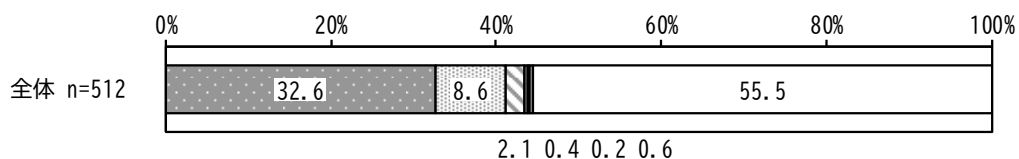
C. 訪問看護 1週間あたりの利用回数（それぞれ回答は1つ）

「利用していない」の割合が32.7%と最も高くなっています。

【令和7年度調査】

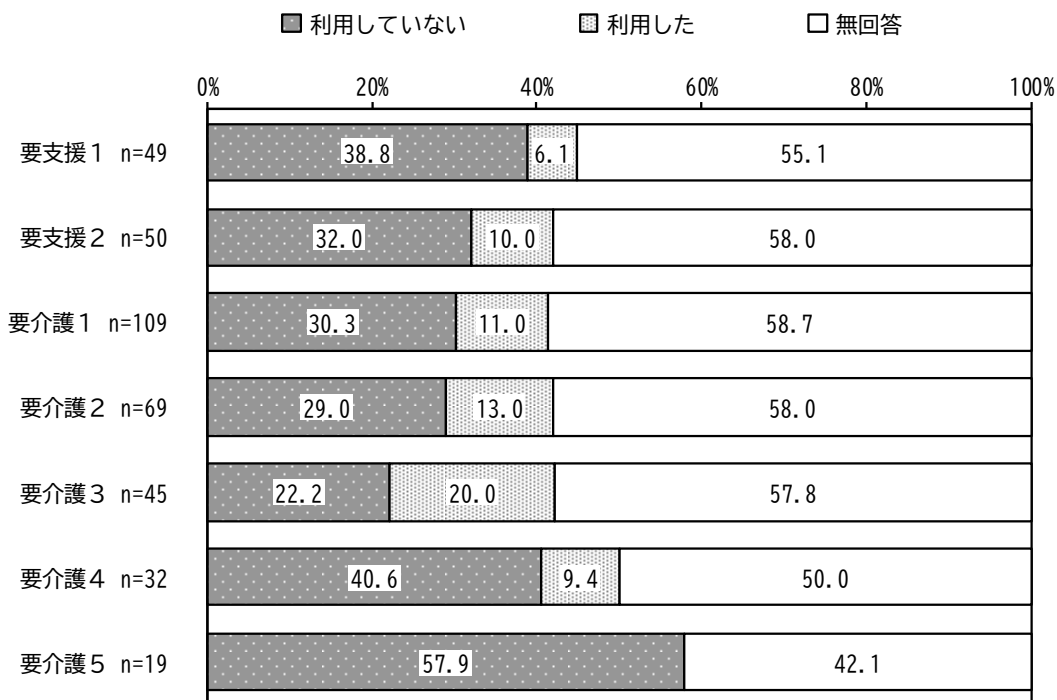


【令和4年度調査】



【要介護度別】

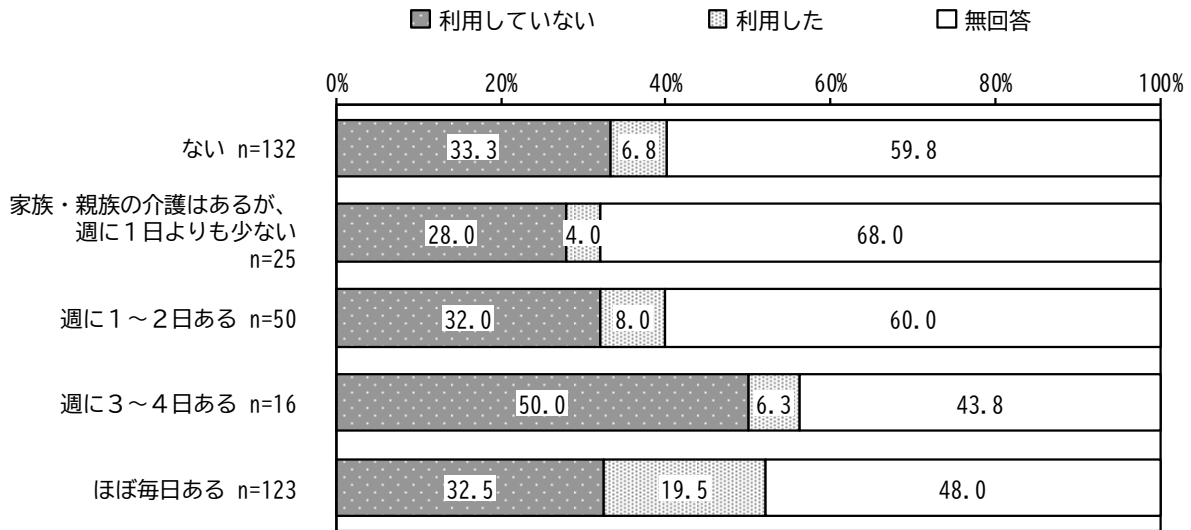
要介護度別にみると、要支援1から要介護3まで要介護度が上がるほど「利用した」の割合が高くなっています。



※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

【家族・親族による介護の日数別】

家族・親族による介護の日数別にみると、週に3～4日あるで「利用していない」の割合が高くなっています。

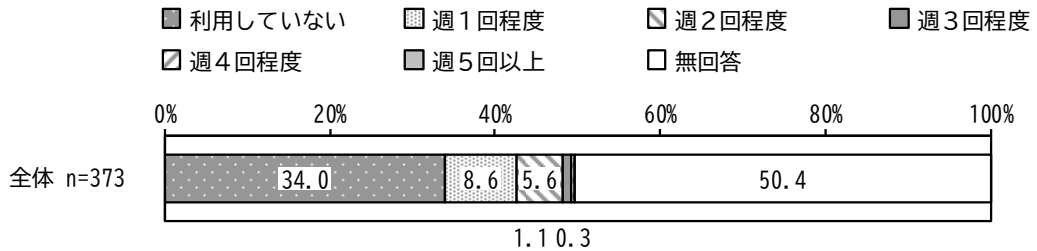


※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

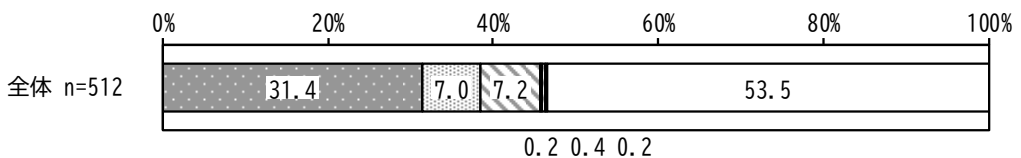
D. 訪問リハビリテーション 1週間あたりの利用回数（それぞれ回答は1つ）

「利用していない」の割合が34.0%と最も高くなっています。

【令和7年度調査】



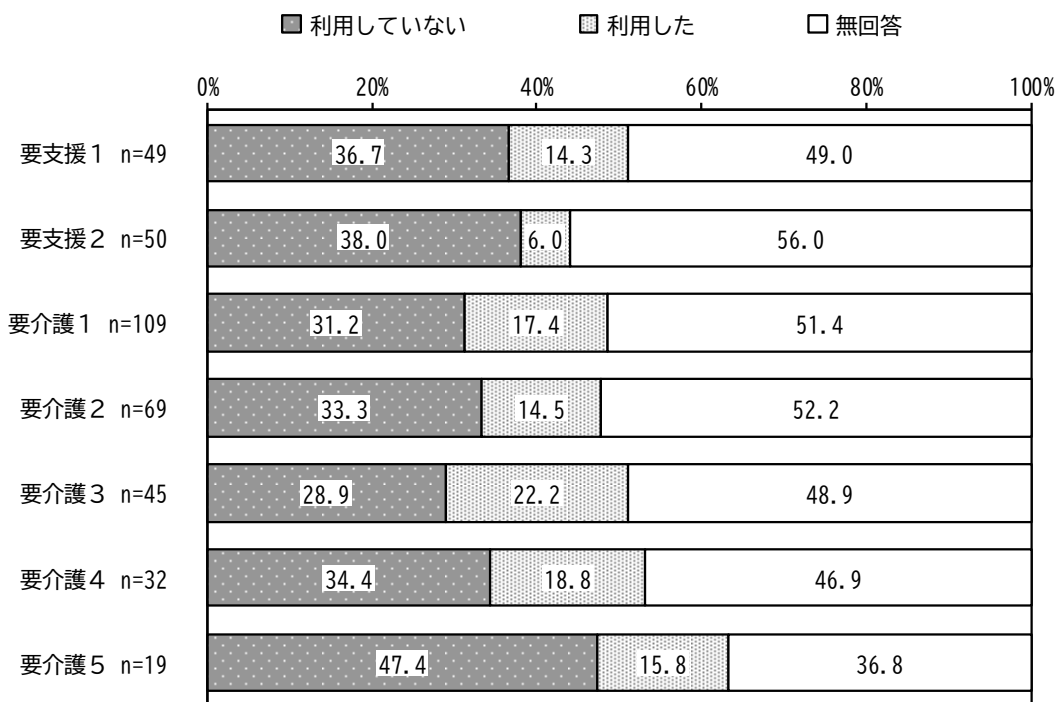
【令和4年度調査】



IV 調査結果（在宅介護実態調査）

【要介護度別】

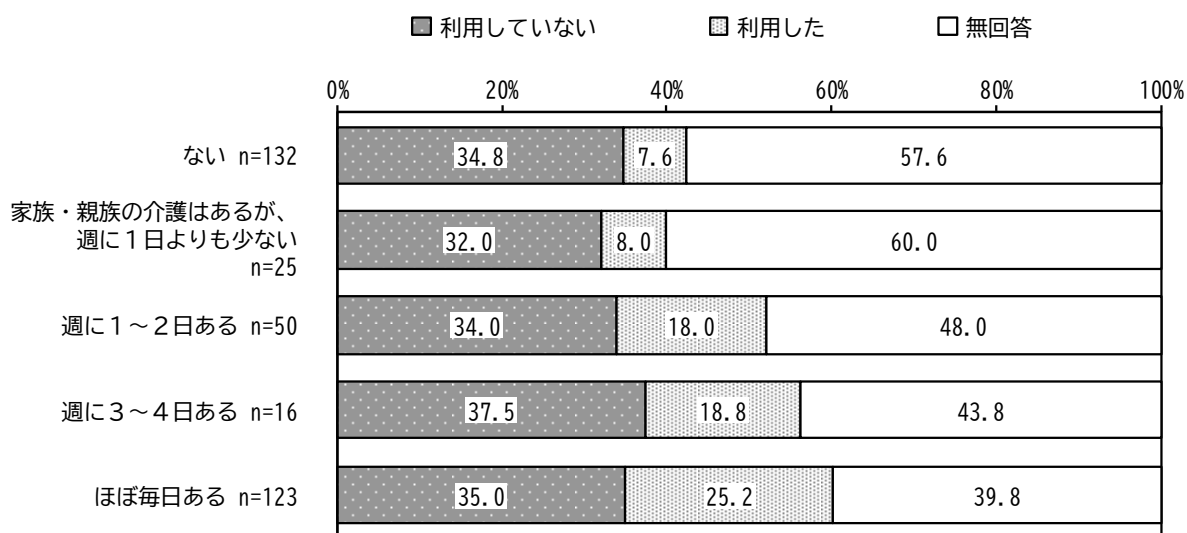
要介護度別にみると、要介護5で「利用していない」の割合が高くなっています。



※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

【家族・親族による介護の日数別】

家族・親族による介護の日数別にみると、ほぼ毎日あるで「利用した」の割合が高くなっています。

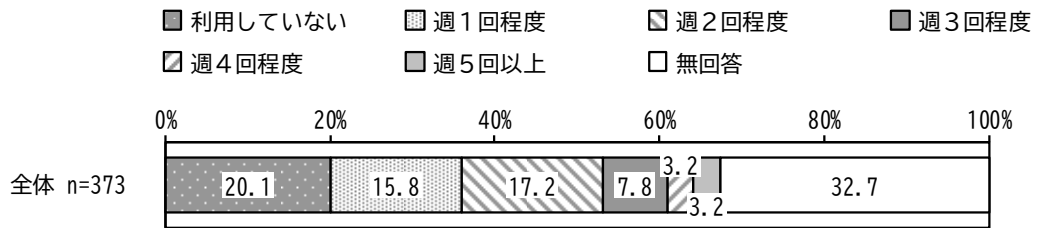


※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

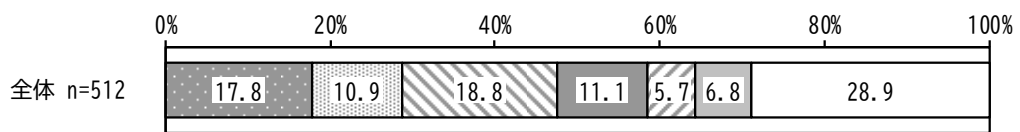
E. 通所介護（デイサービス） 1週間あたりの利用回数（それぞれ回答は1つ）

「利用していない」の割合が20.1%と最も高く、次いで「週2回程度」の割合が17.2%、「週1回程度」の割合が15.8%となっています。

【令和7年度調査】

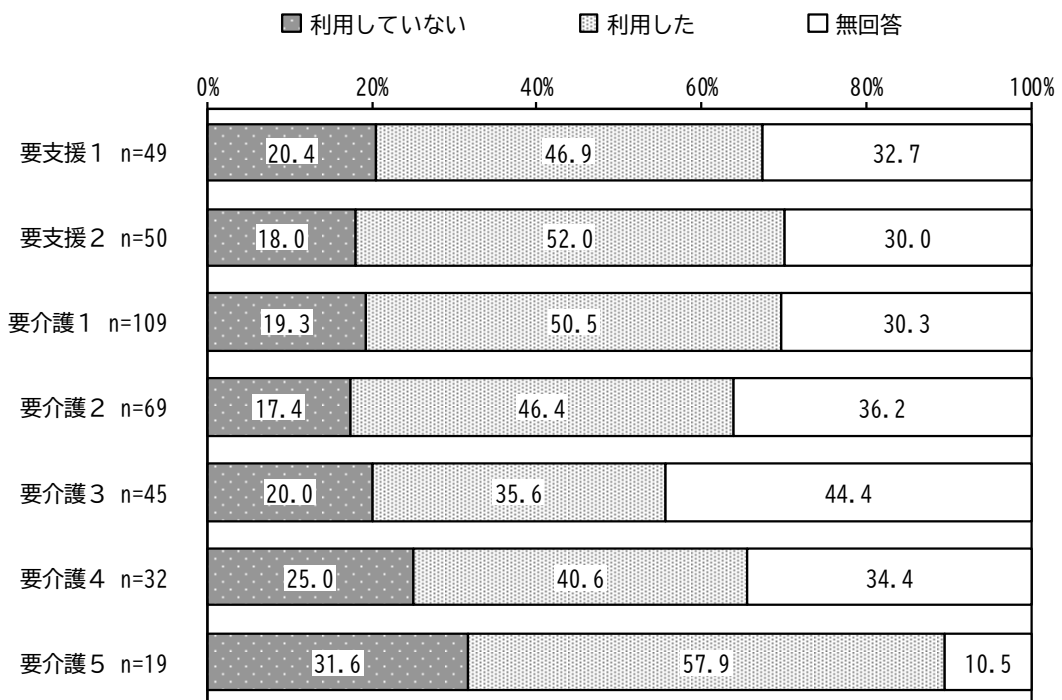


【令和4年度調査】



【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護5で「利用した」の割合が高くなっています。

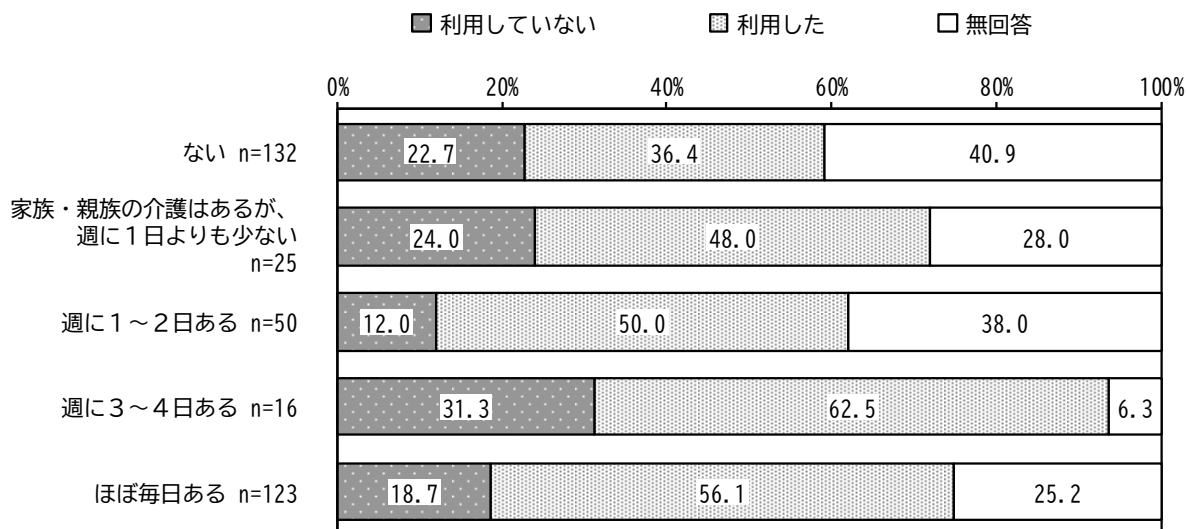


※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

IV 調査結果（在宅介護実態調査）

【家族・親族による介護の日数別】

家族・親族による介護の日数別にみると、週に3～4日あるで「利用していない」「利用した」の割合が高くなっています。

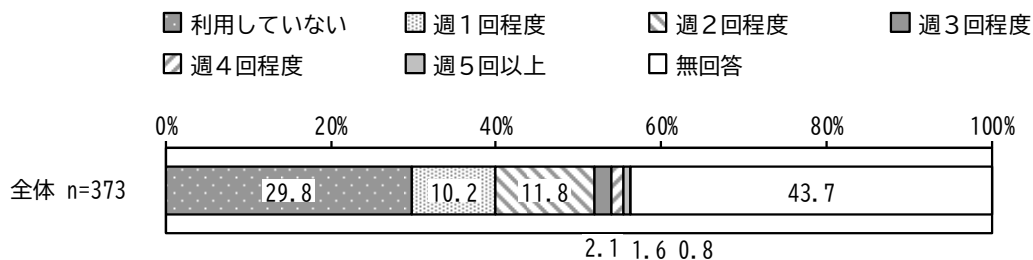


※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

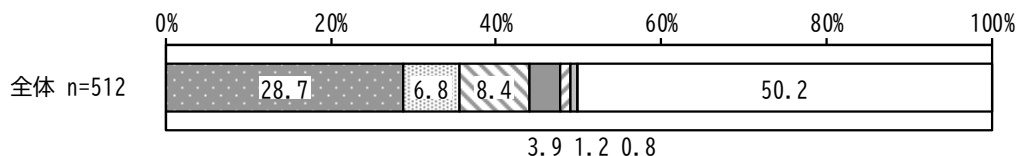
F. 通所リハビリテーション（デイケア） 1週間あたりの利用回数（それぞれ回答は1つ）

「利用していない」の割合が29.8%と最も高く、次いで「週2回程度」の割合が11.8%、「週1回程度」の割合が10.2%となっています。

【令和7年度調査】

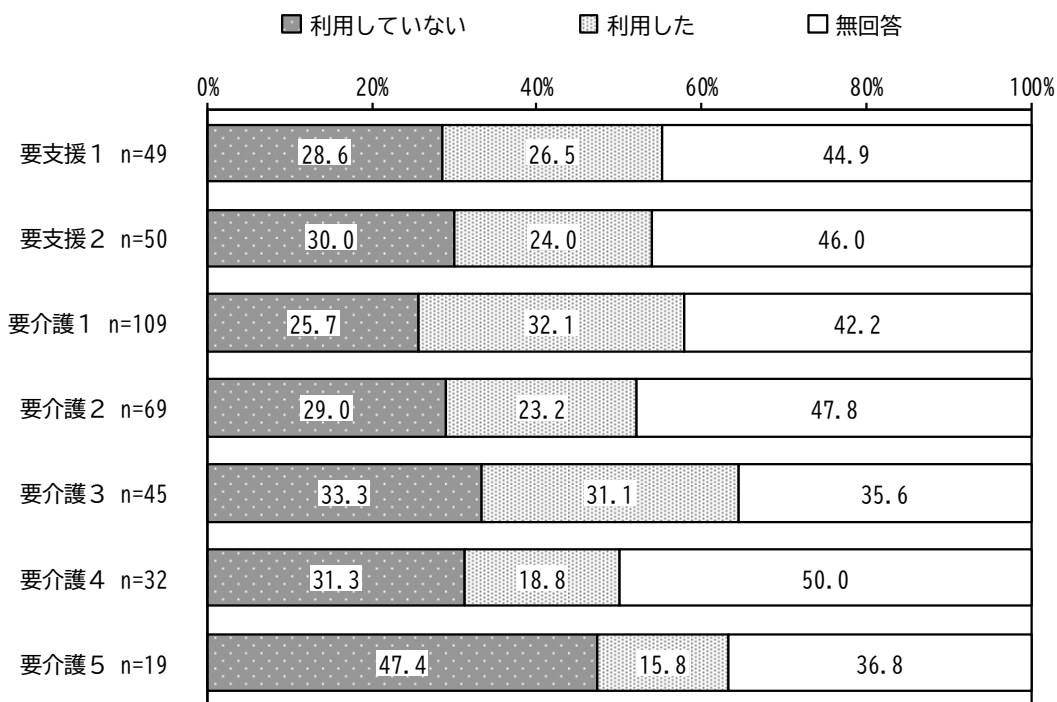


【令和4年度調査】



【要介護度別】

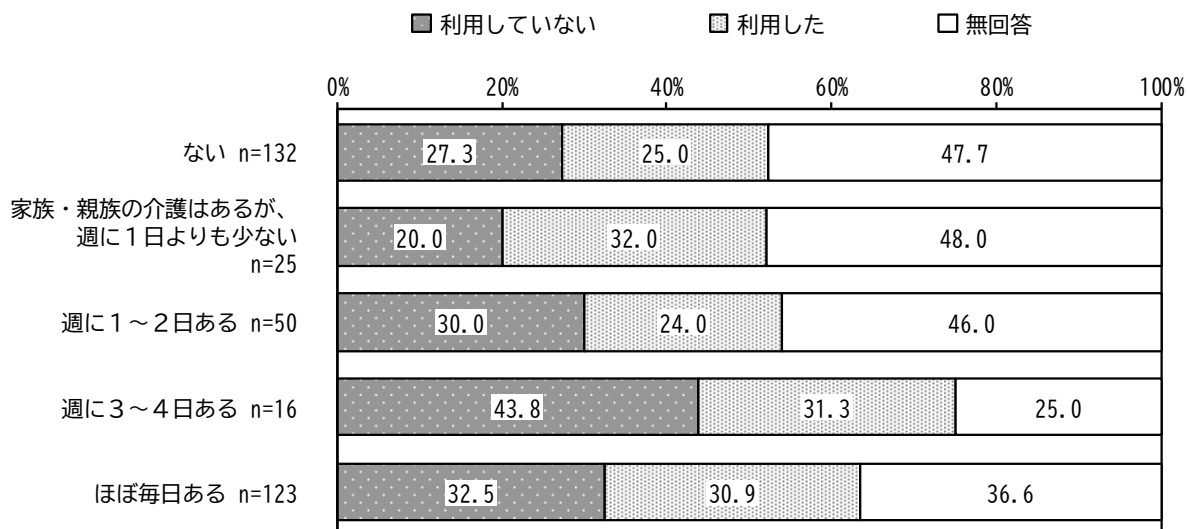
要介護度別にみると、要介護5で「利用していない」の割合が高くなっています。



※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

【家族・親族による介護の日数別】

家族・親族による介護の日数別にみると、週に3～4日あるで「利用していない」の割合が高くなっています。

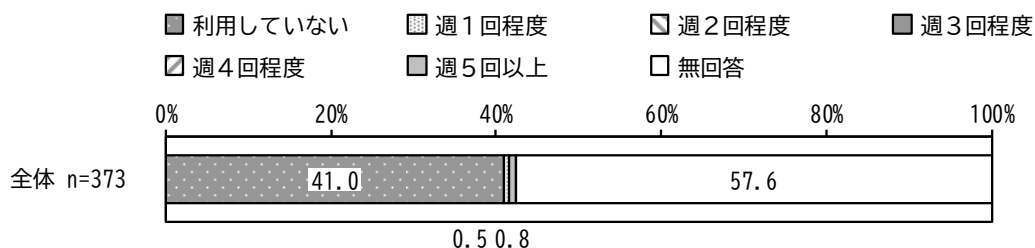


※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

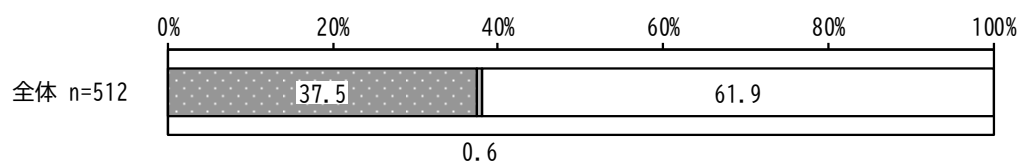
G. 夜間対応型訪問介護 1週間あたりの利用回数（それぞれ回答は1つ）

「利用していない」の割合が41.0%と最も高くなっています。

【令和7年度調査】

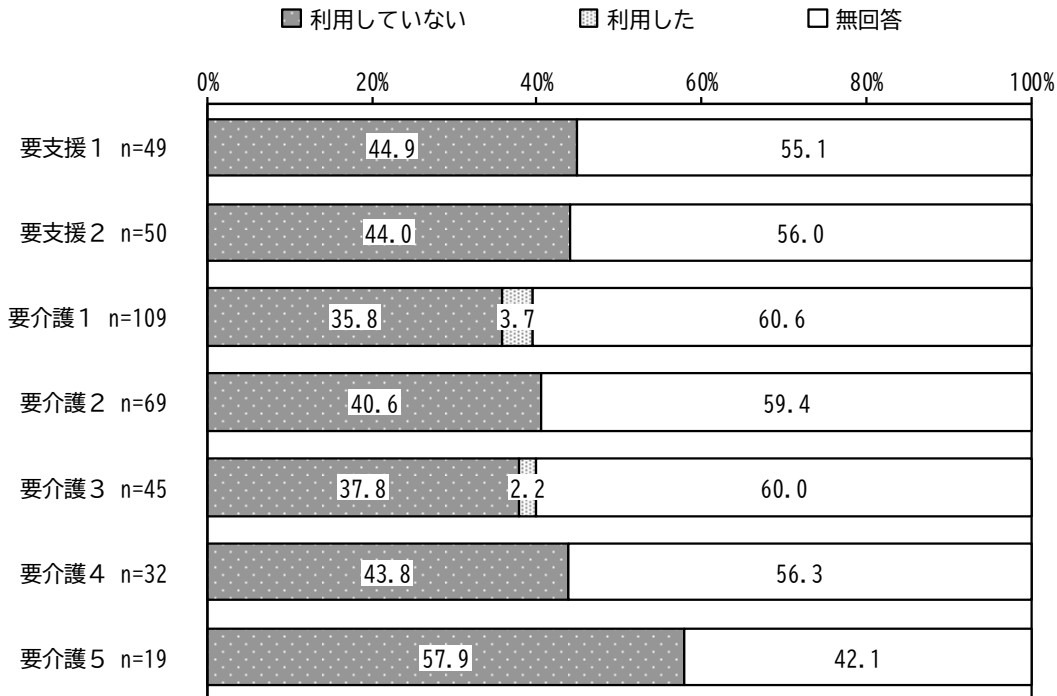


【令和4年度調査】



【要介護度別】

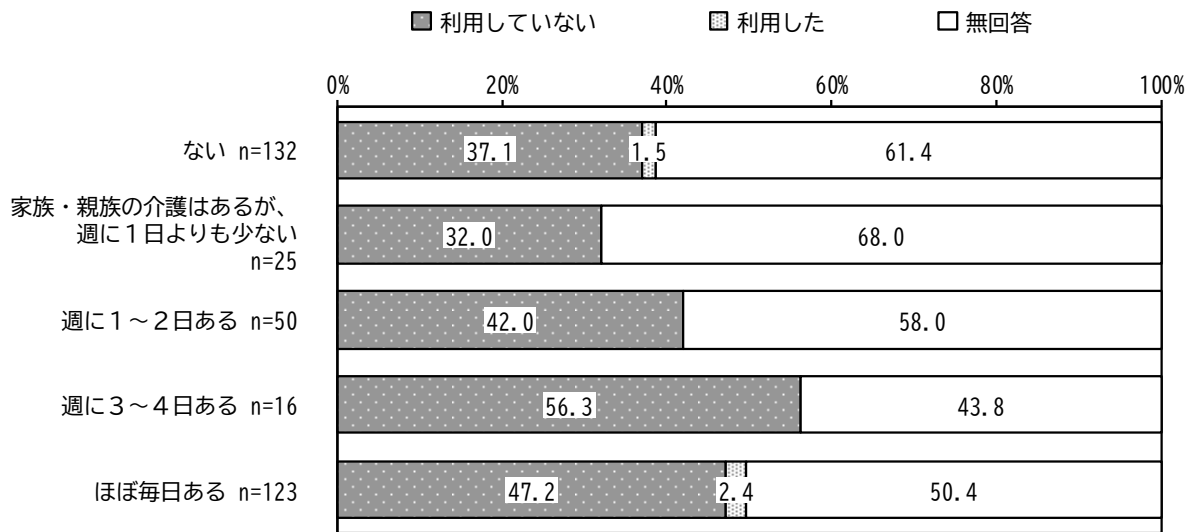
要介護度別にみると、要介護1から要介護5まで要介護度が上がるほど「利用していない」の割合が高い傾向にあります。



※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

【家族・親族による介護の日数別】

家族・親族による介護の日数別にみると、週に3～4日あるで「利用していない」の割合が高くなっています。

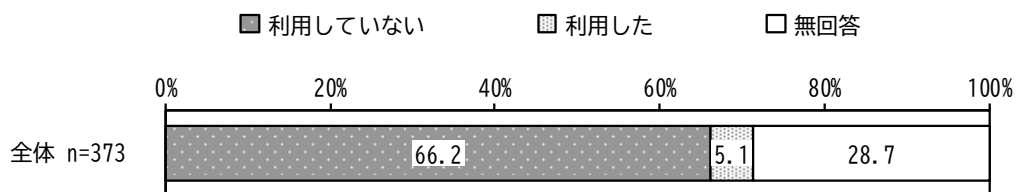


※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

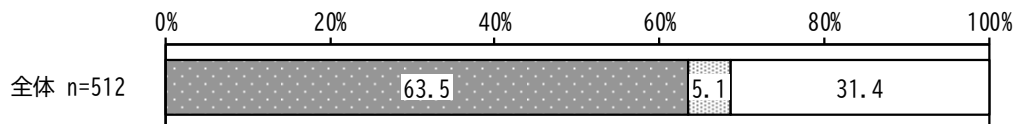
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 利用の有無（それぞれ回答は1つ）

「利用していない」の割合が66.2%、「利用した」の割合が5.1%となっています。

【令和7年度調査】

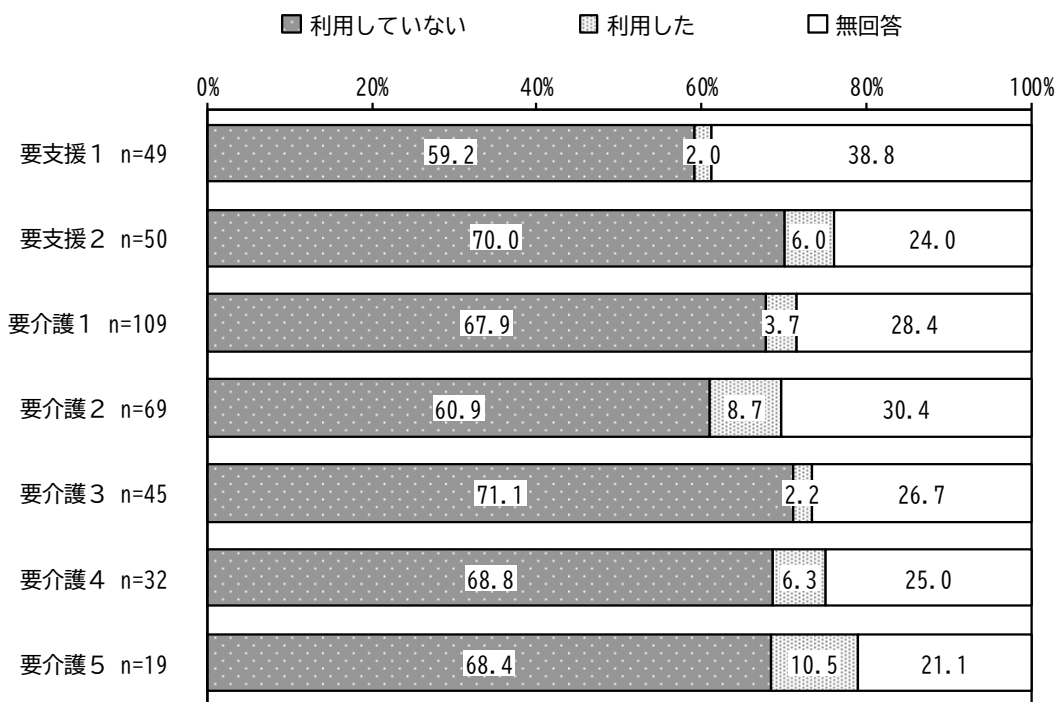


【令和4年度調査】



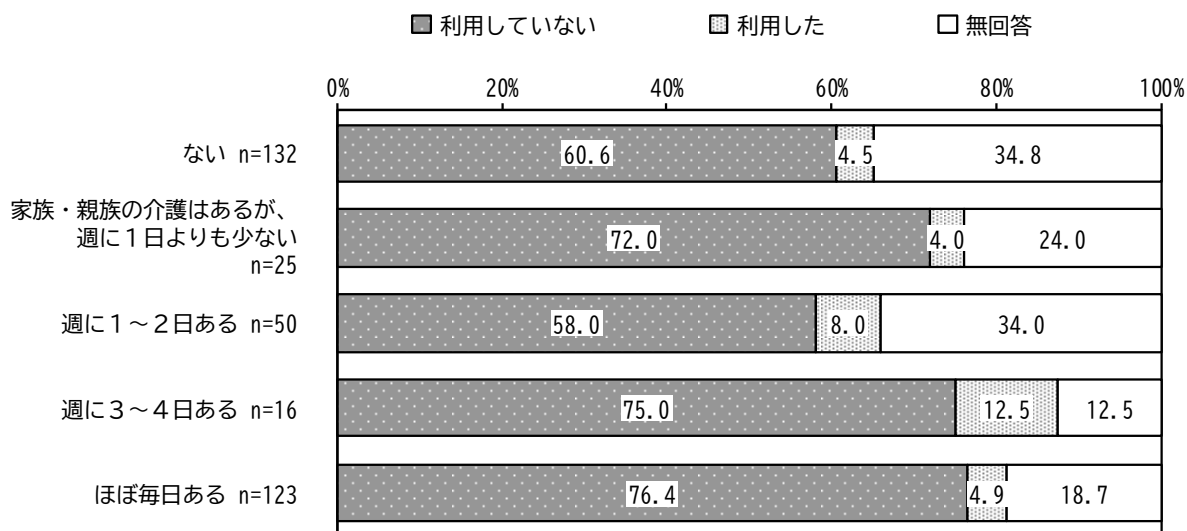
【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護5で「利用した」の割合が高くなっています。



【家族・親族による介護の日数別】

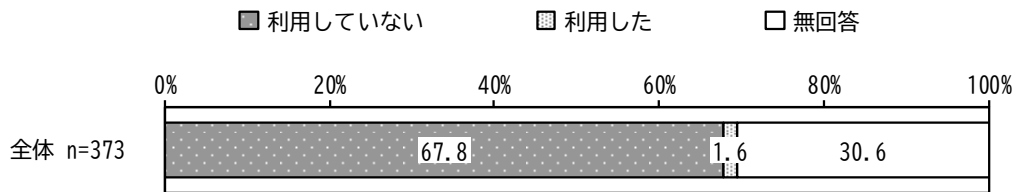
家族・親族による介護の日数別にみると、ほぼ毎日あるで「利用していない」の割合が高くなっています。



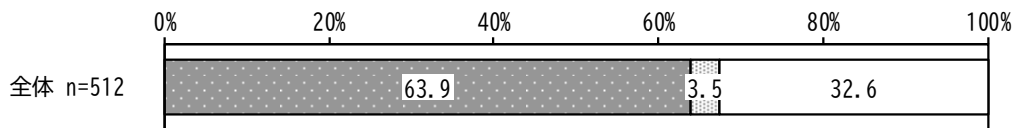
I. 小規模多機能型居宅介護 利用の有無（それぞれ回答は1つ）

「利用していない」の割合が67.8%、「利用した」の割合が1.6%となっています。

【令和7年度調査】

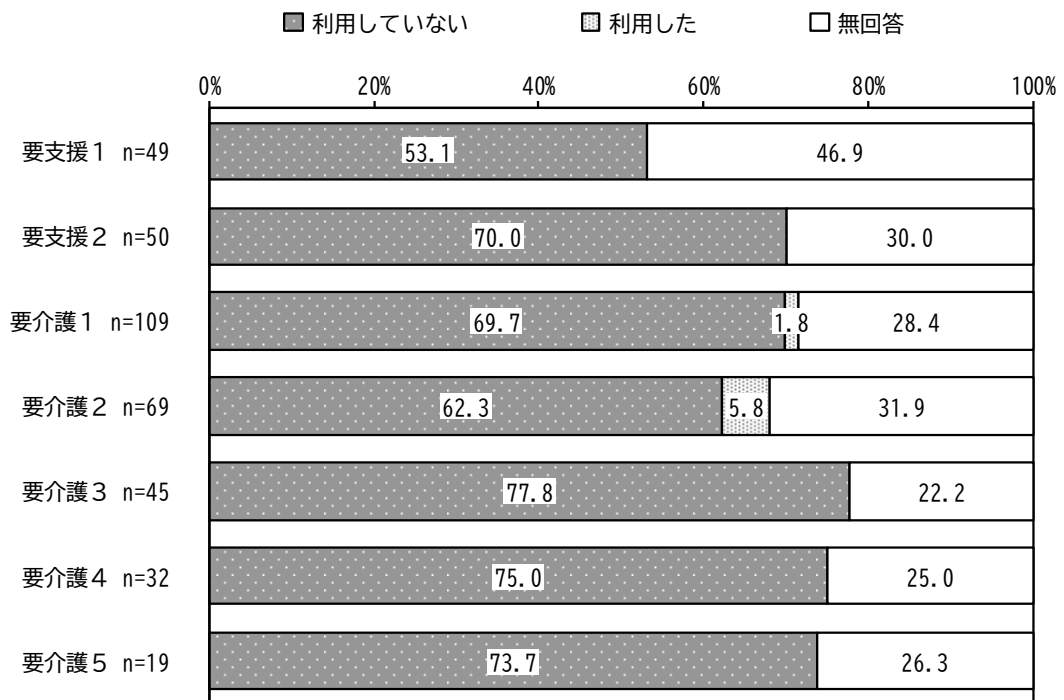


【令和4年度調査】



【要介護度別】

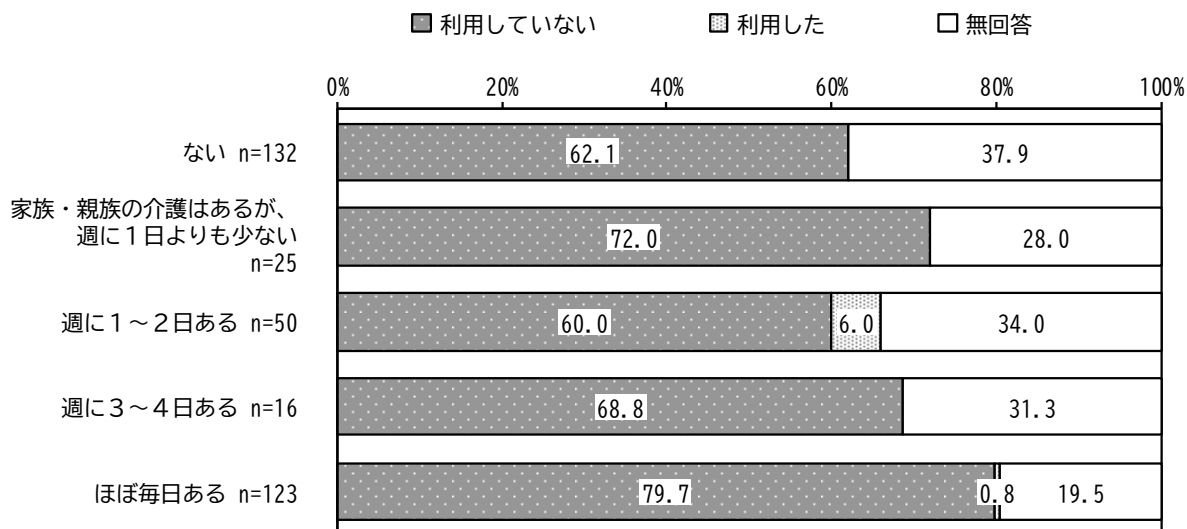
要介護度別にみると、要介護3で「利用していない」の割合が高くなっています。



IV 調査結果（在宅介護実態調査）

【家族・親族による介護の日数別】

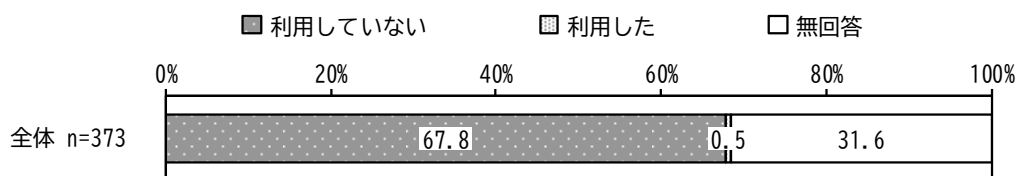
家族・親族による介護の日数別にみると、ほぼ毎日あるで「利用していない」の割合が高くなっています。



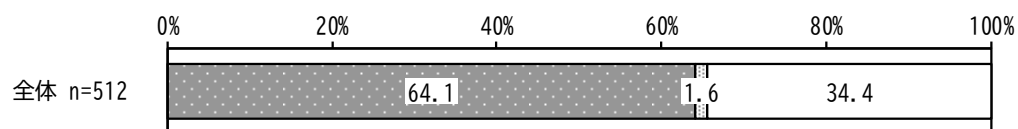
J. 看護小規模多機能型居宅介護 利用の有無（それぞれ回答は1つ）

「利用していない」の割合が67.8%、「利用した」の割合が0.5%となっています。

【令和7年度調査】

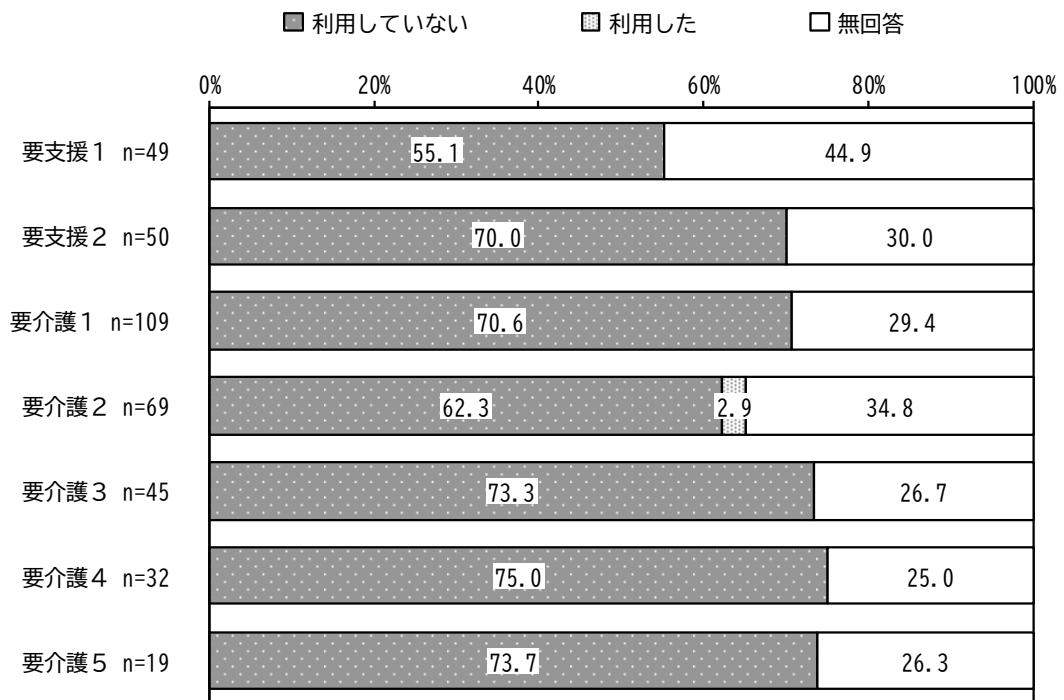


【令和4年度調査】



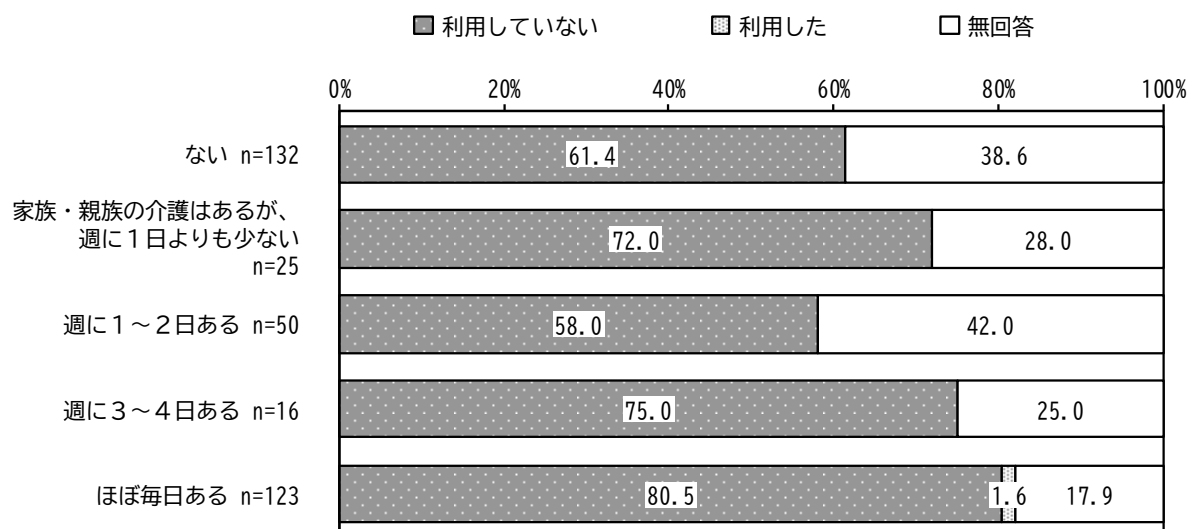
【要介護度別】

要介護度別にみると、要支援1で「利用していない」の割合が低くなっています。



【家族・親族による介護の日数別】

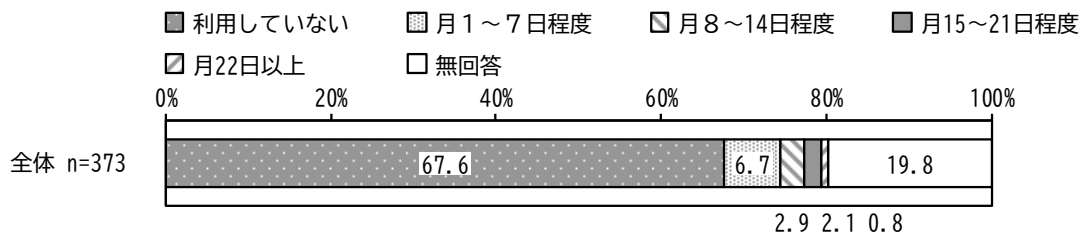
家族・親族による介護の日数別にみると、ほぼ毎日あるで「利用していない」の割合が高くなっています。



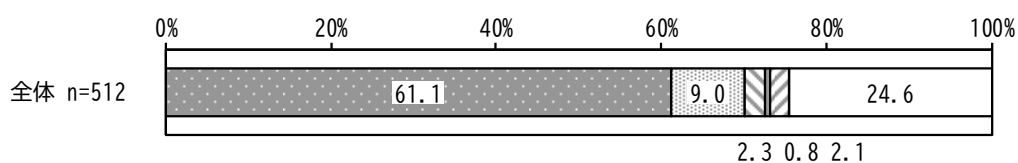
K. ショートステイ 1か月あたりの利用日数（回答は1つ）

「利用していない」の割合が67.6%と最も高くなっています。
 令和4年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が6.5ポイント増加しています。

【令和7年度調査】

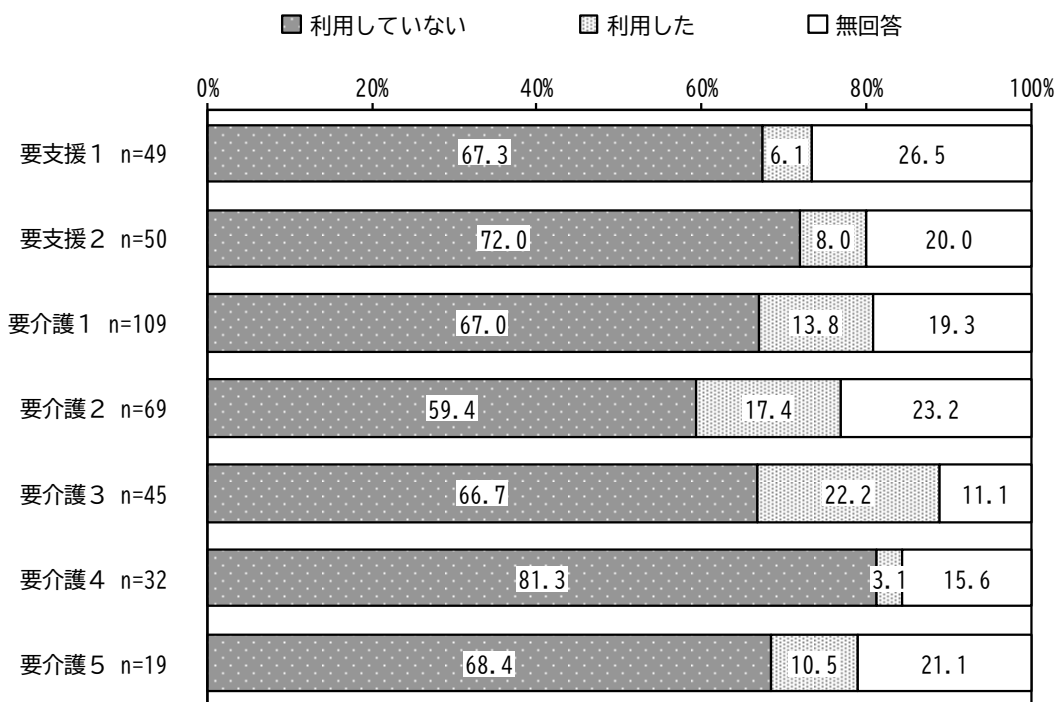


【令和4年度調査】



【要介護度別】

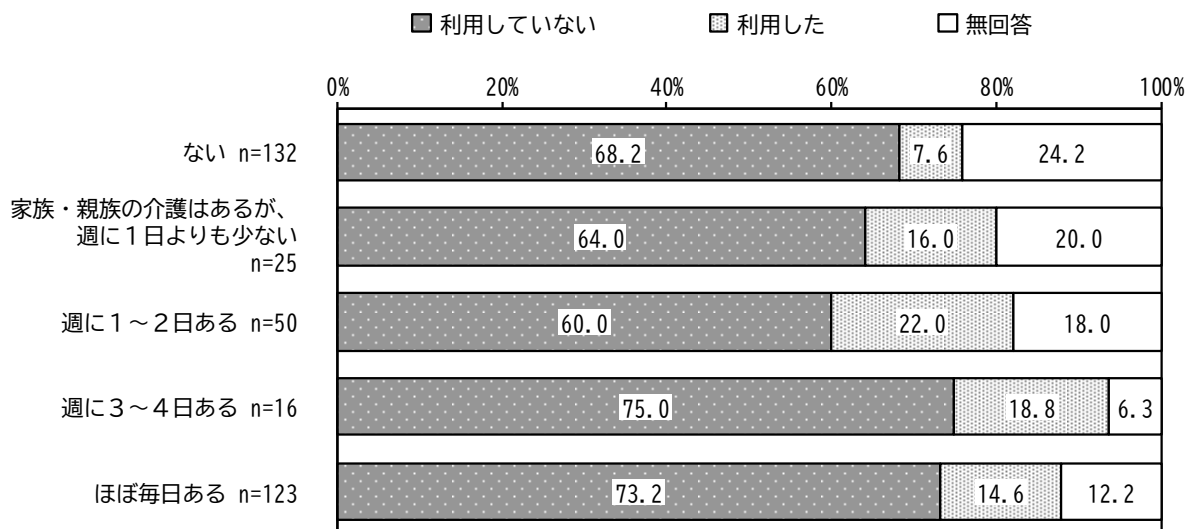
要介護度別にみると、要支援1から要介護3まで要介護度が上がるほど「利用した」の割合が高くなっています。



※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

【家族・親族による介護の日数別】

家族・親族による介護の日数別にみると、週に3～4日ある、ほぼ毎日あるで「利用していない」、週に1～2日あるで「利用した」の割合が高くなっています。



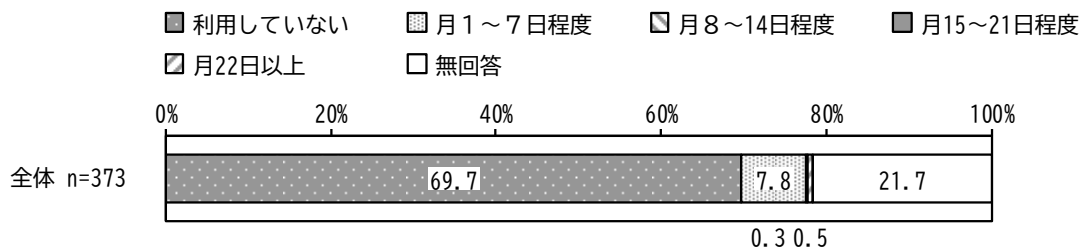
※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

L. 居宅療養管理指導 1か月あたりの利用日数（回答は1つ）

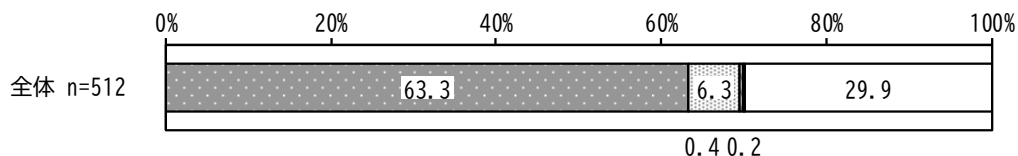
「利用していない」の割合が69.7%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が6.4ポイント増加しています。

【令和7年度調査】

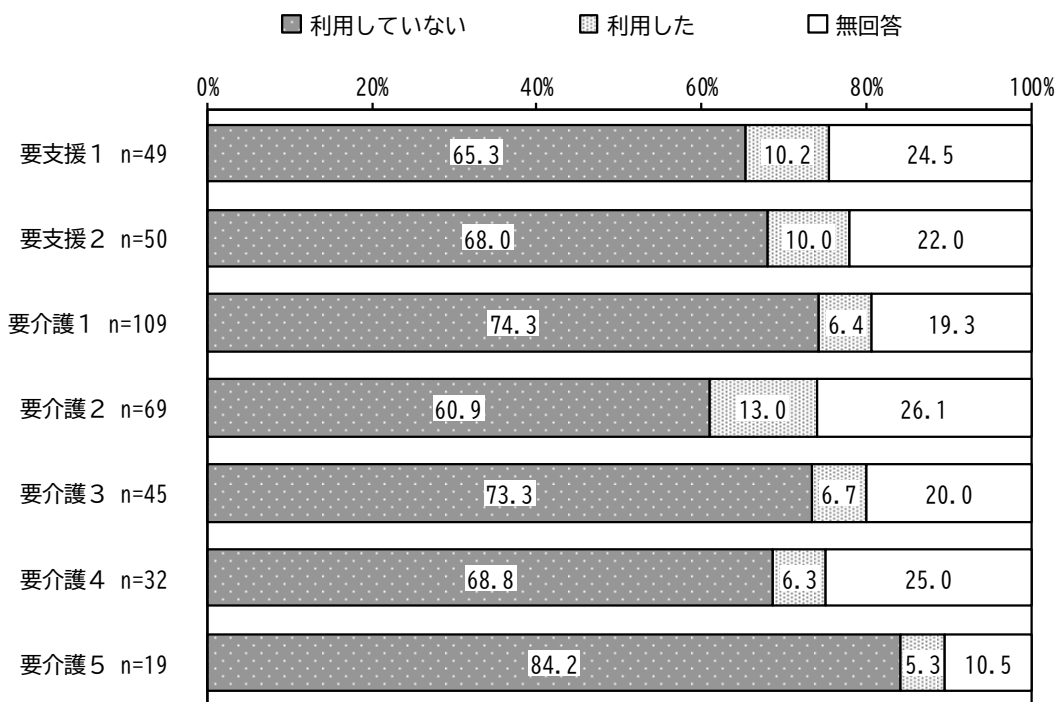


【令和4年度調査】



【要介護度別】

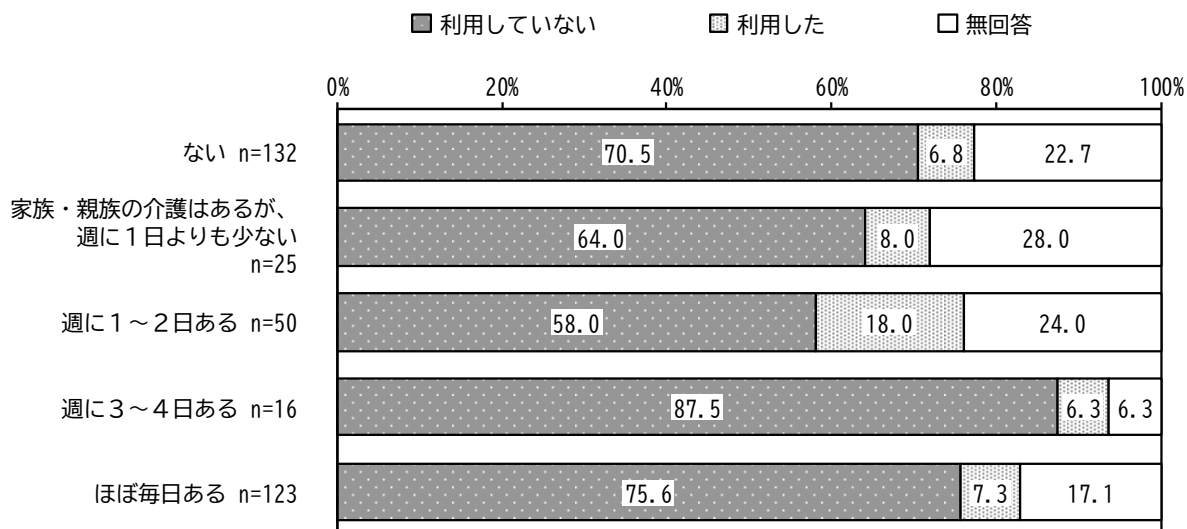
要介護度別にみると、要介護5で「利用していない」の割合が高くなっています。



※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

【家族・親族による介護の日数別】

家族・親族による介護の日数別にみると、週に3～4日あるで「利用していない」の割合が高くなっています。



※「利用した」は、「週1回程度」～「週5回以上」を合わせた割合となっています。

【問5で「利用していない」の方のみ】

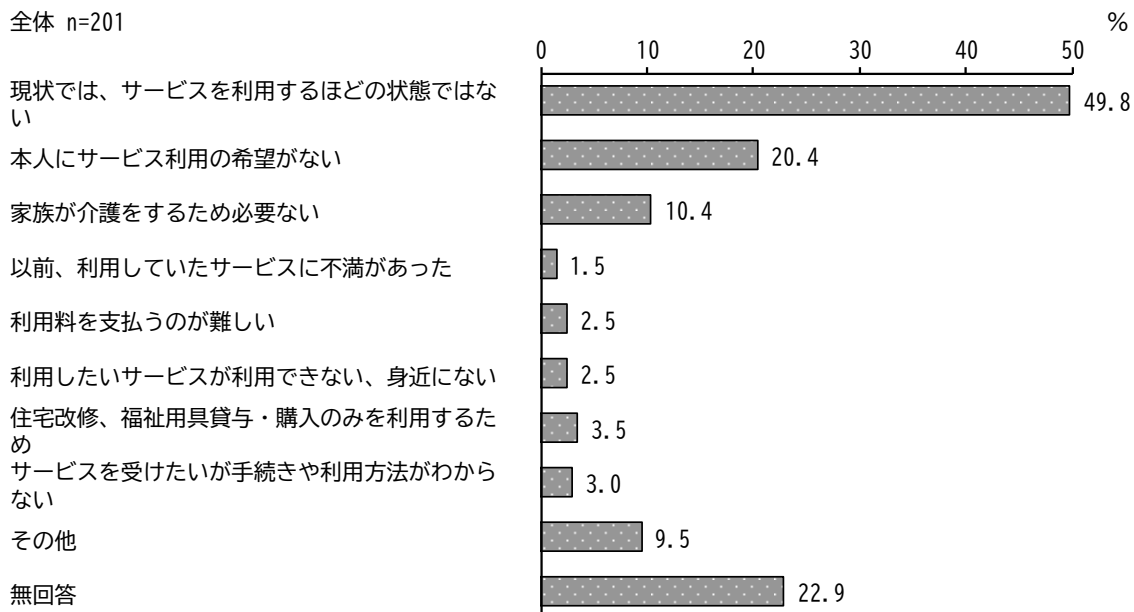
問7 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（あてはまるものすべてに回答）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」の割合が49.8%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」の割合が20.4%、「家族が介護をするため必要ない」の割合が10.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「本人にサービス利用の希望がない」（5.3ポイント）「家族が介護をするため必要ない」（8.4ポイント）「利用料を支払うのが難しい」（5.4ポイント）の割合が減少しています。

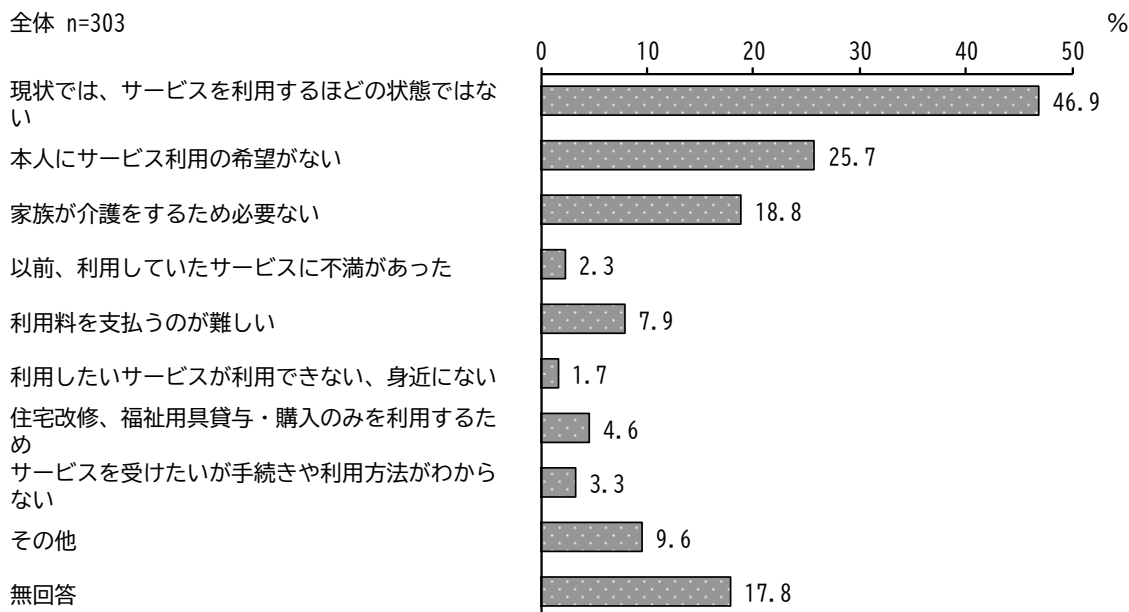
【令和7年度調査】

全体 n=201



【令和4年度調査】

全体 n=303



【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護3で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」、要介護2で「本人にサービス利用の希望がない」「利用料を支払うのが難しい」の割合が高くなっています。

単位：％

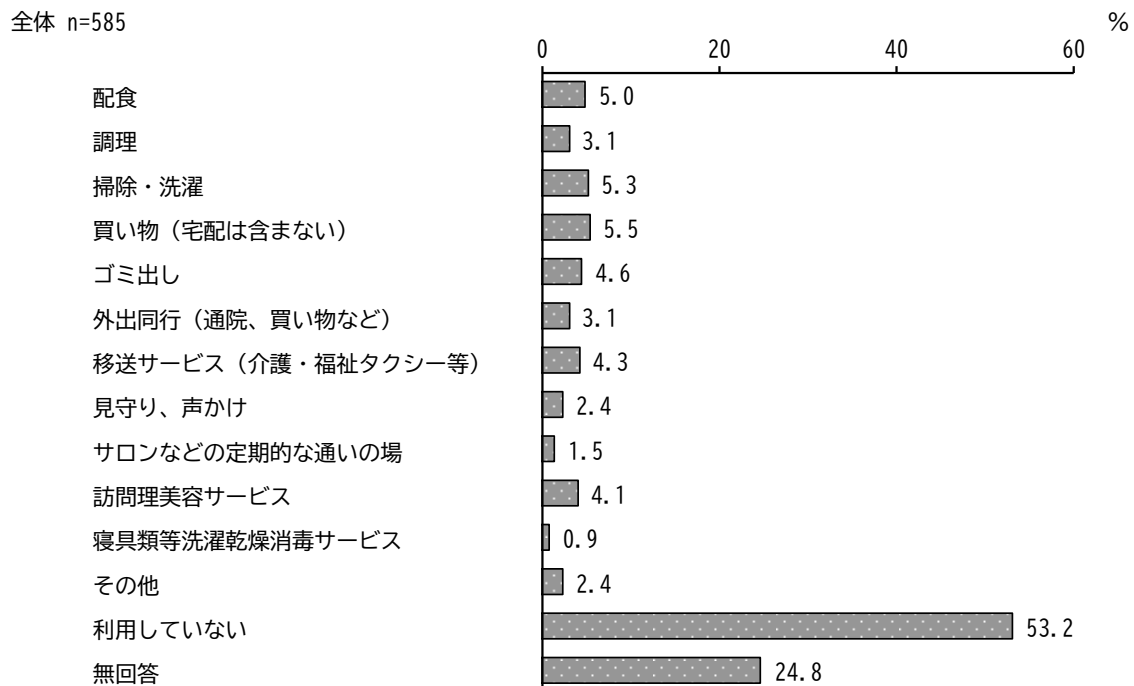
区分	回答者数 (件)	現状では、サービス を利用するほどの 状態ではない	本人にサービス利 用の希望がない	家族が介護をする ため必要ない	以前、利用していた サービスに不満が あった	利用料を支払うの が難しい	利用したいサービ スが利用できない、 身近にない	住宅改修、福祉用具 貸与・購入のみを利 用するため	サービスを受けたい が手続きや利用 方法がわからない	その他	無回答
全 体	201	49.8	20.4	10.4	1.5	2.5	2.5	3.5	3.0	9.5	22.9
要支援1	33	39.4	21.2	9.1	3.0	0.0	6.1	3.0	0.0	9.1	30.3
要支援2	34	50.0	8.8	5.9	2.9	0.0	2.9	2.9	0.0	11.8	29.4
要介護1	56	60.7	23.2	14.3	0.0	0.0	1.8	3.6	5.4	8.9	17.9
要介護2	42	45.2	31.0	11.9	2.4	9.5	2.4	2.4	4.8	9.5	14.3
要介護3	13	76.9	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	15.4
要介護4	9	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	33.3
要介護5	14	35.7	14.3	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	35.7

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（あてはまるものすべてに回答）

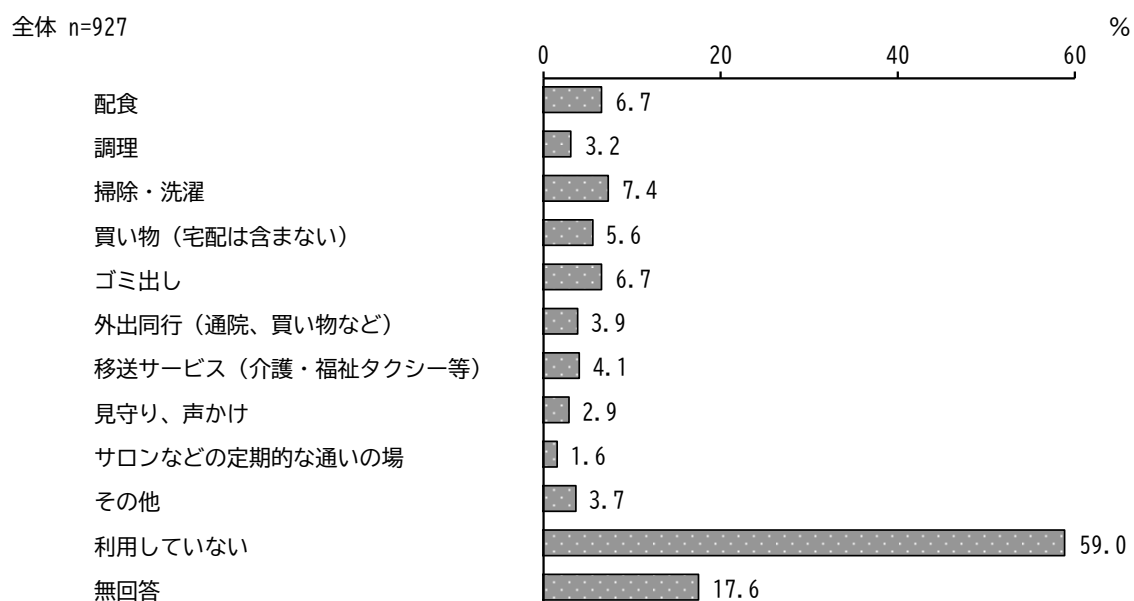
「利用していない」の割合が53.2%と最も高くなっています。

令和4年度調査と比較すると、「利用していない」の割合が5.8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



※令和4年度調査では、「訪問理美容サービス」、「寝具類等洗濯乾燥消毒サービス」の選択肢はありませんでした。

【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護4で「外出同行（通院、買い物など）」「サロンなどの定期的な通いの場」、要支援2で「利用していない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物（宅配は含ま ない）	ゴミ出し	外出同行（通院、買 い物など）	移送サービス（介 護・福祉タクシー 等）
全 体	585	5.0	3.1	5.3	5.5	4.6	3.1	4.3
要支援1	83	2.4	1.2	4.8	4.8	3.6	1.2	3.6
要支援2	85	5.9	4.7	3.5	8.2	3.5	2.4	3.5
要介護1	170	5.3	1.2	4.1	3.5	3.5	2.4	4.7
要介護2	111	6.3	7.2	7.2	7.2	7.2	5.4	5.4
要介護3	59	3.4	5.1	6.8	5.1	3.4	1.7	3.4
要介護4	44	6.8	0.0	6.8	6.8	6.8	9.1	2.3
要介護5	33	3.0	0.0	6.1	3.0	6.1	0.0	6.1

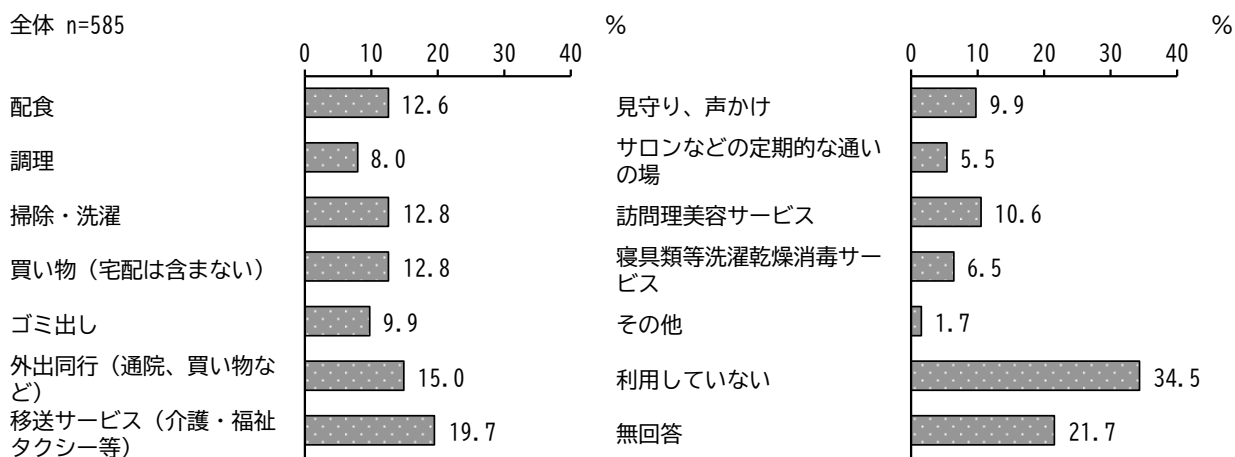
区分	見守り、声かけ	サロンなどの定期 的な通いの場	訪問理美容サービ ス	寝具類等洗濯乾燥 消毒サービス	その他	利用していない	無回答
全 体	2.4	1.5	4.1	0.9	2.4	53.2	24.8
要支援1	3.6	1.2	2.4	0.0	0.0	56.6	27.7
要支援2	4.7	2.4	4.7	1.2	4.7	58.8	12.9
要介護1	0.6	0.6	5.3	1.2	2.4	51.8	29.4
要介護2	3.6	1.8	5.4	1.8	1.8	49.5	25.2
要介護3	0.0	0.0	3.4	0.0	1.7	54.2	25.4
要介護4	4.5	6.8	0.0	0.0	4.5	47.7	22.7
要介護5	0.0	0.0	3.0	0.0	3.0	54.5	24.2

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください
（あてはまるものすべてに回答）
※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

「利用したい・利用しているサービス」の中では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が19.7%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」の割合が15.0%となっています。

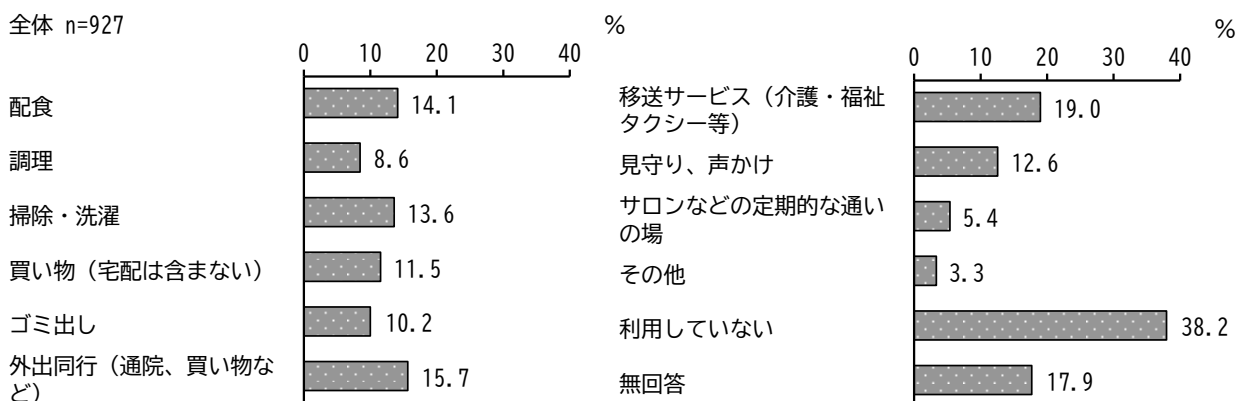
【令和7年度調査】

全体 n=585



【令和4年度調査】

全体 n=927



【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護4から要支援2まで要介護度が下がるほど「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が高くなっています。

単位：％

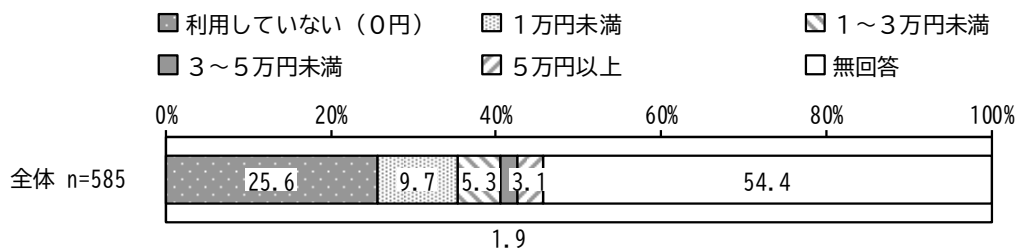
区分	回答者数 (件)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)
全体	585	12.6	8.0	12.8	12.8	9.9	15.0	19.7
要支援1	83	8.4	6.0	6.0	8.4	3.6	6.0	15.7
要支援2	85	15.3	7.1	7.1	14.1	8.2	21.2	22.4
要介護1	170	10.0	8.8	14.1	13.5	11.2	15.9	21.8
要介護2	111	14.4	8.1	16.2	11.7	13.5	18.0	20.7
要介護3	59	18.6	11.9	11.9	10.2	8.5	13.6	18.6
要介護4	44	15.9	2.3	20.5	20.5	13.6	13.6	13.6
要介護5	33	9.1	12.1	18.2	15.2	9.1	12.1	18.2

区分	見守り、声かけ	サロンの定期的な通いの場	訪問理美容サービス	寝具類等洗濯乾燥消毒サービス	その他	利用していない	無回答
全体	9.9	5.5	10.6	6.5	1.7	34.5	21.7
要支援1	7.2	2.4	6.0	3.6	2.4	36.1	30.1
要支援2	9.4	7.1	15.3	7.1	2.4	27.1	22.4
要介護1	8.8	4.7	7.6	7.1	1.2	32.9	21.8
要介護2	12.6	4.5	10.8	7.2	1.8	37.8	18.9
要介護3	11.9	10.2	11.9	6.8	1.7	40.7	11.9
要介護4	9.1	6.8	18.2	2.3	0.0	38.6	15.9
要介護5	12.1	6.1	12.1	12.1	3.0	30.3	33.3

問10 令和7年11月の1か月の間で、「介護保険サービス以外」の支援・サービスの費用は、どれくらいかかりましたか（単位：円）

「利用していない（0円）」の割合が25.6%と最も高くなっています。

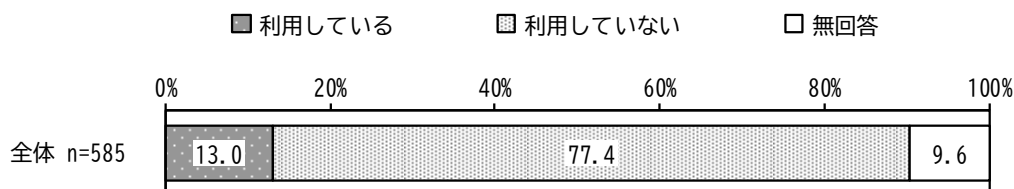
【令和7年度調査】



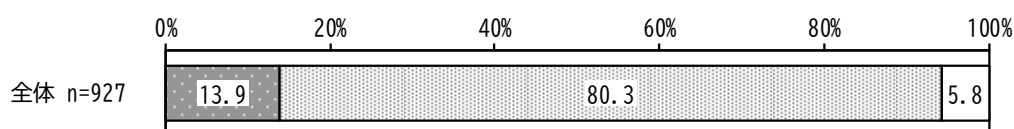
問11 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（回答は1つ）
※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

「利用している」の割合が13.0%、「利用していない」の割合が77.4%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

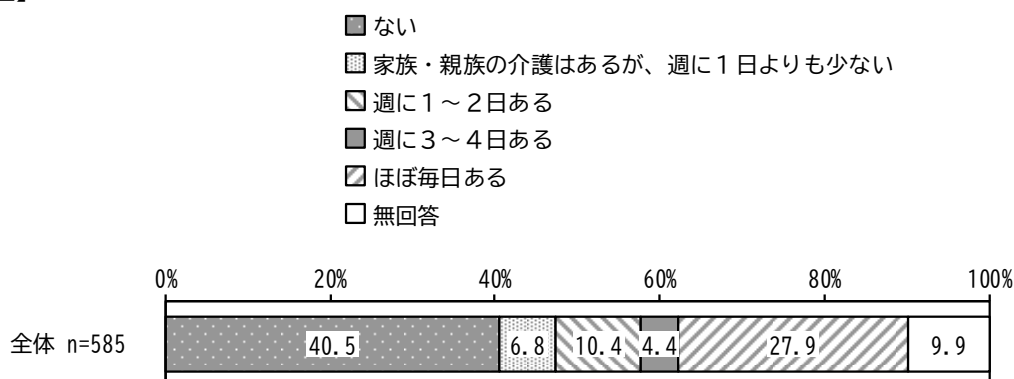


問12 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（回答は1つ）

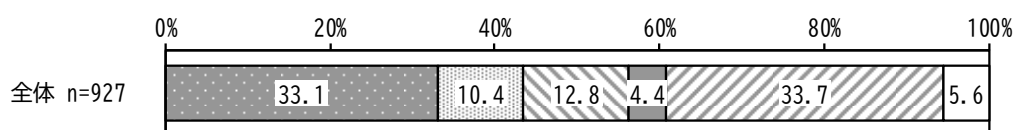
「ない」の割合が40.5%と最も高く、次いで「ほぼ毎日ある」の割合が27.9%、「週に1～2日ある」の割合が10.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「ない」の割合が7.4ポイント増加しています。一方、「ほぼ毎日ある」の割合が5.8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



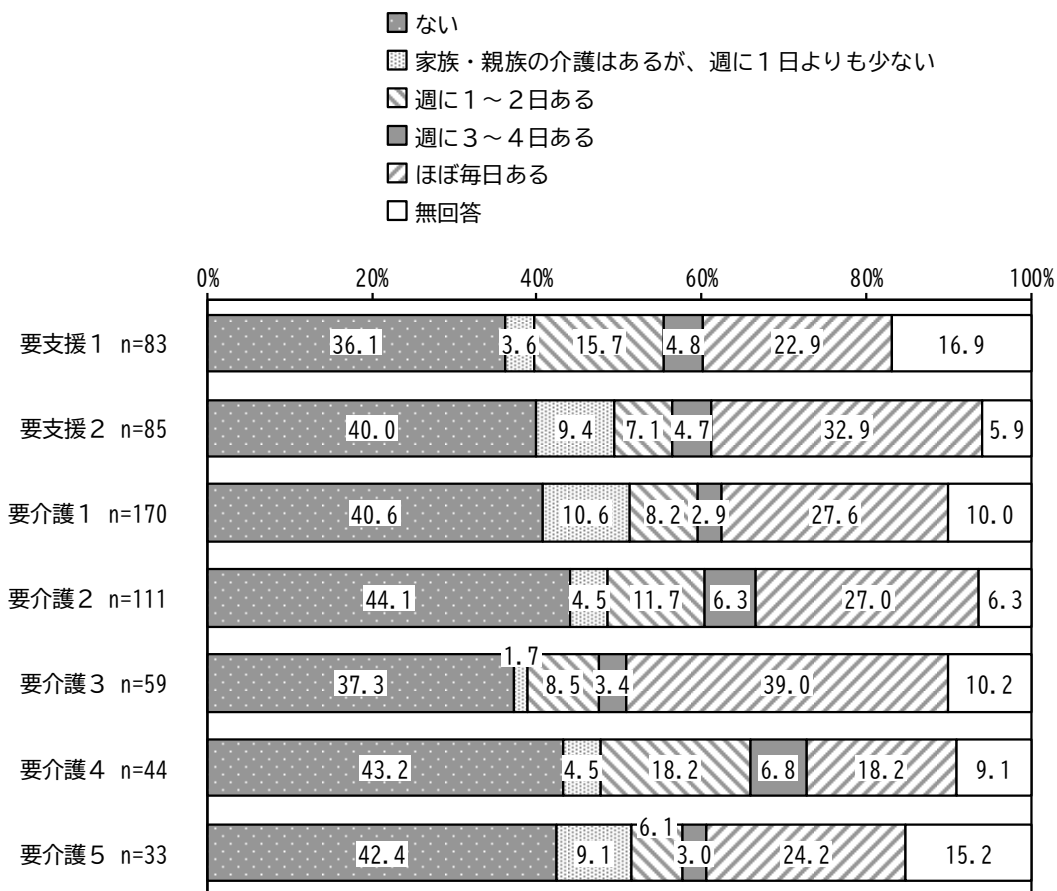
【令和4年度調査】



IV 調査結果（在宅介護実態調査）

【要介護度別】

要介護度別にみると、要支援1、要介護4で「週に1～2日ある」、要介護3で「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。



3 B票 主な介護者について（国が示した調査項目）

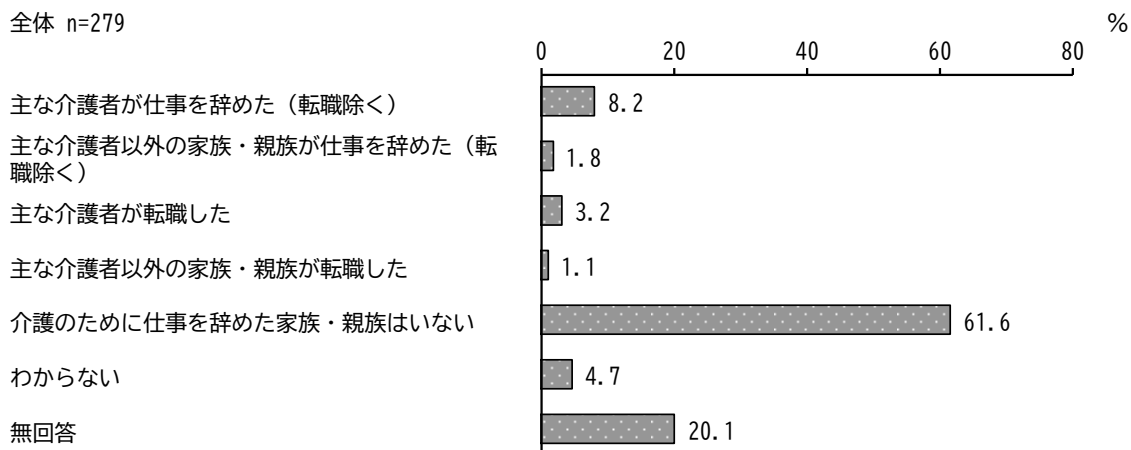
問1 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（あてはまるものすべてに回答）

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が61.6%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が8.2%となっています。

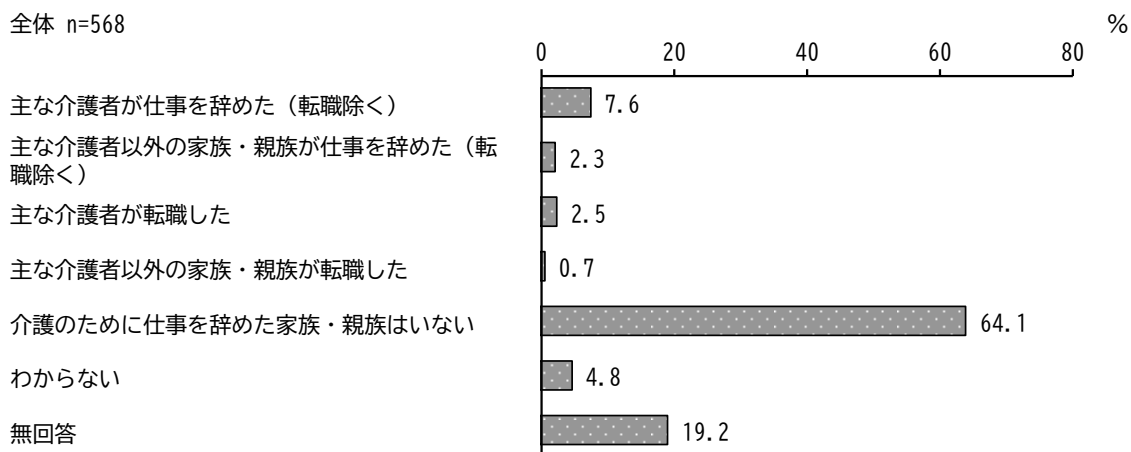
【令和7年度調査】

全体 n=279



【令和4年度調査】

全体 n=568



【要介護度別】

要介護度別にみると、要支援2から要介護5まで要介護度が上がるほど「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」の割合が高い傾向にあります。

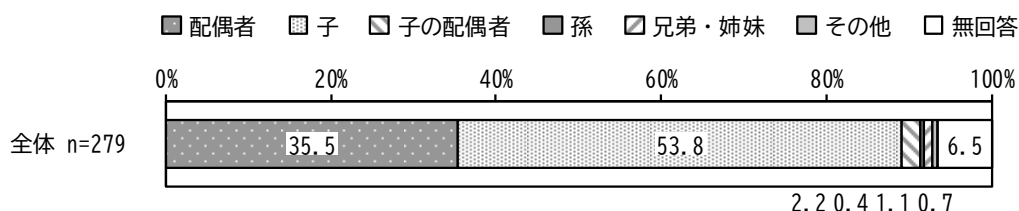
単位：％

区分	回答者数（件）	主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）	主な介護者が転職した	主な介護者以外の家族・親族が転職した	介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	無回答
全体	279	8.2	1.8	3.2	1.1	61.6	4.7	20.1
要支援1	36	5.6	0.0	0.0	0.0	69.4	2.8	22.2
要支援2	45	2.2	0.0	4.4	2.2	60.0	6.7	24.4
要介護1	81	7.4	1.2	1.2	0.0	63.0	1.2	25.9
要介護2	53	15.1	1.9	3.8	1.9	60.4	3.8	13.2
要介護3	29	6.9	0.0	10.3	0.0	65.5	13.8	3.4
要介護4	21	9.5	4.8	0.0	0.0	52.4	4.8	28.6
要介護5	14	14.3	14.3	7.1	7.1	50.0	7.1	14.3

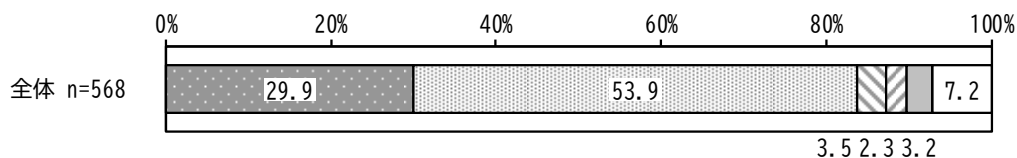
問2 主な介護者は、どなたですか（回答は1つ）

「子」の割合が53.8%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が35.5%となっています。令和4年度調査と比較すると、「配偶者」の割合が5.6ポイント増加しています。

【令和7年度調査】



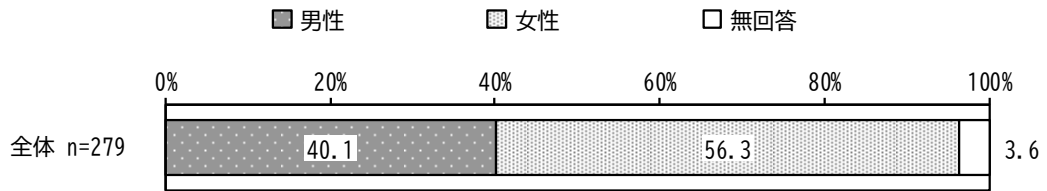
【令和4年度調査】



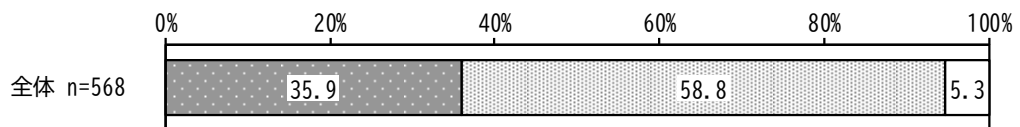
問3 主な介護者の性別について、ご回答ください（回答は1つ）

「男性」の割合が40.1%、「女性」の割合が56.3%となっています。

【令和7年度調査】



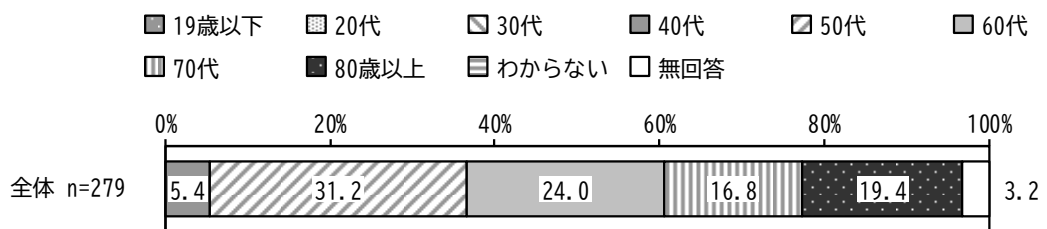
【令和4年度調査】



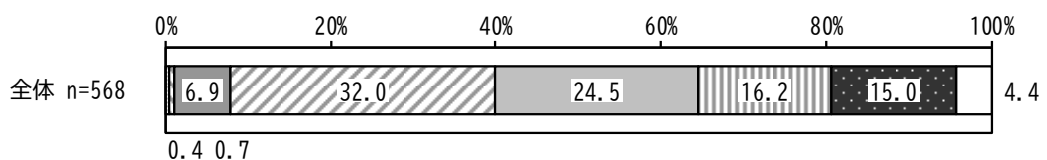
問4 主な介護者の年齢について、ご回答ください（回答は1つ）

「50代」の割合が31.2%と最も高く、次いで「60代」の割合が24.0%、「80歳以上」の割合が19.4%となっています。

【令和7年度調査】

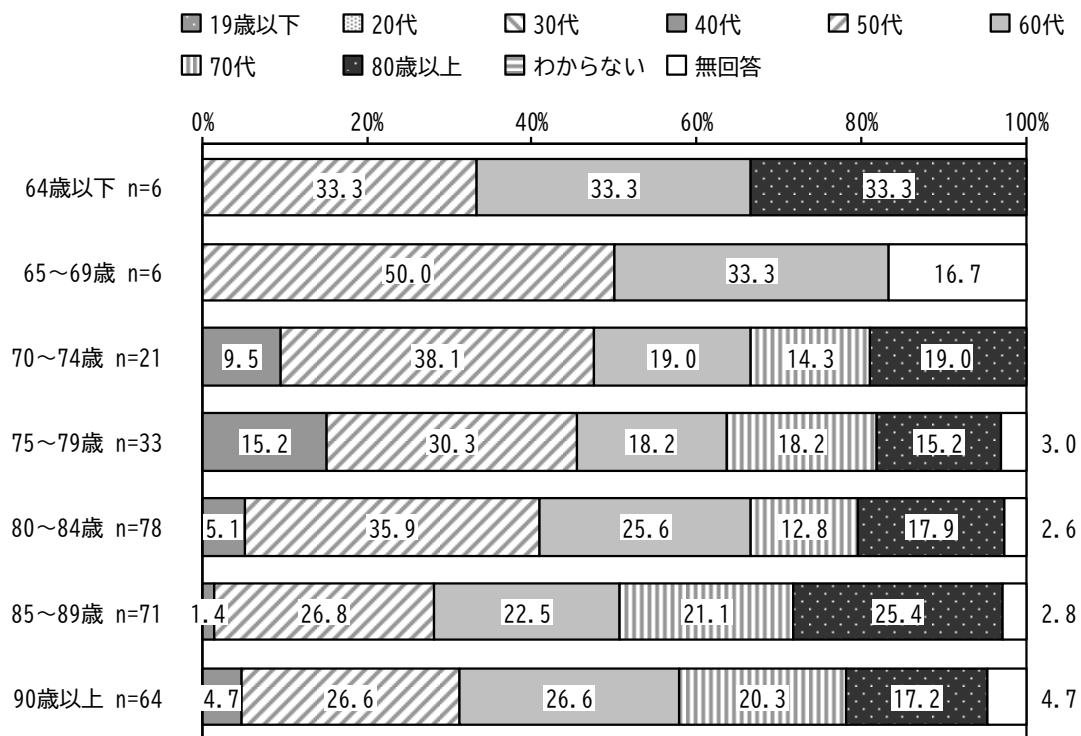


【令和4年度調査】



【回答者の年齢別】

回答者の年齢別にみると、75～79歳で「40代」、70～74歳で「50代」、85～89歳で「80歳以上」の割合が高く、70～74歳、75～79歳で「60代」の割合が低くなっています。



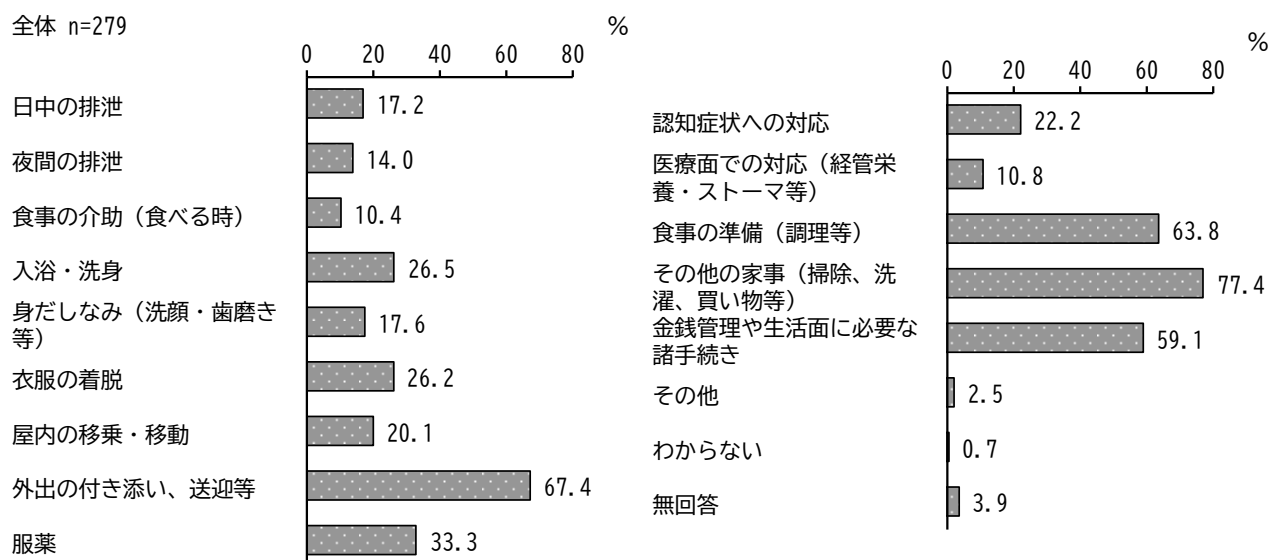
問5 現在、主な介護者が行っている介護等について、ご回答ください
（あてはまるものすべてに回答）

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が77.4%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」の割合が67.4%、「食事の準備（調理等）」の割合が63.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「入浴・洗身」の割合が6.3ポイント増加しています。一方、「服薬」の割合が6.3ポイント、「認知症状への対応」の割合が5.3ポイント減少しています。

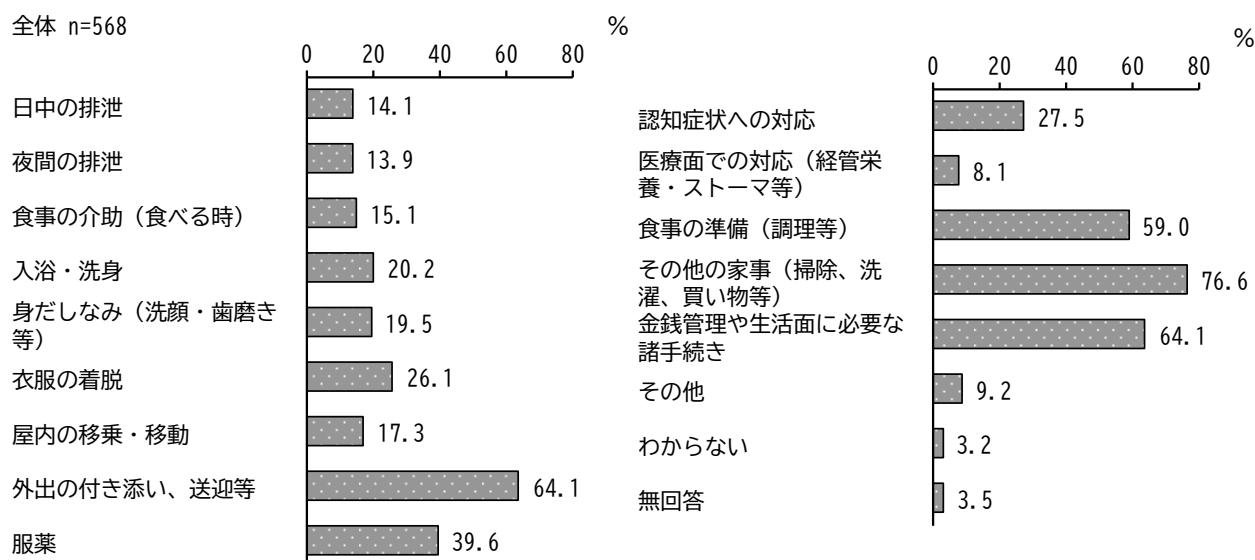
【令和7年度調査】

全体 n=279



【令和4年度調査】

全体 n=568



【要介護度別】

要介護度別にみると、要支援1から要介護3まで要介護度が上がるほど「夜間の排泄」「衣服の着脱」「認知症状への対応」の割合が高い傾向にあります。また、要介護3で「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、要支援2で「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
全体	279	17.2	14.0	10.4	26.5	17.6	26.2	20.1	67.4
要支援1	36	5.6	5.6	0.0	19.4	2.8	13.9	13.9	55.6
要支援2	45	22.2	13.3	11.1	28.9	22.2	22.2	24.4	80.0
要介護1	81	16.0	13.6	12.3	24.7	19.8	27.2	19.8	70.4
要介護2	53	20.8	18.9	11.3	28.3	17.0	28.3	18.9	60.4
要介護3	29	24.1	24.1	13.8	34.5	27.6	41.4	24.1	65.5
要介護4	21	9.5	9.5	4.8	23.8	9.5	23.8	23.8	57.1
要介護5	14	21.4	7.1	21.4	28.6	21.4	28.6	14.3	85.7

区分	服薬	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養・ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	わからない	無回答
全体	33.3	22.2	10.8	63.8	77.4	59.1	2.5	0.7	3.9
要支援1	27.8	11.1	11.1	58.3	72.2	61.1	2.8	0.0	8.3
要支援2	35.6	17.8	13.3	73.3	84.4	71.1	0.0	0.0	2.2
要介護1	37.0	23.5	11.1	60.5	71.6	59.3	3.7	1.2	4.9
要介護2	32.1	20.8	13.2	62.3	86.8	54.7	1.9	0.0	1.9
要介護3	41.4	34.5	13.8	72.4	75.9	65.5	0.0	0.0	3.4
要介護4	19.0	19.0	0.0	52.4	61.9	33.3	9.5	4.8	4.8
要介護5	28.6	42.9	0.0	71.4	92.9	57.1	0.0	0.0	0.0

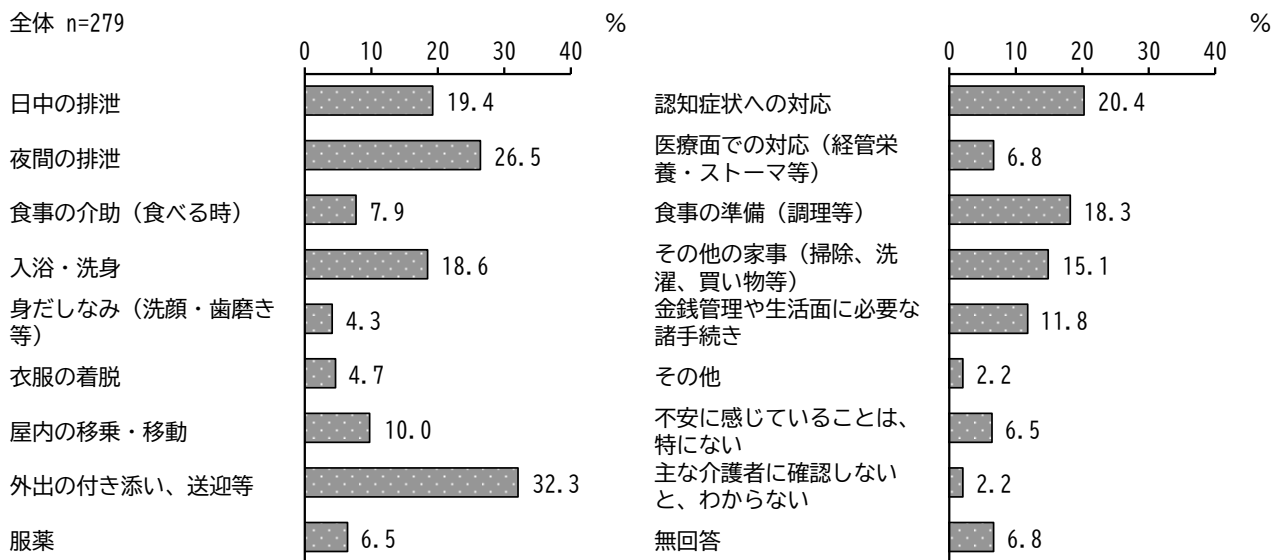
問6 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（回答は3つまで）

「外出の付き添い、送迎等」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「夜間の排泄」の割合が 26.5%、「認知症状への対応」の割合が 20.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「夜間の排泄」の割合が 5.7ポイント、「食事の準備（調理等）」の割合が 5.1ポイント増加しています。一方、「認知症状への対応」の割合が 7.1ポイント減少しています。

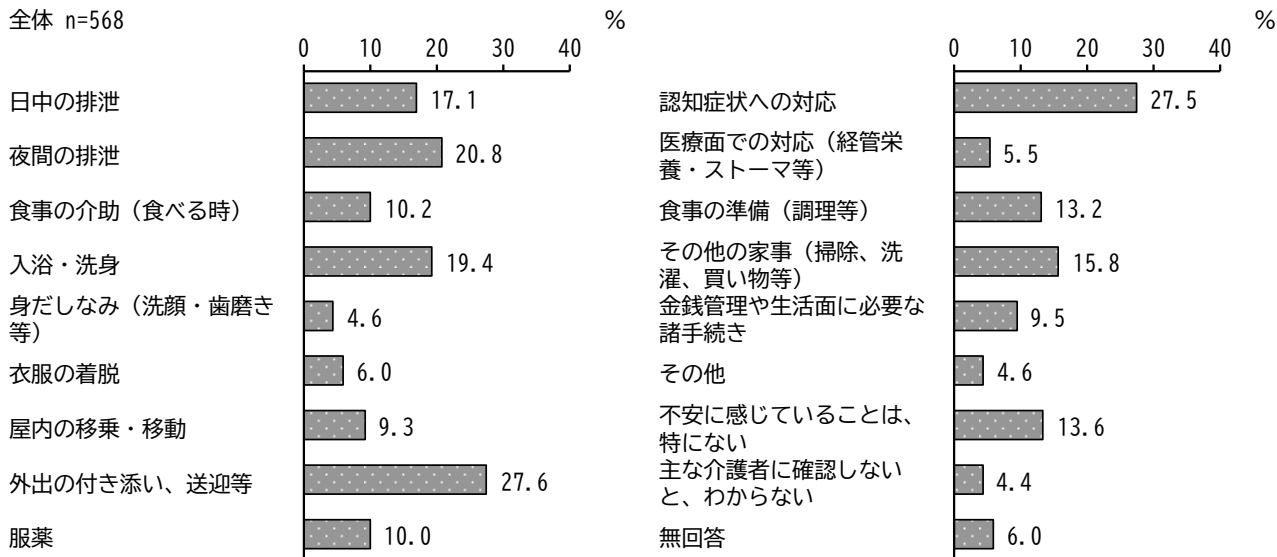
【令和7年度調査】

全体 n=279



【令和4年度調査】

全体 n=568



【要介護度別】

要介護度別にみると、要支援1から要介護3まで要介護度が上がるほど「認知症状への対応」の割合が高い傾向にあり、「外出の付き添い、送迎等」の割合が低くなっています。また、要介護4で「食事の準備（調理等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・ 歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送 迎等	服薬
全 体	279	19.4	26.5	7.9	18.6	4.3	4.7	10.0	32.3	6.5
要支援1	36	11.1	16.7	5.6	25.0	2.8	2.8	8.3	38.9	5.6
要支援2	45	22.2	24.4	6.7	20.0	4.4	2.2	8.9	37.8	8.9
要介護1	81	24.7	30.9	11.1	12.3	3.7	2.5	7.4	30.9	8.6
要介護2	53	13.2	30.2	3.8	18.9	3.8	9.4	11.3	30.2	3.8
要介護3	29	24.1	27.6	13.8	13.8	10.3	6.9	13.8	27.6	6.9
要介護4	21	14.3	19.0	9.5	23.8	4.8	9.5	9.5	38.1	4.8
要介護5	14	21.4	28.6	0.0	35.7	0.0	0.0	21.4	14.3	0.0

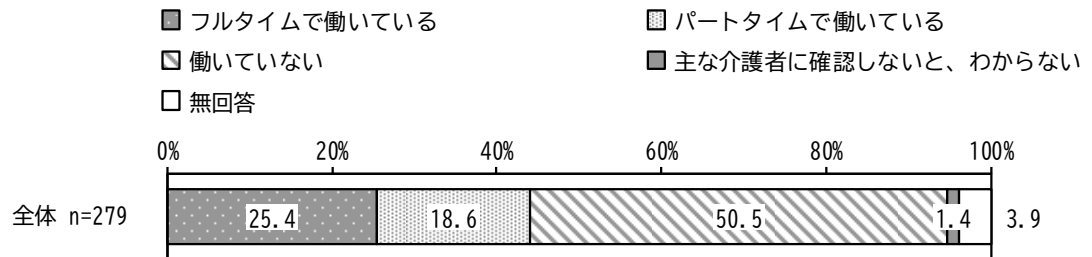
区分	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養・ストーマ 等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面 に必要な諸手続き	その他	不安に感じている ことは、特にな い	主な介護者に確認 しないと、わから ない	無回答
全 体	20.4	6.8	18.3	15.1	11.8	2.2	6.5	2.2	6.8
要支援1	11.1	13.9	16.7	19.4	13.9	0.0	5.6	0.0	11.1
要支援2	17.8	4.4	17.8	17.8	11.1	2.2	6.7	0.0	6.7
要介護1	21.0	6.2	14.8	12.3	9.9	3.7	4.9	2.5	9.9
要介護2	20.8	9.4	22.6	11.3	13.2	3.8	9.4	5.7	1.9
要介護3	31.0	3.4	20.7	13.8	17.2	0.0	6.9	0.0	3.4
要介護4	14.3	0.0	28.6	14.3	4.8	0.0	4.8	4.8	9.5
要介護5	35.7	7.1	7.1	28.6	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0

問7 主な介護者の現在の勤務形態について、ご回答ください（回答は1つ）

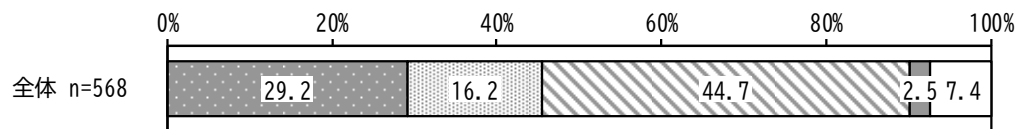
「フルタイムで働いている」の割合が25.4%、「パートタイムで働いている」の割合が18.6%、「働いていない」の割合が50.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「働いていない」の割合が5.8ポイント増加しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



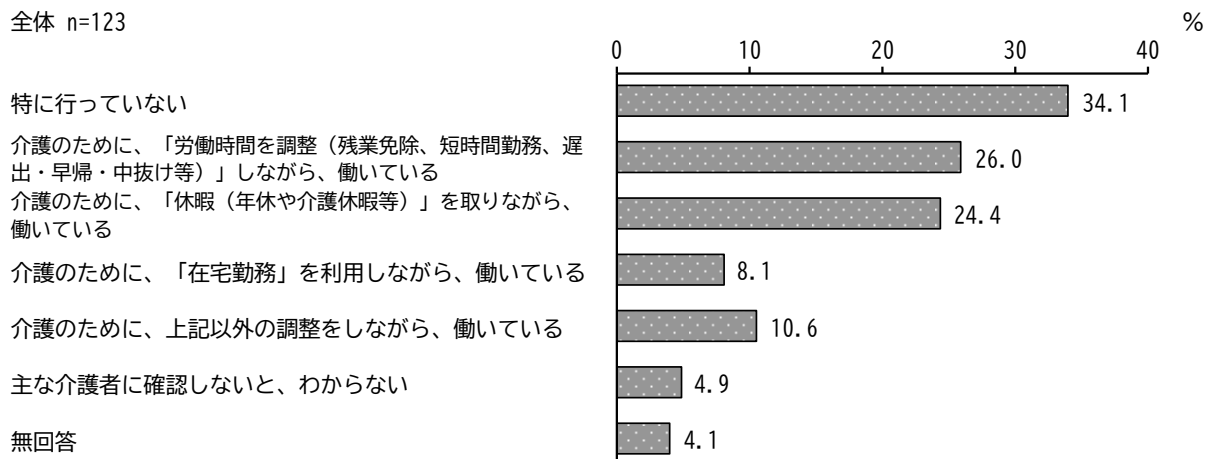
【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】

問8 主な介護者は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか
（あてはまるものすべてに回答）

「特に行っていない」の割合が34.1%と最も高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が26.0%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」の割合が24.4%となっています。

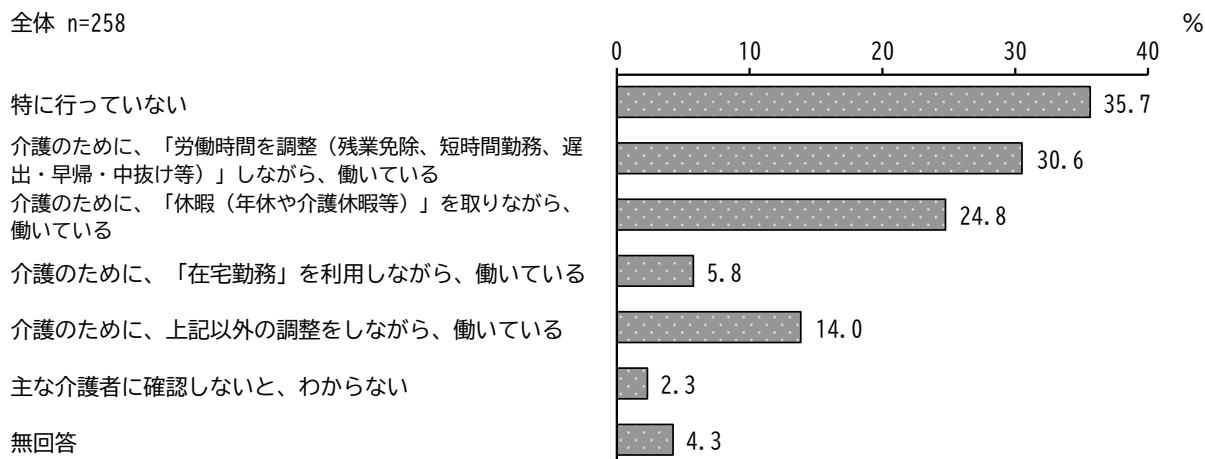
【令和7年度調査】

全体 n=123



【令和4年度調査】

全体 n=258



【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】

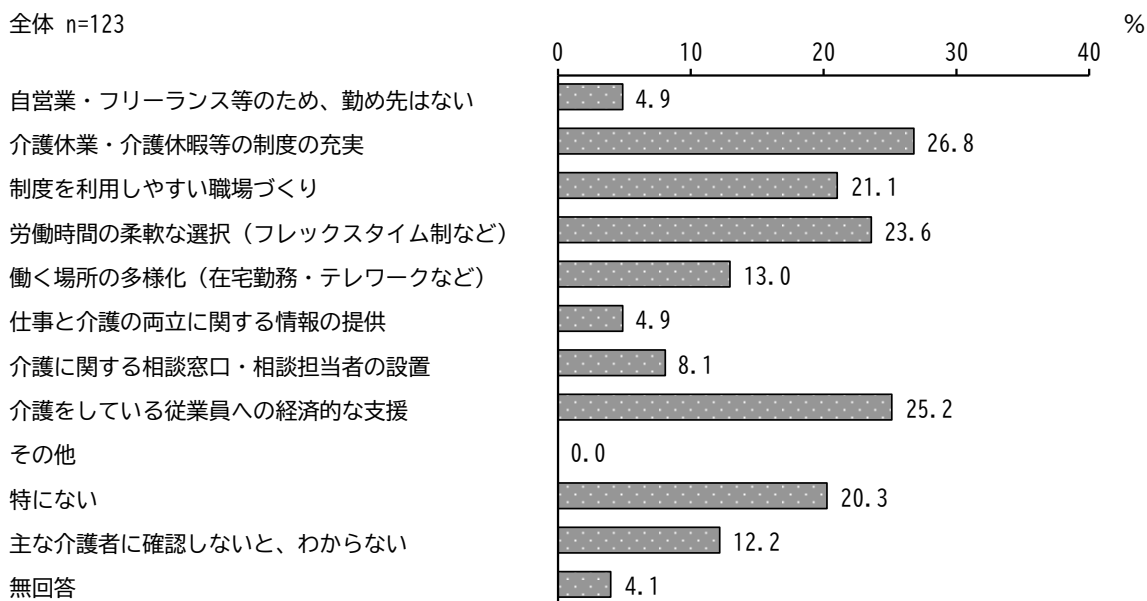
問9 主な介護者は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（回答は3つまで）

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が26.8%と最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」の割合が25.2%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」の割合が23.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「自営業・フリーランス等のため、勤め先はない」の割合が7.5ポイント、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」の割合が6.5ポイント減少しています。

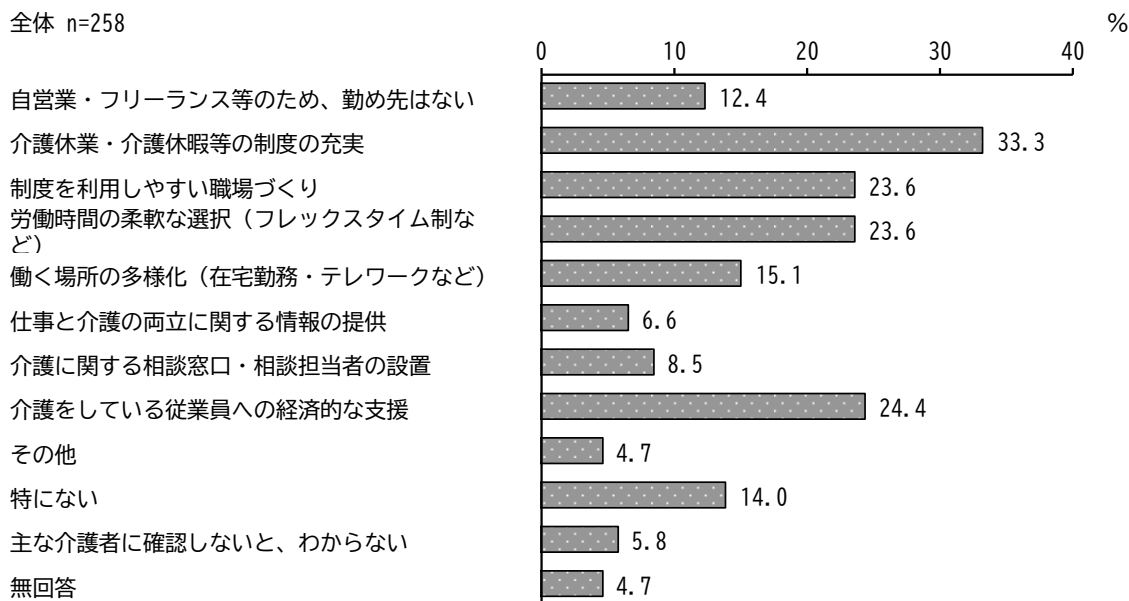
【令和7年度調査】

全体 n=123



【令和4年度調査】

全体 n=258



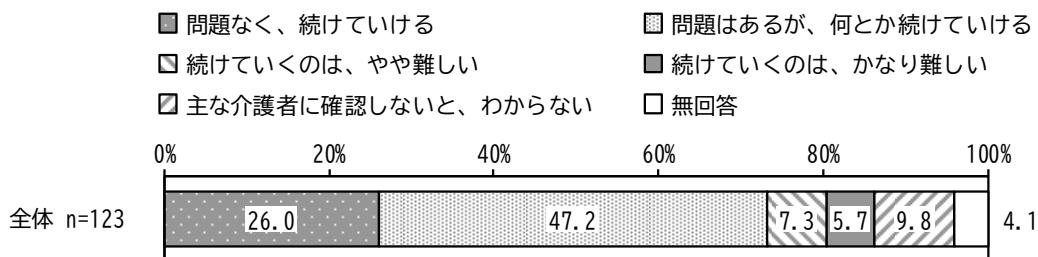
【問7で「フルタイムで働いている」「パートタイムで働いている」の方のみ】

問10 主な介護者は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（回答は1つ）

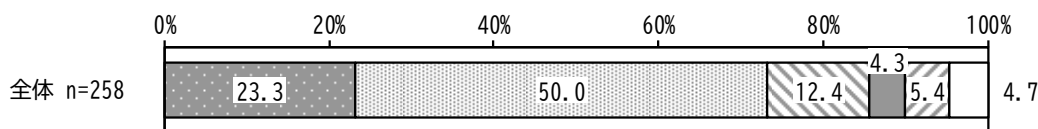
「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が47.2%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」の割合が26.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「続けていくのは、やや難しい」の割合が5.1ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



4 要介護認定者個別調査票（市の独自調査項目）

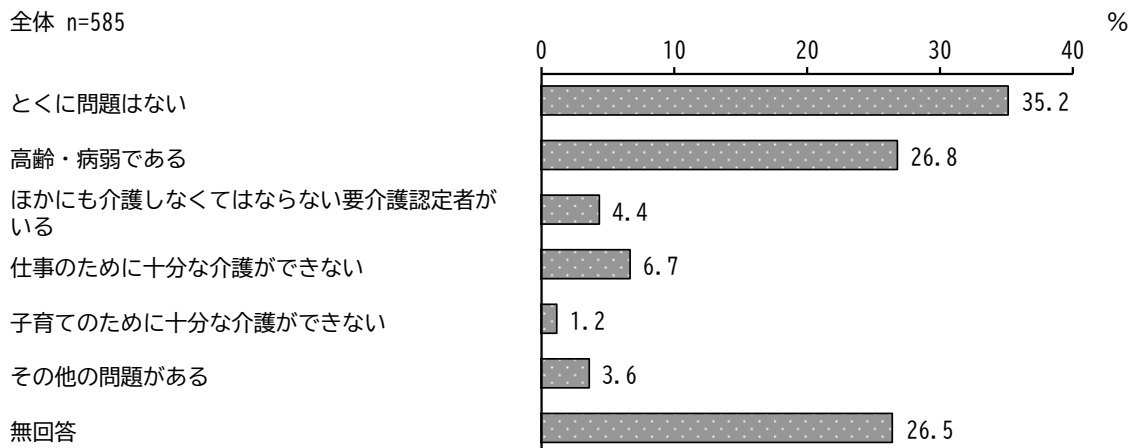
（1）あなた（要介護認定者ご本人）ご自身のことについて

問1 主な介護者の状況についてお答えください（あてはまるものすべてに回答）

「とくに問題はない」の割合が35.2%と最も高く、次いで「高齢・病弱である」の割合が26.8%となっています。

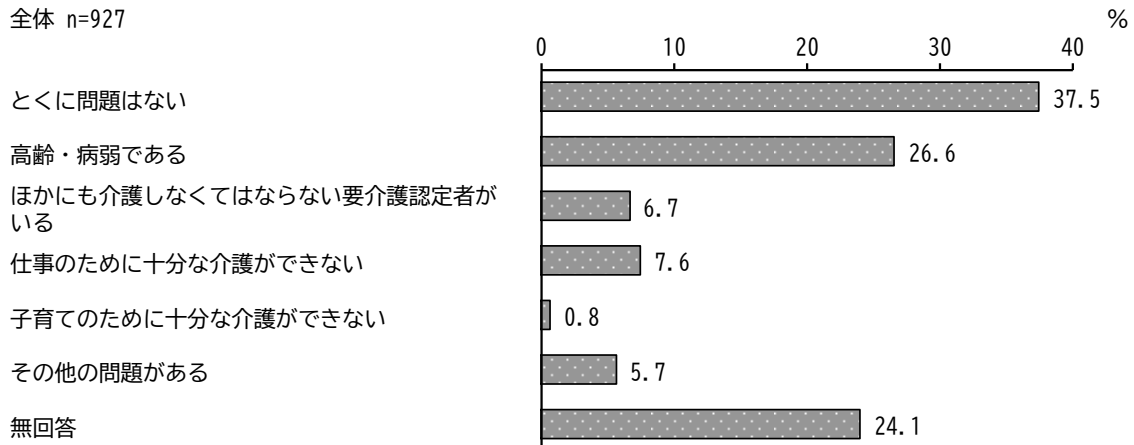
【令和7年度調査】

全体 n=585



【令和4年度調査】

全体 n=927



【要介護度別】

要介護度別にみると、要介護4から要支援2まで要介護度が下がるほど「とくに問題はない」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

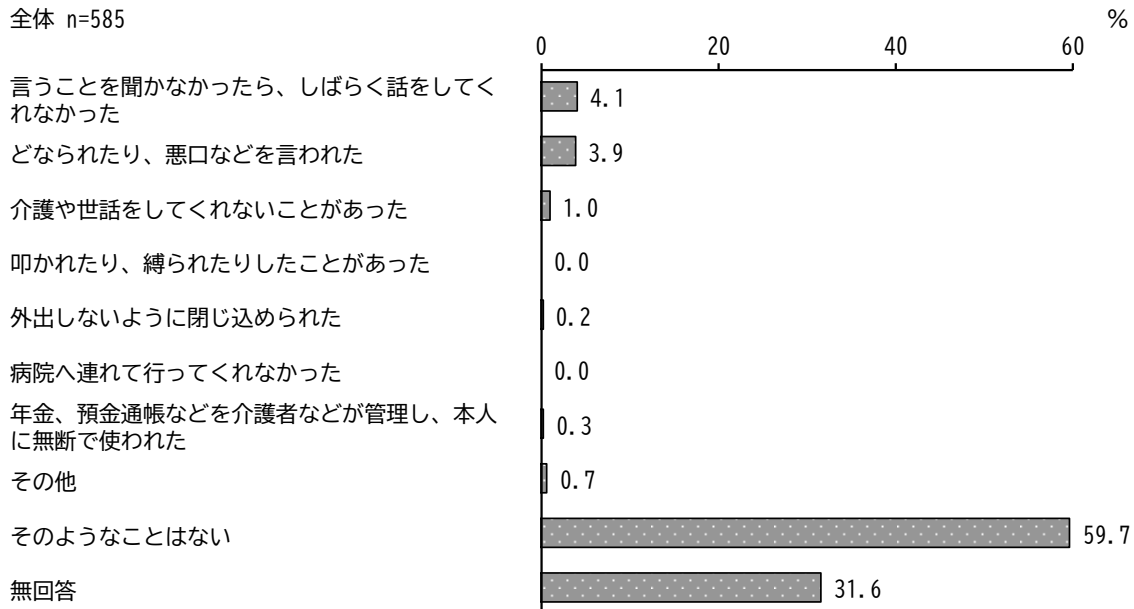
区分	回答者数 (件)	とくに問題はない	高齢・病弱である	ほかにも介護しなくてはならない要介護認定者がいる	仕事のために十分な介護ができない	子育てのために十分な介護ができない	その他の問題がある	無回答
全体	585	35.2	26.8	4.4	6.7	1.2	3.6	26.5
要支援1	83	31.3	32.5	3.6	4.8	0.0	2.4	26.5
要支援2	85	38.8	20.0	3.5	8.2	1.2	2.4	28.2
要介護1	170	34.7	31.8	3.5	4.7	2.4	3.5	24.7
要介護2	111	36.9	21.6	2.7	5.4	0.0	5.4	30.6
要介護3	59	32.2	28.8	5.1	11.9	1.7	1.7	25.4
要介護4	44	27.3	29.5	15.9	11.4	2.3	4.5	22.7
要介護5	33	48.5	15.2	3.0	6.1	0.0	6.1	24.2

問2 あなたは、介護者などから、次のような行為を受けたことがありますか
（あてはまるものすべてに回答）

受けた行為の中で、「そのようなことはない」の割合が59.7%と最も高くなっています。

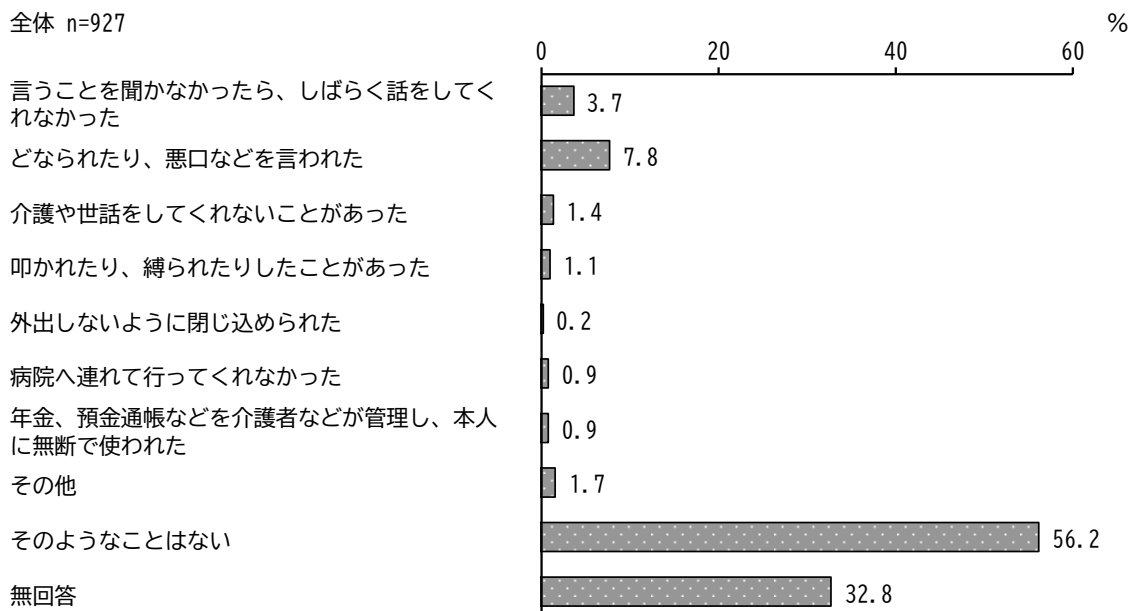
【令和7年度調査】

全体 n=585



【令和4年度調査】

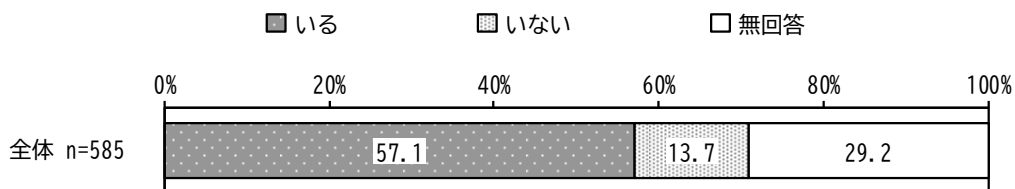
全体 n=927



問3 虐待や消費者被害を受けた場合、相談できる人はいますか（回答は1つ）

「いる」の割合が57.1%、「いない」の割合が13.7%となっています。

【令和7年度調査】



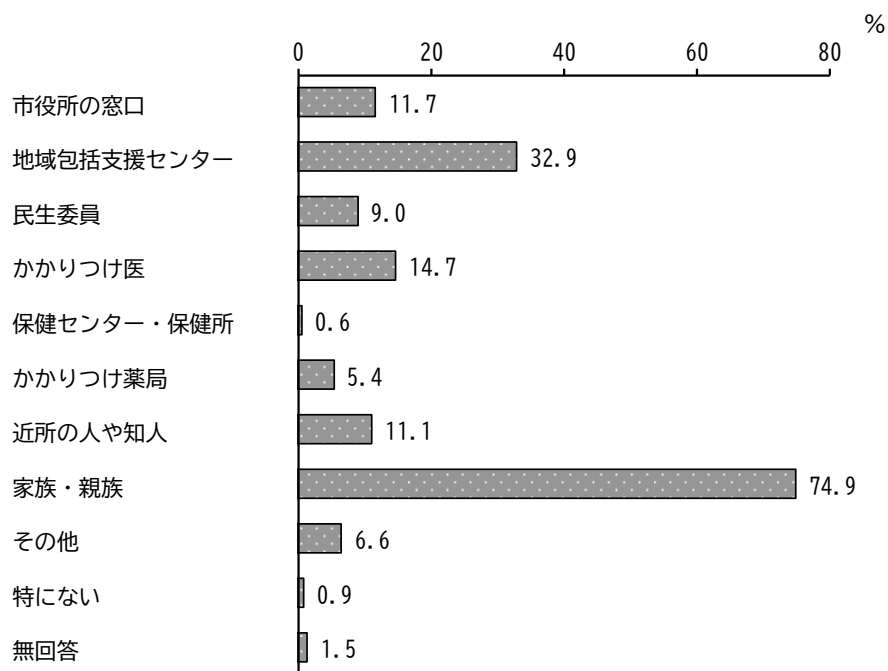
【問3で「いる」の方のみ】

問3-1 相談先はどなたですか（あてはまるものすべてに回答）

「家族・親族」の割合が74.9%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が32.9%、「かかりつけ医」の割合が14.7%となっています。

【令和7年度調査】

全体 n=334

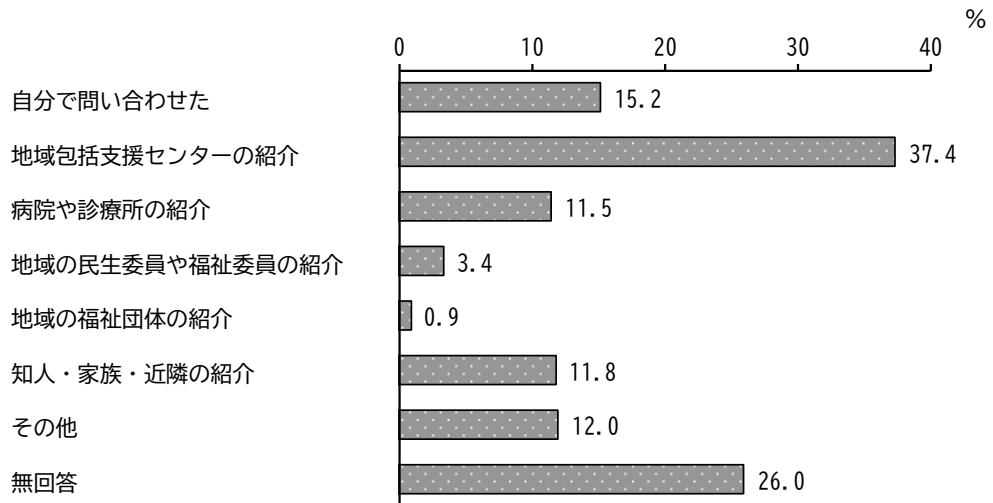


問4 現在のケアマネジャーを見つけた方法をお聞かせください（あてはまるものすべてに回答）

「地域包括支援センターの紹介」の割合が37.4%と最も高く、次いで「自分で問い合わせた」の割合が15.2%、「知人・家族・近隣の紹介」の割合が11.8%となっています。

【令和7年度調査】

全体 n=585

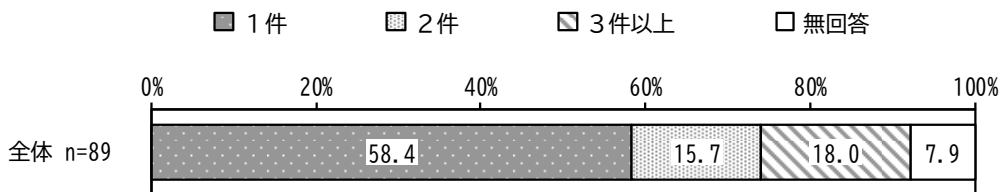


問5 何件くらい問合わせましたか、見つかるまでにどれ位の期間を要しましたか
（件数と期間をご記入ください）

問合わせ件数（単位：件）

「1件」の割合が58.4%、「2件」の割合が15.7%、「3件以上」の割合が18.0%となっています。

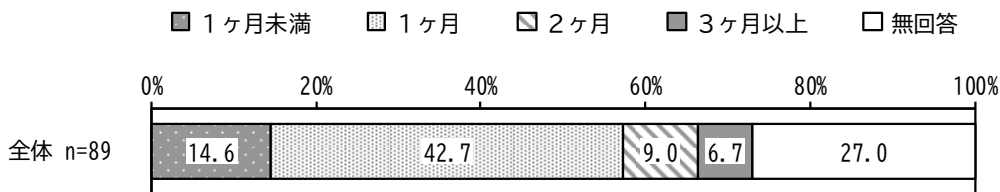
【令和7年度調査】



見つかるまでの期間（単位：月）

「1ヶ月」の割合が42.7%と最も高く、次いで「1ヶ月未満」の割合が14.6%となっています。

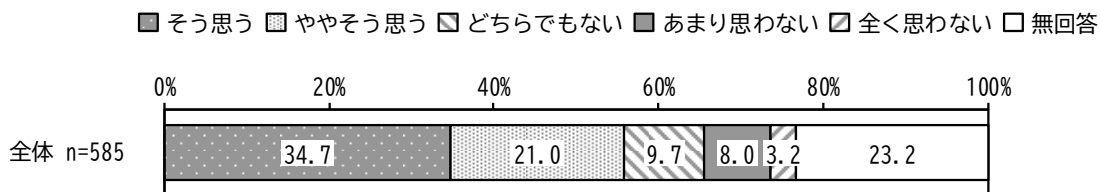
【令和7年度調査】



問6 これからも安心して自宅での生活を送れそうですか（回答は1つ）

「そう思う」「ややそう思う」を合わせた“そう思う”の割合が55.7%、「あまり思わない」「全く思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が11.2%となっています。

【令和7年度調査】



※ “そう思う”は「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた割合
 “そう思わない”は「あまり思わない」と「全く思わない」を合わせた割合

（２）サービスの満足度について

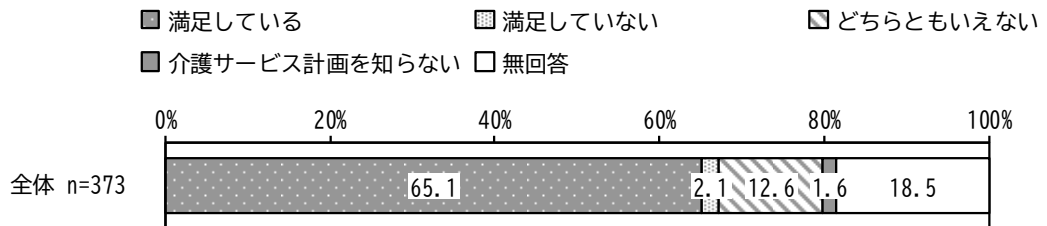
※住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用している方

問7 あなたは、介護サービス計画（ケアプラン）に満足していますか（回答は1つ）

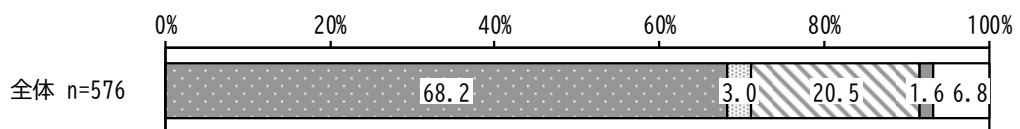
「満足している」の割合が65.1%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が12.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「どちらともいえない」の割合が7.9ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



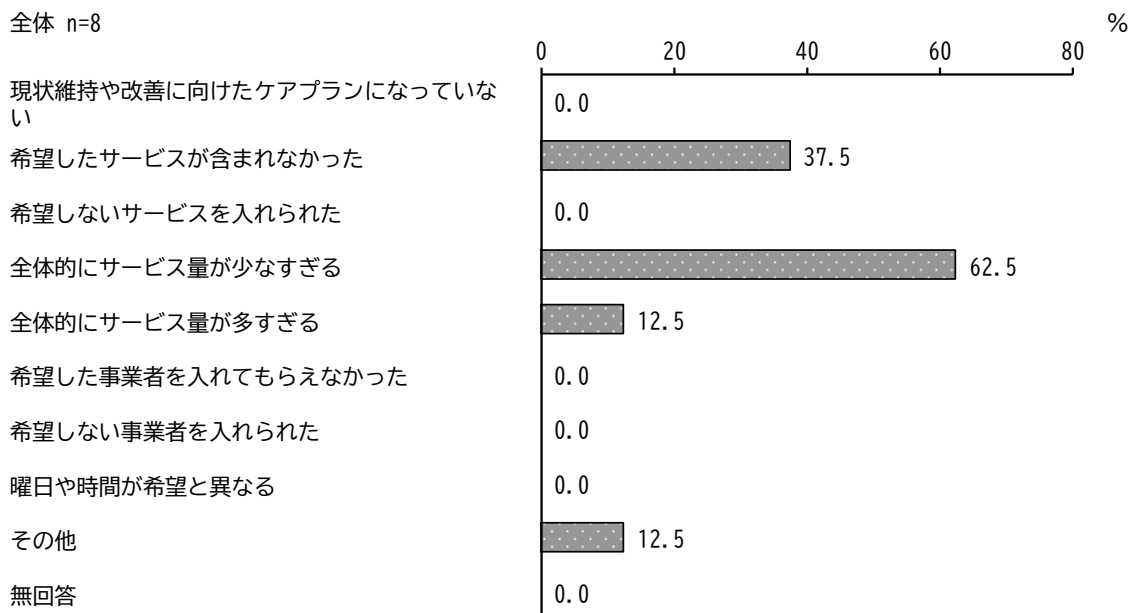
【問7で「満足していない」の方のみ】

問7-1 あなたが不満に思われる点は、どのようなことですか
（あてはまるものすべてに回答）

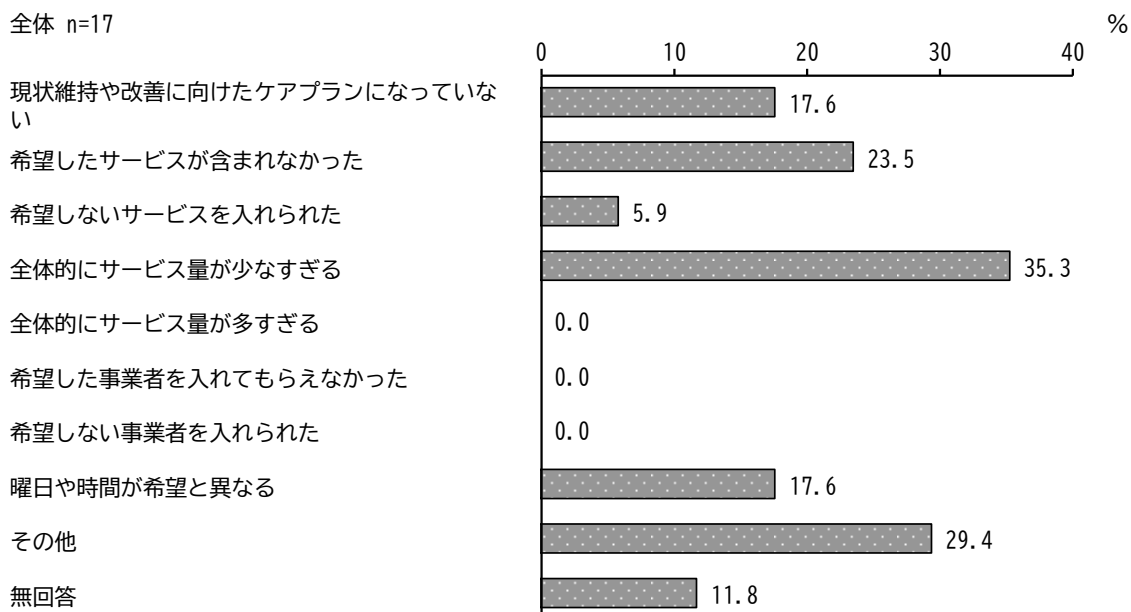
「全体的にサービス量が少なすぎる」が5件、「希望したサービスが含まれなかった」が3件、「全体的にサービス量が多すぎる」が1件となっています。

有効回答者数が少ないため、令和4年度調査との比較コメントは差し控えます。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

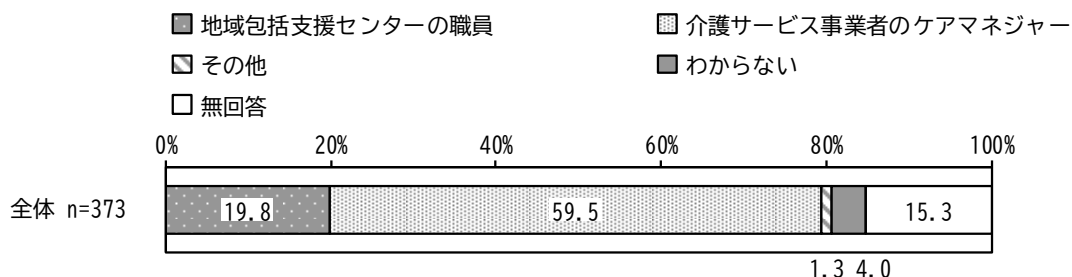


問8 あなたの介護サービス計画(ケアプラン)を作成したのは、だれですか（回答は1つ）

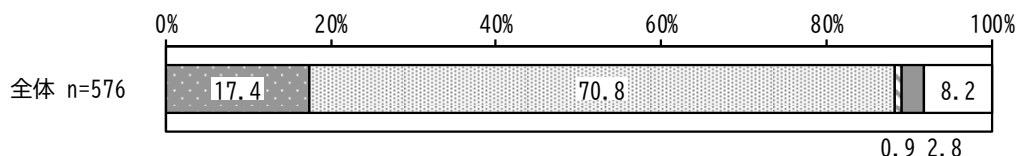
「介護サービス事業者のケアマネジャー」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「地域包括支援センターの職員」の割合が 19.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「介護サービス事業者のケアマネジャー」の割合が 11.3 ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



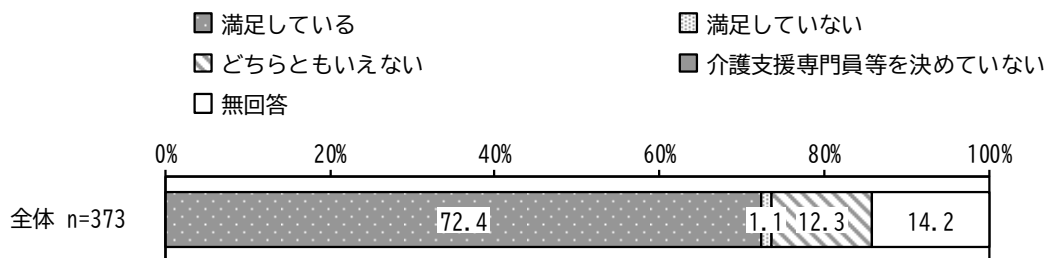
【令和4年度調査】



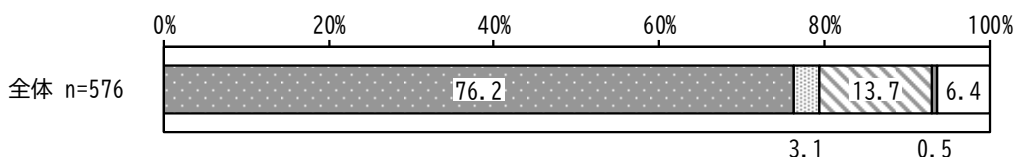
問9 あなたは、担当している介護支援専門員（ケアマネジャー）や地域包括支援センターの職員に満足していますか（回答は1つ）

「満足している」の割合が 72.4%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 12.3%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

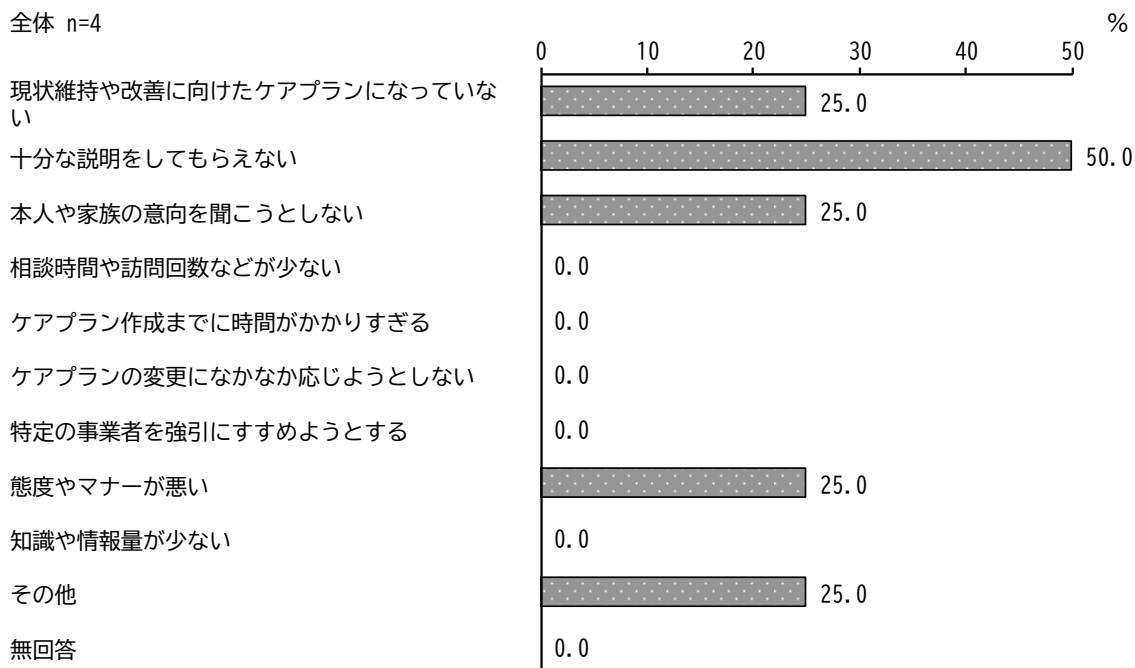


【問9で「満足していない」の方のみ】

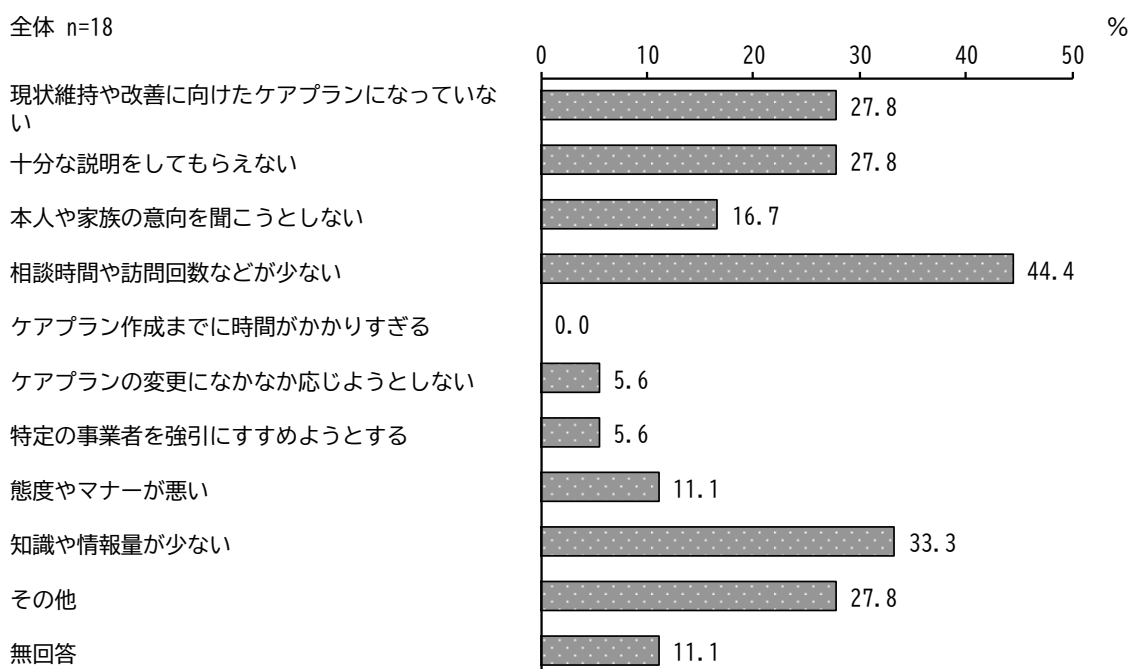
問9-1 あなたが不満に思われている点は、どのようなことですか
（あてはまるものすべてに回答）

「十分な説明をしてもらえない」が2件、「現状維持や改善に向けたケアプランになっていない」、「本人や家族の意向を聞こうとしない」、「態度やマナーが悪い」が1件となっています。
有効回答者数が少ないため、令和4年度調査との比較コメントは差し控えます。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

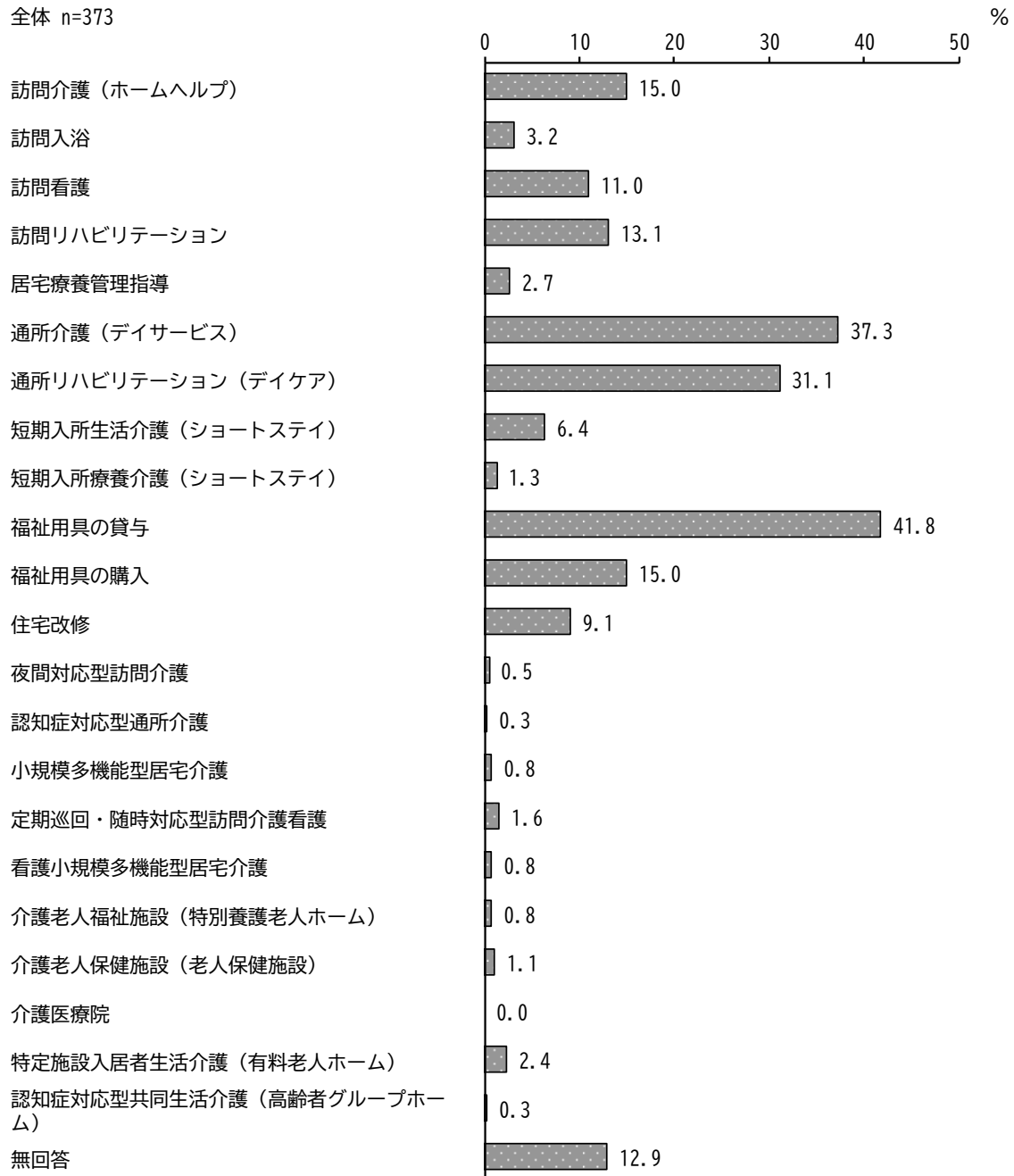


問10 現在、利用しているサービスは何ですか（あてはまるものすべてに回答）

「福祉用具の貸与」の割合が41.8%と最も高く、次いで「通所介護(デイサービス)」の割合が37.3%、「通所リハビリテーション（デイケア）」の割合が31.1%となっています。

【令和7年度調査】

全体 n=373

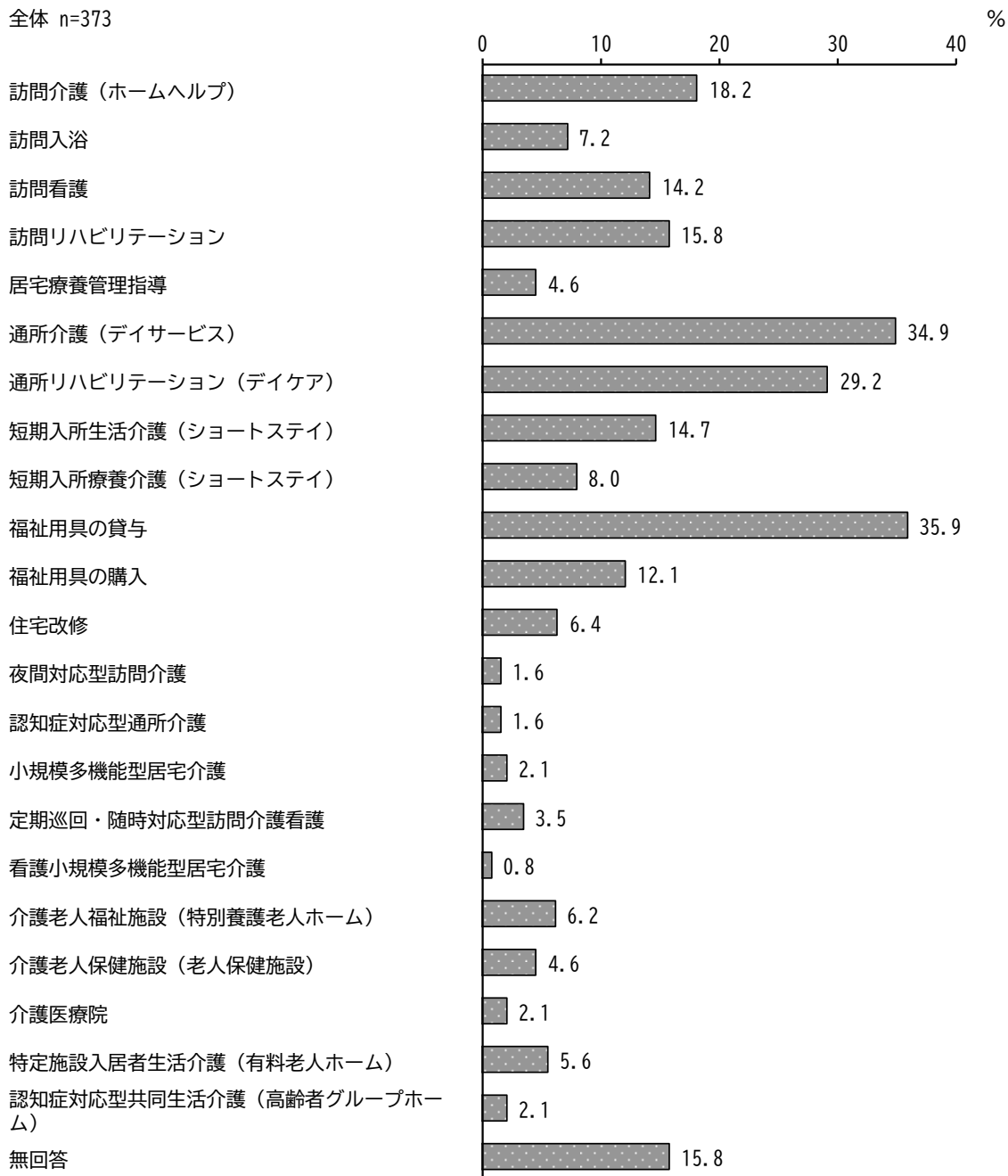


問 11 今後3年間で、利用するサービスは何ですか（あてはまるものすべてに回答）

「福祉用具の貸与」の割合が35.9%と最も高く、次いで「通所介護(デイサービス)」の割合が34.9%、「通所リハビリテーション（デイケア）」の割合が29.2%となっています。

【令和7年度調査】

全体 n=373

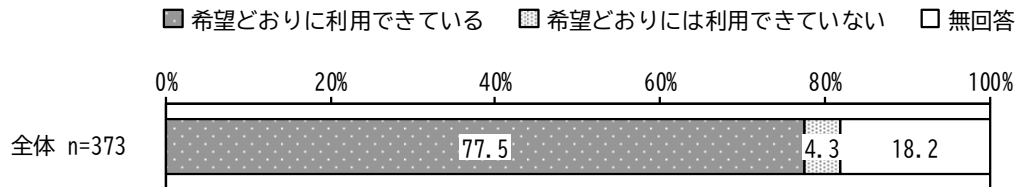


問12 あなたは、希望どおりのサービスを利用できていますか（回答は1つ）

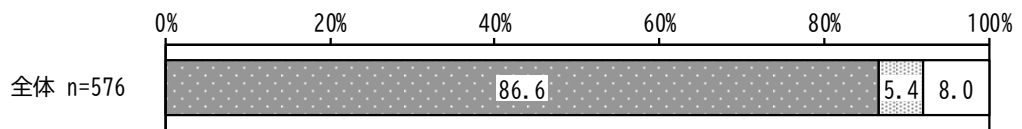
「希望どおりに利用できている」の割合が77.5%、「希望どおりに利用できていない」の割合が4.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「希望どおりに利用できている」の割合が9.1ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



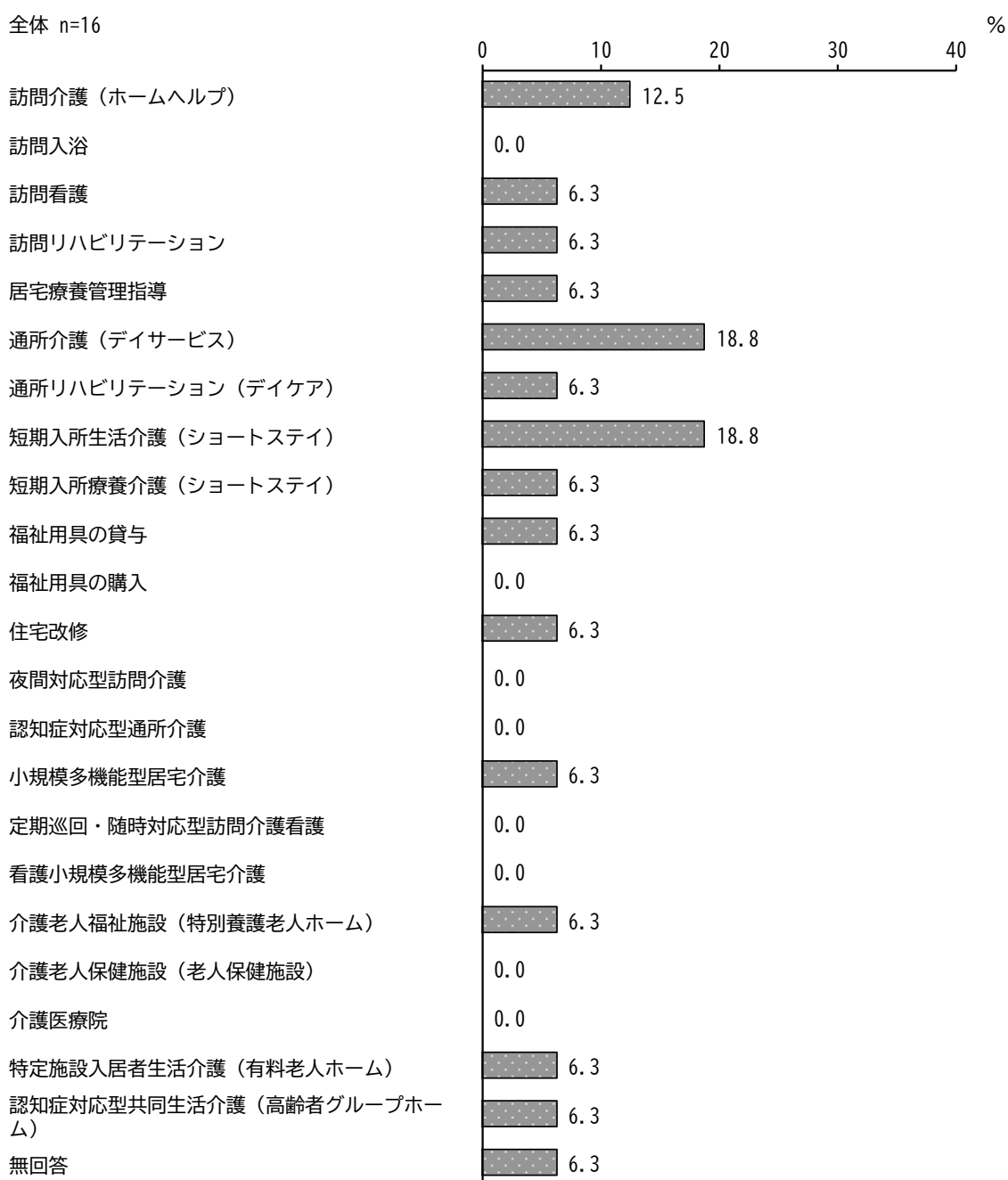
【問12で「希望どおりには利用できていない」の方のみ】

問12-1 希望したけれど利用できなかったサービスは何ですか
（あてはまるものすべてに回答）

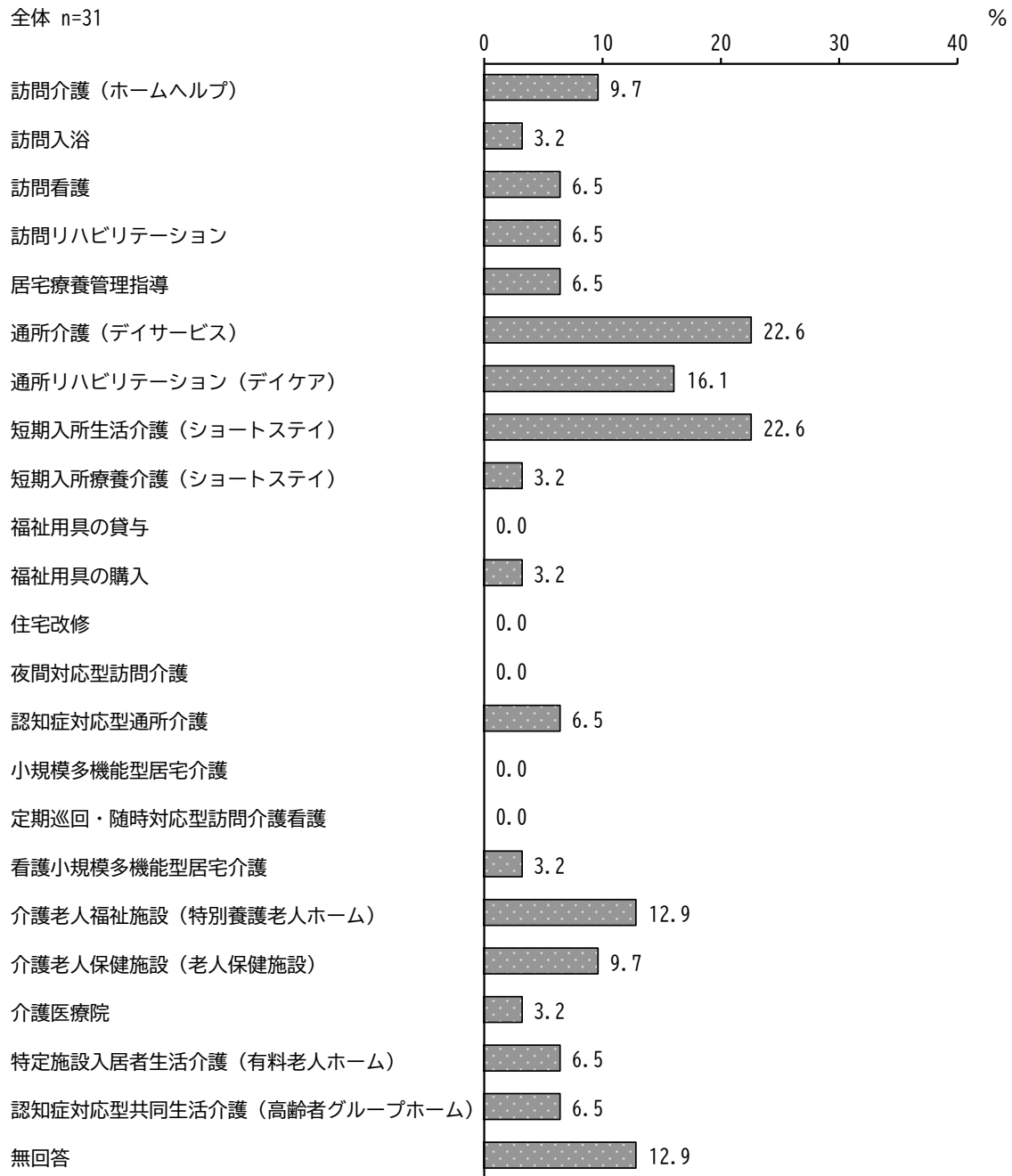
「通所介護（デイサービス）」、「短期入所生活介護（ショートステイ）」の割合が18.8%と最も高く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」の割合が12.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「福祉用具の貸与」（6.3ポイント）「住宅改修」（6.3ポイント）「小規模多機能型居宅介護」（6.3ポイント）の割合が増加しています。一方、「通所リハビリテーション（デイケア）」（9.8ポイント）「認知症対応型通所介護」（6.5ポイント）「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」（6.6ポイント）「介護老人保健施設（老人保健施設）」（9.7ポイント）の割合が減少しています。

【令和7年度調査】



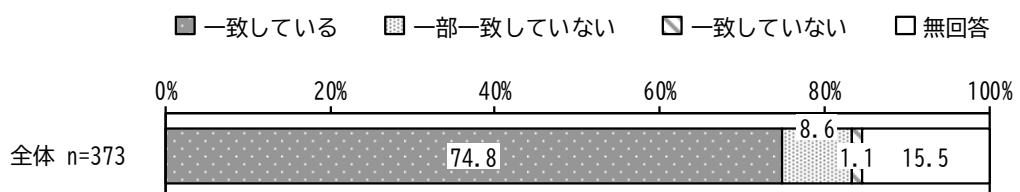
【令和4年度調査】



問13 あなたは、利用したいサービスと、現在利用しているサービスは一致していますか（回答は1つ）

「一致している」の割合が74.8%、「一部一致していない」の割合が8.6%、「一致していない」の割合が1.1%となっています。

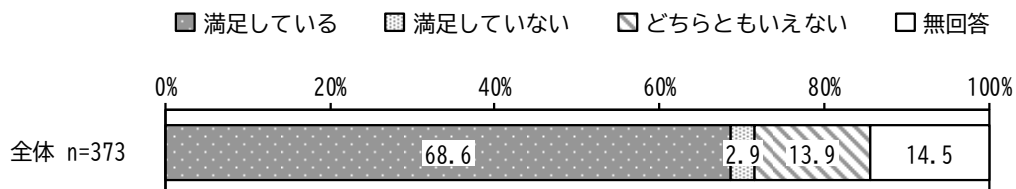
【令和7年度調査】



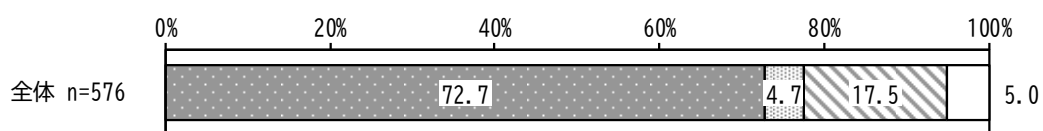
問 14 あなたは、提供を受けているサービスに満足していますか（回答は1つ）

「満足している」の割合が 68.6%、「満足していない」の割合が 2.9%、「どちらともいえない」の割合が 13.9%となっています。

【令和7年度調査】

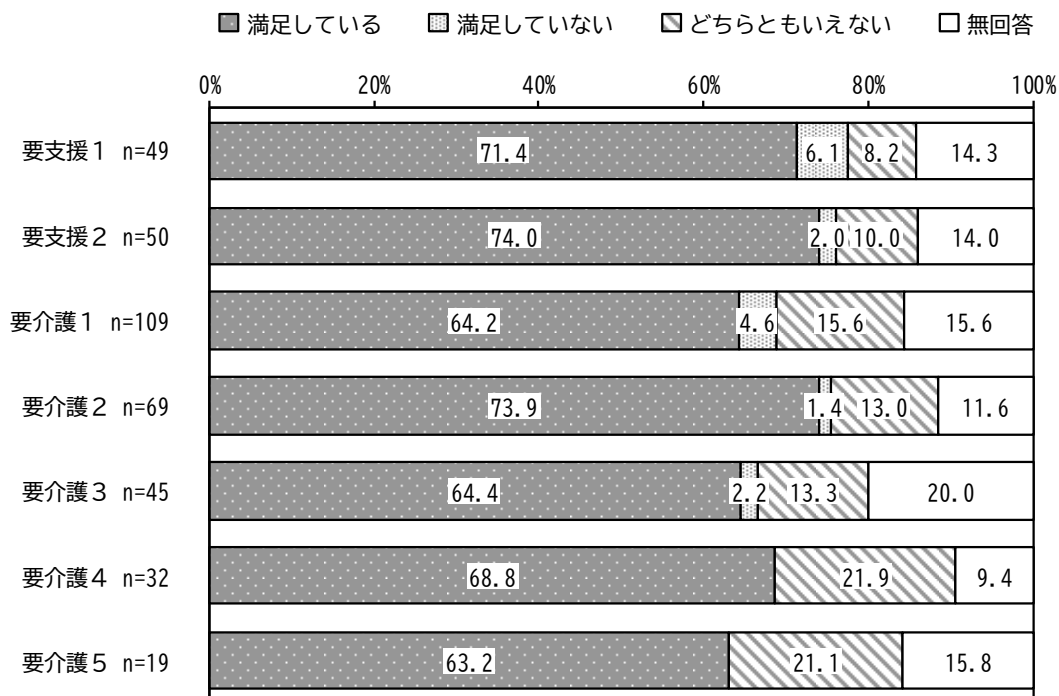


【令和4年度調査】



【要介護度別】

要介護度別にみると、要支援2、要介護2で「満足している」、要介護4、要介護5で「どちらともいえない」の割合が高くなっています。



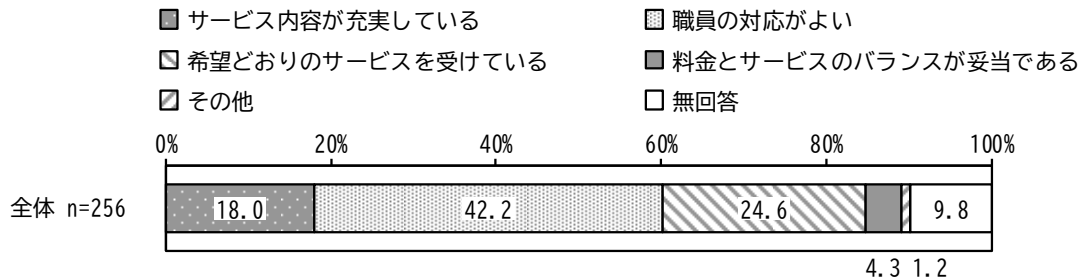
【問 14 で「満足している」の方のみ】

問 14-1 あなたが満足に思われる点は、どのようなことですか（回答は1つ）

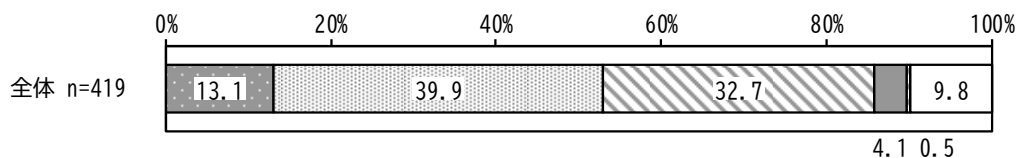
「職員の対応がよい」の割合が 42.2%と最も高く、次いで「希望どおりのサービスを受けている」の割合が 24.6%、「サービス内容が充実している」の割合が 18.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「希望どおりのサービスを受けている」の割合が 8.1ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



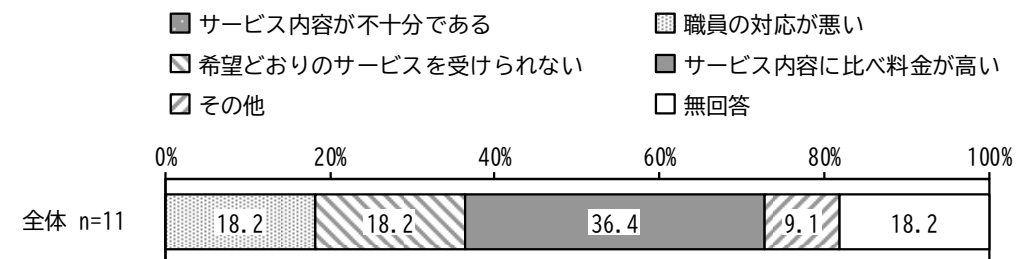
【問 14 で「満足していない」の方のみ】

問 14-2 あなたが不満に思われる点は、どのようなことですか（回答は1つ）

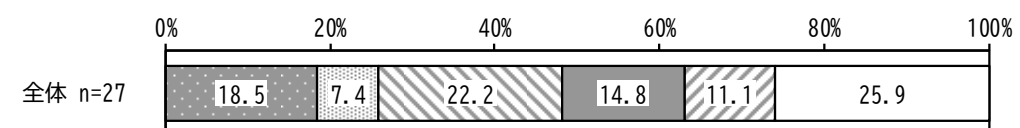
「サービス内容に比べ料金が高い」の割合が 36.4%と最も高く、次いで「職員の対応が悪い」、「希望どおりのサービスを受けられない」の割合が 18.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「職員の対応が悪い」の割合が 10.8ポイント、「サービス内容に比べ料金が高い」の割合が 21.6ポイント増加しています。一方、「サービス内容が不十分である」の割合が 18.5ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



（3）サービス全般について

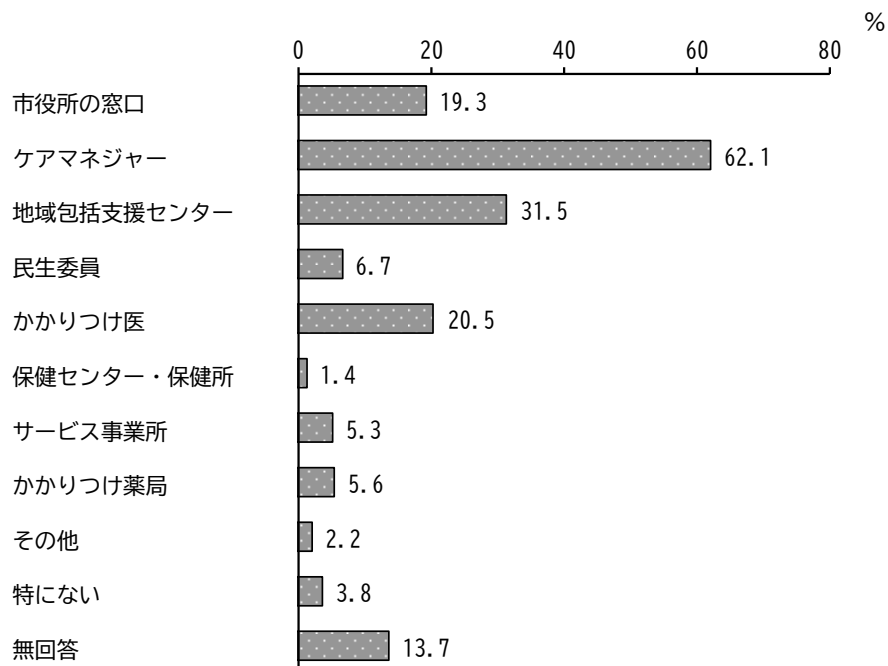
問 15 介護保険制度をはじめとする、各種高齢者制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいところを教えてください（あてはまるものすべてに回答）

「ケアマネジャー」の割合が 62.1%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が 31.5%、「かかりつけ医」の割合が 20.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「地域包括支援センター」の割合が 5.9 ポイント増加しています。一方、「ケアマネジャー」の割合が 5.1 ポイント減少しています。

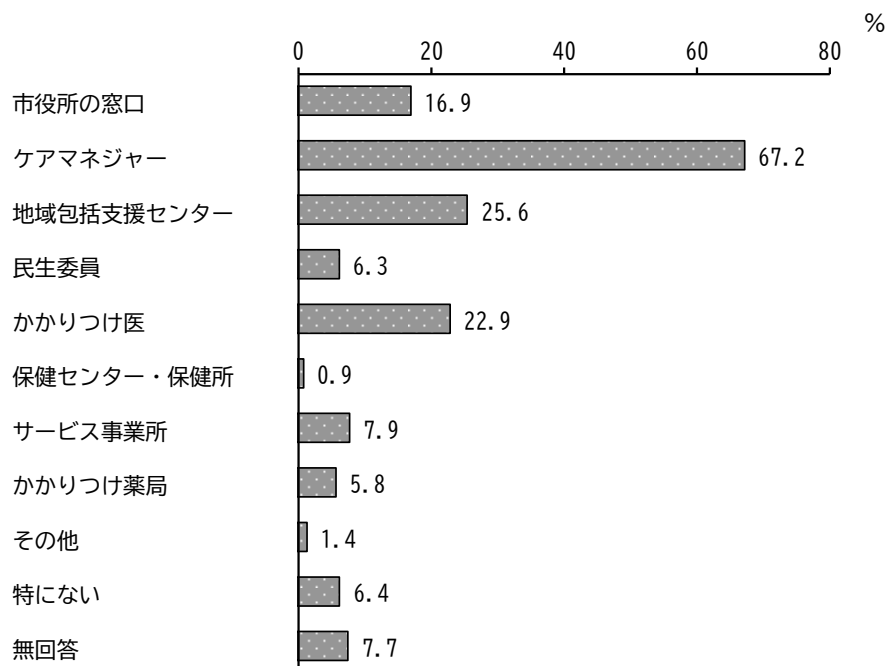
【令和7年度調査】

全体 n=585



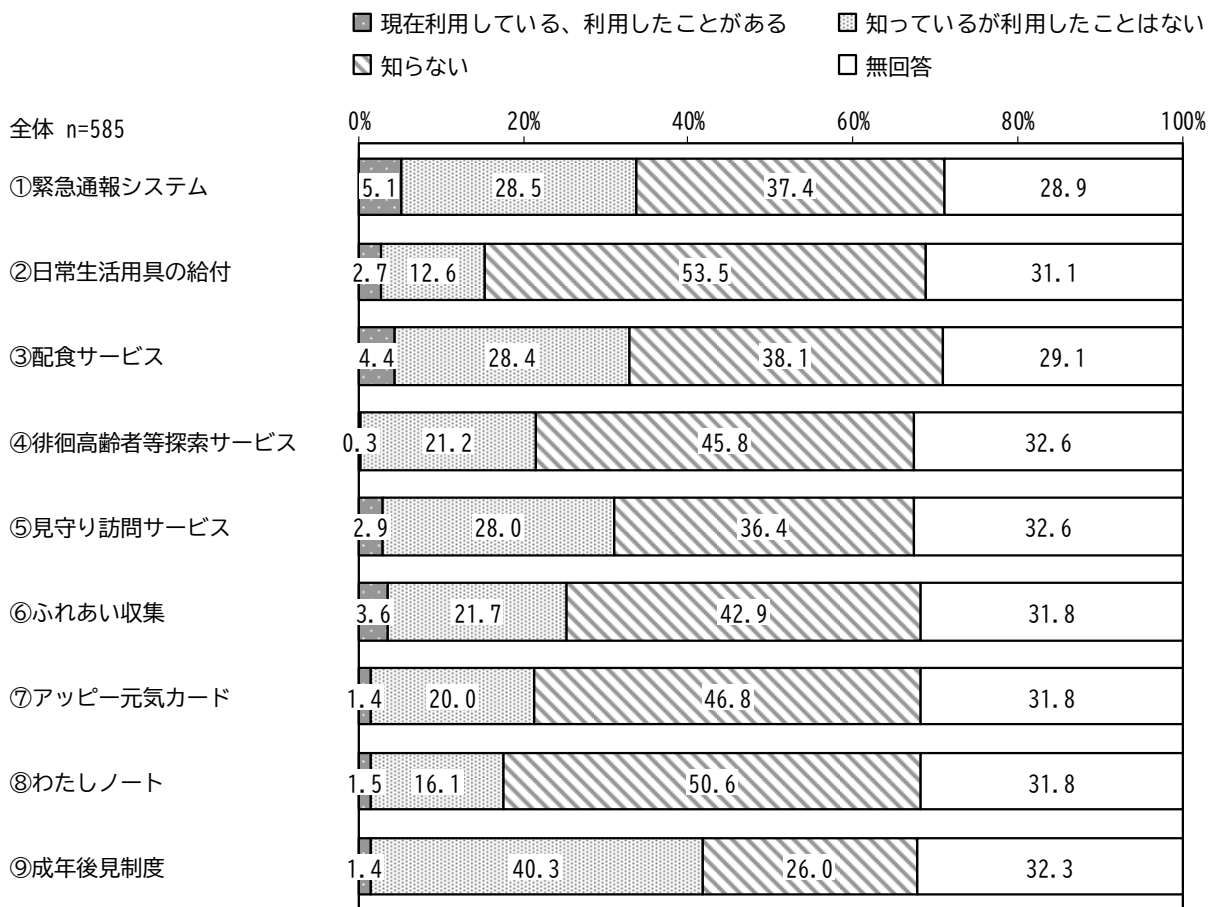
【令和4年度調査】

全体 n=927



問16 あなたは、次の制度やサービスを利用したことがありますか（それぞれ回答は1つ）

『①緊急通報システム』で「現在利用している、利用したことがある」が、『⑨成年後見制度』で「知っているが利用したことはない」が高くなっています。

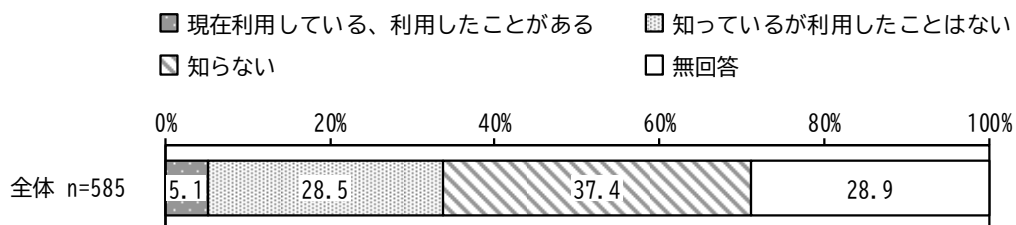


①緊急通報システム

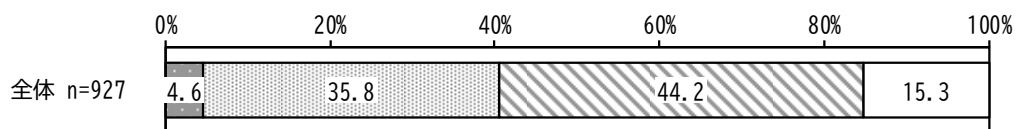
「現在利用している、利用したことがある」の割合が 5.1%、「知っているが利用したことはない」の割合が 28.5%、「知らない」の割合が 37.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「知っているが利用したことはない」の割合が 7.3 ポイント、「知らない」の割合が 6.8 ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

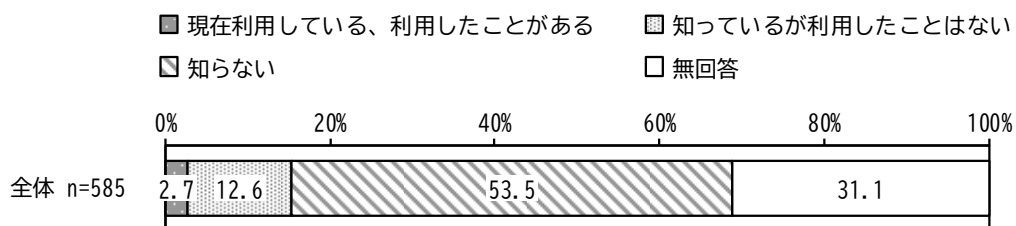


②日常生活用具の給付

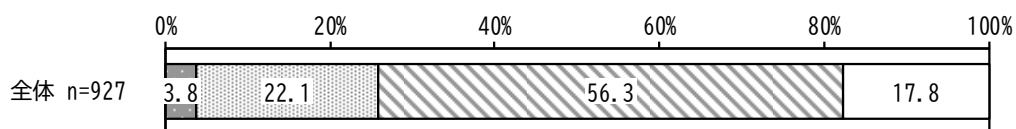
「現在利用している、利用したことがある」の割合が 2.7%、「知っているが利用したことはない」の割合が 12.6%、「知らない」の割合が 53.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「知っているが利用したことはない」の割合が 9.5 ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

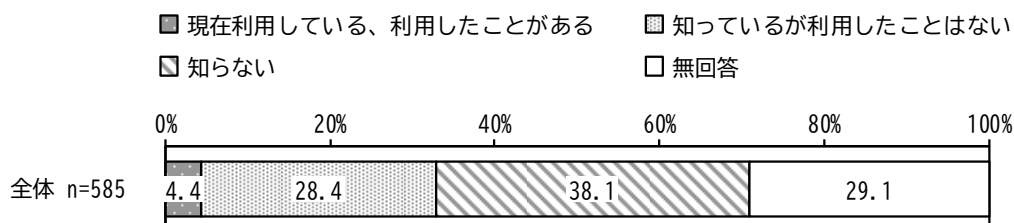


③配食サービス

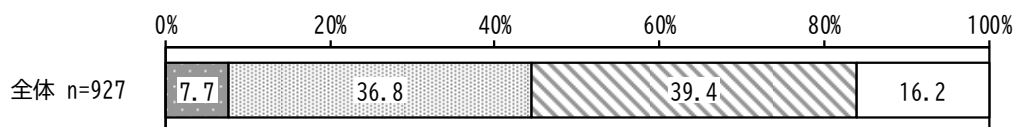
「現在利用している、利用したことがある」の割合が 4.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が 28.4%、「知らない」の割合が 38.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「知っているが利用したことはない」の割合が 8.4 ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

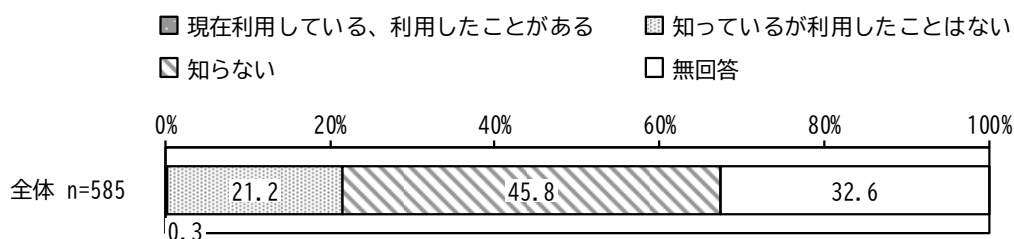


④徘徊高齢者等探索サービス

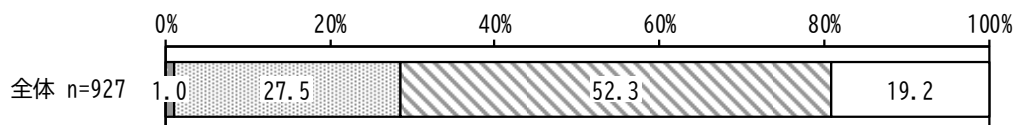
「現在利用している、利用したことがある」の割合が 0.3%、「知っているが利用したことはない」の割合が 21.2%、「知らない」の割合が 45.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「知っているが利用したことはない」の割合が 6.3 ポイント、「知らない」の割合が 6.5 ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

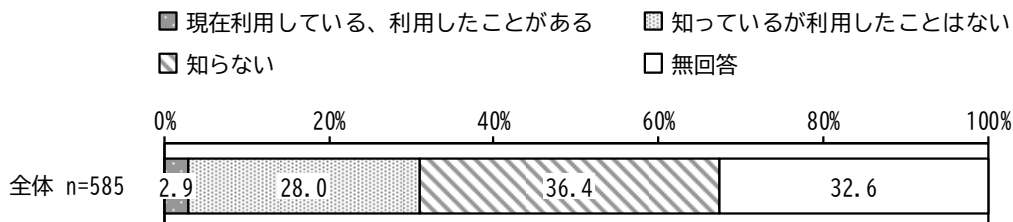


⑤見守り訪問サービス

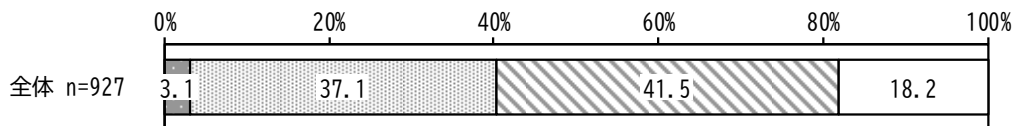
「現在利用している、利用したことがある」の割合が 2.9%、「知っているが利用したことはない」の割合が 28.0%、「知らない」の割合が 36.4%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「知っているが利用したことはない」の割合が 9.1 ポイント、「知らない」の割合が 5.1 ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

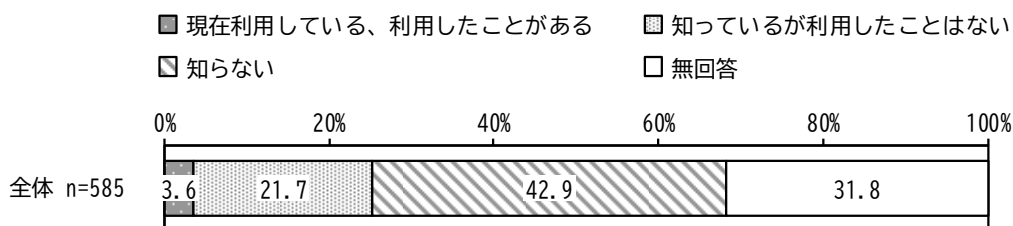


⑥ふれあい収集

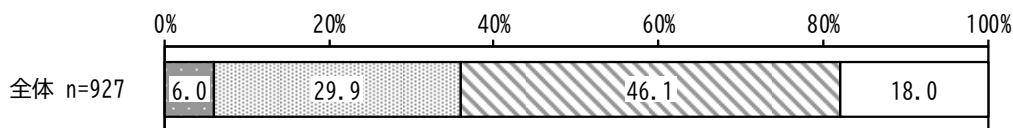
「現在利用している、利用したことがある」の割合が 3.6%、「知っているが利用したことはない」の割合が 21.7%、「知らない」の割合が 42.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「知っているが利用したことはない」の割合が 8.2 ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



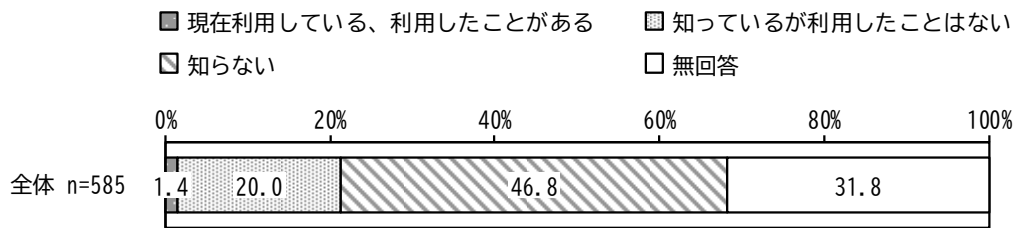
【令和4年度調査】



⑦アッピー元気カード

「現在利用している、利用したことがある」の割合が 1.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が 20.0%、「知らない」の割合が 46.8%となっています。

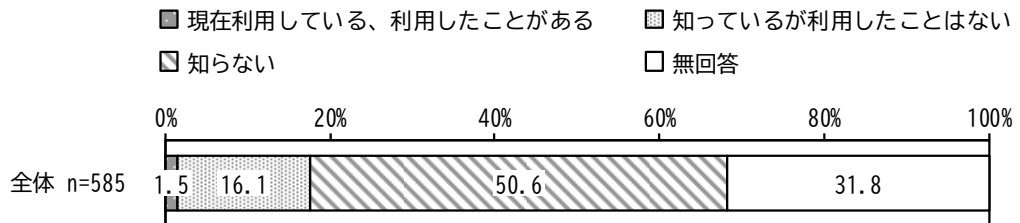
【令和7年度調査】



⑧わたしノート

「現在利用している、利用したことがある」の割合が 1.5%、「知っているが利用したことはない」の割合が 16.1%、「知らない」の割合が 50.6%となっています。

【令和7年度調査】

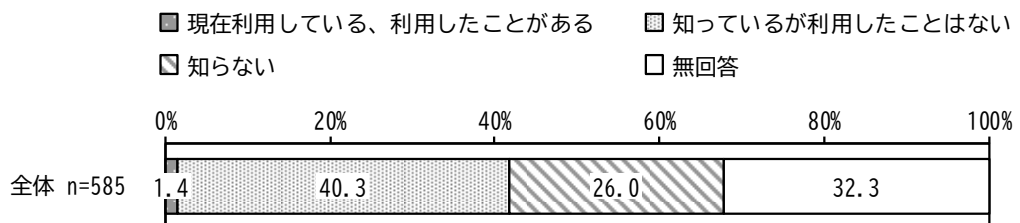


⑨成年後見制度

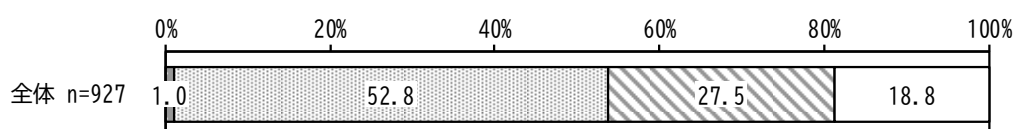
「現在利用している、利用したことがある」の割合が 1.4%、「知っているが利用したことはない」の割合が 40.3%、「知らない」の割合が 26.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「知っているが利用したことはない」の割合が 12.5 ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

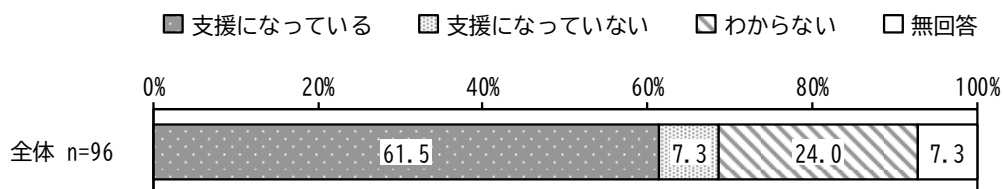


【問 16 で一つでも「現在利用している、利用したことがある」とご回答された方のみ】

問 17 上記サービスは、自宅での生活を続けるための支援になっていますか(回答は1つ)

「支援になっている」の割合が 61.5%、「支援になっていない」の割合が 7.3%となっています。

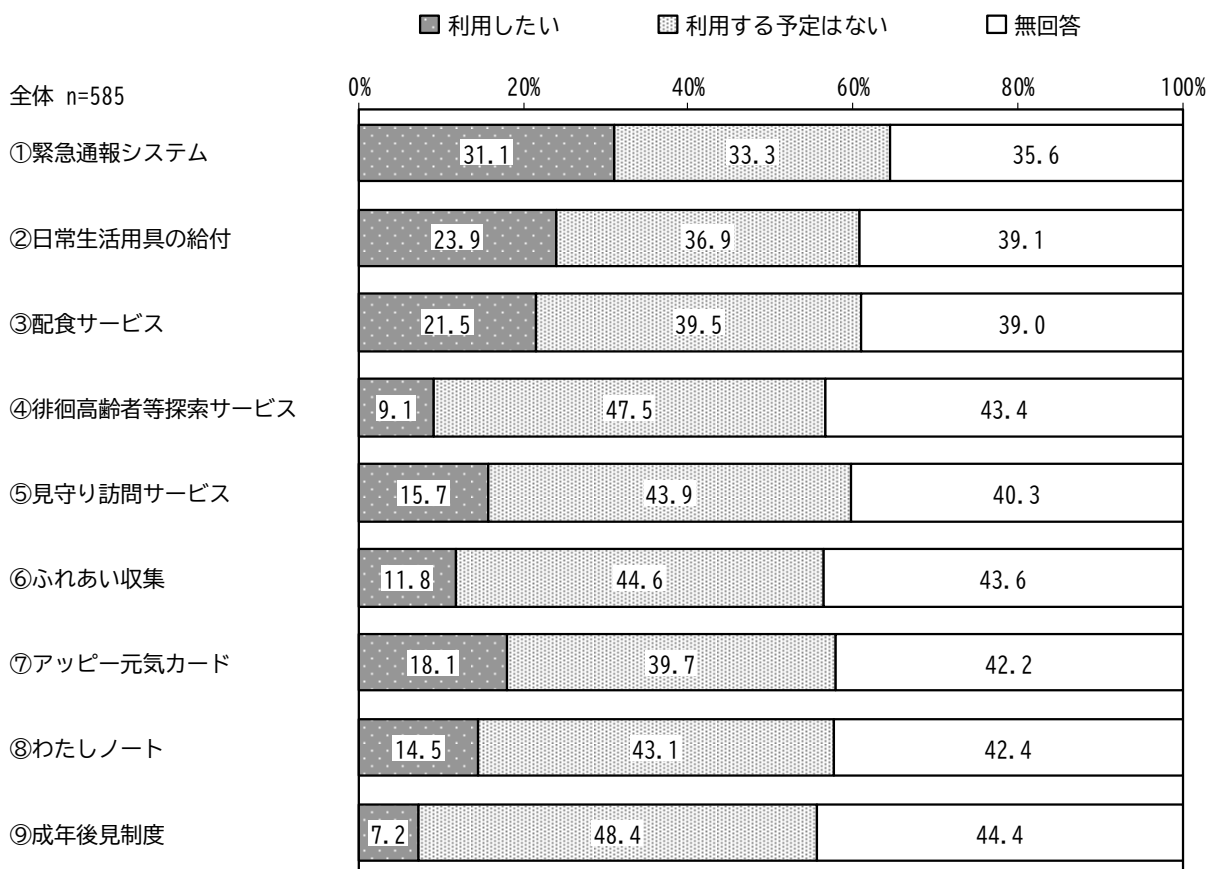
【令和7年度調査】



問 18 あなたは、次の介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスを今後利用したいと思いませんか（それぞれ回答は1つ）

『①緊急通報システム』で「利用したい」が、『⑨成年後見制度』で「利用する予定はない」が高くなっています。

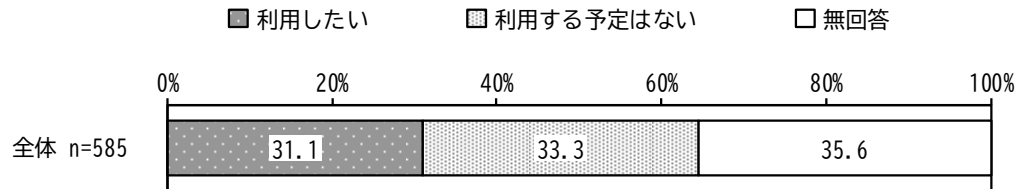
【令和7年度調査】



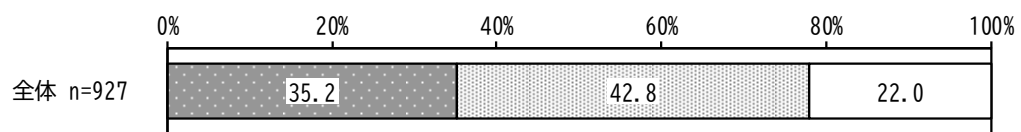
①緊急通報システム

「利用したい」の割合が31.1%、「利用する予定はない」の割合が33.3%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「利用する予定はない」の割合が9.5ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



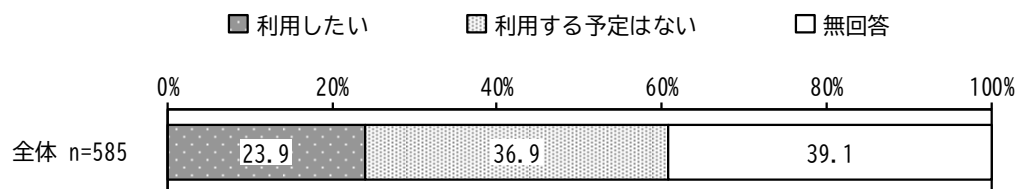
【令和4年度調査】



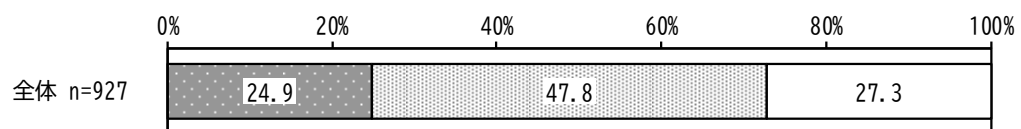
②日常生活用具の給付

「利用したい」の割合が23.9%、「利用する予定はない」の割合が36.9%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「利用する予定はない」の割合が10.9ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



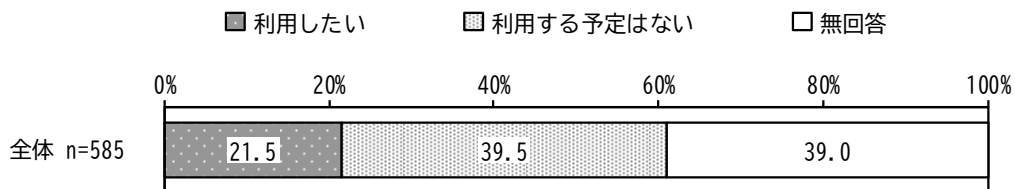
【令和4年度調査】



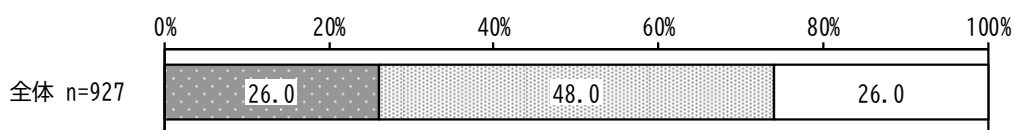
③配食サービス

「利用したい」の割合が21.5%、「利用する予定はない」の割合が39.5%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「利用する予定はない」の割合が8.5ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



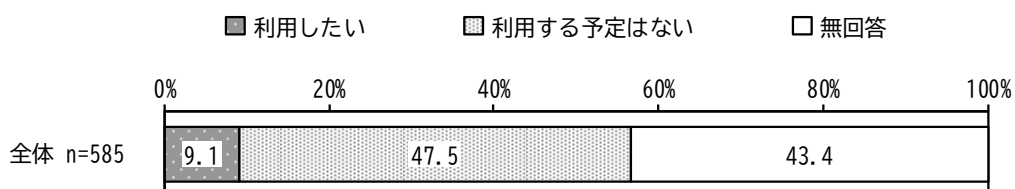
【令和4年度調査】



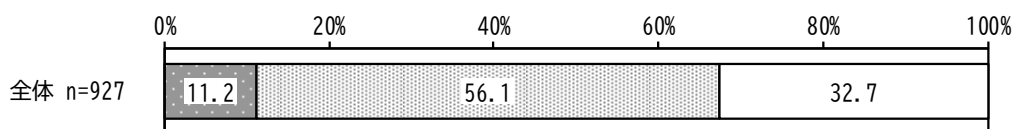
④徘徊高齢者等探索サービス

「利用したい」の割合が9.1%、「利用する予定はない」の割合が47.5%となっています。
 令和4年度調査と比較すると、「利用する予定はない」の割合が8.6ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



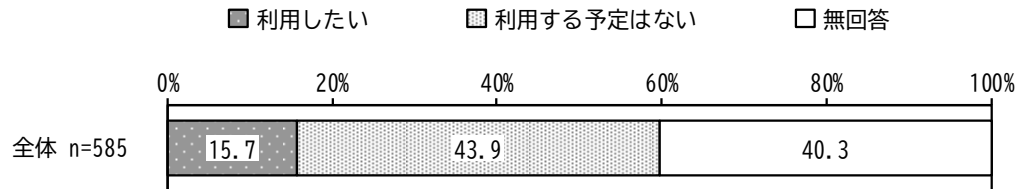
【令和4年度調査】



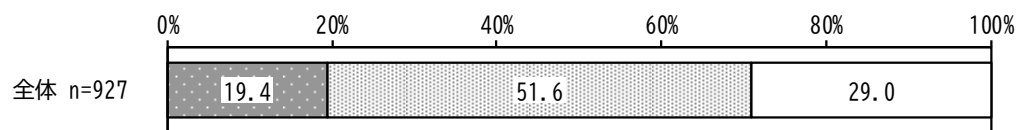
⑤見守り訪問サービス

「利用したい」の割合が15.7%、「利用する予定はない」の割合が43.9%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「利用する予定はない」の割合が7.7ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



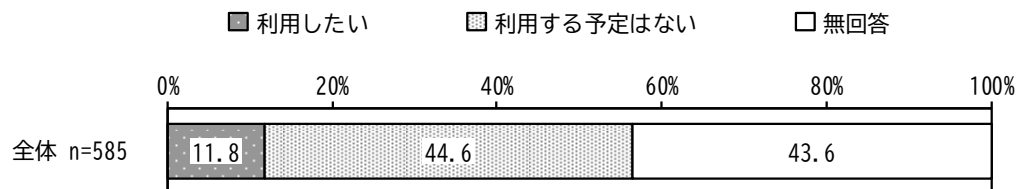
【令和4年度調査】



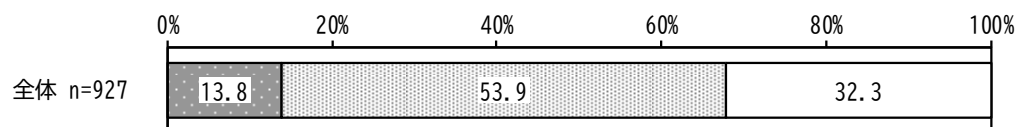
⑥ふれあい収集

「利用したい」の割合が11.8%、「利用する予定はない」の割合が44.6%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「利用する予定はない」の割合が9.3ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

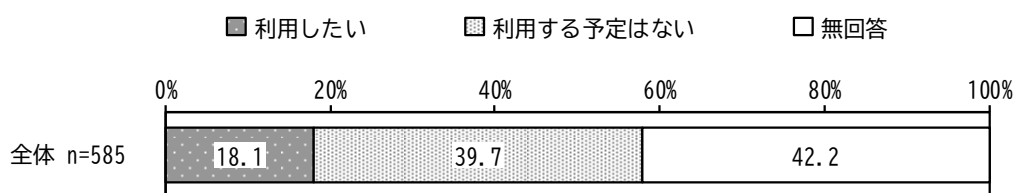


IV 調査結果（在宅介護実態調査）

⑦アッピー元気カード

「利用したい」の割合が18.1%、「利用する予定はない」の割合が39.7%となっています。

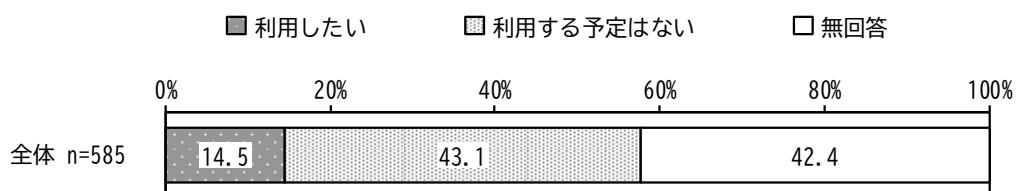
【令和7年度調査】



⑧わたしノート

「利用したい」の割合が14.5%、「利用する予定はない」の割合が43.1%となっています。

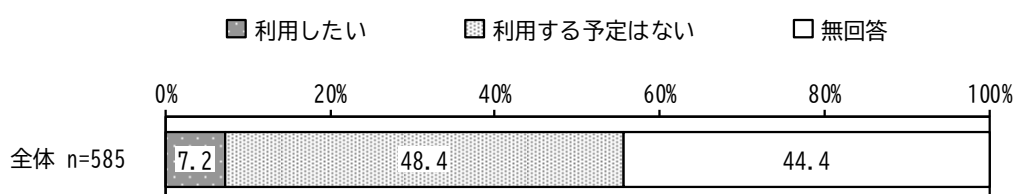
【令和7年度調査】



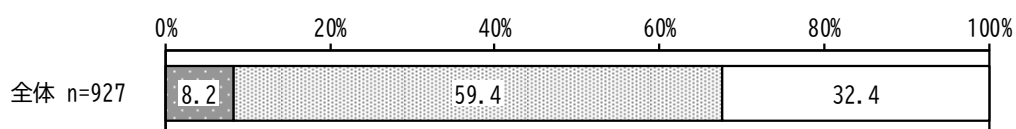
⑨成年後見制度

「利用したい」の割合が7.2%、「利用する予定はない」の割合が48.4%となっています。
令和4年度調査と比較すると、「利用する予定はない」の割合が11ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

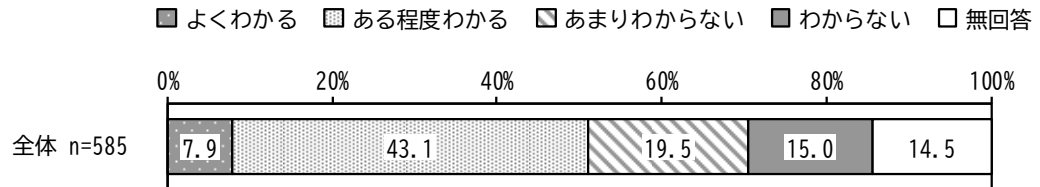


（４）災害時の行動について

問 19 災害が発生したときに、どんな避難行動をすればよいかわかりますか？

「よくわかる」の割合が7.9%、「ある程度わかる」の割合が43.1%、「あまりわからない」の割合が19.5%となっています。

【令和7年度調査】



問 20 市の高齢者福祉サービスや介護保険サービスについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください

【主なご意見】

- ・高齢者福祉サービスと介護保険サービスの違いがよくわかりにくく、種類のにはいろいろあり、言葉も似ているのでサービス内容を理解するのが大変である。
- ・各種サービスは全ての人に該当する訳ではないと思う。こちらから問合せをしないとわからないのではなく、該当者へ面倒でも、役所側から発信するような体制にしてほしい。
- ・福祉サービスの内容をほぼ知らない。知らない人は多いと思う。例えば、毎月市民に配布される広報誌に紙面をさいて、少しずつ、どんなサービスがあって、どう使えるのかなどを載せてはどうか。一面を使用するのは無理だと思うが、ワンカットずつ、長期で載せるのはどうか。
- ・福祉の人が3年位すると自宅へ検査に来てくれるが、来た人によって見る目が違うと1回目、2回目とは同じでも、3回目には1ランク下になってしまう事もある。デイサービスには2回位行きたいと思っても、検査の見る目によって行けなくなるのは淋しい。
- ・本格的な老老介護が始まったばかりで、これからいろいろ相談することが出てくると思う。病院への送迎がスムーズに利用できるとよい。（介護者の運転免許返納が現実問題）
- ・通院等でタクシーを利用しなくてはならず、出費が高い。他の病院、耳鼻科に行きたいが、連れてなかなかいけない。
- ・紙オムツ代が非常にかかるため、トイレ介護（紙オムツ）が必要な人に補助があると助かる。
- ・いわゆる老老介護の世帯。現在は日常の生活の維持ができることを念頭に頑張って生活している。家事全般の事や夫の通院の同行、世話を含めて、年々できることが狭まってきて大変になってきている。現在、一番不安に思っていることは、緊急な事柄が生じた場合、どのように対処できるか心配している。上記のためにも介護サービス制度について詳しく内容を知りたいと思っている。
- ・避難先での過ごし方にとっても不安がある。両膝に人工関節が入っているため、床に座ったり、床に寝起きをすることができない。ベッドのような高さのあるものが配布されるのか。でも、優先して配布されるとは限らないと思っている。
- ・現在デイサービスを利用しているが、満足している。ただし施設によっては職員数が少ないと感じるところがある。もう少し増員できるのか。

V 調査結果（事業所調査）

V 調査結果（事業所調査）

1 調査結果の概要

(1) 事業所について

- 居場所を変更した介護サービス利用者は、「要介護2」「要介護3」の人と多く、市内では「介護老人保健施設」、市外では「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）」への移行が目立ちます。（在宅生活改善調査（国が示した調査項目）問2、3）
- 事業所は通所系・訪問系が増加し、施設・居住系が減少しており、地域での在宅支援の比重が高まっています。（介護人材実態調査（国が示した調査項目）問1）
- 採用は若年層中心だが、離職は中高年層に多く、特に在宅サービスでは50～60代の出入りが目立ち、人材の安定確保が課題と考えられます。（介護人材実態調査（国が示した調査項目）問2-4）

(2) 利用者について

- 利用者は独居が半数（50.7%）を占め、夫婦のみ世帯や単身の子供との同居は減少しており、地域での単身高齢者支援の重要性が高まっています。（在宅生活改善調査（国が示した調査項目）（利用者票）問1-1）
- 認知症悪化や身体介護量の増大が生活維持困難の主因となっています。改善策としては、「より適切な「住まい・施設等」に変更する」の割合が61.0%と最も高くなっていますが、申込未実施が多い点は支援体制の課題と考えられます。（在宅生活改善調査（国が示した調査項目）（利用者票）問2-1、3-1、3-4、3-5）

(3) 入所・入居者について

- 入所者は要介護3・4が中心で、喀痰吸引や経管栄養など医療的ケアを必要とする人が多く、重度化が進んでいます。（居所変更実態調査（国が示した調査項目）問3、4）
- 新規入所者は市内外とも自宅からの入所が多く、在宅生活の限界が背景にあると考えられます。（居所変更実態調査（国が示した調査項目）問6）

(4) 現在の介護人材の状況について

- 介護人材は多くの職種で不足感が強まり、特に在宅・施設ともに介護職員や訪問介護員の不足が顕著となっています。背景には採用難があり、賃金水準の低さや業務の負担感、同業他社との競争激化が指摘されています。離職理由としては、在宅では業務負担や事務量、職員の高齢化が、施設では人間関係の問題が大きくなっています。人材確保と定着のためには処遇改善、働きやすい環境整備、業務負担軽減が重要となります。（各調査共通項目（市の独自調査項目）問1～4）

(5) 認知症施策について

- 認知症支援に「困っている」と回答した割合は居宅・在宅・施設のいずれでも6～7割を占め、現場の負担感は大きくなっています。（各調査共通項目（市の独自調査項目）問11）
- 市への要望としては、家族へのフォローアップが最も多く、徘徊探索支援や居場所づくりなど、地域で安心して暮らし続けるための支援強化が期待されています。（各調査共通項目（市の独自調査項目）問13）

（6）成年後見制度について

- 成年後見制度の利用者は全体的に少なく、特に在宅サービスでは相談件数も限られており、制度の活用が進んでいない実態がみられます。（各調査共通項目（市の独自調査項目）問 14）
- 必要と思われる理由として「親族の支援が見込めない」が多く、単身高齢者の増加が背景にあると考えられます。（各調査共通項目（市の独自調査項目）問 17）
- 市への要望では普及啓発や報酬助成の拡充が多く、現場では研修の必要性も高まっています。（各調査共通項目（市の独自調査項目）問 18、19）

（7）その他

- 生産性向上の取組は 6 割超で実施され、一定の効果を感じる声もあるが、改善実感は限定的で継続的な支援がもとめられます。（各調査共通項目（市の独自調査項目）問 22、23）
- 災害・感染症対策は多くの事業所で計画策定・体制整備が進むが、施設系では「十分に整備」が 1 割にとどまり、支援の必要性が高い。（各調査共通項目（市の独自調査項目）問 25）

2 在宅生活改善調査（国が示した調査項目）

（1）事業所について

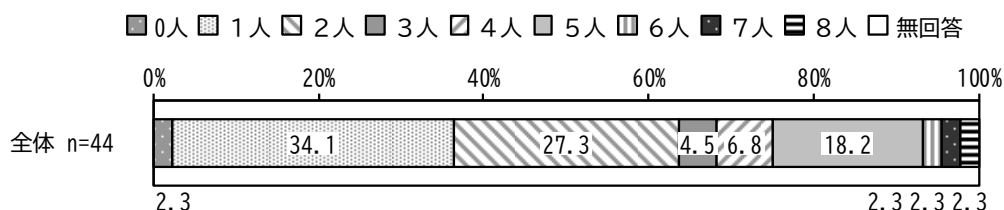
問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

① 所属するケアマネジャーの人数

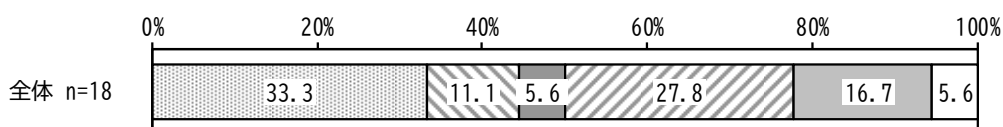
「1人」の割合が34.1%と最も高く、次いで「2人」の割合が27.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「2人」の割合が16.2ポイント増加しています。一方、「4人」の割合が21.0ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

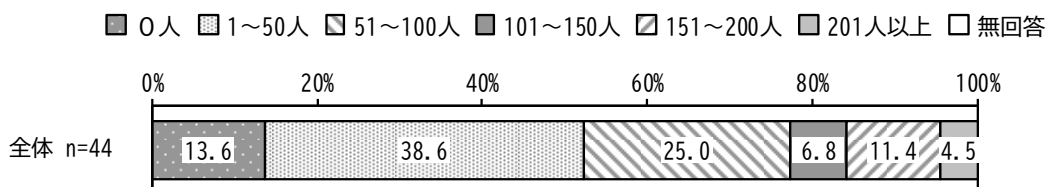


② 「自宅等（「③」を除く）」にお住まいの利用者数

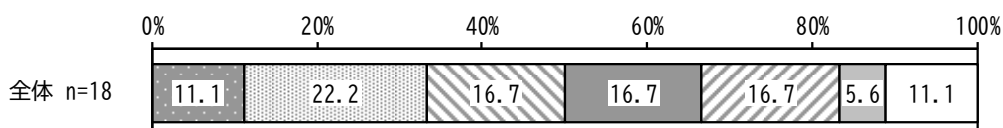
「1～50人」の割合が38.6%と最も高く、次いで「51～100人」の割合が25.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「1～50人」の割合が16.4ポイント、「51～100人」の割合が8.3ポイント増加しています。一方、「101～150人」の割合が9.9ポイント、「151～200人」の割合が5.3ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

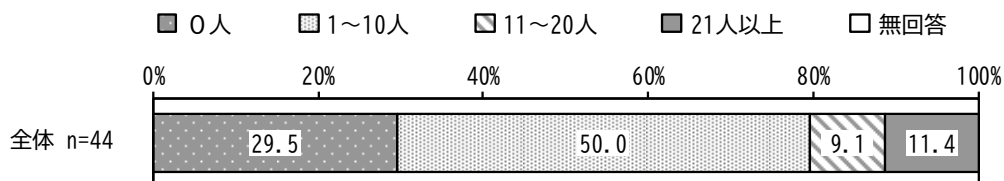


③ 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数

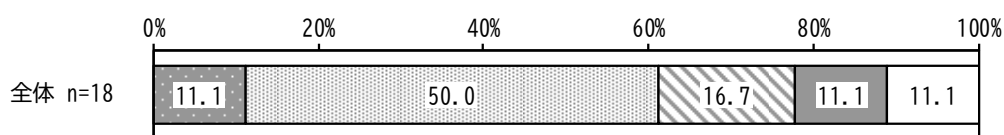
「1～10人」の割合が50.0%と最も高く、次いで「0人」の割合が29.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「0人」の割合が18.4ポイント増加しています。一方、「11～20人」の割合が7.6ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



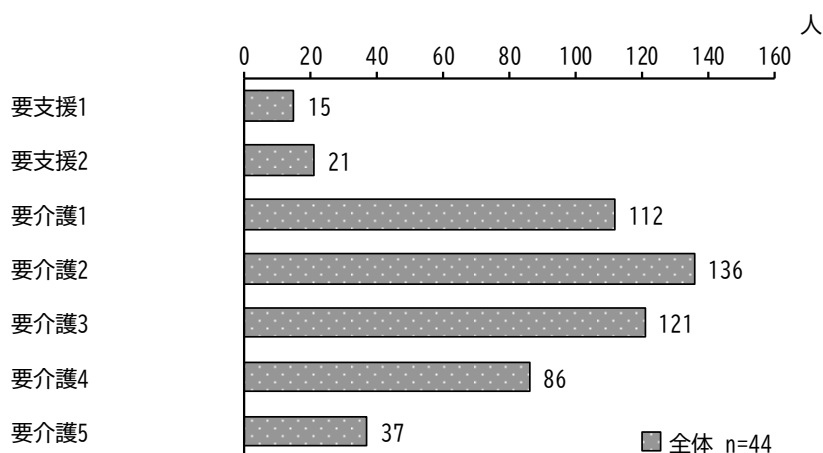
【令和4年度調査】



問2 貴事業所において、過去1年の間（令和6年11月1日～令和7年11月1日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を要介護度別にご記入ください。

※ 一時的に入院して自宅に戻った方、現在入院中の方は含めないでください。

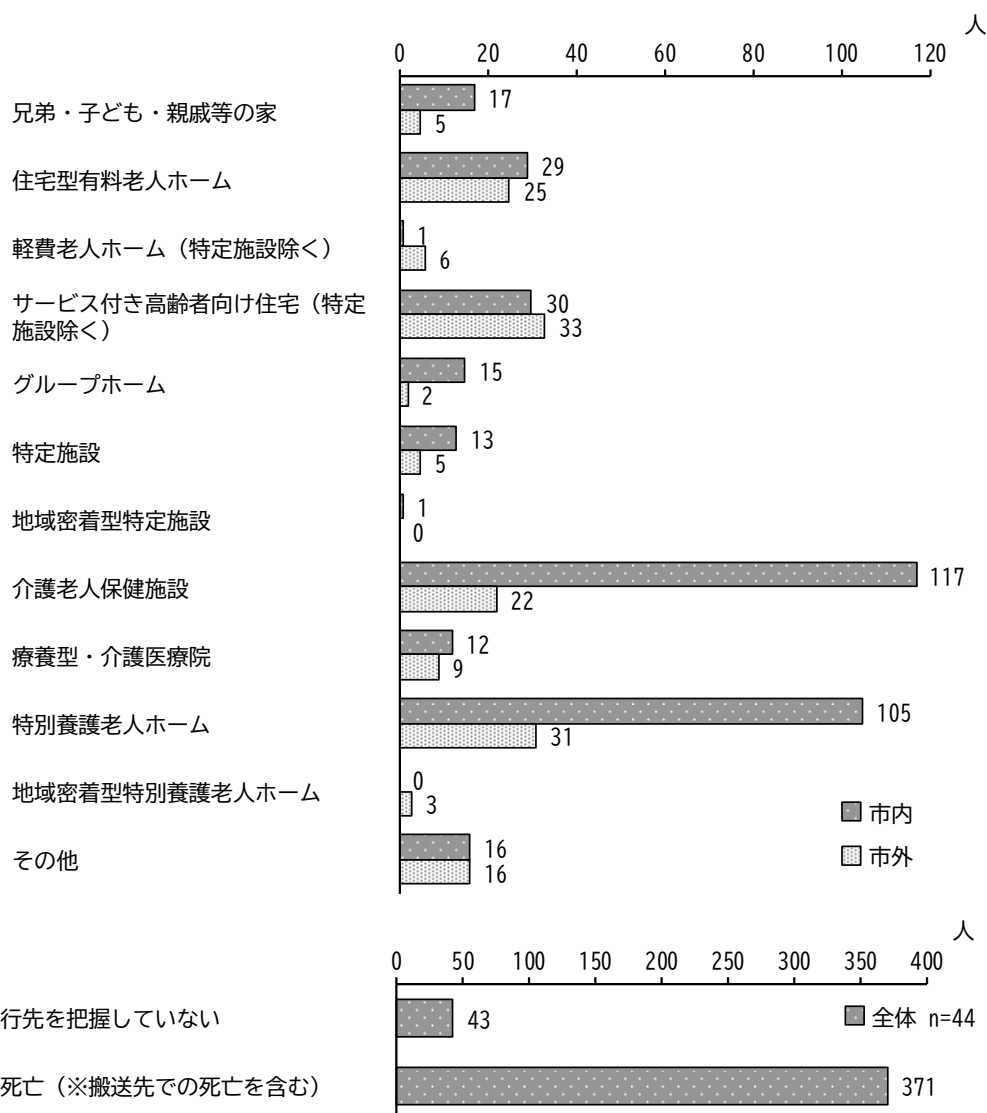
「要介護2」が136人と最も多く、次いで「要介護3」が121人となっています。



問3 貴事業所において、過去1年の間（令和6年11月1日～令和7年11月1日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数」を行き先別に記入ください。
 ※ 一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。

市内では、「介護老人保健施設」が117人と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が105人となっています。また、市外では、「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）」が33人と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が31人となっています。

なお、「行先を把握していない」が43人、「死亡（※搬送先での死亡を含む）」が371人となっています。



（２）利用者について（利用者票）

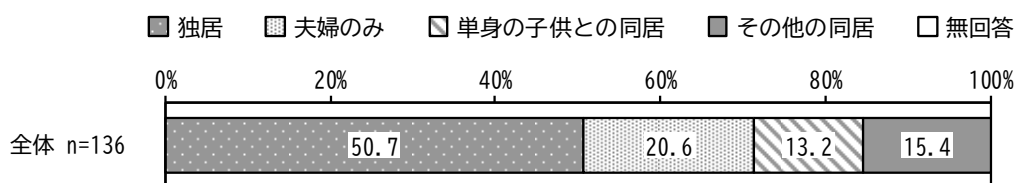
【１．対象となる利用者の状況等について】

問１－１ 世帯類型（番号１つ選択記入）

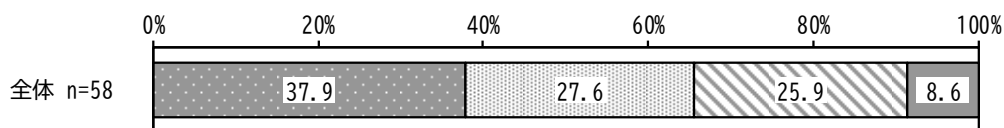
「独居」の割合が50.7%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が20.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「独居」の割合が12.8ポイント、「その他の同居」の割合が6.8ポイント増加しています。一方、「夫婦のみ」の割合が7.0ポイント、「単身の子供との同居」の割合が12.7ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

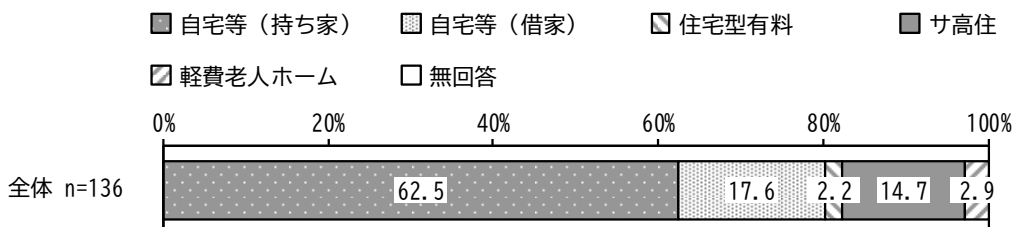


問１－２ 現在の居所（番号１つ選択記入）

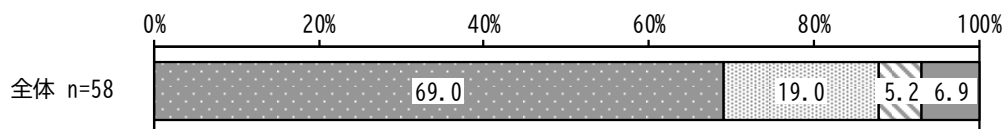
「自宅等（持ち家）」の割合が62.5%と最も高く、次いで「自宅等（借家）」の割合が17.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「サ高住」の割合が7.8ポイント増加しています。一方、「自宅等（持ち家）」の割合が6.5ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



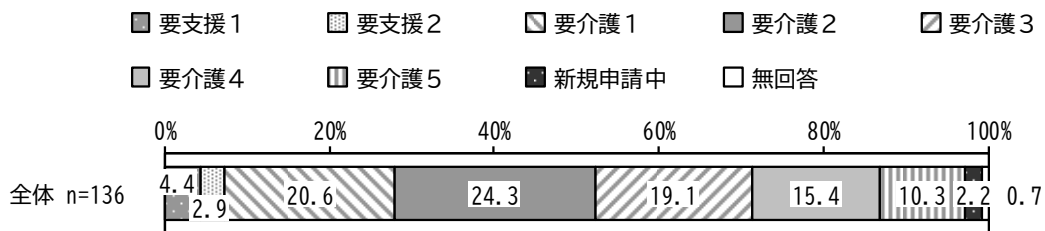
【令和4年度調査】



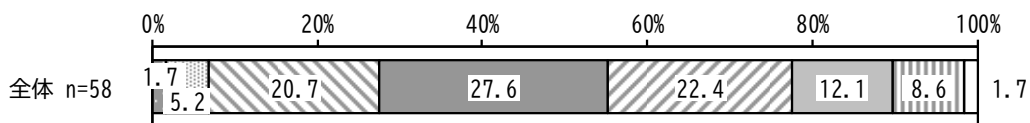
問1-3 要支援・要介護度（番号1つ選択記入）

「要介護2」の割合が24.3%と最も高く、次いで「要介護1」の割合が20.6%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

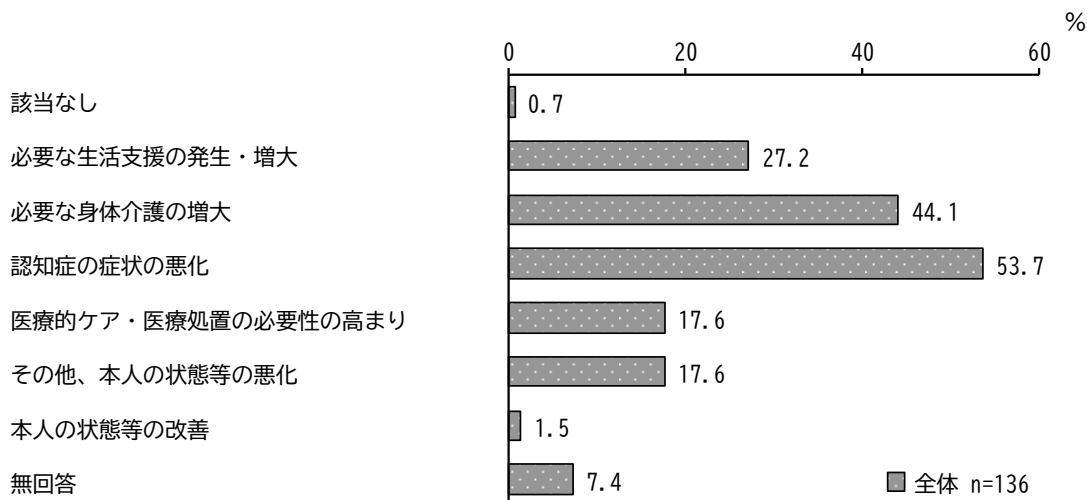


【2. 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由について】

現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください

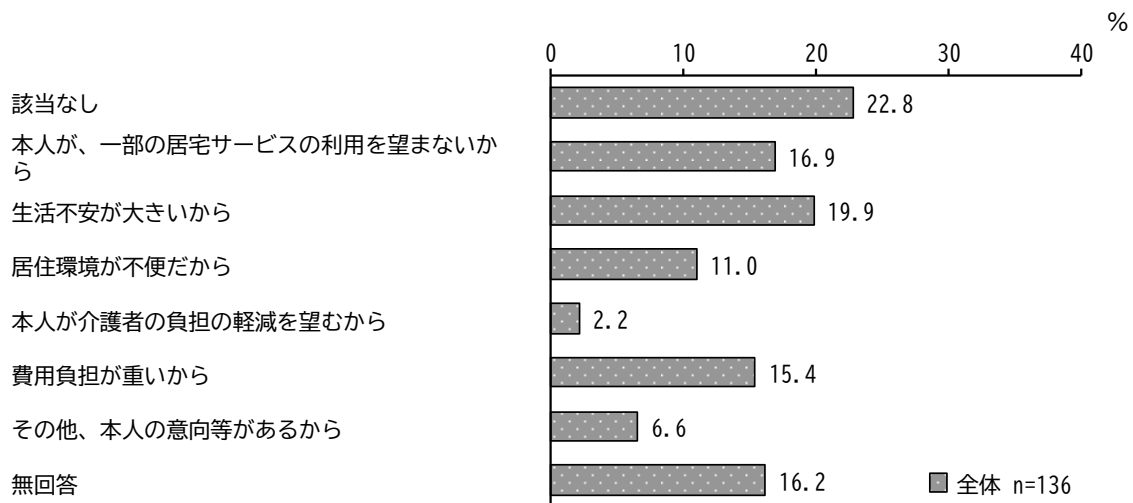
問2-1 本人の状態等に属する理由について、お答えください
(あてはまる番号すべて選択記入)

「認知症の症状の悪化」の割合が53.7%と最も高く、次いで「必要な身体介護の増大」の割合が44.1%となっています。



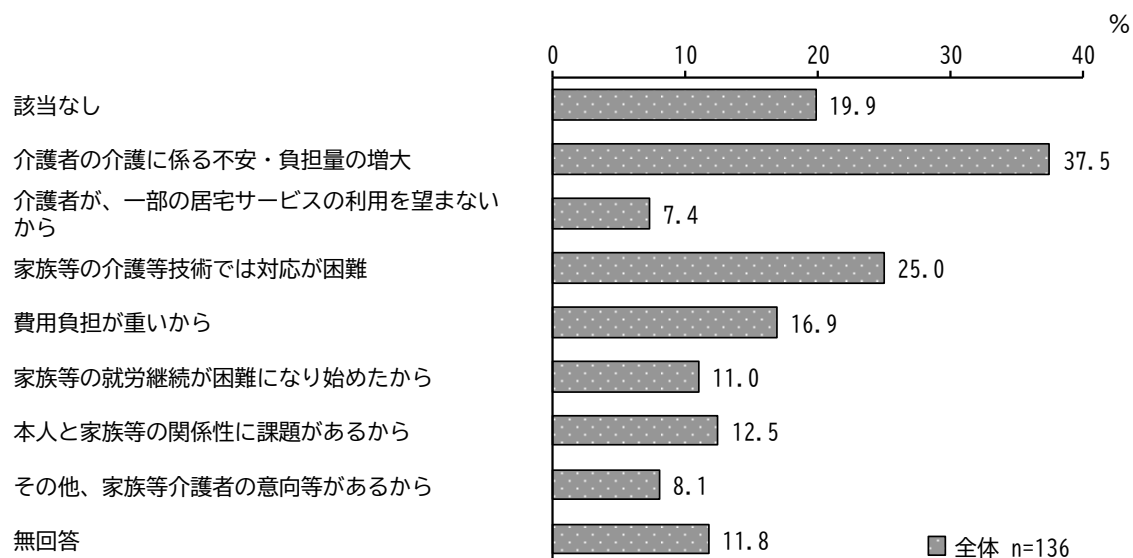
問2-2 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください
（あてはまる番号すべて選択記入）

「生活不安が大きいから」の割合が19.9%と最も高く、次いで「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」の割合が16.9%となっています。



問2-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください
（あてはまる番号すべて選択記入）

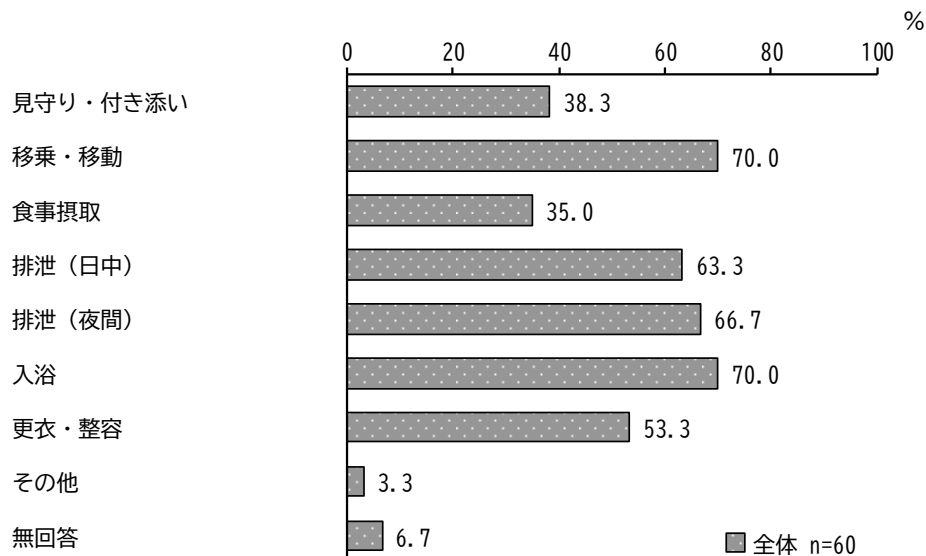
「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」の割合が37.5%と最も高く、次いで「家族等の介護等技術では対応が困難」の割合が25.0%となっています。



【問2-1において「必要な身体介護の増大」の方のみ】

問2-4 理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください
 （あてはまる番号すべて選択記入）

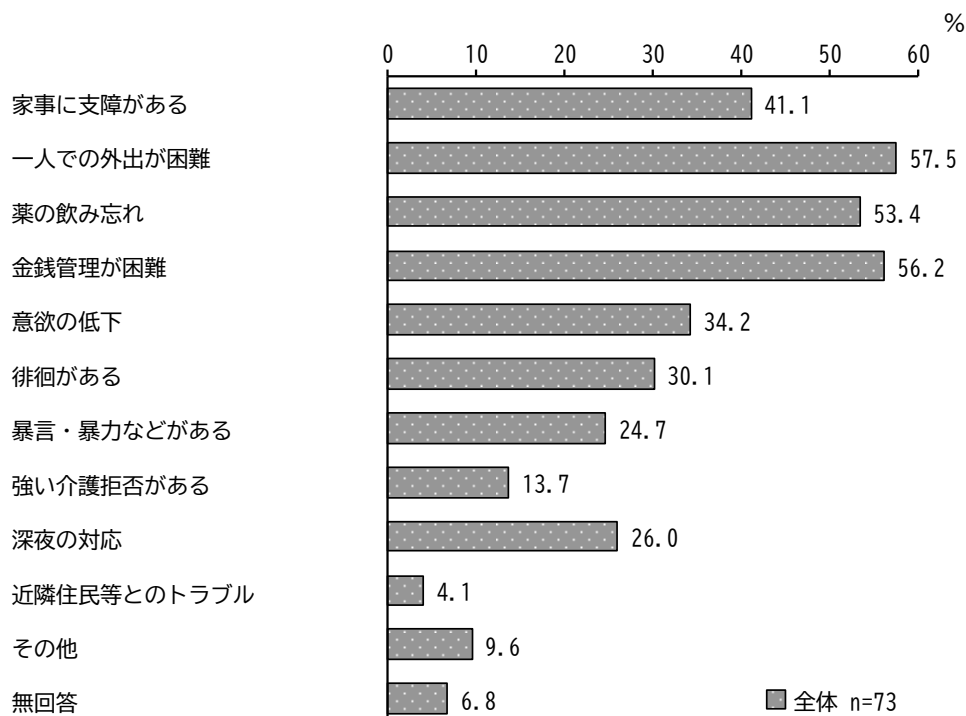
「移乗・移動」「入浴」の割合がそれぞれ70.0%と最も高く、次いで「排泄（夜間）」の割合が66.7%となっています。



【問2-1において「認知症の症状の悪化」の方のみ】

問2-5 理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください
 （あてはまる番号すべて選択記入）

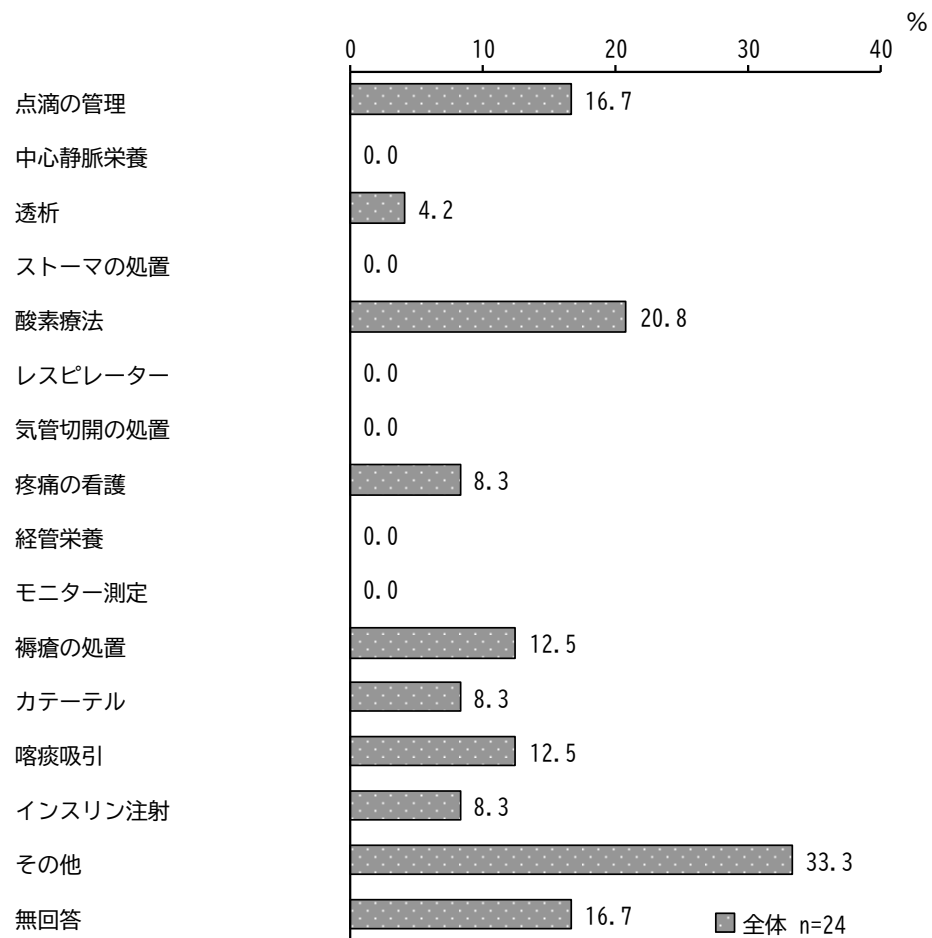
「一人での外出が困難」の割合が57.5%と最も高く、次いで「金銭管理が困難」の割合が56.2%となっています。



【問2-1において「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」の方のみ】

問2-6 理由となる、具体的な「医療的ケア」、「医療処置」をお答えください
 （あてはまる番号すべて選択記入）

「酸素療法」の割合が20.8%と最も高く、次いで「点滴の管理」の割合が16.7%となっています。



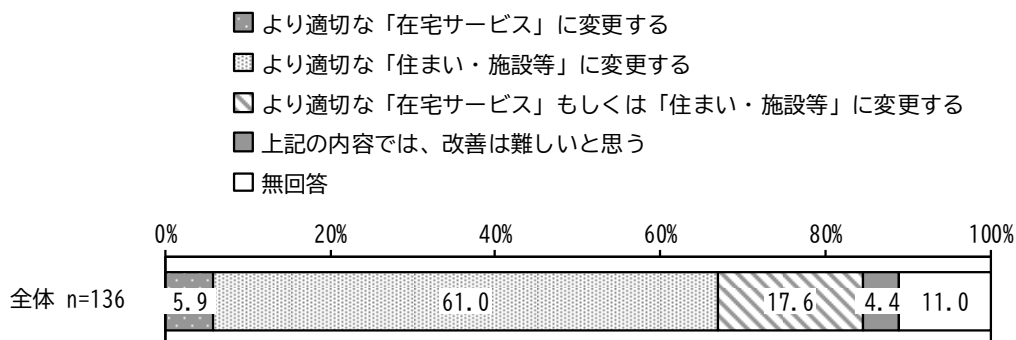
【3. 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について】

問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか（番号1つ選択記入）

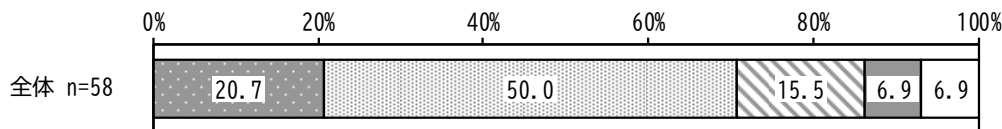
「より適切な「住まい・施設等」に変更する」の割合が61.0%と最も高く、次いで「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する」の割合が17.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「より適切な「住まい・施設等」に変更する」の割合が11.0ポイント増加しています。一方、「より適切な「在宅サービス」に変更する」の割合が14.8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】

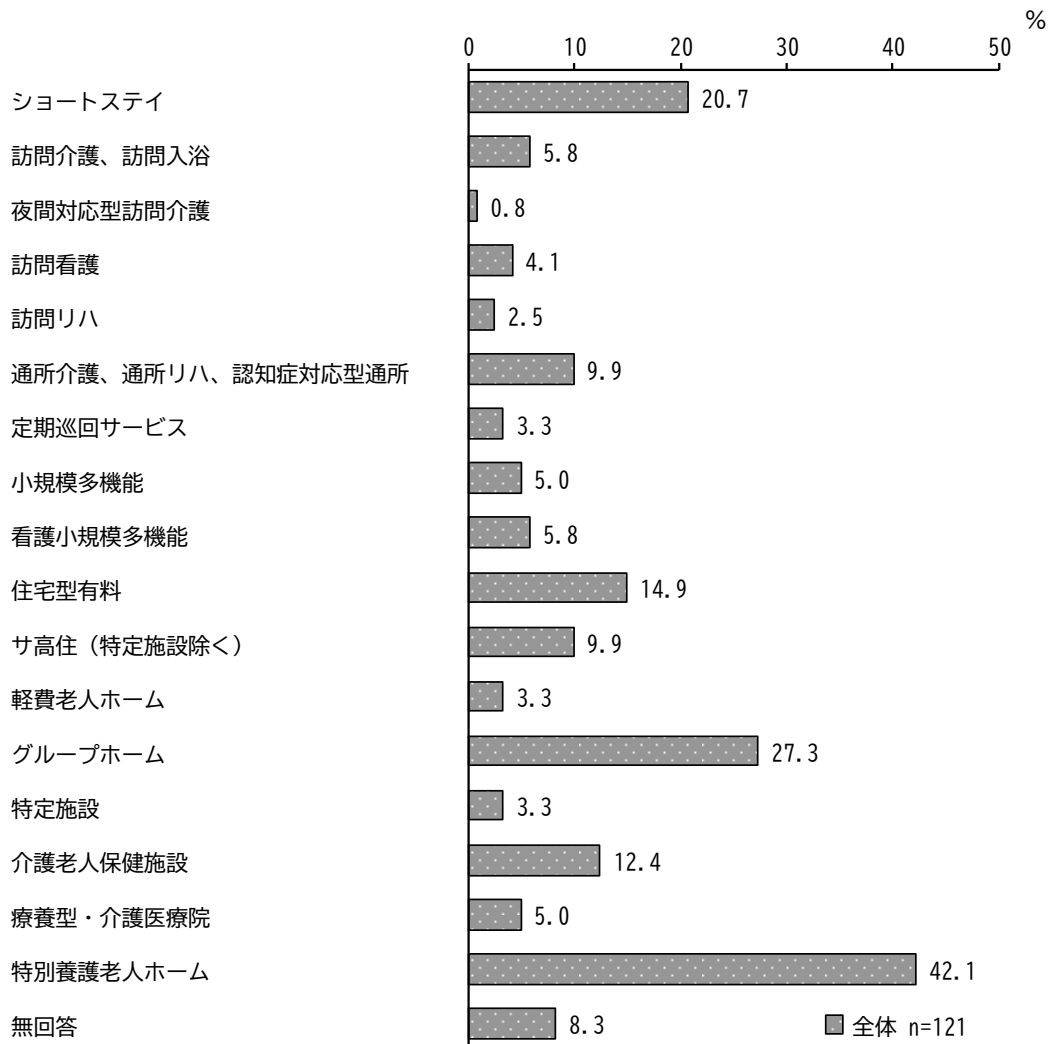


【令和4年度調査】



問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください（あてはまる番号すべて選択記入）

「特別養護老人ホーム」の割合が42.1%と最も高く、次いで「グループホーム」の割合が27.3%となっています。



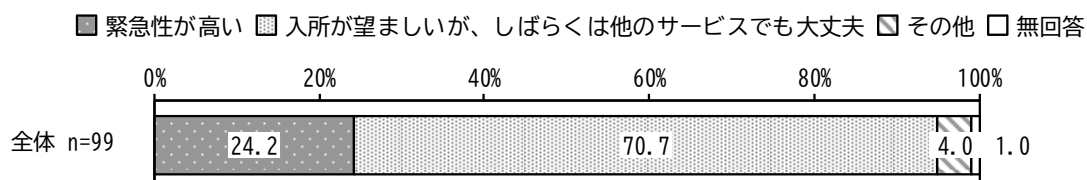
【問3-2において「住宅型有料」～「特別養護老人ホーム」の方のみ】

問3-3 利用者の入所・入居の緊急度をお答えください（番号1つ選択記入）

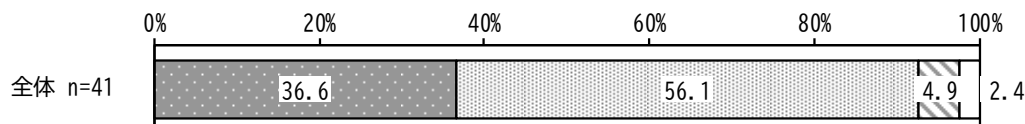
「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」の割合が70.7%と最も高く、次いで「緊急性が高い」の割合が24.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「入所が望ましいが、しばらくは他のサービスでも大丈夫」の割合が14.6ポイント増加しています。一方、「緊急性が高い」の割合が12.4ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



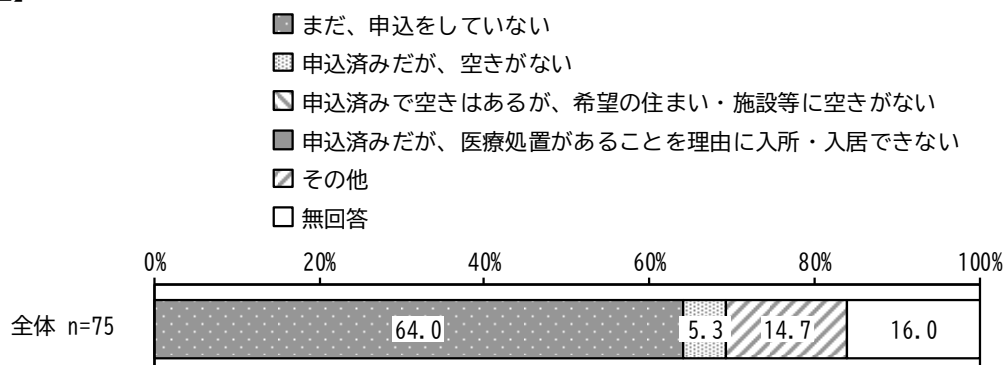
【問3-2において「住宅型有料」～「療養型・介護医療院」の方のみ】

問3-4 入所・入居できていない理由をお答えください（番号1つ選択記入）

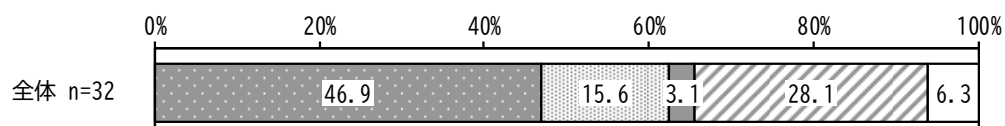
「まだ、申込をしていない」の割合が64.0%と最も高く、次いで「申込みだが、空きがない」の割合が5.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「まだ、申込をしていない」の割合が17.1ポイント増加しています。一方、「申込みだが、空きがない」の割合が10.3ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



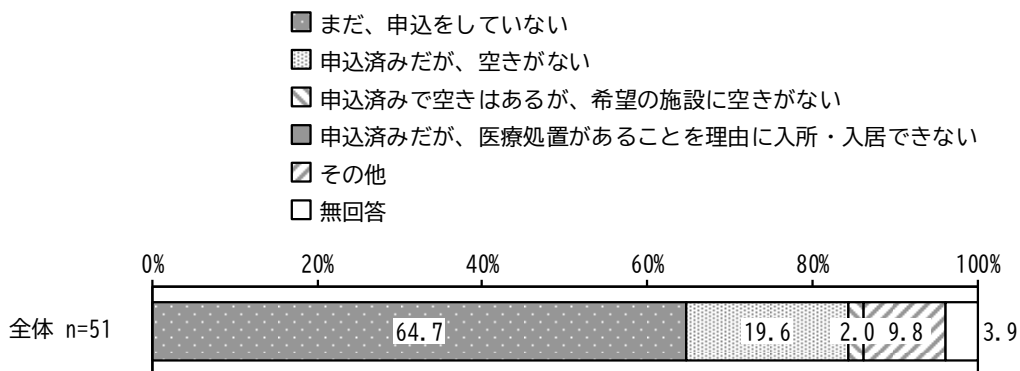
【問3-2において「特別養護老人ホーム」の方のみ】

問3-5 特養に入所できていない理由をお答えください（番号1つ選択記入）

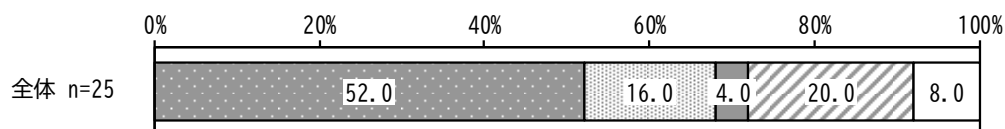
「まだ、申込をしていない」の割合が64.7%と最も高く、次いで「申込済みだが、空きがない」の割合が19.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「まだ、申込をしていない」の割合が12.7ポイント増加しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

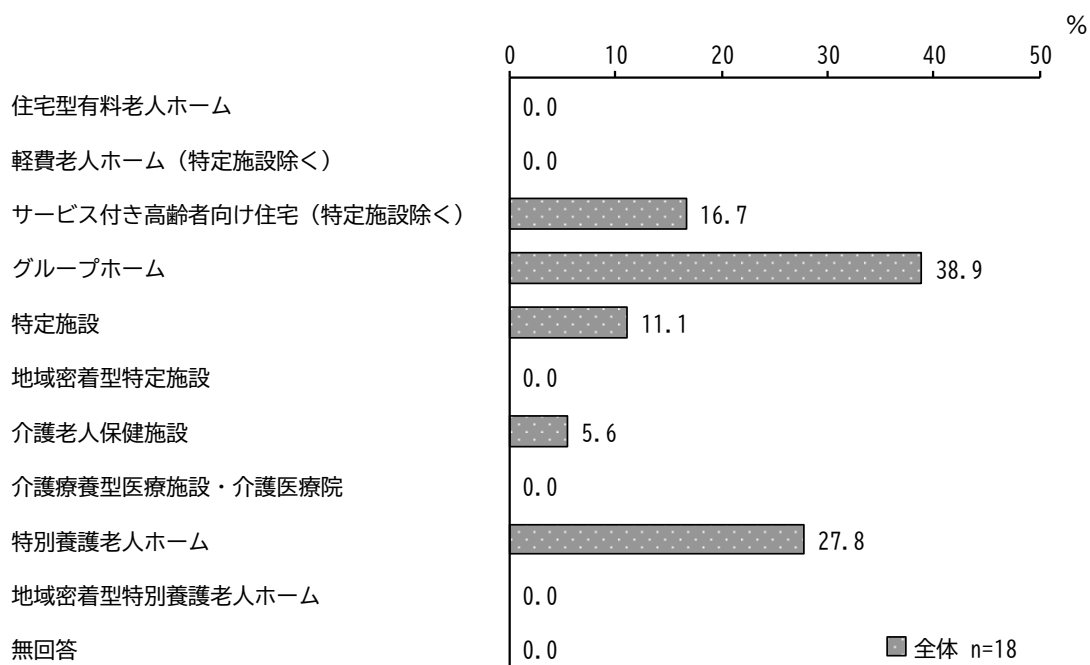


3 居所変更実態調査（国が示した調査項目）

（1）事業所について

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。（○は1つ）

「グループホーム」の割合が38.9%と最も高く、次いで「特別養護老人ホーム」の割合が27.8%となっています。



問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

定員数など

定員数などは以下のとおりとなっています。

	回答者数	合計値	平均値	中央値
定員数など	17	1,048	61.6	50

入所・入居者数

入所・入居者数の合計は982人、1事業所あたりの平均は54.6人となっています。

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
入所・入居者数	18	982	54.6	47

貴施設等の待機者数（申込者数）

待機者数の合計は154人、1事業所あたりの平均は9.1人となっています。

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
貴施設等の待機者数（申込者数）	17	154	9.1	3

特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）

特別養護老人ホームの待機者数の合計は20人、1事業所あたりの平均は1.1人となっています。

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
特別養護老人ホームの待機者数 （申込者数）	18	20	1.1	0

（2）入所・入居者について

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。（数値を記入）

現在の入所・入居者を要支援・要介護度別にみると、合計、平均ともに「要介護3」が最も高く、次いで「要介護4」が高くなっています。

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
自立	18	25	1.4	0
要支援1	18	11	0.6	0
要支援2	18	10	0.6	0
要介護1	18	107	5.9	5
要介護2	18	149	8.3	7
要介護3	18	257	14.3	8.5
要介護4	18	239	13.3	8
要介護5	18	172	9.6	4
申請中・不明	18	10	0.6	0

問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。（数値を記入）

医療処置を受けている人は、合計、平均ともに「喀痰吸引」が最も高く、次いで「経管栄養」が高くなっています。

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
点滴の管理	18	20	1.1	0
中心静脈栄養	18	2	0.1	0
透析	18	8	0.4	0
ストーマの処置	18	12	0.7	0
酸素療法	18	19	1.1	1
レスピレーター	18	0	0.0	0
気管切開の処置	18	5	0.3	0
疼痛の看護	18	11	0.6	0
経管栄養	18	33	1.8	0
モニター測定	18	0	0.0	0
褥瘡の処置	18	18	1.0	0
カテーテル	18	17	0.9	0
喀痰吸引	18	45	2.5	0
インスリン注射	18	13	0.7	0

問5 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年11月1日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

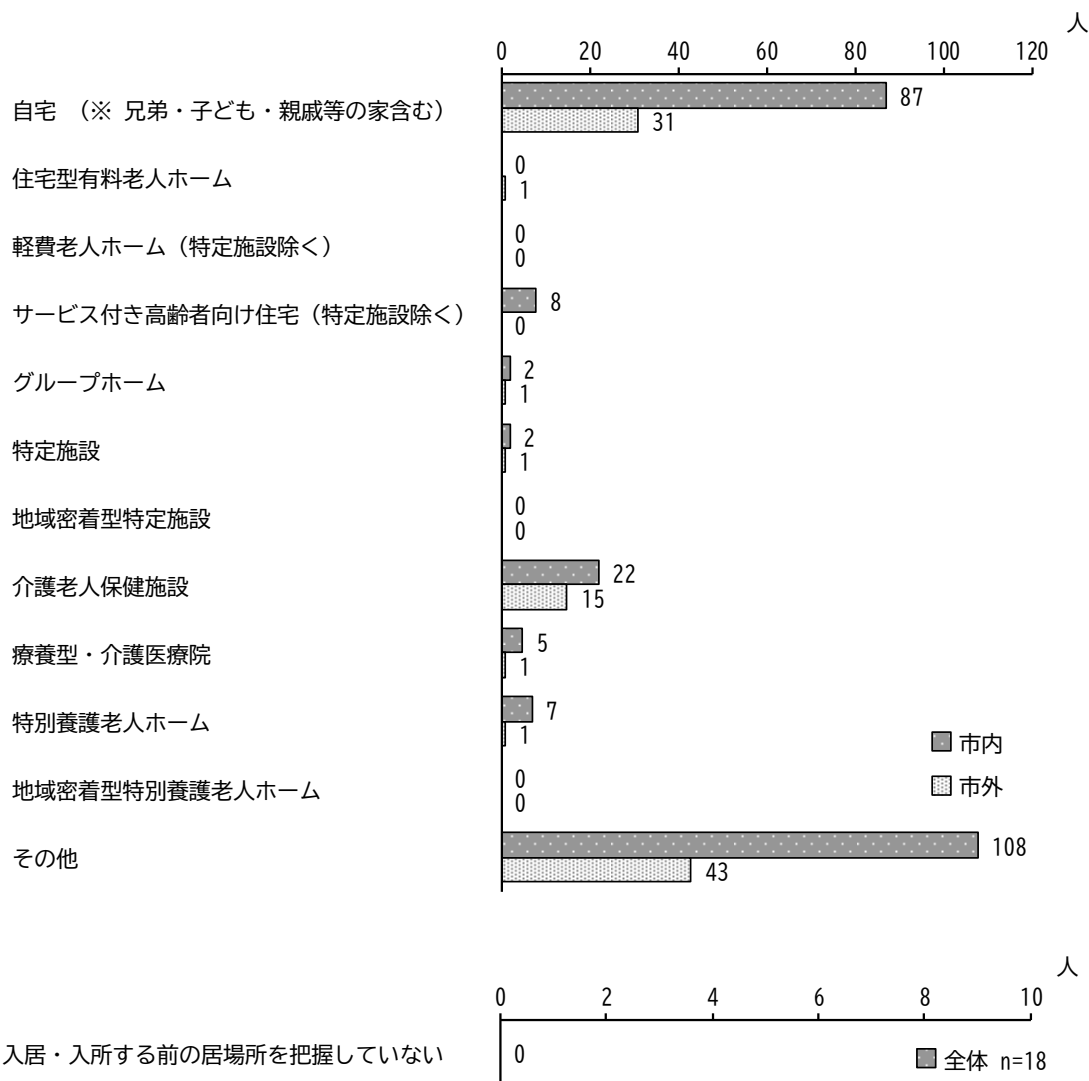
新規の入所・入居者数の合計は334人、1事業所あたりの平均は18.6人となっています。

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
新規の入所・入居者数	18	334	18.6	10.5

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

市内では、「自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）」が87人と最も多く、次いで「介護老人保健施設」が22人となっています。また、市外でも、「自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）」が31人と最も多く、次いで「介護老人保健施設」が15人となっています。

なお、「入居・入所する前の居場所を把握していない」が0人となっています。



（3）退去者について

問7 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年11月1日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

退去者数の合計は325人、1事業所あたりの平均は18.1人となっています。

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
退去者数（合計）（※死亡・搬送先での死亡を含む）	18	327	18.2	14

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

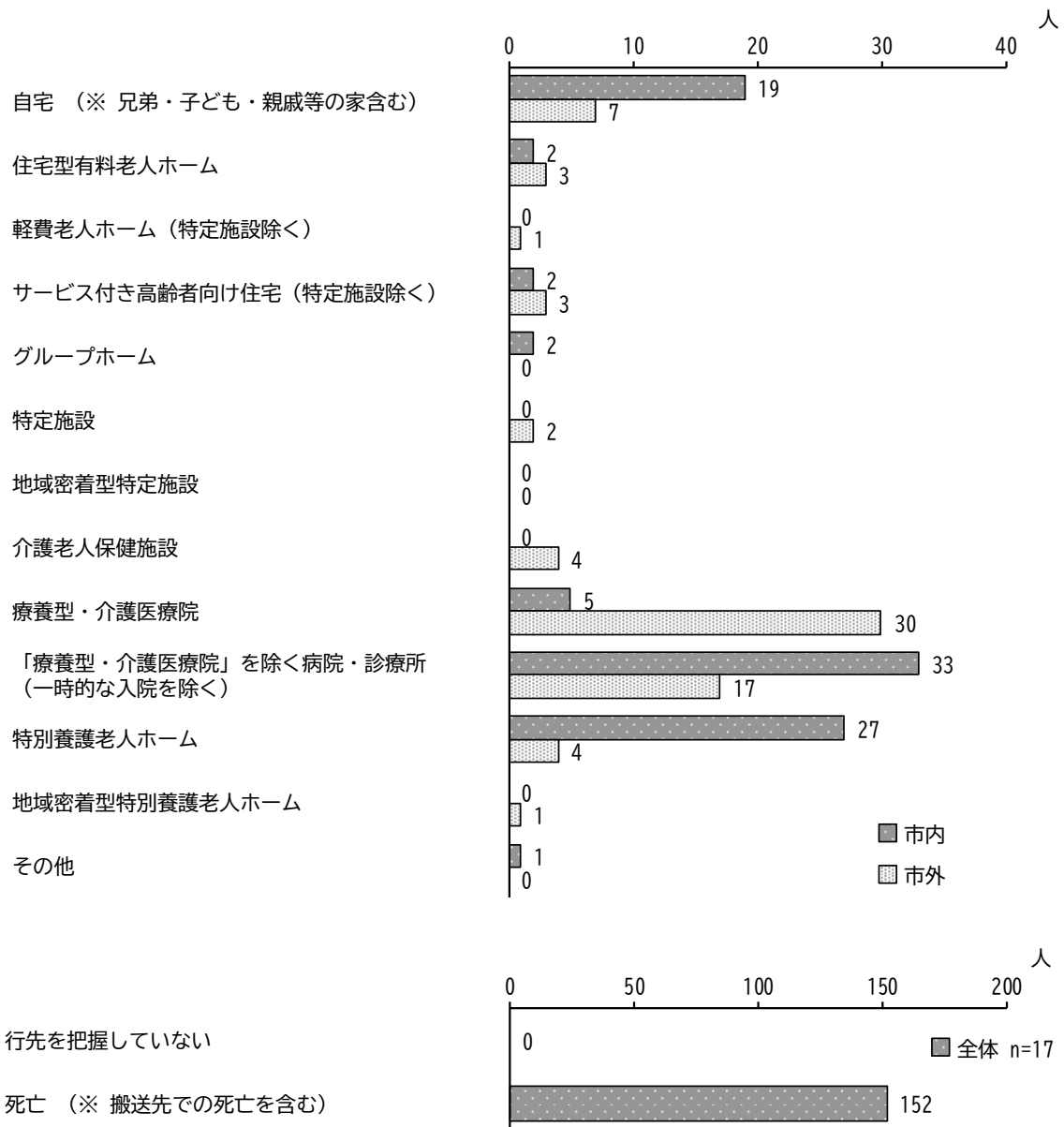
過去1年間の退去者を要介護度別にみると、合計、平均ともに「要介護4」が最も高く、次いで「要介護5」が高くなっています。なお、「死亡」は合計が109人、平均が6.4人となっています。

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
自立	17	0	0.0	0
要支援1	17	0	0.0	0
要支援2	17	1	0.1	0
要介護1	17	13	0.8	0
要介護2	17	26	1.5	1
要介護3	17	55	3.2	2
要介護4	17	65	3.8	2
要介護5	17	57	3.4	1
新規申請中	17	1	0.1	0
死亡	17	109	6.4	3

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。

市内では、「療養型・介護医療院」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）」が33人と最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が27人となっています。また、市外では、「療養型・介護医療院」が30人と最も多く、次いで「療養型・介護医療院」を除く病院・診療所（一時的な入院を除く）」が17人となっています。

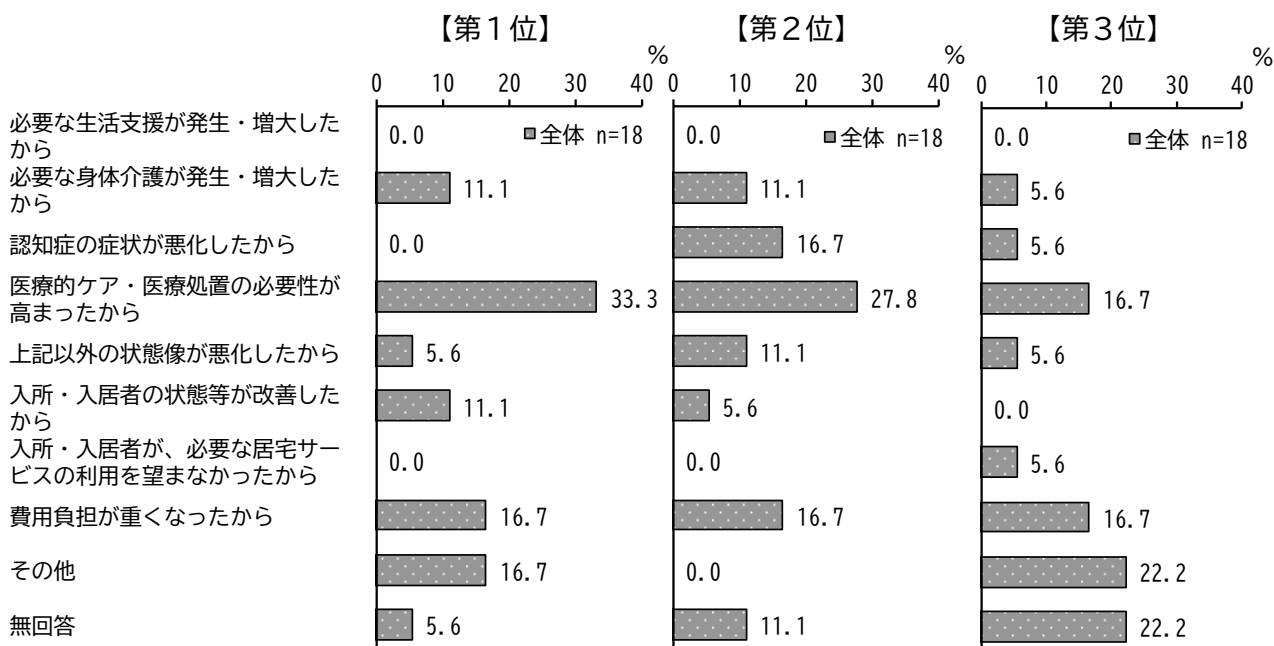
なお、「行先を把握していない」が0人、「死亡（※搬送先での死亡を含む）」が152人となっています。



問10 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する箇所に○を付けてください。
 （第1位～第3位のそれぞれで○は1つ）

第1位の理由として選ばれている項目をみると、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」の割合が33.3%と最も高く、次いで「費用負担が重くなったから」の割合が16.7%となっています。なお、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」は、第2位、第3位の理由としても割合が高くなっています。

また、第2位の理由として選ばれている項目では、「認知症の症状が悪化したから」「費用負担が重くなったから」の割合が、第3位の理由として選ばれている項目では、「上記以外の状態像が悪化したから」の割合がそれぞれ1割以上となっています。



4 介護人材実態調査（国が示した調査項目）

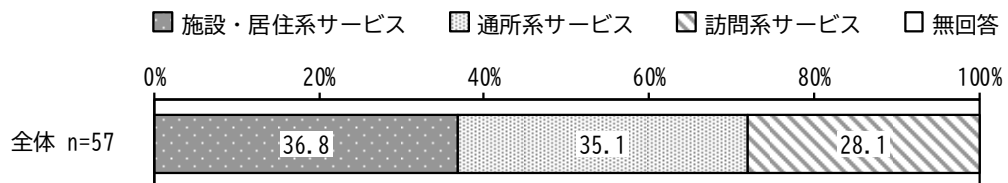
（1）事業所について

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（○は1つ）

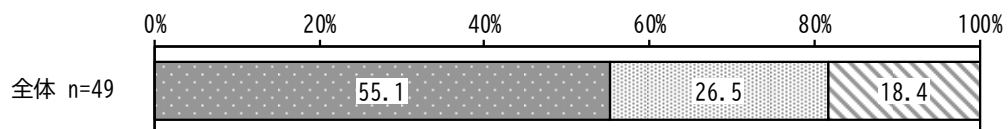
「施設・居住系サービス」の割合が36.8%、「通所系サービス」の割合が35.1%、「訪問系サービス」の割合が28.1%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「通所系サービス」の割合が8.6ポイント、「訪問系サービス」の割合が9.7ポイント増加しています。一方、「施設・居住系サービス」の割合が18.3ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問2 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員について】

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

サービス別の正職員数・非正職員数・外国人職員数・派遣職員数は以下のとおりとなっています。1事業所あたりの平均をみると、正職員数・非正職員数・外国人職員数・派遣職員数いずれも「施設・居住系サービス」が多くなっています。

単位：人		回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員数	全体	57	648	11.4	7
	在宅サービス	36	168	4.7	5
	施設・居住系サービス	21	480	22.9	17
非正規職員数	全体	57	542	9.5	7
	在宅サービス	36	289	8.0	5
	施設・居住系サービス	21	253	12.0	10
外国人職員数	全体	57	77	1.4	0
	在宅サービス	36	4	0.1	0
	施設・居住系サービス	21	73	3.5	1
派遣職員数	全体	57	13	0.2	0
	在宅サービス	36	0	0.0	0
	施設・居住系サービス	21	13	0.6	0

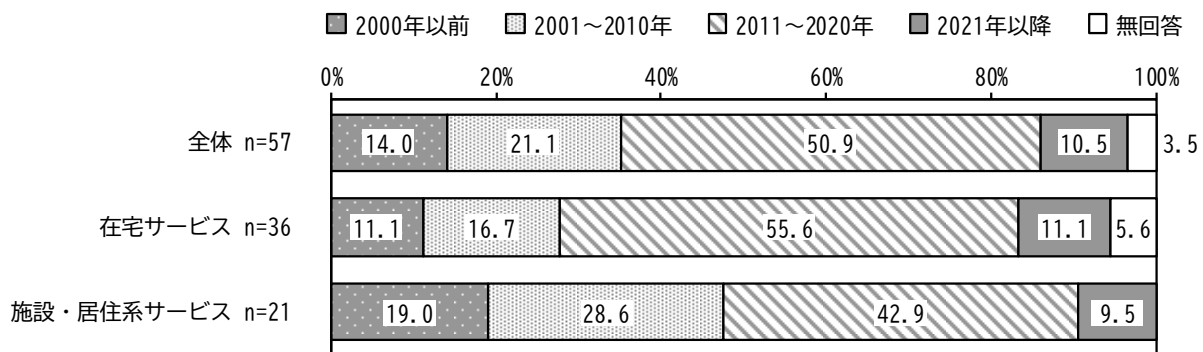
問2-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

在宅サービス、施設・居住系サービスともに「2011～2020年」の割合が最も高く、次いで「2001～2010年」の割合が高くなっています。

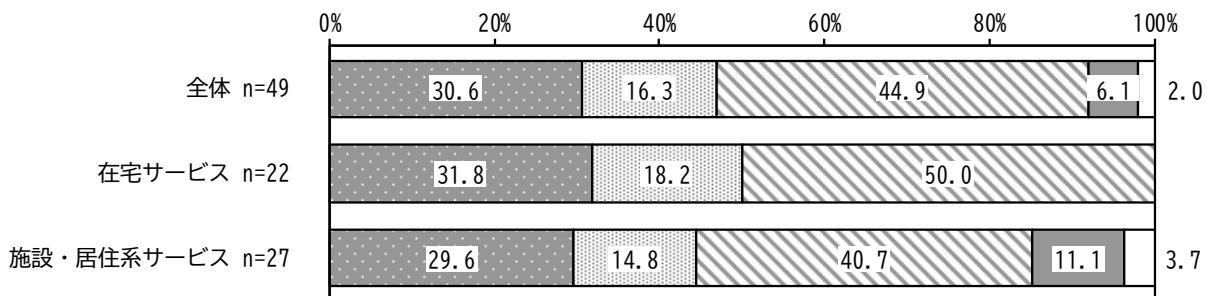
令和4年度調査と比較すると、在宅サービスでは、「2011～2020年」の割合が5.6ポイント、「2021年以降」の割合が11.1ポイント増加しています。一方、「2000年以前」の割合が20.7ポイント減少しています。

また、施設・居住系サービスでは、「2001～2010年」の割合が13.8ポイント増加しています。一方、「2000年以前」の割合が10.6ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



問2-3 令和7年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。過去1年間（令和6年11月1日～令和7年11月1日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

サービス別の採用者数・離職者数は以下のとおりとなっています。1事業所あたりの平均をみると、採用者数・離職者数ともに「施設・居住系サービス」が多くなっています。

単位：人		回答者数	合計値	平均値	中央値
採用者数	全体	57	208	3.6	2
	在宅サービス	36	116	3.2	2
	施設・居住系サービス	21	92	4.4	3
離職者数	全体	57	156	2.7	2
	在宅サービス	36	78	2.2	2
	施設・居住系サービス	21	78	3.7	2

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）

全体の1事業所あたりの平均をみると、採用した正規職員では「20～29歳」が最も高く、非正規職員では「40～49歳」が最も高くなっています。また、離職した正規職員では「50～59歳」が最も高く、非正規職員では「40～49歳」「60～69歳」がそれぞれ最も高くなっています。

採用者数（全体）

		単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員	20歳未満		39	4	0.1	0
	20～29歳		39	36	0.9	0
	30～39歳		39	19	0.5	0
	40～49歳		39	24	0.6	0
	50～59歳		39	33	0.8	0
	60～69歳		39	8	0.2	0
	70～79歳		39	1	0.0	0
	年齢不明		39	0	0.0	0
非正規職員	20歳未満		32	1	0.0	0
	20～29歳		32	7	0.2	0
	30～39歳		32	16	0.5	0
	40～49歳		32	27	0.8	0
	50～59歳		32	35	1.1	0
	60～69歳		32	23	0.7	0
	70～79歳		32	15	0.5	0
	年齢不明		32	0	0.0	0

離職者数（全体）

		単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員	20歳未満		31	0	0.0	0
	20～29歳		31	14	0.5	0
	30～39歳		31	20	0.6	0
	40～49歳		31	13	0.4	0
	50～59歳		31	24	0.8	1
	60～69歳		31	5	0.2	0
	70～79歳		31	0	0.0	0
	年齢不明		31	0	0.0	0
非正規職員	20歳未満		27	1	0.0	0
	20～29歳		27	4	0.1	0
	30～39歳		27	5	0.2	0
	40～49歳		27	17	0.6	0
	50～59歳		27	14	0.5	0
	60～69歳		27	16	0.6	0
	70～79歳		27	8	0.3	0
	年齢不明		27	0	0.0	0

V 調査結果（事業所調査）

在宅サービスの1事業所あたりの平均をみると、採用した正規職員では「50～59歳」が最も高く、非正規職員では「50～59歳」が最も高くなっています。また、離職した正規職員では「50～59歳」が最も高く、非正規職員では「60～69歳」が最も高くなっています。

採用者数（在宅サービス）

		単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員	20歳未満		24	1	0.0	0
	20～29歳		24	10	0.4	0
	30～39歳		24	6	0.3	0
	40～49歳		24	20	0.8	1
	50～59歳		24	22	0.9	0
	60～69歳		24	7	0.3	0
	70～79歳		24	0	0.0	0
	年齢不明		24	0	0.0	0
非正規職員	20歳未満		18	0	0.0	0
	20～29歳		18	4	0.2	0
	30～39歳		18	9	0.5	0
	40～49歳		18	14	0.8	1
	50～59歳		18	20	1.1	0
	60～69歳		18	18	1.0	1
	70～79歳		18	13	0.7	0
	年齢不明		18	0	0.0	0

離職者数（在宅サービス）

		単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員	20歳未満		14	0	0.0	0
	20～29歳		14	1	0.1	0
	30～39歳		14	4	0.3	0
	40～49歳		14	8	0.6	0
	50～59歳		14	11	0.8	1
	60～69歳		14	2	0.1	0
	70～79歳		14	0	0.0	0
	年齢不明		14	0	0.0	0
非正規職員	20歳未満		14	0	0.0	0
	20～29歳		14	2	0.1	0
	30～39歳		14	1	0.1	0
	40～49歳		14	6	0.4	0
	50～59歳		14	5	0.4	0
	60～69歳		14	8	0.6	0
	70～79歳		14	5	0.4	0
	年齢不明		14	0	0.0	0

施設・居住系サービスの1事業所あたりの平均をみると、採用した正規職員では「20～29歳」が最も高く、非正規職員では「50～59歳」が最も高くなっています。また、離職した正規職員では「30～39歳」が最も高く、非正規職員では「40～49歳」が最も高くなっています。

採用者数（施設・居住系サービス）

		単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員	20歳未満		15	3	0.2	0
	20～29歳		15	26	1.7	1
	30～39歳		15	13	0.9	0
	40～49歳		15	4	0.3	0
	50～59歳		15	11	0.7	0
	60～69歳		15	1	0.1	0
	70～79歳		15	1	0.1	0
	年齢不明		15	0	0.0	0
非正規職員	20歳未満		14	1	0.1	0
	20～29歳		14	3	0.2	0
	30～39歳		14	7	0.5	0
	40～49歳		14	13	0.9	0
	50～59歳		14	15	1.1	0
	60～69歳		14	5	0.4	0
	70～79歳		14	2	0.1	0
	年齢不明		14	0	0.0	0

離職者数（施設・居住系サービス）

		単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
正規職員	20歳未満		17	0	0.0	0
	20～29歳		17	13	0.8	0
	30～39歳		17	16	0.9	0
	40～49歳		17	5	0.3	0
	50～59歳		17	13	0.8	0
	60～69歳		17	3	0.2	0
	70～79歳		17	0	0.0	0
	年齢不明		17	0	0.0	0
非正規職員	20歳未満		13	1	0.1	0
	20～29歳		13	2	0.2	0
	30～39歳		13	4	0.3	0
	40～49歳		13	11	0.8	0
	50～59歳		13	9	0.7	0
	60～69歳		13	8	0.6	1
	70～79歳		13	3	0.2	0
	年齢不明		13	0	0.0	0

【施設・居住系サービス、通所系サービスのみ】

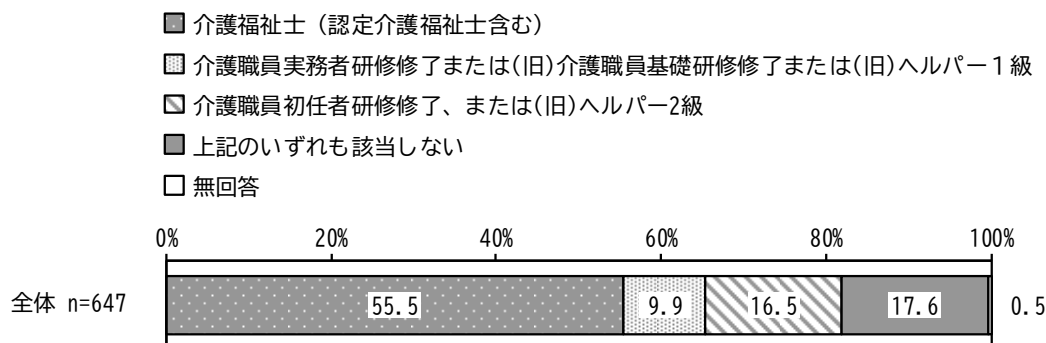
問3 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

① 資格の取得、研修の修了の状況（番号1つ記載）

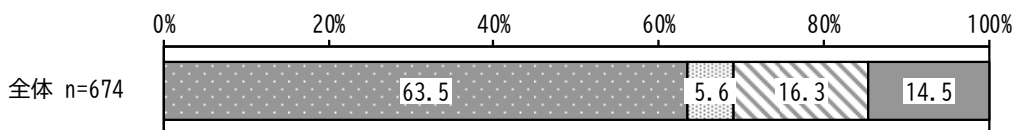
「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」の割合が55.5%と最も高く、次いで「上記のいずれも該当しない」の割合が17.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」の割合が8.0ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



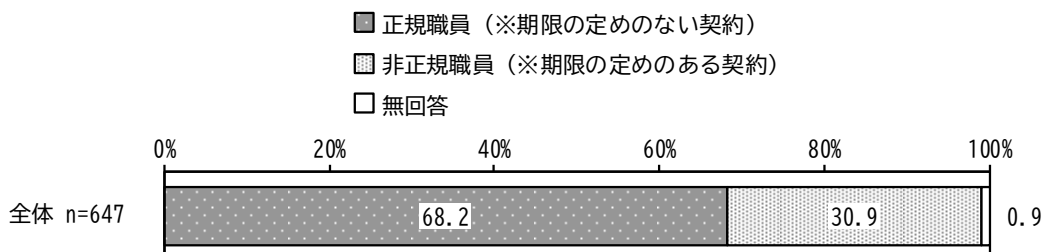
【令和4年度調査】



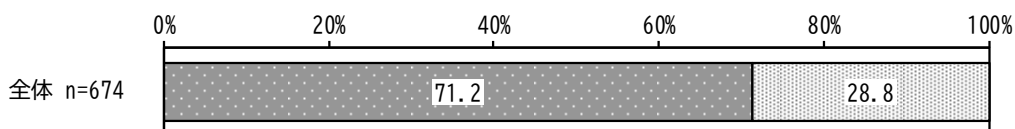
② 雇用形態（番号1つ記載）

「正規職員（※期限の定めのない契約）」の割合が68.2%、「非正規職員（※期限の定めのある契約）」の割合が30.9%となっています。

【令和7年度調査】



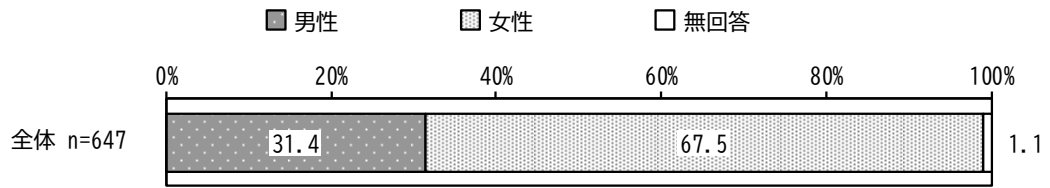
【令和4年度調査】



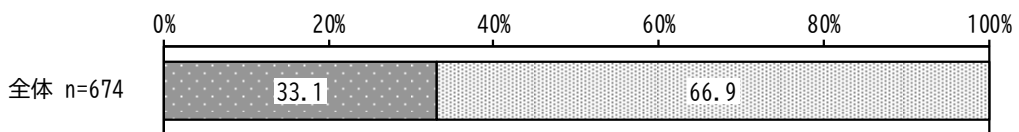
③ 性別（番号1つ記載）

「男性」の割合が31.4%、「女性」の割合が67.5%となっています。

【令和7年度調査】



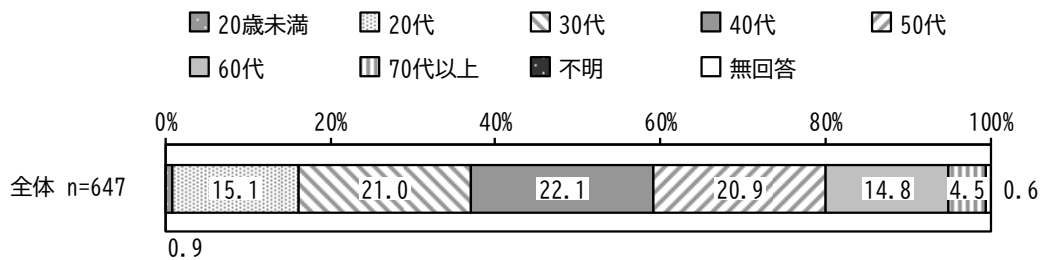
【令和4年度調査】



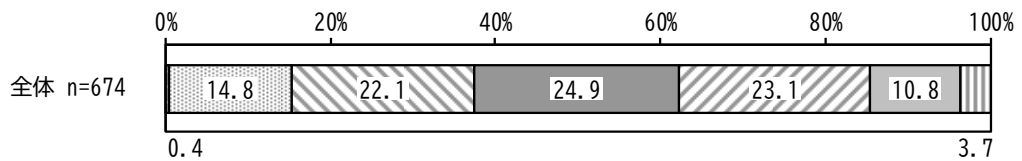
④ 年齢（番号1つ記載）

「40代」の割合が22.1%と最も高く、次いで「30代」の割合が21.0%となっています。

【令和7年度調査】

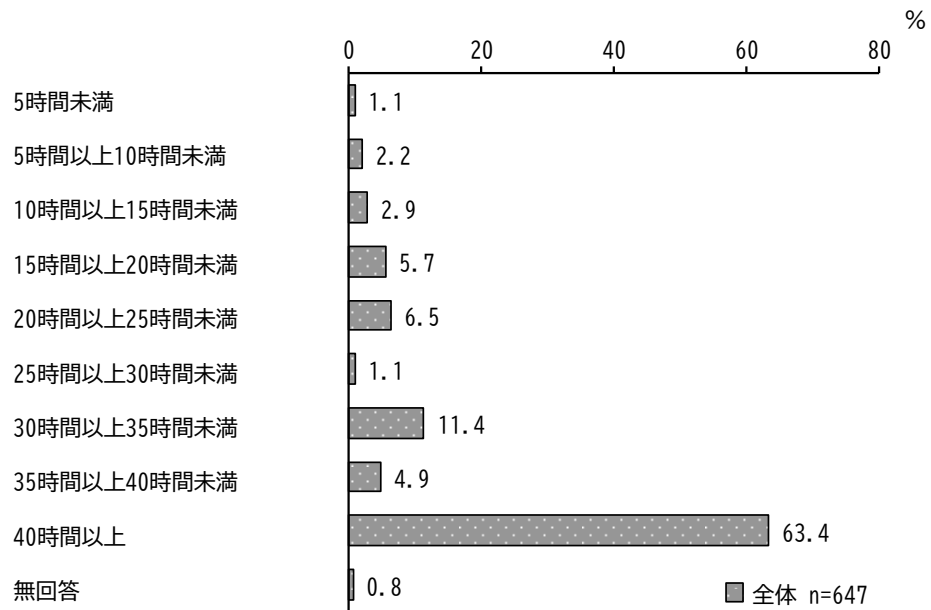


【令和4年度調査】



⑤ 過去1週間の勤務時間（数値を記入）

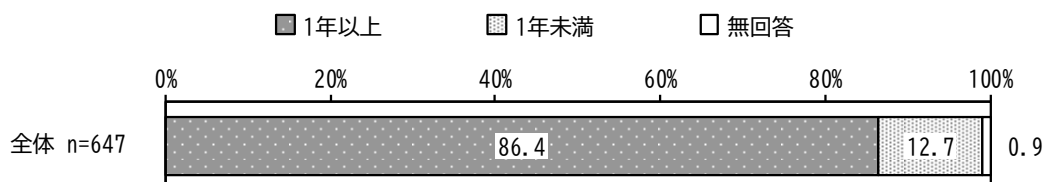
「40時間以上」の割合が63.4%と最も高く、次いで「30時間以上35時間未満」の割合が11.4%となっています。



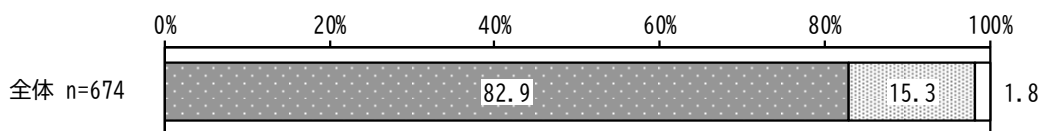
⑥ 現在の施設等での勤務年数（番号1つ記載）

「1年以上」の割合が86.4%、「1年未満」の割合が12.7%となっています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



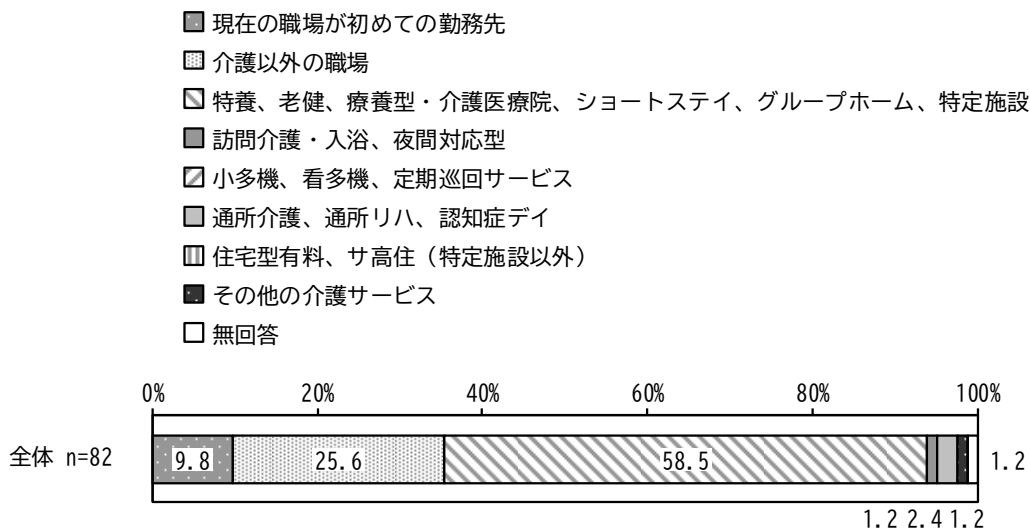
【⑥において「1年未満」の方のみ】

⑦ 現在の施設等に勤務する直前の職場（番号1つ記載）

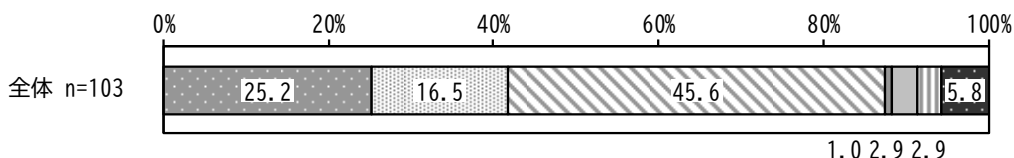
「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」の割合が58.5%と最も高く、次いで「介護以外の職場」の割合が25.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「介護以外の職場」の割合が9.1ポイント、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」の割合が12.9ポイント増加しています。一方、「現在の職場が初めての勤務先」の割合が15.4ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【⑦において「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」～「その他の介護サービス」の方のみ】

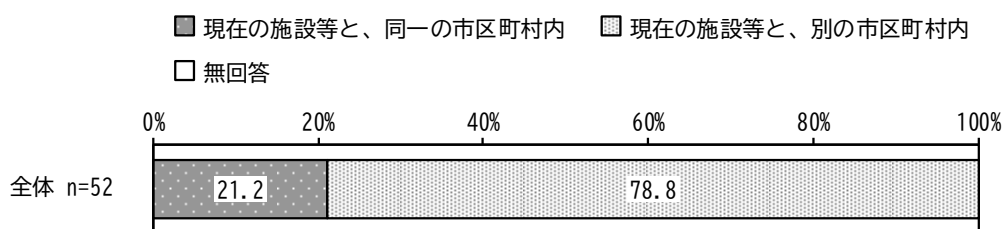
⑧ 直前の職場について（番号1つ記載）

場所

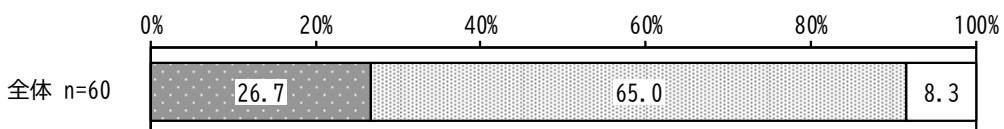
「現在の施設等と、同一の市区町村内」の割合が21.2%、「現在の施設等と、別の市区町村内」の割合が78.8%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「現在の施設等と、別の市区町村内」の割合が13.8ポイント増加しています。一方、「現在の施設等と、同一の市区町村内」の割合が5.5ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

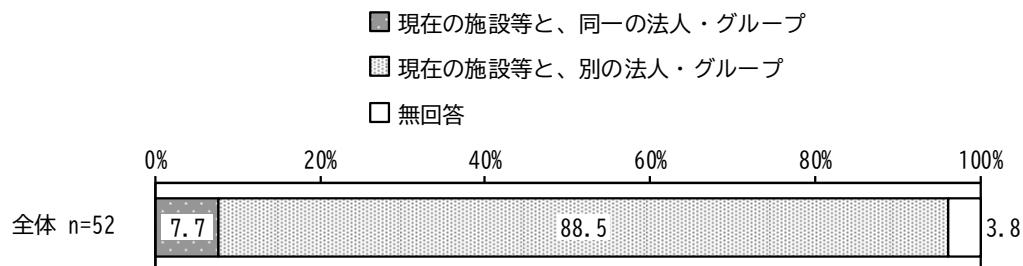


法人

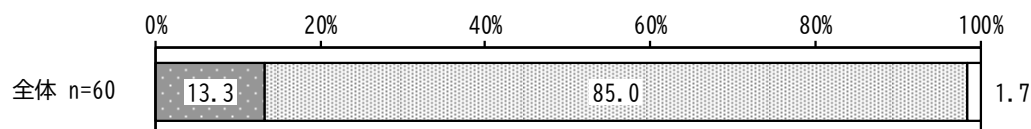
「現在の施設等と、同一の法人・グループ」の割合が7.7%、「現在の施設等と、別の法人・グループ」の割合が88.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「現在の施設等と、同一の法人・グループ」の割合が5.6ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



（２）職員について（職員票（訪問介護員向け））

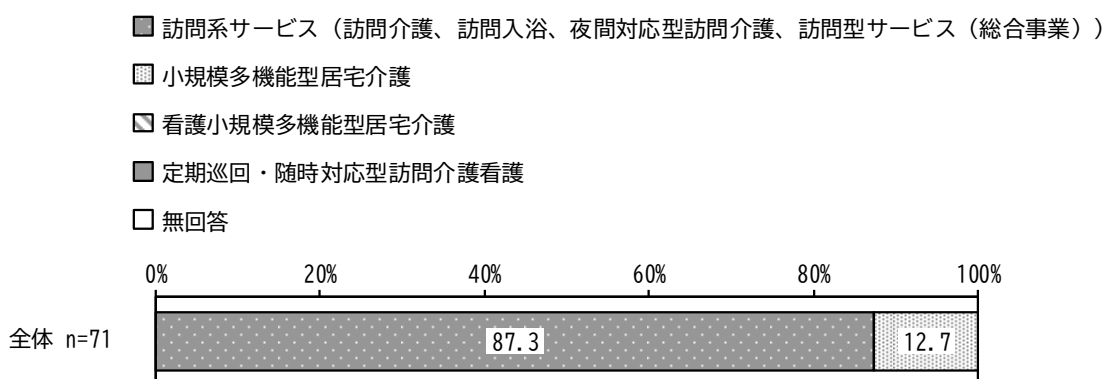
※訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方（非常勤含む。ボランティア除く）が対象

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（○は1つ）

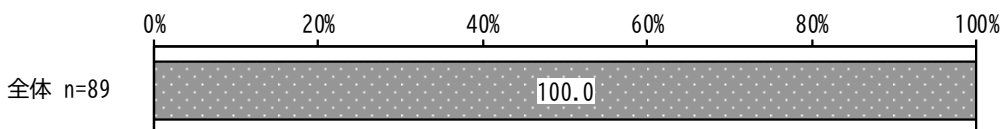
「訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）」の割合が87.3%と最も高く、次いで「小規模多機能型居宅介護」の割合が12.7%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「小規模多機能型居宅介護」の割合が12.7ポイント増加しています。一方、「訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）」の割合が12.7ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

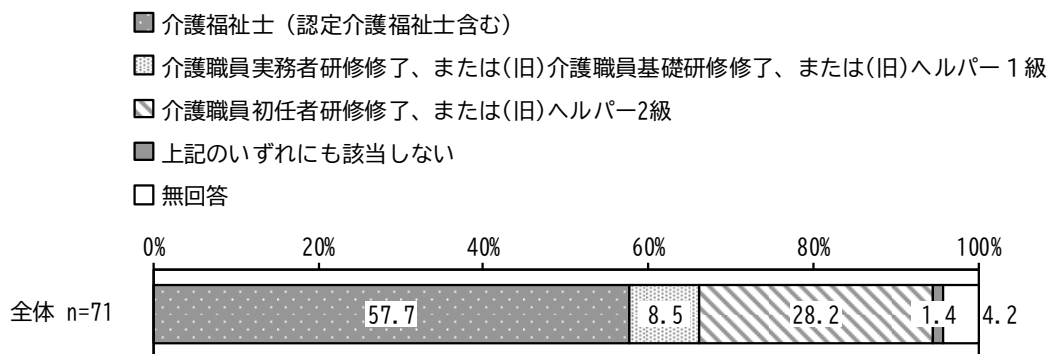


問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。（○は1つ）

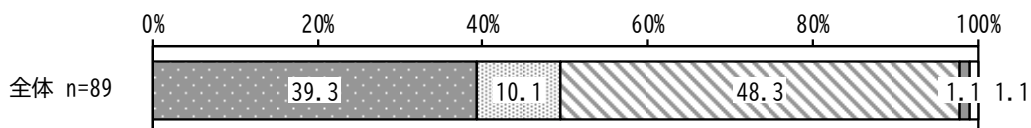
「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」の割合が57.7%と最も高く、次いで「介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級」の割合が28.2%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」の割合が18.4ポイント増加しています。一方、「介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級」の割合が20.1ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



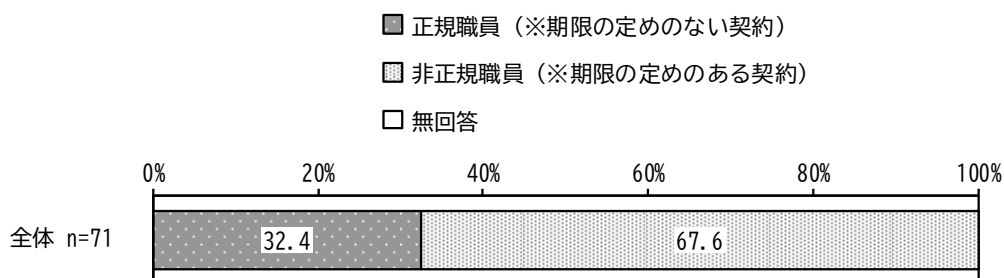
問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

① 雇用形態（○は1つ）

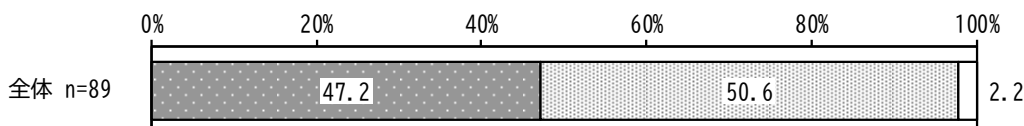
「正規職員（期限の定めのない契約）」の割合が32.4%、「非正規職員（期限の定めのある契約）」の割合が67.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「非正規職員（※期限の定めのある契約）」の割合が17.0ポイント増加しています。一方、「正規職員（※期限の定めのない契約）」の割合が14.8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

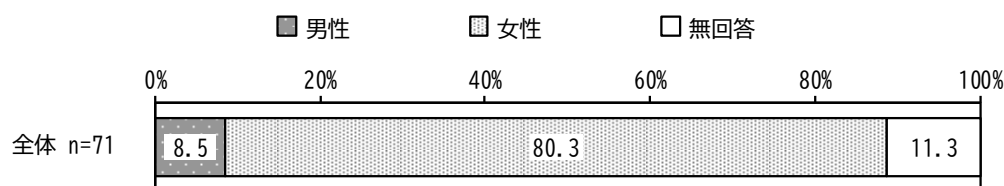


② 性別（○は1つ）

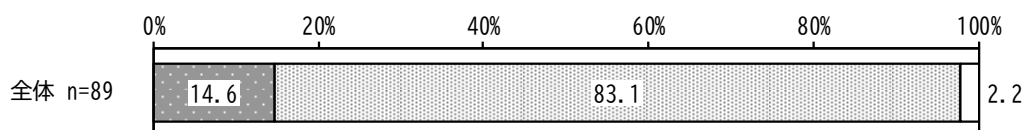
「男性」の割合が8.5%、「女性」の割合が80.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「男性」の割合が6.1ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

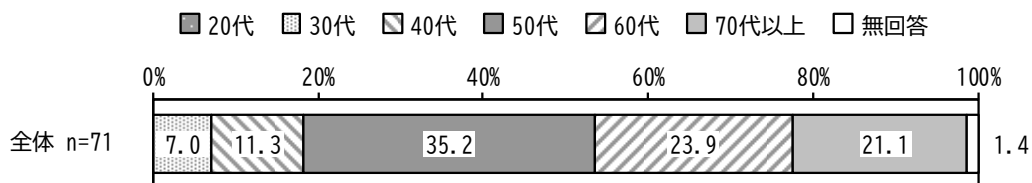


③ 年齢（数値を記入）

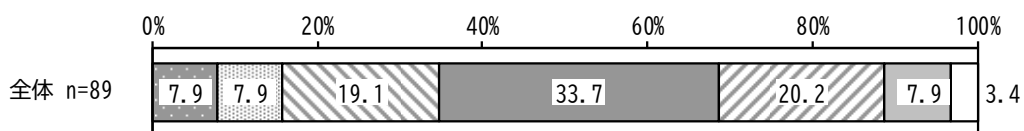
「50代」の割合が35.2%と最も高く、次いで「60代」の割合が23.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「70代以上」の割合が13.2ポイント増加しています。一方、「20代」の割合が7.9ポイント、「40代」の割合が7.8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】

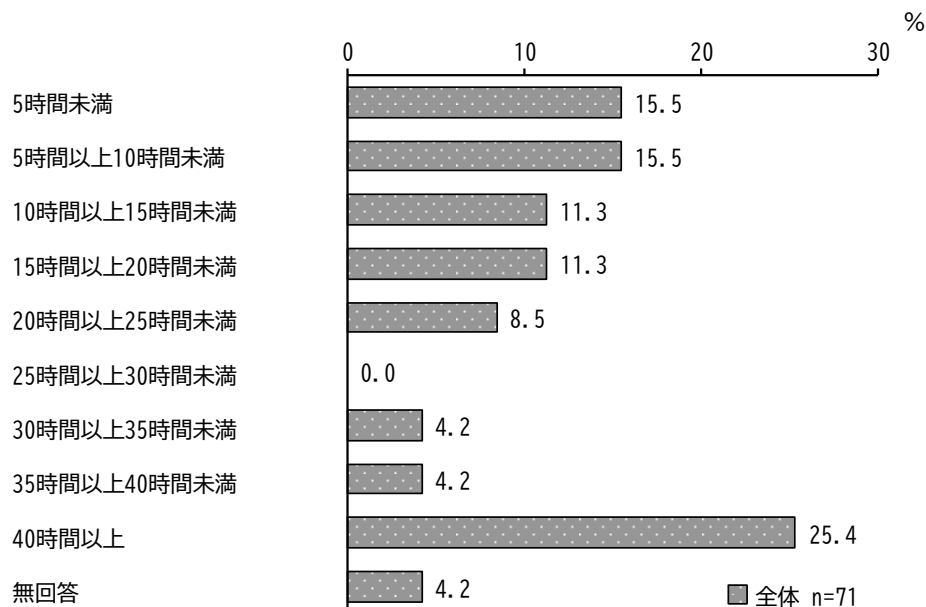


【令和4年度調査】



④ 過去1週間の勤務時間（数値を記入）

「40時間以上」の割合が25.4%と最も高く、次いで「5時間未満」「5時間以上10時間未満」の割合が15.5%となっています。

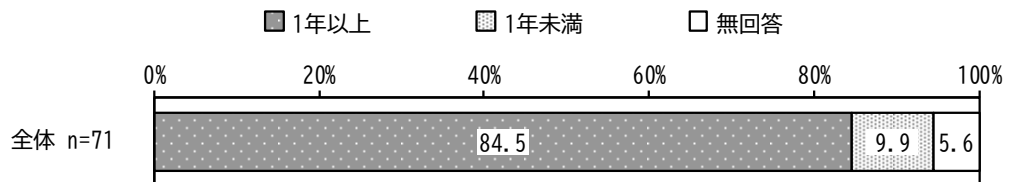


⑤ 現在の事業所での勤務年数（数値を入力）

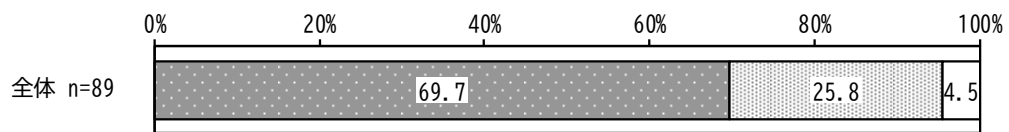
「1年以上」の割合が84.5%、「1年未満」の割合が9.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「1年以上」の割合が14.8ポイント増加しています。一方、「1年未満」の割合が15.9ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



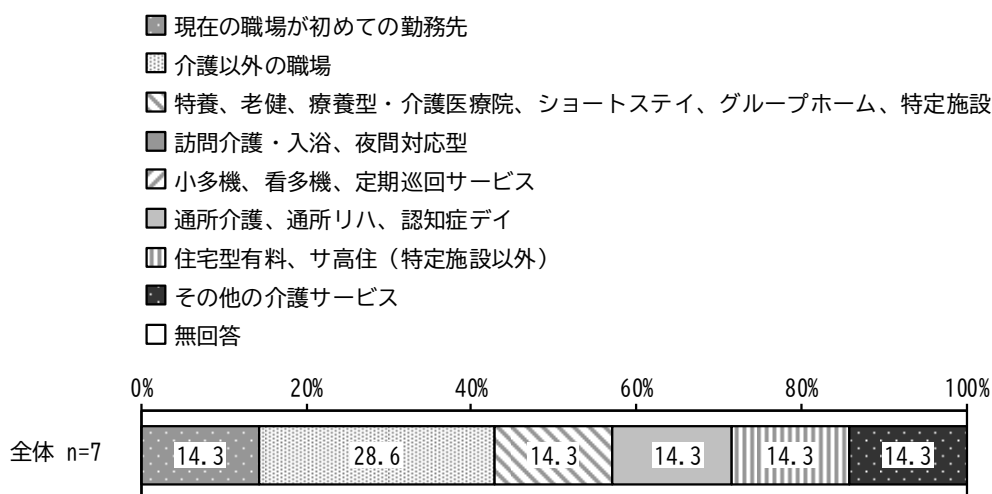
【問3の⑤で「1年未満」の方のみ】

問4 現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。（○は1つ）

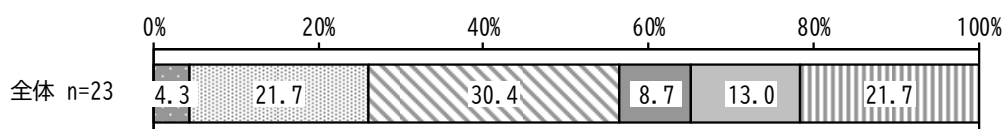
「介護以外の職場」の割合が28.6%と最も高く、次いで「現在の職場が初めての勤務先」「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」「通所介護、通所リハ、認知症デイ」「住宅型有料、サ高住（特定施設以外）」の割合が14.3%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「現在の職場が初めての勤務先」の割合が10.0ポイント、「介護以外の職場」の割合が6.9ポイント、「その他の介護サービス」の割合が14.3ポイント増加しています。一方、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」の割合が16.1ポイント、「訪問介護・入浴、夜間対応型」の割合が8.7ポイント、「住宅型有料、サ高住（特定施設以外）」の割合が7.4ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



【問4で「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」～
「その他の介護サービス」の方のみ】

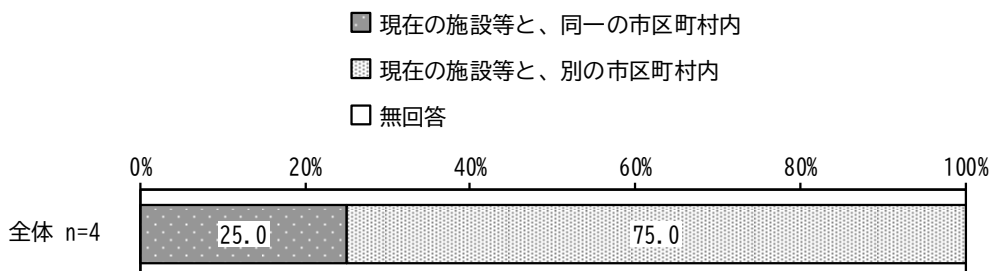
問5 ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

場所（○は1つ）

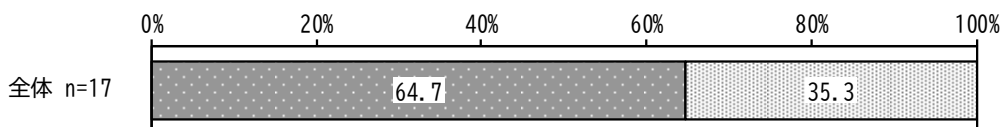
「現在の施設等と、同一の市区町村内」の割合が 25.0%、「現在の施設等と、別の市区町村内」の割合が 75.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「現在の施設等と、別の市区町村内」の割合が 39.7ポイント増加しています。一方、「現在の施設等と、同一の市区町村内」の割合が 39.7ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

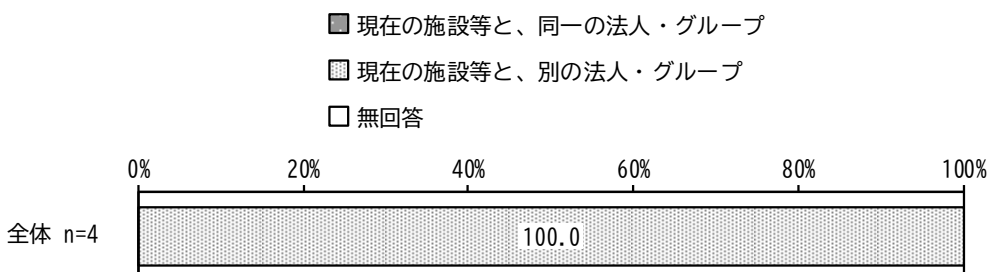


法人（○は1つ）

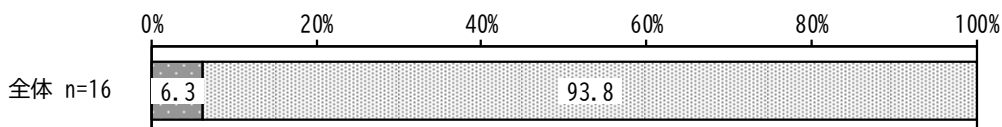
「現在の施設等と、別の法人・グループ」の割合が 100.0%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「現在の施設等と、別の法人・グループ」の割合が 6.2ポイント増加しています。一方、「現在の施設等と、同一の法人・グループ」の割合が 6.3ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

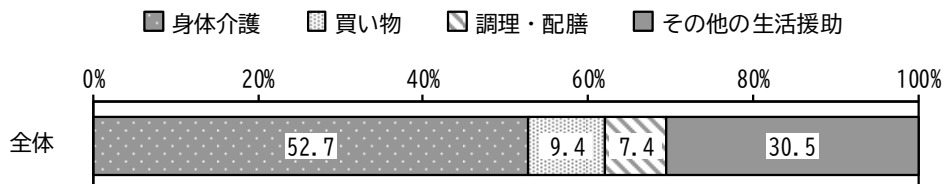


問6 介護給付による訪問について記入してください。

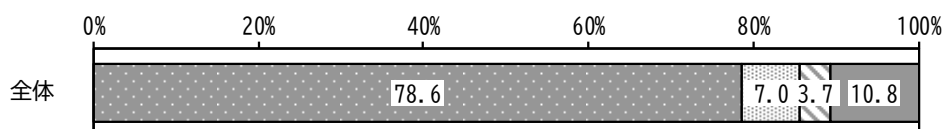
全サービスの合計提供時間に占める各サービスの割合は、「身体介護」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「その他の生活援助」の割合が 30.5%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「その他の生活援助」の割合が 19.7ポイント増加しています。一方、「身体介護」の割合が 25.9ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

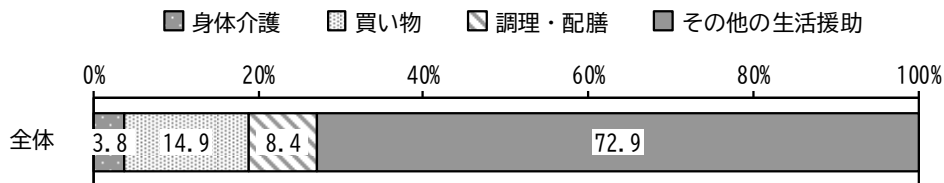


問7 介護予防給付・総合事業による訪問について記入してください。

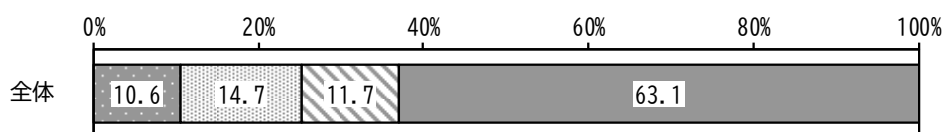
全サービスの合計提供時間に占める各サービスの割合は、「その他の生活援助」の割合が 72.9%と最も高く、次いで「買い物」の割合が 14.9%となっています。

令和4年度調査と比較すると、「その他の生活援助」の割合が 9.8ポイント増加しています。一方、「身体介護」の割合が 6.8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



5 各調査共通項目（市の独自調査項目）

※市内の全ての居宅介護支援事業所、施設・居住系サービス、通所・短期入所系サービス、訪問系サービス（ただし訪問看護サービス等を除く）の事業所を対象に調査（在宅生活改善調査票および介護人材実態調査票に掲載）

（1）現在の介護人材の状況について

問1 職種ごとの従業員の過不足について、どのように感じているかお答えください。
（○は1つ）

① 訪問介護員

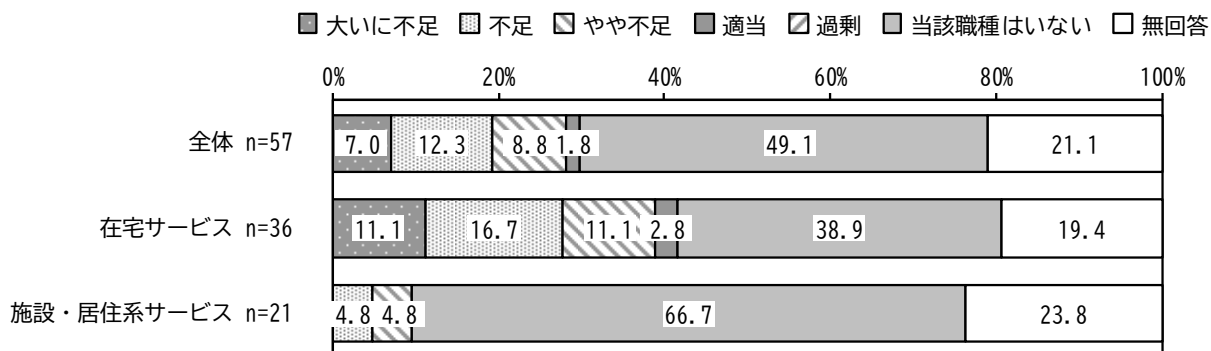
在宅サービスでは、「当該職種はいない」の割合が38.9%と最も高く、次いで「不足」の割合が16.7%となっています。

施設・居住系サービスでは、「当該職種はいない」の割合が66.7%と最も高く、次いで「不足」「やや不足」の割合がそれぞれ4.8%となっています。

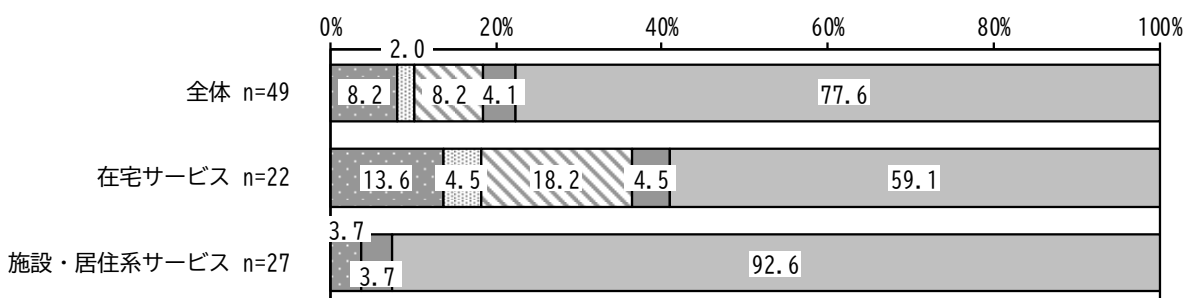
令和4年度調査と比較すると、在宅サービスでは、「不足」の割合が12.2ポイント増加しています。一方、「やや不足」の割合が7.1ポイント、「当該職種はいない」の割合が20.2ポイント減少しています。

また、施設・居住系サービスでは、「当該職種はいない」の割合が25.9ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



② サービス提供責任者

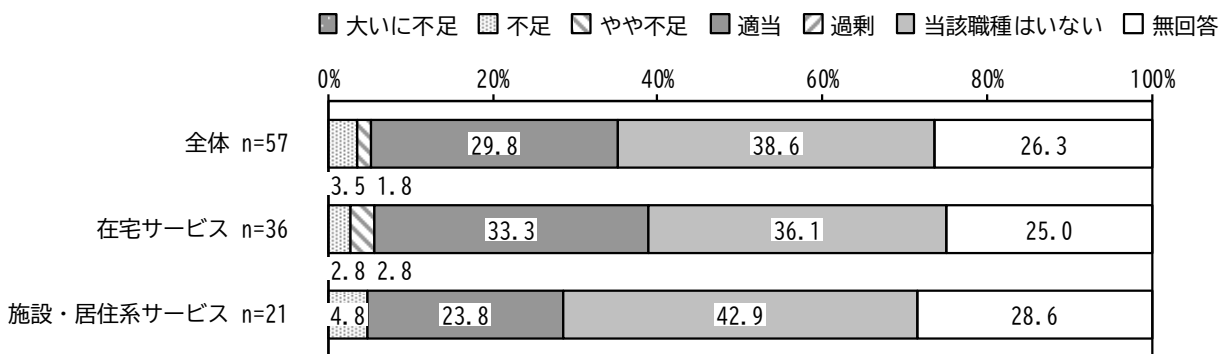
在宅サービスでは、「当該職種はいいない」の割合が36.1%と最も高く、次いで「適当」の割合が33.3%となっています。

施設・居住系サービスでは、「当該職種はいいない」の割合が42.9%と最も高く、次いで「適当」の割合が23.8%となっています。

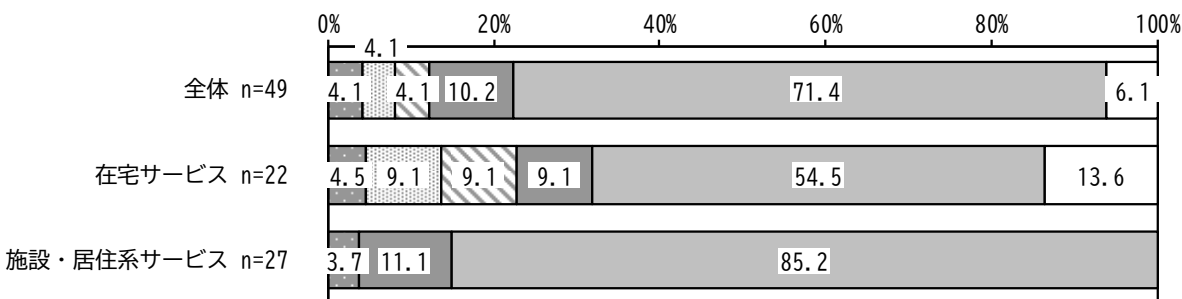
令和4年度調査と比較すると、「適当」の割合が24.2ポイント増加しています。一方、「不足」「やや不足」の割合がそれぞれ6.3ポイント、「当該職種はいいない」の割合が18.4ポイント減少しています。

また、施設・居住系サービスでは、「適当」の割合が12.7ポイント増加しています。一方、「当該職種はいいない」の割合が42.3ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



③ 介護職員

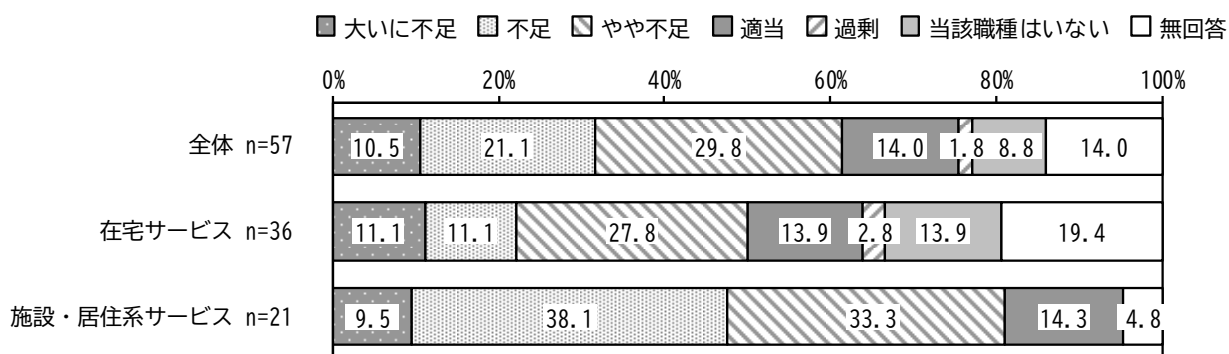
在宅サービスでは、「やや不足」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「適当」「当該職種はいない」の割合がそれぞれ 13.9%となっています。

施設・居住系サービスでは、「不足」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「やや不足」の割合が 33.3%となっています。

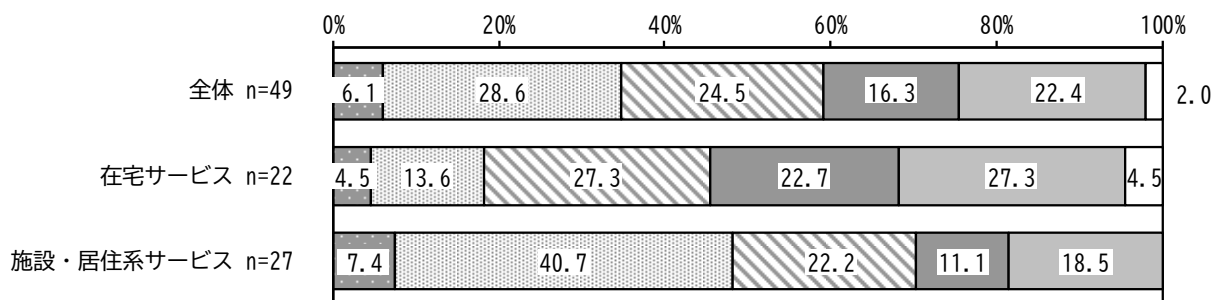
令和4年度調査と比較すると、在宅サービスでは、「大いに不足」の割合が 6.6ポイント増加しています。一方、「適当」の割合が 8.8ポイント、「当該職種はいない」の割合が 13.4ポイント減少しています。

また、施設・居住系サービスでは、「やや不足」の割合が 11.1ポイント増加しています。一方、「当該職種はいない」の割合が 18.5ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



④ 看護職員

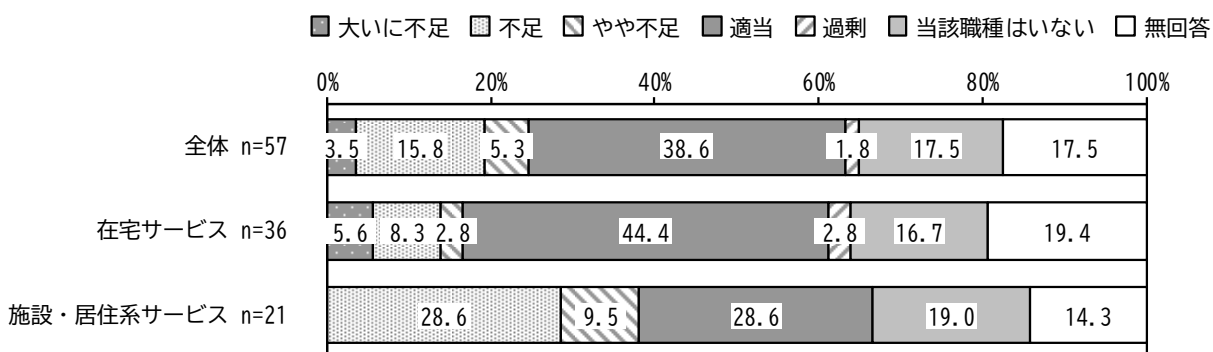
在宅サービスでは、「適当」の割合が44.4%と最も高く、次いで「当該職種はいない」の割合が16.7%となっています。

施設・居住系サービスでは、「不足」「適当」の割合がそれぞれ28.6%と最も高く、次いで「当該職種はいない」の割合が19.0%となっています。

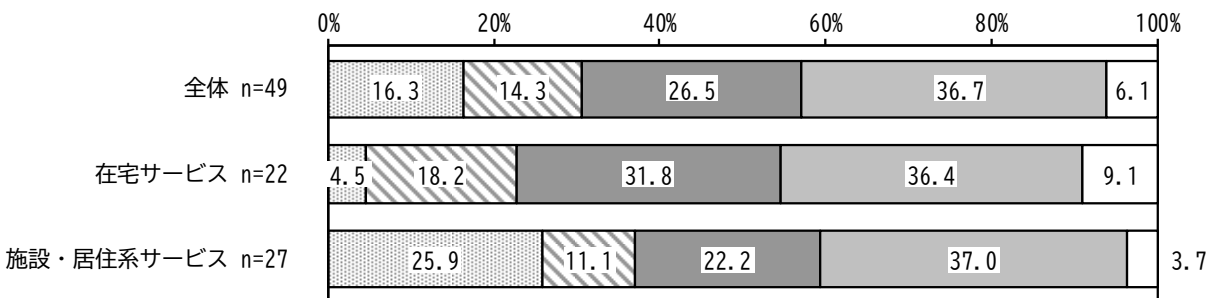
令和4年度調査と比較すると、在宅サービスでは、「大いに不足」の割合が5.6ポイント、「適当」の割合が12.6ポイント増加しています。一方、「やや不足」の割合が15.4ポイント、「当該職種はいない」の割合が19.7ポイント減少しています。

また、施設・居住系サービスでは、「適当」の割合が6.4ポイント増加しています。一方、「当該職種はいない」の割合が18.0ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



⑤ 生活相談員

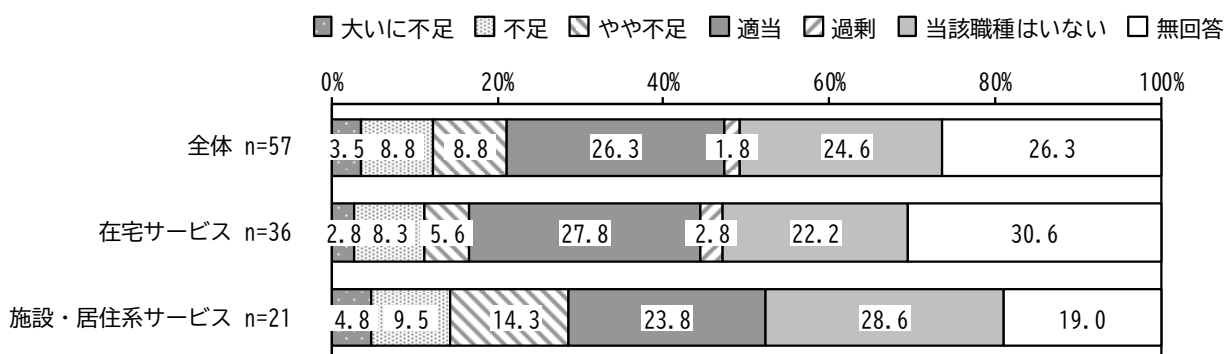
在宅サービスでは、「適当」の割合が27.8%と最も高く、次いで「当該職種はいない」の割合が22.2%となっています。

施設・居住系サービスでは、「当該職種はいない」の割合が28.6%と最も高く、次いで「適当」の割合が23.8%となっています。

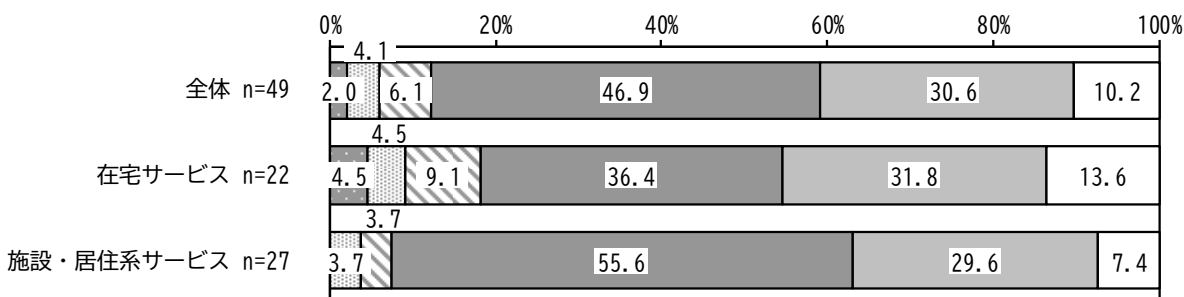
令和4年度調査と比較すると、在宅サービスでは、「適当」の割合が8.6ポイント、「当該職種はいない」の割合が9.6ポイント減少しています。

また、施設・居住系サービスでは、「不足」の割合が5.8ポイント、「やや不足」の割合が10.6ポイント増加しています。一方、「適当」の割合が31.8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



⑥ 機能訓練指導員

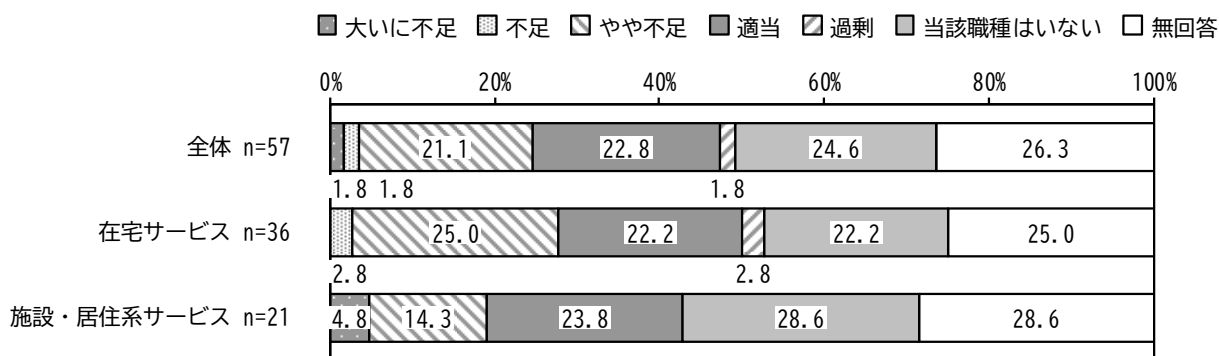
在宅サービスでは、「やや不足」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「適当」「当該職種はいない」の割合がそれぞれ 22.2%となっています。

施設・居住系サービスでは、「当該職種はいない」の割合が 28.6%と最も高く、次いで「適当」の割合が 23.8%となっています。

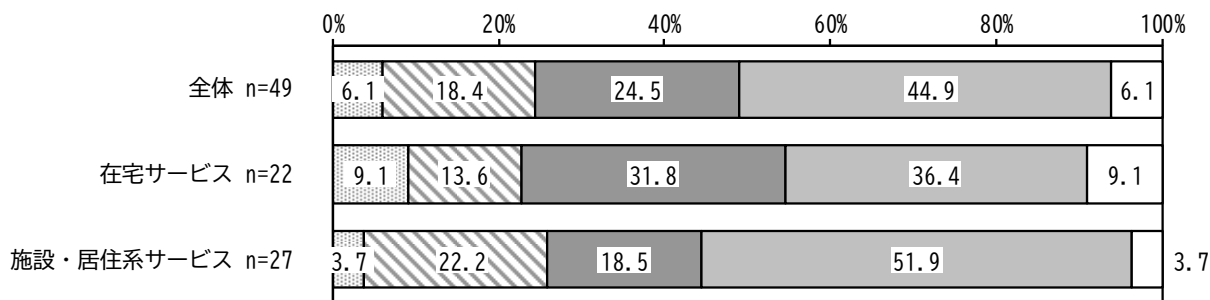
令和4年度調査と比較すると、在宅サービスでは、「やや不足」の割合が 11.4ポイント増加しています。一方、「不足」の割合が 6.3ポイント、「適当」の割合が 9.6ポイント、「当該職種はいない」の割合が 14.2ポイント減少しています。

また、施設・居住系サービスでは、「適当」の割合が 5.3ポイント増加しています。一方、「やや不足」の割合が 7.9ポイント、「当該職種はいない」の割合が 23.3ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



⑦ ケアマネジャー

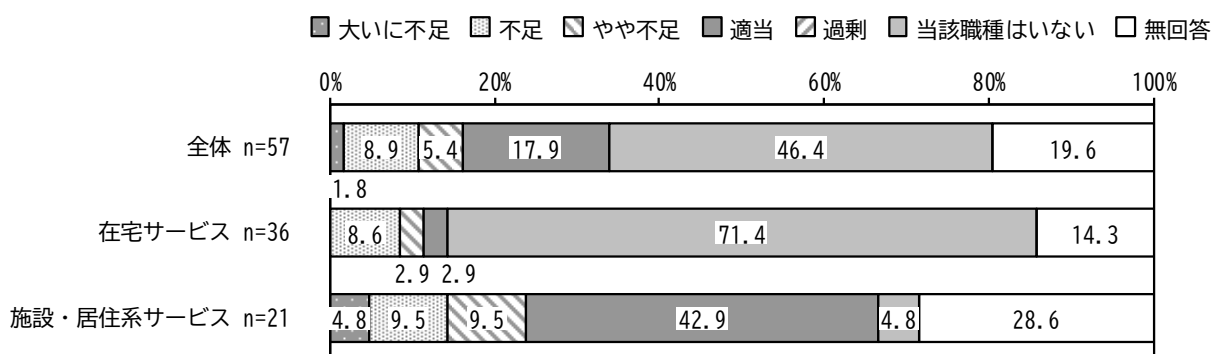
在宅サービスでは、「当該職種はいない」の割合が71.4%と最も高く、次いで「不足」の割合が8.6%となっています。

施設・居住系サービスでは、「適当」の割合が42.9%と最も高く、次いで「不足」「やや不足」の割合がそれぞれ9.5%となっています。

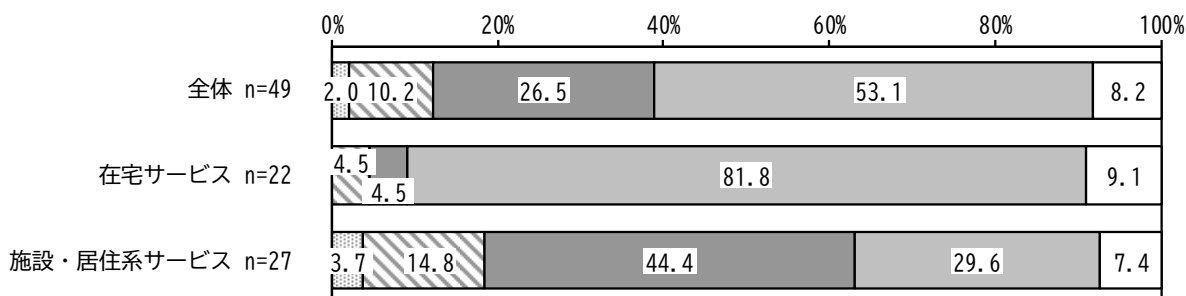
令和4年度調査と比較すると、在宅サービスでは、「不足」の割合が8.6ポイント増加しています。一方、「当該職種はいない」の割合が10.4ポイント減少しています。

また、施設・居住系サービスでは、「不足」の割合が5.8ポイント増加しています。一方、「やや不足」の割合が5.3ポイント、「当該職種はいない」の割合が24.8ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

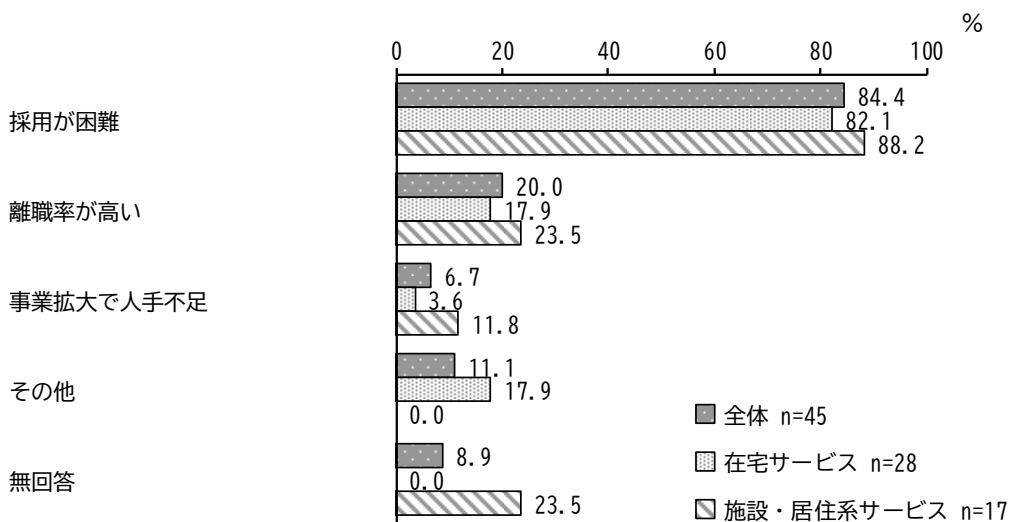


【問1で「大いに不足」「不足」「やや不足」の方のみ】

問2 不足している理由は何ですか。（複数回答可）

在宅サービスでは、「採用が困難」の割合が 82.1%と最も高く、次いで「離職率が高い」の割合が 17.9%となっています。

施設・居住系サービスでは、「採用が困難」の割合が 88.2%と最も高く、次いで「離職率が高い」の割合が 23.5%となっています。

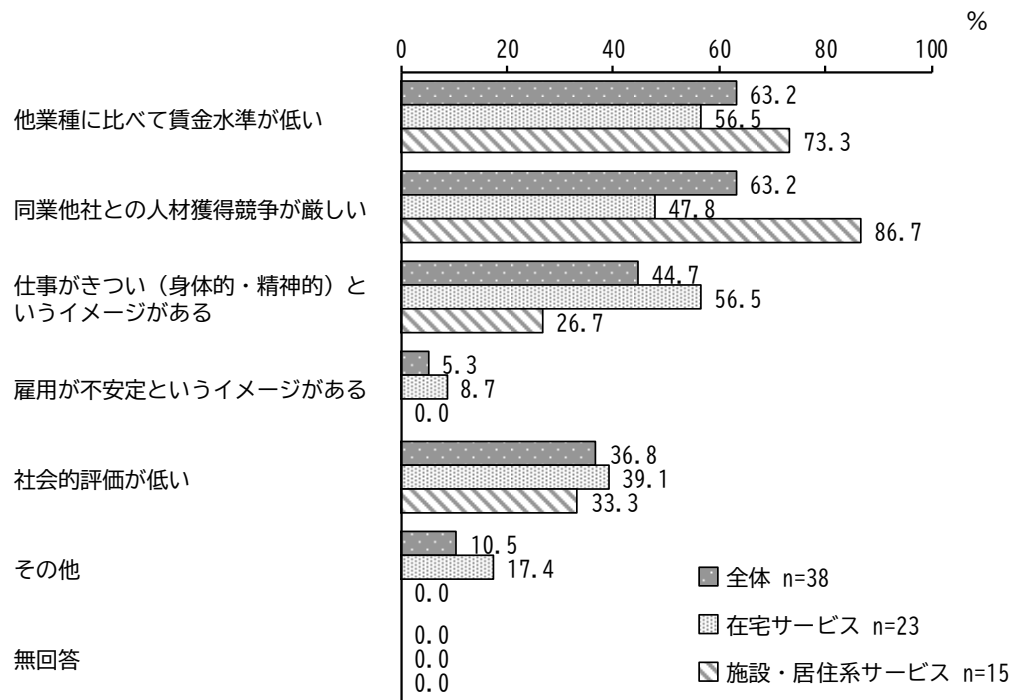


【問2で「採用が困難」の方のみ】

問3 採用が困難な理由は何ですか。（複数回答可）

在宅サービスでは、「他業種に比べて賃金水準が低い」「仕事がつい（身体的・精神的）というイメージがある」の割合がそれぞれ 56.5%と最も高く、次いで「同業他社との人材獲得競争が厳しい」の割合が 47.8%となっています。

施設・居住系サービスでは、「同業他社との人材獲得競争が厳しい」の割合が 86.7%と最も高く、次いで「他業種に比べて賃金水準が低い」の割合が 73.3%となっています。

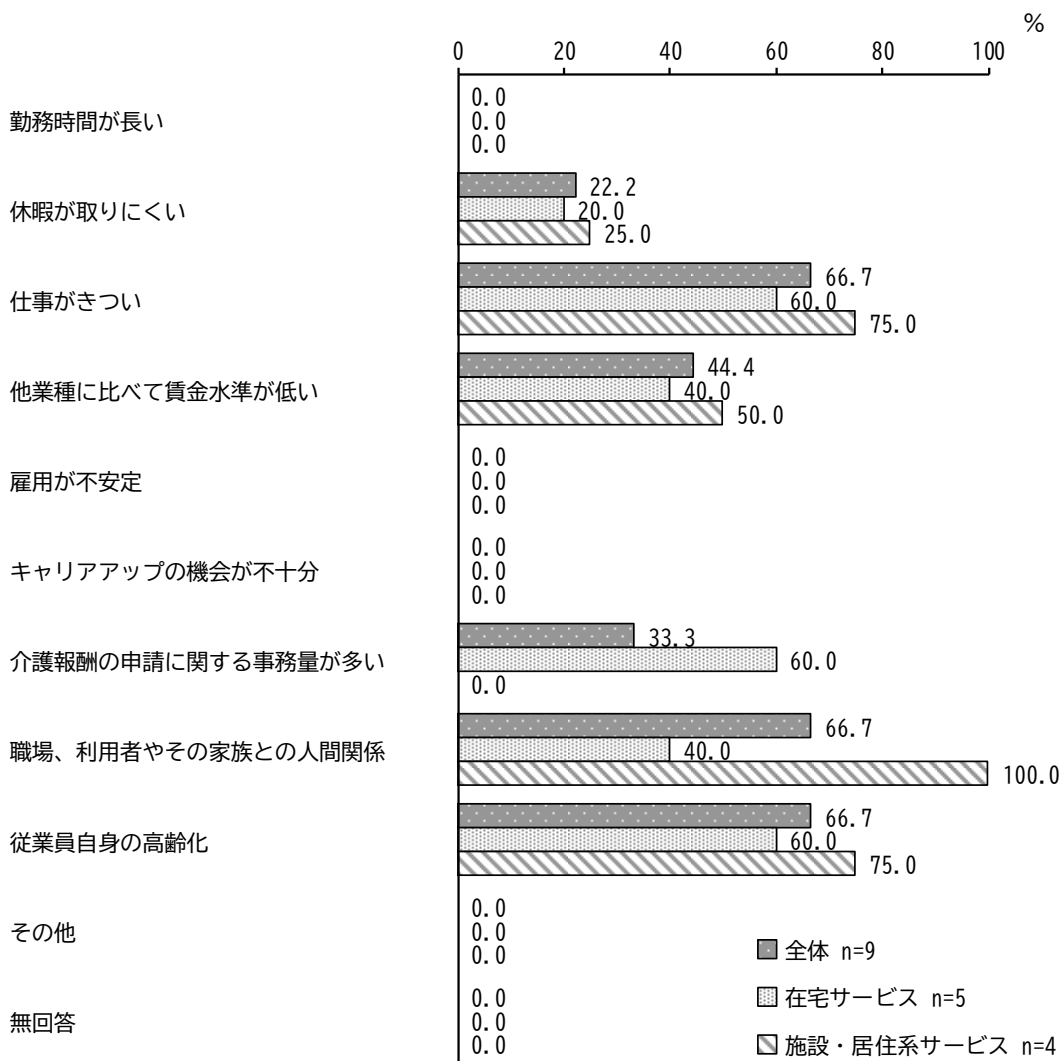


【問2で「離職率が高い」の方のみ】

問4 離職率が高い理由は何ですか。（複数回答可）

在宅サービスでは、「仕事がきつい」「介護報酬の申請に関する事務量が多い」「従業員自身の高齢化」の割合がそれぞれ 60.0%と最も高くなっています。

施設・居住系サービスでは、「職場、利用者やその家族との人間関係」の割合が 100.0%と最も高く、次いで「仕事がきつい」「従業員自身の高齢化」の割合がそれぞれ 75.0%となっています。



問5 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。（自由記述）**【主なご意見】**

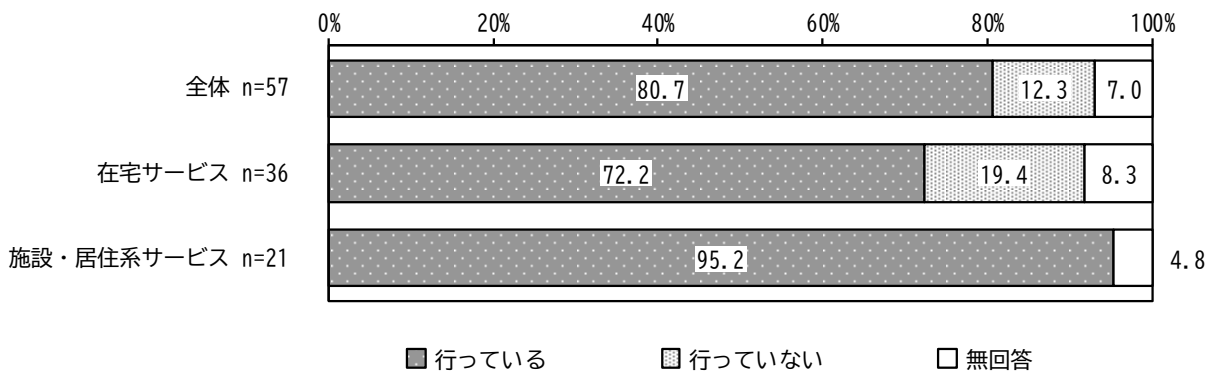
- ・そもそも応募がだいぶ減っている。ファミレスのバイトと同じくらいの給与で、他人のお風呂、トイレの介助をするということが考えにくいのだと思う。純粋に賃金が低い。他産業と比べ、給与水準が低い。国から介護従事者の給与を最大 1.9 万円増やすとニュースになっているが、平均賃金より 8 万安いと言われている状況でまだまだ追いつかないと思う。
- ・他産業と比べ給与水準が低め、仕事内容がネガティブなイメージがある。朝早く、夜遅い勤務があり若い世代の人材が入らない。
- ・人材確保がハローワークではなく紹介会社からが多い。ミスマッチも多く、短期・早期退職しやすい。紹介会社に頼らざるを得ないが手数料が高額なため、経営を圧迫している。
- ・訪問介護（在宅サービス）は収入面でも施設より賃金が低く、キャンセルになると収入が不安定になり子育て中の人や若い人材が選ばない。
- ・介護処遇改善は定期的に行われるが、介護業務を支えている看護師や調理員などは処遇改善加算の人数に含まれていないため、国が進める賃金上昇にはつながりにくく、別の業種へ人材流出している。
- ・少しずつ人材の定着はしているが、高齢のヘルパーさんが多く、今後、人材不足が加速することが懸念されている。
- ・求職者が圧倒的に不足している。また、求職者は給与水準で選ぶので、さいたま市に比して、地域係数が低い当市は不利である。外国人材の雇用が困難になりつつある。東南アジアの優秀な人材は就業に制限があり、言葉が難しい日本を敬遠しがちである。国内に入国済みの経験者を雇用するのが一番良いが、先述のように給与水準的にハンデを抱える当市は、不利である。外国人材は常勤採用するしかないので、夜勤希望者が増え人件費率が上がってしまい、経営的に難しくなる。また、夜勤希望者が増え、今まで働いていた職員も含めて給与が下がる

問6 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）

- ・地域の求人求職説明会の定期的な開催。
- ・人材確保にかなりの金銭的負担と精神的エネルギーが必要であり、当事業所は、人材確保のために採用チームを作り、そちらに入口は任せしているが、それも費用面で負担ではある。できれば負担軽減を図りつつ、人材確保ができるシステムがあるとありがたい。
- ・最低賃金が県単位で決まる以上、地域係数も県単位で決めるよう、厚労省に働きかけてほしい。外国人材の雇用に関する補助をお願いしたい。
- ・就労を考えている人が、職種（デイサービスや施設等）によって登録でき、欠員がでたら紹介するようなシステムがあったら、事業所も採用費が削減できてよいのではないかと思う。
- ・高齢化社会や在宅介護に対応するため、潜在的な介護スキルをあげることを期待している。市内の高齢者家族の介護を行う人の認知症基礎研修や初任者研修の受講費の全額補助、外国人材の義務的支援にかかる経費の一部を補助してほしい。
- ・子育てに一段落した人や、これから親の介護が必要になるかもしれない世代、潜在介護福祉士の掘り起こしなどを目的とした広報活動、アプローチをしてほしい。
- ・介護の資格取得のための補助をお願いしたい。介護の仕事の魅力を伝える学校訪問、施設訪問等の機会を増やしてほしい。

問7 生産性を向上させるための取り組みを行っていますか。（○は1つ）

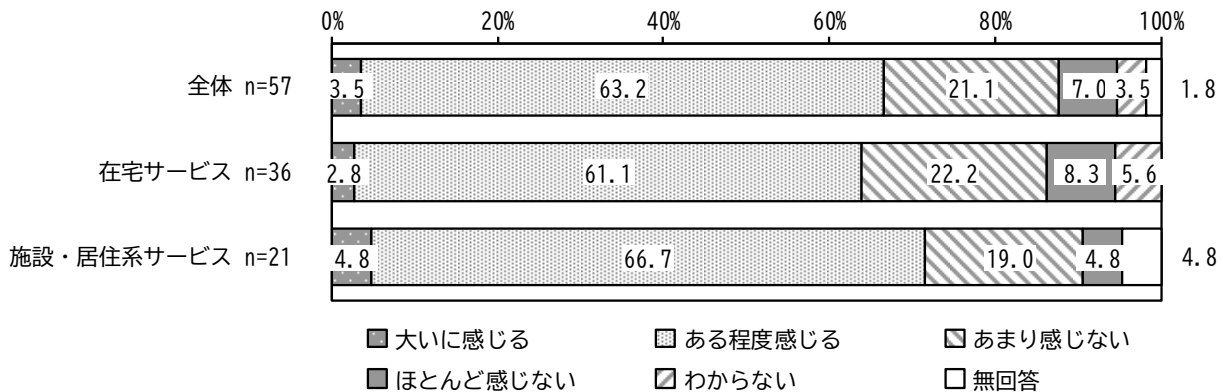
「行っている」の割合は、在宅サービスで72.2%、施設・居住系サービスで95.2%となっています。



問8 以前に比べ、生産性が向上したと感じますか。（○は1つ）

在宅サービスでは、「ある程度感じる」の割合が61.1%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が22.2%となっています。

施設・居住系サービスでは、「ある程度感じる」の割合が66.7%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が19.0%となっています。



問9 業務効率化・生産性向上に関する課題をご回答ください。（自由記述）

【主なご意見】

- ・人材育成が難しい。職員の年齢も高く後任の職員はスキルアップを求めない職員が多い。
- ・生産性向上の必要性は理解できるが、BCPの策定や研修、虐待防止の体制や研修など、新たに要求されることが増えている。シフトで回っている職場なので、委員会や研修、訓練など時間外で行うしかないのが現状である。生産性向上に取り組む時間的余裕はなかなか生み出せない。BCPや虐待防止の研修などの簡略化がまずは生産性向上につながると思う。今までいろいろと研究してきたが、BCPや虐待防止で有効だと思う研修に出会ったことがない。
- ・人材確保が大前提となるが、資格を持っている介護職が、人にしかできないケアを集中してでき、他の掃除・洗濯・配膳（間接業務）等は資格がない人でもできる環境づくりが必要と考える。
- ・ケアプランデータ連携システム導入を検討しているが、準備に割ける時間の確保が難しいうえ、実施している事業所が少なくメリットが得られにくい。
- ・当施設では、介護現場にはプライバシー保護の観点からスマホの持ち込みを禁止している。その中で、生産性向上としてインカムや眠りスキャンなどの利用が挙げられている。個人所有のスマホの持ち込みができないため、施設側でスマホの用意する必要が生じるが、出勤者分のスマホとインカム機材等を購入する必要が生じるため、導入の判断が難しい。
- ・家族からのケアマネへの要望がエスカレートしているように感じる。そのため通常業務にも影響が出る。
- ・居宅介護支援業務は業務範囲が広く多岐にわたるため、業務過多で後進のケアマネが育成しづらい面が常にある。特に書類作成などデスクワーク業務が多く業務効率化のため、行政として生成AIなどの導入補助など支援して頂けるとありがたい。
- ・ICTの活用で情報共有や連携、業務負担の軽減が可能と思われるが、導入の方法や活用の仕方が分からない。

問 10 生産性向上を実現するために、上尾市に期待するサポートがあれば、ご記入ください。

【主なご意見】

- ・ DX 化を進めるため補助金等の支援をいただきたい。生産性向上の取り組みに市町村独自で補助を出してもらえると法人にいろいろ相談しやすい。
- ・ 介護機器導入には県から補助をもらえるが、ランニングコストの補助はない。その分を多少なりとも補助してもらえれば助かる。
- ・ ICT 活用の研修をしてほしい。他施設の有効的な事例の水平展開もしてほしい。
- ・ 間接業務を行える資格なしの人材が介護施設で働ける様な環境づくり。介護業界に入りやすくするための活動等を行い、まずは配膳などの簡単な仕事からはじめ、そこから希望者は資格取得援助等で資格をとり介護職として継続雇用ができればいいと思う。
- ・ 介護保険者として保険者機能の向上や、指定事業者の指定権者として県や国への積極的な意見具申をお願いしたい。
- ・ 電子機器や通信量や PC ソフトの補助金情報公開資料のコピー代のキャッシュレス化。
- ・ ケアマネの業務自体をもう少し緩和してほしい。

（2）認知症施策について

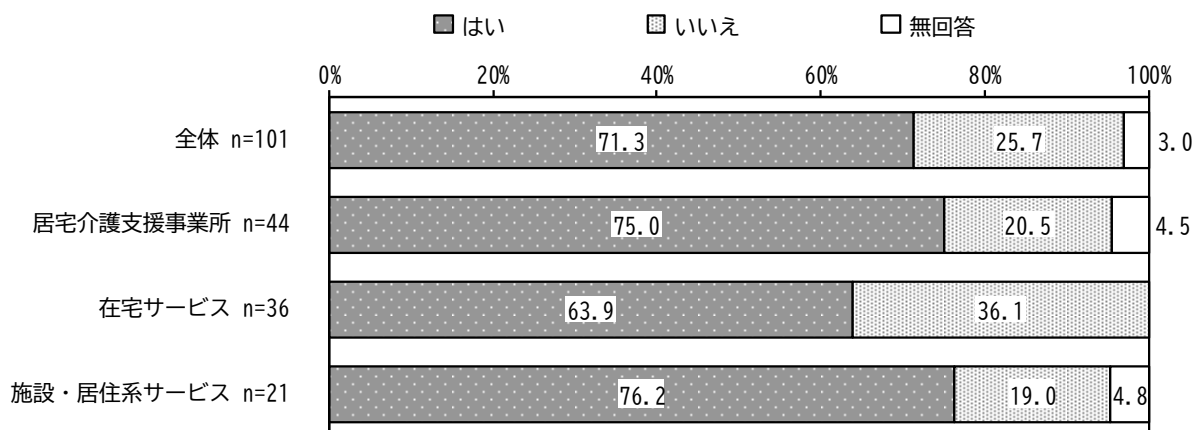
問 11 認知症の支援で困っていることはありますか。（○は1つ）

「はい」の割合は、居宅介護支援事業所で75.0%、在宅サービスで63.9%、施設・居住系サービスで76.2%となっています。

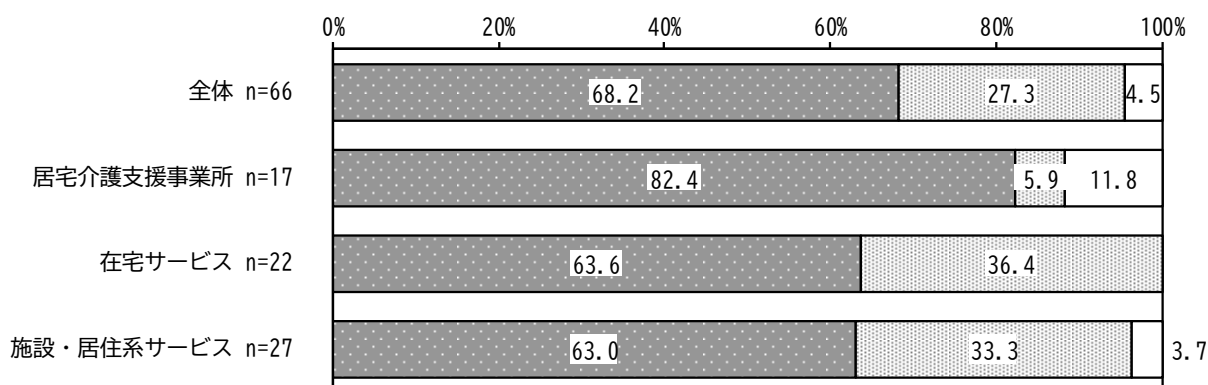
令和4年度調査と比較すると、居宅介護支援事業所では、「いいえ」の割合が14.6ポイント増加しています。一方、「はい」の割合が7.4ポイント減少しています。

また、施設・居住系サービスでは、「はい」の割合が13.2ポイント増加しています。一方、「いいえ」の割合が14.3ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】



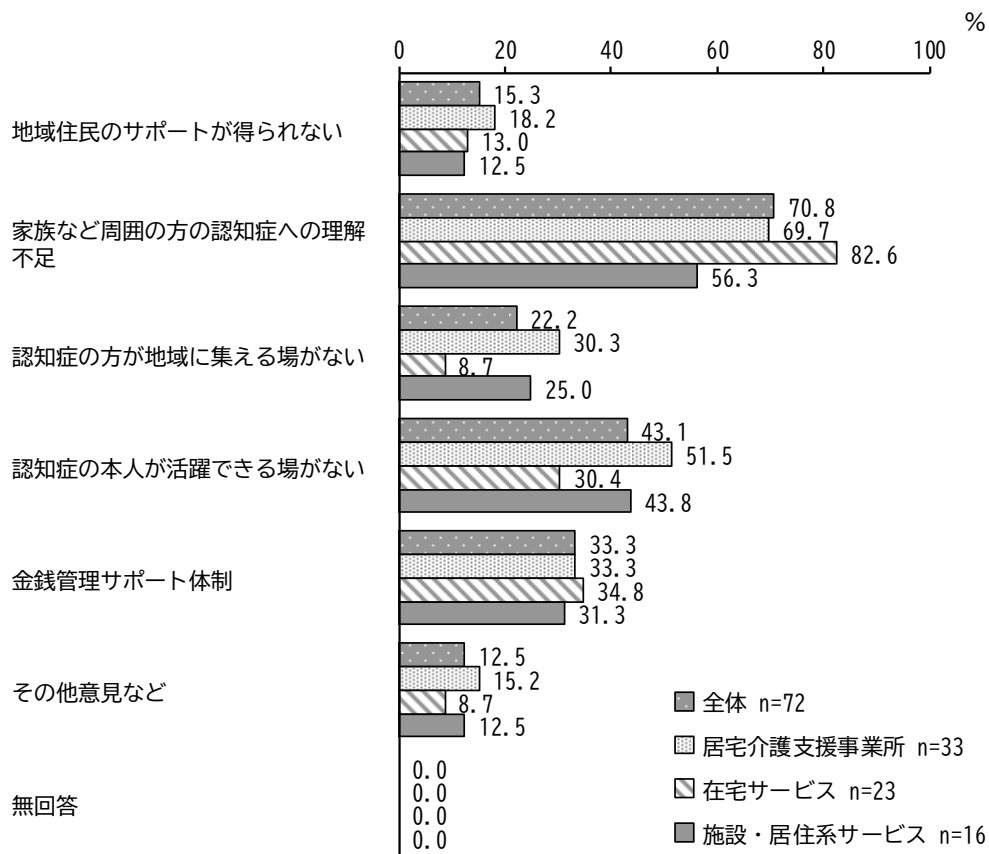
【問11で「はい」の方のみ】

問12 どのようなことに困っていますか。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「家族など周囲の方の認知症への理解不足」の割合が69.7%と最も高く、次いで「認知症の本人が活躍できる場がない」の割合が51.5%となっています。

在宅サービスでは、「家族など周囲の方の認知症への理解不足」の割合が82.6%と最も高く、次いで「金銭管理サポート体制」の割合がそれぞれ34.8%となっています。

施設・居住系サービスでは、「家族など周囲の方の認知症への理解不足」の割合が56.3%と最も高く、次いで「認知症の本人が活躍できる場がない」の割合が43.8%となっています。

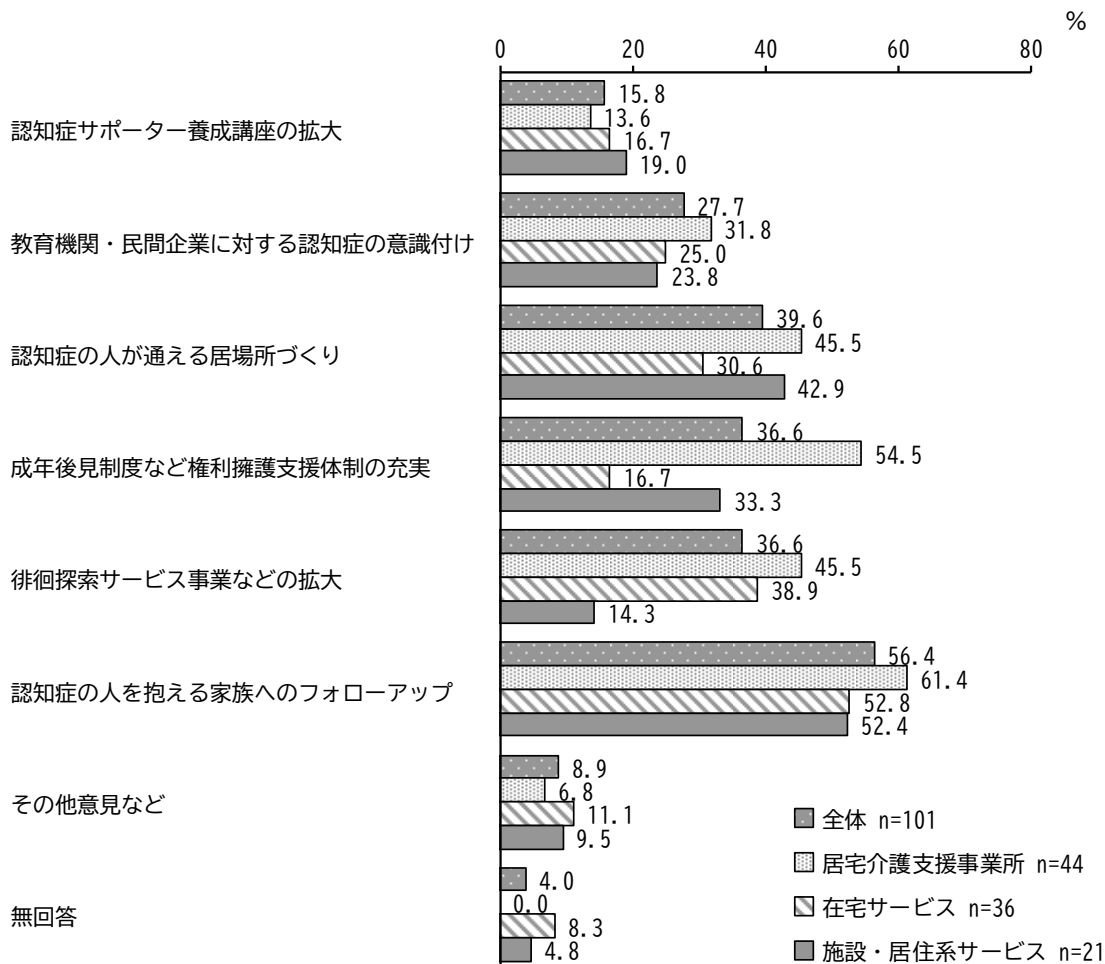


問 13 上尾市の認知症施策に望むことはありますか。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「認知症の人を抱える家族へのフォローアップ」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「成年後見制度など権利擁護支援体制の充実」の割合が 54.5%となっています。

在宅サービスでは、「認知症の人を抱える家族へのフォローアップ」の割合が 52.8%と最も高く、次いで「徘徊探索サービス事業などの拡大」の割合が 38.9%となっています。

施設・居住系サービスでは、「認知症の人を抱える家族へのフォローアップ」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「認知症の人が通える居場所づくり」の割合が 42.9%となっています。



（3）成年後見制度について

問 14 成年後見制度を利用している利用者の人数を把握している限り類型ごとに記入してください。（数値を入力）

成年後見制度の利用者について、合計、1事業所あたりの平均ともに、施設・居住系サービスの「後見」利用者が最も高くなっています。

① 後見

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
全体	101	49	0.5	0
居宅介護支援事業所	44	12	0.3	0
在宅サービス	36	14	0.4	0
施設・居住系サービス	21	23	1.1	0

② 保佐

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
全体	101	13	0.1	0
居宅介護支援事業所	44	6	0.1	0
在宅サービス	36	2	0.1	0
施設・居住系サービス	21	5	0.2	0

③ 補助

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
全体	101	2	0.0	0
居宅介護支援事業所	44	1	0.0	0
在宅サービス	36	0	0.0	0
施設・居住系サービス	21	1	0.0	0

④ 任意後見・後見信託

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
全体	101	6	0.1	0
居宅介護支援事業所	44	3	0.1	0
在宅サービス	36	3	0.1	0
施設・居住系サービス	21	0	0.0	0

⑤ 成年後見制度を利用しているが、類型は分からない

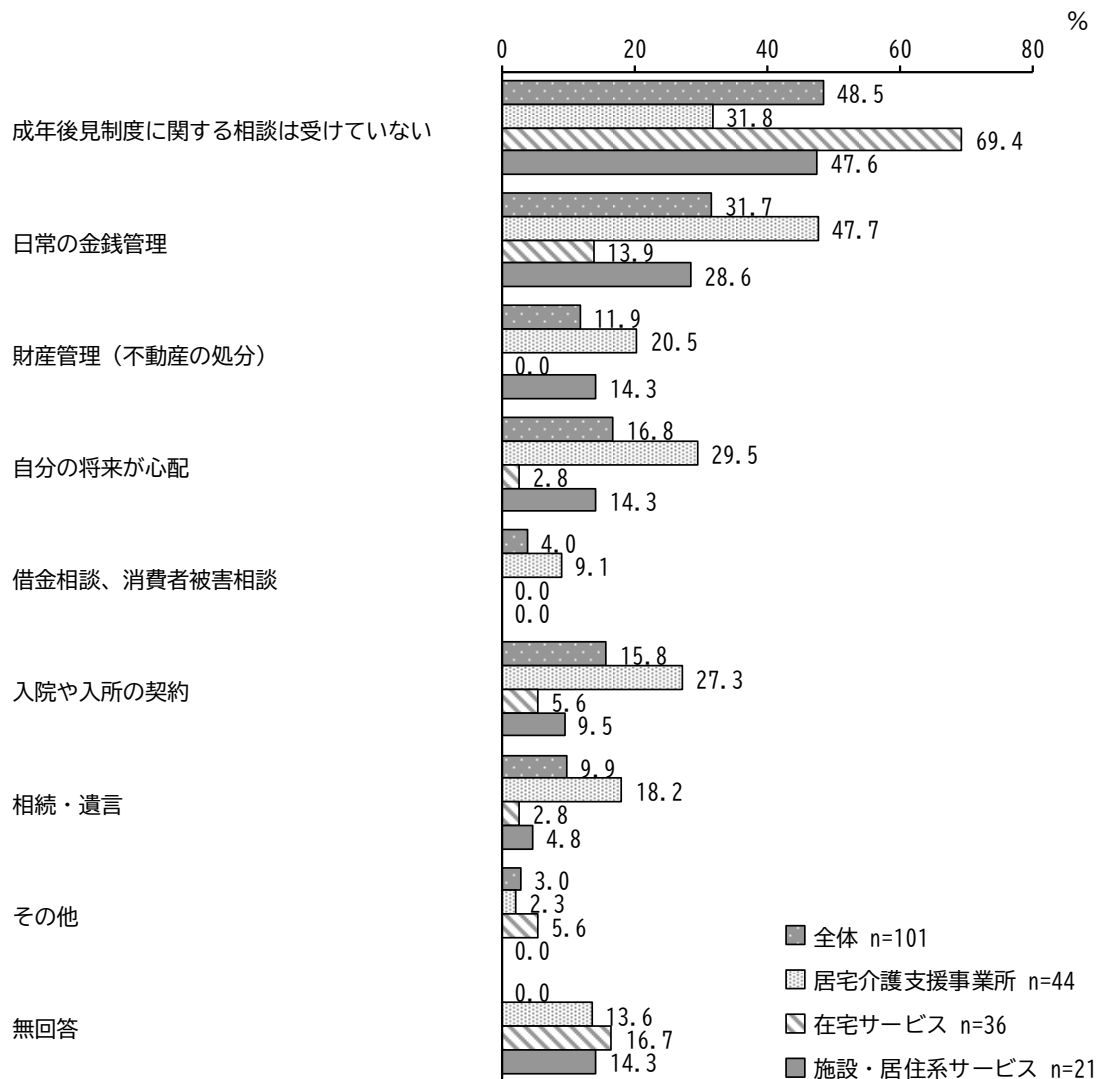
単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
全体	101	9	0.1	0
居宅介護支援事業所	44	6	0.1	0
在宅サービス	36	2	0.1	0
施設・居住系サービス	21	1	0.0	0

問 15 去年1年間に、どのような成年後見制度に関する相談を受けましたか。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「日常の金銭管理」の割合が47.7%と最も高く、次いで「成年後見制度に関する相談は受けていない」の割合が31.8%となっています。

在宅サービスでは、「成年後見制度に関する相談は受けていない」の割合が69.4%と最も高く、次いで「日常の金銭管理」の割合が13.9%となっています。

施設・居住系サービスでは、「成年後見制度に関する相談は受けていない」の割合が47.6%と最も高く、次いで「日常の金銭管理」の割合が28.6%となっています。

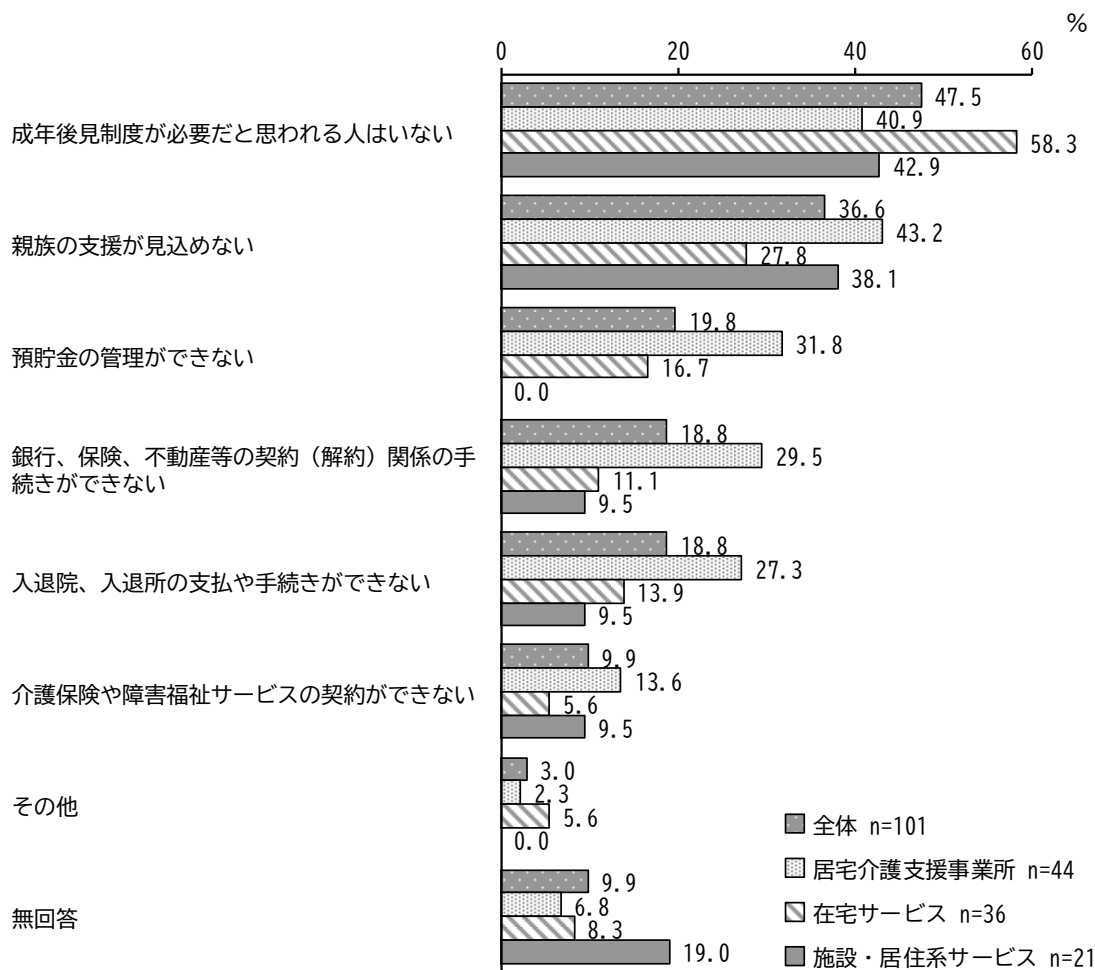


問 16 今後、成年後見制度が必要と思われる人はいますか。いる場合は必要と思われる理由と実人数もお答えください。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「親族の支援が見込めない」の割合が43.2%と最も高く、次いで「成年後見制度が必要だと思われる人はいない」の割合が40.9%となっています。

在宅サービスでは、「成年後見制度が必要だと思われる人はいない」の割合が58.3%と最も高く、次いで「親族の支援が見込めない」の割合が27.8%となっています。

施設・居住系サービスでは、「成年後見制度が必要だと思われる人はいない」の割合が42.9%と最も高く、次いで「親族の支援が見込めない」の割合が38.1%となっています。



必要と思われる人の実人数

1 事業所あたりの平均をみると、施設・居住系サービスが最も高くなっています。

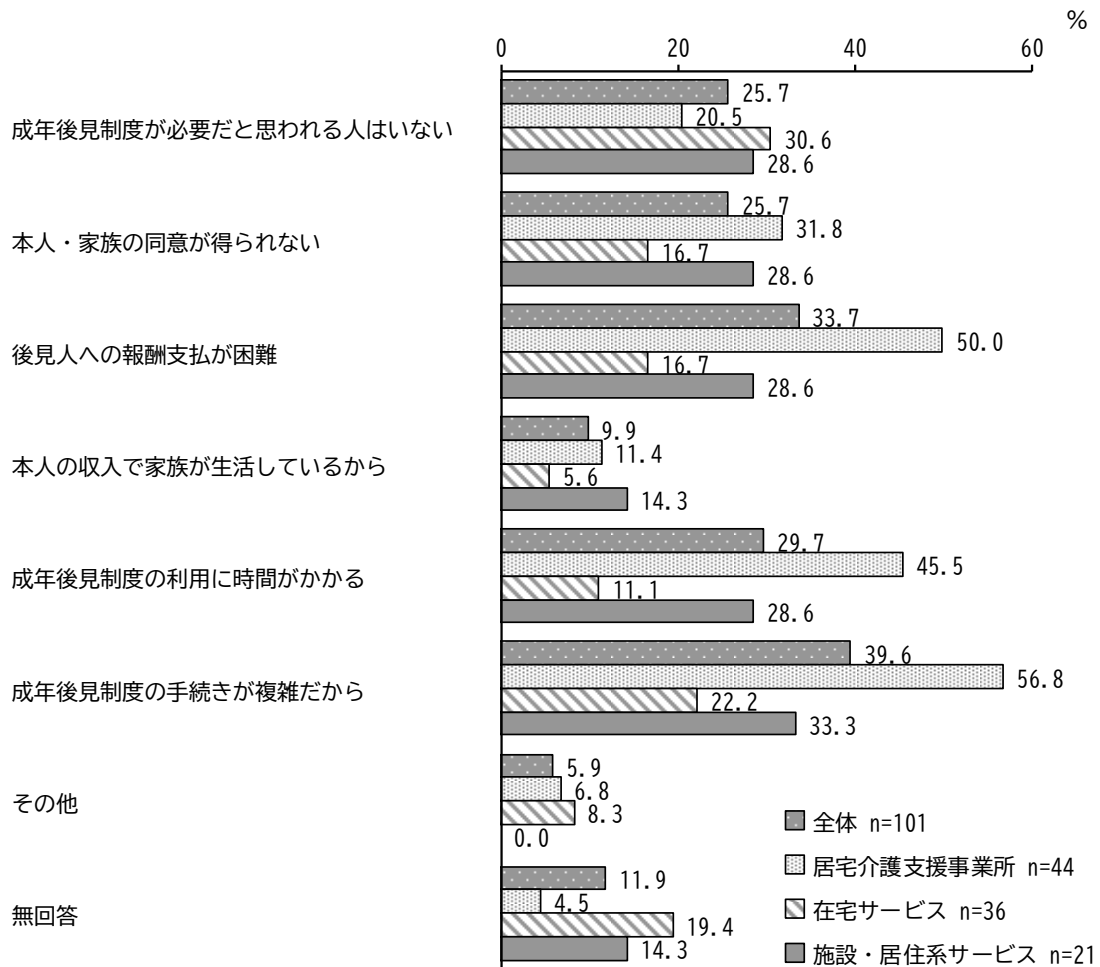
単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
全体	101	30	0.3	0
居宅介護支援事業所	44	0	0.0	0
在宅サービス	36	13	0.4	0
施設・居住系サービス	21	17	0.8	0

問 17 成年後見が必要でも利用が進まないと思われる要因はなんですか。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「成年後見制度の手続きが複雑だから」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「後見人への報酬支払が困難」の割合が 50.0%となっています。

在宅サービスでは、「成年後見制度が必要だと思われる人はいない」の割合が 30.6%と最も高く、次いで「成年後見制度の手続きが複雑だから」の割合が 22.2%となっています。

施設・居住系サービスでは、「成年後見制度の手続きが複雑だから」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「成年後見制度が必要だと思われる人はいない」「本人・家族の同意が得られない」「後見人への報酬支払が困難」「成年後見制度の利用に時間がかかる」の割合がそれぞれ 28.6%となっています。

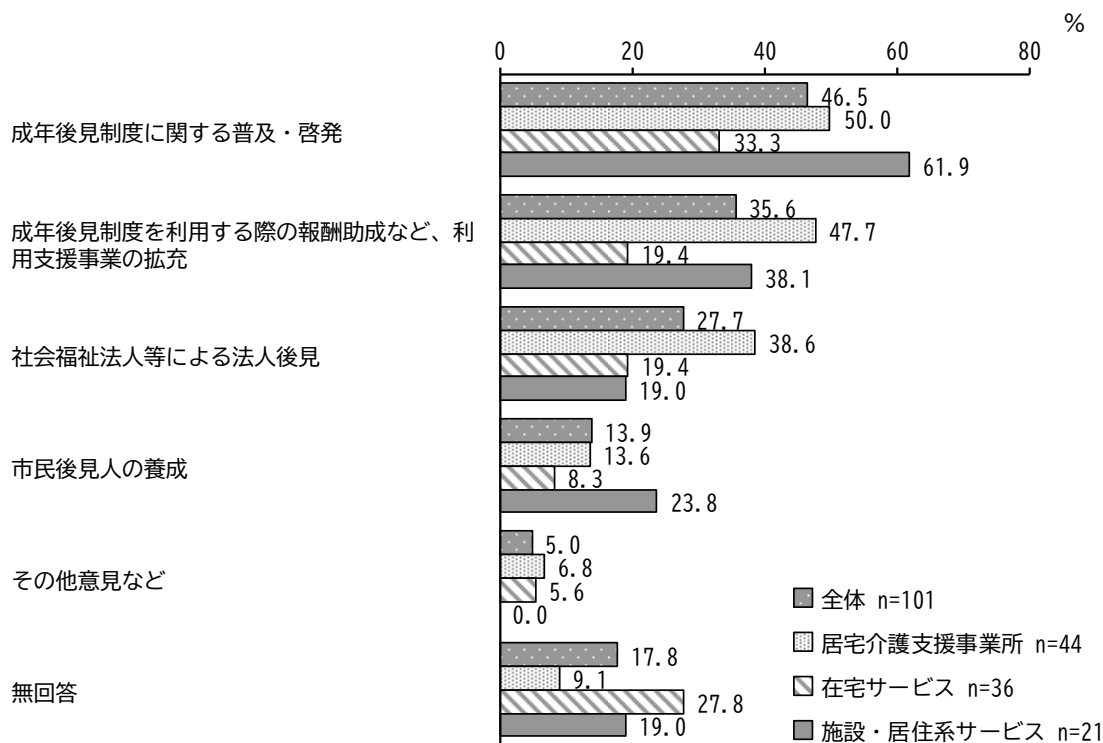


問 18 上尾市の成年後見制度施策に望むことはありますか。（複数回答可）

居宅介護支援事業所では、「成年後見制度に関する普及・啓発」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充」の割合が 47.7%となっています。

在宅サービスでは、「成年後見制度に関する普及・啓発」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充」「社会福祉法人等による法人後見」の割合がそれぞれ 19.4%となっています。

施設・居住系サービスでは、「成年後見制度に関する普及・啓発」の割合が 61.9%と最も高く、次いで「成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充」の割合が 38.1%となっています。



問 19 職場で成年後見制度に関する研修は必要だと思いますか。（○は1つ）

居宅介護支援事業所では、「どちらかと言えば必要」の割合が54.5%と最も高く、次いで「必要」の割合がそれぞれ34.1%となっています。

在宅サービスでは、「どちらかと言えば必要」の割合が50.0%と最も高く、次いで「必要ない」の割合がそれぞれ27.8%となっています。

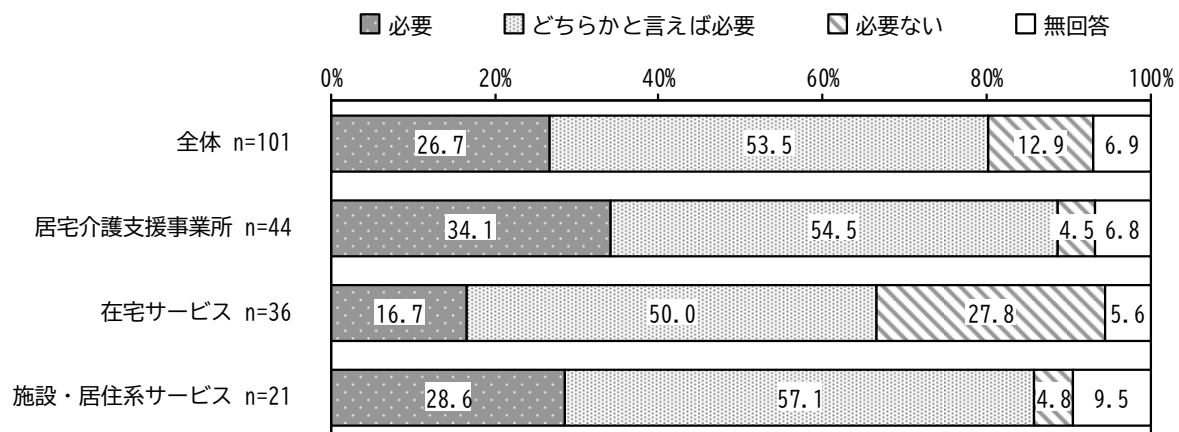
施設・居住系サービスでは、「どちらかと言えば必要」の割合が57.1%と最も高く、次いで「必要」の割合が28.6%となっています。

令和4年度調査と比較すると、居宅介護支援事業所では、「どちらかと言えば必要」の割合が7.4ポイント増加しています。一方、「必要」の割合が13.0ポイント減少しています。

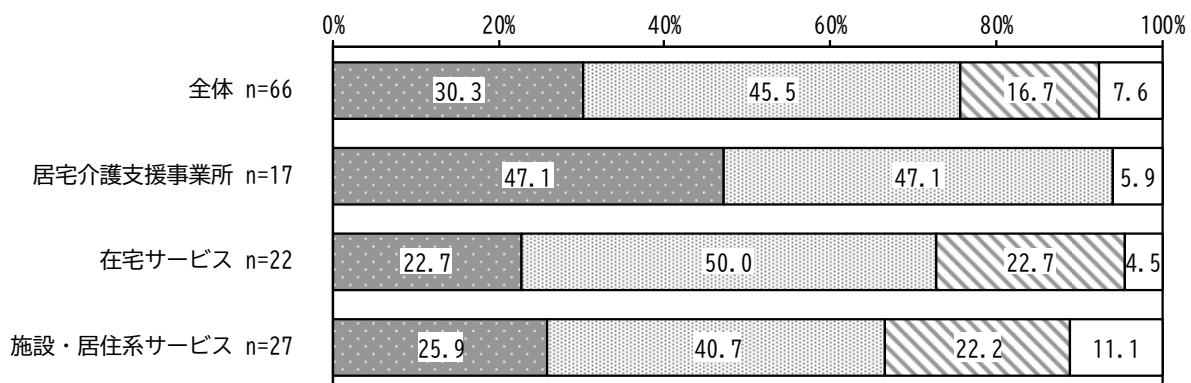
また、在宅サービスでは、「必要ない」の割合が5.1ポイント増加しています。一方、「必要」の割合が6.0ポイント減少しています。

そして、施設・居住系サービスでは、「どちらかと言えば必要」の割合が16.4ポイント増加しています。一方、「必要ない」の割合が17.4ポイント減少しています。

【令和7年度調査】



【令和4年度調査】

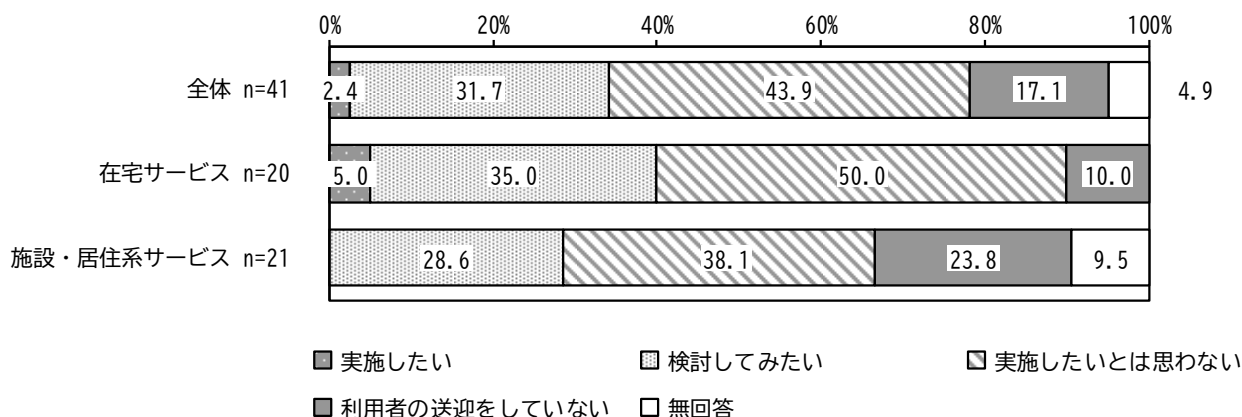


（４）その他

問 20 貴施設で利用者の送迎を行っている場合、ドライバーの空き時間帯を利用した福祉有償運送サービス等の提供に興味がありますか。（○は1つ）

在宅サービスでは、「実施したいとは思わない」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「検討してみたい」の割合が 35.0%となっています。

施設・居住系サービスでは、「実施したいとは思わない」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「検討してみたい」の割合が 28.6%となっています。

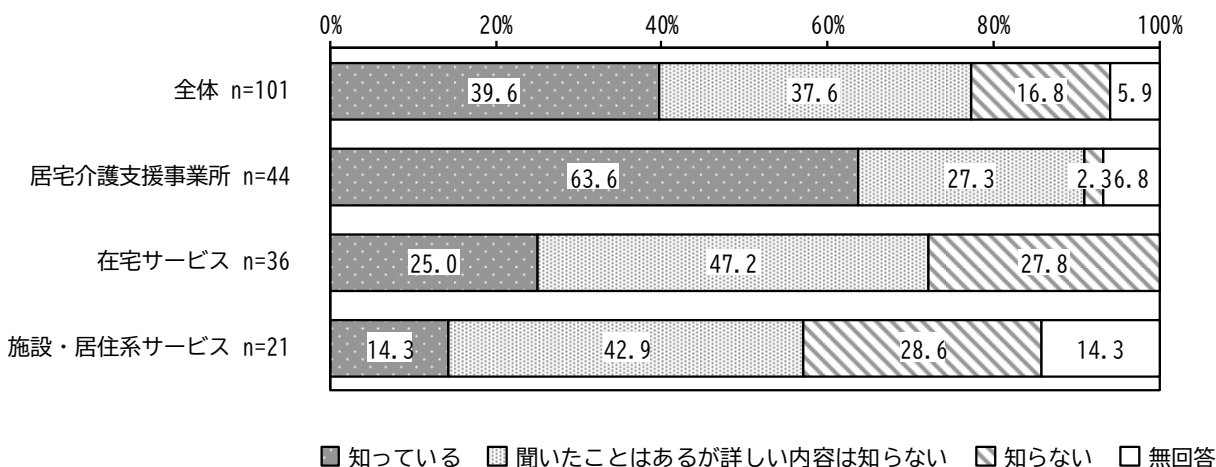


問 21 入退院支援ルールを知っていますか。（○は1つ）

居宅介護支援事業所では、「知っている」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 27.3%となっています。

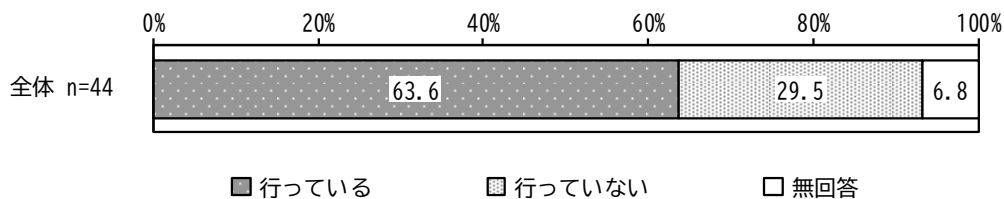
在宅サービスでは、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 27.8%となっています。

施設・居住系サービスでは、「聞いたことはあるが詳しい内容は知らない」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 28.6%となっています。



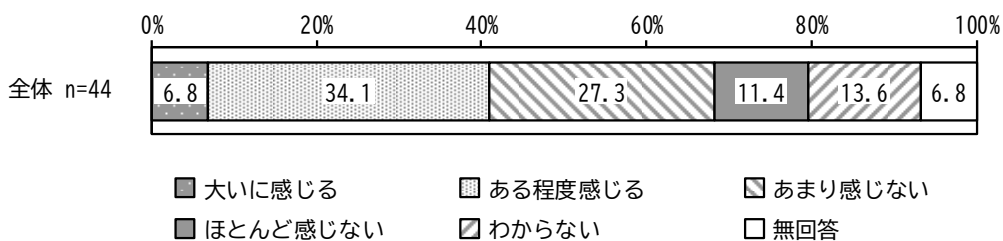
問 22 生産性を向上させるための取り組みを行っていますか。（○は1つ）

「行っている」の割合が 63.6%、「行っていない」の割合が 29.5%となっています。



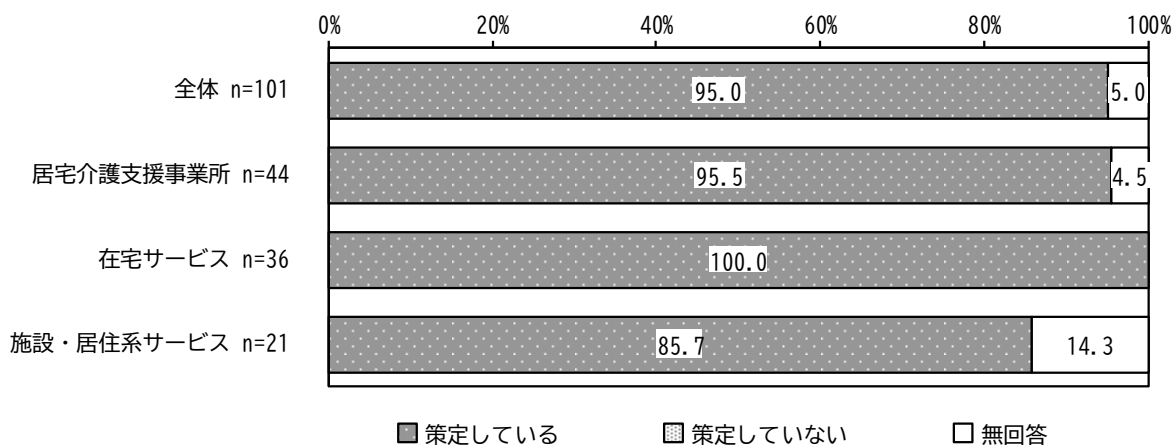
問 23 以前に比べ、生産性が向上したと感じますか。（○は1つ）

「ある程度感じる」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「あまり感じない」の割合が 27.3%となっています。



問 24 災害対策や感染症対策の計画の策定について、ご回答ください。（○は1つ）

「策定している」の割合は、居宅介護支援事業所で 95.5%、在宅サービスで 100.0%、施設・居住系サービスで 85.7%となっています。

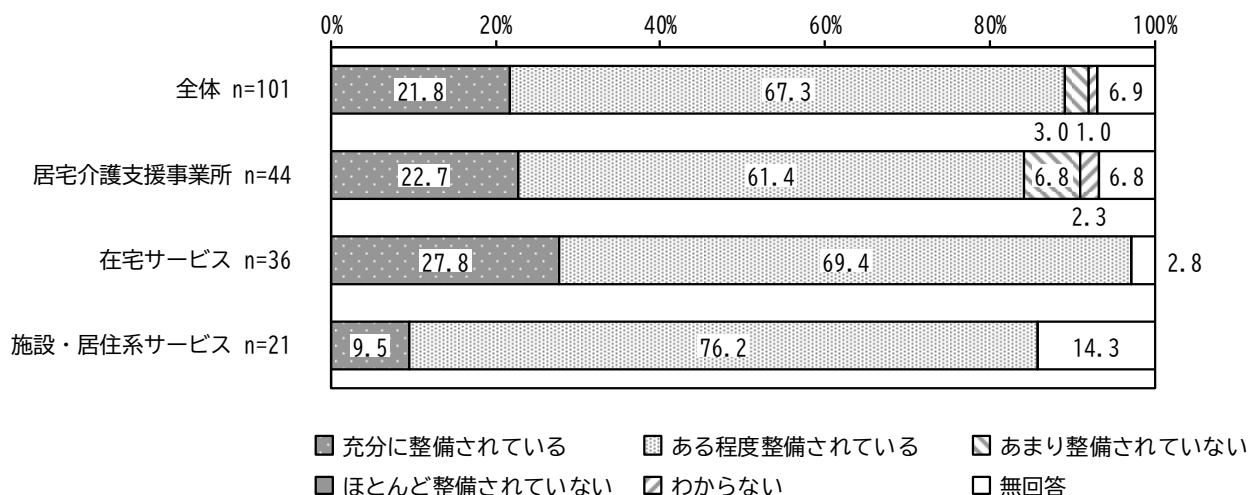


問 25 災害対策や感染症対策の体制の整備について、ご回答ください。（○は1つ）

居宅介護支援事業所では、「ある程度整備されている」の割合が61.4%と最も高く、次いで「十分に整備されている」の割合がそれぞれ22.7%となっています。

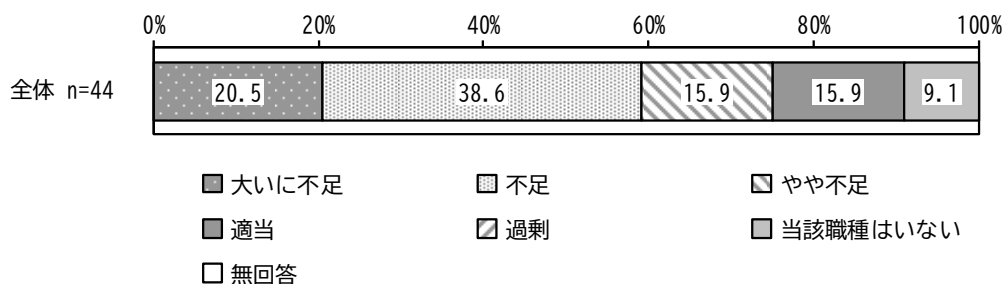
在宅サービスでは、「ある程度整備されている」の割合が69.4%と最も高く、次いで「十分に整備されている」の割合がそれぞれ27.8%となっています。

施設・居住系サービスでは、「ある程度整備されている」の割合が76.2%と最も高く、次いで「十分に整備されている」の割合がそれぞれ9.5%となっています。



問 26 ケアマネジャーの過不足について、どのように感じているかお答えください。（○は1つ）

「不足」の割合が38.6%と最も高く、次いで「大いに不足」の割合が20.5%となっています。



（5）職員について（職員票（ケアマネジャー向け））

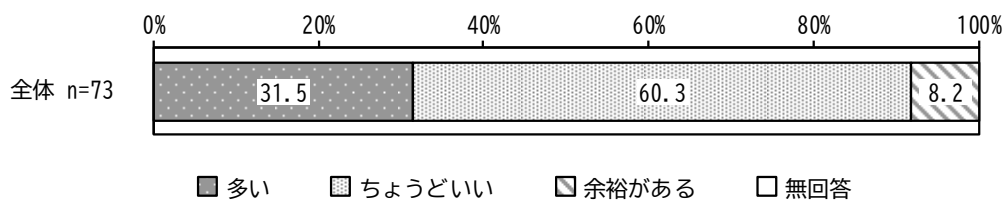
問 27 あなたが、担当する利用者は何人ですか。（数値を記入）

1 事業所あたりの平均利用者数は、33.9 人となっています。

単位：人	回答者数	合計値	平均値	中央値
利用者数	73	2,476	33.9	38

問 28 あなたの現在の担当人数について、ご回答ください。（○は1つ）

「ちょうどいい」の割合が 60.3%と最も高く、次いで「多い」の割合が 31.5%となっています。



問 29 ケアマネジャー本来の業務でないこと（シャドーワーク）の対応について、ご回答ください。

① 対応を断った内容は何ですか。（自由記述）

【主なご意見】

- ・通院・外出の送迎及び付き添い
- ・金銭・貴重品の管理
- ・介護保険外の行政手続き
- ・救急対応時の、救急車への同乗や、搬送先での付き添い
- ・家事・私的な雑用
- ・家族が対応すべき手続

② 対応を受けた内容は何ですか。（自由記述）

【主なご意見】

- ・行政・公的書類の手続き支援
- ・緊急時の対応と安否確認
- ・生活必需品の買い物・調達
- ・インフラ・住環境のトラブル対応
- ・通院同行

（6）上尾市の施策について

問 30 この3年間（令和6年度～令和8年度）の上尾市の高齢者福祉行政の課題をお書きください。取り組みが不足していたと思うことや、効果的でない取り組みだと思うことなど、どのようなことでも構いません。

【主なご意見】

- ・単身高齢者（特に軽度認知症）への介入が難しいと感じている。特に本人に認知症の自覚がなく通院や介護サービスの利用に否定的なケースなど。
- ・認知症初期集中支援チームの効果が見られていないように感じる。地域支援体制が成熟してきているせいか、訪問診療や地域支援にて、診察につながらないケースへのカバーがなされているように感じる。緊急時の受入等、発見→依頼→即時対応に至る相談が多いように感じるが、そのための受け皿となる社会資源が不足しているように感じる。認知症疾患医療センターとの連携に隔たりを感じる。どうしても即時対応が必要なケースが多い中、調整までに時間がかかることが多く、もどかしさを感じることも多い。
- ・金銭管理において、認知症の人への支援が不足している。銀行付き添いや所持金、収入の確認など、ケアマネジャーによるシャドーワークにつながっている。できるのであれば、高齢介護課高齢者支援担当や、暮らしサポート窓口の支援内容の拡充、担当者の増員を検討いただき、そのような対応ケースについての相談ができないか検討いただきたい。
- ・認定結果を30日程度で出してほしい。主治医意見書の遅れに対し、医師への催促が手紙ではなく電話での催促が妥当ではないか。また、負担割合証と代行申請した認定結果等は、直接ケアマネジャーに知らせしてほしい。認定情報の中でケアマネジャーに開示するにあたり、提供資料のチェック欄に介護度、負担割合等の項目を追加して、スムーズにケアマネジャーへ情報が届くようにしてほしい。
- ・人材確保と定着については、高齢者福祉行政全体の問題である。高齢者施設は新築されて受け入れ母数上は確保できるが、そこで働く人材が確保できないと結局は高齢者の受入れが伴わない。施設間同士での人材の取り合いとなることも懸念されており、ますます人材紹介料などのコストが圧迫されていくと想定している。また、人材確保ができない施設（特養等の利用料の安い施設）は淘汰されていき、利用料が高い施設が増えていき、お金持ちしか介護サービスが受けられなくなることも懸念している。バランスをとることが重要である。
- ・上尾市の行政施策の取組を知らない。情報の周知に不足があるように思う。

問31 今後3年間（令和9年度～令和11年度）で上尾市が取り組むべきと思う施策をお書きください。継続的に実施する施策レベルのものだけでなく、日常業務で取り組むべきことなど、どのようなことでも構いません。

【主なご意見】

- ・これから高齢者が増えることが見込まれるからといって、高齢者施設をどんどん作ることが正しいと思わない。10年、20年してから人口が減少し、不要となる施設が増えてくる可能性もある。高齢者の増加や減少を見込みながら、高齢者施設を新規や増床でどのくらい増やすのが望ましいか慎重に判断すべき。
- ・精神疾患の利用者家族に対し、危険のリスクが高いケースは行政が中心に対応してほしい。上尾市として居宅介護支援事業所からのケアマネ交代（別事業所への変更）についてルールを周知してほしい。
- ・ケアマネ業務の負担軽減を是非お願いしたい。
- ・ぐるっとくんの本数が少なく、高齢者にとって使いにくい。一方でタクシーは料金が高く、まめには使用できない。そのため買い物や受診の移動手段に困っている人が多い。NPOの移送サービスなど、低価格で利用できる社会資源を拡充してほしい。
- ・初任者研修の取得の支援制度を復活させてほしい。
- ・要介護認定の申請や更新結果等、オンラインでできる仕組みをつくってほしい。月末に認定結果が決定したときは暫定プラン作成の必要があり、かなりの手間となる。区分変更の時はスピーディーに調査、結果が出るようにしてほしい。サービスが必要でも超過した時を考え、適切なサービスが使えない。

VI 資料編（使用した調査票）

VI 資料編（使用した調査票）

本アンケート調査の標準所要時間：約30分

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

ご協力をお願い

はじめに

日頃から上尾市の介護保険・高齢者福祉行政に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この調査は、皆様の生活状況、福祉サービス及び介護保険制度や市に対するご意見を
をお訊きし、「**第10期(令和9～11年度)高齢者福祉計画・介護保険事業計画**」
を策定する上での**基礎資料**として活用するために実施するものです。

なお、収集した個人情報は、**本調査目的以外に使用することはありません。**
ご協力をお願い申し上げます。

令和7年12月

上尾市長 富山 稔

記入に際してのお願い

1. 令和7年11月30日の状況で、調査票にご回答ください。
2. 調査票は、できるだけあて名ご本人様ご回答ください。ご記入が難しい場合はご家族の方等でご記入ください。
3. 該当する番号を○印で囲んでください。その他（ ）には、具体的にご記入ください。
4. 数字を記入する欄は右詰め（例 kg）でご記入ください。
5. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

**調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和7年12月26日(金)までに投函（切手不要）してください。**

【問い合わせ先】上尾市 健康福祉部 高齢介護課 高齢者福祉担当
〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号
電話：048-775-5124
FAX：048-776-8872

整理番号：0000

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なします。

【個人情報の保護および活用目的について】

- ◆この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、第10期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。
- ◆ただし、高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。
- ◆本調査では、より詳細な集計・分析のため、調査結果と回答者の属性データ（年齢、介護認定の有無や日常生活圏域等）を事後的に関連付け、集計・分析を行います。
- ◆調査結果を公表する際は、個々の回答者が特定されない形で統計的に集計処理を行いますので、率直なご回答をお願いいたします。

質問の該当する番号を○印で囲み、数字記入欄は数字を記入してください。

① 調査票を記入されたのはどなたですか (回答は1つ)

1. あて名のご本人が記入

2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみられた就柄 _____)

3. その他 _____

1 あなたの家族構成をお教えください (回答は1つ)

問1 家族構成をお教えください (回答は1つ)

1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)

3. 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下) 4. 息子・娘との2世帯

5. その他 _____

問2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか (回答は1つ)

1. 介護・介助は必要ない

2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない

3. 現在、何らかの介護を受けている
(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

【問2において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

問2-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか (あてはまるものすべてに回答)

1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病

3. がん (悪性新生物) 4. 呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)

5. 関節の病気 (リウマチ等) 6. 認知症 (アルツハイマー病等)

7. パーキンソン病 8. 糖尿病

9. 腎疾患 (透析) 10. 視覚・聴覚障害

11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷

13. 高齢による衰弱 14. その他 (_____)

15. 不明

【問2において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】

問2-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか (あてはまるものすべてに回答)

1. 配偶者 (夫・妻) 2. 息子 3. 娘

4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹

7. 介護サービスヘルパー 8. その他 (_____)

問3 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (回答は1つ)

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう

4. ややゆとりがある 5. 大変ゆとりがある

問4 お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (回答は1つ)

1. 持家 (一戸建て) 2. 持家 (集合住宅)

3. 公営賃貸住宅 4. 民間賃貸住宅 (一戸建て)

5. 民間賃貸住宅 (集合住宅) 6. 借家

7. その他 _____

2 からだを動かすことについておうかがいします

問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (回答は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (回答は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問7 15分続けて歩いていますか (回答は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

問8 過去1年間に転んだ経験がありますか (回答は1つ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

問9 転倒に対する不安は大きいですか (回答は1つ)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

問10 週に1回以上は外出していますか (回答は1つ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

<p>問11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (回答は1つ)</p> <p>1. とでも減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない</p> <p>問12 外出を控えていますか (回答は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>【問12で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】</p> <p>問12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか (あてはまるものすべてに回答)</p> <p>1. 病気 2. 障害 (脳卒中の後遺症など)</p> <p>3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配 (失禁など)</p> <p>5. 耳の障害 (聞こえの問題など) 6. 目の障害</p> <p>7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない</p> <p>9. 交通手段がない 10. その他 ()</p> <p>問13 外出する際の移動手段は何ですか (あてはまるものすべてに回答)</p> <p>1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク</p> <p>4. 自動車 (自分で運転) 5. 自動車 (人に乗せてもらう) 6. 電車</p> <p>7. 路線バス 8. 病院や施設のパス 9. 車いす</p> <p>10. 電動車いす (カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー</p> <p>13. その他 ()</p>
<p>3 食べることについておうかがいします</p> <p>問14 身長・体重をご記入ください</p> <p>身長 <input type="text"/> <input type="text"/> cm 体重 <input type="text"/> <input type="text"/> kg</p> <p>問15 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (回答は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>問16 お茶や汁物等でむせることがありますか (回答は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>

<p>問17 口の渇きが気になりますか (回答は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>問18 歯磨き (人にやってもらってもらう場合も含む) を毎日していますか (回答は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>問19 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。</p> <p>(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (回答は1つ)</p> <p>1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし</p> <p>3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし</p> <p>問19-1 噛み合わせは良いですか (回答は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>【問19で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】</p> <p>問19-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか (回答は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>問20 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか (回答は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>問21 どなたかと食事をとにもする機会はありますか (回答は1つ)</p> <p>1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある</p> <p>4. 年に何度かある 5. ほとんどない</p>
<p>4 毎日の生活についておうかがいします</p> <p>問22 物忘れが多いと感じますか (回答は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>問23 自分で電話番号を調べて、電話をかけるをしていますか (回答は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p> <p>問24 今日が何月何日かわからないときがありますか (回答は1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>

問25	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可) (回答は1つ)
1.	できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問26	自分で食品・日用品の買物をしていますか (回答は1つ)
1.	できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問27	自分で食事の用意をしていますか (回答は1つ)
1.	できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問28	自分で請求書の支払いをしていますか (回答は1つ)
1.	できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問29	自分で預貯金の出し入れをしていますか (回答は1つ)
1.	できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
問30	年金などの書類 (役所や病院など)に出す書類)が書けますか (回答は1つ)
1.	はい 2. いいえ
問31	新聞を読んでいますか (回答は1つ)
1.	はい 2. いいえ
問32	本や雑誌を読んでいますか (回答は1つ)
1.	はい 2. いいえ
問33	健康についての記事や番組に関心がありますか (回答は1つ)
1.	はい 2. いいえ
問34	友人の家を訪ねていますか (回答は1つ)
1.	はい 2. いいえ
問35	家族や友人の相談にのっていますか (回答は1つ)
1.	はい 2. いいえ
問36	病人を見舞うことができますか (回答は1つ)
1.	はい 2. いいえ

問37	若い人に自分から話しかけることがありますか (回答は1つ)						
1.	はい 2. いいえ						
問38	趣味はありますか。ある場合は () 内にご記入ください (回答は1つ)						
1.	趣味あり ()						
2.	思いつかない						
問39	生きがいがありますか。ある場合は () 内にご記入ください (回答は1つ)						
1.	生きがいあり ()						
2.	思いつかない						
5	地域での活動についておうかがいします						
問40	以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか ※①-⑧それぞれに回答してください (それぞれ回答は1つ)						
	週4回以上	週2回~3回	週1回	月1回~3回	年に数回	年に参加しない	
①	ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②	スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③	趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④	学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤	介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥	老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦	町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧	収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
問41	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか (回答は1つ)						
1.	ぜひ参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						
問42	地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営 (世話役) として参加してみたいと思いますか (回答は1つ)						
1.	ぜひ参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						

6	就労についておうかがいします
<p>問 43 現在のあなたの就労状態はどれですか（あてはまるものすべてに回答）</p> <p>1. 職に就いたことがない 2. 引退した 3. 常勤（フルタイム） 4. 非常勤（パート、アルバイト等） 5. 自営業 6. 求職中 7. その他</p>	
<p>〔問 43で「2. 引退した」の方のみ〕</p> <p>問 43-1 あなたはいつ引退しましたか（回答は1つ）（年をご記入ください）</p>	
1. 昭和	<input type="text"/> 年 2. 平成 <input type="text"/> 年 3. 令和 <input type="text"/> 年
7	たすけあいについておうかがいします
<p>あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします</p> <p>問 44 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（あてはまるものすべてに回答）</p> <p>1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない</p>	
<p>問 45 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（あてはまるものすべてに回答）</p>	
<p>1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない</p>	
<p>問 46 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（あてはまるものすべてに回答）</p> <p>1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない</p>	
<p>問 47 反対に、看病や世話をしてあげる人（あてはまるものすべてに回答）</p> <p>1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない</p>	

問 48	家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください （あてはまるものすべてに回答）
<p>1. 自治会・町内会・老人クラブ 2. 社会福祉協議会・民生委員 3. ケアマネジャー 4. 医師・歯科医師・看護師 5. 地域包括支援センター・役所 6. その他 7. そのような人はいない</p>	
問 49	友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（回答は1つ）
<p>1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある 4. 年に何度かある 5. ほとんどない</p>	
問 50	この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか 同じ人には何度会っても1人と数えることとします（回答は1つ）
<p>1. 0人（いない） 2. 1～2人 3. 3～5人 4. 6～9人 5. 10人以上</p>	
問 51	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（あてはまるものすべてに回答）
<p>1. 近所・同じ地域の人 2. 幼なじみ 3. 学生時代の友人 4. 仕事での同僚・元同僚 5. 趣味や関心が同じ友人 6. ボランティア等の活動での友人 7. その他 8. いない</p>	
8	健康についておうかがいします
<p>問 52 現在のあなたの健康状態はいかがですか（回答は1つ）</p> <p>1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない</p>	
<p>問 53 あなたは、現在のどの程度幸せですか （「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）</p> <p>とても不幸 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点 とても幸せ</p> <p>1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11</p>	
<p>問 54 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか （回答は1つ）</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>	

<p>問3 お住まいについて困っていることはありませんか。(あてはまるものすべてに回答)</p> <p>1. 家屋内の清掃・維持管理 2. 家屋外回り(屋根、外壁等)の修繕・維持管理 3. 庭木の剪定、除草 4. その他() 5. 困っていない</p>
<p>問4 今後の住まいに不安を感じていますか。(回答は1つ)</p> <p>1. とても不安 2. やや不安 3. あまり不安でない 4. 全く不安でない 5. わからない</p>
<p>【問4で「1. とても不安」「2. やや不安」の方のみ】 問4-1 不安を感じている理由は何ですか。(回答は1つ)</p> <p>1. バリアフリー性能が十分でない 2. 庭の手入れや日常の軽作業 3. 自宅の相続人や引継ぎ 4. 日常の相談相手がいらない 5. 緊急時(急な体調変化時等)の支援がない 6. 孤独死 7. その他()</p>
<p>問5 これからも安心して自宅での生活を送れそうですか。(回答は1つ)</p> <p>1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない 5. わからない</p>

<p>2 生きがいについて</p>
<p>問6 あなたは、どのようなことに充実感や生きがいを感じますか。(あてはまるものすべてに回答)</p> <p>1. 働くこと(就労) 2. 家事 3. 学習や教養を高めるための活動 4. スポーツ・レクリエーション 5. 園芸・手芸・囲碁・将棋などの趣味の活動 6. 農作業 7. ボランティア活動 8. 老人クラブ(いきいきクラブ)活動 9. 町内会、自治会の活動 10. 特技や技術を生かした創作・伝承活動 11. 友だちとのつきあい 12. テレビ・ラジオ・新聞 13. 本・音楽 14. 映画館での映画鑑賞 15. 旅行やレジャー 16. 家族との団らん 17. ショッピング 18. パソコン、インターネット 19. 子や孫の成長を見守ること 20. ペットの世話 21. その他() 22. 特になし</p>
<p>問7 今後の就労意向についておうかがいます。あなたは、今後も働きたいと思いますか(回答は1つ)</p> <p>1. 生活のために働きたい ⇒ 問7-1・2・3・4へ 2. 生きがいのために働きたい ⇒ 問7-1・2・3・4へ 3. 働きたいが、体力的に無理 4. 働きたいとは思わない</p>
<p>【問7で「1. 生活のために働きたい」「2. 生きがいのために働きたい」の方のみ】 問7-1 どのような分野で働きたいか(回答は1つ)</p> <p>1. これまでの経験や能力を生かせる分野で働きたい 2. 新たな分野で働きたい 3. その他()</p>
<p>【問7で「1. 生活のために働きたい」「2. 生きがいのために働きたい」の方のみ】 問7-2 どのような働き方を希望しますか(回答は1つ)</p> <p>1. おおむね週20時間以内で月10日以内 2. おおむね週20時間以内で月20日以内 3. おおむね週40時間以内で月10日以内 4. おおむね週40時間以内で月20日以内 5. その他()</p>
<p>【問7で「1. 生活のために働きたい」「2. 生きがいのために働きたい」の方のみ】 問7-3 あなたは何歳まで働きたいと思いますか(回答は1つ)</p> <p>1. 70歳くらいまで 2. 75歳くらいまで 3. 年齢に関係なく体力が続く限り 4. その他()</p>

【問7で「1. 生活のために働きたい」「2. 生きたいのために働きたい」の方のみ】

問7-4 働く上で自治体を取り組むべき施策は何だと思いますか
(あてはまるものすべてに回答)

1. 元気高齢者（アクティブシニア）が活躍している事例の紹介
2. 雇用主との仲介支援
3. 起業の支援
4. その他（ ）

問8 あなたは、ボランティア活動に参加してみたいですか（回答は1つ）

1. すでに参加している
2. 今後参加してみたい
3. 参加したくない
4. その他（ ）

問9 あなたは、ボランティア活動について、どのような方法が良いと思いますか
(回答は1つ)

1. 参加費用はすべて自己負担で活動すべきである
2. 交通費などの実費相当分を受け取って活動しても良いと思う
3. 少額なら報酬や謝礼を受け取って活動しても良いと思う
4. その他（ ）

3 主な福祉サービス・介護サービスについて

問10 あなたは、次の介護保険サービス以外の高齢者福祉サービスを利用したことがありますか（それぞれ回答は1つ）

サービスの名称	現在利用している、利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らない
①緊急通報システム 緊急時にボタンを押すだけで緊急通報センターにつながる端末機をお貸しします	1	2	3
②日常生活用具の給付 電磁調理器など日常生活に必要な用具を給付します	1	2	3
③配食サービス 上尾市が指定した「あげお配食サービス協力店」の中から希望に合ったサービスを提供する店を選択して利用できます	1	2	3
④徘徊高齢者等探索サービス お貸しした端末機により高齢者の位置を探索し、ご家族にお知らせします	1	2	3
⑤見守り訪問サービス 地域のボランティアが高齢者のお宅へ安否確認にうかがいます	1	2	3
⑥ふれあい収集 1人暮らしの高齢者または障害者の世帯を個別に訪問してごみを収集し、併せて安否確認を行います	1	2	3
⑦アツビー元氣カード 65歳以上の高齢者が、協力店舗等でカードを提示すると、優待サービスが受けられます	1	2	3
⑧わたしノート 自分の病歴や治療歴等について必要なときに、ご家族や支援者と共有できるノートです	1	2	3
【問10でも「現在利用している、利用したことがある」とご回答された方のみ】			
問11 上記サービスは、自宅での生活を続けるための支援になっていますか (回答は1つ)			
1. 支援になっている	2. 支援になっていない		
3. わからない			

<p>問 18 あなたは、介護が必要になったとき、どのような情報を知りたいですか (あてはまるものすべてに回答)</p>
<p>1. 介護の方法 2. 福祉・介護サービスなどの利用方法 3. どのような介護サービスを利用したらよいかのアドバイス 4. ヘルパー派遣業者などの介護サービス事業者の情報 5. 地域やボランティア活動の情報 6. その他 () 7. 特にない</p>

<p>4 移動手段について</p>
<p>問 19 日常的な通院・買い物等の移動手段で困っていますか (あてはまるものすべてに回答)</p>
<p>1. 自分で移動できるので困っていない 2. 家族・知人の送迎があるので困っていない 3. 公共交通機関(バス・電車等)を利用している 4. 自転車を利用している 5. 自家用車を運転している 6. タクシーを利用している 7. 福祉車両・介護タクシーを利用している 8. 移動支援サービスを利用している 9. ネット通販を利用している 10. 日常的な移動に不自由を感じている 11. 移動手段がなく困っている 12. 外出を控えている</p>

<p>問 20 日常的な通院・買い物等の移動手段で困っている方の解決方法として、何が効果的だと思いますか(あてはまるものすべてに回答)</p>
<p>1. バスの増便 2. バス停の増設 3. バスの運行ルートの変更 4. 福祉有償運送サービスの利用 5. 介護タクシーの活用 6. 地域の移動支援ボランティア 7. デマンド型交通(予約制乗合バス) 8. 訪問診療・訪問販売の導入 9. 電動車いす・シニアカーの貸与・購入支援 10. 家族・近隣住民との協力体制の構築 11. 買い物代行・宅配サービスの利用支援 12. 移動支援に関する情報提供・相談窓口の設置 13. 通院同行サービス 14. その他 ()</p>

<p>5 その他</p>
<p>問 21 65歳以上の高齢者人口は、2042年にピークを迎えたと予想されます。高齢化に対応した取り組みとして何が重要だと思いますか(主なもの3つまでに回答)</p>
<p>1. 要介護状態にならないための「介護予防事業」の普及啓発 2. 高齢者の見守りや生活支援の充実 3. 地域コミュニティの活性化 4. 地域などで活動するボランティアの育成 5. 通いの場(カフェ・サロンやアソビ一元気体操など)の充実 6. 通院や外出時の移動手段の確保 7. 建物や道路などのバリアフリー・ユニバーサルデザイン化 8. 自宅で利用できる在宅サービスの充実 9. 高齢者向け住宅や介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)などの施設の充実 10. 成年後見制度の支援充実 11. 在宅医療・介護のスムーズな連携 12. その他(具体的に:)</p>
<p>問 22 高齢化の進行とともに、認知症高齢者も増加することが予測されます。認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進のために、何が重要だと思いますか(主なもの3つまでに回答)</p>
<p>1. 認知症への理解を深めるための普及啓発の推進 2. 認知症の容態に応じた医療・介護サービス等の情報提供 3. 認知症の早期診断・早期対応のための体制整備 4. 認知症の人のための介護サービスの充実 5. 認知症の人やその介護者への身体的・精神的支援 6. 認知症(若年性認知症)の人の就労・居場所の支援 7. その他(具体的に:)</p>
<p>問 23 認知症の人を地域で支える「認知症サポーター」を知っていますか(回答は1つ)</p>
<p>1. 知っている ⇒ 問23-1へ 2. 聞いたことはあるが詳しい内容は知らない 3. 知らない</p>

【問23で「1. 知っている」の方のみ】	
問23-1 認知症サポーターをどこで知りましたか（回答は1つ）	1. 認知症サポーター養成講座を受けた 2. サポーターに支援してもらった 3. 家族・知人から聞いた 4. その他（ ）
問24 自分が認知症になったら、周りの人に助けてもらいながら自宅で生活の生活を続けたいと思いますか（回答は1つ）	1. そう思う 2. ややそう思う 3.どちらでもない 4. あまり思わない 5. 全く思わない
問25 認知症などにより、判断能力が不十分になった場合、本人に代わって財産の管理や契約などを行う人を選任してもらう制度である「成年後見制度」について知っていますか（回答は1つ）	1. 知っている ⇒ 問25-1へ 2. 聞いたことはあるが詳しい内容は知らない 3. 知らない
【問25で「1. 知っている」の方のみ】	
問25-1 あなたは「成年後見制度」を利用したいと思うことはありますか（回答は1つ）	1. 利用したいと思う ⇒ 問25-2・3・4へ 2. 将来的には利用したいと思う ⇒ 問25-2・3・4へ 3. 利用したいとは思わない ⇒ 問26へ
【問25-1で「1. 利用したいと思う」「2. 将来的には利用したいと思う」の方のみ】	
問25-2 成年後見制度はどのようなことで必要だと思いますか（あてはまるものすべてに回答）	1. 預貯金などの管理や口解約 2. 福祉サービスの契約 3. 買い物等 4. 不動産の処分 5. 相続手続き 6. 保険金の受取 7. 訴訟手続き等 8. 死後事務 9. その他（ ）
【問25-1で「1. 利用したいと思う」「2. 将来的には利用したいと思う」の方のみ】	
問25-3 成年後見人にはどのような人になってもらいたいのですか（あてはまるものすべてに回答）	1. 親族（親、子、兄弟姉妹、配偶者、その他親族） 2. 専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士等） 3. 法律または福祉に関する法人 4. ボランティア（市民後見人） 5. その他（ ）

【問25-1で「1. 利用したいと思う」「2. 将来的には利用したいと思う」の方のみ】	
問25-4 市の成年後見制度実施に望むものは何ですか（あてはまるものすべてに回答）	1. 成年後見制度に関する普及・啓発 2. 成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充 3. 社会福祉法人等による法人後見 4. ボランティア（市民後見人）の養成 5. その他（ ）
問26 耳が聞こえづらくなると感じますか（回答は1つ）	1. はい ⇒ 問26-1へ 2. いいえ
【問26で「1. はい」の方のみ】	
問26-1 現在、補聴器を利用していますか（回答は1つ）	1. はい 2. いいえ ⇒ 問26-2へ
【問26-1で「2. いいえ」の方のみ】	
問26-2 利用しない理由は何か（あてはまるものすべてに回答）	1. 面倒 2. 金額が高い 3. 無くても十分意思疎通ができる 4. 購入できるお店が近くにない、知らない 5. その他（ ）
問27 フレイルについて知っていますか（回答は1つ）	1. 内容まで知っている 2. 言葉は知っている 3. 知らない
【問28 ACP（人生会議：人生の最終段階において自分が希望する医療やケアを受けたいことを、大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むかということ）を信頼する人とふだんから話すという取り組みを知っていますか（回答は1つ）】	
1. 内容まで知っている 2. 言葉は知っている 3. 知らない	
問29 急な入院等の際の対応について、家族や支援者と事前に話し合っていますか（回答は1つ）	1. 話し合い、その結果を紙などに記載した 2. 話し合ったことがある 3. 話し合ったことがない

<p>問 30 虐待や消費者被害を受けた場合、相談できる人はいいますか (回答は1つ)</p> <p>1. いる ⇒ 問 30-1へ 2. いない</p> <p>【問 30 で「1. いる」の方のみ】</p> <p>問 30-1 相談先はどなたですか (あてはまるものすべてに回答)</p> <p>1. 市役所の窓口 2. 地域包括支援センター 3. 民生委員 4. かかりつけ医 5. 保健センター・保健所 6. かかりつけ薬局 7. 近所の人や知人 8. 家族・親族 9. その他 () 10. 特にない</p>	<p>問 31 市の高齢者福祉サービスや介護保険サービスについてご意見がありましたら、ご自由にお書きください</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--	--

以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました。
 調査票を3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
 令和7年12月26日(金)までに投函(切手不要)してください。

在宅介護実態調査

ご協力のお願い

はじめに

日頃から上尾市の介護保険・高齢者福祉行政に、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

この調査は、皆様の生活状況、福祉サービス及び介護保険制度や市に対するご意見を
をお聞きし、**「第10期(令和9～11年度)高齢者福祉計画・介護保険事業計画」**
を策定する上での基礎資料として活用するために実施するものです。

なお、収集した個人情報、**本調査目的以外に使用することはございません。**
ご協力をお願い申し上げます。

令和7年12月

上尾市長 畠山 稔

記入に際してのお願い

1. 令和7年11月30日の状況で、調査票にご回答ください。
2. 調査票は、できるだけあて名ご本人様ご回答ください。ご記入が難しい場合はご家族の方等でご記入ください。
3. 該当する番号を○印で囲んでください。その他()には、具体的にご記入ください。
4. 介護保険サービスに関する質問では、P17、18の「介護保険サービスの内容」をご参照のうえ、ご回答ください。
5. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

**調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、
令和7年12月26日(金)までに投函(切手不要)してください。**

【問い合わせ先】上尾市 健康福祉部 高齢介護課 高齢者福祉担当
〒362-8501 上尾市本町三丁目1番1号
電話：048-775-5124
FAX：048-776-8872

整理番号：0000

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なします。

【個人情報の保護および活用目的について】

- ◆この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、第10期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。
- ◆ただし、高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するに当たり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。
- ◆本調査では、客観的なデータに基づく集計・分析のため、調査結果と回答者の要介護認定データ(介護度や日常生活自立度等)を事後的に関連付け、集計・分析を行います。
- ◆調査結果を公表する際は、個々の回答者が特定されない形で統計的に集計処理を行いますので、率直なご回答をお願いいたします。

質問の該当する番号を○印で囲んでください。

A票	調査対象者様ご本人について、おうかがいします
問1	現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか (あてはまるものすべてに回答) 1. 調査対象者本人 2. 主な介護者となっている家族・親族 3. 主な介護者以外の家族・親族 4. その他 ()
問2	世帯類型(家族構成)について、ご回答ください(回答は1つ) 1. 単身世帯 2. 夫婦のみ世帯 3. その他 ()
問3	現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください (回答は1つ) ※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。 1. 入所・入居は検討していない 2. 入所・入居を検討している 3. すでに入所・入居申し込みをしている
問4	ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病について、ご回答ください (あてはまるものすべてに回答) 1. 脳血管疾患(脳卒中) 2. 心疾患(心臓病) 3. 悪性新生物(がん) 4. 呼吸器疾患 5. 腎疾患(透析) 6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、骨髄軟化症等) 7. 膠原病(関節リウマチ含む) 8. 変形性関節疾患 9. 認知症 10. パーキンソン病 11. 癱瘓(パーキンソン病を除く) 12. 糖尿病 13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの) 14. その他 () 15. なし 16. わからない
問5	令和7年11月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用していますか(回答は1つ) 1. 利用した ⇒ 問6へ 2. 利用していない ⇒ 問7へ

【問5で「1. 利用した」の方のみ】

問6* 以下の介護保険サービスについて、令和7年11月の1か月の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない・0回」を選択してください(それぞれ回答は1つ)

	1週間あたりの利用回数(それぞれ回答は1つ)					
	利用していない 0回	週1回 程度 1回	週2回 程度 2回	週3回 程度 3回	週4回 程度 4回	週5回 以上 5回以上
A. 訪問介護(ホームヘルプ)	1	2	3	4	5	6
B. 訪問入浴	1	2	3	4	5	6
C. 訪問看護	1	2	3	4	5	6
D. 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6
E. 通所介護(デイサービス)	1	2	3	4	5	6
F. 通所リハビリテーション(デイケア)	1	2	3	4	5	6
G. 夜間対応型訪問介護	1	2	3	4	5	6
	利用の有無(それぞれ回答は1つ)					
	利用していない			利用した		
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護				1	2	
I. 小規模多機能型居宅介護				1	2	
J. 看護小規模多機能型居宅介護				1	2	
	1か月あたりの利用日数(回答は1つ)					
	利用していない	月1~7 日程度	月8~14 日程度	月15~21 日程度	月22日 以上	
K. ショートステイ	1	2	3	4	5	
	1か月あたりの利用日数(回答は1つ)					
	利用していない	月1~7 日程度	月8~14 日程度	月15~21 日程度	月22日 以上	
L. 居宅療養管理指導	1	2	3	4	5	

*各介護保険サービスの内容についてはP17、18の「介護保険サービスの内容」をご参照ください。

<p>【問5で「2. 利用していない」の方のみ】</p> <p>問7 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか (あてはまるものすべてに回答)</p> <p>1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない</p> <p>2. 本人にサービス利用の希望がない</p> <p>3. 家族が介護をするため必要ない</p> <p>4. 以前、利用していたサービスに不満があった</p> <p>5. 利用料を支払うのが難しい</p> <p>6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない</p> <p>7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため</p> <p>8. サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない</p> <p>9. その他 ()</p>	
<p>問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください (あてはまるものすべてに回答)</p>	<p>1. 配食</p> <p>2. 調理</p> <p>3. 掃除・洗濯</p> <p>4. 買い物 (宅配は含まない)</p> <p>5. ゴミ出し</p> <p>6. 外出同行 (通院、買い物など)</p> <p>7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)</p> <p>8. 見守り、声かけ</p> <p>9. サロンなどの定期的な通いの場</p> <p>10. 訪問理美容サービス</p> <p>11. 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス</p> <p>12. その他 ()</p> <p>13. 利用していない</p>

<p>問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください (あてはまるものすべてに回答)</p> <p>※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともを含みます。</p> <p>1. 配食</p> <p>2. 調理</p> <p>3. 掃除・洗濯</p> <p>4. 買い物 (宅配は含まない)</p> <p>5. ゴミ出し</p> <p>6. 外出同行 (通院、買い物など)</p> <p>7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)</p> <p>8. 見守り、声かけ</p> <p>9. サロンなどの定期的な通いの場</p> <p>10. 訪問理美容サービス</p> <p>11. 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス</p> <p>12. その他 ()</p> <p>13. 利用していない</p>	<p>問10 令和7年11月の1か月の間で、「介護保険サービス以外」の支援・サービスの費用は、どれくらいかかりましたか</p> <p style="text-align: center;">円</p>
<p>問11 ご本人 (調査対象者) は、現在、訪問診療を利用していますか (回答は1つ)</p> <p>※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等を含みません。</p> <p>1. 利用している</p> <p>2. 利用していない</p>	<p>問12 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか (同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (回答は1つ)</p> <p>1. ない</p> <p>2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない</p> <p>3. 週に1～2日ある</p> <p>4. 週に3～4日ある</p> <p>5. ほぼ毎日ある</p>

- A票の間 12「2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」、「3. 週に1～2日ある」、「4. 週に3～4日ある」、「5. ほぼ毎日ある」と回答された場合、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様 (調査対象者様) にご回答・ご記入をお願いします。
- ※ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です。
- A票の間 12「1. ない」と回答された場合、P9の要介護認定者個別調査票 (在宅) へお返みてください。

日票	主な介護者について、おうかがいします
問1	ご家族やご親族の中で、ご本人(調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(あてはまるものすべてに回答) ※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。
	1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く) 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) 3. 主な介護者が転職した 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない 6. わからない
問2	主な介護者は、どなたですか(回答は1つ)
	1. 配偶者 2. 子 3. 子の配偶者 4. 孫 5. 兄弟・姉妹 6. その他()
問3	主な介護者の性別について、ご回答ください(回答は1つ)
	1. 男性 2. 女性
問4	主な介護者の年齢について、ご回答ください(回答は1つ)
	1. 19歳以下 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80歳以上 9. わからない

問5	現在、主な介護者が行っている介護等について、ご回答ください(あてはまるものすべてに回答)
	【身体介護】 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医薬面での対応(経管栄養・ストーマ等) 【生活援助】 12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
	【その他】 15. その他() 16. わからない
問6	現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(回答は3つまで)
	【身体介護】 1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助(食べる時) 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医薬面での対応(経管栄養・ストーマ等) 【生活援助】 12. 食事の準備(調理等) 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
	【その他】 15. その他() 16. 不安に感じていることは、特にな 17. 主な介護者に確認しないと、わからない
問7	主な介護者の現在の勤務形態について、ご回答ください(回答は1つ) ※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者よりも短い方が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれかを選択してください。
	1. フルタイムで働いている 2. パートタイムで働いている 3. 働いていない 4. 主な介護者に確認しないと、わからない

要介護認定者個別調査票 (在宅)
【調査票】

1	あなた (要介護認定者ご本人) ご自身のことについてお答えをお願いします
問1	主な介護者の状況についてお答えください (あてはまるものすべてに回答) 1. とくに問題はない 2. 高齢・病弱である 3. ほかに介護しなくてはならない要介護認定者がいる 4. 仕事のために十分な介護ができない 5. 子育てのために十分な介護ができない 6. その他の問題がある ()
問2	あなたは、介護者などから、次のような行為を受けたことがありますか (あてはまるものすべてに回答) 1. 言うことを聞かなかったら、しばらく話をしてくれなかった 2. どなられたり、悪口などを言われた 3. 介護や世話をしてくれないことがあった 4. 叫ばれたり、縛られたりしたことがあった 5. 外出しないように閉じ込められた 6. 病院へ連れて行ってってくれなかった 7. 年金、預金通帳などを介護者などが管理し、本人に無断で使われた 8. その他 () 9. そのようなことはない
問3	虐待や消費者被害を受けた場合、相談できる人はいますか (回答は1つ) 1. いる ⇒ 問3-1へ 2. いない

【問3で「1. いる」の方のみ】

問3-1 相談先はどなたですか (あてはまるものすべてに回答)

1. 市役所の窓口 2. 地域包括支援センター 3. 民生委員
 4. かかりつけ医 5. 保健センター・保健所 6. かかりつけ薬局
 7. 近所の人や知人 8. 家族・親族 9. その他 ()
 10. 特になし

問4 現在のケアマネジャーを見つけた方法をお聞かせください (あてはまるものすべてに回答)

1. 自分で問い合わせた 2. 地域包括支援センターの照会
 3. 市の高齢介護課の照会 4. 病院や診療所の照会
 5. 地域の民生委員や福祉委員の照会 6. 地域の福祉団体の照会
 7. 知人・家族・近隣の紹介 8. その他 ()

【問4で「1. 自分で問い合わせた」の方のみ】

問5 何件くらい問い合わせましたか、見つかるまでにどれ位の期間を要しましたか (件数と期間をご記入ください)

1. 問い合わせ件数 件 2. 見つかるまでの期間 か月

問6 これからも安心して自宅での生活を送れそうですか (回答は1つ)

1. そう思う 2. ややそう思う
 3. どちらでもない 4. あまり思わない
 5. 全く思わない

2	サービスの満足度についておうえかがいします ※住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の介護保険サービスを利用している方におうえかがいします
問7 あなたは、介護サービス計画（ケアプラン）に満足していますか（回答は1つ）	1. 満足している 2. 満足していない ⇒ 問7-1へ 3. どちらともいえない 4. 介護サービス計画を知らない
【問7で「2. 満足していない」の方のみ】	
問7-1 あなたが不満に思われる点は、どのようなことですか（あてはまるものすべてに回答）	1. 現状維持や改善に向けたケアプランになっていない 2. 希望したサービスが含まれなかった 3. 希望しないサービスを入れられた 4. 全体的にサービス量が少なすぎる 5. 全体的にサービス量が多すぎる 6. 希望した事業者を入れてもらえなかった 7. 希望しない事業者を入れられた 8. 曜日や時間が希望と異なる 9. その他（ ）
問8 あなたの介護サービス計画（ケアプラン）を作成したのは、どれですか（回答は1つ）	1. 地域包括支援センターの職員 2. 介護サービス事業者のケアマネジャー 3. その他（ ） 4. わからない
問9 あなたは、担当している介護支援専門員（ケアマネジャー）や地域包括支援センターの職員に満足していますか（回答は1つ）	1. 満足している 2. 満足していない ⇒ 問9-1へ 3. どちらともいえない 4. 介護支援専門員等を決めていない
【問9で「2. 満足していない」の方のみ】	
問9-1 あなたが不満に思われている点は、どのようなことですか（あてはまるものすべてに回答）	1. 現状維持や改善に向けたケアプランになっていない 2. 十分な説明をしてもらえない 3. 本人や家族の意向を聞こうとしない 4. 相談時間や訪問回数などが少ない 5. ケアプラン作成までに時間がかかりすぎる 6. ケアプランの変更になかなか応じようとしていない 7. 特定の事業者を強引にすすめようとする 8. 態度やマナーが悪い 9. 知識や情報量が少ない 10. その他（ ）

問10* 現在、利用しているサービスは何ですか（あてはまるものすべてに回答）	1. 訪問介護（ホームヘルプ） 2. 訪問入浴 3. 訪問看護 4. 訪問リハビリテーション 5. 居宅療養管理指導 6. 通所介護（デイサービス） 7. 通所リハビリテーション（デイケア） 8. 短期入所生活介護（ショートステイ） 9. 短期入所療養介護（ショートステイ） 10. 福祉用具の貸与 11. 福祉用具の購入 12. 住宅改修 13. 夜間対応型訪問介護 14. 認知症対応型通所介護 15. 小規模多機能型居宅介護 16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 17. 看護小規模多機能型居宅介護 18. 介護老人福祉施設（特別介護老人ホーム） 19. 介護老人保健施設（老人保健施設） 20. 介護医療院 21. 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム） 22. 認知症対応型共同生活介護（高齢者グループホーム）
---	--

*各介護保険サービスの内容についてはP17、18の「介護保険サービスの内容」をご参照ください。

問11* 今後3年間で、利用するサービスは何ですか（あてはまるものすべてに回答）	1. 訪問介護（ホームヘルプ） 2. 訪問入浴 3. 訪問看護 4. 訪問リハビリテーション 5. 居宅療養管理指導 6. 通所介護（デイサービス） 7. 通所リハビリテーション（デイケア） 8. 短期入所生活介護（ショートステイ） 9. 短期入所療養介護（ショートステイ） 10. 福祉用具の貸与 11. 福祉用具の購入 12. 住宅改修 13. 夜間対応型訪問介護 14. 認知症対応型通所介護 15. 小規模多機能型居宅介護 16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 17. 看護小規模多機能型居宅介護 18. 介護老人福祉施設（特別介護老人ホーム） 19. 介護老人保健施設（老人保健施設） 20. 介護医療院 21. 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム） 22. 認知症対応型共同生活介護（高齢者グループホーム）
---	--

*各介護保険サービスの内容についてはP17、18の「介護保険サービスの内容」をご参照ください。

問12 あなたは、希望どおりのサービスを利用できていますか（回答は1つ）	1. 希望どおりには利用できていない ⇒ 問12-1へ 2. 希望どおりには利用できていない
---	--

<p>【問12で「2. 希望どおりに利用できていない」の方のみ】</p> <p>問12-1 * 希望したけれど利用できなかったサービスは何ですか (あてはまるものすべてに回答)</p>		
1. 訪問介護 (ホームヘルプ)	2. 訪問入浴	3. 訪問看護
4. 訪問リハビリテーション	5. 居宅療養管理指導	6. 通所介護 (デイサービス)
7. 通所リハビリテーション (デイケア)	8. 短期入所生活介護 (ショートステイ)	
9. 短期入所療養介護 (ショートステイ)	10. 福祉用具の貸与	
11. 福祉用具の購入	12. 住宅改修	
13. 夜間対応型訪問介護	14. 認知症対応型通所介護	
15. 小規模多機能型居宅介護	16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	
17. 看護小規模多機能型居宅介護	18. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	
19. 介護老人保健施設 (老人保健施設)	20. 介護医療院	
21. 特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)		
22. 認知症対応型共同生活介護 (高齢者グループホーム)		

*各介護保険サービスの内容についてはPI7、18の「介護保険サービスの内容」をご参照ください。

<p>問13 あなたは、利用したいサービスと、現在利用しているサービスは一致していますか (回答は1つ)</p>		
1. 一致している	2. 一部一致していない	
3. 一致していない		
<p>問14 あなたは、提供を受けているサービスに満足していますか (回答は1つ)</p>		
1. 満足している ⇒ 問14-1へ	2. 満足していない ⇒ 問14-2へ	3. どちらともいえない
<p>【問14で「1. 満足している」の方のみ】</p> <p>問14-1 あなたが満足に思われる点は、どのようなことですか (回答は1つ)</p>		
1. サービス内容が充実している	2. 職員の対応がよい	
3. 希望どおりのサービスを受けている	4. 料金とサービスのバランスが妥当である	
5. その他 ()		

<p>【問14で「2. 満足していない」の方のみ】</p> <p>問14-2 あなたが不満に思われる点は、どのようなことですか (回答は1つ)</p>		
1. サービス内容が不十分である	2. 職員の対応が悪い	
3. 希望どおりのサービスを受けられない	4. サービス内容に比べ料金が高い	
5. その他 ()		

※ここから再び、全員におうかがいします。

<p>3 サービス全般についておうかがいします</p>		
<p>問15 介護保険制度をはじめとする、各種高齢者制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいところを教えてください (あてはまるものすべてに回答)</p>		
1. 市役所の窓口	2. ケアマネジャー	
3. 地域包括支援センター	4. 民生委員	
5. かかりつけ医	6. 保健センター・保健所	
7. サービス事業所	8. かかりつけ薬局	
9. その他 ()	10. 特になし	

「介護保険サービスの内容」

サービスの種類	該当箇所		サービスの内容
	ページ番号	設問番号	
訪問介護 (ホームヘルプ)	P 2	問 6	ホームヘルパーが家庭を訪問して、入浴や食事などの介護、その他日常生活上の援助をします。
	P 12	問 10.11	
	P 13	問 12-1	
訪問入浴	P 2	問 6	家庭を訪問して、浴槽を提供し、入浴サービスを行います。
	P 12	問 10.11	
	P 13	問 12-1	
訪問看護	P 2	問 6	主治医の指示に基づき、看護師などが家庭を訪問して、療養上の世話や診療の補助をします。
	P 12	問 10.11	
	P 13	問 12-1	
訪問リハビリテーション	P 2	問 6	理学療法士、作業療法士などが家庭を訪問して、心身の機能回復訓練をします。
	P 12	問 10.11	
	P 13	問 12-1	
居宅療養管理指導	P 2	問 6	医師、歯科医師、薬剤師などが家庭を訪問し、療養上の管理・指導をします。
	P 12	問 10.11	
	P 13	問 12-1	
通所介護 (デイサービス)	P 2	問 6	デイサービスセンターなどにおいて、日帰りで入浴や食事の提供、機能訓練などを行います。
	P 12	問 10.11	
	P 13	問 12-1	
通所リハビリテーション (デイケア)	P 2	問 6	介護老人保健施設や医療機関などにおいて、日帰りで理学療法、作業療法などの心身の維持回復訓練を行います。
	P 12	問 10.11	
	P 13	問 12-1	
短期入所療養介護 (ショートステイ)	P 2	問 6	家庭などの都合で介護を受けることが一時的に困難な場合に、特別養護老人ホームなどに短期間入所して、食事、入浴などの介護や機能訓練を行います。
	P 12	問 10.11	
	P 13	問 12-1	
短期入所療養介護 (ショートステイ)	P 2	問 6	介護老人保健施設などに短期間入所して、看護、医学的管理のもとで、介護や機能訓練などを行います。
	P 12	問 10.11	
	P 13	問 12-1	
福祉用具の貸与	P 12	問 10.11	車いす、特殊寝台、床ずれ防止用具 (エアーマットなど) などを貸し出します。
	P 13	問 12-1	
	P 12	問 10.11	
福祉用具の購入	P 13	問 12-1	貸し出しにないままいまい腰掛便座、入浴用いすなどの購入費の一部を支給します。
	P 12	問 10.11	
住宅改修	P 12	問 10.11	手すりの取付け、段差解消など小規模な住宅改修費の一部を支給します。
	P 13	問 12-1	
	P 2	問 6	
夜間対応型訪問介護	P 12	問 10.11	自宅にいる場合でも、24 時間安心して生活できるように、夜間において、定期的な巡回や緊急時における訪問介護を行います。 ※要支援の人は利用できません。
	P 13	問 12-1	

サービスの種類	該当箇所		サービスの内容
	ページ番号	設問番号	
認知症対応型通所介護	P 12	問 10.11	認知症と診断された高齢者が、可能な限り自宅で自立した生活を送ることができるよう、デイサービスセンターにおいて、日帰りで食事、入浴などの介護や支援、機能訓練などを行います。
	P 13	問 12-1	
	P 2	問 6	
小規模多機能型居宅介護	P 12	問 10.11	利用者の心身の状況や環境等に応じて、「通いのサービスを中心としながら、随時「訪問」や短期間の泊まり」を組み合わせ、食事、入浴などの介護や支援が受けられます。
	P 13	問 12-1	
	P 2	問 6	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	P 12	問 10.11	自宅で自立した生活を送れるよう、定期的な巡回や随時通報への対応など、利用者の心身の状況に応じて、24 時間 365 日必要なサービスを必要に応じて柔軟に提供します。 ※要支援の人は利用できません。
	P 13	問 12-1	
	P 2	問 6	
看護小規模多機能型居宅介護	P 12	問 10.11	小規模な住宅型の施設への「通い」を中心に、自宅に来てもらう「訪問」、施設に泊まる「宿泊」のサービスに看護を加えたサービスを受けられます。 ※要支援の人は利用できません。
	P 13	問 12-1	
	P 2	問 6	
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	P 12	問 10.11	常時介護が必要な要介護者が入所し、施設サービス計画に基づいて、入浴、排せつ、食事などの介護、日常生活上の世話、機能訓練、健康管理などが受けられます。 ※原則として要介護 3 以上の人の利用に限ります。
	P 13	問 12-1	
	P 2	問 6	
介護老人保健施設 (老人保健施設)	P 12	問 10.11	病状が安定し、在宅復帰を目指している要介護者が入所し、施設サービス計画に基づいて、医学管理下での介護や機能訓練が行われます。 ※要支援の人は利用できません。
	P 13	問 12-1	
	P 2	問 6	
介護医療院	P 12	問 10.11	主に長期間にわたり療養が必要な要介護者が入所し、施設サービス計画に基づいて、療養上の管理、看護、医学的管理下での介護、機能訓練、その他必要な医療などが受けられます。 ※要支援の人は利用できません。
	P 13	問 12-1	
	P 2	問 6	
特定施設入居者生活介護 (有料老人ホーム)	P 12	問 10.11	有料老人ホームなどに入居している要介護者に、入浴、排せつ、食事などの介護や日常生活上の世話、機能訓練などを提供するサービスです。
	P 13	問 12-1	
	P 2	問 6	
認知症対応型共同生活介護 (高齢者グループホーム)	P 12	問 10.11	認知症と診断された高齢者が、共同生活を行うグループホームで、食事、入浴などの介護や日常生活上の世話、機能訓練が受けられます。 ※要支援 1 の人は利用できません。
	P 13	問 12-1	

第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画アンケート【A 在宅生活改善調査】

（調査の趣旨とご協力をお願いします）

日頃より、上尾市の高齢者福祉行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本市では、令和9年度から11年度を計画期間とする上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定業務を進めています。このたび、計画策定の基礎資料とするため、市内の介護事業所の現状や人材確保の取組状況などを把握し、アンケートを実施することになりました。

つきましては、業務が多忙のところ誠に恐縮ですが、本アンケートにご協力いただけますようお願い申し上げます。

※介護事業所の職員の皆様が、日頃感じていることをお書きください。本アンケートの事業所名は、回答の詳細について確認する場合のみ使用し、結果を会議資料等で使用する場合には、事業所名が特定されない形で、統計的に集計処理を行いますので、率直なご回答をお願いします。

※特に指示がない場合は、令和7年4月1日現在でお答えください。

事業所名

■ 事業所票 <管理者記入>

※「利用者票」は別シートでご用意しており、貴事業所に所属する全てのケアマネジャーの方にご回答をお願いしております（非常勤の方も含みます）。

I 事業所について

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

番号	項目	人数
1	所属するケアマネジャーの人数	人
2	「自宅等（13を除く）」にお住まいの利用者数	人
3	「サ高住」「住宅型有料」「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	人

問2 貴事業所において、過去1年の間（令和6年11月1日～令和7年11月1日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を

要介護度別に記入ください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2
人	人	人	人

要介護3	要介護4	要介護5	合計
人	人	人	0人

問3 貴事業所において、過去1年の間（令和6年11月1日～令和7年11月1日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数」を

行き先別に記入ください。

※一時的に入院して自宅等以外の居場所に移った場合は退院後の居場所をご記入ください。
※ここでご記入いただいた合計人数（「死亡」を除く）と、問2でご記入いただいた利用者数の合計が一致することを確認ください。

番号	項目	市内	市外
1	兄弟・子ども・親戚等の家	人	人
2	住宅型有料老人ホーム	人	人
3	軽費老人ホーム（特走施設除く）	人	人
4	サービス付き高齢者向け住宅（特走施設除く）	人	人
5	グループホーム	人	人
6	特定施設	人	人
7	地域密着型特定施設	人	人
8	介護老人保健施設	人	人
9	療養型・介護医療院	人	人
10	特別介護老人ホーム	人	人
11	地域密着型特別介護老人ホーム	人	人
12	その他	人	人
13	行先を把握していない	人	人
14	合計人数	0	人
15	死亡（※搬送先での死亡を含む）	人	人

■ 事業所票 (市) < 管理者記入 >

I 認知症施策について

問1 認知症の支援で困っていることはありますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	はい	
2	いいえ	

問2 問1で「はい」を選んだ方のみお答えください。どのようなことに困っていますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	地域住民のサポートが得られない	
2	家族など周囲の方の認知症への理解不足	
3	認知症の方が地域に集える場がない	
4	認知症の本人が活躍できる場がない	
5	金銭管理サポート体制	
6	その他意見など ()	

問3 上尾市の認知症施策に望むことはありますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	認知症サポーター養成講座の拡大	
2	教育機関・民間企業に対する認知症の意識付け	
3	認知症の人が通える居場所づくり	
4	成年後見制度など権利擁護支援体制の充実	
5	徘徊探索サービス事業などの拡大	
6	認知症の人を抱える家族へのフォローアップ	
7	その他意見など ()	

II 成年後見制度について

問4 成年後見制度を利用している利用者の人数を把握している限り類型ごとに記入してください。(数値を入力)

番号	選択肢	人数
1	後見	人
2	保佐	人
3	補助	人
4	任意後見・後見信託	人
5	成年後見制度を利用しているが、類型は分からない	人

問5 去年1年間に、どのような成年後見制度に関する相談を受けましたか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度に関する相談は受けていない	
2	巨額の金銭管理	
3	財産管理 (不動産の処分)	
4	自分の将来が心配	
5	借金相談、消費者被害相談	
6	入院や入所の契約	
7	相続・遺言	
8	その他 ()	

問6 今後、成年後見制度が必要と思われる人はいますか。いる場合は必要と思われる理由と実人数をお答えください。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度が必要だと思われる人はいない	
2	親族の支援が見込めない	
3	預貯金の管理ができない	
4	銀行、保険、不動産等の契約 (解約) 関係の手続きができない	
5	入退院、入退所の支払や手続きができない	
6	介護保険や障害福祉サービスの契約ができない	
7	その他 ()	
※	必要と思われる人の実人数をお書きください。	人数 → 人

問7 成年後見が必要でも利用が進まないと思われる要因はありますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度が必要だと思われる人はいない	
2	本人・家族の同意が得られない	
3	後见人への報酬支払いが困難	
4	本人の収入で家族が生活しているから	
5	成年後見制度の利用に時間がかかる	
6	成年後見制度の手続きが複雑だから	
7	その他 ()	

問8 上尾市の成年後見制度施策に望むことはありますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度に関する普及・啓発	
2	成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充	
3	社会福祉法人等による法人後見	
4	市民後見人の養成	
5	その他意見など ()	

問9 職場で成年後昇制度に関する研修は必要かあると思いますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	必要	
2	どちらかと言えば必要	
3	必要ない	

Ⅲ その他（様々な分野についてお伺いします）

問10 入退院支援ルールを知っていますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	知っている	
2	聞いたことはあるが詳しい内容は知らない	
3	知らない	

問11 生産性を向上させるための取り組みを行っていますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	行っている	
2	行っていない	

問12 以前に比べ、生産性が向上したと感じますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	大いに感じる	
2	ある程度感じる	
3	あまり感じない	
4	ほとんど感じない	
5	わからない	

問13 業務効率化・生産性向上に関する課題をご回答ください。(自由記述)

問14 生産性向上を実現するために、上尾市に期待するサポートがあれば、ご記入ください。

問15 災害対策や感染症対策の計画の策定について、ご回答ください。

番号	選択肢	回答
1	策定している	
2	策定していない	
3	余裕がある	

問16 災害対策や感染症対策の体制の整備について、ご回答ください。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	十分に整備されている	
2	ある程度整備されている	
3	あまり整備されていない	
4	ほとんど整備されていない	
5	わからない	

問17 クラマネジャーの過不足について、どのように感じているかお答えください。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	大いに不足	
2	不足	
3	やや不足	
4	適当	
5	過剰	
6	当該職種はしない	

IV 上尾市の施策について

問18 この3年間(令和6年度～令和8年度)の上尾市の高齢者福祉行政の課題をお書きください。
 取り組みが不足していたと思うことや、効果的でない取り組みなど、どのようなことでも構いません。

問19 今後3年間(令和9年度～令和11年度)で上尾市が取り組むべきと思う施策をお書きください。継続実施する施策レベルのものだけでなく、日常業務で取り組むべきことなど、どのようなことでも構いません。(そもそも取り組みを知らない、でも構いません。)

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

■ 職員票 <ケアマネジャー記入>

※ この調査票は、ケアマネジャーの方(非常勤含む、ボランティア除く)が対象です。
 ※ 令和7年11月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 あなたが、担当する利用者は何人ですか。(数値を記入)

1	利用者数		人
---	------	--	---

問2 あなたの現在の担当人数について、ご回答ください。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	多い	
2	ちょうどいい	
3	余裕がある	

問3 ケアマネジャー本来の業務でないこと(サイドワーク)の対応について、ご回答ください。

① 対応を断った内容は何か。(自由記述)

② 対応を受けた内容は何か。(自由記述)

II 入所・入居者について

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。（数値を記入）

※ ここでご記入いただいた合計人数と、問2でご記入いただいた「3 入所・入居者数」が一致することをご確認ください。

自立	人	要支援1	人	要支援2	人	要介護1	人	要介護2	人
要介護3	人	要介護4	人	要介護5	人	申請中・不明	人	合計人数	0人

問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。（数値を記入）

番号	項目	回答	番号	項目	回答
1	点滴の管理	人	8	疼痛の看護	人
2	中心静脈栄養	人	9	経管栄養	人
3	透析	人	10	モニター測定	人
4	ストーマの処置	人	11	褥瘡の処置	人
5	酸素療法	人	12	カテーテル	人
6	レスピレーター	人	13	喀痰吸引	人
7	気管切開の処置	人	14	インスリン注射	人

ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。

問5 過去1年間（令和6年11月1日～令和7年11月1日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

※ 貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含まないでください。

新規の入所・入居者数（合計）	回答	人
----------------	----	---

第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画アンケート [B 居所変更実態調査]

（調査の趣旨をご協力をお願いします）

日頃より、上尾市の高齢者福祉行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本市では、令和9年度から11年度を計画期間とする上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定業務を進めています。このたび、計画策定の基礎資料とするため、市内の介護事業所の現状や人材確保の取組状況などを把握したく、アンケートを実施することになりました。
つきましては、業務ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

※介護事業所の職員の皆様は、日頃感じていることをご書きください。本アンケートの事業所名は、回答の詳細について確認する場合にのみ使用し、結果を会議資料等で使用する場合には、事業所名が特定されない形で、統計的に集計処理を行いますので、業直なご回答をお願いします。
※特に指示がない場合は、令和7年4月1日現在でお答えください。

■ 事業所票 <管理者記入>

I 事業所について

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。（○は1つ）

※ 本調査では、以下のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

番号	選択肢	回答	番号	選択肢	回答
1	住宅有料老人ホーム		6	地域密着型特定施設	
2	軽費老人ホーム（特定施設除く）		7	介護老人保健施設	
3	サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		8	介護療養型医療施設・介護医療院	
4	グループホーム		9	特別養護老人ホーム	
5	特定施設		10	地域密着型特別養護老人ホーム	

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

番号	項目	回答
1	施設等の名称	
2	定員数など	← 該当する単位を入力(人・戸・室)
3	入所・入居者数	人
4	(貴施設等の) 待機者数	人
5	特別養護老人ホームの待機者数(申込者数)	人 ※特養・地域密着型特養は回答不要

※ 「2 定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※ 「4」は「5」は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を記載してください。

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

※ ここで記入いただいた合計人数と、問5でご記入いただいた「新規の入所・入居者数(合計)」が一致することを確認ください。

番号	項目	市内	市外
1	自宅(※兄弟・子ども・親戚等の家含む)	人	人
2	住宅型有料老人ホーム	人	人
3	軽費老人ホーム(特定施設除く)	人	人
4	サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	人	人
5	グループホーム	人	人
6	特定施設	人	人
7	地域密着型特定施設	人	人
8	介護老人保健施設	人	人
9	療養型・介護医療院	人	人
10	特別養護老人ホーム	人	人
11	地域密着型特別養護老人ホーム	人	人
12	その他	人	人
13	入居・入所する前の居場所を把握していない	人	人
14	合計人数	0	人

III 退去者について
ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

問7 過去1年間(令和6年11月1日~令和7年11月1日)に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

※ なお、一時的な入院等で貴施設等に長った方、現在一時的に入院中の方(貴施設等との契約が継続している方)は含めなくてください。

項目	回答
退去者数(合計)(※死亡・搬送先での死亡を含む)	人

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

※ 死亡(搬送先での死亡を含む)した人については、「死亡」欄にその人数をご記入ください。

※ ここで記入いただいた合計人数と、問7でご記入いただいた「退去者数(合計)」が一致することを確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
人	人	人	人	人	人

要介護4	要介護5	新規申請中	死亡	合計
人	人	人	人	0人

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退居者について、退去先別の人数をご記入ください。
※ ここで記入いただいた合計人数と、問7でご記入いただいた「退去者数(合計)」が一致することを確認ください。

※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご記入ください。

番号	項目	市内	市外
1	自宅(※兄弟・子ども・親戚等の家含む)	人	人
2	住宅型有料老人ホーム	人	人
3	軽費老人ホーム(特定施設除く)	人	人
4	サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	人	人
5	グループホーム	人	人
6	特定施設	人	人
7	地域密着型特定施設	人	人
8	介護老人保健施設	人	人
9	療養型・介護医療院	人	人
10	「9」を除く病院・診療所(一時的な入院を除く)	人	人
11	特別養護老人ホーム	人	人
12	地域密着型特別養護老人ホーム	人	人
13	その他	人	人
14	行先を把握していない	人	人
15	死亡(※搬送先での死亡を含む)	人	人
16	合計人数	0	人

問10 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する箇所に○を付けてください。(第1位~第3位のそれぞれ○は1つ)

番号	選択肢	第1位	第2位	第3位
1	必要な生活支援が発生・増大したから			
2	必要な身体介護が発生・増大したから			
3	認知症の症状が悪化したから			
4	医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから			
5	「1」~「4」以外の状態像が悪化したから			
6	入所・入居者の状態等が改善したから			
7	入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから			
8	費用負担が重くなったから			
9	その他			

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

第 10 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画アンケート [C1 介護人材実態調査]

(施設系・通所系)

(調査の趣旨と協力をお願い)

日頃より、上尾市の高齢者福祉行政にご理解と協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本市では、令和 9 年度から 11 年度を計画期間とする上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定業務を進めています。このたび、計画策定の基礎資料とするため、市内の介護事業所の現状や人材確保の取組状況などを把握し、アンケートを実施することになりました。
つきましては、業務が多忙のところ誠に恐縮ですが、本アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

※ 介護事業所の職員の手帳が、日頃感じていることをお書きください。本アンケートの事業所名は、回答の詳細について確認する場合のみ使用し、結果を会議資料等で使用する場合には、事業所名が特定されない形で、統計的に集計処理を行いますので、率直なご回答をお願いします。

※ 特に指示がない場合は、令和 7 年 4 月 1 日現在でお答えください。

事業所名

■ 事業所票 <管理者記入>

I 事業所について

問 1 該当するサービス種別 (介護予防を含む) を、ご回答ください。(○は 1 つ)

※ 本調査票の送付先 (メールの宛名となっている施設等) で行方サービスについて、ご回答ください。

番号	選択肢	回答
1	施設・居住サービス (特別養護老人ホーム (地域密着型含む)、介護老人保健施設、特養型介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特別施設 (地域密着型含む)、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム)	
2	通所系サービス (通所介護 (地域密着型含む)、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス (総合事業))	

※ 通所介護事業所の方は別シート「通所介護事業所票」の回答にもご協力ください。

問 2 貴施設等 (問 1 で○をつけたサービス種別の施設等) に所属する介護職員について、お伺いします。

※ ここでの「介護職員」は、資金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません。)

※ また、「正規職員」は、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」は期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問 2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。(数値を記入)

項目	回答	項目	回答
正規職員	人	非正規職員	人
外国人職員	人	派遣職員	人

問 2-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。(数値を記入)

項目	回答
開設時期	西暦 年 月

問 2-3 令和 7 年 11 月 1 日時点で、開設から 1 年以上を経過している施設等にお伺いします。過去 1 年間 (令和 6 年 11 月 1 日～令和 7 年 11 月 1 日) の介護職員の採用者数と離職者数を記入ください。

項目	回答	項目	回答
採用者数	人	離職者数	人

問 2-4 問 2-3 の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別を下記記入ください。(数値を記入)

番号 (採用・離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	人	人	人	人
20～29歳	人	人	人	人
30～39歳	人	人	人	人
40～49歳	人	人	人	人
50～59歳	人	人	人	人
60～69歳	人	人	人	人
70～79歳	人	人	人	人
年齢不明	人	人	人	人

問 3 貴施設等に所属している介護職員全員 (非常勤含む、ボランティアの方を除く) について、

お答えください。

※ 回答は別シート「問 3 回答シート」にご記入ください。

■ 事業所票（市） <管理者記入>

I 現在の介護人材の状況について

問1 職種ごとの従業員の過不足について、どのように感じているかお答えください。(○は1つ)

番号	職種	大いに不足	不足	やや不足	適当	過剰	当該職種は0g
1	訪問介護員						
2	サービス提供責任者						
3	介護職員						
4	看護職員						
5	生活相談員						
6	機能訓練指導員						
7	ケアマネジャー						

問2 問1で「大いに不足」「不足」「やや不足」を選んだ方のお答えください。不足している理由は何ですか。(複数回答可)

番号	理由	選択肢	回答
1	採用が困難		
2	離職率が高い		
3	事業拡大で人手不足		
4	その他 ()		

問3 問2で「採用が困難」を選んだ方のお答えください。採用が困難な理由は何ですか。(複数回答可)

番号	理由	選択肢	回答
1	他業種に比べて賃金水準が低い		
2	同業他社との人材獲得競争が激しい		
3	仕事がつきつい(身体的・精神的)というイメージがある		
4	雇用が不安定というイメージがある		
5	社会的評価が低い		
6	その他 ()		

問4 問2で「離職率が高い」を選んだ方のお答えください。離職率が高い理由は何ですか。(複数回答可)

番号	理由	選択肢	回答
1	勤務時間が長い		
2	休暇が取れない		
3	仕事がつきつい		
4	他業種に比べて賃金水準が低い		
5	雇用が不安定		
6	キャリアアップの機会が不十分		
7	介護報酬の申請に関する事務量が多い		
8	職場、利用者やその家族との人間関係		
9	従業員自身の高齢化		
10	その他 ()		

問5 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。(自由記述)

問6 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。(自由記述)

問7 生産性を向上させるための取り組みを行っていますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	行っている	
2	行っていない	

問8 以前に比べ、生産性が向上したと感じますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	大いに感じる	
2	ある程度感じる	
3	あまり感じない	
4	ほとんど感じない	
5	わからない	

問9 業務効率化・生産性向上に関する課題を回答ください。(自由記述)

--

問10 生産性向上を実現するために、上尾市に期待するサポートがあれば、ご記入ください。

--

II 認知症施策について

問11 認知症の支援で困っていることはありませんか。(〇は1つ)

番号	選択肢	回答
1	はい	
2	いいえ	

問12 問11で「はい」を選んだ方のみお答えください。どのようなことに困っていますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	地域住民のサポートが得られない	
2	家族など周囲の方の認知症への理解不足	
3	認知症の方が地域に集える場がない	
4	認知症の本人が活動できる場がない	
5	金銭管理サポート体制	
6	その他意見など ()	

問13 上尾市の認知症施策に望むことはありませんか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	認知症サポーター養成講座の拡大	
2	教習機関・民間企業に対する認知症の意識付け	
3	認知症の人が通える居場所づくり	
4	成年後見制度など権利擁護支援体制の充実	
5	徘徊探索サービス事業などの拡大	
6	認知症の人を抱える家族へのフォローアップ	
7	その他意見など ()	

III 成年後見制度について

問14 成年後見制度を利用して利用者の人数を把握している限りの類型ごとに記入してください。(複数回答可)

番号	選択肢	人数
1	後見	人
2	後見	人
3	補助	人
4	任意後見・後見信託	人
5	成年後見制度を利用していないが、類型は分からない	人

問15 去年1年間に、どのような成年後見制度に関する相談を受けましたか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度に関する相談は受けていない	
2	日常の金銭管理	
3	財産管理(不動産の処分)	
4	自分の将来が心配	
5	借金相談、消費者被害相談	
6	入院や入所の契約	
7	相続・遺言	
8	その他 ()	

問16 今後、成年後見制度が必要と思われる人はいくらいますか。いる場合は必要と思われる理由と実人数をお答えください。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度が必要と思われる人はいらない	
2	家族の支援が見込めない	
3	預貯金の管理ができない	
4	銀行、保険、不動産等の契約(解除)関係の手続きができない	
5	入退院、入退所の立派や手続きができない	
6	介護保険や障害福祉サービスの契約ができない	
7	その他 ()	
※	必要と思われる人の実人数をお書きください。	人数⇒ 人

問17 成年後見が必要でも利用が進まないと思われる要因はありますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度が必要と思われる人はいらない	
2	本人、家族の同意が得られない	
3	後見人への報酬支払が困難	
4	本人の収入で家族が生活しているから	
5	成年後見制度の利用に時間がかかる	
6	成年後見制度の手続きが複雑だから	
7	その他 ()	

問18 上尾市の成年後見制度施策に望むことはありませんか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度に関する普及・啓発	
2	成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充	
3	社会福祉法人等による法人後見	
4	市民後見人の養成	
5	その他意見など ()	

問19 職場で成年後見制度に関する研修は必要があると思いますか。(〇は1つ)

番号	選択肢	回答
1	必要	
2	どちらかと言えば必要	
3	必要ない	

IV 福祉有償運送について

問20 貴施設で利用者の送迎を行っている場合、ドライバーの空き時間等を利用した福祉有償運送サービス等の提供に回線がありますか。(○は1つ)

※ 福祉有償運送とは、NPOや社会福祉法人などの非営利法人が、高齢者や障害者などの公共交通機関を利用して移動することが困難な人を対象に、通院、通所、レジャーなどを目的に有償で行方による移送サービスのことをいいます。

番号	選択肢	回答
1	実施したい	
2	検討してみたい	
3	実施したいとは思わない	
4	利用者の送迎をしていない	

V その他

問21 入退院支援ルールを知っていますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	知っている	
2	聞いたことはあるが詳しい内容は知らない	
3	知らない	

問22 災害対策や感染症対策の計画の策定について、ご回答ください。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	策定している	
2	策定していない	

問23 災害対策や感染症対策の体制の整備について、ご回答ください。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	十分に整備されている	
2	ある程度整備されている	
3	あまり整備されていない	
4	ほとんど整備されていない	
5	わからない	

VI 上尾市の施策について

問24 この3年間（令和6年度～令和8年度）の上尾市の高齢者福祉行政の課題をお書きください。取り組みが不足していたと思うことや、効果的でない取り組みがあると思うことなど、どのようなことでも構いません。

問25 今後3年間（令和9年度～令和11年度）で上尾市が取り組むべきと思う施策をお書きください。経費負担する施策レベルのほかに、巨額費で取り組むべきことなど、どのようなことでも構いません。（そもそも取り組みを知らない、でも構いません。）

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

■ 問3 回答シート <管理者記入>

問3 貴施設等に所属している介護職員全員(非常勤含む。ボランティアの方を除く)について、お答えください。

回答方法		※ 数値を記入			※ 番号1つ記載			
施設番号	(1) 資格の取得 研修の修了の状況	(2) 雇用形態	(3) 性別	(4) 年齢	(5) 過去1週間の勤務時間	(6) 現在の施設等での 勤務年数	(7) 現在の施設等に勤務する直前の職場 ※地域密着型を含む	(8) 直前の職場について
設開	1.介護福祉士 (認定介護福祉士含む) 2.介護職員実務者研修修了 または (旧)介護職員基礎研修 または (旧)ヘルパー1級 3.介護職員初任者研修 または (旧)ヘルパー2級 4.上記のいずれも該当しない	1.正社員 (※期限の定めのない契約) 2.非正規職員 (※期限の定めのある契約)	1.男性 2.女性	1.20歳未満 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70代以上 8.不明	過去1週間の勤務時間 ※ 残業時間を含む。休憩時間は除く。	1.1年以上 ⇒【回答終了】 2.1年未満 ⇒【(7)へ】	1.現在の施設等が初めての勤務先 ⇒【回答終了】 2.介護以外の職場 ⇒【回答終了】 3.特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特養施設 4.訪問介護・入浴、夜間対応型 5.小多機、看多機、定期巡回サービス 6.通所介護、通所リハ、認知症デイ 7.住居型有料、サ高住(特定施設以外) 8.その他の介護サービス ⇒【[3]~[8]の場合は(8)へ】	1.現在の施設等と、同一の市区町村 内 2.現在の施設等と、別の市区町村内
記入例	1	1	1	3	40	2	2	1
01					時間			2
02					時間			
03					時間			
04					時間			
05					時間			
06					時間			
07					時間			
08					時間			
09					時間			
10					時間			
11					時間			
12					時間			
13					時間			
14					時間			
15					時間			
16					時間			
17					時間			
18					時間			
19					時間			
20					時間			
21					時間			
22					時間			
23					時間			

第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画アンケート【C2 介護人材実態調査】

(訪問系)

(調査の趣旨とご協力をお願い)

日頃より、上尾市の高齢者福祉行政にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本市では、令和9年度から11年度を計画期間とする上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定業務を進めています。このたび、計画策定の基礎資料とするため、市内の介護事業所の現状や人材確保の取組状況などを把握し、アンケートを実施することになりました。

つきましては、業務の多忙なところ誠に恐縮ですが、本アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。
※介護事業所の職員の皆様が、日頃感じていることをお書きください。本アンケートの事業所名は、回答の詳細について確認する場合のみ使用し、結果を会議資料等で使用する場合には、事業所名が特定されない形で、統計的に集計処理を行いますので、要領なご回答をお願いします。

※特に指示がない場合は、令和7年4月1日現在でお答えください。
※小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の方は、問6までご回答ください。(問7以降は回答不要です。)

事業所名	
------	--

■事業所票 <管理者記入>

※訪問サービス、訪問介護を行う介護職員の方(非常勤含む、ボランティア除く)を対象とした「職員票」を、別シートでご用意しております。

I 事業所について

問1 該当するサービス種別(介護予防を含む)も、ご回答ください。(〇は1つ)

※本調査票の送付先(メールの宛先)となっている事業所で行うサービスについて、ご回答ください。

番号	訪問サービス	選択肢	回答
1	訪問介護サービス (訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス(総合事業))		
2	小規模多機能型居宅介護		
3	看護小規模多機能型居宅介護		
4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護		

問2 貴事業所(問1で○をつけたサービス種別の事業所)に所属する介護職員について、お伺いします。

※ここで「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限りです。(ボランティアの方は含みません。)

※また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。(数値を記入)

項目	回答	項目	回答
正規職員	人	非正規職員	人
外国人職員	人	派遣職員	人

問2-2 貴事業所等の開設時期について、ご記入ください。(数値を記入)

項目	回答
西暦	年
月	

問2-3 令和7年11月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。過去1年間(令和6年11月1日～令和7年11月1日)の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

項目	回答	項目	回答
採用者数	人	離職者数	人

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。(数値を記入)

番号 (採用、離職当時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	人	人	人	人
20～29歳	人	人	人	人
30～39歳	人	人	人	人
40～49歳	人	人	人	人
50～59歳	人	人	人	人
60～69歳	人	人	人	人
70～79歳	人	人	人	人
年齢不明	人	人	人	人

■事業所票 (市) <管理者記入>

I 現在の介護人材の状況について

問1 職種ごとの従業員の過不足について、どのように感じているかお答えください。(〇は1つ)

番号	職種	過不足の状況(いずれか1つに〇)				当該職種 はない
		大い不足	不足	やや不足	適当	
1	訪問介護員					
2	サービス提供責任者					
3	介護職員					
4	看護職員					
5	生活相談員					
6	機能訓練指導員					

問2 問1で「大いに不足」「不足」「やや不足」を選んだ方がお答えください。不足している理由は何ですか。(複数回答可)

番号	回答
1	採用が困難
2	離職率が高い
3	事業拡大で人手不足
4	その他()

問3 問2で「採用が困難」を選んだ方のみお答えください。採用が困難な理由は何ですか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	他業種に比べて賃金水準が低い	
2	同業他社との人材獲得競争が激しい	
3	仕事がつらい(身体的・精神的)というイメージがある	
4	雇用が不安定というイメージがある	
5	社会的評価が低い	
6	その他 ()	

問4 問2で「離職率が高い」を選んだ方のみお答えください。離職率が高い理由は何ですか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	勤務時間が長い	
2	休暇が取りにくい	
3	仕事がつらい	
4	他業種に比べて賃金水準が低い	
5	雇用が不安定	
6	キャリアアップの機会が不十分	
7	介護報酬の申請に関する事務量が多い	
8	職場、利用者やその家族との人間関係	
9	従業員自身の高齢化	
10	その他 ()	

問5 採用や人材確保に関する課題をご回答ください。(自由記述)

--

問6 人材確保に關して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。(自由記述)

--

問7 生産性を向上させるための取り組みを行っていますか。(〇は1つ)

番号	選択肢	回答
1	行っている	
2	行っていない	

問8 以前に比べ、生産性が向上したと感ずますか。(〇は1つ)

番号	選択肢	回答
1	大いに感じる	
2	ある程度感じる	
3	あまり感じない	
4	ほとんど感じない	
5	わからない	

問9 業務効率化・生産性向上に関する課題をご回答ください。(自由記述)

--

問10 生産性向上を実現するために、上尾市に期待するサポートがあれば、ご記入ください。(自由記述)

--

II 認知症施策について

問11 認知症の支援で困っていることありますか。(〇は1つ)

番号	選択肢	回答
1	はい	
2	いいえ	

問12 問11で「はい」を選んだ方のみお答えください。どのようなことに困っていますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	地域住民のサポートが得られない	
2	家族など周囲の方の認知症への理解不足	
3	認知症の方が地域に集まる場がない	
4	認知症の本人が活躍できる場がない	
5	金融管理サポート体制	
6	その他意見など ()	

問13 上尾市の認知症施策に望むことありますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	認知症サポーター養成講座の拡大	
2	教育機関・民間企業に対する認知症の意識付け	
3	認知症の人が通える居場所づくり	
4	成年後見制度など権利擁護支援体制の充実	
5	徘徊検察サービス事業などの拡大	
6	認知症の人を抱える家族へのフォローアップ	
7	その他意見など ()	

Ⅲ 成年後見制度について

問14 成年後見制度を利用している利用者の人数を把握している限り類型ごとに記入してください。
 (数値を入力)

番号	選択肢	人数
1	後見	人
2	保佐	人
3	補助	人
4	任意後見・後見信託	人
5	成年後見制度を利用しているが、類型は分からない	人

問15 去年1年間に、どのような成年後見制度に関する相談を受けましたか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度に関する相談は受けていない	
2	日常の金銭管理	
3	財産管理(不動産の処分)	
4	自分の将来が心配	
5	借入相談、消費者被害相談	
6	入院や入所の契約	
7	相続・遺言	
8	その他()	

問16 今後、成年後見制度が必要と思われる人はいますか。いる場合は必要と思われる理由と実人数も
 お答えください。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度が必要だと思われる人はいない	
2	親族の支援が見込めない	
3	預貯金の管理ができない	
4	銀行、保険、不動産等の契約(解約)関係の手続きができない	
5	入退院、入退所の支払や手続きができない	
6	介護保険や障害福祉サービスの契約ができない	
7	その他()	
※	必要と思われる人の実人数をお書きください。	人数⇒ 人

問17 成年後見が必要でも利用が進まないと思われる要因はありますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度が必要だと思われ人はいない	
2	本人・家族の同意が得られない	
3	後見人への報酬支払が困難	
4	本人の収入で家族が生活しているから	
5	成年後見制度の利用に時間がかかる	
6	成年後見制度の手続きが複雑だから	
7	その他()	

問18 上層市の成年後見制度施策に望むところはありますか。(複数回答可)

番号	選択肢	回答
1	成年後見制度に関する普及・啓発	
2	成年後見制度を利用する際の報酬助成など、利用支援事業の拡充	
3	社会福祉法人等による法人後見	
4	市員後見人の養成	
5	その他意見など()	

問19 職場で成年後見制度に関する研修は必要があると思いますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	必要	
2	どちらかと言えば必要	
3	必要ない	

Ⅳ その他

問20 入退院支援ルールを知っていますか。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	知っている	
2	聞いたことはあるが詳しい内容は知らない	
3	知らない	

問21 災害対策や感染症対策の計画の策定について、ご回答ください。

番号	選択肢	回答
1	策定している	
2	策定していない	

問22 災害対策や感染症対策の体制の整備について、ご回答ください。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	十分に整備されている	
2	ある程度整備されている	
3	あまの整備されていない	
4	ほとんど整備されていない	
5	わからない	

V 上尾市の施策について

問23 この3年間(令和6年度~令和8年度)の上尾市の高齢者福祉行政の課題をお書きください。
取組が不足していたと思うことや、効果的でない取組みなど、どのようなことでも構いません。

問24 今後3年間(令和9年度~令和11年度)で上尾市が取組むべきと思われる施策をお書きください。総実施する施策レベルのものをだけでなく、日常業務で取組むべきことなど、どのようなことでも構いません。(そもそも取組みを知らない、でも構いません。)

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

■職員票 <訪問介護員記入>

※この調査票は、訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方(非常勤含む、ボランティア除く)が対象です。
※令和7年11月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別(介護予防を含む)について、ご回答ください。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	訪問系サービス (訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス(総合事業))	
2	小規模多機能型居宅介護	
3	看護小規模多機能型居宅介護	
4	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。(○は1つ)

番号	選択肢	回答
1	介護福祉士(認定介護福祉士含む)	
2	介護職員実務者研修修了、または(旧)介護職員基礎研修修了、または(旧)ヘルパー1級	
3	介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級	
4	「1」「2」「3」のいずれにも該当しない	

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

番号	項目	選択肢	回答
1	雇用形態 (○は1つ)	1. 正規職員(※期限の定めのない契約) 2. 非正規職員(※期限の定めのある契約)	
2	性別 (○は1つ)	1. 男性 2. 女性	
3	年齢 (数値を記入)	回答	
4	過去1週間の勤務時間 ※(数値を記入)	時間 回答 ※残業時間を含む。休憩時間は除く。 選択肢	
5	現在の事業所での勤務年数(数値を入力)	1. 1年以上 ⇒ 問6・問7を回答 2. 1年未満 ⇒ 問4~問7を回答	

※問1で回答した勤務先における時間を記入。なお、記入いただいた内容の詳細を問6・問7にご記入ください。

■ 職員票 <訪問介護員記入>

この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きます。

- ※ 職員票の間3「4 過去1週間の勤務時間」で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。
（例、水曜日を開始日とする場合、水曜日（開始日）から次の日の曜日までの7日間の情報を記入してください）
- ※ 移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者の居宅における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります
- ※ 障害サービスの提供は除いてください。
- ※ 介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。
- ※ 記入する時間は「5分単位」とします。（例）32分→30分と記入。

問6 介護給付による訪問について記入してください。
※ 「週の合計」を足し合わせた時間が、職員票の間3「4 過去1週間の勤務時間」で回答した時間よりも小さくなるようにしてください。

曜日	身体介護※	生活援助		その他の生活援助
		買い物 (移動時間を含まない)	調理・配膳	
記入例	30分	20分	45分	20分
月	分	分	分	分
火	分	分	分	分
水	分	分	分	分
木	分	分	分	分
金	分	分	分	分
土	分	分	分	分
日	分	分	分	分
週の合計	0分	0分	0分	0分

⇒ 身体介護・生活援助の「週の合計」を足し合わせた時間

問7 介護予防給付・総合事業による訪問について記入してください。
※ 「週の合計」を足し合わせた時間が、職員票の間3「4 過去1週間の勤務時間」で回答した時間よりも小さくなるようにしてください。

曜日	身体介護※	生活援助		その他の生活援助
		買い物 (移動時間を含まない)	調理・配膳	
月	分	分	分	分
火	分	分	分	分
水	分	分	分	分
木	分	分	分	分
金	分	分	分	分
土	分	分	分	分
日	分	分	分	分
週の合計	0分	0分	0分	0分

⇒ 身体介護・生活援助の「週の合計」を足し合わせた時間

※ 自立生活支援・重度化防止のための見守り的援助（自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等）は、身体介護に含む

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

問4 問3の「5」で「2.1年未満」を選んだ方のみお答えください。
現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。（○は1つ）

番号	回答
1	現在の職場が初めての勤務先 ⇒ 問6・問7を回答
2	介護以外の職場 ⇒ 問6・問7を回答
3	特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設
4	訪問介護・入浴、夜間対応型
5	小多機能、看多機、定期巡回サービス
6	通所介護、通所入浴、認知症ケア
7	住宅型有料、若高住（特定施設以外）
8	その他の介護サービス

⇒ 「3」～「8」の場合は問5～問7を回答

問5 問4で「3」～「8」を選んだ方のみお答えください。
ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

番号	項目	選択肢	回答
1	場所 (○は1つ)	1. 現在の事業所と、同一の市区町村内 2. 現在の事業所と、別の市区町村内	
2	法人 (○は1つ)	1. 現在の事業所と、同一の法人・グループ 2. 現在の事業所と、別の法人・グループ	

第10期高齢者福祉計画・介護保険事業計画
策定のためのアンケート調査結果報告書

発行年月：令和8年3月

発行：上尾市 健康福祉部 高齢介護課
上尾市本町三丁目1番1号

電話：048-775-5124